

荷ガ順調ニ行ツテ居ナカッタト云フ關係デ、出遅レテ居ッタノ  
デアリマス、サウ云フヤウナ譯テ出盛期ニ於ケル配給ガ、十分  
ニ行カナカッタト云フ點ハ洵ニ残念デアリマスガ、サウ云フ實  
情ニアツタノデアリマス、併シ之ニ對シマシテハ私共ト致シマ  
シテハ、陸軍關係ノ日本ノ出先官憲及ビ滿洲國ニ於ケル滿鐵會  
社チモ督勵シテ、貨車チ非常ナ無理チシテ割イテ貰ヒマシテ、  
サウシテ輸送チヤツテ貰ツタ結果、此ノ二月以後ニ於テハ相當  
ノ多數ノ數量ガ、配給出來ルト云フコトニナツテ居ル狀況デア  
リマス、是ハ今ノ物資輸送ノ關係カラ、其ノ間ニ於テ飼料チ調  
達スルコトニ苦心チシテ居ルノデアリマスガ、是等ノコトモヤ  
ハリ斯ウ云フ纏ツテ一手ニ入レ得ルト云フヤウナ機關ガアツタ  
レバコソ、私ハ是ガ出來タノダト思ツテ居リマス、尙ホ馬ノ方  
ニ關係ノアルコトニ付キマシテハ、先日坪山委員カラ御質問ガ  
アリマシテ御答致シマシタ通りニ、當時ニ於テハ自然ノ潮流ニ  
委シテ置クト云フ積リテ居ッタノデアリマスガ、ヤハリ秋以來  
國內ノ生産、滿洲國ニ於ケル生産、ソレカラ北支、中支ニ於ケ  
ル圓爲替ノ關係デ、需給ハ不圓滑トナリ、市價ハ御話ノヤウニ  
昔ニ較ベテ五割六割モ暴騰シテ來ルト云フヤウナ狀況デアリマ  
シタノデ、此ノ點モ統制品目ニ入レマシテ、第三外國ノ輸入チ  
此ノ會社ニ取扱ハセル、比較的安イ値段チ以テ入レタモノト、  
高イモノトノ値段チ平衡資金ニ依ツテ埋合ハセ、サウシテ配給  
スルヤウニ、骨折ツテ居ルノデアリマス、恐ラク最近ニ於ケル  
所ノ穀ノ値段ト云フモノハ、從來ノ値段カラ較ベマス、六七  
十錢ハ下ツテ居ルト思ヒマス、ソレハ會社ガ配給シテ居ル値段

ガ安イノト、内地ノ製粉業者ノ各位モ、現在ノ飼料暴騰ノ點ニ  
鑑ミラレマシテ、サウシテ建値チ引下ゲラレテ居ルノデアリマ  
ス、内地穀ノ値ノ下リト云フモノハ、外國ヨリ輸入シタモノヨ  
リモ少ナ過ルヤウニ思ヒマスガ、從來六圓四十錢程ノモノガ六  
圓近クニ下ゲテ、配給スルヤウニナツテ居リマス、斯ウ云フ點  
ニ付テ各方面トモ努力チ續ケテ居ルノデアリマス、サリナガラ  
遺憾ナコトハ、飼料資源全體チ通ジテ餘リ十分デナイト云フコ  
トハ、言ヒ得ルト思ヒマス、是ハ色々ナ關係ガアルト思ヒマス  
或ハ一部ノモノガ工業原料ニ使フト云フヤウナコトモアルダラ  
ウト思ヒマスガ、サウ云フ風ナ關係デ、飼料資源ノ調達或ハ涵  
養ト云フコトニ付テハ、今後トモ吾々ハ努力チナケレバナラヌ  
ト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ私共ノ方ノ取扱ツテ居ルモノ  
ハ、直接馬ノ經濟ノ方ニ參ラヌカモ知レマセヌガ、例ヘテ見マ  
スレバ、現在アリマス所ノ粗飼料資源デアリマシテモ「エンシ  
レージ」等ノ方法ニ依リマシテ貯藏致シマスルナラバ、其ノ榮  
養價值チ高メルコトニ依ツテ、濃厚飼料ガ少クテモ家畜ノ飼育  
ガ出來ル、例ヘバ是等ハ農馬ノ如キニハ利用ガ出來ルノチヤナ  
イカト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ他或ハ青刈ノ栽培デア  
トカ云フヤウナ方面ニ付キマシテモ、寸尺ノ地積チ利用シテ良  
質ノ粗飼料ノ増産チ圖ルト云フコトガ出來マスルナラバ、恐ラ  
ク濃厚飼料モ節約シテ保ツテ行クトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ  
考ヘテ居ル次第デアリマス、以上大様御答シタ次第デアリマス  
○野澤委員 率直ニシテ且ツ誠意アル御答辯チ得マシテ満足致  
シマシタ、大體穀ニ付キマシテモ統制品目ニ加ヘラレルト云フ

コトチ言明セラレマシテ、非常ニ心緒シク感ジマス、ソレカラ  
工業原料ノ調達ノ爲ニ飼料ノ配給ニ付キマシテ、遺憾ノ點ガア  
ルト云フコトチ露骨ニ申サレタ、此ノ點ニ對シテモ私ハ満足ス  
ル者デアリマス、ソコデ一ツ粟林陸軍馬政課長ニ、關聯シテ質  
問シテ置キタイノデアリマス、畜産經濟上必要ナ此ノ飼料ニ對  
シマシテ、畜産局長ガ只今工業原料ノ調達ニ依ツテ、最も困ツ  
テ居ルト云フコトチ言明サレタノデアリマス、此ノ點ニ付キマ  
シテ馬政計畫遂行上支障チ來タシハシナイカト思ヒマスガ、此  
ノ關係チドウ調整シヤウトシテ居ラレルカ、御答辯チ願ヒタイ  
ト思ヒマス  
○岸政府委員 只今野澤サンノ御質問ハ馬政課長ニ御指名デア  
リマスガ、私カラ一ツ御話申上ゲテ置キマス、先程私ガ從來  
飼料トシテ扱ハレタモノガ工業原料ニ使ハレ、其ノ結果飼料ノ  
資源ニ影響チ及ボシテ居ルト云フヤウナコトチ申上ゲマシタガ  
其ノ一例ハ米糠ノヤウナモノデアリマス、是等ノモノハ廣ク馬  
牛ニ使ハレテ居ツテ、飼料ノ重要ナ資源アルコトハ確カデア  
リマス、之ニ影響ガアレバ飼育ニ骨ガ折レル、最近實際ニ於テ  
相當ノ値上リチ見テ居ルモノデアリマスカラ、其ノ點ノ御注意  
ダラウト思ヒマスガ是等ニ對シテハ之ニ代ルベキ所ノ飼料チ豐  
富ニ供給スルヨリ外、方法ガナイダラウト考ヘテ居リマス、飼  
料ノ點カラ言ツテ、細カイ點ハ私此處申上ゲ兼ネルト思ヒマ  
スガ、是ノ同類ニ屬スル分ノ飼料ト致シマシテハ穀ノ如キモノ  
ガアリマス、又米糠チ工業ニ使ツテモ、其ノ米糠ノ滓ト云フモ  
ノガアルノデアリマス、是等ハ彼此派用シテ行クト云フコトニ

依ツテ、私ハ補ヒガ付イテ行クト考ヘテ居リマス、先程申上ゲ  
マシタ一部ノ濃厚飼料ノ代用ト致シマシテ、貯藏法ノ改善チス  
コルトニ依リマシテ、其ノ榮養分ノ損失チ少ナクスルト云フコ  
トチ圖ツテ行キマスレバ、粗飼料チ以テ飼フ所ノ大家畜ニ於テ  
ハ、相當濃厚飼料ノ補給ガ出來得ルト考ヘテ居リマス  
○野澤委員 ソレデハ大臣ニ御所見チ御伺シテ置クトニシマ  
ス、飛越エマシテ第三點ノ日滿支蒙チ貫ク大陸馬政計畫ニ付テ  
デアリマス、大臣ハ本會議ニ於キマシテ、非常ニ眞面目ナ御答  
辯チ下サイマシタ、特ニ日滿支蒙チ貫ク馬政計畫ニ付テノ私ノ  
質問ニ對シマシテ、斯ウ云フ御答辯チサレテ居ルノデアリマ  
ス「日滿兩國チ通ジテ此ノ計畫チ立テマシタ際ニハ、蒙疆及ビ  
北支ト云フモノノ生産狀態チ考慮ノ中ニ入レテ、此ノ計畫チ立  
テテ居ルノデアリマス」ト申サレテ居リマス、併シ「尙ホ多少  
研究スベキ點ガアリマシタ爲ニ之チ除イタノデアリマス、」ト  
云フ御答辯チ得テ居ル譯デアリマス、大臣ハ農林行政各方面ノ  
總テチ御存ジニナツテ居ラレルノデアリマスガ、私達モ農林省  
ノ管轄デアリマスル此ノ馬政計畫ノ審議ニ當ツテ居ルダケデア  
リマシテ、他ノ方面ハ能ク知リマセヌガ、此ノ馬政計畫ノ兩法  
案ノ審議ニ當ツテ、當局カラ渡サレマシタ資料文獻等チ見マス  
ルト、遺憾ナガラ私ノ眼ガ惡イ加減カドウカ知リマセヌガ、日  
滿ダケノ馬政計畫ハ眼ニチコロ／＼觸レルノデアリマスガ、蒙  
支ニ關シテハ私ノ肉眼ニハ片鱗ダモ發見シ得ナイノデアリマス  
然ルニ大臣ハ本會議ニ於テ、只今ノヤウナ答辯チサレテ居ルノ

テアリマスガ、何カ是ニハ根據ノアルコトト私ハ存ズルノデア  
リマス、此ノ際大臣ノ答辯サレマシタ内容ノ點ニ付キマシテ、  
御發表願ヘルナラバ非常ニ質疑スル上ニ於テ好イ參考ニナル  
ト思ヒマスカラ、御發表願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今御尋ノ點デアリマスガ、蒙疆北支ノ馬政  
計畫ト内地ノ馬政計畫トノ聯關ニ付キマシテハ、相當研究モ致  
シテ居ルノデアリマス、唯此ノ計畫ニ斯クノノ計畫ヲ以テ進  
ムノデアアル、斯ウ云フコトニ付テ明記スルコトヲ致シテ居リマ  
セヌノハ、御承知ノ如ク北支蒙疆ノ點ニ付キマシテハ、未ダ總  
テノ點ニ付テ所謂蒙疆政府、維新政府、是等ト第三國トノ關係  
モアリマスルシ、又其ノ他種々ナル角度ニ於テ是等ノ政府ト内  
地トノ交渉、協定ト云フモノニ付キマシテ、今日之ヲ明ニスル  
ト云フ事柄ガ、果シテドウ云フモノデアラウカ、未ダ之ニ對シ  
マシテ斷案ヲ下シ得ナイノデアリマシテ、其ノ計畫等ニ付キマ  
シテ茲ニ申上ゲルコトノ出來マセヌコトハ、甚ダ遺憾デアリマ  
スケレドモ、已ムテ得ナイコトト考ヘルノデアリマス、唯北支  
蒙疆地方ニ於ケル所ノ馬政計畫ニ付テ、内地ノ馬政計畫ト絕對  
ニ衝突スルガ如キ事柄ハ致サナイ心組ニ於テ計畫ヲ立テ、話合  
ヲ致シタノデアリマシテ、要スルニ雙方協力シテ、即チ日滿支  
三國ノ經濟提携ヲ如實ニ現ハス、其ノ意味ニ於キマシテ此ノ馬  
政計畫ニ於テモ亦三國間ニ於テ協調ヲ圖ツテ行キタイト、斯様  
ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

勿論國際的ノ關係モアリマセウシ、支那ニ對シマシテモ、マダ  
完全ニ統一政權ガ確立シタ譯デアハアリマセヌカラ、或ハ此ノ政  
府トノ間ニ於ケル種々ナル計畫ヲ立テルコトニ付キマシテモ、  
確固タル方針ガ確立シ得ザル困難ノ點モオアリニナルコトハ、  
吾々萬々承知モ出來ルノデアリマス、併シ今回ノ馬政計畫ト云  
フモノハ東亞協同體ノ建設ト云フ大キナ目標ニアルト思フノデア  
アリマス、即チ「ソビエト」及ビ第三國ヲ對象トシタ馬政計畫  
デアルト思ヒマス、所謂第三「インターナショナル」ノ勢力ヲ  
背景トシテ居ル「ソビエト」或ハ英米佛等ノ歐米資本主義ノ支  
那侵略ニ對スル對策、何レニ致シマシテモ、支那ヲ中心トシテ  
應テハ何事カ起ラントスル——支那事變以上ノ事變ガ起ラント  
スル前提トシテハ大計畫ト吾々ハ觀テ居ルノデアリマス、又大  
石君ガ言ハレマシタケレドモ、私ハサウアツテ然ルベキモノデア  
アラウト思ヒマス、又サウデアナクテハコナ大馬政計畫ヲ立テ  
ル必要ハナイト思ヒマス、シテ見マスト此ノ東亞協同體、即チ  
日滿蒙支貫ク此ノ東亞協同體ノ建設ノ指導者、所謂其ノ政治  
的、經濟的、文化的ノ指導者トシテ立ツテ行ク日本ガ、日滿蒙  
支ニ東亞協同體制ヲ確立セントスル計畫ヲ立テルコトハ當然デア  
アリマシテ、其ノ内容ヲ今日話セナイト云フ譯ハナイト思フノ  
デアリマス、特ニ私ガ昨年滿洲ノ地ニ視察旅行ニ參ツタ折ニ、  
滿鐵會社ノ畜産部ヲ訪レマシテ、蒙古馬ノ件ニ付キマシテ意見  
ヲ徴シタノデアリマス、其ノ際ニ滿鐵ニ於ケル畜産部ノ責任ア  
ル技師ノ曰ク、ドウシテモ將來滿洲支那ニ於ケル馬政計畫ヲ立  
テントスルナラバ、純血種デアアル蒙古馬ニ「アングロマン」

カ、サモナケレバ「ハクニ」ノ如キ中牛血種ヲ掛合ハセタモ  
ノヲ作ツテ行クノテナクテハ、將來ノ大陸馬政計畫ノ意義ヲ成  
サナイト云フコトヲ私ニ言ハレタノデアリマス、私ハ御尤モニ  
感ジタノデアリマシタ、ソレ程ハウツキリ滿鐵ノ畜産部アタリテ  
言ウテ居ルノニ拘ラズ、苟モ此ノ大馬政計畫ヲ立テル時ノ御大  
デアリマスル農林大臣ガ、マダ蒙疆支那ニ關シテハ、國際的ニ  
モ幾多波紋ヲ及ボスベキヤウナ傾向ガアルカノ如キ言辭ヲ弄サ  
レルト云フコトニ對シマシテハ、私ハ遺憾ニ存ズルノデアリマ  
ス、此ノ馬政計畫ハ東亞協同體建設ノ前提的一環デアアル、何モ  
私ハ怖ジケルニ當ラナイト思フノデアリマス、ドウカ私ハ一ツ  
農林大臣ノ忌憚ナイ御意見ヲ賜リタイト思ヒマス、尙ホ實ハ此  
ノ文獻資料ニ、蒙疆支那ニ關係セル馬政計畫ノ關聯事項ガ一ツ  
モ見受ケラレマセヌノデアリマスカラ實ハソレハマダ難ツタモ  
ノガナイト仰シヤルナラバ、私ハ結構デアゴザイマスカラ質問ヲ  
打切りマスケレドモ、ナイ譯ハナイト思ヒマス、蒙古馬ダケテ  
モ宜シウゴザイマス、私ハ蒙古馬ノ關係ニ付テ、モツト知識ヲ  
得テ置カナケレバ、大陸ノ馬政計畫ハ論議ヲ進メル譯ニ行キマ  
セヌ、ドウカ蒙古馬ダケニ關シテモ、大臣アナタテモ結構デア  
アリマスカラ、責任者ノドナタテモ宜シウゴザイマスカラ、一  
ツ御意見ノ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

若クハ其ノ他ノ政府委員カラ申上ゲタ方ガ適當ト思ヒマスカラ  
政府委員カラ申上ゲマス

○栗林說明員 便宜私カラ陸軍側ノ見地ニ於テ御說明申上ゲマ  
ス、日滿ノ馬政計畫ヲ立テラレマシテ、是ガ圓滿ナル遂行ヲ期  
スル爲ニハ、當然北支及ビ蒙疆ノ馬産ト云フコトヲ、考慮ニ入  
レナケレバナラナイト云フコトハ明デアリマス、左様致シマシ  
テ此ノ日滿ニ互ル馬政計畫ヲ立テマスト際ニ、只今農林大臣閣  
下ノ御説明ガアリマシタ通り、北支及ビ蒙疆ノ馬産ノ狀態ト云  
フコトヲ、十分考慮ニ入レマシテ、立テラレマシタコトハ申ス  
マデモナイコトデアリマス、併シナガラ實際問題ト致シマシテ  
ハ、北支及ビ蒙疆ノ狀態ト云フモノハ、軍當局ニ於キマシテモ  
マダハウツキリ致シテ居ラナイノデアリマス、是ハ折角出先ノ軍  
ガ、占據地域内ニ於ケル馬産ノ狀態ヲ調査ヲ致シテ居ルノデア  
リマスケレドモ、今回ノ事變ノ爲ニ著シク馬ガ減ツタト云フヤ  
ウナ狀態モアリマス、又蒙疆地方ニ於キマシテハ、蒙古人ノ生  
業ト致シマシテ、蒙古馬ヲ多數飼養致シテ居ルノデアリマスケ  
レドモ、其ノ馬産狀態ハ全ク原始的ノモノデアリマシテ、直チ  
ニ之ヲ如何ニ改良スルトカ、如何ニ増殖スルトカ云フヤウナ  
方策ヲ立タナイヤウナ原始的ノ狀態デアアルノデアリマス、テ  
アリマスルノデ、是等ノ根本問題ヲ解決スルノニハ、ソレ等ノ  
狀態ヲ尙ホ一層徹底的ニ調べテ必要ガアルノデアリマス、  
所ガマダ治安ノ狀態等モ御承知ノ通りデアリマスノデ、是ハ治  
安ノ回復ニ伴ヒマシテ、又産業ノ開發ニ伴ヒマシテ漸次此ノ調  
査ノ歩ヲ進メテ確タル成案ヲ得タル後ニ、日本及ビ滿洲ヲ通ジ

タ所ノ馬政國策ニ即應スル如ク、現地ニ於キマシテモ、又支那統一政府ニ於キマシテモ、適切ナル馬政計畫ヲ立テラレルモノト考ヘテ居ル次第アリマシ

**○野澤委員** 私ハ日滿蒙支チ貫ク大陸ノ馬政計畫ニ付キマシテハ、率直ナ僞ラザル御答辯ヲ聽キマシタカラ、希望ダケ附テシ其ノ點ハ打切ルコトニ致シマス、蒙古ノ馬モ滿洲ノ公主嶺ニ於キマシテ、蒙古馬チ中心ニ彼處ノ種畜場ヲ相當研究サレテ居ルノテアリマス、私ハ其ノ研究發表ヲ見テ、相當將來ハ望ノアルモノト認識ヲ致シテ來マシタ、近イ機會ニ於キマシテ、至急其ノ方モ調査サレマシテ、此ノ蒙古馬ノ血種ト申シマセウカ此ノ土產種チ生カスヤウニ、馬政計畫ヲ樹テラレンコトヲ希望シテ置キマス、續イテ大臣ニ今一點御聽キシタイト思ヒマスガ大臣ハ昨日同僚諸君ノ牧野問題ニ關スル質問ニ對シマシテ、非常ニ誠意アル御答辯ヲ願ヒマシタ、近イ機會ニ於キマシテ何トカ實現サレルモノト云フ風ニ、私ハ受取ツテ居ルノデアリマス併シ此ノ機會ニ今一應私カラ意見ヲ附シテ、質問ヲシテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ通り先程申シマシタガ、馬政計畫ヲ樹テラレテ居リマシテ、年々馬ガ減ツテ來ルノデアリマス、其ノ減ツテ來ル理由チ政府其ノ他カラノ文獻ニ依ツテ、色々調べテ見マシタ所ガ、減ル原因ハ牧野ニアリマシタ、農林省カラ御渡シ下サイマシタ昭和十二年度ノ農林省發表ノ統計ダケ、參考ニ申上ゲテ置キマス、公有牧地ハ減ラナイノデアリマス、是ハ政府ガヤツテ居ルカ、サモナケレバ公法人ガヤツテ居リマスカラ是ハ減リマセズ、併シ林牧混濁地ガ靚面ニ減ツテ居ルノデア

斯ウ云フ狀態デアリマス、馬ノ頭數トノ比率關係ヲ見マスト、何レモ日本アタリハ問題ニナラナイ、例ヘバ佛蘭西ノ馬ノ頭數ハ、ドノ位カト云フト二百八十一萬頭、「ソビエト」ガ一千五百四十二萬九千頭、英吉利ガ百一十二萬二千三百三十六頭、亞米利加ガ一千六百六十三萬五千頭、日本ハドウカト云フト、日本ノ牧野面積ハ百七十一萬六千「ヘクタール」、馬ノ頭數百四十三萬一千九百二十頭、斯ウ云フ狀態デアリマス、此ノ「パーセンテージ」ナド申上ゲマスルト面倒ニナリマスカラ省キマスガ「パーセンテージ」カラ見マスト、各國共十分ニ牧野面積ガ保有サレ確立サレテ居ル、斯カル點カラ見テ日本ノ馬產計畫ト云フモノガ、餘程考ヘ直サナケレバナラヌト思フノデアリマス、特ニ私遺憾ニ思フ點ハ、林牧混濁地ガ年々減ツテ來ルコトデアリマス一年間ニ四百五十「ヘクタール」モ減ツタノデアリ、此ノ大馬產計畫ナドハ私ハ見込ハナイト思フ、而モ今度ノ森林法改正ハドウ云フ内容デアルカト云フト農林大臣御承知ノ通り私有林ニ對スル完全ナル施業案ノ實施デアリマス、民有國營ノ前提ノヤウナモノデアリマス、サウナツテ來ルト益々以テ林牧混濁地ナドハ益々減リハシナイカト思フ、森林法ノ改正ニ依ツテ是モ施業地ダ、アレモ施業地ダト云フトコトニナツテ參リマシタナラバドウナリマスカ、人間トシテ勢ヒ公經濟ヨリ私經濟ノ方チ重ンズルノハ人情ノ常デス、國防計畫ナドハ是ハ公ノ經濟デアツテ、ドウシテモ私經濟ノ經濟觀念ト觀念ガ違フ、ソレデハイカヌ、公ケノ經濟觀念ヲ持タナケレバイカヌト言ツテモ、ソコハ人間ノ淺マシサデ、中々ソノナ氣ニハナレナイ、ソコデ之チドウシテ

リマス、是ハドウシテ減ルカト申シマス、林牧混濁地ハ、ドウニテモ林業ノ施業案ニ依リマシテ好キ自由ニ出來ルノデアリマス、デスカラ林牧混濁地ハ減ルノデアリマス、統計ヲ見ルト林牧混濁地ノ減ル理由ガ能ク分ルノデアリマス、昭和十二年度ノ農林省ノ發表ト覺エテ居リマスガ、昭和十一年度ノ林牧混濁地ハ二千「ヘクタール」デアリマシタ、ソレガ昭和十二年「ヘクタール」減ツテ居ルノデアリマス、此ノ四百五十「ヘクタール」減ルト云フコトハ、實ニ大問題デアリマシテ、是ダケ減ルト云フコトハ、地方ニ於ケル飼育者ハ高イ飼料ヲ買ツテ、舍飼ナドヲスルト云フコトニナルノデアリマシテ、勢ヒ馬チ手離サナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、昨日大石君カラモ力説サレマシタケレドモ、ドウカ此ノ混牧林ダケデモ此ノ際一ツ何トカシテ開放シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、特ニ私ハ外國ノ馬產狀態チ大臣閣下ニ申上ゲテ置キマスガ、亞米利加、「ソビエト」、英吉利或ハ佛蘭西等々ノ馬政ノ狀態ヲ見マスト、馬ハ減ツテ居ナイ、年々非常ニ殖エテ居ル最新ノ精巧ナ武器モ出來マシタケレドモ、ソレデモ尙且ツ馬ハ段々増産ノ傾向ニアルノデアリマス、ソレハ何處ニ原因ガアルカト云フト牧野ガ十分保有サレテ居ル、佛蘭西ノ如キニ於キマシテハ牧野面積ガ千三百三十九萬二千「ヘクタール」、英吉利ノ如キニ於キマシテハ千四百一十一萬三千「ヘクタール」、「ソビエト」露西亞ノ如キニ於キマシテハ三億九千七百三十二萬四千「ヘクタール」、亞米利加ニ於キマシテハ二億六千四百「ヘクタール」

モヤラナケレバナラヌト云フコトデアレバ、強制的ニ權力ヲ以テ、是ハ國防計畫上必要ノコトデアル、是ハ國家百年ノ計チ樹テル上ニ於テ必要ノ計畫デアルト云フノデア、ヤラナケレバナラヌトコトニナル、ソレチヤル御信念ガアルナラバ、山林局長モ呼ビ、畜產局長モ呼ビ、馬政局長官モ呼ンデ、サアドウダ、此ノ通り完全ナル一元的統制チヤツテ行カナケレバナラヌ、馬ノ頭數ハ是ダケダ、森林ニ付テハ建築用材、薪炭材トシテ是ダケ要ル、ドノ縣ニ於テハ建築材、薪炭材ガドレダケ出來ル、斯ウ云フヤウニシテ、一切各方面ノ生産、配給ノ關係ヲ十分調ベテ、サウシテ其ノ上ニ立ツタ綜合計畫ノ方針チ立テナケレバナラヌト思フノデアリマス、大臣ハ同僚ノ質問ニ對シマシテ、セメテ混牧林地ダケデモ何トカシタイト云フヤウナ、意思表示チサレタカノ如ク、私ハ聽取ツタノデアリマスガ、此ノ際私ハ意思表示チ具體的ニ御示シ願ヒタイト思フノデアリマス、以上具體的ナ實績、具體的ナ計數チ示シタ以上、大臣トシテモ相當考慮チシテ貰ヘルコトト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ大臣ノ所見、林牧混濁地ニ對スル所見ダケテ結構デゴザイマスカラ、承ル次第デアリマス

**○櫻内國務大臣** 只今ノ御質疑ニ對シテハ、タビ／＼本席ニ於テモ申上ゲマシタ通り、ドウシテモ放牧採草地ト云フモノガナケレバ、馬產ノ増殖チ圖レナイノデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ極力其ノ方策チ講ズル考デアリマスガ、國有林ノ開放其ノ他ニ付キマシテハ、前會以來申上ゲマス通り、此ノ問題ニ付テハ十分ニ研究考慮チ致シタイト云フ風チ考チ持ツテ居リ

マス、今具體的ニ斯ク、スルト云フコト申上ゲマスマデニ至ツテ居リマセヌノデ、是ハ申上ゲ兼ネマス、畜産局長、山林局長、馬政局長官其ノ他ヲ綜合シテ、之ニ對シテノ國策ヲ定メルト云フ御意見ハ、是ハ當然ノコトデアリマシテ、私共農林當局ト致シマシテハ、全體的ニ見テ、總テノ方面ニ於テ萬遺算ナキ時期シマスト共ニ、此ノ馬政計畫ノ如キ國防上ノ見地カラ申シテモ、産業上ノ見地カラ申シテモ爲サナケレバナラヌ、ドウシテモ實行シテ貫徹シナケレバナラヌ問題ニ付キマシテハ、徹頭徹尾其ノ目的ヲ貫徹スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○野澤委員 大臣ノ言ヲ信賴シテ、近イ中ニ實行ニ移サレルモノト云フ風ニ取ツテ、差支アリマセヌカ、是ダケ御尋致シマス  
○櫻内國務大臣 只今申上ゲマス通り、私ハ誠心誠意其ノ實行ヲ期シタイト思ツテ居リマス、併シナガラ之ニ對シテハ御承知ノ通り、相當ナ研究モ要シ、調査モ要スルノデアリマスカラ、今直チニイツ何日カラ之ヲスルト云フコトダケハ申上ゲ兼ネマス

午後零時四分休憩

午後一時十分開議

○野澤委員 ……四ツ二分ケマシタ質問要項ノ中、日滿蒙支テ貫ク大陸馬政計畫ニ付テノ質問ハ終リマシタ、又牧野ト馬政計畫ニ關スル質問モ大體終リマシタ、第一ノ馬ノ増産ニ伴フ生産農家ノ生活安定ニ關シマシテノ質問ノ中、價格構成ノ點ト飼料ノ點ダケ終リマシタノデ、今度ハ其ノ中ノ購入資金簡易融

通シテヤルヤウナ御考ハアリマスカドウカナ、御尋シテ置キタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 只今御話ノ馬ノ購入資金ノ融通ニ付キマシテハ、支那事變發生以來ノ徵發馬補充ノ爲ノ購入等ニ付テハ、關係農業團體等テ融通ヲ致シテ參ツタコトモアリマス、尙ホ畜産組合、産業組合等テ通ジマシテ、政府ノ低利資金モ若干ダケハ從來モ融通サレテ居ルノデアリマシテ、今後モ必要ニ應ジテ是ガ融通サレルコトト思ヒマス、尙ホ産業組合中央金庫ニ於キマシテモ、馬ノ資金ヲ融通シテ見タラドウダト云フ御話ガアリマシテ、近ク數日前モ中央金庫ニ於テ關係者ガ集リマシテ、其ノ範圍方法等ニ付テ打合テ致シテ居ルノデアリマス、私共ト致シマシテモ御話ノヤウニ、飼育者ノ方ノ便宜ヲ餘程考慮致シマシテ、出來ル限リ其ノ便宜ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○野澤委員 私等ノ痛切ニ感ジテ居ル點ニ付キマシテ、只今政府當局ノ御答辯デハ、善處ヲサレテ居ルコトヲ聽イテ、洵ニ嬉シク感ズル者デアリマス、併シ唯單ニ善處スルト云フダケテナクテ、ドウシテモ私ハ牛ヲ購入スル資金ヲ産業組合テ融通スルヤウニ、此ノ際ソレヲ實行ニ移シテ裁クヤウニシテ貫ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、御承知ノ通り唯單ニ是ハ國防馬政計畫ト云フコトテナクテ、産業馬政計畫ヲモ兼備シテ居ルノデアリマシテ、生産力擴充、特ニ農村ニ於ケル農産物ノ生産力擴充ト云フコトニ付キマシテハ、努力ガ不足デアリマシテ、畜力利用ニ依ツテ生産力ヲ擴充スルト云フコトガ、過小農制ノ我國ニ取ツテハ最モ必要ナコトデアリマス、左様ナ譯デアリマシ

通ノ點ニ付キマシテ、一言質問シテ見タイト思ヒマス、同僚ノ質問ニ對シマシテ、政府ハ種牡馬ノ點、種牝馬ノ點ニ對シマシテ助成金ヲ交付スルト云フ内容ヲ見ルト、極ク僅カデアリマシテ、是デハ多クノ農家ガ馬ヲ飼育スルコトガ、困難デハナイカト感ジテ居ル點ヲ申上ゲテ置キマシタ、尙ホソレニ敷衍致シマシテ申上ゲ置キタイコトハ、御承知ノ通り馬ヲ飼育スル農家デモ、中農以上ノ方々ハ自分テ馬ヲ購入スル能力ガアルノデアリマスガ中農以下ノ方々ダト、中々購入シ得ル能力ガナイノデアリマス特ニ馬ノ値段モ段々上ツテ來マスシ、三百圓、四百圓ト云フヤウナ纏ツタ金ハ、農家ニハ中々ナイノデアリマス、デアリマスカラ、勢ヒ馬ヲ買フ場合ハ牛馬商カラ買フト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ場合三百圓、四百圓ノ纏ツタ金ハ拂ヘマセヌノデ、長野縣ノ如キニ於キマシテハ、春夏秋ノ養蠶ノ上簇期ニ拂フト云フコトニシテ居ルノデアリマス、ソレモ中々思フヤウニ支拂ヘナイデ、其ノ金利ガ嵩マツテ、却テ困ツテ居ルト云フヤウナ實情ニアルノデアリマス、斯様ナ狀態デアリマシテ、此ノ大馬産計畫ヲヤル上ニ於キマシテモ、農家ガ馬ヲ買ヒ得ル力ガナイト云フコトニナリマス、是ハ憂慮スベキ問題デアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ、政府ノ御意見ハ、助成金ダケニ依ツテ此ノ馬政計畫ノ遂行ヲ期シ得ルヤウナコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、ソレ以外ニ、例ヘバ産業組合ガ牛ヲ購入スル場合ニ、其ノ資金ヲ融通シテヤルヤウニ、馬ヲ購入スル場合ニ於キマシテモ、政府ニ於キマシテ、其ノ購入資金ヲ簡易ニ融

テ、特ニ過小農制ノ耕作農民ニ必要ナ馬四ト云フノガ、今回ノ中半血種デアリマス、「アングロノルマン」種デアル此ノ中半血種デアリマス、今回ノ馬政計畫ハ、此ノ點デハ能ク考ヘテ立案シテ下サツタモノト思ツテ、私ハ感謝シテ居ル次第デアリマスケレドモ、感謝シテ居ルダケデ、ソレガ實行ニ移サレル場合ニ是ガ本當ニ飼育者ノ安心ヲスルヤウナコトニナラナイト、感謝ガ却テ逆ニナルヤウナ事ニナルノデアリマシテ、馬政局長官ハ御存知カドウカ知レマセヌガ、私ハ馬ノ飼育者ニ付キマシテモ色々悲惨ノ事實ガアルノデアリマス、東北方面ハ私ハ學生時代ニ於テ能ク内容ヲ知ツテ居ルノデアリマス、卑近ナ例ヲ申上ゲマスレバ、長野縣本曾地方ハ馬小作ト申シマシテ、妊娠シテ居ル馬ヲ預カルノデアリマス、サウシテ仔馬ガ生レルト七割ハ馬主、所謂馬地主ニ持ツテ行カレ、アトノ三割ノ餘リ扶持ヲ頂戴スルト云フノガ馬小作デアリマス、サウ云フ狀態デアリマシテ其ノ馬小作ハ馬ニ子供ヲ生マセテ、ソレヲ糶市場ニ出スマデニハ、中々容易ナラヌ費用ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、サウシマスト馬地主ノ方ハ餘程好イ利潤ニナルノデアリマスガ、馬小作ノ方ハ算盤ヲ彈イテ見ルト、手ニ付クノハ何モノナイト云フコトニナル、ソレモ昔ノ如ク混牧林地ガ相當ニ開放サレテ居ル時代田圃ノ畔ナドニ於テモ自由ニ馬ヲ飼育出來テ居ル當時ハ、ソレデモ宜カツタノデスガ、段々畦畔爭ヒマデモヤカマシク叫バレルヤウニナツテ來タ今日ニ於キマシテハ、馬小作ハ中々引合ハナイ、最近ニ於キマシテハ馬小作ノ人々ハ、馬地主カラ頼マレテモイヤダト云フコトニナツテ來テ居ル事情デアリマス、コン

ナコトニナルト結局先程カラ申シマシタ通り、馬ノ増産計畫モ暗礁ニ乗上ゲルコトニナルデアリマス、馬政局長官カラ先程善處サレト云フ御言葉ハ頂戴シタノデアリマスガ、ドウシテモ此ノ際資金ノ融通ニ付キマシテハ、十分考慮シテ戴キタイノデアリマス、何モ借り放シト云フ譯デアリマセヌ、ソレヲ借リテ償還スルノデアリマス、其ノ償還ハ長期デアルガ、特ニ擔保物件ヲ取ツテ居ル、馬ハ家畜保險制度ガ確立シテ居ルノデアリマス、資金ヲ融通シテモ私ハ決シテソナ危険ナコトハナイト思ヒマス、是ダケノ馬政計畫ヲ立テタノデアリマスカラ、政府ハ其ノ資金ヲ出シテ然ルベキデアル、又其ノ資金ヲ出ス位ノ一ツノ迫力ガナカッタラバ、到底此ノ大馬政計畫ヲ遂行スルコトハ出来ナイ、私ハ斯様ニ信ジテ居リマス、此ノ意義アル馬政計畫ニ對スル資金ノ融通ニ付キマシテ、モツト熱意アル當局ノ御答辯ヲ願フテ置キタイト思フデアリマス

○荷見政府委員 只今ノ馬小作ノ問題ニ付キマシテハ、地方廳ノ主任官等ヨリモ相當切實ナ要求ガアルノデアリマシテ、御話ノヤウニサウ云フ境遇ニアル者ノ利益ヲ増進シ、馬ノ生産ヲ増加スルヤウニ致シタイト思ツタノデアリマス、尙ホ馬ノ購入等ノ問題ニ付キマシテ、一部ノ助成ヲ爲スノ途モアル譯デアリマス、尙ホ資金ノ融通ト云フコトニ付キマシテハ、是マテ金融關係ト致シマシテハ、馬ノ價格ガ安定ヲ缺クト云フヤウナ點カラ餘程難色モアツタノデアリマスカ、今回ノ馬政計畫ノ建前カラ申シマスト、馬ニ對スル需要ガ廣範圍ニ多量ニ起ツテ來タノデアリマシテ、斯様デアレバ價格ト云フモノモ、隨テ安定スルコト

シタ資料ヲ見マス、軍馬資源保護法案ノ第八條鍛鍊馬競走ノ點ニ、其ノ片鱗ガ現レテ居ルデアリマシテ、外ニハ馬政上ニ於ケル各機關ノ綜合計畫ガ、現レテ居ラナイヤウニ見受ケラレルデアリマス、第八條ニ於キマシテハ鍛鍊馬競走ハ命令ノ定ムル所ニ依リマシテ畜産組合聯合會云々ト云フコトガ書イテアルデアリマシテ、是ダケデアリマシテハ其ダ物足ラナイ感ジガスルデアリマス、此ノ馬政計畫ヲ遂行スルニハ、唯頭ノ方ダケデアリマシテ立テテモ駄目デアルト思ヒマス、何ト云ツテモ下ノ生産者、飼育農家ガ其ノ氣持ヲ持タナケレバ駄目ダト思ヒマス、ソレト聯關ヲ持ツテ居ルノガ各地方ニアル畜産組合團體デアリマス、又其ノ指導ヲシテ行クベキモノハ人的資源デアルト思ヒマス、人的資源ハ此ノ場合ニ於キマシテハ獸醫師ダト思ヒマス、所謂生産者、飼育者、畜産組合、ソレカラ獸醫師會——上ノ方ヘ行キマシテハ馬匹協會トカ色々アリマスカ、兎ニ角直接馬産計畫ノ實踐的ノ衝ニ當ルベキモノハ、今ノ生産飼育者ト獸醫師ト畜産組合デアルト思フデアリマス、此ノ綜合計畫ト云フモノニ對シマシテ、政府ハ如何ナル御所見ヲ御持チニナリマスカ、其ノ一點ヲ御聽キシテ置キタイト思フデアリマス

○荷見政府委員 今回ノ馬政計畫ニ伴フ人的指導機關ノ擴充ノ問題ニ關聯致シマシテハ、各種馬出張所ニハ貸付ノ種牡馬ノ增加ニ伴ヒマシテ、十分デアリマセヌガ、指導ノ設備モ若干増加スルコトニ相成ツテ居リマス、又地方廳ノ地方馬事團體等ニ對シマシテモ、人的施設ヲ充實致シタイト云フデアリマス、ソレカラ昨日申上ゲマシタヤウニ、軍馬資源ノ保護關係ニ於キ

トガ豫想サレト思フデアリマス、其ノ點カラモ資金ノ融通ハ比較的容易ニナルコトト思ヒマス、尙ホ先程申上ゲマシタヤウニ中央ノ金融機關等ニ於キマシテモ、今回ノ馬政計畫等ニ鑑ミマシテ資金ノ融通ノコトニ付テハ、特ニ心配シテ居ラレルデアリマスカラ、御希望ノヤウナ點ハ比較的速ニ實行ニ移サレルヤウニナルノデアリカト考ヘマス

○野濤委員 長官ノ御答辯ニ依リマシテ資金ノ融通ニ對スル全貌ガ明ニナツテ來マシテ、ソレデアリハ此ノ資金融通ノ必要ハ長官御自身強ク御認メテ居ルモノト認メテ差支ゴザイマセヌカ

○荷見政府委員 差支ゴザイマセヌ

○野濤委員 ソレハ近イ機會ニ於キマシテ、馬政計畫遂行ノ線ヲ強化スル意味ニ於テ、資金融通ノ方法ヲ講ゼラレルモノト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○荷見政府委員 講ジタイト思ヒマス

○野濤委員 ……最後ニ馬産ノ分布調整ト指導網ノ確立ニ付テデアリマス……今日マデノ日本ノ馬産地ハ、大體ニ於キマシテ東北、北海道ガ四割乃至五割ノ生産ヲシテ居ルト云フコトハ、統計ニ示サレテ居ル通りデアリマス、併シ今回ノ馬政計畫ニ依リマスト、大體ハ有畜農業ニ適スル馬種デアリマシテ、勢ヒソレハ全國的ニ普遍化サレルモノト思ヒマス、又普遍化サレナクテハナラナイモノト思フデアリマス、其ノ普及徹底ヲ圖ルニハ馬政關係ノ指導機關ノ綜合統一ガ、最も必要デアルト私ハ思ヒマス、具體的ニ申上ゲルナラバ馬政ノ綜合計畫性ガ必要デアルト私ハ思ヒマス、然ルニ政府カラ御示シニナリマ

マシテモ、相當ノ施設ヲ致ス積リデアリマス、是等ハ大體ニ於テ馬政局ノ統轄ノ下ニ、地方廳ナドモ各方面ノ機關ト相關聯シマシテ、御話ノヤウナ目的ヲ達スルコトニナルカト考ヘマス

○野濤委員 當然其ノ綜合計畫化ガ行ハレナケレバ、此ノ軍馬資源保護法ノ目的ヲ達スルコトハ出来ナイト思ヒマスカラ、政府ニ對シマシテモ私ハ是以上質問ハ致シマセヌ、ドウカ只今申シマシタヤウナ人的資源、所謂指導機關アスカ、畜産組合、生産飼育者ト云フ此ノ關係ヲ能ク考慮ニ入レテ下サイマシテ、此ノ調整ヲ有機的ニ執ツテ戴クコトヲ希望致シマシテ、私ハ質問ヲ打切りマス、最後ニ今回ノ私ノ質問ニ際シマシテ、政府當局ハ第一ノ問題タル飼料ノ問題ニ付キマシテハ、穀子飼料統制品目ノ中ニ入レルト云フコトト、ヨリ一層飼料ノ廉價配給ヲ行フト云フコトヲ言明サレタコトト、牧野ニ付キマシテハ國有林始メ林牧混淆地ニ對シマシテ、至急各々ノ機關ノ動員致シマシテ、此ノ開放ヲスルト云フ意思表示ヲサレタト云フコトト、只今馬政局長官ニ依ツテ馬小作制度ヲ是正スル爲近イ内ニ馬購入資金ノ簡易融通化ヲ圖ルベク努力スルト言ハレタコトト、此ノ三ツノ言明ヲ得タコトトハ、私ノ非常ニ満足スル所デアリマス……

○永田委員 東北地方ノ主産馬地ノ先輩ノ方カラ、詳シイ御質問ガアリマシタカラ、其ノ要點ハ盡キテ居ルト思ヒマスカ、私ハ特ニ日本ノ南方ノ關係カラ、マダ九州方面ノ人ノ質問ガナイヤウデアリマスノデ、斯ウ云フ方面ノ立場カラ少シ違ツタ角度ヲ以テ御尋シタイト思フデアリマス、ドウカ其ノ御積リテ御聽取アラント御願致シマス、第一ニ是ハ極ク簡單ナ問題テ

アリマスケレドモ、中等程度ノ獸醫科ハ儘カ今年限り廢止ニナルト思フノデアリマス、是等從來ノ日滿ヲ中心トシタヤウナ程度ニ於テハ——無論馬ノ醫者モ人間ノ醫者ト同ジヤウニ、高等專門學校程度ニシナケレバナラヌト云フコトハ、當然ノ問題デアリマス、但シ現況カラ考ヘテ、日滿カラ漸次北支、中支ノ方ニ、日本ノ色々ナ勢力ガ及ブト云フ状態カラ考ヘマシテモ、ヤハリ中等學校程度ノ獸醫科ノ廢止ト云フコトハ、少シ早過ギハシナイカ、之ヲ考ヘ直シテモウ暫ク之ヲ存續シテヤツタラドウカト思フノデアリマス、是ハ無論先ニ御話ニナリマシタ通りニ、從來ノ計畫デハ高等專門學校程度ニスルノガ必要デアリマスケレドモ、範圍ガ非常ニ廣クナツタ場合、高等專門學校程度デハ如何ナモノカ、ヤハリ高等專門學校アタリヲ終ツタ人ノ俸給ハ高イシ、中等學校程度アレバ、各町村トカ色々ナ地方ニヤル場合ニハ、幾分力安イ月給ヲ技術員モヤレルノデアリマス斯ウ云フ經濟的ノ立場カラ見テモ考ヘナケレバナラヌシ、中等學校程度ノ獸醫科今年限りデ打切ルト云フコトハ、モウ少シ私ハ考ヘル餘地ガナイカト思フノデアリマス、是ハ無論文部當局トノ關係モアリマスケレドモ、此ノ機會ニ農林或ハ陸軍方面カラ見ラレタ御感想チ一寸承ツテ置キタイト思ヒマス

○伊藤政府委員 只今永田サンノ御質問ノアリマシタ中等學校ノ獸醫科チ、十三年度限りテ廢止スルコトニナツテ居ルノハ、少シ早過ギハセヌカト云フヤウナ御質問デアリマス、最近ノ獸醫師ノ現狀カラ見マスレバ、御話ノヤウナ風ニモ考ヘラレルト思フノデアリマスガ、既ニ獸醫師トシマシテハ相當高級ナ技術

ヲ要スルト云フノデ、政府ニ於キマシテハ十三年度限りテ之ヲ廢止スルコトニシテ居ツタデアリマス、隨テ現在其ノ後繼者タル入學者ハ、モウ既ニ中等學校ニハ居ラナイノデアリマス、之ヲ更ニ存續致シマスレバ、三年後ニナラナケレバ卒業者ハ出ナイ課デアリマス、一方文部省ノ方デハ此ノ獸醫師不足ノ現狀ニ應ズル爲ニ、最近獸醫學科ノ新設或ハ既設ノ收容人員ノ増加等ニ依リマシテ、著々其ノ準備ヲ進メテ居ルノデアリマシテ、明年度以降ハ相當多數ノ獸醫ガ出ル計畫ニナツテ居リマス、大體待遇ノ點カラ言ヒマスレバ、今御話ノヤウナコトモアリマスケレドモ、數ノ上カラ言ヒマスレバ、サウ不足ヲ來スヤウナコトハナイノデアリナイカト思ヒマス、尙ホ滿洲ニ於キマシテモ獸醫師不足ノ現狀ニ鑑ミマシテ、講習等ニ依リ簡易ニ其ノ卒業者ヲ出スコトヲ計畫致シテ居リマス

○永田委員 御丁寧ナ御答辯ヲ満足致シマシタガ、滿洲方面等ニ付テ簡易ナ方法ヲ講ズルト云フコトデアリマシテ、安心シタ譯デアリマス、是ガモツト支那マテ伸ビルトスレバ、ヤハリ其ノ簡易ナ方法ガ滿洲ノミナラズ、北支カラ中支那方面ニ及ブヤウナコトガアリハシナイカ、サウ云フ點ニ於テ日滿支共通ノ立場カラ考ヘテ、モウ少シ具體的ニ申シマス、再ビ中等程度ノ簡易ナモノヲ復活スル必要ガアリハセヌカト思フノデアリマス斯ウ云フ點ニ付テ、モノニハ臨機應變ノ處置ト云フモノガアルノデアリマスカラ、必ズシモ廢止シタモノヲ復活スルカラ當局ノ責任デアルトカ、何トカ云フコトハアリマセヌ、實情ニ應ジテ活發自在ノ計畫ヲ講ズルコトガ、最モ國政ニ忠實ナコトデア

ナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ地方ノ實情ニ依リマシテハ、高等專門學校程度ノ者ヲ要セズシテ、普通ノ中等學校程度テ十分間ニ合フコトガアルト思フノデアリマス、尙又一遍ニ多數ノ技術者ヲ要スルトカ、色々經濟上ノ關係カラ考ヘテ、再ビ中等學校程度ノモノヲ附加スルノ必要ガ起リハシナイカト私ハ思フノデアリマスカラ、斯ウ云フ際ニ於テハ從來廢止シタカラ云々ト云フ、サウ云フ固イ意味ニナラヌヤウナ態度ヲ以テ、善處サレンコトヲ希望シマシテ、此ノ中等學校程度ノコトノ質問ハ是テ止メマス

○小笠原委員 一寸關聯シテ御尋シマスガ、只今ノ獸醫ノ問題デアリマス、今度ノ馬政計畫ヲ遂行スル上ニ於テ、衛生方面ノコトガ伴ハナケレバナラヌ、隨テ獸醫ノ配置其ノ宜シキヲ得ナケレバナラヌト云フコトハ勿論ノコトデアリマス、現在ノ所デハ、畜産ヲ主トスル地方デモ、獸醫ノ配置ガ不足ヲ來シテ、非常ニ不便ヲ感ジテ居ルノミナラズ、官廳方面デモ非常ニ獸醫ノ配置ニ困ツテ居ルヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、併シ只今ノ御答辯ニ依リマス、高等ノ學術ヲ受ケタ者ガ、今度ハ多數出ラレルト云フコトヲ伺ツテ居リマスケレドモ、是ハ實際ニ今度ノ要求ニ應ジテ、ソレノ配置セラレルヤウナコトノ程度ニナルノデゴザイマセウカ、ソレカラモウ一ツ私ガ伺ヒタイコトハ此ノ獸醫ノ中ニ、今迄中等程度ノ者ガ何カ學術的ノ缺陷デモアツテ、ソレガ今日マテヤツテ居ルコトニ對シテ不便ヲ感ジタト云フヤウナコト、或ハ今日陸軍トカ馬政局カラ見タ上ニ於テ、適當ナラバト云フヤウナコトノ御考ヲ持タレテ居ルノデゴザイ

マセウカ、其ノ點チ一ツ、同時ニ獸醫ト申シマシテモ御承知ノ通り、牛馬ニ對スル大動物ノ獸醫モアリマス、或ハ又犬トカ猫トカノ獸醫モアリマス、ヤハリ獸醫各其ノ目的ハ違フノデアリマス、殊ニ實際ニ病馬ノ治療ニ當ツテ、治療ト學術研究チスル獸醫、是モ亦各目的チ違ヘタ方面ニ行ツテ居ルノデアリマスガ何レノ方面モ勿論ハ必要デアアルノデアリマス、然ルニ大動物ニ直接接スル獸醫ハ、ヤハリ馬産地カラ出テ、少年時代カラ牛馬ニ接シテ居ル、サウ云フ地方カラ出タ獸醫ガ非常ニ歡迎サレテ居ルノデアリマス、同ジ馬産地デアリマシテモ、高等程度ノ獸醫トナルト、相當ノ年限ヲ要スル、巨額ノ學費ヲ要スルト云フノデ、馬産地地方ノ相當ノ資産家ノ家庭ノ者デナケレバ、入學チスルコトガ出來ナイ、資産家ノ家庭トナルト、ヤハリ牛馬ニ接スル機會ガ薄イ、本當ニ青少年時代カラ牛馬ニ接シテ居ル者ハ、ヤハリ中等程度ノ、簡易ニ入學シ卒業ノ出來ルモノガ、一番第一線ニ立ツテ奮闘スルニ都合ガ好イ、隨テ今マテノ中等學校ノ卒業生ノ獸醫ト云フモノハ、非常ニ馬産地各方面ニ於テ歡迎サレテ居ルノデアリマス、ドウモ此ノ連中ガ卒業シテカラ、一方ハ實際ニ當リ、一方ハ學術ノ方ノ研究ニ當ツテ奮闘シテ居ルガ、非常ニ有效ニ今日働イテ居ルヤウニ吾々考ヘテ居ルノデアリマス、實際吾々ノ地方トシテハ、一線ニ立ツテヤツテ居ルノデアリマス、又政府ノ方デモ、ソレノ中等學校ノ人々チ有效ニ配置スルコトモ、見受ケラレテ居ルノデアリマス、隨テ是カラ高等程度ノ者バカリ獎勵シテ、此ノ中等程度ノ者ヲ廢シタト云フコトハ、是ハ第一線ニ立ツ者ガ實際不足ヲ來タスコトニ

ナルト云フコトハ、非常ニ明ニナツテ來ルノデハナイカト考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ニ付テ、アナタ方ノ方デハ御心配ハセラレテナイデアリマスカ、ソレカラモウ一ツ、本當ニ馬事普及關係ニ當リマシテモ、農村ノ普通以下ノ家庭ノ連中ハ中等程度ノ獸醫ニナツテ、農村ニ在ツテ農村ノ生産者ト共ニ馬産改良ニ當ル、此ノ連中ノ今日マデノ指導ガ大イニ與ツテ今日ノ馬産ノ振展ヲ來シタ謂ハバ、斯ノ道ノ大功勞者デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是カラモ斯ウ云フ指導者ノ手ヲ經ナケレバ、假令政府ノ方ニ何人役人ガ居ツタ所デ、直接實際農村ノ指導ニ當ル斯様ナ人々ノ手ヲ經テヤラナケレバ、今度ノ馬産方針ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス何レノ方面ニシテモ、此ノ中等學校程度ノ獸醫ト云フモノハ必要デアアル、ソコデ馬政局並ニ軍部ノ方面ニ於テ此ノ第一線ニ立ツ獸醫、即チ馬ノ治療ニ當ル人ハ中等學校程度ノ者デナケレバナラヌト云フコトヲ、痛切ニ御感ジナサレテ、是ガ復活ニアナタ方ノ方モ、ソレノ御手配アルベキ管デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ滿洲方面ノ關係ヲ見マス、鼻疽疫等ガ蔓延シテ居ルガ、之ヲ治療スル研究ガマダ出來テ居ラヌ、隨テ滿洲方面ノ移民地邊リニ於テハ、之ガ爲ニ非常ナ惱ミヲ持ツテ居ルノデアリマス、大膽大計畫ヲ爲シテ、滿洲ノ移民地ニ對シテ此ノ内地馬産ヲ移殖スルト云フコトノ目的ニ出タノデアリマスガ、此ノ方面ノ治療ハ感染シナイ中ニ之ヲヤルト云フノデアリマスガ、併シ獸醫ノ配置ノ徹底ヲ缺イタナラバ、徒ニ結果ニ於テ病氣ノ爲ニ覺レルモノガ澤山アルト云フヤウニナル、斯様

ナコトニナルト、此ノ目的ノ遂行ハ出來ヌト思フノデアリマスサウ云フ御心配ハアリマセヌカ、滿洲邊リデ、一時的ニ一寸間ニ合ハスダケノ獸醫ヲ拵ヘルト云フヤウナコトヨリモ、中等學校程度ノ獸醫ノ方ガ遙ニ有效デハナイカト思フノデアリマス、今日ノ滿洲ノ方デハ、適當ナ滿洲獸醫ト云フヤウナモノヲ、設ケヨウト云フ計畫デアルト今御話デアリマスガ、此ノ獸醫ノ資格ニ付テ、内地ノ馬産地方面ノ中等學校卒業程度ノ獸醫ヲ使フノカ、ドツチニナルノデアリマスカ、私今初メテ承ツタノデアリマスガ、サウ云フコトヲ一寸伺ツテ置キタイト思ヒマス

○伊藤政府委員 獸醫ノ卒業者ノコトニ付キマシテハ、御手許ニ畜産局カラ資料ヲ配付シテ居リマシテ、相當多數ノ者ガ出ルコトニナツテ居リマスノデ、近キ將來ニハ、專門學校以上ノ者ガ相當多數出ル積リデアリマス、次ニ中等學校程度ノ卒業生ガ御話ノヤウニ從來日本ノ馬産方面ノコトニ非常ニ貢獻致シタコトハ、其ノ通りデアリマシテ、御尤ト思フノデアリマスガ、只今マデ進テ參リマシタノハ、專門學校程度ニシヨウト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、先程申上ゲマシタコトデ御諒承テ御願シタイト思ヒマス、尙ホ滿洲ニ馬ヲ移殖スルノニ、病氣ニ罹ツテ困ラナイカト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、今回滿洲ニ馬ヲ移殖スルニ付キマシテハ、移殖地デアリマス移民地ニ於キマシテ、鼻疽等ノ清淨區域ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、在來馬ノ鼻疽ガ蔓延シナイヤウ方法ヲ講ズルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、大體右御諒承テ願ヒタイト思ヒマス

ル次第デアリマス

(中略)

○小笠原委員 先刻ノ永田君ノ御質問ニ對シ、滿洲獸醫ト申シマスカ、サウ云フ方面ニ對シテ御答ニナツタヤウデアリマスガ其ノ獸醫チ今度滿洲國デアラレル、ソレト内地ノ中等學校程度ノ獸醫トノ比較ヲ承リタイノデアリマス、其ノ御答辯ガナカツタヤウデアリマスガ……

○伊藤政府委員 先程私ハ聞嚙ツタコトヲ御參考ニ申上ゲタノデアリマス、何年デアアルカハ只今ハツキリ覺エテ居リマセヌ、御必要ガアリマスレバ調べテ申上ゲタイト思ヒマス

(中略)

○中尾説明員 一寸説明員カラ申上ゲマス、滿洲ト朝鮮ニ於キマシテ今マデ獸醫ト致シマシテハ、内地ノ學校ヲ卒業シマシタ者、或ハ内地デ試験ニ通ツタ獸醫バカリチ、向フカラ内地ヘ來テ採用シテ居ツタノデアリマス、然ルニ最近ニナリマシテ朝鮮及ビ滿洲國ニ獸醫ノ學校ガ出來マシテ、漸次養成スルヤウニ至リマシタ、其ノ數ハ滿洲ト朝鮮ト區別ハ私持ツテ居リマセヌデスケレドモ、昭和十二年デ百八十名、十三年デ三百九十名、昭和十四年デ四百名ト云フ數ノ養成ヲ致シマス、デスカラ獸醫ノ少イ所ニ内地カラ採ツテ行クト云フコトハ、漸次少クナリマシテ、向フテ大體ニ於テ自給自足シテ行クヤウニナルト思ヒマス唯高級ナル獸醫、幹部ニナル獸醫ハ内地ノ大學、專門學校ノ卒業生ヲ採ツテ行キマスケレドモ、併シ下ノ方ノ第一線ニ立ツ獸醫ト致シマシテハ、朝鮮ナリ滿洲ニ於テ學校ヲ出タ者ガ、採用サレルコトニナルト考ヘマス、隨ヒマシテ獸醫不足ト云フモノハ、斯ウ云フ點カラ言ヒマシテモ、相當緩和サレルト考ヘテ居

○富吉委員 …… 獸醫ノ問題ニ付テ色々質疑ガアリマスルガ、是ハ此ノ大キナ馬政計畫ヲ實行シテ行ク上ニ於テ、相當委員諸君デモ御心配ノ餘リ、斯ウ云フコトガ繰返サレテ居ルノダト思フノデアリマスルガ、私モ此ノ中等程度ノ獸醫科廢止ト云フコトニ對シテ、少シク不安ヲ持ツテ居ル一人デアリマス、ト申シマスルノハ、人間ガ病氣ヲ致シマスルト、人間ノ身體ハ金ニ換ヘ難イノデゴザイマシテ、假令トシナニ貧乏シテ居リマシテモ、或ハ豫算ガナクテモ、其ノ醫療ハ十分ニ徹底的ニヤルノデアリマスルガ、残念ナル哉、馬ハ動物デアリマスル爲ニ、百圓ノ馬ガ五箇月モ六箇月モ病氣ニナルト、ソレヲ治療スルト云フコトハ不可能デゴザイマスノデ、大體見限りテ付ケテ田舎デハ養生致シテ居ルヤウニ、私共百姓ト致シマシテ經驗致シテ居ルノデアリマス、ソコデ農村ニ居リマスル獸醫ノ生活狀態、收入狀態ヲ見マス、是ハ別ニ統計モ持ツテ居リマセヌケレドモ私ノ見マシタ所デハ、東北、北海道ニ於キマスル馬産ノ先進地ハイザ知ラズ、私共ノ地方ニ於キマシテハ、獸醫諸君ノ生活ガ非常ニ惡イノデアリマス、即チ馬ノ治療ニ依ツテ得ル收入ガ、現在ノ生活トノ間ニ非常ナ噴進ヒテ生ジテ居リマシテ、大抵獸醫ハ村ノ畜産組合ノ囑託ニ依ツテ給料ヲ受ケルトカ、ソレナラバ宜シイガ、其ノ外ニ或ハ生命保險ノ代理店ヲヤルトカ、或ハ外交員ヲヤルトカ云フ狀態ニ依ツテ、辛ウジテ生計ヲ營ンテ居ル獸醫チ、私共非常ニ數多ク知ツテ居リマシテ、オ醫者サンノ如

ク、メキメキト金持ニナツテ、裕福な生活ヲシテ居ルト云フヤ  
 ウナ者ハ、私共遺憾ナガラ殆ドマダ見受ケナイノデアリマス、  
 斯ノ如ク獸醫師ノ生活ハ、其ノ商賣ガ餘リニ現在ノ社會ニ於テ  
 ハ引合ハナイ商賣デアリマスルノニ、果シテ高等專門學校ノ卒  
 業生ヲ澤山出シテ、大分其ノ點ニ付テ當局ハ御樂觀ニナツテ居  
 ルヤウデアリマスルガ、之ヲ田舎ノ獸醫師トシテ畜産ノ衛生ノ  
 任ニ當ラシメル御自信ヲ、御持チデアリマスカドウカ、是ハ東  
 京ヲ御考ニナリマシタセキカモ知レマセケレドモ、國家ノ爲  
 トハ申シナガラ、是等ノ多クノ卒業生諸君ガ農村ニ居付イテ、  
 果シテ眞ニ百姓ノ物言ハヌ動物ノ相手トナツテ行キ得ルカ、現  
 在ノ中等學校ヲ出タ技手デモ、多ク農村ノ所謂獸醫師ノ生活ガ  
 餘リニ良クナイ爲ニ、警察ノ獸醫ヲ志願シタリ、其ノ他ノ方面  
 ニ轉業致シテ居ルヤウニ私共ハ見受ケル、成程數字ノ統計ノ上  
 ニ於テハ、澤山卒業生ガ出テ參リマスルガ、是ガ果シテ農村  
 ニ居付イテ、眞ニ此ノ馬政計畫ノ樞軸ヲ成ス畜産衛生ノ業務ヲ  
 遂行シテ行キ得ルト云フ御見込ガ、事實オアリニナリマスカ、  
 是ハ大抵農村ノ出身——農村ニ於キマスル地主ノ息子ガ中等學  
 校ヲ出テ、頭ノ良イノガ高等專門學校ニ居マスルガ、是等ハ  
 殆ド田舎ニハ居付カナイデス、高等專門學校ヲ卒業シテ田舎ニ  
 居付イテ居ルノハ、醫者ガタツタ一ツ、其ノ醫者モ實ハ自分ノ  
 生レタ所ガ餘リ邊鄙デアルト、其處ニハ歸ラズニ殆ド町ヲ經營  
 シテ居ルノガ現狀デス、結局、農村ニ居付カセヨウトスルナラ  
 バ、此ノ馬政計畫ガ眞ニ農民ヲ潤スモノデアルカ、或ハモツト  
 獸醫師ノ方面ニ關シテ居付カセル何等カノ助成的ナ、補助的ナ

計畫ガオアリニナラナケレバ、是ハ結局机上ノ空論ニ終ルト、  
 私ハ懸念スル者デアリマスルガ、先ヅ此ノ點ニ關スル御意見ヲ  
 承ツテ見タイト思フ

○舊見政府委員 御話ノ通りニ、最モ必要ナル人間ノオ醫者デ  
 スカラ、中々邊鄙ナ所ニハ居付カヌ、斯ウ云フ御話デアリマス  
 レバ、ソレヨリ程度ノ變リマスル獸醫ガ、居付カナイト云フコ  
 トガアリ得ナイト云フコトヲ私ハ考ヘマセヌ、唯先般來政府委  
 員ノ方カラ御答辯ヲ繰返シテ申上ゲテ居リマスノハ、中等學校  
 ノ程度ノ獸醫ノ卒業生ト云フモノガ、獸醫師タル資格ヲ有セザ  
 ルヤウニナリマスナラバ、非常ナ獸醫ノ不足ヲ來スノデナイカ  
 ト云フ御質問ニ對シマシテ、先般來農林省ノ方カラ差上ゲマシ  
 タ調査資料ノヤウニ、相當數ノ帝國大學、官立專門學校、私立  
 專門學校、公立農學校獸醫科等ヨリ、多數ノ獸醫ノ資格ノアル  
 者ガ卒業スルヤウニナルノデアリマシテ、是等ノ數ガ或ハ需要  
 ヲ滿タス分トシテハ相當デアラウ、之ヲ分布セシムルカドウカ  
 ト云フコトニ付テハ、是ハ馬産ノ關係デアリマスノデ、必ズジ  
 モ獸醫其ノモノヲ目標ト致シマセヌデモ、馬ノ重要性カラシテ  
 馬ニ對スル、或ハ先般來御話ガアリマスヤウニ、國家ノ各施設  
 ナリ或ハ取引價格ノ問題ナリ、色々重要性ガ増シテ參リマスレ  
 バ、之ニ對スル待遇ト云フヤウナモノモ、相當ニ向上セラレル  
 デアリマセウカラ、田舎ヘマデア行互ツテ馬ノ衛生ニ改新ヲ爲シ  
 得ルコトニナルダラウト、私ハ考ヘルノデアリマス、是ハ何ノ  
 施設ニ致シマシテモ、醫者ノ配當マテ國家ガ直接ニ金ヲ出シテ  
 ヤツテ行クト云フコトハ、中々困難ナコトト思ヒマス、併シ

レチ不必要ナコトトハ思ツテ居リマセヌ、私共モ力ノ許ス限り  
 將來トモ若シモ獸醫ノ不足ノ爲ニ、馬ノ衛生ガ非常ニ害サレル  
 或ハ馬政計畫ノ遂行ニ困難デアルト云フコトデアリマスレバ、  
 困難ヲ排除スルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○森田委員 私人モソレハ相當重要ナ問題ト思ヒマス、一寸横取  
 リスルヤウナ恰好デスケレドモ、關聯シテ伺ヒタイト思ヒマス

——(中略)——

○森田委員 實ハ本會議アモ其ノ點ニ關スル質問ヲ致シテ居ツ  
 タノデアリマスガ、何レ機會ガアラウト思ツテ居リマシタ、ソコ  
 ア問題ハ何遍繰返シテモ同ジモノニナルカモ知レマセヌガ、此  
 ノ大キイ前提ヲ農林省ノ方テ忘レテ居ルノデハナイカト思フノ  
 デス、大キイ前提ト云フノハ何カト云フト、實際私等ノ方デハ、  
 相當馬ヲ産スル所ニ生レタ者デ、片手間ニオ醫者サンチヤツテ  
 居ル、ソレダカラ獸醫トシテ立ツテ行クノデス、ソコヲ御忘レ  
 ニナツテ獸醫師ヲ拵ヘサヘスレバ何處ヘテモ行クダラウト云ツ  
 タ様ナ事ヲ、農林省ハ御考ニナツテオイデニナルデハナイカト  
 思フ、ソレトモウ一ツハ東北地方ノ民度ノ低イ馬産地カラ、容易  
 ニ高等農林學校等へ入ル者ハナイノデス、恐ラクハ都會邊リニ  
 オイデノ方デ、別ナ學校へ入レナイ様ナ方ガ專門學校ノ方ヲ望  
 ンデ、農林學校ノ獸醫科ヘ向イテ行クデハナイカ、學校ヲ卒業  
 スレバ依然トシテ都會ノ方ヘ集中サレテ農村ヘ行キツコナイ、  
 ソコガ私等ノ非常ニ憂ヘル所デアリマス、デアリマスカラ、程  
 度ノ高イコトハ私等モ贊成スルノデスケレドモ、程度ガ高イカ  
 ラト云ツテ、オ醫者サンガ馬ノ居ル所ニ居ナイト云フコトニナ

ツタラ、何ニモナラヌコトニナル、ソコヲ現實ニ立脚ナサレテ  
 今マデノ農學校ノ卒業生(二箇年位ノ專攻科ト云ヒマスカ、サ  
 ウ云ツタヤウナモノヲ臨時テ宜イノデスカラ、一ツノ講習所見  
 タヤウナ形ヲ拵ヘテ、其所ヲ出タ者ニ特別ナ計ラヒテ獸醫ノ免  
 許狀ヲ、便法トシテ與ヘ得ルト云フヤウナコトニデモシテ行カ  
 ナイト、馬産計畫ニ基ク獸醫ノ不足ト云フコトハ、今日カラ明  
 ニ豫見スルコトガ出來ルト思フ、其ノ豫見シ得ルモノチ今此ノ  
 案ヲ通ストキニ漠然トシテ置クト云フコトハ、私等トシテハド  
 ウモ承服致シ兼ネル所ガアルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ  
 獸醫ノ不足ヲ豫見シ得ル、ソレチドウ云フ風ナ形ヲ補充ナサラ  
 ウトスル御考ガアルカ、ソレチ具體的ニハツキリサシテ置イテ  
 載キタイト、斯ウ思ヒマス

○舊見政府委員 是ハ前々カラ繰返シテ申シマスル以上ニ、私  
 ノ御答辯ハ出デナイノデアリマスガ、大體數ニ於テハ只今申上  
 ゲタ通り、ソレカラ分布情勢ニ於キマシテハ、昭和十三年十二  
 月十九日現在ニ於キマスル數ガ相當アリマス、北海道ガ千三百  
 七十八名、青森ガ五百四十七名ト云フ風ニ、各府縣共相當數ガ  
 ゴザイマス、ソレガ地元ニ落著クカドウカト云フ問題ニ付キマ  
 シテハ、是ハ御話ノヤウニ相當ノ教育ヲ受ケマシタモノガ、待  
 遇ガ非常ニ惡イト云フト、惡イ所ハ落著キニクイト思ヒマス、ソ  
 レカラ是ハ馬政ノ各般ノ施設ガ充實致シテ參リマシテ、馬ニ對  
 スル重要性ト云フモノガ増シマスレバ、之ニ對シテ必要ナル獸  
 醫ニ對スル需要ト云フモノガ起ルノデアリマシテ、其ノ需要ガ  
 起ツテ待遇ガ好クナリマスレバ、私ハ如何ナル田舎ト申シマシ



テモ、ソコニ獸醫ノ供給ト云フコトハ圓滿ニ行クダラウト思フ  
要ハ馬ノ行政ト云フモノニ對スル社會ノ認識ト云フモノガ少シ  
高マリマシテ、ソレニ對スル待遇等ガ改善サレルト云フコトニ  
アルダラウト思ヒマス、ソレ以上ハ中々困難ダト思ヒマス

○森田委員 御意見御尤ゴザイマシテ、自由ニ委シテ置ケバ  
自然サウナルデゴザイマセウガ、今日カラ豫見スルコトガ出來  
ルト思フノデス、豫見ト云フコトハ詰リ此ノ產馬計畫テ行クノ  
デスカラ、ドウシテモ其ノ點ガ極メテ重要ナンデス、豫見スル  
コトノ出來ルモノヲ問ニ合ハナクナツタカラト云ツテ、應急處  
置ヲ講ズルト云フヤウナコトハ、私ハ賢明ナ政治チヤナイト思  
フ、其ノ意味テ一ツ特別ナ御考慮ヲ煩ハシタイ、斯ウ云フノデ  
ス、其處ハ意見ノ相違ニナルト云フコトナラバ仕方アリマセウ  
ガ、併シ簡單ナコトチヤナイノデスカラ……

○荷見政府委員 私共モ田舎ノ地元カラ出タ人ガ能ク研究サレ  
マシテ、地元ヘ歸ツテ獸醫ノ仕事ヲシテ、馬政ノ事ニ貢獻サレ  
ルト云フコトニ對シテハ、一ツモ異存ハナイノデアリマスガ、  
社會ノ教育程度、知識ノ程度ノ増加ニ伴ヒマシテ、大體資格チ  
各般ノ方面テ引上ゲテ、獸醫ノ資格モ亦引上ゲラレテ參ツタト  
云フ際ニ、之ヲ今引下ゲルト云フコトニ付キマシテハ、或ハ考  
究ノ餘地ガアルカモ知レマセウケレドモ、先程カラ他ノ政府委  
員カラモ御答辯チ申上ゲマシタヤウニ、今度十三年度ノ廢止ヲ  
延期致シマシテモ、今年ニ入ツテ居ル者ガナイノデアリマス  
カラ、數年後テナケレバ出來ナイコトニナツテ居リマス、只今  
申上ゲテ居ルノハ其ノ定員ト云フモノトカ、或ハ新シイ學科ト

云フモノチ、各專門學校以上ニ文部省トシテハ増加致シマシテ  
之ニ對シテ異存ノナイヤウニシヨウ、斯ウ云フ譯デアリマス、  
ソレテ私共ト致シマシテモ、若シモ是等ノ關係上將來地方ニ於  
ケル馬ノ衛生ト云フコトニ、不備缺陷ヲ生ズルト云フヤウナコ  
トニナリマスレバ、出來ル限リ各種ノ施設ヲ講ジテ遺憾ナキチ  
期シタイト思ヒマスガ、今ノ所ハ是レ以上ハ申上ゲルコトハア  
リマセウ

○永田委員 此ノ中等學校程度ノ獸醫科ノ復活ニ付キマシテハ  
他ノ諸君カラモ色々御加勢ガゴザイマシテ、大變私モ有難ク思  
フガ、是ハ當局ハドウ考ヘテイラツシヤルカ知リマセウケレド  
モ、是ハ確ニ無理ガ此處ニアルト思ヒマス、ソレテ今二箇年間  
ハ生徒ハ居リマセウケレドモ、ヤハリ是カラ滿洲ヤ支那ニ内地  
ノ者ガ伸ビテ行クニハ、成タケ自分ノ郷里テ教育ヲ受ケテカラ  
向フニ行ツタ方ガ宜イ、サウスルニハ今ノ當局ノ説明ニ依リマ  
スト、朝鮮ト滿洲ニハ中等學校程度ノモノヲ作ツテ、向フテ生  
産シテ居ルカラ差支ナイト仰シヤルガ、吾々ノ立場カラ考ヘマ  
スト、日滿支ヲ共通シテ考ヘタ場合ニ、又新事ニ對シテハ新  
シク茲ニ設備チシナケレバナラヌ、然ラバ又之ヲ復活スルノ必  
要ガアルト私ハ思フ、ソレテ當局ノ方ガ一旦俺ノ方テ廢止ヲ決  
メタカラ、マア時機ヲ待テト云フヤウナコトテ、コンナ無理チ  
ナサルト、誰ガ迷惑チスルカト言ヘバ國民ガ迷惑チ蒙ル、吾  
吾ガ當局ニ斯ウシテ質問チスルノハ、贅澤ニ質問スルノデアハ  
リマセウ、皆様方ガ確ニ地方ノ實情ト、中央ニ居ツテ政治チ爲  
サル場合ニ、何カノ行違ヒガアリハセウカト思フカラ、サウ云

フ點チ吾々田舎代議士ガ來テ、御參考ノ爲ニ説明チシテ居ル譯  
デアリマス、大變ウルサイコトデゴザイマセウケレドモ、將來  
斯ウ云フコトモ考ヘラレテ、一ツ善處サレンコトチ希望シテ、  
私ハ是レ以上ハ申上ゲマセウ、次ハ地方競馬ノ廢止ニ付テ、今  
頃之ヲ言フト當局ハ、オ前達ハ昨年議會テモ皆贊成シテ居ルノ  
ニ、クダラヌコトチ今頃質問スルナト云フ御叱リガアルカモ知  
レマセウケレドモ、確ニ此ノ地方競馬ノ廢止ト云フノモ、先程  
私ガ申上ゲマシタ中等學校ノ獸醫科廢止ト同ジヤウナ無理ガ、  
地方ニ生ズルト云フコトガアリマスカラ、此ノ點ニ付テ私ハ、  
廢止サレマシタケレドモ、百十幾ツアツタノチ全然之ヲ廢止シ  
タノハ宜シクナイ、ナニソレハ一部ハ地方鍛鍊競馬ノモノニ使  
フノダト仰シヤラレテモ、マダ全國ニ數十ノ整理サレタ地方競  
馬ガアル、公認競馬ヲ廢止シナイテ居ツテ、地方競馬ダケテ廢  
止サレル、公認競馬ハドウ云フ目的カ私共能ク分リマセウケレ  
ドモ、是ハ都會地方テ娛樂機關トシテ盛ンニヤツテ居ル、是ハ  
又相當收入モアルダラウト思フ、ダガ都會ダケニ娛樂ヲ許シ、  
吾々農村ニ於テハ此ノ競馬ト云フモノハ一面カラ言フト娛樂機  
關ニナツテ居ル、此ノ娛樂機關チ奪ハレテハ大變產馬地ハ困ル  
ノデアリマス、是ハ農林省カラ出タノ軍隊カラ出タノ力知ラ  
ヌケレドモ、吾々ガ地方ノ競馬ヲ作ルノニハ、地方農民トシテ  
隨分苦勞チシテ居ル、借金シタリ色々シテ漸ク斯ウ云フ地方競  
馬ト云フモノヲ拵ヘテ、馬産振興ニオ互ニ努力シタノデアル、  
ソレチ又今頃俄ニ廢止スル、中等學校程度ノ馬事教育モ廢止ス  
ル、サウシテ地方競馬モ廢止スル、先日モ大藏大臣ニ豫算委員

會テ、色々御質問ガアツタヤウデアリマスガ、何モ彼モ之チ都  
會ニ集メテシマフ、サウシテ農村チ抛ツタラカシテ置クト云フ  
コトハ、國家ノ將來ニ付テ由々シキ問題ニナル、之ニ對シテ官  
廳ノ方ガ確ニ、地方ニ對スル認識ニ多少缺陷ガアルト思フ、此  
ノ意味カラ公認競馬ダケテ廢止セズシテ、地方競馬ノミチ廢止  
シタト云フノハ、確ニ無理ガアルト思フノデアリマスガ、當局  
ハ飽マテ此ノ地方競馬ノ廢止チ其ノ儘ニシテ、何處マテモ復活  
シナイト云フ御意思テイラツシヤルカ、色々今マテ説明ガアツ  
タヤウデスケレドモ、私ハ此ノ優勝馬ノ鍛鍊競技會以外ニ何ト  
カ名稱チ付ケテ、例ヘバ軍馬鍛鍊場ト云フヤウナ名稱ノ下ニ、  
地方競馬ハ成タケ之ヲ廢止シナイヤウナ御工夫ハナキモノカ、  
此ノ點ニ付テ此ノ際一應御説明チ御願スル次第デアリマス

○荷見政府委員 今回ノ軍馬資源保護法ノ制定ニ伴ヒマスル鍛  
鍊馬競走ノ制度ノ新設、竝ニソレニ伴フ地方競馬ノ廢止ニ付キ  
マシテハ、是マテモ數回申上ゲマシタヤウニ、大體地方競馬ニ  
付キマシテハ從來ノ經過ニ鑑ミマシテ相當ノ貢獻モアリマスシ  
又一面ノ見方ニ依リマスト非難チ受クベキ點モアルノデアリマ  
ス、之ヲ整理致シマシテ鍛鍊馬競走ニ統制致シマスコトガ、今  
回ノ馬政計畫全般ノ施行上適當ナリト認メマシテ、御提案チ致  
シタ次第デアリマスカラ、私共ト致シマシテハ地方競馬ハ之チ  
廢止スベキモノト斯様ニ考ヘテ居リマス、只今御話ノ田舎テ馬  
チ集メテ競技チスルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ優  
勝馬投票券ト云フヤウナモノチ伴ヒマセウ單ナル鍛鍊競技テア  
リマスレバ、之チ施行スルコトハ差支ナイノデアリマスカラ、

念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○永田委員 私ハ地方競馬ノ廢止ト鍛鍊技場ノ問題トハ、離ルベカラザルモノガアルト思フノデアリマス、之ヲ北海道ダケチ三ニシテ他ノ府縣ヲ皆畫一的ニ一ツニサレタ、コ、ニ私ハ無理解ガ生ズルト思フ、中等學校程度ノ獸醫科ヲ全部廢止シテ高等專門ニシタ、是モ無理ガアル、地方競馬ヲ全部廢止シテ一縣一箇所ノ優勝馬ノ競技鍛鍊場ヲ置ケバ宜イト云フ案ハ、其ノ意味カラ言フト机上ノ一ツノ空論ニナル傾向ガアル、是ハ能ク地方ノ實情ヲ御調査ニナツテ、吾々地方民ノ實情モ斟酌サレヌト、實際御實施ノ際ニハ無理ガ生ズル、田舎ノ百姓トカ農民ハ法律ガ出來テカラ初メテ之ヲ怨ムガ、其ノ時ハモウ仕方ガナイ、ソコテ之ヲ考ヘテ見マス、北海道ハ無論澤山ノ馬ヲ産シマスカラ三箇所アルノハ御尤デアリマス、ダガ或ル地方ニ於テハ一縣一箇所アルノハイカヌ所ガアル、皆様方ハナニ、ソレハ地方ノ聯合組合長ガ皆來テ贊成シテ居ルト仰シヤルカモ知レヌ、聯合組合長モ俄ニ上京シテ色々ヤツタ場合ニハ多少誤解ヲシタリ、或ハ間違ヒガナイトモ限ラヌ、斯ウ云フ點カラ考ヘテ、ヤハリ私共地方ノ實情モ申上ゲナイトイカヌト思ヒマスガ、鹿兒島縣ノ如キハ大隅、薩摩ト云フ二半島ヲ出來テ居ル、元薩摩ニハ薩摩半島ノ谷山ニ軍馬補充部ガアツテ、是ガ廢止サレタ、サウシテ今大隅半島ニハ競馬場ガアル、ドチラガ馬ガ多イカト云ヘバ大隅ガ多イ、其ノ大隅ノ方ニハ優勝馬ノ鍛鍊場ヲ置カナイ、之ヲ行政官廳ノ都合ノ好イ鹿兒島市ニ置イタ場合、鹿兒島市ノ競馬場ガ鍛鍊場ニナツタ場合、馬ノ産地ノ大隅ノ人ハ佐多卿カラ始良

郡ヲグルツト廻ツテ、馬ヲ曳イテ行カナケレバナラヌ、私共ノ馬ハ海ヲ能ク泳ギマスガ、船ヲ搬ブノニハ大變骨ガ折レル、サウ云フ點ヲ實際ヤツテ見ルト私ハ確ニ無理ガ生ズルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ハマダ痒イ所ニ手ノ届カヌヤウナ感ジガスルノデアリマス、北海道チ三ニシテ府縣ハ全部一律一箇所ニスルト云フ所ニ無理ガアル、サウスレバ公認競馬モ全然廢止スルガ宜シイ、公認競馬チヤラセテ、吾々農村ニノミ不便チサセテ、ソレチ平氣ヲ見テ居ルト云フノハ、軍部ノ立場カラ見テモ御親切ナルヤリ方デハナイト思フ、殊ニ色々東北ノ方カラ非常ニ適切ナル御質問ガアリマシタガ、軍部トサレマシテモ、農林省トサレマシテモ、此ノ産馬方面ニ付テ南九州ニ對シテ少シ御注意ガ拔ケテ居リハセヌカト思フ、吾々ノ地方ハ一面カラ云フト、戰爭ガアル場合ニハ六師團バカリデハナイ、四國ノ馬マテ鹿兒島縣、宮崎縣ハ擔當シテ居ル、サウシテ三回四回ノ徵發ニモ能ク面倒ヲ見テ居ル、併シソレモ國家ノ爲デアルトオ互ハ欣ンテ之ニ從事シテ居ル、固ヨリ吾々ノ地方ハ昔カラ尙武心ノ強イ、軍人ノ多イ所デアルカラ、ドンナ御無理ガアツテモ不平ハ申シマセヌ、ケレドモ其ノ民ノ心ノ苦シイ所チ、上ニ立ツ人ハ察シテヤルダケノ親切味ガナクテハ、イカヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味デアリマスカラ、私共ハ北海道チ除イタ一縣一箇所ノ鍛鍊場ト云フノニ、非常ナ不服チ感ズル者デアリマス殊ニ南九州鹿兒島ノ如キハ一層甚シイ大苦痛チシテ居ルト云フコトヲ申上ゲタイ、是等ニ付テ當局ノ見解ト私共ハ多少違ツタ見解チ持つテ居ルノデアリマスガ、少クトモ斯ウ云フコトハ唯

一時ノ開塞チニシテ置クベキコトデハナイト思フ、現ニ私共ノ地方デハ此ノ二回ニ互ル六師團ト十一師團ノ徵發ガ數回行ハレタ爲ニ、村長ノ代リニ行ツタ助役ガ發病シテ死ンダ例モアリ、尙ホ四國ノ邊ニ行ツテ馬ニ蹴ラレテ死ンダ例モアリ、其ノ他色々病氣ニナツタ町村役場ノ吏員ナドモ多イ、隨分是ハ國家ノ爲ニ貢獻シテ居ツタト思フ、ダカラ斯ウ云フ所ニハ相當ノ考慮チ拂ハナケレバナラヌ、現ニ歴史ヲ申上ゲマスナラバ、鹿兒島縣ノ大隅半島デハ、島津藩時代ニハ鹿屋町ニ五百町歩ノ牧場ガアツタ、ソレハ今町有ニナツテ居ルガ、藩政時代ニハ牧場ガアツテ、畜産ニハ藩公モ非常ニ全力ヲ傾注シテ御獎勵ニナツタ、尙ホ其ノ頃ハ一年ニ一回勇壯ナオ祭ガアツタ、其處ヘハ婦人マテモ馬ニ乗ツテ見ニ行ク、男女揃ウテ馬事獎勵チ盛ンニヤラレタ美風ノアツタ所デアアル、御維新ニナツテモ早馬ト云フモノガアツテ、馬ヲ乘廻シタモノデアアル、昔ノ斯ウ云フ有名ノ歴史ノアツタ所チ葬リ、明治ノ時代ニナツテモ一時薩摩半島ノ谷山ニアツタ軍馬補充部ヲ軍ハ廢止サレテシマツタ、私ハ此ノ軍馬補充部ヲ廢止サレタノモ大變怪シカラヌト思フ、斯ウ云フ馬産ノ多イ鹿兒島縣ニ、軍馬補充部ガ一ツモナイ、唯國立ノ種馬所ガ大隅ニ一箇所アルダケデアアル、斯ウ云フコトヲ考ヘテモ農林省ヤ軍部ハ、アノ南九州唯一ノ産馬地ニ對スル國家的施設ガ足ラヌト思フノデアアル、宮崎縣ニハ軍馬補充部ガ二ツモアル、併シ鹿兒島縣ヨリハ産馬數ガ少イ、一番産馬數ノ多イ鹿兒島縣ニハ何モナイ、茲ニ私ハ非常ニ不滿チ感ズル一人デアアル、斯ウ云フコトニハ特ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ此ノ機會

ニ申上ゲタイノハ、馬ノ年々減少シテ行ク原因デアリマス、之ニ付テハ吾々モ多少聞イタコトモアルノデアリマスケレドモ、此ノ減少シテ行クコトニ向ツテ當局ハ國防上ノ見地其ノ他カラ心配サレ、斯ウ云フ大キナ馬産計畫チ立テタモノト思フガ、此ノ馬産ノ減少ニ付テ、其ノ原因ノ主ナルモノチ此ノ機會ニ御説明チ伺ツテカラ、又改メテ御伺シタイト思フノデアリマス、質問ノ要點ガ分ラナケレバモウ一度申上ゲマス、此ノ馬産減少ノ傾向ハ出來ルナラバ數字的ニ言ウテ戴イタ方ガ分リ易イ、例ヘバ十年前ニ切ツテ、今カラ十年前ニハ全國ニ此ノ位馬ガアツタ二十年前ニハ此ノ位現在ハ此ノ位、斯ウ云フヤウ二十年一期トシテ三段位ニ説明シテ下サレバ結構デアリマス、其ノ頭數ノ概略ト、ソレカラ斯ウ云フ譯テ減少シテ行クコト云フ原因ノ主ナルモノチ二三言ツテ戴ケバ、結構デアリマス

○伊藤政府委員 農林省デ調ベテ統計ニ舉ゲテアルノチ申シマスレバ、昭和十一年ハ百四十三萬一千頭、其ノ五年前ノ昭和七年ハ百五十四萬一千頭、其ノ五年前ハ減ツテ居リマシテ百四十九萬四千頭、其ノ前ノ大正十一年ハ百五十八萬五千頭、大體斯様ナ趨勢ニナツテ居ルノデアリマス、馬ノ減少シタ原因ハドウデアアルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ各縣ニ依リマシテモ相當違フト思ヒマス、簡單ニハ此處デ申上ゲラレナイト思ヒマス○永田委員 此ノ減少ノ原因ガ簡單ニ申上ゲラレナイト言ハレルガ、私ハサウ澤山ハ聽イテ居リマセヌ、最モ主要ナルモノダケハ御承知ニナルデアラウト思フ、ソレチ減少セヌヤウニ對策チ講ズル所ニ、當局ノ御苦心ガアルノデハナイカ、是ハ大事ナ

點デスカラ一ニハ種明カシテ戴キタイ  
**○荷見政府委員** 馬ノ總數ノ減少シタ原因ハ何デアルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ御質問ニナル方ノ方ガ能ク御承知カモ知ラント思ヒマス、私共カラ見マスト原因ハ非常ニ複雑デアリマシテ、各地方々々ノ經濟事情ニ因ルノデアリマセウカラ、生牛可ナ却テ御惑ヒニナルヤウナコトヲ申上ケルヨリハ、アナタ方ノ御判斷ニ御任セシタ方ガ宜カラウト思ヒマス

**○永田委員** 私ハ親切ニ申上ゲマスガ、ソレハ國民ハ不滿ニ思ヒマス、斯ウ云ウ大事ナ馬産計畫ヲ爲サルニハ、何故ニ馬ガ減ツテ行クカト云フ原因ガ分ラナケレバナラナイ、ソコテ私ハ馬匹ノ衛生ノコトヲ申シマシタガ、ソレニ對シテ流産ガ多イトモ仰シヤツタデアリマセヌカ、澤山流産チスルナラバ、馬ノ衛生ニ關スル教育ノ方面、或ハ馬ノ醫者ノ足ラヌコト、斯ウ云フ人間ノ方ニ對シテモ考慮チ拂ツテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ減少スル原因ハ所謂農村ノ工業化デアアル、是ハドウシテモ馬ハ今日運搬力ニ於テ自動車ヤ「トラツク」ニ勝テル譯ハナイ、サウ云フ點カラ考ヘテモ今日日本ノ國ガ段々道路ガ開ケ、汽車、自動車「トラツク」ガ走ルヤウニナレバ、斯ウ云フモノト馬ガ競走出來ナイコトハ分ツテ居ル、其ノ他ニモ色々原因ハアルガ、主ナル原因ハ馬ヲ飼ツテモ引合ハナイ、儲ケガ少イ、今ノ百姓ハ馬鹿デアアリマセヌ、儲ケルコトナラバ當局ガ獎勵シナイデモヤル、儲ケガ少イカラ馬ガ減ツテ行ク、私共ハ能ク知ツテ居ル、又馬ヨリモ近頃ハ牛ノ方ガ非常ニ宜イ、私共ノ地方デハ皆早イ馬ヨリモ遅イ牛ニ乗換ヘテ居ル、是ハ言葉

ヲ換ヘテ言ヘバ骨ト肉ノ問題デアアル、昔支那ニハ伯樂ト云フ偉イ博勞ガアツテ、死馬ノ骨ヲ千金デア買ウタト云フ話モアルガ、馬ハ骨ヲ主トシナケレバナラヌガ、馬ノ骨ガ安イ、肉ノ問題カラ言ヘバ牛肉ノ方ガ高イ、私ハ此ノ間新橋ニ行ツテ牛肉ヲ買ツタガ、牛肉ノ一斤ハ百匁デアルト云フコトデアツタ、吾々ノ田舎デハ百六十匁ガ一斤デアアル、然ルニ東京デハ百匁一斤ダト云フ、幾ラデスカト聞クト二圓ダト言ハレテビックリシタ、牛肉百匁二圓ナリト云フ状態デアリマスカラ、牛ノ仔ガ値ガ良イ答デアリマス、ダカラ牛ノ仔ハドン／＼早ク賣レテシマフ、而モ馬ト鹿ハ一年ニ一回シカ交尾シマセヌガ、牛ト云フモノハ時期ヲ嫌ハズ交尾スル、サウシテ是ハ早イ、而モ飼料モ馬ノヤウニ難シクナイ、又男デモ女デモ容易ニ飼ヘル、サウ云フ農村ノ實際生活カラ考ヘテ、牛ノ方ガ馬ヨリ早ク金ニナル、馬ハ近頃ハ陸軍ノ方デモ高ク買ツテ戴ケマスガ、大體馬ガ三百圓四百圓ト云フノハ間違ヒダ、五百圓六百圓モシナケレバナラヌ、種馬ハ五千圓一萬圓モシナケレバナラヌ、外國カラ種馬ヲ買フト一萬圓モ二萬圓モ出サナケレバナラヌ、斯ウ云フ結果カラ日本ノ普通ノ馬モ、モット高價デアナケレバナラヌト思フ、斯ウ云フ點カラ言ツテ、私ハ結論ハドウシテモ軍馬ハ高ク買ツテ賞ハナケレバナラヌト思フ、牛ガ近頃デハ値ガ上リ、蕃殖モシ、都合ガ好イカラ、馬カラ牛ヘ乗り替ヘタコトモ、此ノ馬産減少ノ主ナル原因デアナイカト思ヒマス、斯ウ云フ點ヲ當局ハモット熱心ニ御研究シテ戴カヌト、折角斯ウ云フ立派ナ計畫ヲ御立テニナツテモ、ホソロソコニ落度ガアリハセヌカト思ヒマス、當局ハ此ノ

間ノ御説明ニ依リマス、是ハ一定不變ノモノデアアル、是ハ天孫降臨ノ御神勅ト同ジヤウニ萬代不易デアアル、不動ノモノダト大キナ聲デアリ此ノ委員會テ言ハレタノデビックリシタ、成程御精神ハ御不動アセウケレドモ、計畫ト云フモノハドノ政府ガナサツタ仕事モ、計畫ト實際トハ違ヒガアル、又計畫ト云フモノハ船ト同ジヤウニ、ソコニ多少ノ變更ト云フコトガナケレバナラヌ、今日ドン／＼戰爭シテ行クチヤアリマセヌカ、海南島モ取ツタ場合ニ、日本ト滿洲ト朝鮮ノコトバカリ考ヘテ居ツテハイカヌコトハ分ツテ居ル、南ノ方ニモ進出シナケレバナラヌ、サウ云フ點カラ言ヘバ今日是トシタコトモ、明日ハ之ヲ改廢シナケレバナラヌト云フコトガ、今日ノ事態デアリマス、斯ウ云フ事態ニ善處スルト云フコトガ政治ノ所謂妙デアアル、其ノ邊チ顧ミナイデ、唯千遍一律ニヤツテ行カレテハ誰ガ迷惑スルカ、迷惑スルモノハ國民デアアル、此ノ立場カラ考ヘマシタ場合、私ハ此ノ馬産減少ニ付テハ當局ノ方モ、モット御研究シテ戴イテ、サウシテ吾々農村ガ迷惑ヲ被ラヌヤウニ工夫サレタイト云フコトヲ希望スルモノデアアルガ、此ノ馬産減少ヲ防グ爲ニ、今回ノ計畫ヲ御立ニナツテ、サウシテ補助金等ニ依ツテノ此ノ減少ガ防止サレト御考デアリマス、或ハ之ヲ何トカ考ヘナケレバナラヌト云フコトニ善處サレル覺悟ガアルカドウカ、其ノ點ヲハツキリ伺ツテ置キタイト思ヒマス

ヤウニ承ツタデアリマスガ、補助金ノミデアナイノデアリマシテ、再々御説明ヲ申上ゲテ居リマスヤウニ、或ハ制度ト致シマシテノ種牡馬統制ノヤウナモノ、或ハ牧野ノ整備ノ問題、或ハ馬ノ衛生ニ關シマスル問題、其ノ外生産ニ必要ナル種牡馬等ニ對スル補助施設ノ問題、或ハ先程御質問デアリマシタヤウナ、之ニ對スル資金ノ融通ノ問題、或ハ最モ大切ナル馬ノ飼養ノ獎勵ノ問題、其ノ他舉ゲマスレバ幾ツモアルト思フノデアリマス、主ナルモノダケチ申上ゲマシテモ、只今申上ゲマシタヤウナ程度ニナルノデアリマシテ、馬政ニ關スル各般ノ施設ガ相綜合統一サレマシテ、茲ニ馬政計畫ノ目的ヲ達成スルト云フコトニナルノダラウト思ヒマス、最初ニ申上ゲマシタヤウニ、昭和十四年ヨリ二十年マテチ馬政計畫ノ實施要領ノ第一期ト致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ情勢ニ依リマシテハ此ノ計畫實施要領ヲ、將來幾分變更スル必要ガアルカト思フノデアリマス、此ノ要領ノ方ハ二十年マテチ一期ト致シテ居リマス、内地馬政計畫ニ於キマシテハ、是ハ期限チ附スベキモノデアリマセヌカラ、期限チ附サズニ恒久的ニ實行スルト云フコトハ、先刻申上ゲテ居ルノデアリマス、先般確固不動ト申シタノモ、要スルニ内地馬政計畫ノ方針デアリマシテ、實施要領ハ御手許ニ差上ゲマシタ書面ノ中ニ、昭和十四年ヨリ二十年マテ實施計畫ト致スト云フコトハ書イテアルノデアリマス、ソコハ御諒承チ願ヒマス

**○荷見政府委員** 馬ノ減少ノ原因ニ付キマシテハ、只今御話ノ様ナ事モ一ツノ原因ト思ヒマス、尙ホ今回ノ馬政計畫ノ目的ヲ達シマスル爲ニ、補助金ノミテ是ガ出來ルカト云フ御話ノ

アリマスカラ、此ノ際伺ツテ置キタイと思ヒマス、軍馬ノ補充ヲ日本内地ヤ支那方面、ソレカラ滿洲、朝鮮、斯ウ云フ所マデモ含メテ、一體今何箇所位アリマスカ、尙ホ又出張所ノ數ハトノ位カ、軍隊ノ秘密ノコトガアルカモ知レマセヌガ、馬ノ頭數ハ一箇所ニ何頭位アルカ、總數デモ宜イ、之ニ使ハレテ居ル人員、兵士ノ待遇、ソレガ第一ノ質問、ソレカラ其ノ次ニハ明治時代ニナツテ補充部ガ設ケラレテカラ、今マデノ中ニ廢止サレタノガアリハセヌカト思フノデアリマス、ソレハ何箇所位デアリマスカ、又新ニ新設サレタモノガナキヤ否ヤ、或ハ又増設トカ擴張ノ必要ハ如何認メラレテ居ルカト云フコトニ付テ、御尋致シタイと思ヒマス

**○粟林說明員** 軍馬補充部ノ數ハ現在八箇所デアリマス、唯使用人員トカ經費トカ云フモノハ、只今此處テ即答致シ兼ネマス廢止致サレマシタモノハ從來二箇所アルト記憶致シテ居リマス併シ一方ニ於キマシテ新設致シマシタモノガ一箇所アリマス

**○永田委員** ソレテ結構デス、外ノ數字ハ宜シウゴザイマス、私ハ今度ノ此ノ馬政計畫ニ付キマシテ、軍部トシテハ軍馬補充部ニ重點ヲ置カレナカツタコトヲ大變遺憾ニ思ヒマス、戰爭トスレバ馬ガ要ルノデアリマスカラ、平生ヨリ多少ノ御用意ハ爲サラナケレバナラヌ、今度ノ計畫ハ、是ハ實際實施サレマスト餘程地方ニハ馬ノ飼育ニ困ル點ガ多クアルダラウト思フノデアリマス、是ハオ互ニ國防ノ爲ニハ有ユル困難ヲ此ノ際忍ビマスケレドモ、將來此ノ計畫ヲヤツテ行クノニハ、皆様モ御心配デセウガ、受身ノ吾々農村ニ於テモ非常ニ困難ナ事柄ダト思フノ

デアリマス、私ハ此ノ點カラ考ヘテ、軍自ラモ少シ考テ變ヘテ貫ハナケレバナラヌト思フコトハ、此ノ軍馬補充部ノ如キハ、從來モツト此ノ内容ヲ研究調査シマシタナラバ、何カソコニ改善ノ必要ガアリハシナカツタカ、又或ハ擴張ノ必要ガアリハシナカツタカト思フノデアリマス、ソコテ今御話ノ二箇所廢止シタト云フノハ、私ハ察シマスノニ、其ノ時期ハ恐ラク軍縮當時ノ、アノ三箇師團廢止當時ノ前後デハナイカト思フ、又新シク一ツ設ケラレタト云フノハ、朝鮮ノ雄基デハナイカト思ヒマスガ、我が鹿兒島縣ノ如キハ、從來補充部ガアツタガ、ソレテ廢止セラレテ居ル、是ハ其ノ場所ガ惡イノナラバ、薩摩テ惡カツタラ大隅モ廣イ所ガアルノデアルカラ、其處ニ補充部ヲ造ツテ戴ケバ宜イ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、私モ餘リ軍馬補充部ハ地方テ歡迎シテ居ラヌト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスケレドモ、又歡迎シテ居ル地方モアリマス、私ハ率直ニ申上ゲマシガ、私共ノ地方ナラバ喜ンテ、町村デモ郡デモ縣デモ之ヲ歡迎シテ居ル、是ハ決シテ質問チヤアリマセヌ、質問ト御考ニナツテハ間違デス、私ハドチラカト云フト大變馬ニ惚レテ居ル、ゾレデアノ邊マテ行クト大分隅ダカラ、當局ガ御分リニナラヌカモ分ラヌカラ申上ゲテ置クノデアリマスガ、サウ云フ意味カラ、モツト此ノ軍馬補充部ニ對シテハ擴張ノ必要ト、尙ホ新ニ増設ノ必要ガアラウト思フノデアリマスガ、之ニ對スル軍ノ御意見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

**○粟林說明員** 御承知ノ如ク陸軍ノ軍馬補充ノ方法ト致シマシテハ、幼駒カラ育成テ致シマス所ノ補充ノ方法ト、壯馬ヲ購買

致シマシテ直接補充致ス方法ト、二通りアルノデアリマス、生産家ヲ保護致ス意味合ト、ソレカラモウ一ツハ眞ニガツチリシタ馬ヲ造リ上ゲルト云フ意味合ニ於キマシテ、幼駒カラ育成致シマスモノガ一番適當アルノデアリマス、隨ヒマシテ軍馬補充部ヲ擴張スルト云フコトガ、軍ノ編制ガ擴張スルニ隨ヒマシテ、當然起ツテ來ル所ノ問題デアルト考ヘマス、サウ云フヤウナ關係カラ、先程申上ゲマシタ新設ノ一ツノ支部ト申シマスノハ雄基デハナイノデアリマシテ、北海道ニ一ツ新設致シタノデアリマス、尙ホ現在兵備ガ段々ト増張致サレマスト、數字の力ヲ申シマシテモ多少軍馬補充部ナルモノノ數ヲ、増加シナケレバナラナイト云フヤウナ形勢ニハ相成リマス、併シ現在御承知ノ如ク非常ニ軍事費等モ各方面ニ使ハナケレバナラナイノデア、軍ニ軍馬補充部ノ擴張ト云フ方面ニダケ使フト云フコトハ出來ナイ状態デアリマスノデ、補充ノ方法トシテハ最モ適切ナル方法デアリマスケレドモ、他ニ壯馬ヲ以テ補充スルト云フ方法モアリマスカラ、暫クノ間ハ壯馬補充ノ方法ニ依リマシテ、逐次軍馬補充部ノ擴張ニ依リマシテ、幼駒カラ補充スルト云フ方法モ考ヘテ見タイト思ツテ居リマスガ、差當リノ問題トシテハ昨日モ申上ゲマシタ通り、他ニ多方面ニ使ハナケレバナラナイノ經費ヲ此ノ方面ニ振向ケルト云フコトハ、出來ナイ状態デアリマスノデ、新ニ軍馬補充部ノ支部ヲ増設スルト云フ考ハ今ノ所ハナイノデアリマス、尙ホ軍馬補充部ノ位置ニ付テデアリマスガ是ハ色々ノ様子ヲ考ヘテ決メラレルノデアリマシテ、某地方ニ於テ歡迎スルトカ、歡迎シナイトカト云フコトハ、勿論一ツノ

要素デハアリマセウケレドモ、是ハマアホンノ參考ノモノデアリマシテ、實際ノ問題ト致シマシテハ、其ノ方面ノ馬ノ數トカ或ハ育成狀況ニ適スルヤ否ヤト云フヤウナコトガ、主ナル問題トシテ考ヘラレルト思フノデアリマス

**○永田委員** 吾々ハ自分ノ所ニ造ツテ呉レト、サウ云フ皮肉ナ運動ガマシイ意味デ言ツタノデアリナイノデアリマスケレドモ、先程仰ツシヤツタヤウニ熱モアルシ、馬ノ數ニ於テモ一番多イ此處ニハ昔アツタノデアルカラ、アツタノテ私ハ復活サレテハドウカト云フコトヲ言ツタマデテ、何モ今マデサウ云フ馬ニチツトモ關係ノナイ所ニ、新シク軍馬補充部ヲ造ツテ呉レト云フソナハ飄策カラ駒ヲ出スヤウナ質問チシタノデアリナイノデア、實際ニ即シタ點ニ於テ質問ラシタ譯デアアル、軍全體ノ考カラ見テ他ノ飛行機ノ方面デモ新シクドクノ費用ヲ要求シテ居ル、斯ウ云フ大キナ計畫ヲサレルナラバ、ナセ馬ニ關係ノアル方モドソノ軍ノ首腦機關ニ之ヲ熱烈ニ要求セラレテ行カナイノカ、大藏省方面ニモ熱烈ニ御交渉ヲ爲サツテ、サウシテ斯ウ云フ方面ノ事業ハ今マデノ間ニ相當費用ヲ取ラレナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレ等ガヤハリ昔ノ儘ニナツテ居ツテ、擴張モゼレナイデ、寧ロ現状維持トコロカ、大變貧弱ナ状態ニナツテシマツタト云フコトハ私共モ聞イテ居ル、兎ニ角私ハ今度ノ馬政計畫ニ伴ウテ補充部ノ方面ハ、内地ニ於テモ相當増設擴張或ハ眞面目ヲ發揮スル様ニ爲サランケレバナラヌト思フ、是ハ親切カラ申上ゲル、ドウモ陸軍ノ方ハ餘リ正直過ギルト私ハ思フ私ハ海軍ト陸軍ト兩方研究シテ居ルノデスガ、トテモ陸軍ハ

是ハ國家ノ爲ニ有難イ、質素ヲ旨トシテ家テモ何テモ出來ル限リ在ルモノヲ使ツテ戴クコトハ有難イケレドモ、或ル場合ニハ又必要ニ應ジテ、相當ニ新シイ施設ヲ爲サレテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ軍馬補充部ノ如キハ、モットマダ日本内地ニ一二箇所ハ設ケラレテ、サウシテ先程私ノ申上ゲマシタ如ク地方競馬ノ廢止セラレタニ付テ不滿ガアルトカ、ソレ等色々ナ摩捺ヲ取ツテ行クヤウナ、新シイ工風モシテ戴キタイ、斯ウ云フ意味カラ申シタ譯テ、決シテ惡イ意味テ言ツタノデアリマセヌ、其ノ御考テ多少御研究願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ、此ノ質問ハ是テ打切ツテ置キマス、次ニ飼料ノ問題ニ付テハ、他ノ諸君カラ澤山色々ナ質問ガアリマシタカラ私ハ申上ゲマセヌガ、唯之ニ對シテドウシテモ國有地ヲ開放シナケレバナラヌト云フコトハ皆ノ要求アル、吾々ハドウシテモ之ニ重點ヲ置イテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此ノ開放ノヤリ方ハ手續イコトデアリカヌト思フ、ドウシテモ之ニハ相當大キナ計畫ヲ立テラレナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、大體牧場ト云フモノハ馬一頭ニ對シテドウ位アツタラ宜イノデアリマセウカ、尙ホ又軍馬一日ノ飼料代ハドウ位ニナツテ居ルノデアリマセウカ、是モ此ノ機會ニ一寸御尋シテ置キマス

**○荷見政府委員** 放牧地ニ付マシテハ、馬ノ種類、或ハ資質並ニ草生ヒノ良否ニ依リマシテ色々ニ差異ガアリマスノデ、一概ニ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、大體一頭ガ百五十日ノ放牧ト豫定致シマシテ、二町六反位ノヤウニ考ヘテ居リマス、尤モ是

キニナツテ居ルノデスガ、其ノ中テ私一寸分ラヌ點ガアリマスカラ、大變詳イヤウデアリマスガ、此ノ際ニ御尋致シテ置キマス、普通鍛鍊チ月ニ二回ト致シマスト一年ニ二十四回デスガ之ニ對シテ隻手ノ手数料トシテ三十五錢ヲ支給スル、又旅費ヲ出ス、一人ニ對シテ五錢トカ御支給ガアルト云フヤウナコトヲ承ツタノデスガ、此ノ點ハ當局トシテハ、農林省トシテ軍部トシマシテモ、農民ノ立場ニ大變御同情ヲ賜ツテヤツテ戴イテ居リマスカラ、吾々有難ク思フ次第デアリマスケレドモ、本當ノ所ノ農民ノ苦痛ヲ此ノ機會ニ申上ゲテ置キマスガ、大キナ聲アハ言ヘマセヌガ、是テハ農家ハ心中ニ不滿ヲ感ジハシナイカト思フノデアリマス、ソレハ如何ナル理由デアアルカラ一例ヲ舉ゲテ申上ゲマス、他ノ地方ノコトハ知りマセヌガ、吾々ノ地方ノ鹿兒島縣ニ於キマシテ、馬力デゴザイマス、馬ト人間ガ一日トノ位稼イテ居ルカ、是ハ荷馬車一臺ヲ持ツテ馬一匹ヲ家内ガ生活ヲシテ居ル、ソレガドウ位稼ガカト申シマス、今頃デハ一日三圓五十錢カラ五圓稼ガナクテハ一家ガ維持シテ行ケナイ、ソレハ高イチヤナイカト御考ニナルカモ知レヌケレドモ事實ナンデス、サウ云フ譯テ三圓五十錢ハ外レナク稼ガナクテハナラヌ状態ニナツテ居ル、サウシマスト一年間ニ二十四回モ此ノ普通鍛鍊ノ爲ニ曳出サレマス、二十四日ハドウシテモ馬ト人ト兩方休マナクテハナラヌ、ソレニ三十五錢ノ手数料ト五錢ノ旅費トテ四十錢實ツテモ、三圓五十錢取ル人ハ三圓十錢ト云フモノハ所謂御寄附アル、サウ云フ状態ニナツテハ三十七圓一年ニ補助ヲ貰ツテモ、差引融通ハヤハリ農家ニハマダ損失

ハ非常ナ概略ノ話デアリマス

**○承田委員** 陸軍ノ方ノ御答辯ヲ求メマス——野砲テモ騎兵テモ宜シウゴザイマス、一日ノ飼料代ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

**○栗林說明員** 是ハ時價ニ依ラウト思ヒマスガ、一日概略八十錢デアリマス

**○承田委員** 大變御丁寧ナ御答辯ヲ満足致シマシタ、一頭ニ對シテ二町六反歩ト云フ御答辯デアリマシタガ、サウシマスト今ノ現状カラ照シマシテ、日本内地ニ百五六十萬頭ノ馬ヲ保有シテ行クニハ、相當ノ官有地ヲ民間ニ貸下若クハ拂下ナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テハ農林大臣モ度々善處スルト云フヤウナ御答辯ガアリマシタガ、是ハ此ノ際餘程思切ツテ地方ニ貸下シナケレバイヤカヌ、或ハ拂下シテ行カナケレバ此ノ問題ノ解決ハ出來ヌト思フノデアリマス、是ハドウナカカラモ質問ガアツタヤウニ、大體放牧地ガナクテハイヤカヌシ、又秣ガナクテハイヤカヌ、其ノ飼料ガ大變高イト云フコトガ非常ニ困ル點デアリマスカラ、是ハドウシテモ結論ハ國有地ノ開放ト云フコトニ、押進メテ行カナケレバナラヌカト思フノデアリマス、ソレデ農林省自ラモ此ノ國有地ノ開放ト云フコトニ向ツテハ、吾々ハ多年長イ間要求シテ來タノデアアルカラ、此ノ機會ニ之ヲ大英斷テ以テ善處サレナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ點ハ度々御答辯ガアツタノデアリマスカラ、敢テ農林大臣ニ御答辯ハ求メマセヌガ、吾々ハ左様ニ熱望スルト云フコトヲ此ノ機會ニ申上ゲテ置キマシテ、此ノ點ニ對スル質問ハ是テ止メマス、次ニ普通鍛鍊ト鍛鍊馬ノコトニ付テ今マダ皆御聽

ニナリハセヌカト云フ様ナ見解ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ガ一年ニ二十四回出テ行カナケレバナラヌノデアリマスガ、尙ホ此ノ外ニ或ハ馬西検査トカ或ハ又豫防注射ヲヤルトカ、色々馬ノ關係ア二十四回以外ニ、五日ヤ一週間ハ呼出サレハセヌカト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ日數等モ加ヘマスト相當ナ金額ニ上リハセヌカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ三十五錢ト五錢ト云フノハ先ヅ今ノ計畫デアリマスガ、將來之ニ對シテ實施ノ上、モット困ツタナラバ善處スルト云フ御意思ガアルヤ否ヤ、少シ早イカモ知レヌケレドモ、是ハ聽イテ置カヌト後デ心配デスカラ、此ノ際御尋シテ置キマス

**○荷見政府委員** 只今御話ノ今回ノ豫算デアリマスガ、三十五錢トカ五錢トカ三十七圓トカ云フ分ハ、私共ト致シマシテモ前ニモ申上ゲマシタヤウニ、決シテ十分ナリトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、本年度ニ於テモ出來得レバ何程力餘計ニ増加致シタイ希望ヲ持ツテ居ツタノデアリマスガ、財政ノ都合上此ノ程度ニナツテ居ル譯デアリマス、將來モ可能ナル範圍内ニ於テハ出來得ル限リ増加致シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

**○承田委員** サウ云フ希望ヲ持ツテ居ラレバ結構デゴザイマス、是テ其ノ方面ノ質問ハ打切りマス、次ニ鍛鍊馬ノコトニ付テモウツ御尋致シテ置キマス、是ハ先ニモ一寸御話致シマシタケレドモ、北海道ヲ除ケテ他ハ一縣一箇所ト云フコトニナルト、ドウモ一箇所ニ入ツタモノハ宜イケレドモ、先刻申シマシタヤウニ入ラヌ地方ハ、大變困ルト思ヒマス、ソレハ普通鍛鍊

トカ何カ他ノ方法ヲ行カシテヤルト云フソコニ一ツノ希望ヲ捉  
 へ得レバ、大變安心ダゲレドモ、サウテナイト非常ニ困ル、ソ  
 レテ私ハ何カ軍ノ方テ優等馬ヲ曳出ス——競技ノ鍛錬馬ハ無論  
 一縣ニ一箇所トシテモ、大變馬ノ頭數ノ多イ北海道ヲ除ケタ福  
 島岩手ト云フ様ナ所ハ、全國デモ三四位ニアルノデアリマシテ  
 斯ウ云フ七萬頭、八萬頭ノ馬ヲ持ツテ居ルヤウナ縣ニ向ツテハ  
 三箇所カラ直グ一箇所ニト云フヤウナ窮屈ナコトニサレヌヤウ  
 ニシテ、例ヘバ五萬頭、八萬頭、十萬頭ニ近イ様ナ馬産縣ニハ  
 二箇所ヲ置クコトヲ得トカ云フ風ニ、特ニ今少シ裕トリノアル  
 様ナ方法ヲ探ツテ戴カナケレバ困ルノデアリマス、先程申上ダ  
 マシタ私ノ鹿兒島縣ノ如キハ大島、大隅、薩摩ヲ加ヘマスト距  
 離ニ於テモ百七十八里モアル、島モアレバ牛島モアル、海ヲ距  
 テテ集合スルニ大變困ルコトガアルノデアリマスカラ、斯ウ云  
 フ特異ナ場所ニハ、北海道ノアノ廣イ面積ニ御同情賜ルナラバ  
 日本ノ南ノ鹿兒島縣ニモ多少吾々人民ノ立場ヲ軍ノ方テ、御高  
 配願ヘヌモノカト思ウテ居ル、鍛錬馬ニ對シテハ馬産力ノ強イ  
 地方ニハ、二箇所置クコト云フヤウニ法律ノ一部ヲ修正スルカド  
 ウカ、之ニ對シテ當局ハ如何ナル見解ヲ持ツテイラツシヤルカ  
 俵ノ言フコトハ一定不動ダ、是ガイヤデモ、議會ヲ踏ミ潰シテ  
 モ、何デモ彼デモ此ノ通りニヤルンダト云フ御考デスカ  
 ○荷見政府委員、鍛錬馬競走ノ各府縣ノ箇所數ハ、是マデノ民  
 間ニ於ケル最モ尊重スベキ御意見等ヲ參酌致シマシテ、其ノ他  
 關係ノ各分擔ノ官廳、詰リ風紀取締或ハ射倅心ノ制壓、或ハ軍  
 馬ノ鍛錬ト云フヤウナ各方面ノ擔任者ノ意見ヲ綜合致シマシテ

漸ク決定致シタノデ、此ノ箇所數ヲ增加致スコトハ困難デア  
 ルト考ヘテ居リマス、但シ優等馬投票ヲ伴ヒマセヌ、單ナル鍛  
 錬ヲ行フコトハ箇所數ノ制限ハナイノデアリマシテ、而モ之  
 ニ對シテ若干ノ賞金ヲ出シ得ルコトニ考ヘテ居ルノデアリマス  
 カラ、ソチヲノ點テ合フヤウニヤツテ行ケバ宜イト考ヘテ居  
 マス  
 ○永田委員 其ノ普通鍛錬ノ方テ先ツ救ハレルカモ知レマセヌ  
 ガ、ソレヲモツト明瞭ニ、例ヘバ優勝馬投票ヲヤルノチ一箇所  
 其ノ外ニ場合ニ依ツテハ例ヘバ普通鍛錬馬ヲ甲乙ト云フ風ニ分  
 ケテ、兎ニ角折角今マデヤツテ來タ地方鍛錬馬アルカラ、ソレ  
 ナ廢止シナイテ地方ノ人々ヲ満足ノ出來ルヤウニシテ戴キタイ  
 此ノ點ニ向ツテ此ノ機會ニ一ツ御高配ヲ願ツテ置キタイ、サウ  
 シナイト地方ニ不平方起リマス、他ノ地方ハ知ラヌガ、鹿兒島  
 縣ノ實際ニ即シタコトヲ申上ダテ居ルノデ、無理ヲ申上ダテ居  
 ルノデアリマセヌ、昨年地方民ガ陳情ニ來マシタガ、昨年ト  
 今年ハ又時勢ガ變ツテ居ル、而モ失禮ナ話デスガ、地方ノ聯合  
 會長ハ一人テ水産、煙草、馬産ナドト色々ナコトヲヤツテ居  
 テ何モ分ラヌ人ガ多イ、勿論中ニハ熱心ナ方モアルデセウガ、  
 サウ云フ何モ分ラヌ人ガ東京ニ來テ陳情シテモ、當局カラハ千  
 萬一律ノコトヲ聽カサレテ來ルダケデアアル、而モ其ノ畜産會長  
 ヤ何カハ旅費ヲ貰ツテ上京スルンダカラ、一寸モ困リハセヌガ  
 實際ニ困ルノハ地方ノ縣民デアリマス、事實地方ニハ今度ノ地  
 方競馬廢止ト云フコトニ對スル不平ノ聲ト云フモノハ非常ニ高  
 イ、ソレニ付テサウ云フ何モ分ラヌ人ガ東京ニ寄集ツテ陳情シ

テモ、何ニモナラナイ、勿論中ニハ熱心ナ方モアル、私ハサウ  
 云フ優秀ナ畜産聯合會長ナドニハ大ニ感謝スルノデアリマス  
 ガ、中ニハ又随分間違ツタコトヲ言ツテ居ル人ガナイトモ限ラ  
 ヌ、サウ云フ點ニ付テ御當局ノ御注意ガ足ラヌ様ニモ思フ、サ  
 ウ言フト農林省ノ人ハ失禮ナコトヲ言フト仰シヤルカモ知レヌ  
 ガ、私共ハ農會長デモ、産業組合長デモ何デモ、頭ノ禿ゲルマ  
 デヤツテ來テ、豫算デモ何デモ苦勞シテ來テ居リマス、幾ラ當  
 局ノ言ハレルコトデモ、千ニ一ツノ間違ヒガナイトモ限ラヌ、  
 サウ云フ間違ツタ所ニ皆サンガ氣ヲ付ケテ、泣イテ居ル者ノ手  
 ナ取ツテ助ケテ下サル所ニ善政ノ芽生ガアルト思フ、之ニハ確  
 ニ不平ガアル、サウ云フ所ニ向ツテハ鍛錬馬競走ガ一ツデナケ  
 レバナラヌナラ、別ニ何トカ軍事鍛錬馬競走トカ何トカ云フ名  
 稱デモ付ケタモノヲヤラシテ、之ヲ救フト云フヤウナ方法ヲ講  
 セラレタイト思ツテ、此ノ質問ヲシタ譯デアリマス、何卒之ニ  
 對シテ善處サレンコトヲ希望シテ置キマス、其ノ箇所數ニ付テ  
 ハモツト御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス  
 次ニ私ハ軍部ノ方ニ馬ニ關係ノアル問題ニ付テ一ツ御尋シテ  
 置キタイト思ヒマス、今朝ノ新聞ニモアリマシタシ、昨夜ノ  
 「ラヂオ」デモ聽キマシタガ、將校ノ轉科ノ勅令ガ發布サレタ  
 サウデアリマシテ、例ヘバ騎兵科ノ將校ガ輜重ノ方ニ轉科スル  
 トカ、或ハ他ノ方ニ轉科ガ出來ル、是ハ又慥カ馬ニモ及ボスヤ  
 ウニ聽キマシタガ、是ハ洵ニ當然ナコトダト思ヒマス、之ニ付  
 キマシテ考ヘタ場合ニ、日本ノ騎兵旅團ノ所在地ニ付テ此ノ際  
 考慮ノ必要ガアルト思ヒマス、殊ニ獨立騎兵旅團ハ現在ニ於テ

ハ慥カ岩手縣ノ盛岡ト東京近郊トシテハ千葉縣ノ習志野ニ二箇  
 旅團、ソレカラ豊橋ニ一箇旅團、斯ウ云フ風ニ四箇旅團アルヤ  
 ウニ思ツテ居リマスガ、豊橋以南ニハナイ、是ハ今ノ戰爭ノ關  
 係カラ見テモ、亦國防ノ安全ナ點カラ見テモ、關西、九州方面  
 ニ一ツ位ハアツテモ宜イト思フ、斯ウ申シマス、今在ル所ノ  
 人ハ永田ハ怪シカラヌコトヲ言フ、委員會デ騎兵旅團招致ノ運  
 動ヲヤルト御考ニナルカモ知レマセヌガ、サウデハナイ、騎兵  
 旅團ノ在ル所ノ習志野附近ニシテ見テモ、昔ノ騎兵旅團ヲ作ツ  
 タ時ニハ大變適當ナ土地アツタカモ知レナイガ、現在ニ於テ  
 ハ牛込ノ士官學校ガ座間ニ移ツタリ、或ハ東京ノ小石川ニアツ  
 タ砲兵工廠ガ北九州ノ小倉ニ移ツタト云フヤウナ例モアルノデ  
 アリマシテ、其ノ跡地ニシテ見テモ決シテ無駄ニハナリマセヌ  
 例ヘバ從來騎兵旅團ガ在ツタ所ヘハ自動車學校デモ持ツテ行ク  
 トカ、或ハ毒瓦斯ノ研究所デモ持ツテ行クトカ云フヤウニスレ  
 バ、又新設部隊ガ出來ルノデアリマスカラ、東京附近ノ地價ノ  
 高イ所ハサウ云フ新兵器ノ方ニ向ケラレテ、騎兵旅團ノ方ハ成  
 ベク田舎ノ方ヘ御向ケニナツタラ如何カト思フノデアリマス、  
 是ハ兵備ノコトデアリマスカラ御叱リテ受ケルカモ知レマセヌ  
 ガ、地方ノ人ノ言フコトモヤハリ參考ニシテ戴キタイト思ヒマ  
 ス、斯ウ云フ點カラ見テ新時代ニ適應スルニハ即チ今日ノ海南  
 島ノ占領トカ、廣東ノ占領トカ、其ノ他臺灣等ノ關係カラ考ヘ  
 テ見マシテモ、馬ノ鍛錬ト云フコトハ、獨り寒地バカリデアハイ  
 ケナイ、温熱地帯ニ對シテモ將來鍛錬ノ必要ガアルト思フノデ  
 アリマス、斯ウ云フ意味カラ言ヒマスルト、九州方面ニモ相當

ノモノノ新設トカ、或ハ他カラ移轉ノ必要モアルカト思フノテ  
アリマス、移轉サレテモ其ノ跡地ノ人ニハ決シテ迷惑ノ掛ラヌ  
様ナ施設ヲシテ戴ケバ、少シモ支障ハナカラウト思ヒマス、尙  
ホ騎兵ノ使ヒ途ハ今マア偵察トカ、サウ云フ方面ニ限ラレテ居  
ツタガ、近頃ハ飛行機ガ流行リ出シテ、騎兵ノ働キ場所ガナク  
ナツタヤウナ氣ガ致シマス、併シ此ノ間當局ノ答辯ヲ聽クト何  
デモナイ、騎兵ハ騎兵トシテ使フ場所ガアルト答ヘラレマシタ  
ガ、騎兵ノ使ヒ場所モ集團的ニ使フヨリハ分散的ニ使フコトガ  
多クナリハシナイカト思フ、騎兵旅團ノ如キハ、或ハ一箇聯隊  
ヅツ別々ニ置イテ然ルベキモノデアハナイカト思フ、何レニシテ  
モ騎兵旅團ノ從來ノモノチ一部移動スルノハ如何ナモノデアリ  
マセウカ、是ハ兵備ニ關係ノコトデアリマスカラ、或ハ御答辯  
ガナイカモ知レマセヌガ、御參考ノ爲ニ申上ゲマス、尙又此ノ  
國防安全ノ點カラ見テ、多少斯ウ云フ方面ニ向ツテ御考慮ガア  
レバ此ノ機會ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

**○粟林説明員** 只今ノ御質問ニ對シマシテハ御答辯ハ差控ヘタ  
イト思ヒマス  
**○永田委員** ソレデアハ御答辯ガナケレバ、茲ニ今一ツ重ネテ御  
尋シタイ、此ノ騎兵ノ馬ノ用ヒ方ニ於テ、軍隊デアハ乘馬用ニ、  
或ハ騎兵隊、輜重隊ニ用ヒラレル他ニ、野砲ノ輓馬ニ、或ハ工  
兵、歩兵等ノ山砲ト云フ方面、色々其ノ使ヒ途ハ深山アルノテ  
アリマスガ、之テ一ツニ統一シタ軍馬學校ト云フヤウナモノチ  
地方ニ設ケラレルコトガ必要デアハナイカト思フ、是ガ若シ騎兵  
バカリニナルト、先程モ申上ゲタ通り、其ノ働キ範圍ガ極ク狭  
イ、私共ハ此ノ間自動車學校ヲ視察ニ參ツタデアリマスガ、  
アノ自動車學校ニ做ツテ、茲ニ一ツ軍馬學校ト云フヤウナ名目  
ノ學校ヲ設ケテ、此處ア乘馬ノ訓練トカ、或ハ野砲ヲ輓ク輓馬  
ノ訓練、或ハ駄馬ノ訓練等チヤツテ、サウシテ先刻申上ゲタ様  
ニ、兵科ガ自由ニ轉科出來ルヤウニナレバ、騎兵、歩兵、輜重  
兵、其ノ他ノ戰列ニウマク使ヘルノデアハナイカト思フデアアリ  
マス、斯ウ云フ意味カラ將來軍トシテ、自動車學校ト同ジヤウ  
ニ、軍馬學校ト云フヤウナモノチ造ル必要ハナイカ、斯様ナコ  
トチ申スト、ソナ餘計ナコトナト仰シヤルカモ知レマセヌガ  
併シ今日時代ノ進運ニ伴ツテ、今マアナカツタ所ノ國防ノ爲ノ  
施設、例ヘバ飛行機ヲ作ルトカ、或ハ電信隊ヲ作ルトカ、鐵道  
隊ヲ作ルトカ、或ハ又自動車學校ヲ造ルトカ、斯様ナモノガド  
ンノ造ラレテ行ク、斯ウ云フ傾向カラモ、特ニ軍馬ノ方面ニ  
於テ斯様ナ計畫ヲ立テラレルコトガ必要デアハナイカ、軍馬學校  
——名前ハナントシテモ宜シイガ、兎ニ角斯ウ云フ學校チ地方  
ニ五ツ六ツ御造リニナツテ、サウシテ其處ヘ新シイ兵隊サンガ  
入ツテ馬ノ訓練チヤルト云フコトニナレバ、ソコニ騎兵デアモナ  
ケレバ輜重兵デアモナイ、歩兵デアモナイ、砲兵デアモナイ非常ニ何處  
ヘデモ融通ノ利ク様ナ、結構ナ組織ノモノガ出來ヤシナイカト  
思フデアアリマス、又軍馬ニ付テハ地方ノ人々チ使ツテソレ  
レ訓練シテ居ルデアリマスガ、今度新シイ兵隊チ取ツテオヤ  
リニナルト云フ事ニナルト、ソコニ非常ニ元氣モ出テ來テ、氣  
持モ大變新シクナリハセヌカト思フデアアリマス、更ニ是ハ一  
面カラ言フト、産馬ノ獎勵ニモナルコトデアリマス、此ノ軍馬

學校ヲ將來造ツテ行ケト云フコトニ付テ、何カ研究セラレタコ  
トガアリマスカドウカ、御尋シテ見タイト思ヒマス

**○粟林説明員** 只今ノ點ニ付テ研究シタカト云フコトニ對シ  
マシテハ、御答ハ出來ルト思ヒマス、ソレハ陸軍ニ於キマシテ  
ハ、御承知ノ如ク馬チ使ツテ居リマスノハ騎兵バカリデアアリ  
マセヌ、寧ロ使ツテ居リマスノハ砲兵、輜重兵、殊ニ歩兵ガ多  
イト考ヘマス、騎兵ノ乘馬ノ如キハ、事實全軍ノ馬數カラ言ヒ  
マスレバ一割ニモ足ラナイト考ヘル、ソレデアリマスノデア、馬  
全部ノ爲ニ特別ニ學校ヲ作ツテ、各兵種共通ノ馬ニ關スル教育  
チシテハドウカト云フコトハ、一應御尤ト存セラレマス、併シ  
其ノ様ナ施設ヲ致シマスニハ、申スマアモナク多額ノ經費ヲ要  
シマスルノデア、差當リノ問題トシテハ、研究ハ出來ナイト思ヒ  
マス、唯御斷リシテ置キマスコトハ、騎兵ハ騎兵、砲兵ハ砲兵  
又歩兵ハ歩兵、ソレトノ實施學校ヲ持ツテ居リマシテ、其ノ  
兵科特有ノ性能ニ應ズル馬ノ飼育、管理、乗御、斯ウ云ツタヤ  
ウナコトハ、十分其ノ實施學校ニ於テ研究シテ居リマスノデア、  
各兵綜合ノ馬ノ爲ノ教育チヤル學校ト云フモノニ付テハ、特別  
ニ今差當ツテ必要ハナイト考ヘテ居ルデアアリマス

**○永田委員** ソレデアハ今一ツ……只今一部ノ答辯ガアリマ  
シタガ、軍隊ア徵發馬チナサル場合、尙又今ノ軍隊ノ所要ノ馬ノ  
傾向デアリマスガ、其ノ比例ニ付テ例ヘバ乘馬ト輓馬、ソレカラ  
歩兵ナドガ使フ、何ト言ヒマスカ小格輓馬ト云ヒマスカ、サウ  
云フ方面ノ比例ハ約一割ト仰シヤイマシタ、ソレカラ野砲馬ガ  
先ヅドノ位デアアルカ、其ノ他ノ所要ノ比例ノ數字ヲ御示シ願ヘ  
レバ結構ト思フデアリマス、尙ホ買上規定ニ付テモ騎兵ノ使  
フ馬ト輓馬ニ使フ馬、小格輓馬等ニ付テ、甲乙丙丁多少價格ニ  
差ガアルナラバ、其ノ價格ヲ御示シテ願ヘレバ結構カト思ヒマ  
ス

**○粟林説明員** 只今ノ御質問デアリマスガ、全般ノ比率關係チ  
申上ゲルト云フコトハ、今回御承知ノ通り機密保護法案モ出來  
マス關係上——マダ其ノ法案ハ成立ハ致シテ居リマセヌケレド  
モ、既定ノ問題ト致シマシテ差控ヘタイト思ヒマス

**○永田委員** ソレデアハ餘リ無理ナ御尋チシテモ御迷惑ト思ヒマ  
スカラ差控ヘマスガ、今マア度々他ノ議員ノ方カラモ色々質問  
サレ、ソレガ大事ナ所ニ入ルト御答辯ガナイノテ行詰ツテ居リ  
マスガ、何カ適當ナ機會ニ極ク簡單ナ時間デアモ宜イノデアスガ、  
秘密會チテ御説明ヲ願ヘル機會チ一ツ作ツテ戴クコトチ希望  
スルデアリマスガ、如何デアリマスカ

**○大石委員長代理** デハ適當ナ時機ニ一ツ……

**○永田委員** サウ云フ風ニ願ツテ置キタイト思ヒマス——ソレ  
デアハ最後ニ、此ノ間農林大臣ト陸軍方面トノ御答辯ヲ綜合シテ  
聽イテ參リマス、兎ニ角今回ノ案ハ、國防ト産業ノ兩全主義  
デアツテ居ルト云フ御答辯デアリマシタガ、是ハ御尤ナ御答辯  
ト思ヒマスケレドモ、併シ私共ハ此ノ答辯タルヤ中々結構ナヤ  
ウニシテ、ソコニ無理ガアルト思フデアリマス、ヤハリ斯ウ  
云フコトハ何カ主體ガナクテハイケナイ、此ノ主體チドテラニ  
持ツテ行クカト考ヘタ場合ニ、私ハヤハリ此ノ問題ハ國防上ノ  
見地ガ主トナラナケレバナラヌ、ソレニ農林省ガマル切り引摺

ラレテ、仕方ナシニ国防ノ爲ニ之ニ同意シテ、サウシテ此ノ産馬計畫ヲ立テテ無理チシテモ進ンテ行ク、サウナルト一面カラ言フト、生産者側ト国防トノ間ニハ、ソコニ多少ノ矛盾摩擦ガナイトモ限ラヌデアリマス、ソレハ今ノ時代カラ言フト、仕方ガナイカラ國民ハ忍ビマスケレドモ、此ノ主體チ何處ニ持ツテ行クカト云フ點カラ考ヘマシテ、ヤハリ私ハ今度ノ計畫ハ國防ガ主トナツテ參ルノデアルカラ、軍ガ主トナラナケレバナラヌ、隨テ此ノ案ノ提出モドチラカト言ヘバ、アツサリト陸軍ノ方カラ御出シニナツタ方宜イチヤナイカ、或ハ從來軍トシテ中間ノ官廳ヲ經ズニ、直接ヤツテ戴イタ方却テ宜カツタ例モアリハセヌカト思フデアリマス、一例チ申上ゲマス、民間航空ハ元陸軍ニアツタデアリマス、ソレチ選信省ニ御廻シニナツテ人ノ家ニ養子ニヤツテ、今ハ外局ニナツテ多少可愛ガツテ戴イテ居ルケレドモ、確ニ工合ガ惡イ、斯ウ云フ國防ニ關係ノアル軍馬トシテノ大事ナ問題ハ、多少陸軍ノ方デ、モット力痛チ入レテ、サウシテ無論是ハ農林省ニモ加勢チシテ戴カナケレバナラヌコトハ分ツテ居ル問題デスケレドモ、之ニハ主體トシテハ軍ガ主トナツテ之ヲヤル、サウシテソレチ農林省ガ援助シテ戴クト云フヤウナ形チ、モット明ニシテ賞ハナケレバナラヌト思フデアリマス、此ノ點ニ對スル見解チ今一點何ツテ置キタイ

○荷見政府委員 私ノ答辯テ御満足デアリマスカドウカ分リマセヌガ、一應意見チ申上ゲマス、此ノ馬政計畫ハ今回俄然トシテ軍ノ要求ガ強クナツタ譯デハナイノデアリマス、昭和十一年ニ

實施セラレマシタ第一次馬政計畫ニ於キマシテモ、國防上必要ナル有能馬、特ニ有能乘鞍馬ノ充實ヲ目的トスルト云フ事ニナツテ居リマシテ、是ガ施設モ農林省ニ於テ行ツテ來タノデアリマス、今回モ只今御話ノヤウニ此ノ馬政ナルモノハ勿論國防上重要ナ施設デアリマスケレドモ、一面昨日モ大臣カラ御説明ガアリマシタヤウニ、産業上ニ立脚シナケレバイカヌ問題デアリマス、國防ト産業ト密接不可離ノ關係ガアルノデアリマス、而シテ其ノ所管チ只今ニ於キマシテハ農林省ニ置イテ、運用スルチ妥當ト認メテ居ル譯デアリマス、其ノ程度ノコトチ御答辯申上ゲテ置キマス

(中略)

○永田委員 ……次ニ歌米各國ノ馬ノ値段ハ日本ト比較シテドノ位ニナツテ居ルカ、サウ云フコトハ無論農林省ハ世界ノ狀況等ハ詳シク御調ニナツテ居ルト思ヒマスガ、之チ日本ノ値段ニ換算シテハツキリ聽カシテ戴キタイ

○佐々田説明員 最モ近イ相場ハ、最近種牡馬チ買ヒニ參リマシタ時ノ向フノ値段チ申上ゲルノガ一番適當デハナイカト思ヒマス、「サラブレッド」ハ御承知ノ通りヒンカラキリマデアリマシテ、英國アタリデハ高イモノニナリマスレバ日本ノ時價ニ直セバ一頭五六十萬圓カラ百萬圓近イモノモアリマス、併シ普通ノ日本ニ關係ノ深イ「アングロ・ノルマン」ノ種牡馬ノ如キハ大體向フノ時價ト致シマシテ、只今四萬千法デスカラ、三千五百圓カラ四千圓位デアリマス、ソレニ輸送費ガ掛リマスカラコチラニ參リマスレバ相當ノ値段ニナリマス、種馬ガソレ位デ

アリマスカラ、普通ノモノハ固ヨリ、軍馬級ノ如キハソレヨリモ相當安イト云フコトヲ御合ミ願ヒタイト思ヒマス

○永田委員 高イモノハ一頭ガ五六十萬圓カラ百萬圓、日本ニ入レタモノハ三四千圓ト仰シヤルガ、私共ハソナ安イモノハナカラウト思フ、モット高イヤウニ聽イテ居リマスガ、是ハ一地方ノ例デアツテ、世界各國ノ例デアナイト思ヒマスカラ、其ノ各國ノ例等チ明瞭ニ御説明チ願ヒタイト思ヒマス……

(中略)

○佐々田説明員 馬ニモ色々澤山種類ガゴザイマシテ、別ニ日本ト取引シテ居ナイ所ノ馬ノ時價ハ、ドウモ照會デモシナイトハツキリシタ事ハ申上ゲニクイト思ヒマス、只今申上ゲマシタノハ唯一例トシテ申上ゲタノデアリマシテ、英國ニ於テハ「サラブレッド」ト云ヘバ相當高イノモアリマスシ、又三千圓カラ四五千圓程度ノモノモ相當アルノデアリマス、實際買ツテ參リマシタモノガ三千四百圓カラ四千圓程度ノモノデアリマスカラ、安イモノハ無論三千圓或ハ二千五百圓位ノモノモアリマスソレガ種馬デアリマスカラ、軍馬ナリソレ以下ノモノニナリマスレバ、マダ相當安イノデアリマス

○小笠原委員 只今「アングロ・ノルマン」ノ價格ニ付テ三千五百圓カラ四千圓位ト云フ御説明ガアツタノデアリマスガ、近頃外國デハ優秀ナ馬ハ他國ニ出サナイ方針チ執ツテ、優秀ナ馬ハ日本ノ手ニ入ラヌ、隨テ第三流ノ馬シカ吳レナイト云フ事チ聞イテ居リマス、第一向フカラ來タ種馬ハ、今ノ規格ニ當嵌ツタ馬ハ何頭モ來テ居ナイ、必ズ三流四流ノ馬チ引張ツテ來テ居

ル、只今ノ御話ハ其ノ三流四流ノ馬ノ値段デアリマスカラ、ソコチハツキリシナイト間違フト思ヒマス

○佐々田説明員 只今ノハ佛蘭西ノ例デアリマスガ、一昨年私ガ買ツテ參リマシタノハ、向フノ大共進會ハ大體七月ノ初ニアルノデアリマス、ソレヨリ前ニ買取ツタノデアリマシテ、決シテ残りノモノトカ、惡イモノデアハナクテ、寧ロ向フノ優秀ナモノチ選ツテ買ツテ來タノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ、寧ロ向フノ馬政長官ハ馬チ買ツテケレ、買ツテ吳レト申シマス、良イ馬チ日本ニ取ラレコトヲ非常ニ恐ガツテ居リマスケレドモ、成ベク良イ馬チ出スヤウニ便宜ヲ圖ツテ吳レテ居リマス、決シテ惡イモノチ選ツテ來タノデアハナク、相當良イ馬ガ多數入ツテ來テ居ルト思ヒマス、今聞キマス陸軍ノ方デ濠洲カラ買ツテ居ラレマス濠洲産洋種ノ値段ハ、向フデハ七八百圓デア買ニナツテ居リマシテ、輸送費チ含メテコチラヘ來テ千五百圓程度デアリマス、是モ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

(中略)

○河野委員 ……先ヅ第一ニ御尋致シタイノハ、馬政計畫ノ根幹ト致シマシテ、政府ノ今回御計畫ノ基礎トナルベキ御調査ニ付テ少シク承ツテ見タイト思ヒマス、先ヅ第一ハ、我國ノ農家ニ於テ馬チ飼養管理致シマスノニ、大體一箇年間ドノ位掛ル御見込テ御立案ニナツテ居リマスカ、ト申シマスノハ政府ノ補助額ガ三十七圓ト云フ數字ガ出テ居ル、三十七圓補助チシヨウト云フ其ノ基礎ハ一體何處カラ御出シニナツタノデアアルカ、三十七圓補助スレバ、ソレデ農家ノ算盤ガドウ云フコトニナル



ト云フ御計算アリマスカ、是等ニ付テ少シク詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 一般農家ノ飼養費ハ色々差異ハアラウト思ヒマスルケレドモ、概ネ年額百圓程度ト推定致シテ居ルノデアリマス

○河野委員 然ラバ承リマスガ、農馬ハ唯葉ヲ食ヒ草ヲ食ツテ居ルトハマサカ御考テハアリマス、其ノ百圓ノ基礎ハ濃厚飼料ニ付テ一體ト位一年ニ使ハセル御計算ニナツテ居リマスカ……

○伊藤政府委員 只今申上ゲマシタ大體百圓ノ飼養費ノ内容ハ葉ガ日量トシマシテ八千瓦、糠ガ四千瓦、食鹽ガ六十瓦、此ノ値段ヲ申シマスレバ一日二十八錢二厘ト云フコトニナツテ居リマス、月額ハ八圓四十六錢、年額約百圓デアリマス

○河野委員 此ノ機會ニ軍ノ方ニ御尋致シマスガ、其ノ程度ノ餌ヲ食ハシタ馬ヲ軍用ノ適格馬トシテノ飼養管理ガ十分デアリマスカ、ドウデアリマスガ、ソレテ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、——モウ一遍申上ゲマス、今農林省ノ政府委員カラ御説明ニナリマシタ一箇月八圓九圓ノ餌ヲ食ハシタ程度ノ馬ガ一朝有時ノ際ニ軍用適格馬トシテ物ヲ言フカ言ハヌカ、サウ云フ馬ヲ曳張ツテ行ツタ軍カラ大目玉ヲ頂戴スル事情ニアルト思フ、私ハ畜産組合長モヤツテ居リマスシ、サウ云フ場合ニ立合ツテ居リマスガ、サウ云フ風子馬鹿ゲタ計算シテ農村ニ臨マレルコトハ、吾々トシテハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、是ハ根本カラ吾々ト認識ガ違フノデアリマスガ、此ノ機會ニ軍ノ

方ニ於テ一體幾ラテ飛行機ヲ持ヘ幾ラテ買ツテ居ルカト云フ場合ニ付テモ、吾々ハ議論シタイノデアリマス、如何ニ軍馬ノ要素ヲ此ノ際備ヘテ置カナケレバナラヌト申シマシテモ、飛行機一臺作ルノニ幾ラ掛ル、馬一匹飼ツテ置クノニ幾ラ掛ルト云フコトノ計算ハ、何處マデモ正確的確ナモノデアラナラヌト私ハ思フ、唯其ノ際ニ國家ノ財政ガ之ヲ許サカサカト云フコトハ、又別ノ議論デアリマス、ソレヲ農林當局ガ一年間百圓デアア飼ヘルダラウト云フキウナ考ヘ方テ農民ニ臨マレルコトハ、此ノ案ノ根本ノ基礎ガ私ハ違フト思フ、デアリマスカラ先程カラ議論ガアリマシタ様ニ、牛ヲ飼ヘバ幾ラ掛ル、豚ヲ飼ヘバ幾ラ掛ル、馬ハ斯ウダト云フ事ニナルノデアリマスカラ、此ノ間ニ根本ノ指導精神ヲ、ハツキリ立テナケレバイカヌ、ソコテ私ガ申上ゲタイノハ、先ツ令軍ノ方テ馬一匹ニ食ハセルノニ月ニ二十何圓掛ル、一日八十錢テ三八、二十四圓掛ル、民間ノ方ハ月八圓何錢テ馬ガ飼ツテ行ケルト云フ、斯ウ云フ馬鹿ゲタ數字ハ斷然出ナイト思ヒマス、荷モ民間ト雖モ此ノ頃ハ穀ヲ食ハシテ居リマス、其ノ穀ガ非常ニ高イ、ソコニ農民ノ惱ミガアル、ソコテ私ノ斯ウ云フコトノ認識ガ違フカ違ハヌカ存ジマセヌケレドモ、是モ一ツ實シテ見タイト思ヒマス、一體今日日本ノ農民ノ中ニ、馬ヲ飼ツテ居ル戸數ガ何軒アル、ソシテ其ノ戸數ハ一體何軒殖エル可能性ガアルカ、一戸ニ於テ馬ヲ二頭モ三頭モ飼フ家ハ割合ニ少イノデアリマス、ソコテ一體馬ノ飼養管理ヲスル希望ヲ持ツテ居ル農民ガ、一體何軒アルカ、是ガ百五十萬頭政策ガ實現スルカセヌカノ根本ナンド、ソコテ今政府カ

方ノ計算ハ一體ドウナノカ、一體軍ノ馬糧ハ一日ト位ニナツテ居ルカト云フコトモ、參考ノ爲ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○栗林説明員 軍ノ一日ノ日糧ハ約八十錢ト申シマシタ、ソレカラ是位ノ飼料ヲ與ヘタモノデアハ、軍用適格馬トシテ適當ナモノハ出来ナイノデアハナイカト云フ御説デアリマシタ、勿論サウ云フヤウナ御疑問モアルト思ヒマスケレドモ、民間ノ飼養ヲ容易カラシムルト云フコトガ、今マデハ全然ナカッタノデアリマシタ、是ダケテモヤツテ戴キマシタナラバ、私共ノ方トシテハ所謂民間ノ飼養ヲ容易ナラシメ、軍用適格馬ノ充實ヲ期スルト云フ點ニ於テ、非常ナ光明ヲ認メテ居ル譯デ、喜ンテ居ル次第デアリマス、此ノ額ノ増額ヲ要求致シマシテ、將來十分額ガ支給出来ルヤウニナリマスレバ、無論望マシイノデアリマスルケレドモ、是ハ國家財政ノ關係カラサウ急遽ニハ實現ハ出来マイト思ヒマスルノデ、只今ノ所デアハ現在ノ狀態マテ立至リマシタコトヲ喜ンテ居ル次第デアリマス

ラ御提出ニナツテ居リマス何郡ノ何村ニ於テハドウダト云フ案ハ、御立テニナルコトハ御自由ダ、御自由ダガ此ノ實行ノ可能性アリヤ否ヤト云フ事ハ、一方ニ於テソコニ存在致シマスル農家戸數ニ於テ、馬ヲ飼養管理スルニ適當ナル農家ガ一體何戸アルカト云フ調カラ、無ケレバナラヌ管デス、幾ラ獎勵サレテモ今ノヤウニ馬ヲ一頭飼フノニ百圓ダ、三十七圓補助金ヲ出セバ飼フダラウ、ナカツタモノガアルヤウニナツタノダカラ結構ダト云フ程度ノ觀念デハ、私共直接農村ニ接觸シテ居リ、第一線ニ居リマス者トシテハ、根本カラ吾々ハ此ノ案ニ満足ノ意ヲ表スルコトハ出来ナイノデアリマス、絕對ニ軍トシテ國防資源トシテ是ダケノ政策ヲ確立シナケレバナラヌト云フニハ、吾々ガ一方ニ於テ肥料ノ問題ヲ論ジマスト同様ニ、絕對ニナケレバナラヌモノデアリマスナラバ、絕對的ノ豫算ヲ要求サレルガ宜シイ、絕對ニ吾々ハソレヲ要求スルノデアリマス、所ガ一方ニ於テ計畫ノ基礎ガサウ云フヤウニ誤ツテ居ル、認識ガ誤ツテ居ルノデアハ如何トモナリマセヌ、一體何時頃其ノ百圓ト云フ數字ヲ御調ニナツタノデスカ、大體私ハ此ノ計算ハマダ本當ニ出来テ居ラヌノダト思フ、一方ニ於テ馬ノ種類アルトカ、馬ノ何トカ云フ方ハ相當ニ研究サレテ居リマスケレドモ、之ヲ農家經濟ト結付ケタ場合ニ、ソコニドウ云フ「ギヤツプ」ガアルカト云フコトノ研究ガ足ラヌト思フ、農家ガ一頭馬ヲ飼ヘバ、ソレニ依ツテ餌ガ幾ラ掛ル、ソレニ依ツテ出来ル堆肥ガドウ、ソレガ農業經濟ニドウ云フヤウニ影響シテ來ルカト云フコト、一方ニ於テ牛ナリ豚ナリ他ノ有畜農業ヲ獎メマス場合ト、茲ニドレダ

ケノ差額が出來テ來ル、其ノ差額ダケハ絕對ニ政府ニ於テ補償スルノダ、助成スルノダト云フダケノ根本觀念ナシニ、如何ニ獎勵ノ政策ヲ御立テニナツタ所ガ、コレチ今日ノ農村ニ望ムコトハ無理ナル、而モ是ハ馬ダケナラ宜シイ、一方ニ於テ無水「アルコール」ヲ造ルニ必要ダカラ、安イ値段テ薩摩諸ヲ作レ斯ウセイヤアセイト八方カラ註文ヲ付ケラレテモ、中々サウハ行カヌ、畜産局長ガ御見エニナリマシタカラ此處テ御答辯ヲ願ヒタイコトハ、畜産局方面ニ於テハ資料擴充ノ意味カラ養豚ノ増殖計畫、乳牛其ノ他一般ノ畜肉ノ増殖計畫ト云フモノヲ、御計畫ニナツテ居ルヤウデアリマスガ是ト馬トノ關係ニ付テ何ツテ見タイ、一體今回ノ馬政計畫ノ根本ヲ成シテ居リマス各郡別ニ獎勵ヲサレマシタ計畫、一方ニ於テ畜産當局ニ於テ御設定ニナツテ居リマス一般畜産ノ増殖計畫ト云フモノトノ關係ハ、一體トコマテ御研究ニナツテ居ルカ、當然一戸ノ農業ニ於テ馬モ飼ヒ牛モ飼ヒ豚モ飼フト云フコトハ不可能デアリマス、有畜農業ハソレ程多數ノ家畜ヲ必要トシナイノテスガ、其ノ場合ニ一體ドウ云フ風ニ、ソレテ農家經濟ニ當嵌メテ行カカ、例ヘテ申セバ煙草ノ地方ニ於テ、ドウモ牛ハマゾイ、馬ガ宜カラウ、又温床チヤリマス地方ニ於テハ、ドウモ牛ノ堆肥ハ冷エテマゾイト云フヤウナ關係ガ馬チ飼フ關係ト可ナリ絡ミ付イテ來テ居マス、生産地ハ別ト致シマシテ、利用ノ方面カラ言ヒマスルト、ドウシテモサウ云フ方面ヲ十分ニ考ヘテ行カナケレバナラヌト思フ、是等ニ付テノ畜産當局ノ御意見チ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス

○岸政府委員 畜産關係ニ於ケル所ノ家畜ノ増殖、ソレカラ今回ノ馬政ノ計畫トノ關係ナド云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フ御話デゴザイマス、是ハ今河野サンノ御話ノヤウニマダトコトノマテ細カクヤツテアル譯デアリマセヌガ、一應ノ考ノ下ニヤツテ居ル譯デアリマス、大體ニ於キマシテ私共ハ馬ハ從來ノヤウニ百五十萬ヲ維持スル、サウシテ置イテ他ノ家畜ヲ殖ヤス、斯ウ云フヤウナ見當ノ下ニヤツテ居ルデアリマス、先ヅ第一ノ基礎ハ全體的ニ見マシテ結局是ハ飼フ所ノ飼料ノ資源ガナケレバ何ニモナラナイ、如何ニ計畫シテモ困難ナル、又非常ニ深山外國カラ乾草デモ何デモ輸入ガ出來ルト云フコトデアリマスレバ、コレハ又話ガ別デアリマスケレドモ、現在ニ於ケル所ノ貿易ノ狀態並ニ輸送ノ狀態デアリマスレバ、是ハ非常ニ餘裕ヲ持ツテ考ヘル譯ニハ行カナイ、隨ヒマシテ其ノ數量ノ主ナルモノハ國內テ自給出來ルト云フコトヲ第一ノ趣旨ニシ、ソレカラ他ノ一部ハ日滿ニ於テ自給出來ルト云フコトヲ建前ニシテ考ヘテ行ツタデアリマス、基礎飼料デアル所ノ粗飼料ニ付キマシテハ過般來度々申上ゲマシタ様ニ、我國ニ於テハ六千七百萬頭程ノ生産ガアリマシテ、現在三千萬頭程ノ消費シテ居ルデアリマス、是ハマア地方的ニモ色々種類モ違ヒマスシ、又其ノ高ニ相違モゴザイマス、隨ヒマシテ之ヲ一様ニ取扱フト云フコトハ出來ナイデアリマスガ、一應其ノ數字ヲ考ヘテ而シテ足リナイ分ニ付キマシテハ、現在ノ粗飼料ノ利用ノ價値ヲ高クスルト云フヤウナ處置ヲ執ツテ、内容的ニ其ノ量ヲ豐富ニスル、尙ホ一面ニハ青刈等ノ栽培チヤツテ、サウシテ良質ノ

粗飼料ノ増産チヤツテ行クト云フヤウナコトヲ圖ツテ行ク、サウスレバ地方的ノ足リナイ分ニ付テハ補ヒガ出來ル、ソレカラ濃厚飼料ニ付キマシテハ、從來ハ大體農家ノ副産物ヲ以テヤツテ來タノデアリマスガ、畜産ノ發達ニ伴ヒマシテ、度々申上ゲマシタヤウニ、外國カラ澤山ノ飼料ガ入ツテ來マシタ、是ガ今同色々ノ國際關係カラシテ滿洲國依存ニ重點ヲ置イテヤルト云フコトニナリマシタノデ、滿洲國ノ方ニ増産チシテ貰フ、吾々が増殖チ目標トシテ居ル五箇年ノ間ニ於テハ、其ノ増産ト相俟ツテ自給チシテ行クト云フ考ノ下ニヤツテ居ルデアリマス、是モ飼料ノ利用ト云フ立場カラ致シマスレバ、結局牛、馬ノ如キハ粗糞モ澤山生産サレル、又粗糞ノ生エタ儘取得ル所ノ放牧地ノ澤山アル所ニ重點ヲ置イテ生産チヤツテ殖ヤシテ行ク、ソレカラ牛ニ付キマシテ肥育其ノ他ニ於キマシテハ、肥育資源ノアルヤウナ所ニ之ヲ殖ヤシテ行ク、其ノ方面ニ於キマシテハ或ハ養豚デアリマスルカ、或ハ養雞デアリマスルカ云フヤウナモノト、重ナリ合ツテ居ルモノガアルト思ヒマスガ、ソレハ何レモ生産スル所ノ飼料、或ハ農家ノ規模、或ハ生産物ノ處理ノ關係カラ、市場ノ遠近ト云フ様ナモノヲ考ヘマシテ、サウシテ其ノ立地的ノ關係ニ於テ、ドウ云フモノチヤツテ行カウカト云フ割當チヤツテ進ンデ行カウト考ヘテ居ル譯デアリマスドウ云フ風ニ割當チテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、今案ヲ作成シテ居リマス、是ハ専門的ノ機關ノ檢討ヲ經マシテ、農林協議會等ノ議ヲ經マシテ、サウシテ地方ニ實行シテ貰フヤウニ運ンデ行キタイト考ヘテ居リマス、是等ニ付キマシテモ、十

分馬トノ關係ヲ考慮シテ進ンデ行ク考テ居リマス、斯ウ云フ風ナ計畫チ立テテ進ミマスルナラバ、私共ハ馬トノ間ニ十分ノ折合チ付ケテ進ミ得ルト思ツテ居リマス、飼育者ノ方カラ言ヒマスレバ、經濟ノ外ニ多少ノ嗜好ト云フコトモゴザイマスノデ、飼ハセ得ルモノト致シマスレバ馬チ飼育スル、又牛チ飼育スルト云フコトモアラウト考ヘテ居リマス、ソレハ大家畜チ牛ト馬チ合セテ、四百萬頭ニスルノカドウカト云フヤウナ御議論モ出ルト思ヒマスルガ、是ハ其ノ土地ノ飼料ノ急激カラ考ヘテ見マシテモ、現在自給飼料ヲ供給シテ居ル量ト云フモノハ、吾々が考ヘテ居ルヨリモ非常ニ少イデアリマス、是ダケノ牛馬チ飼ヒマシテモ、恐ラク一日百貫カソコラシカ供給ガ出來ナイノチヤナイカ、私共ハモツト他ノ小家畜チ組合セテ、サウシテ飼料資源ガ許スナラバ、飼料供給ノ基礎チ立テルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノチヤナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、是等ハ經營ノ規模、ソレカラ立地ノ關係ヲ組合セテ考ヘナケレバナラヌ必要ガアル、小家畜ト大家畜チ併セテ考ヘテ見マスト、私共ノ豫定通りニ參リマスレバ、其ノ參リマシタ當時ニ於キマシテ、一町歩當リ大家畜ニシテ一頭弱ニナルデアリマス、此ノ一頭弱デハ或ハ足ラナイト云フ論モ出ルト思ヒマスガ、現在ノ飼料ノ關係其ノ他チ考ヘテ見マスルト、ソコ等ニ於テ釣合ハ又點ガ出來ルノチヤナイカト考ヘテ居リマス、細カイ點ニ於キマシテハ、是ハ地方チ煩ハシテ、サウシテ其ノ方チ専門的ニ研究シテ居ル者モアルデアリマスカラ、實地ニ立脚シテドウ云フ風チ家畜チドウ嵌メテ行クカト云フコトチ、實地

ニ就イテ導イテ行クコトが必要ナルト考ヘマス

○青見政府委員 只今最初ニ御質問ニナリマシタ一般農家ノ飼育費ハ、何時ノ調ベカト云フ御話ガアリマシタ、是ハ單價等ハ昭和十二年度ノ實績ヲ調査致シタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ斯様ナ飼育費ヲ以テ飼育致シマシタ馬ガ、一朝御用ニ立ツ場合ニドウデアアルカ、私共ハ勿論ソレハ不十分デアリマスカラ、今回ノヤウナ施設ニ依リマシテ馬ノ發育ヲ助ケ、健康ヲ増進シ、榮養ヲ改善スル爲ニ、財産ノ許ス限リノ助成金ヲ交付致シタイ、斯ウ云フ考ア只今ノ補助金額ト云フモノヲ決定シタノデアリマス、是ハ固ヨリ多イ方が宜イ、多イ方が宜イガ、財政トノ關係ヲ睨合シテ、斯様ニ決ツテ居ル譯デアリマス、又總頭數百五十萬ト云フ頭數ヲ、ドウ割當テラカト云フ御質問デアツタノデアリマス、是ハ只今モ他ノ政府委員カラ申上ゲマシタヤウニ、大體馬ト致シマシテハ、ズツト古クカラノ國內ニ於ケル總保有頭數ト云フモノヲ標準ト致シテ居ルノデアリマシテ、ソレガ時ニ依リマシテ増加致シタリ減少致シタリシテ居リマスルケレドモ、大體其ノ前後ノ數ヲ上下シテ居リマス、其ノ數ヲ成ベク維持スルヤウニ努メヨウト云フ意味デアリマスカラ、特別ニ之ニ依ツテ數ヲ擴大シタト云フ意味ハナイノデアリマス

○河野委員 申上ゲマスノハ、只今モ畜産局長カラ御答辯ガアリマシタ通りニ、一方ニ於テ牛デアリ、豚デアリ、養雞デアルト云フヤウナ農家經濟ノ上ニ於テ、非常ニ有利ナ畜畜ガアリマス際ニ、一方ニ於テ馬ニ對スル當局ノ認識ガ、一箇年百圓程度ノ飼養管理費ヲ行クダラウト云フヤウナ、根本觀念チ

誤ツテ居ラレル計算ニ基ク政策ヲハ、到底現在ノ程度ハ行キニクカラウ、例ヘテ申シマスレバ、地方競馬ノ問題ニ致シマシテモ、私ハ神奈川縣デアリマスケレドモ、神奈川縣等ニ於キマシテハ、地方競馬ニ依ツテ生ズル所ノ經費ヲ思ヒ切ツテ馬ノ増産ノ爲ニ使ツテ居ルノデアリマス、ソレデモ中々困難デアリマス是等ニ付キマシテノ根本ノ認識ト云フモノハ、一體何處カラ出ナケレバナラヌダラウカ、馬政計畫ヲ茲ニ根本的ニ確立セラレマスニ當リマシテハ、一體馬ニ對スル根本ノ認識、即チ馬ハ軍用上絕對ニ必要ナモノナリ、農家ノ經營上ハ必要ナモノヂヤナイト云フコトガ正シイノカ、農家ノ經營上必要ナモノデアツテ而モ之ヲ軍用ニ供スルト云フ政策ヲ行クノカ、之ニ對スル根本ノ見定メナシテ載キタイ、吾々農家ニ居リマス者カラ致シマスト、言葉ハ過ギルカモ知レマセヌガ、農業用ニ於キマシテハ、大抵ノ事ハ今日有利ナ所ノ牛テ間ニ合フ、而モ馬ヲ使用致シマス事ニ依ツテ、ドウ程度ニ一體——生産地ノ事チ私ハ論ズルノデアリマセヌカラ、誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、利用地ノ方面ノ立場カラ申上ゲテ居ルノデアリマス、之チ農家ニ於テ一箇年間飼養管理致シマス場合ニ、農家經濟ノ上ニドウ云フ影響チ見テ居ルカト云フコトチ、根本的ニ御檢討載キマシテ、此ノ基礎ニ立脚致シテ、サウシテ一體サウ云フコトナラバ、今後一方ニ於テ牛ノ増産チヤル、豚ノ増産チヤル、一般畜畜ノ増産計畫チヤル場合ニ、是ガ壓力ガ馬ノ方ニ加ツテ來ルコトチ、御考慮ハナケレバナルマイト思フ、サウシタ場合ニ、今モ畜産局長カラ樓々御説明ガアリマシタケレドモ、私ノ間ハントスル所ハ

根本方針ガ適所適産主義、適所適飼育主義ニ、第一義的ニ馬チ考ヘルノカ、馬ト他ノ家畜トチ併用シテ考ヘルノカ、コ、ニ非常ナ問題ガアルト思フ、今政府ガ最モ馬ニ適當ナ場所テ適當ニ生産チヤラセル、又馬チ利用サセルノニ一適當ナ農家ニハ馬チ積極的ニ獎勵シテ、茲ニ馬ノ百五十萬頭計畫ヲ確立スルト云フ根本ノ御方針ヲ御定メニナツテ、他ノ家畜ニ付テハ姑ク此ノ獎勵ヲ見合セルト云フマデニシテ、オヤリニナラナケレバイケナイノヂヤナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、サウシテ若シ私ノ考ヘ方ガ正シイノナラバ、補助金ノ如キモ補助ト云フノデアナク、當然農家ニ與フベキモノデアアル、國家ニ必要ナ資源チ農家ニ委託シテ居ルヤウナ御考ニナツテ載キタイ、唯農家ガ入用ナモノチ飼ツテ、ソレニ獎勵金ヲ出スノダカラ、恵チ施シテ居ルノダト云フヤウナ根本ノ御認識デハ、吾々農家ニ居リマスモノトシテハ、聊カ政府ト所見チ異ニスルノデアリマス、ソコデア府ハ其ノ點ニ付テドウ云フ考チ持ツテ居ルカ、今私ガ考ヘルヤウナ、馬ニ對シテ思ヒ切ツタ考ヘ方デ進ムノカ、ソレトモ馬ハ馬、牛ハ牛、豚ハ豚トソレト、適當ナ所ニ適當ニ之チ生産サセル、飼養管理サセルト云フ程度ノ考ヘ方デ、一體此ノ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカドウカ、ソレト、村別ニドウカ、那別ニドウカト云フコトチ御決メニナリマス根本「イデオロギ」ハ一體ドウナツテ居ルノカ、私ガ之チ御尋ニスル所以ノモノモ、十二年度ノ計算ガ百圓ダ、今日一體競馬ノ競技會ニ致シマシテモ、馬ノ曳付ニ致シマシテモ、オヤリニナリマスルコトハ、一トコロヘ馬チ皆チ集メサセレバ、馬ニ對シテ競争心ガ

起ル、アンナ瘦セタ馬チ曳イテハ行カレナイト云フコトチ、百姓ガ皆競争シテ馬ニ數チヤルシ、飼料チ相當ヤル、今荷見サンガ御考ノヤウナ、サウ云フ程度ノ認識ノ百姓ハ居ラヌ、ソナ馬鹿々々シイ數字チ聞イタラ百姓ハビツクリスル、大體政府ノ御役人ハ何チ考ヘテ居ルカ、サウシテ曳付ノ所ヘ來テハ偉サウナコトチ言ツテ、オ前ノ馬ハ良イトカ惡イトカ言フ、今後ソナコトチ地方ヘ行ツテ言ツテモ、百姓ハサウ云フ御認識デハ言フコトチ聽キマセヌ、是ガ根本ニ大事ナコトダト思フ、ソコデア先ヅ、其ノ根本ノ考ヘ方チ御變ヘニナラナケレバ、大藏省ニ向ツテ豫算チ要求スル場合ニ腹持ヘガ違フ、百圓ノ所ヘ三十七圓補助スル、三割七分ナリ、四割補助チスルト云フノダカラ、ソレハ大變好ク聞エル、他ノ六十二三圓ノモノハ他ニ利用價值ガアルカト云フコトチナレバ、農家經濟ノ上カラ見レバ、其ノ位ノ利用價值ハ他ニアラウ、ソレハ一年間ニ幾日馬チ使ツテドウ云フ計算ニナツテ、ドウナルト云フ計算ハ出テ來マス、三割七分ノ補助チスルト云フコトチナレバ、相當ナコトニハナルガ、根本ノ數字ガソレデハ駄目ダト思フ、之ニ付テ御考直シヨナサル氣持ガアルノカ、ナイノカ、更ニ又最近ノ物價高ニ付テドウ御考ニナツテ居ルカ、モウ一遍御考ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○青見政府委員 物價ノ段々騰貴ノ趨勢ニアルコトハ御話ノ通りデアリマス、ソレデ只今申上ゲマシタノハ、一般農家トシテノ飼養費デアリマスケレドモ、是ハ色々違ヒガアルト思ヒマス、都會附近ト或ハ農村チ放牧地ナドチ持ツテ居ル所トニ依リマシテ、色々違ヒガアルト思ヒマス、ソレハ御承知ノ通りデア

リマス、唯財政ノ關係上、此ノ程度ノ補助金ヲヤルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ只今申上ゲタ通りニ、吾々トシテハ出來ルダケ之ヲ増加致シマシテ、立派ナ馬ヲ作ツテ戰ノ役ニ立テタイト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、此ノ金額ヲ決シテ多イト言ツテ居ルノデアリマセヌ、極メテ少イケレドモ財政上已ムテ得ナイ、斯ウ御話ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレカラ馬政計畫トシテ、詰リ馬ノ用途ヲドウ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、軍馬トシテ役ニ立ツヤウナモノニ成タケシタイノデアリマスガ、是モ産業關係ヲ無視シテハ出來ナイコトデアリマスカラ、産業上ノ基礎ト云フコトモ十分考ヘテ、兩方密接ニ結付ケテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、單一ニハ考ヘテ居ラヌ譯デアリマス

○河野委員 只今ノ御答辯ハ私ノ申上ゲルコトト少シ違ヒマス而モ最初ノ御答辯ヲ放牧地等ノ御話モアリマシタケレドモ、私ハ今主トシテ利用地ノ事ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、放牧地トシテ考慮サレテ居ナイ場所ニ付テ申上ゲテ居ルノデス、生産地方面ニ於テハ、馬ノ生産等ニ於テ相當ノ收益ガ得ラレル場合モアリマスノデ、是等ニ付テノ觀念ハ又別デアラウト思フ、計算モ亦自ラ違フダラウト思フ、私ハ之ヲ利用シテ居ル利用農家ノ計算ヲ申上ゲテ居ルノデス、同時ニ今御話ニナツタ藁トカ、糠トカバカリチ馬ニ食ハシテ居ルヤウニ御考ニナルト、是ハ少シ御考ガ違ヒマス、其ノ程度ノ粗飼料今日馬ヲ飼ツテ居ル者ハ少イ、極ク特殊ナ地方ハ別トシテ、大體ニ於テ、最近ハ一般

フ計算ニツイテ、再認識ヲシテ戴キタイ、サウ云フコトデコレダケ實際ハカカツテ、コレダケ農村ニツイテ利用價値ガアルノダ、併シコレダケノ不足ハドウシテモ出來ルト云フ計算ヲハツキリ示シテ、ソコニ農村ガ國家、國防ノタメニ必要ナモノヲ、コレダケ負擔シテ居ルノダト云フコトヲ明瞭ニシテ戴キタイ、決シテ算盤勘定ヤ義理ヅクテ私ハ申スノデアリマス、國家ノ問題デアリマスカラソレガドウ云フコトニナルノダ、サウ云フコトヲ申スノチヤアリマセヌケレドモ、往々ニシテ此ノ頃ノ金持ガ百萬圓ヲ寄附シタトカ、五十萬圓寄附シタトカ云フト、馬鹿馬鹿シイ位ニ國家ノタメニ忠節ノ念ガアルヤウニ世間言フケレドモ、一體今日我國ノ農村ガ國家ノタメニ働イテ居ルコトハ、ソナナ程度ノ問題チヤナイト云フコトヲ吾々ハ明瞭ニシタイ、ソレテ私ハ申上ゲルノデアリマス、其ノ場合ノ政府ノ計算ガ如何ニモ杜撰デアアル、デアアルカラ斯ウ云フ立法ヲセラレマス場合ニハ、今後ニ於テハ何處マデモ百五十萬ノ立派ナ馬ヲ作レト云フコトデ、ドシ／＼施設セラレルデアリマセウケレドモ、施設ノ根本觀念ニ於テ、サウ云フ風ニ違ツテ居ルノデアリマス、此ノコトヲ、諄イヤウデアアルケレドモ申上ゲルノデアリマス、此ノ認識チ次ノ機會マデニハ是非御改メテ願ヒマシテ、サウシテ明年度ノ豫算ヲ御決メニナリマス場合ニハ、明瞭ナル數字ノ基礎ノ上ニ立ツテ農村ノ負擔ガ幾ラ、國家ノ負擔ガ幾ラト云フヤウニシテ、農村ニ補助チスルノチヤナイ、國家ガ負擔チシ、農村モ負擔チスルノダ、共ニ負擔チスルノダト云フ觀念デ、コレヲ明瞭ニ御示シ願ヒタイ、恰モ之ヲ農村ニ對シテ災害ノ救助費カ

ノ人間ノ食料モ贅澤ニナツタト同様ニ、馬ノ食料モ非常ニ上ツテ居ル、ソレデアリマスカラ最近ノ穀高ノ如キハ、馬ノ飼養管理者ニハ非常ニコタヘテ居ル、豆粕ノ値ガ上ツタリ、穀ノ價ガ上ツタコトニ對シテ、馬政當局トシテサウ云フ御考デハ、無關心デアナイカト思フ、馬ニハ糠シカ食ハサヌノダ、アトノ藁ヤ干草ハオ手ノモノダト云フヤウナ御考デオイデニナリマス、飼養管理者ノ方カラ言フト、是ハ當局ノ認識チ改メテ戴カナケレバナラヌコトニナリマス、一體戴ガ此ノ値段ダツタラドウ云フ風ニ響クカ、今日農村ニ飼養管理サレテ居ル馬ニ、戴ガドノ位食ハサレテ居ルカト云フヤウニ、モウ少シ綿密ニ地方ノ實情ヲ調べテ戴キタイ、今ノ御説明ニ依ルト、馬ハマルテ糠ダケ食ツテ居テ、穀ヲ食ツテ居ラヌヤウナ御計算デアルガ、ソレハ飛ンデモナイ間違ヒデアアル、決シテソナナモノデアナイ、是ハ餘程考ヘ方ヲ變ヘテ戴イテ、モット／＼穀ノ値上リト云フモノニ付テモ關心ヲ持ツテ戴カナケレバナラヌコトヲ思フ、是等ハ明ニ私ハ當局ノ認識不足ナリト云フコトヲ申上ゲナケレバナラヌト思フ、同時ニ私ノ申上ゲルノハ、百圓ニ對シテ三十七圓ト云フ數字ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、是ガ多イトカ少イトカ——財政ノ都合上是ヨリ出セナカツタト云フコトハ私モ認メル、併シナガラ財政ノ都合上出セナカツタノハ出セナカツタノデアアルケレドモ、元ガ百圓ト云フモノガ三十七圓デ、ソナナ不足ヲ言フコトハナイノチヤナイカト云フコトニナルノデスガ、ソナナ認識ハ改メテ戴キタイ、一體利用方面カラ馬ノ問題ヲ論ジマスル場合ニ、ドノ位一年間ノ飼養管理費ガ掛ルコトガ妥當カト云

何カチ出スヤウニ御考下サルコトハ甚ダ迷惑デアアル、政府ニ金ガナイカラ農村ニ金ヲ出シテ貰フト云フヤウニ、考チ變ヘテ貰ハナケレバイヤカヌ、此ノ點ヲ明瞭ニスルト同時ニ更ニ進ンデ御尋致シタイノハ、私ハ餘リ此ノ方面ニ研究モアリマセヌノデ申兼ホマスシ、又ドウセ軍ノ方モ秘密會ヲナケレバ御發表ガ願ヘナイカモ知レマセヌガ、百五十萬頭計畫ノ中デ、我が國防上必要ナル馬ノ頭數ト云フモノハ、成ベク多イコトヲ望マレルデアリマセウケレドモ、勿論百五十萬頭ノ中ノ何割デアアルトスルコト云フコトニ、政策ヲ御變ヘニナル譯ニハ行キマセヌカドウカト云フコトヲ御聽キシタイノデアリマス、之ヲ申上ゲル所以ノモノハ、先程私ガ申上ゲマスルヤウニ、何トシテモ農村ノ經濟ノ上カラ申シマス、馬ヲ飼フヨリ他ノ家畜ヲ飼養スル方ガ經濟デス、デアリマスカラ集中的ニ馬ニ對シテ、國防上必要ナル馬ハ是ダケ是非必要デアアル、是ダケノ馬ハ政府ガ買上ゲテ、軍ノ方デ飼養管理シテ居ラレル分ハ幾ラ、其ノ他ハ適當ナル農村ニ對シテ、飼養管理ヲ委託サレルト云フヤウニ御考ニナル方ガ適切デアナイカ、斯ウ云フ氣持ガスルノデアリマスケレドモ如何デゴザイマスカ

○佐々木説明員 私ガ代リマシテ御説明致シマス、徵發令ノ關係カラ申シマス、十四條ニ示サレマシタル或ル特定ノ馬以外ノモノハ、徵發ノ對象ニナリ得ルモノデアリマス、其ノ全部ニ對シテ色々ノ施設ヲ致シマセヌト、戰時必要ノ馬ノ全部チ「カバー」シタコトニナラナイノデアリマス、併シ國防上ノ必要ト申

シマシテモ、或ル順序ガアリマスノデ、此ノタビ施設ヲ致シマス  
軍用保護馬ト申シマスノハ、是ハ數字ハ一寸御遠慮致シタイ  
ノデアリマスガ、軍用保護馬ニ致シマス總數ハ、徵發上カラ申  
シマスレバ、極メテ重要ナルモノデゴザイマス、之ニ施設ヲ集  
中致シマス譯デアリマス、併シナガラ之ヲ以テ外ノモノハ全部  
徵發ノ對象ニナラナイカト申シマスト、是ハ先程申シマシタ  
通り、必要已ムテ得ザル場合ニハ徵發ノ對象ニナルノデアリ  
マスケレドモ、一應ハ絕對必要ノモノト云フ考ヘ方カラ、除イ  
テ考ヘテ宜イト思ヒマス

○河野委員 私ハ其ノ點ニ付テノ認識モハツキリ致シテ居リマ  
ス、尙色々ノ機會ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、次ニ私ガ御  
尋致シタイノハ、將來日滿ヲ通ジテ計畫云々ト云フ事ニナツテ  
居リマス、他ノ家畜モ無論同様デアリマスケレドモ、馬ニ付テ生  
産ノ獎勵、之ニ向ツテ改良ノ施設ヲ御加ヘニナラナケレバナラ  
ヌ事ハ勿論デアリマスガ、併シ乍ラ何處迄モ平時ニ於テ利用價  
値ガ下ノ程度ニアルカ、ソコニ價額ト云フモノガ生レテ來ルト  
思ヒマス、デアリマスカラ、生産ノ方面カラ考ヘマシテモ、馬ノ  
利用價値ヲ増進セシムル、利用價値ノ足ラナイ分ニ付テハ、政  
府ノ補助ナリ特殊ノ施設ガ入用デアルト云フ事ハ、申上ゲル迄  
モナイト思ヒマス、然ルニ我國ノ現下ノ事情カラ考ヘマシテ、之  
ヲ下ノ程度迄國內ニ保有シ、國內ニ利用價値ヲ生セシメルカト  
云フ事ニ付テハ、現在ノ種馬其ノ他ノ關係カラ、今御示ニナツテ  
居リマス計畫ハ、主トシテ一朝有時ノ際ニ於ケル利用價値ヲ深  
メル施設ガ多イヤウニ思ヒマス、所ガ平時ニ於キマス馬ノ利

用價値ヲ增加セシムルコトハ、取モ直サズ馬ノ増産獎勵トナリ  
保有ノ數ノ増加ヲ來ス所以デアルト思ヒマスガ、此ノ方面ニ對  
スル相當思切ツタ施設ガナケレバナラヌト思フデアリマス、  
ソコデ、今日マデノ實情ニ付テ考ヘマスノニ、例ヘバ地方競馬  
ノ關係等カラ申シマス、主トシテ利用地ニ於テ地方競馬ハ盛  
デアリマス、生産地ニ於テ、農村ノ實情カラ申シマシテ、比較  
的ニ地方競馬ハ收入ガ少イト云フ所ニ、或ル程度ノ調節面ヲ私  
ハ見出ス事ガ出來ルト思ヒマス、之ヲ今回中央ニ於テ統制ヲセ  
ラレル其ノ施設ニ付テモ、中央的ノ「イデオロギー」デアヤリ  
ニナルト云フコトニナルト、利用方面ト生産方面ノ關係ニ付テ  
餘程當局ニ於テ明瞭ナ御認識ガナイトイカヌト思ヒマス、從來  
ノ利用地方面ニ於テヤリ來ツタ所ノ施設チヤリマスニハ、ソレ  
相當ニ經費等モ要スルデアリマス、之ヲ一朝全國畫一的ノ獎  
勵方法ト云フコトニセラレマス、例ヘテ申セバ都會附近ニ於  
テハ各種ノ物價ガ高イ、物資ガ高イ、又馬ノ利用ヨリモ他ノ利  
用力ガ多イト云フ關係ニナリマス、順次馬ノ利用價値ガ地  
方的ニナツテ來テ、本當ニ今日利用サレテ居ル種馬ノ如キニ  
付テモ、或ル程度ノ變化ヲ來スノデアリナイカト、素人考ナガラ  
考ヘテ居リマス、是等ニ對スル御認識ハ如何デアリマスカ  
○佐々木說明員 私カラ御說明申上ゲマス、全ク御説ノ通りデ  
アリマス、利用ニ關スル獎勵ト、得ントスル馬ニ對スル要求ト  
ガビツタリ合フ獎勵ノ方法ガ一番宜シイデアリマス、併シチ  
ガラ現在各方面ニアリマス地方競馬等モ、獎勵ニ關スル一ツノ  
施設ト云フ見方ヲ致シマスナラバ、或ル種類ノモノニ付キマス

テハ、軍用ノ適格馬或ハ軍用ニ最モ良イト云フ馬ヲ得ル爲ニ、  
色々ノ障礙ガアルデアリマス、然ラバ是等ヲ許シテ置イテモ  
宜イデアリナイカ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方モ出來ルノデアリマス  
スケレドモ、一頭デモ多ク成ベク軍用ニ適スル馬ニ考ヘタイト  
云フヤウナコトカラ考ヘテ參リマシテ、此ノ利用ノ範圍ナリ、  
程度ナリ、或ハ利用ノ方法ナリト云フヤウナモノニ對シテ、統  
制的ナ考ヲ持ツテ參ツタノデアリマス  
○河野委員 少シ私ノ申上ゲマシタコトガ足リマセヌト思ヒ  
マスガ、私ノ申上ゲマスノハ、地方競馬ニ依ツテ得ル所ノ資源  
之ヲ利用スルコトニ依ツテ、各地方ニ於テ相當ノ馬ノ施設ヲシ  
テ居ル、是ハ中央ニ鍛鍊馬中央會、其ノ他中央團體ニ於テ、是  
等ノ經費ヲ統制シテ、之ヲ全國劃一的ニ分配サレルコトニナリ  
マス、ソコニ非常ナ變化ガ起リマス、從來ノヤウナ各府縣ノ  
分布率ニ付テモ非常ナ變化ガ起ル、是ハ決シテ好イ結果ニナル  
マイト思フノデアリマス、之ヲ實施サレタ後ニ付キマシテ、ドウ云  
フ御考ヲ御持チニナルカヲ承リタイ  
○佐々木說明員 私モ考述ヒテシテ洵ニ恐縮致シマス、今ノ御  
話ノ事柄ニ付キマシテハ、色々ナ角度カラ考ヘラレルト思フノ  
デアリマス、ト申シマスノハ現在地方競馬ニ依ツテ上ツテ居  
リマス金ノ、現在ニ於ケル馬ノ方ノ事柄ニ對スル利用價値、ソ  
レカラ他ノ利用ノコトヲ考ヘマス場合ニ、其ノ地域以外ノ方面  
ニ於テソレダケノ金ガ得ラレルカ、得ラレヌカト云フヤウナコ  
トモ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、隨ヒマシテ今  
度考ヘテ居リマス施設ニ於キマシテハ、其ノ組合ノ實施致シマ

ス鍛鍊馬競走ノ上リノ金ノ内カラ、一部ノモノヲ中央ニ集メマ  
シテ、必要ノ方面ニソレヲ割イテ行カウト云フヤウナ事柄デア  
リマシテ、從來アリマシタ其ノ地方ダケニ特色ガアルト申シマ  
スカ、其ノ地方ノ特殊性ニ依ツテ、必要ノモノマデモ取上ゲテ  
中央テ他所ヘ持ツテ行カウト云フヤウナ考ヘ更ニナイデアリ  
マス  
○河野委員 甚ダ諄イヤウデアリマスケレドモ……其ノ一  
部ト云フノハ下ノ程度ノ分デアリマスカ  
○青見政府委員 只今申上ゲマシタ分ハ、今回地方競馬ニ代ル  
ベキ鍛鍊馬競走ニ依ツテ得タ金額ノ一部ヲ、中央團體ニ入レテ  
サウシテ中央ノ方テハ鍛鍊馬ノ健全ナル發達、ソレカラ地方競  
馬ノ廢止整理等ニ努メテ居ルデアリマスガ、之ヲ強度ニ納付  
致サセマス、只今御話ニ出マシタヤウナ地方ノ施設ニ、著シ  
イ變更ヲ來ステアラウト思フデアリマス、其ノ點ハ成ルダケ  
地方ノ是マデノ事情ニ、非常ナ困難ヲ生セシメナイ程度ニ決メ  
タイト思フテ居リマス、是ハ上リ金其ノ他ノ工合ニ依リマシテ  
表ノヤウナモノヲ作製シテ、取ツテ行クヤウニシタイト思ヒマ  
スガ、其ノ具體的ノ數字ハマダ申上ゲルコトニナツテ居リマセ  
○河野委員 申上ゲルコトニナツテ居リマセヌト云フ御答辯ハ  
私ハ甚ダ遺憾デアリマス、一體サウ云フコトヲ述ベテ戴クコト  
ガ、吾々ノ審議ニ必要デアリマス、勿論善々此處ニ委員ニナツ  
テ居リマス者ハ、何レモ議會内ニ於ケル馬産ニ關スル第一人者  
デアリマス、皆ソレノ地方ニ於テ從來馬産ノコト、一般ノ畜

産ノコトニ關係ヲ持ツテ來タモノデアリマス、是ガ今此處テ公開シテ惡イトカ云フコトナラ、秘密會テモ開イテ吾々ハ何ハナケレバナラヌ、併シマサカ今案ガナイ譯デアリマス、申上ゲルコトニナツテ居リマセヌト云フ様ナコト申サナイコトニシテ、アナタ方ガ勝手ニ御決メニナルト云フ筋ノモノデモナカラウト思フ、是ハ御話戴イテ、サウシテドノ程度ガ適當カト云フコトヲ、御協議ノ上ニ御進メニナルコトガ適當デアリマス、是ハ役人ダケテ決メナケレバ弊害ガアルト云フ問題ナラバソレハ吾々トシテ斷ジテ承服出來マセヌ、吾々ト雖モ内ラニ於テオ前ノ所テハ幾ラ出セ、オ前ノ方ハ幾ラ出セト言ツテ喧嘩ガ起ツタナラバ、役人ガソレハイカヌ、此ノ程度テ經メロト云フコトハ宜イカモ知ラヌケレドモ、是ハ役人ト民間ト協力シテ、現在ノ實情ニ最モ適合スルヤウニ決定スベキモノデアアル、之ヲ役所ダケガ決メテ、マダ申上ゲヌ方ガ宜イト云フサウ云フ態度ハイカヌト思フデアリマス、是ハ私ハ承服致シマセヌ、今茲テ案ガ無イナラバ、次ノ機會マデニ相談シテ來ルトカ、何トカ云フコトテ御答辯ヲ戴カナケレバ、吾々トシテハ是ハ重大問題デアリマスカラ、承服致ス譯ニハ參リマセヌ、重ネテ御答辯願ヒマス

**○荷見政府委員** 私ハサウ云フ風ニ申上ゲタ積リテハナイノデスガ、大體具體的ノ數字ハ成績ヲ見ナイト分ラヌデアリマス、是ハヤツテ見ナケレバ分ラヌト云フコトハ御承知ノ通りダト思ヒマス、併シナガラ今申上ゲタ鍛鍊馬競走施行ニ差支テ起ストカ、或ハ殘額ニ付テ、是マデノ各競馬場ニ於キマシテ馬事

施設等ニ使ツテ居ツタ金額ガアルデアリマスカラ、サウ云フモノトモ見合セテ、大體ハ過去ノ實績カラ見マシテ妥當ト認メラレル賞金アルトカ、開催費ヲ控除シタ殘リノ中カラ納付金ヲ決メル事ニナリマスケレドモ、決メル時ニハ、是マデノ馬事施設ノ用途ニハドレ位、ドノ邊ニハドノ位使ツテ居ルト云フノデ、地方的ニ按排チシナケレバイカヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ハ成績ヲ見テ行ク内ニ、確定シテ行クコトモアラウト思フデアリマス、ダカラ實行セヌ内ハ一寸決メニクイト云フコトヲ申上ゲタデアリマス

**○河野委員** ドウモソレハ少シ話ガ違フノデアリマス、大體今度ノ案ヲ御立テニナル時ニハ——是ハ豫算デアリマス、無論見當ガアツテ、總テサウ云フ案ガ出來タ、例ヘバ鍛鍊馬中央會ヲ作ツテ、ソコヘ大體現在ノ地方競馬ノ賣上高ハ幾ラ、ソレニ對シテ歩合ハ幾ラ、ソレチ一體何分位地方ニ殘シテ、鍛鍊馬中央會ニ持ツテ來ルカ、持ツテ來テ鍛鍊馬中央會ニ仕事チヤラセル、ヤラセルニ付テハ三十七圓テ宜カラウト云フ總テ綜合的ナ案ガ出來テ居ルダラウト、吾々ハ敬意ヲ表シテ居ツタノデス所ガサウ云フモノガナクテ三十七圓ハ百圓カラドウシテ出來タ、カ、地方カラハ競馬チヤツテ見ナケレバ分ラヌ、サウ云フ認識テ斯ウ云フコトヲオヤリニナルコトハ大膽不敵デアリマス、ソレチ一體黙ツテ三十七圓位テヨク承知チナサツタカト思フ、ソレチ一體黙ツテ三十七圓位ハイケマセヌヨ、吾々ガ今聽カントスル所ノモノハ、吾々ト雖モ豫算ヲ見テヤラナケレバナラヌ、明年一月一日カラ實施スルニ付キマシテハ、來年ノ競馬ニ付テハ明年度

ノ豫算ニハ入ラナイ、明日ニモ吾々ハ縣ノ畜産組合ノ豫算ノ審議チヤラウト、實ハ先刻當局ニ相談シテ居ツタ、一體其ノ場合ニ政府ノ方ハ鍛鍊馬中央會ニ何割位ノモノヲ持ツテ行ク積リデアルカ、賣上金額ラニ付テ最高ハ幾ラ、最低ハ幾ラト云フ率ガナケレバナラヌ、豫想ガアルナラバソレニ基イテ、大體ハ是レ位賣レラウ、サウスレバ此ノ位ノモノハ鍛鍊馬中央會ニ出シテ、其ノ殘リノモノハ縣内ノ施設ニドノ位使フ、サウシテ同時ニ鍛鍊馬中央會テハ、何ト何ノ仕事チ、ドウ云フ風ニナサルノダト云フ御示シガナケレバナラヌ管デアアル、ソレチナケレバ唯一遍中央ニ於テ百五十萬圓、百六十萬圓ト仰シヤツタ所ガ、仕事チスルノハ吾々デス、地方テ吾々ガドウ云フ風ニ百姓ニ旗ヲ振ルカト云フコトガ大事デス、如何ニ縣廳ノ役人サンニ、アナタ方ガドウ仰シヤツテ見テモ、吾々ガ地方ニ行ツテヤラナケレバ、是ハ絕對ニ行キハシマセヌヨ、ソレチ議會ニ於テサヘ此ノ程度ノ御話テハ、是ハ逆モ御話ニナラヌ、馬西協會アタリメ協議ガ調ハナケレバ、是ハ御話ニナラヌカラ、斯ウ云フ機會ニ吾々ハ徹底的ニ御説明チ伺ツテ、サウシテ吾々トシテ十分ナル認識ヲ得テ協力シタイ、斯ウ考ヘルノデアリマシテ、若シソレ等ノハツキリシタ御答辯ガナケレバ、二日テモ三日テモ委員會ヲ休ンテ、サウシテ十分御研究ノ上ニ御答辯願ツテモ宜シイ、マダ是ハ日ヲ急イテ居ル譯デアリマセヌ、ドウセ貴族院ナンカ餘リ關係ナイノデスカラ、サウ審議ハ掛カルマイト思フ、吾吾兎ニ角當ニ第一線ニ立ツテ、此ノ軍馬ノ補充ニ付テハ總テノ問題ニ關係スルデアリマスカラ、十分ニソレ等ノ點ニ付テ度

藏ナク腹ノ底マテ割ツタ御説明チ願ヒタイ、豫算ガ足リナケレバ私共ガ大藏省テモ何處ヘテモ出掛ケテ談判チ致シマス、ソレデアリマスカラサウ云フ點ニ付テハ其ノ程度マデ一ツ此ノ際ハツキリ御聽カセ願ハナケレバナラヌ、同時ニ地方ノ獎勵費ニ付テモ、今日牛耕ノ獎勵チヤレバ、馬耕ノ代リニ牛耕ガドン／＼代ツテ行ク、ソレチ馬ノ利用範圍ト云フモノハ今日段々減ツテ來テ居ルデアリマス、サウ云フ際デアリマスカラ「ガソリン」ガナクナツタナラバ、モット馬力ヲ獎勵チスル、ソレニハ馬力ノ車位只買ツテヤルト云フヤウナコトマデヤツテヤリタイ、サウシテ徹底的ニ馬ノ利用價值ヲ高メルヤウニ、施設チシナケレバナラヌト思ツテ居ル、先程來伺ツテ居リマス、マルテ根本カラ考ガ違フ、外國ノ政策チ吾々ハ審議シテ居ルヤウナ氣分ガスル、三十七圓位ノ金チ出シテ、ソレチ農家ノ馬ガ維持サレテ行クト御考ヘニナルコトハ、飛ンテモナイ考ヘ違ヒデアリマス今マデ出シテ居ラヌト仰シヤイマスケレドモ、各府縣ノ畜産組合テソレ／＼出シテ居ル馬ニ對スル施設費チ集メテ、計算シテ御覽ナサイ、一體ドレ位出テ居ルカ、實ニ莫大ナルモノガ出テ居ル、是ハ一ツ改メテ御答辯チ願ヒマス

**○荷見政府委員** 來年ト申シマス、昭和十四年ノ地方競馬ニ付テハ、是ハ全然關係ノナイコトニナリマスノデ、鍛鍊馬ノ方ハ十五年以後ノ問題デアリマスカラ、十四年ノ豫算ニ付テハ從來通り踏襲シテ戴キマス、ソレカラ尙ホ經費ノ納付率ニ付キマシテハ、是ハマダ實行シテ見ナイ案デアリマスカラ分リマセヌガ、之チ實行シタ場合、或ル程度變更スルト豫想シテ居ルノデ

アリマスガ、抽象的ナモノハ御眼ニ掛ケラレルダラウト思ヒマス、大體地方競馬ノ馬事施設特別會計繰入金ノ年額ヲ申上ゲテ見マス、昭和十二年ガ百八十三萬圓、昭和十一年ガ百八十五萬圓、昭和十年ガ二百七萬圓、昭和九年ハ百九十五萬圓、昭和八年ガ五十四萬圓ト云フ風テゴザイマシテ、此ノ金額ヲ全額費シマシテモ、只今申上ゲテ居リマス軍用馬ニ對スル飼養助成金ヨリハ、餘程少額ニナツテ居リマス、而シテ先程陸軍ノ當局カラ申サレマシタヤウニ、是マテ何モナイノテ甚ダ成績ガ悪カツタ、今度ハ出來ルダケ政府力ヲ入レテ良クシヨウト云フノデアリマスカラ、此ノ程度テモ若干ハ改善サレルト思ツテ居リマス、併シ萬全トハ思ツテ居リマセマ

○河野委員 今御話ノ中確メテ置キタイ點ハ、ソレハ昭和十五年ノ四月一日カラ鍛鍊馬中央會テヤルコトニナルデアリマスガ、吾々畜産組合ノ豫算ハ昭和十四年ノ四月一日カラ十五年三月三十一日マデニナリマス、昭和十五年四月一日カラト云フコトニナリマス、其ノ間ニ地方競馬ハ必ズ一回位開催サレルト思ヒマス、其ノ關係ハドウナルカ、吾々ハ疑問ニ思フノデアス、ソコテ當然今私ガ申上ゲタヤウニ明年度ノ畜産組合ノ經費トシテハ競馬ノ開催費ガ一回ダケ入ツテ來ルデアリマス、ソレテ吾々ハ懸念致シテ居ルデアリマス、其次ニ今馬車施設費云々ト云フ御話デアリマシタガ、斯ウ云フコトヲ御考ヘ願ヘヌモノカト思フ、即チ最近ノ馬ノ値上リハ三十圓ヤ五十圓ノモトナナイ、馬ハ御承知ノ通り或ル年限飼養管理致シマス、牛ト違ツテ之ヲ處分スル場合ニハ本當ニ安イモノデアリマス、隨

テ今日之ヲ廢馬致シマス時ニ、農家ガ過去ニ馬ヲ買ツタ時ノ値段ト今日馬ノ値上リニナツテカラ廢馬致ス場合ノ金額ノ差額ヲ御計算ニナルト、ドレ位ノ數字ニナルカ、是ハ相當ノ金額ニナリマス、ソレダケテモ農家ノ負擔ハ大キクナルト思フ、モウ一通申上ゲレバ今ノ馬ノ相場テ農家ガ買入レテ、或ル程度飼養管理シテ之ヲ廢馬致シマス時ノ金額ト昔買ツタ馬ヲ廢馬致シマス時ノ金額トノ間ノ開キハドレ位カ、現在馬肉ハソソクニ高クナツテ居ル譯デモナイ、所ガ馬ノ値段ハ相當上ツテ來タ、此ノ農家ノ負擔ダケテモ相當ナモノガアル、是ダケテモ今御話ニナリマス所ノ二十圓ヤ三十圓テハ換ヘラレナイ農家ノ負擔ガアル、サウシテ百圓、百五十圓モ餘計出サナケレバ馬ガ買ヘナイト云フコトニナルト、之ニ對スル農家ノ負擔モ相當ニ多イモノガアルデアリマス、是等ニ付テモ餘程御考ヘ直シテ願ハナケレバナラヌ、私ハ先程來政府ニ對シテ御尋テ致シマシテ自分テ考ヘマスコトハ、政府ガ根本カラ考ヘ方ヲ變ヘテ戴カナケレバ旨ク行カヌダラウト云フコトデアリマス、斯ウ云フ風ナ政策ヲオ立テニナツテオヤリニナツテモ、今マテ結局變ツタコトナシニ極端ナコトヲ申セバ地方競馬ヲ今日司法省ガ頭張ルノカ、内務省ガ頭張ルノカ、何處ガ頭張ルノカ知レマセヌケレドモ、非常時ニハ非常時ナリノ考ヲ以テヤツテ戴カナケレバナラヌ、ヤレ射倅心ガドウトカ、犯罪人ガ何人出タトカ詰ラヌ事ニ因ハレテ、競馬ノ監督ヲシテ、サウシテ競馬ヲ萎縮セシメルト云フヤウナ結果、馬ニ對スル觀念ヲドン／＼薄ラガセル所ノ損失ノ方ガ如何ニ大キイカト云フコトヲ、御考願ハナケレバナルマイト

思フ(拍手) 是ハ軍部農林省共々大藏省ニ對シテ、ヤリ方ガ柔カ過ギル、モット思切ツテ肚ヲ決メテ、シツカリト認識ヲ改メサセル必要ガアル、ソレト同時ニ司法省ナリ内務省ナリニ向ツテ競馬ニ對スル觀念ヲモウ少シ變ヘサセル必要ガアル、勿論吾々ト雖モ國法ハ儼トシテ之ヲ曲ゲルコトガ出來ナイコトハ能ク承知シテ居リマス、併シ一面ニ於テ競馬ガ今日ノ程度ニ馬産政策上ニ於テ、役立ツテ居ルカト云フコトノ認識ヲシテ貰ハナケレバイカヌ、警保局長ノ如キ此ノ間モ此處ニ來テ小申君ノ質問ニ答辯シテ居ルノヲ聽イテ居ルト、競馬ノコトハチヨウトモ知ラヌ、競馬ノ事ヲ知ラヌ役人ガ出テ來テ、競馬取締ヲ論ズルガ如キハ滑稽千萬ダト思フ、サウ云フ觀念ノ人ニ馬ノ事ヲ論ジテ貰フカラ間違フデアリマス、ドノ程度ニ政府ハ馬ニ付テ農民ニ對シテ要求スルモノガアルノダト云フ事ヲ、ハツキリシテ貰ハナケレバイカヌ、ソコテ補助ト云フヤウナ觀念ヲ棄テテ貰ヒタイ、是ハ政府ガ其ノ一部ノ負擔ヲスル、辨償ヲスルト云フ觀念ニ、其ノ考ヘ方ヲ變ヘテ貰ハナケレバイカヌ、此ノ觀念ガ變テ又内ハ、ドウシテモ大藏省テ農家ニ補助スルノダ、競馬ヲヤラシテ其ノ競馬ヲ得タ所ノモノヲ以テ補助スルノダト云フ觀念デアリマスカラ、ソコニ違ヒガ起ツテ來ル、モウ一ツハ公認競馬ニ關スル觀念ト、地方競馬ニ關スル觀念トノ相違ガ餘リニ大キイコトヲ、吾々ハ遺憾ニ思フデアリマスガ、一體ドウシテソソクニ大キナ觀念的ノ相違ヲ持ツ必要ガアルノカ、公認競馬ハ紳士トカ偉イ人ガ關係シテ居ルカラ、アレダケ公認競馬ニ特殊ノ待遇ヲシナケレバナラヌカ、公認競馬カラハ國庫ニ

對スル納付金ガ多イカラ公認競馬ニ對シテハ、アア云フ觀念ヲ持ツ必要ガアルノカ、地方競馬ハ何故ニサウ云フ風ニ觀念的ニヤカマシク言ハナケレバナラヌカ、他府縣ノ馬ガ來テ飛ンダ所テ、何ガ一體惡イノカ、地理的ニ或ル程度ニ全國ヲ區分シテソコニ共同シテ、地方競馬ノ認識、馬ニ對スル認識、私ノ茲ニ申上ゲル所以ノモノハ、多少意味ハ違フカモ知レヌガ、一箇所ニ數萬ノ縣民ヲ集メテ、其ノ縣民ニ對シテ隣ノ縣ニハ斯ウ云フ立派ナ馬ガ居ル、何處ノ縣ニハ斯ウ云フ立派ナ馬ガ居ルト云フコトテ、縣内保有馬ニ對スル競走ヲサセルコトモ一ツノ方法ダト思フ、自分ノ縣内ダケテ一箇年ニ六日ヤ八日ノ競馬ヲヤラセテ見タ所ソソクナ所ヘ出テ走ル爲ニ馬ニ餌ヲ食ハセル譯ニハ夢ラヌ、麥精ヲ食ツタ馬ガ競馬ニ出テ走ツタラ一體ドンナコトニナルカ、ソソクニ馬ニ飛ベル管ハアリマセヌ、是等ニ對シテハ根本的ニ御考ヘ方ガ違ツテ居ルノデハナイカト私ハ思フ、私ハ此ノ馬政計畫ノ根幹ニ疑義ヲ持ツデアリマス、甚ダ失禮ナ申上ゲヤウデアリマスケレドモ、五年ヲ出テズシテ此ノ馬政計畫ハ根本カラ考ヘ直シテシナケレバナラヌコトニナルダラウトサヘ私ハ別ノ機會ニ言ツタコトガアル、他ノ畜産家ノ集リニ於テ、私ハソソクニ風ナ雜談ヲシタコトガアル位ナ認識ヲ持ツテ居ル、我國ノ馬政計畫ニ對シテ御熱心ナコトハ敬意ヲ表シマスケレドモ、農村ニ對スル根本ノ認識ノ私達ト違フコトニ對シテ、甚ダ遺憾ノ意ヲハ表明スル者デアリマス、是等ニ付キマシテハ、何レ適當ナ機會ニ——今日ハモウ時間モ既ニ五時ニナリマスカラ、私ノ質問ハ留保致シマシテ、農林大臣、陸軍大臣等ニ就テ

場合ニ依ツテハ大藏大臣等ニ就テ徹底的ニ所見ヲ述ベテ見ル考  
デアリマスカラ、其ノ機會ヲ與ヘラレンコトヲ委員長ニ御願致  
シマシテ、私ハ今日ハ此ノ程度ヲ止メマス

○荷見政府委員 地方競馬ノ廢止、詰リ只今ノ條文ヲ言フト、  
軍馬資源保護法第三十三條ノ施行ハ、前々申上ゲルヤウニ、昭  
和十五年一月一日ヨリト致シタイ見込ヲ持ツテ居ルノデアリマ  
スカラ、此ノ點一點、ソレカラ馬ノ値上リガ今甚シイノデアリ  
マシテ、之ヲ農家ガ購入シテ利用シテシマツタ場合ト、馬ノ値  
ノ下ツテ居ツタ時購入シテ、總テ處分スル場合ト比ベテ、其ノ  
損益關係ハドウカ、ソレハ御話ノ通り高イ時ニ購入致シマシタ  
モノノ方ガ、損失ノ大キイコトハ當然デアアルト思ヒマス

○河野委員 ドノ位ノ割合カト云フノテス

○荷見政府委員 ソレハ利用方法ノ如何ニ依リマスカラ、一概  
ニハ申サレヌノデアリマス、馬ニ對スル觀念ノ普及ガ、地方競  
馬ヲ廢スルコトニ依ツテ弱ツタナラバ非常ニ困ル、是ハ其ノ通  
リアアリマスガ、ソレニ代ルベキモノトシテ鍛鍊馬競走ノ如キ  
ヲ認メル、鍛鍊、競技ノ如キモ實行スルコト云フ各種ノ方策ヲ講  
ジテ、尙ホ利用獎勵ノ方法等モ講ジタイト考ヘテ居ルノデアリ  
マス、ソレカラ軍用保護馬ニ對スル補助金ヲ、競馬ノ賣得金ヲ  
ヤルト云フコトハ、甚ダ怪シカラヌト云フ御話ノヤウニ思ヒマ  
スガ、今回ハ競馬ノ賣得金ニ限リマセヌ態度ヲ、大藏當局モ是  
認シテ居ルノデアリマシテ、コレハ其ノ一部分ニ充テルニ過ギ  
ナイノデアリマスカラ、此ノ點ハ御心配ハナカラウト思ヒマス  
ソレカラ他府縣ノ鍛鍊馬競走ニ出走セシムルコトガ、却テ適當

テナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ他ノ事モ運用宜シ  
キヲ得ナケレバ、軍ノ要望スル有能馬生産擴充ノ目的ノ達成ヲ  
期シ難イモノデアアルト思フノデアリマス、仍テ私ハ農村ノ實情  
ヲ述ベテ、國民ノ聽カントスル所ヲ細部ニ互ツテ、實際問題ト  
照シ合セテ、サウシテ政府ノ所信ヲ伺ヒタイト考ヘテ居ルノデ  
アリマス、先ヅ他ノ委員カラモ申サレテ居ル通り、此ノ二法案  
ノ目的ヲ達成セシムルニハ、農村ノ經濟ニ重點ヲ置キ、而シテ  
此ノ法ノ運用ニ當ラナケレバ好結果ヲ得ルコトハ出來ナイト云  
フコトハ、極メテ明瞭デアリマス、元來農村ニ於ケル愛馬心ト  
カ、動物愛トカト云フモノハ、非常ニ強イモノガアリマシテ、  
是ハ農村ノ美風デアリマス、先ヅソレ等ノ例ヲ申上ゲルト云  
フト、農家ハ住宅ヲ建築スル場合、同一家屋ニ厩ヲ日當リノ最  
モ好イ位置ヲ選定スルト云フ慣習デアリマス、サウシテ馬ト同  
居スル農民ハ、食事チスル場合ニモ厩所ニ首ヲ出サシメ、馬ノ  
首ヲ眺メナガラ一家樂シク食事チ共ニスルト云フ實情デアリマ  
シテ、一面農家ノ信用程度モ、馬ノ有無ニ依ツテ其ノ程度ガ違  
フノデアリマス、又馬ノ出產ニハ形バカリノ御祝ノ御酒ハ附キ  
物デアリマス、是ハ孫ヤ子ガ生レタ時ト同様、若クハヨリ以上  
ニ御祝チスルノデアリマス、總テノ環境カラシテ、先祖傳來ノ  
馬産事業ハ、手放スコトハ出來ナイ状態ト、一面ニ愛馬心ノ興  
ル原因ハ、一切ノ生活モ行事モ馬トノ縁關係ガ深ク、娛樂ニ  
付テ見テモ、踊ト云ヘバ駒踊リ、歌ト云ヘバ馬子唄ト云フ譯デ  
古來馬産地ノ農家ニハ附キ物デアリマス、近頃ハ産馬音頭トカ  
愛馬小唄トカ色々出來テ、産馬地ノ生徒等マデモ之ヲ誦ツテ居

ナノダト云フ御話デアリマスガ、是ハ關係當局ノ間ニ於キマシ  
テモ、馬ノ資源保持上、適當テナイト考ヘテ居ルノデアリマス  
カラ、結論ダケヲ簡單ニ申上ゲテ置キマス

午後四時五十七分散會

昭和十四年二月二十日  
午後一時三十六分開議

○佐藤委員長代理 是ヨリ軍馬資源保護法案外二件ノ委員會ヲ  
開會致シマス

○小笠原委員 ……私等東北關係ノ生産地ニ此ノ法案ガ重  
大ノ關係ヲ有シテ居ルコトト、モウ一ツニハ今度此ノ法案ニ依  
ツテ一番打撃ヲ受ケル所ノ輕種、其ノ方面ニ吾々モ關係ガアル  
ノデアリマスルカラ、兎ニ角一通り此ノ方面ノ生産關係ノ事情  
ヲ申上ゲテ、ソレカラ段々ニ箇條的ノ質疑ニ入りタイト斯ウ思  
フノデアリマス、此ノ兩法案ハ第一馬政計畫ノ延長ノ第二馬政  
計畫、是ノ改變デアリマシテ、其ノ主ナルモノハ輕種ヲ軍馬ト  
シテ適當ナラズト云フ所ガ、非常ニ大キナ大改變ニナツタノデ  
アリマス、其ノ他ノ事ハ從來トハ左程違ハナイト私ハ考ヘテ居  
リマス、尙ホ軍馬資源保護法案ニ至ツテハ、吾々ノ要望シタル  
所ノ最高軍馬制度ノ確立ト見テ然ルベキダト、私ハ考ヘテ居ル  
ノデアリマス、唯問題ハ輕種問題ノ大改變ニ對シマシテ、相當  
ナ苦心チ伴ハナケレバ、此ノ國策ノ目的ヲ達シ得ルコトハ容易

リマス、其ノ他馬ノ市日ニハ年中行事トシテ、卒業間際ノ女學  
校生徒ガ、見學チシテ居リマス、小學校生徒ハ、ビン／＼跳ネ  
ル馬ノ中ヲ潜リ抜ケテ、市場ニ入込シテ、危險ノ爲メ、是ノ整  
理ニ當ル警官ガ態々派遣サレテ、取締ニ當ラナケレバナラヌト  
云フ状態デアリマス、尙ホ酒ヤ菓子ノヤウナモノニモ馬ノ名前  
ナドヲ付ケテ居リ、又各部落ニハ馬ノ神様タル御若前様ヲ祀ツ  
テ居ルト云フ状態デアリマス、私共ノ青森縣ノ氣比神社——是  
ハ御若前様ノ元締デアリマスガ、是ノ大祭ハ舊曆五月一日ト十  
五日ニ行ハレマス、此ノ日ニハ近縣ノ參拜者ノ爲メ臨時列車並  
ニ増結列車ヲ運轉シ、尙ホ附近町村ノ自動車ハ全部動員サレ、  
其ノ他乘馬、ソレモ多數ニ依ツテ尙ホ運ビ切レナイト云フ状  
態デアリマス、馬産地方ノ産馬組合ノ市場ヲ御覽ニナツタコト  
ノアル方ハ、能ク御分リノコトト思ヒマスガ、軍馬購買官ヨリ  
軍馬ニ御買上ゲノ聲ヲ聞ク時ニハ、民衆ハ拍手ヲ以テ歡喜スル  
程、一般的ニ軍馬チ生産シタコトハ、恰モ出征軍人ヲ送ツタカ  
ノ感ガスルノデアリマス、組合デハ國防旗ヲ作ツテ、組合管内  
町村ノ中テ軍馬生産ノ多數ヲ占メルコトニ依ツテ、獲得スルコ  
トニナツテ居リマス、之ガ競走ニナリマシテ、非常ニ熱心ニ軍  
馬生産ニ努力チシテ居ルノデアリマス、尙又馬産地出征兵ガ如  
何ニ馬ノ組合ノ狀況ヲ知リタイノミナラズ、自分ガ手ヲ掛ケタ  
種牝馬カラ、ドンナ馬ガ生レタカト云フコトヲ承知スルコトヲ  
何ヨリモ樂ミトシテ居ルノデ、馬産家ハ馬ヲ賣ツタ金ノ中カラ  
僅カヅツ集メテ、産馬ノ狀況ヲ繪葉書ニ作ツテ、之ヲ戦地ニ送  
ツテ居ルヤウナ状態デアリマス、更ニ此ノ農家ノ馬産ニ携ハル



者ノ狀態ニ付テ其ノ一例ヲ申上ゲマス、立派ナ軍馬候補馬ニ  
育成シテ市場ニ出ス二日前ノ出來事デアリマスガ、或ル工場  
ノ自動車運轉手ガ、馬産地ニ慣レナイモノデアラカラ、其ノ馬  
ニ自動車ヲ衝突シ、太腿部ヲ骨折セシメタデアリマス、此ノ  
場合ニ警察カラモ、産馬組合側カラモ、其ノ狀況ヲ調査ニ行ツ  
タデアリマスガ、骨折甚シク途ニ屠殺シナケレバナラナクナ  
リ、村ノ若イ者ガ十人バカリ掛ツテ棒ヲ助ケナガラ山ヘ運ンダ  
ノデアリマス、其ノ場合ニ家族ハ皆泣キ叫ブノデアリマス、ソ  
コテ警察側モ組合側モ、其ノ餘リニ悲慘ナ狀況ニ對シマシテ氣  
ノ毒ニ思ヒマシテ、見舞ノ言葉ヲ述ベタデアリマス、所ガ其  
ノ一家ノオツ母ア——ソレハ五十許リノオツ母デアリマスガ  
金ハ兎モ角此ノ戰爭最中ニ軍馬ニナル馬ヲ怪我サセテ、何トモ  
御國ニ申譯ガナイト、逆ニ詫ビラレタノテ、警察官モ組合長モ  
涙ナクシテ此ノ言葉ヲ受取ル事ガ出來ナカッタト云フデアリ  
マス、然ルニ昨今ハ御承知ノ通りノ非常ナル諸物價ノ騰貴ヲ見  
ルニ至リ、之ガ爲ニ馬ノ價格モ多少ハ昂上ゲラレタデアリマ  
スガ、農林省ノ種馬購買價格及ビ競馬協會ノ購買價格ハ、舊來  
通り其ノ儘テ、軍馬ハホソ少許リ高價ニナツタト云フ程度  
デアリマス、併シナガラ當初ハ此ノ時局柄デアリ、農民ハ進  
ンテ五圓十圓ノ高價テ牛馬商ニ難リ取ラレルヨリモ、安クトモ  
軍馬ニ賣ルコトヲ喜ブ傾向ガアツタデアリマス、所ガ一昨年  
ノ狀態テハ、軍馬購買官モ前年度ノ豫算デアリ關係上、到底豫  
定ノ頭數ノ購買ハ覺束ナイト云フ各市場ノ實情デアリマス、ソ  
コテ購買官モ牛馬商ト組合側トノ協力ヲ求メテ、軍馬ノ聲ヲ掛

デアリマス、隨テ昨今ノ經濟狀態ハ愛馬心トカ出征軍馬トカ、  
古イ歴史ヲ有ツタ馬産地ノ美德モ、經濟的打撃ノ爲ニ今ヤ全ク  
破壊サレントシテ居ル實情ハ、此ノ兩法案ノ實施ニ當ツテ見送  
スコトノ出來ナイ重大事デアルト云フコトヲ、先ヅ申上ゲテ置  
キタイノデアリマス、政府アハ農民生活上ノ購買力ノ變動ヲ顧  
ミズ、生産物ノ馬ノ購買ニ對スル半強制的ナ統制行爲ハ、是  
ハ餘程慎重ニ御研究アラネバナラヌ事デアルト思ヒマス、苟モ  
馬産ニ關シテハ、吾々ガ常ニ主張シテ居ル如ク、政府ハ民間ノ  
實際ニ當ツテ居ル者ノ聲ヲ、聞キ誤ラザル馬政方針ノ確立ヲ望  
ンテ已マナイ次第デアリマス、是マデ平時ニ於ケル軍馬購買ノ  
多クハ、乘馬ヲ主トシタデアリマシテ、價格ノ點モ乘馬ハ高  
價ニ購買サレテ居ツタデアリマス、此ノ乘馬ノ購買ノ多クハ  
輕種産地ニ於テ購買サレタデアリマス、然ルニ此ノ新馬政計  
畫ニ依ツテ輕種ハ軍馬トシテ不適當ト斷定サレタデアリマス  
畢竟スルニ輕種兵器ハ不用トナリ中間種兵器ト變更ニナツタノ  
テ、政府ニ於テ地域的ノ役種別ヲ指定シテ輕種兵器ヲ第一期馬  
政計畫以來三十箇年、此ノ方面ノ生産擴充ヲ圖ツテ第一期三十  
箇年ヲ終リ、第二期馬政計畫ニ移リ、一二年經テズシテ此ノ改  
廢ヲ斷行セラレタノハ、輕種地ニ取ツテハ何トモ言葉ニ言ヒ現  
ハスコトノ出來ナイ大衝擊ヲ與ヘタデアリマス、併シナガラ  
之ニ對シテハ、御國ノ爲トアルナラバ、理窟ヲ披キニシテ涙ヲ  
吞ンテ輕種馬産地ハ國策ニ殉ズルコトニナルデアリマス、爾ガ  
之ニハ種牡馬、種牝馬ノ改廢、並ニ是マデ申上ゲタ農村ノ美德  
デアル慣習等モアルノテ、自家テ生産シタ馬ヲ手放サシメ、國

ケタ馬ニ對シテハ、之ヲ難リ上ゲズシテ、其處テ豫定ノ頭數ヲ  
充足セシメタデアリマスガ、結果ニ於テハ生産者ハ多ク太ナ驢  
牲ヲ拂ツタ譯デアリマス、是ハ軍需資材ノ供給ノ何レノ方面カ  
ラ見テモ、農村固有ノ美德ノ現ハレト感ズルモノデアリマス、  
然ルニ昨年ニ至ツテ、軍馬ガ一旦檢定ノ上ニ札ヲ付ケタモノモ  
牛馬商ノ希望ニ依リ、又ハ其ノ他ノ購買者ノ希望ニ依ツテ、難  
リ方ヲ譲リ、他ニ難リ取ラセタル場合ハ、一頭ノ難リ取り價格  
ハ軍馬購買價格ヨリモ百圓乃至二百圓以上モ、高價ニ賣レル狀  
況ニナツタデアリマス、一面農家經濟ヲ見ルニ、多クノ出征  
兵ガ出テ居リ、馬ハ深山僻處セラレ、漁村アハ多クノ船ヲ發  
サレテ居ルト云フ狀態デアアルニモ拘ラズ、銃後國民ノ食糧ノ健  
テ握ツテ居ル農村漁村民トシテハ、一段ト努力シテ、平時ヨリ  
以上ノ收穫ヲ得ンガ爲ニ、未明ヨリ夜運クマテ奮闘努力ヲ續ケ  
テ居ルデアリマス、更ニ此ノ馬産ヲ副業トスル經濟狀態ヲ見  
ル時ニハ、出征軍人其ノ他軍需工場等ニ出稼ギシタ關係モアリ  
馬ヲ飼フ牧夫ハ、一箇年食ヲ與ヘテ百圓カ二百圓ガ通例デア  
ッタノガ、今日テハ、二百五十圓デアリマス、又干草ハ倍額ト  
ナリ、藁ハ藁工品其ノ他ノ關係ア、是亦價格ハ倍額トナツタバ  
カリテナク、品不足ヲ來シ、殊ニ飼料トシテノ麥、燕麥、稗、  
大豆等ハ倍額近クニナリ、其ノ他制蹄、藥品、馬ノ手入道具一  
切暴騰シ、一面馬ニ對スル法律命令ハ三百六十以上モアリ、是  
等ニ應ズル爲ニ種馬配合檢査、仔付檢査、體馬實査、傳染性貧  
血症ノ檢査、保險ノ檢査、品評會ガ何ダ彼ダト云ツテ年二十  
五、六回モ組合其ノ他指定ノ場所ニ曳張リ出サレルト云フ有様

策ニ副フ馬ヲ手ニ入レサセルタメニハ、其ノ指導等ニ於テモ相  
當ナ苦心ト經濟的打撃ヲ蒙ル譯デアリマス、一面少シテモ油斷  
スルナラバ、古來ヨリ傳統的ニ訓練付ケラレタ生産技術ヲ無ニ  
スル處ガ多分ニアルデアリマス、之ニ對シテモ政府ノ方デハ  
相當同情アル準備ガアテネバナラヌ筈ダト思フデアリマス、  
其ノ點ノ内容ヲ詳シク御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、政府ノ  
方デ農村馬産地ノ聲ヲ聞クコトナク、机上論ノミニ依ツテ評  
サレルト、色々實際ニ即セザルモノガ出來上ルヤウニ思ハレ  
ルデアリマス、先ヅ從來ノ例ヲ見ルニ、農林省テ購買サレテ  
居ル種馬ニ對スル購買價格ヲ研究シテ見ルト、種牡馬購買ニ當  
ツテ二十年前米一升十五錢ノ時代今日ト比較シテ、今日ノ種  
馬購買ハ、馬ハ相當ニ發達シタニモ拘ラズ、ヨリ安ク買ハレテ  
居ルト云フ狀態デアアル、二十年前アタリハ農村モ相當ニ豊カ  
アリ、農村部落ニ於テモ種牡馬ヲ購買シ、自由ニ種付ノ配合ヲ  
ヤツタデアリマス、隨テ種牡馬購買ニ對シテモ農村團體或  
ハ縣下方面トカ國ト争フ程ノ狀況デアツタガ、逐年農村ガ疲  
弊シ來リ、昨今テハ農村ニ於テ農林省或ハ組合ヨリ助成ヲ仰イ  
テ、種牡馬ヲ購買シテ居ル狀態デアリマス、隨テ農林省購買ニ  
ハ競争者ガ無ク、獨リ舞臺トナツタ譯デアリマス、ソレヲ好イ  
事ニシテ、種馬購買ニハ運送馬ニモガ生エタヤウナ買方ナスル  
ノテ、現ニ今年ノ種牡馬購買ヲ見テモ九百圓ダ、一千圓ダ、一  
千五百圓ダト云フ馬チザラニ買ツテ居ル、而モ是ハ四、五歳ノ  
馬ダ、荷馬車馬テモ八百圓カラ一千圓モスル場合ニ、以上ノ如  
キ買方アルカラ、優秀ナ種牡馬ガ出來ル譯ハナイ、種牡馬ニ

優等ナモノヲ得ナケレバ此ノ二法案ノ目的ヲ達スルコトノ出来  
ナイハ、火ヲ賭ルヨリモ明カデアアル、尙ホ今後ハ種牡馬購買  
ハ農林省一本ニナツテ、何人ト雖モ種牡馬ヲ購買スルコトハ出  
來ナイ法律ノ下ニ置カレルノデアアルカラ、此ノ機會ニ購買ニモ  
從來ノ弊ヲ改メテ、篤ト農村經濟ヲ考慮ノ上、馬産有力者ニ於  
テ進ンテ種牡馬生産ノ改良發達ニ邁進スルヤウ致サレタイノテ  
アリマス、現在馬ノ政策ノ大改革ヲ行ツテ國策ヲ樹立シテモ、  
種牡馬ガ不足テ今年カラ實行出來ヌト云フ有様デアリマス、已  
ムテ得ズ軍テ望マザル、國策ニ反スル種牡馬ノ配合ヲシナケレ  
バナラヌト云フ状態デアアル、假ニ中間種ノ種ヲ配合シヨウトシ  
テモ、内地馬政計畫ノ方針ニ基ク種牡馬ハ何頭ヲ要スルカ、而  
シテ現在何頭ヲ所有スルカヲ考フル時ニ、心尙ニ憂フベキモノ  
ガアルデアナイカト思フデアリマス、種牡馬統制法テハ種牡  
馬・種牡馬ト云フケレドモ、是ハ仔ヲ産ムモノヲ種牡馬トシタ  
ラ出產シタモノノ中、優秀ナモノヲ種トシヨウト云フ心構ヘト  
ヨリ見ラレナイ、森林ノ種苗テサヘモ三十年以上ノ樹ヲ種木ト  
シテ、其ノ質ノ良イモノカラ撰定シ、氣候風土ヲ能ク調査ノ上  
ニ配置スルコトニ依ツテ、植林ノ目的ヲ達スルト云フノデアリ  
マス、況ヤ馬ハ種牡馬ヲ選定スル上ニ於テハ、國家テ牧場ヲ持ツ  
テ嚴選主義ヲ執ツテモ、尙ホ優等ナル種牡馬ハ揃ハズ、相當ニ  
不足ヲシテ居ルノデアアル、此ノ場合ニハ民間ヨリノ種牡馬購買ニ  
對シテハ、先ヅ種牡馬ヲ選定シ、是ガ飼養管理ヲ監督シ、配合  
ノ宜シキヲ得テ、一面ニ相當額ノ助成ヲ與ヘテヤツテモ、種牡

明瞭デアリマス、隨テ種牡馬ノ選定ハ此ノ方面カラ見テモ、此  
ノ兩法案ノ目的達成ニ重要ナ役割ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、  
忘レテハナラヌデアリマス、之ニ對シテ政府ノ所信ヲ伺ヒタ  
イノデアリマス、次ハ軍馬購買ニ付テ、斯ノ如キ物價ノ騰貴ニ  
依リ馬ノ生産經濟モ周圍ノ事情ニ伴ハレテ昂騰シ、如何ニ馬産  
地方ノ美徳ナル愛馬心テモ、ドウニカ經濟ノ保タレテノ事デア  
リマス、馬ノ方バカリ經濟的ノ方法ヲ考ヘテモ、農民周圍ノ諸  
物價ノ統制ガ圓滿ニ行カケレバ、馬ノ生産力擴充モ、國防上  
ノ軍所用ノ優能馬充實モ、覺束ナイノデアリマス、從來ハドウ  
ヤラ總テノ點ニ於テ經濟ガ保タレタカラ、多大ナ犧牲ヲ拂ツテ  
マデ、御國ノ爲ニ軍馬生産ニ努力シタノデアリマスガ、昨今ノ  
急激ナル諸物價ノ暴騰ニ對シ、殆ド行詰リヲ生ジテ居ルノデア  
リマス、ソレテモ朴訥ナル農民ハ此ノ場合デアアルカラ苦痛ヲ訴  
ヘルコトナク、政府ヲ信頼シテ御方針ニ從フノデアアルガ、併シ  
ナガラ二、三年前ノヤウニ、經濟的遺線ノ付クコトヲ豫想シテ  
今後モ從來通りノ政府ノ方針デアツテハ非常ナル政治ノ缺陷ヲ  
生ズル虞ガアルノデアリマス、同ジ軍馬ト申シマシテモ乘馬、  
輓馬、小格輓馬、輻重駄馬ガアリ、是等ノ中テ利用方面ノ多イ  
小格輓馬式ノモノハ兎モ角トシテ、乘馬ニ地地的役種別ノ指定  
ヲサレタ場所ニ於テハ、眞ニ軍用ノミニ適當デアツテ、軍馬ノ  
購買ヨリ振落サレタルモノハ、砲銃兵器ノ検査ハグレト同様、  
慘メナ値段テ處分シナケレバナラヌデアリマス、而モ乘馬ハ  
飼養管理費モ相當多額ヲ要シ、尙ホ從來ノ例ヲ見ルニモ、軍馬  
ノ生産目的ニ、假リニ四千頭ヲ種付ケテシ、其ノ仔ガ市場ニ現

馬一代ニ對シ候補牡馬ノ二三頭ヨリ生産シナイト云フ状態デア  
リマスカラ、是等ノ經濟状態ヲ篤ト調査ノ上、獎勵ノ意味ヲ含  
メテ、相當ナ購買價額ヲ増額シテ、先ヅ良イ種ヲ揃ヘルト云フ  
コトニナラナケレバ、此ノ二法案ノ完成ハ覺束ナイト考ヘテ居  
リマス、殊ニ我國特有ノ産馬方針ヲ確立シタル内地馬政計畫、  
竝ニ滿洲國ニ移植ノ計畫ガアリ、尙ホ外國輸入ハ諸外國ノ事情  
ニ依ツテ、不可能ナル現状デアアルニ於テハ、特ニ優秀ナル種馬  
ノ生産ニ、一段ノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌト思フデアリマ  
ス、然ラザレバ此ノ法案ハ實行不可能デアリマス、何トナレバ  
此ノ國策ニ協力シヨウトシテモ、規格ニ當嵌ツタ種馬ノ配給ガ  
出來ナイカラデアリマス、此ノ種牡馬政策ガ相當犧牲ヲ拂ツタ  
ニシテモ、七千五百頭ノ優秀ナ種牡馬ヲ一日モ早く完備スルコ  
トニ依ツテ、之ニ比例シテ良馬ノ生産ヲ得ルコトハ、是亦當然  
ナコトデアリマス、此ノ優良馬生産ニ依ツテ負擔力、輓曳力、  
持久力ノ増加ヲ見ルノデ、隨テ農畜關係並ニ馬利用ノ方面テ、  
經濟的調和ヲ得ルコトヲ得、一面ニハ國防上軍所要ノ馬ヲ全ク  
粒揃ヒニ整備ノ目的ヲ達シ得ラルルノデアリマス、我が日本國  
内ニ於テ地域カラ見テモ、牧野關係カラ見テモ、又經濟關係ヲ  
考ヘテモ、徒ニ數ヲ増加スルト云フコトハ不可能テ、ヤハリ粒  
ヲ以テ揃ヘルト云フコトハ、今回ノ馬政國策上見逃シテハナラ  
ナイト考ヘル者デアリマス、更ニ馬ニ對スル指導ノ方面カラ考  
ヘル時ニハ、乘馬、輓馬、小格輓馬等ノ一定ノ規格ハ、如何ナ  
ル文字ヲ使ツテモ現ハシ得ナイノテ、實物ニ當ツテ指導スルノ  
ガ一番有效適切デアアルコトハ、從來ノ長イ經驗ニ徴シテ極メテ

レル時ニ、最モ成績ノ好イ所テ種付數ノ半分ヨリ市場ニ現レズ  
ソレヨリ軍馬ハ多クテ二百頭ヨリ選定シナイト云フコトニナリ  
マス、隨テ軍馬購買ヲ目標トシテ種付シタル四千頭ノ馬ハ、一  
頭ヅツ軍馬生産ニ廻ハリ當テルニハ、二十箇年ニ一回軍馬購買  
ノ目的ヲ達シ得ラレル譯デアリマス、隨テ軍馬購買ノ價格ハ普  
通馬ヨリ相當増額ナケレバ、軍ノ要望スル馬ハ農家經濟ヨリ  
見テ、生産不可能デアルト思フデアリマス、農民ハ經濟的ニ  
ヘタルマデオ上ノ命ニ從フモノデアアルガ、併シ一旦ヘタバツ  
タラ、オ上ノ力テモ容易ニ起スコトノ出來ナイト云フコトヲ、  
御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、軍用馬トシテ輓馬、小格輓馬  
デアツテモ、普通農村テ使役ニ簡易ナ馬格ヨリハ、相當ニ軍用  
ニ傾イタ馬政ノ方針デアアルカラ、國防上ノ見地カラ、馬政計畫  
ノ此ノ二法案ノ總ベテノ方面ニ、相當ナ保護ヲ加ヘルベキデア  
ルト思フデアリマス、隨テ今回ノ取引改善ノ調査モ、民間ノ  
現情ト照シ合セテ、慎重ヲ期スベキデアルト思フデアリマス  
現ニ段々馬カラ牛ニ轉向スル者ガ出來ルト共ニ、兵務局長ノ御  
講演ニアル通り、軍馬ノ購買ニ對シテモ、餘リニ値段ガ違ヒ過  
ギル爲メカ、之ニ應ズルヲ喜バザルノ傾向ヲ辿リツツアルコト  
ハ、餘程御研究ヲ要スル問題デアリマス、併シナガラ吾々民間  
側トシテハ、馬匹ノ暴騰スルコトヲ徒ラニ好ムモノデアナイ、  
殊ニ馬産ノ源泉タル生産者方面ニ於テハ尙ホ然リデアリマス、  
何故ナレバ政府ノ購買頭數ハ、生産馬頭數ノ一割乃至一割五分  
デアリマシテ、アトノ大分部ハ使役地タル農家方面其ノ他ニ販  
賣サレルノデアツテ、是等ノ得意先ニ農畜關係其ノ他馬ノ利用

ニ使役スルノデアツテ、即チ生産馬ハ此ノ得意先ニ依ツテ消化セシメルノデアルカラ、此ノ消化ニ對シテハ經濟的ニ永續ヲ希望シ、併セテ國防上ノ充實ヲ期スルノデアリマス、依ツテ使役地ノ生産物ノ價格ヤ、運送馬力ニ依ル昨今ノ收益ノ度ヲ能ク調査シテ、之ニ對應スル價格ノ馬値段ヲ定メルベキモノト信ズルノデアリマス、是等ノコトハ生産者側ハ百モ二百モ承知ノコトナレドモ、斯ノ如ク物價騰貴ノ状態ヲ保持レナクナツタコトハ、篤ト此ノ二法案ノ出發ニ於テ、御研究アラネバナラヌノデアルト思フノデアリマス、何故斯様ナ事ヲ申スカト云ヘバ、第二馬政計畫テ、殊ニ馬政調査會ニ掛ケテ馬政ノ憲法トシテ、國民ニ馬政ノ嚮フ所ヲ示シ、一、二年經テマズシテ掌ヲ返スガ如キ大改變編チ、多クノ同一ナ役人ニシテ之ヲ行フト云フコトニナレバ、前途ニ轉タ不安ヲ懷カザルヲ得ナイノデアリマス、此ノ法案ノ實施ニ當リマシテ前途ヲ明確ニシタイ爲ニ、御尋スルノデアリマス、尙ホ農村ハ國家全體ノ動員ニ依ツテ、必要ナル場合ガ到來シタ曉ニハ、何時テモ馬ヲ只テテモ御國ノ爲ニ差上ゲル用意ノアルコトヲ、申上ゲテ置キタイ、ト同時ニ如何ナル美名ノ下ニアラウトモ、唯馬ノ價格ノミチ事變ノ犧牲ニスルト云フ農村ノ行爲ガアツテハナラヌノデアリマス、以上申述ベマシタ諸點ニ關シテ、詳シク御説明ヲ御伺致シマシテ、更ニ細部ニ互ツテ質疑ヲ試ミタイト思ヒマス

○荷見政府委員 第一ノ輕種ヲ軍馬ニ使用セザルコトニ馬政計畫ヲ立テマシタノハ、是ハ陸軍ノ要望ノ結果ニ依ルノデアリマスカラ、私ノ方カラ其ノ點ダケ申上ゲテ置キマス、馬ノ改良方

ニ割合ガ少クテ、後ハ一般民間ノ需要ニ應ズルノダ、ソレハ其ノ通りト存ジマスガ、今回ノ馬政計畫ニ依リマシテ滿洲ニ移殖致シマスル馬數ハ、平年度ニ於キマシテハ相當只今御話ノモノヨリハ多額ニ、ソレノミテモ上ル見込デゴザイマスカラ、價格ノ安定ト云フコトニ付テハ、御話ノ點ヨリモ餘程都合ガ好ク行クヤウニナルノデアリカト考ヘテ居リマス、大體私ノ方カラハ此ノ點ダケ申上ゲマス

○要林說明員 軍馬ノ購買價格ニ付キマシテハ、軍ニ於キマシテモ馬ノ資格ヲ判定致シ、尙ホソレニ馬ノ生産費トカ市價ト云フモノヲ適當ニ考慮ノ上、適正ナル値段ヲ決メルノデアリマス一貫シタ方針ト致シマシテハ、馬產ヲ何處マテモ保護助長シテ行クト云フ精神ノ下ニヤツテ居リマス、併シ最近ニ於キマシテハ事變ノ影響ヲ蒙ツテ、非常ニ馬ノ値段ガ上リマシタ、之ガ爲ニ殆ド軍馬ノ購買ト云フコトハ不可能ニナルノデアリカトスラ危ブマレタノデアリマスガ、出來ルダケ此ノ値段ヲ適正ニスルト云フコトニ善處致シテ參ツタノデアリマス、尙ホ適正ナル値段ヲ定メルト云フコトニ付キマシテハ、關係當局トモ篤ト御相談ヲ致シマシテ、善處致シタイト思ツテ居リマス

次ニ馬ノ種類ノ問題デアリマスガ、先ヅ最初ニ御答シナケレバナラナイコトハ、今回ノ事變ニ因ツテ突如トシテ馬政ノ根本方針ヲ變ヘタノデアリカト云フヤウナ、或ハ屢々馬政ノ根本方針ヲ變ヘタノデアリカト云フヤウナ、御叱リデアリマスケレドモ、是ハ何等カノ誤解デアリカト考ヘマス、ソレヲ只今一寸申上ゲマス、御承知ノ如ク第二次馬政計畫ヲ立テマシタ際ニハ、其

針ノ改變ニ伴ヒマシテ、影響ヲ受クベキ輕種産地ニ對スル對策如何ト云フ第二點ノ御話デアリマスガ、是ハ前段モ申上ゲマシタ通り、戦列部隊所用馬生産用ノ種牡馬ノ整備ハ、昭和十八年度マテトナツテ居リマス、輕種産地ニ對シテハ、特ニ之ヲ早メル方針ヲ執ルコト、輕種ノ種牡馬ヲ中間種ノモノニ置キ換ヘル場合ノ設置獎勵ニ付テハ、輕種産地ヲ優先的ニ認メル方針ヲ執ルコト、輕種産地ノ軍馬購買ニ付テハ軍部トノ申合ニ依リ、明ケ二歳ノモノハ昭和二十年度マテ、壯馬ハ同ジク二十五年マテ特ニ之ヲ認メル方針ヲ執ルコト、ト云フヤウナコトニ致シマシテ、成タケ輕種産地ノ混亂ヲ來サナイヤウニ處置致シテ參リタイ、斯様ニ御承知ヲ願ヒマス、第三ニ種牡馬ノ購入價格ニ付テ御質問デアリマスガ、是ハ馬糧ノ騰貴等ノ關係モ考慮致シマシテ、昭和十三年度ニ於キマシテハ明ケ二歳馬ノ價格ハ、昭和十二年度ヨリモ平均凡ソ百圓程度増額致シタノデアリマス、又日本競馬會ノ行ヒマス「アラブ」抽籤馬ノ購買ノ價格ニ付キマシテモ、昭和十三年ノ秋カラ一回引上テシ、尙ホ昭和十四年ノ初ニ於テモ、再ビ其ノ引上テ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ種牡馬ノ選定ニ付キマシテハ、優良ナル種牡馬ノ生産ニ付テハ種牡馬ヲ生産スルニ適當ト認メマス優良種牡馬ヲ選ビ、之ニ種牡馬ヲ作ルニ適當ト認メル種牡馬ヲ交配シテ、生産致シタイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、種馬統制法ニ依リマシテ優良ナル種牡馬ノ檢定ヲ行ヒマシテ戦列部隊所用ノ軍馬生産ニ適當ナルモノヲ選定致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ馬ノ價格ニ付キマシテ、是マテ政府ノ方面ニ於キマスル購買頭數ハ、非常

ノ根本方針ハ第一次馬政計畫ノ精神ヲ、何處マテモ踏襲ヲシテ參ツタノデアリマス、ト申シマスノハ軍ト致シマシテハ、第二次馬政計畫ヲ立テマス際ニ、何等ソコニ的確ナル資料ヲ得ナカツタノデアリマス、ソレハ滿洲事變ニ於テ、輕乘純馬ヲ以テスルノ僅カノ經驗デアリマシテ、ソコニ輕種ヲ排斥シナケレバナラヌトカ、軍馬ハ全部中間種ヲナケレバナラヌトカ云フ的確ナル資料ヲ把握スルコトガ、出來ナカツタノデアリマス、隨テ第二次馬政計畫ヲ立テマス際ニハ、當時軍ガ保管ヲシテ居リマシタ馬ノ現在ノ種類別ヲ標準ト致シマシテ、乘馬ニ於テモ大體輕種四、中間種五位ノ割合デアリマシタノデ、ココ當分ノ間ハ其ノ割合デアツテ行カウデアリカ、而モ十年ト云フ期間ヲ限リ先ヅ其ノ期間ダケハ此ノ割合ヲ以テ進ンテ行カウトシタノデアリマシテ、決シテ第一次馬政計畫カラ第二次馬政計畫ニ移リ變リマシタ際ニ、軍ノ方針ヲ一變シタノデアリマセヌ、全然第一次馬政計畫ノ趣旨方針ヲ踏襲致シタノデアリマス、所ア今回ノ新馬政計畫ヲ立テマス際ニハ、全般的ニ何モ違ツテ居リマセヌ、唯只今小笠原委員ノ御質問ノアリマシタ通り、輕種ノ問題ニ付キマシテハ多少考ヘガ違ツタノデアリマス、ソレハ滿洲事變ニ於キマシテハ、輕乘純馬ヲ以テシテノ僅カノ部隊ノ僅カノ實驗、殊ニ軍隊ノ活躍ノ致シマシタ所ハ、大體ニ於テ滿洲ノ地區デアリマシテ、北滿洲ノ方面ニ行ツテ働イタト云フ部隊ハ餘リナイノデアリマス、隨ヒマシテ僅カノ地區テ、而モ輕乘純馬ダケテ、僅カノ期間ノ實驗ニ過ギナイノデアリマス、然ルニ今回ノ事變ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク戰場ハ北支カラ中支

南支ト非常ニ廣大ナ地區ニ互リマシテ、而モソレニ參加致シマシタ軍馬ノ數ハ、日本ノ馬テ凡ソ戰時ノ役ニ立ツト思ハレルモノハ悉ク徵發致シマシテ、活動サセルト云フヤウナ未曾有ノ經驗ヲ致シタノデアリマス、而モソレガ各種ノ戰況、各種ノ地形各種ノ條件ノ下ニ實驗ヲ重ネタ次第デアリマス、然ル所輕種系ノ馬、殊ニ輕種ノ血量ノ多イ馬ハ、ドウモ戰地ニ於ケル粗笨ノ管理ニ堪ヘナイ、隨ヒマシテ直グ過勞、廢斃ニ陥リ、又悍性ガ餘リニ高過ギテ所謂、虛悍、強悍デアリマシテ、在郷ノ兵、殊ニ未教育ノ兵等ニ於テハ之ヲ扱ヒニクイト云フ關係カラ致シマシテ、是ハ軍馬ニハドウモ向カナイ、軍ノ輕乘馬ハ御承知ノ如ク粒選リノ馬デアリマシテ、而モソレハ十分ニ訓練ヲ施シテアリマスノデ、輕種ノ血量如何ニ拘ラズ、大體ニ於テ役ニ立ツタノデアリマスケレドモ、徵發ノ馬ハ殆ド未訓練ノ儘民間ニ放置サレテ居ルノデアリマシテ、是ガ一旦徵發ヲサレテ戰地ニ出ル場合ニ、サウ云フ條件ノ下ニ於テハ到底軍馬トシテノ能率ハ發揮出來ナイト云フコトガ、各部隊一致ノ意見デアリマシテドウシテモ輕種ノ血量ノ多イモノハ軍馬トシテハ避ケナケレバナラヌト云フコトニ、大體軍ノ意圖ガ無ツタノデアリマス、隨ヒマシテ輕種ノ血量ノ多イモノハ軍馬トシテハ適當デナイ、要スルニ中間種ヨリ血量ノ多イモノハ、軍馬トシテハ適當デナイカラト云フコトヲ、馬政當局ノ方ニ申シマシテ、第二次馬政計畫カラ新馬政計畫ニ移リ變ツタノデアリマス、尤モ第二次馬政計畫前ニ於キマシテモ輕種ハ認メテ居リマシタモノノ、乘馬ノ大部分ガ輕種デアルト云フヤウニ思ハレタナラバ、是モ間違ヒテア

リマス、是モ數字的ニ申シマスナラバ、昭和十二年度マデニ軍馬補充部ガ購買致シマシタ七千二百餘頭ノ馬ニ付キマシテモ、僅ニ四二%ガ輕種デアリマシテ、他ハ中間種其ノ他デアリマス又昭和八年現在ノ軍馬數ヲ調べマスルト——六千餘頭ニ就テ調べタノデアリマスガ、是モ輕種ニ屬スルモノハ三割六分デアリマシテ、他ハ中間種其ノ他デアリマス、隨ヒマシテ乘馬ト言ヘバ總テ輕種ト云フ御考ハ間違ヒデアリマシテ、ヤハリ軍馬ノ主體ヲ成シテ居ルモノハ中間種デアアルノデアリマス、隨ヒマシテ今回第二次馬政計畫カラ新馬政計畫ニ變リマシテモ、輕種ノミノ生産ヲ致シテ居リマスル所ニ於テ、多少ノ動搖變動致シマシタコトハ、勿論私共ノ方デモ認メテ居リマスケレドモ、大部分ノ所ニ於キマシテハ寧ロ今回ノ計畫ヲ以テ適當ノモノデアルトシテ、歡迎ヲシテ居ルノテハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、而モ輕種ノミヲ持ツテ居ル地方ニ對シマシテハ、決シテ御無理ナ變改ヲ與ヘズニ、其ノ方面ニ於ケル種牝馬ノ十分ナル備付、並ニ配合ノ統制ト云フモノガ立派ニ行ハレテ行クノニ相呼應シテ、軍馬ノ購買ヲモヤツテ行クト云フノデアリマスカラ、決シテ御心配ハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス……

○(中略)

○遼山委員 ……文部省側ニ對シマシテ一應御尋テ致シテ置キタイト存ズルノデアリマス、御承知ノ如ク現在ノ戰時狀態及ビ今後如何ナル狀態ニ陥ルカト云フコトハ、國民トシテ頗ル心配ヲ致シテ居ル所デアリマスガ、ソコニ於キマシテ、馬政計畫ニ對シマスル獸醫師ノ養成並ニ其ノ生徒ノ收容等ノ關係ニ

付キマシテ、文部省カラ詳細ノ御説明ヲ得タイト存ズル者デアリマスガ、質問ハ至ツテ簡單テゴザイマスガ、何卒詳細ノ御説明アラランコトヲ希望致シマス

○谷原説明員 只今遼山サンカラ獸醫師養成ニ關シテ、文部省ノ採ツテ居ル教育上ノコトニ付キマシテ、詳細ニ説明ヲセヨト云フコトデアリマシタノデ、出來ルダケ詳細ニ御説明申上ゲタイト存ジマス、文部省ト致シマシテ獸醫師養成ニ付テハ、大體現在ニ於キマシテハ大學、高等農林學校ニ於ケル獸醫科、詰リ獸醫師ノ專門學校、ソレカラ中等學校ニ於テモ獸醫師ヲ養成シテ居リマス、大學ニ於キマシテハ既ニ御承知ノコトト思ヒマスガ、東京帝國大學農學部ノ獸醫學科、北海道帝國大學農學部ノ畜産學科ニ於テ第二部ヲ設ケテ、大學程度ノ獸醫師ヲ養成シテ居リマス、是ハ目下ノ所帝大ノ農學部ノ中ニ獸醫學科ガゴザイマスガ、獸醫學部ト云フモノハ未ダ獨立シテ居ラヌノデアリマス、ソレカラ專門學校ト致シマシテハ、盛岡高等農林學校ノ獸醫學科、宮崎高等農林學校ノ畜産學科ニ於ケル所ノ獸醫學科、東京高等農林學校ノ獸醫學科ヲ養成致シテ居リマス、尙ホ申上ゲルマデモナク色々ノ關係、特ニ時局ノ關係テ獸醫師ノ多數ヲ要スルコトガ判然致シテ居リマスルノデ、目下此ノ第七十四帝國議會ニ對シマシテ、豫算ヲ要求シテ居ルモノガゴザイマス、ソレハ新ニ鹿兒島高等農林學校ニ獸醫學科、鳥取高等農林學校ニ同ジク獸醫學科ヲ新設致スノデアリマス、ソレカラ文部省直轄テハアリマセヌガ、地方ノ府縣立ノ獸醫學校、是ハ專門程度デアリマセヌガ、農學校ニ於ケル所ノ獸醫學科ニ於

テ獸醫師ヲ養成シテ居リマス、是等ハ御承知ノヤウニ大正十五年ノ獸醫師法ノ改正ニ基キマシテ、獸醫タル資格ヲ消失スルコトニナリマスノデ、本年三月末日限ヲ以テ此ノ中等學校獸醫學科ハ閉鎖シナケレバナラナイコトニ相成ツテ居リマス、其ノ他官公立ノ外ニ同ジク私立ノ高等獸醫學校ノアルコトハ既ニ御承知ノヤウデアリマスガ、是等ニ對シマシテモ、文部省ト致シマシテハ、其ノ設立者學校當局ト十分密接ナ連絡ヲ執リマシテ私立學校ニ於ケル獸醫師ノ養成ニ付キマシテ力ヲ注イテ居ル譯デアリマス、以上ハ大體數字的ノ事柄ヲ申上ゲテ現狀ヲ明ニシタノデアリマスガ、其ノ内容ト致シマシテハ、詳シク申上ゲルマデモナク、獸醫師ノ養成ハ從前ハ割合ニ程度ノ低イモノデアラツテモ宜イト云フヤウナ、一般ノ觀念モゴザイマシタガ、大正十五年ノ法律改正ニ伴ヒマシテ色々ト高等ナ獸醫師ヲ養成シナケレバナラナイト云フコトニナリマシタノデ、先程申上ゲマシタ通りニ、中等學校ニ於ケル獸醫師ノ無試験檢定ニ依ル所ノ免許狀下附ノ資格ガナクナリマシタノデ、出來ルダケ立派ナ獸醫師ヲ養成致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、所ガ段々ト御話モゴザイマスルヤウニ、昨今ノ時局ニ伴ヒマシテ中等程度ノ獸醫師モ養成シテ行カナケレバナラナイト云フヤウナ關係ガ發生シテ居リマス、ソレテ農林省ニ於カセラレマシテモ昨年ノ四月二十日ノ官報ヲ以テ、獸醫師ノ受験資格トシテハ中等學校ニ於テ第二部即チ中等學校ヲ卒業シテ、其ノ中等學校テ二箇年獸醫學科ノ教授ヲ受ケタナラバ、獸醫師ノ受験資格ガ獲得出來ル斯ウ云フコトニナリマシタノデ、中等學校第二部ニ於ケル所ノ

獸醫師ノ養成ニ付キマシテモ力ヲ注イテ居ル譯デアリマス、只今私ノ方ニ參ツテ居ル府縣廳ノ報告ニ依ルト、北海道ニ於テ二校、青森縣ニ於テ一校、長野縣ニ於テ一校、大阪府ニ於テ一校合計五校中等學校第二部ニ於テ獸醫師ヲ養成スルコトガ、判然ト致シテ居リマス、尙ホ其ノ他ニ於キマシテモ此ノ第二部ヲ設ケマシテ、出來ルダケ速ニ獸醫師ヲ養成致シタイト云フ傾向ガ少シ見エテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテモ、文部省ト致シマシテハ出來ルダケ力ヲ注イテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、少シ冗長ニナリマシタガ、以上ヲ以テ御答ト致シ、尙ホ御質問ニ依リマシテ御答ヲ致シマス

○遼山委員 次ハ陸軍側ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマスガ、ヤハリ獸醫師問題デゴザイマス、陸軍ト致シマシテハ、獸醫師ノ養成ニ付テ如何ナル御方針デゴザイマセウカ、又獸醫師ノ配屬等ニ付キマシテモ御差支ノナイ限リ御説明ヲ御願致シタイト、斯様ニ存ジマス

○聖林委員 今回ノ事變ニ於キマシテ軍馬ニ非常ナ損耗ガ出來マシタ原因ノ一ツト致シマシテ獸醫師ノ技能ガ非常ニ十分デナカツタト云フコトガ第一ニ算ヘラレテ居ル次第デアリマス、就中地方カラ召集致サレマシタ所ノ獸醫師ハ、軍隊ニ平素居リマス所ノ現役ノ獸醫師ト違ヒマシテ、殆ド馬ニ接スルヤウナ機會モナク、或ハ牛ノ方面ノコトヲ専門ニシテ居ルトカ、甚シキニ至ツテハ雜語ノコトヲヤツテ居ルトカ云フヤウナコトデ、殆ド名前ハ獸醫師ト付クヤウナモノノ獸醫師ノ技術ニ關シテハ頗ル疑ハシイ者ガアツタノデアリマス、是ガ今回ノ事變ニ當リマシテ多數

専門ノ技術員ヲ縣廳ナリ畜産組合ナリニ於キマシテ、之ヲ講習講話ノ方法ニ依リ、又ハ經費等ヲ支出致シマシテ指導シテ居ル次第デアリマス

——(中略)——

○小笠原委員 先刻私ガ御尋申上ゲタ中ノ最も重要ナ關係ノ、今回ノ改變ニ依ツテ輕種ト云フモノハ軍馬シテ適當ナラズト、斯ウ云フコトニナツタ結果ニ對シマシテ、如何ニ政府ノ方デ之ニ同情アル御處置ヲ執ラレテ居ルカト云フコトヲ、御尋シタノデアリマスガ、ソレニ對シテ、何カ補助關係等ニ對シテハ優先權ヲ持タセルト云フ御話ノヤウニ、私ハ承ツタノデアリマス、モウ一ツ此ノ問題ヲ明確ニ申上ゲテ見マスルト、先ヅ政府ノ方デハ多クノ兵器並ニ國防、産業ノ目的達成ノ爲ニハ、政府ハ多額ノ補助又ハ損失ヲ補償シテ居ルノデアリマスガ、今回ハ國防上ノ見地カラ輕種兵器ヲ中間種兵器ト之ヲ改變シタノデアリマス、隨テ此ノ改變ニ因ル損失補償ト云フモノハ、當然取ルベキダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハヤツテ居ラヌノデアリマセウカ、ソレヲ先ヅ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○青見政府委員 只今御話ノ輕種ノ産地ニ對スル對策ニ付キマシテハ、先程申シマシタヤウニ、大體ニ於テ資格ノ優良ナルモノハ、軍ニ於テモ明ケニ歳ノモノハ昭和二十年度マテ、壯馬ハ二十五年マテ特ニ之ヲ買上ゲルコトニナツテ居リマス、行政手段トシテハ、種牡馬ノ整理ト云フヤウナコトヲ特ニ早メテ、輕種産地ニ對シテハ之ヲ行フト云フコトニナツテ居リマスノデアリマス、ソレ以外ノ損害ヲ賠償スルト云フコトハ致サナイコトニナツテ

召集セラレテ軍隊ニ配屬セラレマシタ爲ニ、其ノ結果トシテ、戰爭當初ニ於キマシテハ隨分各部隊ニ於テ非難ガアリマシテ、出來ルダケ獸醫、殊ニ在郷獸醫ノ軍事的ノ教育ヲ十分ニ致サナケレバ、到底馬ノ衛生ノ進歩改善ハ出來ナイト云フヤウナ意見ガ出マシタノデ、私ノ方デハソレゾレ手續ヲ致シマシテ、軍隊ニ關係致シマシタ所ノ獸醫ニ對シテ速成ノ教育ヲ行フトコトヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホソレニ隨ヒマシテ一般獸醫ノ教育ニ關シマシテハ重大ナル關心ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、多數獸醫ノ中デ戰爭ノ場合ニ從軍スル役廻リニアル者ニ對シテハ軍隊ニ於テ十分自分ノ任務ガ勤マルヤウナ技術ヲ持ツテ居テ欲シイト云フコトヲ、熱望シテ居ル次第デアリマス

○遼山委員 今一點今度ハ農林省ノ方ニ對シテ御同致シマス、御承知ノ如ク馬政ノ計畫ガ立テラレマシタ以上ハ、一般ノ人々ガ此ノ物ヲ言ハザル動物ニ對シテ、其ノ衛生上ノコトヲ能ク承知シテ居ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、只今伺ヒマシタノ獸醫師ノ關係ハ承知致シマシタガ、農林省ト致シマシテハ一般畜主側ニ對スル衛生思想ノ普及ニ付キマシテ、如何ナル御考ヲ持ツテ居ルノデアリマスカ、御同致シタイト思ヒマス

○伊藤政府委員 一般畜主ニ對シマスル衛生思想ノ普及ニ付キマシテハ、主トシテ畜産局デヤツテ居ルノデアリマスガ、馬政局ト致シテヤツテ居リマスノハ、骨軟症ノ防止ノ方法ヲ畜主ニ教ヘマスツカ、或ハ傳染性貧血ノ病氣ニ罹リマシタ馬ニ對スル處置、又ハ其ノ豫防方法ヲ畜主ニ教ヘマスツカ、或ハ又傳染性流産ニ罹リマシタ馬ノ處置及ビ其ノ豫防等、サウ云フ方面ノ各

居リマス

○小笠原委員 サウシマス、政府ノ方デハ之ヲ大改變ヲ行ツテ、兎ニ角ソレニ對シテハ種牡馬ノ配置トカ、昭和二十年マデハ軍馬ヲ購買スルノダ、斯ウ云フコトデスガ、ソレハ政府ノ方デ國防上ノ必要ガアツテ種牡馬ノ如キハ材料ヲ提供スルト云フニ止ツテ居ル、決シテソレハ損失ノ補償アモナケレバ、補助デモナイヤウニ思ハレルノデアリマス、サウ云フコトニナリマス、軍馬ノ方デ——先刻モ果林サンカラ昭和二十年マテ購買シテ居ルカラ、ソレハ餘リ迷惑ヲ掛ケナイ管ダト云フ御話ガアツタガ、ソレハ買フト云フヨリモ、寧ロ馬ガナイカラ仕方ナク買フノデ、吾々ガ假リニ輕種産地トシタナラバ、國策ガ斯ウ決ツタ以上ハソレニ協力シテヤルト云フコトガ、經濟上カラ言ツテモ國防上カラ見テモ一番宜イコトダ、今生産地デハ色々騒イデア居ル、併シ配給スル種牡馬ガナイカラ已ムテ得ナイテ現狀ノ儘ニ居ルト云フ状態デアリマス、隨テ購買スル方デモ已ムテ得ズ購買シナケレバナラヌト云フ程度デアリマス、私ハソレヲ聽イテ居ルノデアリマセウ、實際ニ今マテ政府ノ方デ三十年以來大イニ獎勵シテ、輕種ニ對シテ役種別ニ定メ、其ノ他ノモノヲ入レテハナラヌト云フ命令ノ下ニ、今マテヤラセテ來タノデアリマス、之ヲ急激ニ輕種ハ軍馬トシテ適當ナラズト云フコトニナツタ以上ハ、ソレハソレトシテ輕種産地トシテモ、ソレニ協力ハシマセウ、所ガソレヲヤルニハ先ヅ以テ一ツツ例ヲ申上ゲルト、今マテノ輕種ノ種牡馬ト云フモノハ、配合出來ナイカラトシテ、拂下ゲナケレバナラヌ、二千圓ノモノヲ四百圓デ賣ラナ

ケレバナラヌ、輕牛血種ニ至ツテハ配合スル馬ガナイノデ、直  
グニモ拂下ゲナケレバナニヌ、之ヲ改變スルニハ總テノ設備全  
般ニ互ツテ改廢シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナツテ、總  
テノ點ニ付テ一切ヲ更改シナケレバナラヌ事情ニアルノデアリ  
マス、ソレ等ノ方面ノ損害トカ何トカ云フコトハ、少シモ考慮  
ニ御入レニナラナイノカドウカ、而モ今度ノ馬政計畫ニ於テ生  
産地ノ中デモ輕種ノヤウニ、長イ間ニ於テ最モ發達シタ所ノ生  
産技術ヲ活カシテ、國策ニ順應セシメル方法ヲ探ルト云フコト  
ガ、アナタ方ノ御方針デハナイノカ、ソレヲ一ツ明確ニ御答辯  
ヲ願ヒタイノデアリマス。

○伊藤政府委員 今ノ御尋ハ、先程長官カラ御答辯申上ゲタコ  
トヲ繰返スニ過ギナイノデアリマスガ、輕種産地ニ對シマシテ  
ハ種牡馬ハ成ベク急速ニ補充シテヤリ、轉向ヲ成ベク早クスル  
ヤウニ努メル積リデアリマス、從來デモ陸軍ヲ購買セラレナカ  
ツタ輕種ノ仔馬ハ、民間ヲ買ツテ居ルノデアリマシテ、今回モ  
陸軍ガ昭和二十年マテハ買フ譯デアリマスカラ、從來ヨリモ特  
ニ負擔ヲ増シタト云フヤウナコトハナラヌト思フノデアリマ  
シテ、大體特ニ御迷惑ヲ掛ケルヤウナコトハナイカト思ウテ居  
リマス。

○小笠原委員 ドウモアナタ方ハ馬ニ付テハ素人デ駄目ダ、能  
ク聽イテ御覽ナサイ、軍馬ニ買フナラ分ツテ居リマス、二百頭  
其ノ儘買フナラ分ツテ居リマスガ、今マテハ輕種ハ軍馬トシ  
テ適當ナラズト云フコトガナカウタ爲ニ、軍馬トシテノ檢査外  
レノモノモ、出走ノ馬ニスル爲ニ、博勞ガ買ツタカラ値段ガ違  
スガ、「アラブ」系ノモノハ速歩競走ヲ漸次ニ中止スルト云フ事  
ニナツテ居リマスノデ、之ヲ増加致シマシテ、現在ノ抽籤馬ノ  
購買頭數モ相當増加シテ行クモノト考ヘテ居ルノデアリマシテ  
公認競馬ノ關係デアリマスレバ、輕種ト云フモノハ酷イ打撃ハ  
受ケナイコトニナリマス。

○小笠原委員 是ハ或ハ意見ノ相違アルト仰シヤルカモ知レ  
マセヌガ、意見ノ相違トコロデハナイ、輕種ハ打撃ヲ受ケナイ  
ト云フ様ナコトヲ仰シヤツタツテ、大體今マテ設備シテ居ル種  
牡馬、種牝馬、輕牛血種、是ノ種ヲドウアナタハ處理スレバ宜  
イト思ハレルカ、是ガ一番大打撃ガアルノデアリマス、而モ長  
官ノ仰シヤル種牡馬級ノモノヤ軍馬級ノモノハ、昭和二十年マ  
テハ助カルデセウ、併シナガラ先刻申上ゲタ通り軍馬ヲ一番多  
ク交配サセテ居ルノハ、私ノ組合デアリマス、四千頭ニ種付テ  
シテ居ルノデアリマスガ、仔ガ生レテ市場ニ出ス數ハ、不妊、  
流産其ノ他、病氣等ガアルノデ、二千頭出レバ宜イ方デアル、  
其ノ數字ハアナタ方ノ方ガ私共ヨリ能ク御承知ノ管デアアル、其  
ノ中テ軍馬ハ一番多ク買ツテ二百頭、出來タ馬ノ一割シカ賣レ  
ナイ、其ノ二百頭ヲ目標トシテ四千頭ノ馬ニ種付チシナケレバ  
ナラヌノデアリマスガ、其ノ残りノ千八百頭ハ今度ハ輕種ガ不  
要ニナルノデアアルガ、是ハ農耕馬ニモ不向デアアルシ、將來軍馬  
トシテ買フト云フナラ種牝馬ニシテ軍馬ヲ出サウト云フ目的ニ  
向ケルカ、或ハ牡馬ナラバ五歳マテ飼養管理チシテ出走馬トス  
ルカ、ソコニ色々ノ目的ガアルノデアリマスガ、是ガ軍ヲ要ラヌ  
ト云フコトニナリマス、アトノ振落サレタモノハ、非常ナ積

ハナカウツタ、今度ハ軍馬ハ生産馬ノ一割シカ買ハナイ、アト殘  
ツタモノハ二束三文デ投ゲナケレバナラヌ、是ガ損害デナクテ  
何ダ、アナタ方ハ實際ヲ見ナイデ、机上論バカリデイカヌ、是  
等ガ損害デナクテドウスル、ソレデハ別ノ方面カラ何フガ、是  
ハ長官カラ御答辯願ヒタイ、競馬ト生産地ノ何レニ重キヲ置イ  
テ居ルカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ。

○荷見政府委員 御尋ノ趣旨ガハツキリ致シマセヌガ、競馬ハ  
競馬ヲ尊重スベキモノデアリ、生産地ハ生産地ヲ尊重スベキモ  
ノデアルト思ヒマス、兩方比較スル下云ツテモドウ云フ所ヲ比  
較スルノデセウカ。

○小笠原委員 如何ニモ御説ハ御尤デアリマス、私ノ比較スル  
所ハ斯ウデアリマス、私ハ競馬ハ勿論必要デアリ、輕種モ勿論  
之ニ重點ヲ置カナケレバ、是カラ法案實施ニ當ツテドウシテモ  
完全ナル結果ヲ得ラレナイコトハ明確ダト思ヒマス、然ルニ今  
度ハ地方競馬ヲ廢シタ所ニ依ツテハ、鍛鍊馬競走中央會ト云フ  
モノヲ作ツテ、之ニ依ツテ整理チシテ救済スル法案ガアル、所  
ガ輕種ノ方ニハ唯御迷惑ヲ掛ケナイト言ハレルバカリデ、救済  
ノ法案モナイデ知ラヌ振リチシテ居ルノハ酷イデハナイカト云  
フノデス、私ガ聽キタイノハココナノデス。

○荷見政府委員 此ノ輕種ト云フモノニ付キマシテハ、今後モ  
競馬ノ方ノ關係デハ、馬ノ改良ニ缺クベカラザルモノデアリマ  
スシ、其ノ競走ニ出タモノカラ種馬ヲ取ルノデアリマスカラ、  
其ノ方ノ需要モ相當アル譯デアリマスシ、又其ノ生産ノ頭數等  
ニ付マシテモ「サラブレッド」系ノモノハ現在ノ程度デアリマ

牲ニナツテシマフノデアリマス、隨テ部落的ニ組合的ニ總テノ  
モノガ損害ヲ蒙ルト云フコトハ明デアアル、競馬ノ方モ損害ヲ蒙  
ルデセウケレドモ、從來競馬ハ相當ニ儲ケタ所モアル、然ルニ  
生産地ハ儲ケテ居ナイ、犧牲一方デヤツテ來タノデアリマスカ  
ラ、此ノ方ノ損失ヲ見テ居ラレナイト云フコトナラ、吾々ハ此  
ノ法案ニハ餘程缺陷ガアルト思フノデアリマスガ、ソレチ今言  
ツタ所デドウニモナラヌノデ、私等ノ言フコトモ能ク御研究チ  
願ツテ、無理ガナイト思ハレタナラバ更ニ一ツ輕種ノ産地ニ對  
シテ、打撃ヲ與ヘナイヤウナ方策ヲ探ツテ戴キタイ、ソレカラ  
次ニ先刻種牡馬ト競馬馬ノコトニ對シテ二十年前ト少シモ變リ  
ガナイ、安クナツタチヤナイカト云フ私ノ御尋ニ對シテ、競馬  
馬ノ方ハ百圓上ゲタ、種牝馬ノ方ハ百圓上ゲタ、ト斯ウ仰シヤ  
ルケレドモ、ソレハ金ノ數字ヲ見ルカラアナタ方ハ上ツタト云  
フ、ソレハアナタ方ハ机上論デ駄目ダ、實際ノ馬ヲ御覽ナサイ  
今マテ競馬馬ニ出タモノハ二千五百圓、三千圓ノ馬ヲ買ツタノ  
デアリマスガ、昨今ハ其ノ反對ニナツテ來テ居ルノデアリマス  
今マテハ良イ馬ヲ認メテ居ツタ、今度ハ地方競馬ト云フモノガ  
統一サレタカラ、變動ノアル馬ヲ買ツテ來ルト抽籤テ困ルト云  
フノデ、良イ馬ガ出セナクナツタ、隨テ下ノ方ノ六百圓七百圓  
ト云フ所ニ良イ馬ガ揃ツタ、ソレハ詰リ叩イテ居ルノデアリマ  
ス、馬ノ進歩シタコトハ見ナイデ、金ガ上ツタトアナタ方ガ言  
ハレルノデハ、馬ヲ生産スル者ハ泣カナクテハナリマセヌ、サ  
ウ云フ見方デハイケマセヌ、私共ノ言フノハ本當ノ馬ノ價值ヲ  
申上ゲテ居ル、種牡馬ノ方ハ或ハ五十圓百圓上ツタカモ知レヌ

ケレドモ、今度ノ馬政計畫ヲ定ムルニ當ツテ、此ノ種牡馬ノ生産ニ眞劍ニ當ルヤウニ、經濟關係ヲ調査シテヤツテ戴カケレバナラヌト私ハ申上ゲタ、何故ナラバ種牡馬一頭出スニ國テヤツテ居ル馬ハ、ドンナコトヲヤツテ居ルカト云フナラバ、國ノ種牡馬ニシテ宜イト云フ馬ニハ毎日一匹ノ馬ニ一人牧夫ガ付イテ、アノ通り大キナ牧場ヲ金ハ掛ケ放題ヤツテ、初メテ國テ決メテ或ル規格ニ嵌ツタ馬ガ出ル、ソレ程國テヤツテモ面倒ナモノヲ民間テヤツテ、サウシテ民間テ出來タモノカラ抽籤テ買フヤウニナルト、馬車馬式ノモノガ規格ニ當嵌ツタト云フヤウナコトニナツテ、之ガ爲ニ生産者ガ迷ヒテ生ジテ、種牡馬ヲ高ク買ツタカラ俺モヤラウト云フコトニナツテ、非常ニ經濟的ニ打撃ヲ受ケル者ガアル、サウ云フ馬ニ限ツテ碌ナモノハナイ、隨テ種牡馬ハ配合カラ飼養管理マテ政府ガシツカリ監督シテ、經濟ガ引合フ方法ヲ執ツテヤツテ賞ハナケレバナラヌ、生産スル者モ粒揃ヒノ馬ヲ生産スルヤウニ、生産力擴充ヲ圖ルト云フノアナケレバ到底是ハ旨ク行カヌト云フコトヲ、私ハ申上ゲタノデアリマス、私ハ其ノ方法ヲ執ラレタ方ガ宜イト思ヒマスガ之ニ對シテハ如何デアリマセウ、私ニ同意ナサイマスカ、或ハ別ノ方法ガアリマスカ、之ヲ一ツ私ハ伺ツテ置キタイ

**○青見政府委員** 只今小笠原委員ノ言ハルルヤウナ方針ハ、趣旨トシテ結構ナコトダト思ヒマス

**○小笠原委員** 私ハ此ノ軍用馬保護ノニトテ伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ軍用馬ニ對シテハ飼養費ヲ一箇年ニ三十七圓、ソレカラ旅費ヲ三十五圓與ヘテ居ル、斯ウ云フ事ニナルノデアリ

生ジテ居ル、是ハアナタニ質問スルノテハナイガ、斯ウ云フ事ハシツカリト説明シテ戴カナイト、色々ノ方面ニ犧牲ニナツテ打撃ヲ受ケル者ガアルノデアリマス、ソレカラ今度ハ鍛鍊馬競走ノコトニ付テ伺ヒマス、是ハドナタカノ御質問ニ對シテ資源課長サンノ方カラ、今マテノ地方競馬ノヤウナヤリ方デオヤリニナルト云フコトヲ、申サレタノデアリマス、ソレハサウ云フコトデオヤリニナルノデアリマセウ、然ルニ駈足競走ヲヤツテドンナ馬ガ速イカト云ヘバ、「サラブレッド」ヲ直接配合シタ所ノ中半血ガ、一番速イニ決ツテ居ル、サウスルトサウ云フ馬ノ競走ニナルト、今マテト餘リ大差ノナイ結果ニナルノデアリマス、而モ鍛鍊馬ト申シマシテモ乘馬關係ノ鍛鍊馬モアリマセウ、鞍馬モアリマセウ、小格鞍馬モアリマセウ、是等テゴツチヤニシテ駈足ヲスルコトハ出來ナイノデアリマス、ダカラ今マテ通りオヤリニナルト言ツテモ、今マテハ鞍馬トカ小格鞍馬ハ出シテ居ナイノデアリマスガ、今度ノ鍛鍊馬競走ハ駈足ヲヤル意味ニ於テ、最モ速イヤウナ乘馬ノミチ鍛鍊馬競走ニ使用スルコトニナルノデアリマスカ、サウテナク鞍馬モヤルシ、小格鞍馬モヤル、乘馬モヤル、隨テ種類ニ依ツテ區別シテ競走スルノダ、斯ウ云フ意味ニ伺ヘバ宜イノデアリマスカ、其ノ内容ヲドウカ御漏ラシ願ヒタイノデアリマス

**○佐々木説明員** 只今御尋ノゴザイマシタ鍛鍊馬競走ノ實施ノ要領テゴザイマスガ、御説ノ通り唯普通ニ走ラセテ居リマシタノテハ、從來ノ通り輕種血量ノ比較的多イモノガ優勝ヲ占メル又輕種血量ノ多イモノヲ生産スルコトニナリマスノテ、其ノヤ

マスガ、是ハ國民ノ方ハ國策ニ協力シテヤルト云フ見地カラ、此ノ費用テヤリマスケレドモ、普通テハヤレナイノデアリマス隨テ馬主ハ相當ニ犧牲ヲ拂ツテ國策ニ協力シテ居ルト云フコトヲ御認メニナリマスカ、ソレテ一ツ伺ツテ置キタイ

**○青見政府委員** 私共ノ考テハ今回軍馬ニ徵發シテ居ルモノノ成績ガ非常ニ悪イカラ、何カ方策ヲ講ジナケレバナラヌ、ソレニ對シテハ平常飼養費ト云フモノノ幾分テ補助シタナラバ、今ヨリモ馬ノ素質ガ改善サレル所ガアルダラウト云フヤウナ考テ、補助ヲ致ス事ニ決定致シタノデアリマシテ、是ガアリマスレバ是ナキニ比シテ相當效果ガ舉ルコトト思ヒマス、但シ金額ノ關係ニ付キマシテハ、是ハ前回モ申上ゲマシタヤウニ私共トシテモ十分ナリトハ考ヘテ居リマセウ

**○小笠原委員** 是ハ一時的ニヤラレルコトト違ツテ、今度ハ永久的ナ問題ニナルノデアリマス、之ニ對シテ金額ガ不足デアルナラバ經濟的ニ相當ニ犧牲ヲ拂ツテ居ル者ガアルコトハ、御分リアアリマセウ、此ノ事ハ大藏省ト折衝スル際ニ一體能ク御説明ガ行届イテ居ルノデアリマセウカ、一體大藏省ハ豫算ニ此ノ種馬ノ飼養費ヲ現ハシテ、是ハ東北振興費ダト言ツテ出シテ居リマスガ、相當ノ犧牲ヲ拂ツテ居ルモノヲ、是ハ東北振興費ダト云フ風ニ現ハサレタノデアリ、東北ノ甚シク疲弊困憊シテ居ル者ハ裸ニサレテシマフ、ソレハ結局馬政局ノ説明ガ足りナイカラ、サウ云フコトヲ大藏省ガヤルノデアアル、大藏省ハアア云フ技術ヲ持ツテ居ルカラ、何テモ彼アモ豫算テ出シタモノハ振興費ト心得ル習慣ニナツテ居ルガ、私ハ之ニ對シテ非常ニ迷ヒナ

リ方ニ付キマシテハ馬ト考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、只今考ヘテ居リマス方法ハ成ヘク乘馬、鞍馬、小格鞍馬等ノ色々ナ種類ノモノガ、出走シ得ル機會ノアル方法デアリマシテ、而モ生産ニ對シテモ或ルモノダケニ非常ナ刺戟ヲ與ヘナイ方法ト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ從來ノ地方競馬ト大體同ジ恰好ヤルト先日申上ゲマシタノハ、競走ヲスルヤリ方ニ於キマシテハ、從來ノ通りデアリマスケレドモ、出走馬ノ組合セトカ、或ハ競走以外ノ調教審査、馬體審査ト云フヤウナモノヲ組合セマシテ、馬主ニ與ヘマス賞金額ノ決定ニ付キマシテハ單ニ競走ノ成績ダケニ依ツテ與ヘマスカ、或ハ馬體審査、調教審査ト云フヤウナモノノ成績ヲ加味シタモノヲ、馬ノ所有者ニ對スル賞金トシマスカ、斯様ナ點ニ付キマシテ今後研究致シタイト思ツテ居リマス、但シ優等馬票ヲ買ヒマシタ者ノ拂戻ノ方法ハ、是ハ競走ノ成績ニ依ツテヤリマスコトハ勿論ノコトデアリマス

**○小笠原委員** 只今ノ御答辯テ能ク分リマシタ、併シ其ノ御話ノ中ニタツタ一ツ、今度ノ賞金ヲ授與スルノニ、馬體ノ検査ナドヲ賞與ノ中ニ加味スルト云フヤウナ御話ガ、今アツタノデアリマスガ、ソレテハ馬券ヲ買フ者ハ無クナツテシマフ、馬券ノ方ハソレニ關係ガナイト仰シヤルケレドモ、兎ニ角競走ト云フ以上ハ勝ツタ者ニ賞金ヲヤラナケレバ、唯見物ニ行ク者ハアリハシナイ、ソコハ是カラ御研究トアレバ別段御答辯モ要リマセヌガ、兎ニ角ソレハ考ヘル餘地モナイモダト思ヒマス、餘リ馬ノ方テ大事ニシテ、地方馬、鍛鍊馬競走ノ方ニ對シテ餘リ制

限ヲ加ヘルト、何處ノ縣テモ殆ド經費ガ價ハナクナツテ、延イテ中央競馬會ト云フモノガ成立タナクナルト考ヘル、ソレハ實際經營ニ當ラレル方々ガ、篤ト御研究ナサツタ方宜イト思ヒマス、畜産局長ガ御見エニナツテ居リマスカラ、家畜保險ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、今度ノ新馬政計畫ニ依ツテ、低身、廣軀、四肢強健、粗飼粗管ニ堪ヘル馬ヲ拵ヘヨウト云フ面倒ナ注文ニナツタノデアリマス、斯ウ云フ馬ヲ拵ヘルニハ放牧ヲ條件トシナケレバ、ドウシテモ出來ナイ、隨テ牧野ノ問題ガ喧シクナツテ居リマス、其ノ期間モ、ヤハリ春早クカラ秋遅クマテ、或ハ冬モ放牧シナクテハナラヌヤウニナルノデアリマス、隨テ今マデノ保險ノ例ヲ見マス、舍飼地方ト放牧地方トノ死亡率ニ非常ニ隔リガ多イコトハ、御承知ノ通りデアリマシテ、ドウシテモ新馬政計畫ノ方針ノ徹底ヲ期スルノニハ、保險ニ對シテ今度ハ保險組合ノ損失ヲ補償スルト云フコトデナケレバ危險ヲ賭シテ放牧スルコトハ出來ナイカラ、結局國策ニ反スルコトニナルノデアリマスガ、其ノ點ノ準備ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ先ヅ伺ヒタイノデアリマス

**○嶽政府委員** 馬ニ對スル家畜保險ニ關シマシテハ、過般ノ御質問ニ對シマシテ大要御答申上ケテ置イタ通りデアリマス、只今小笠原サンカラ御話ノアリマシタヤウニ、今度ノ新馬政計畫ニ伴ヒマシテ、優秀ナル軍馬ヲ作ルニハ、十分放牧シナケレバナラヌ、隨ヒマシテ放牧中ノ危險、是ガ從來ノ經驗カラ見マス、放牧馬ノ方ガ實際危險率ト云フモノガ高ク、隨テ保險率ガ高クナツテ居ル地方ガアル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、是

ハ洵ニ其ノ通りデアリマシテ、是等ニ對シマシテハ私共モ何トカ特別ナ方法ヲ講ズル必要ガアルト考ヘテ研究ヲ致シテ居リマス、固ヨリ保險全體トシテハ、府縣全體、或ハ國全體テ互ニ補ヒ合ツテ成立ツテ行クモノデアリマスノデ、出來得ル限り全國的ノ計算ノ下ニヤツテ行クコトガ必要ダト思フノデアリマスガ、特殊ノ地方ニ對シマシテハ、特殊ノ事ヲ考ヘナケレバナラヌダラウト思フノデアリマス、ソレニ對シマシテ從來ノ助成施設ダケデハ無論十分デナイト思ヒマスノデ、是等ノコトヲ豫想シマシテ、此ノ助成ヲ増額スルヤウニ努力シタノデアリマスガ、之ヲ實現スルニ至ラナカッタ譯デアリマス、併シ其ノ點ニ付キマシテハ、何等カ出來得ル形ヲ見出シタナラバ、ソレニ依ツテ幾分ナリトモ補ヒノ付クヤウニシテ、サウシテサウ云フ危險ノ多イ地方ニ於ケル保險組合ガ、十分安定ヲ得ルヤウニシテ、以テ産馬經濟ノ安定ヲ期スルヤウニシテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス

**○小笠原委員** 只今ノ御答辯ニ依ルト、保險ノ方ハマダ確立シテ居ナイヤウデアリマスガ、何分此ノ新馬政計畫ノ方針ノ一日モ早ク實行ノ出來ルヤウナ方法ニ努力シテ戴キタイノデアリマス、更ニ牧野ノコトニ付テ馬政當局ニ一言伺ツテ置キタイノデアリマス、廣汎ナル牧野ヲ要スルコトハ、是ハ勿論デアリマスケレドモ、唯廣イバカリノ牧野ハ成績ハ舉ラナイノデアリマシテ、ヤハリ牧野ニ對シテ牧草ノ栽培トカ、整備トカ云フモノノ徹底ヲ期サナケレバナラヌデアリマス、隨テ間斷的ニ放牧スルト云フヤウナコトニ指導シテ行ク、ソレカラ牛ト馬ト一緒

ニ放牧スルト草ヲ全部絶ヤシテシマフ、御承知ノ通り牛ハ草ノ根マテ搦ツテシマフカラ、草ガ生エナクナツテ馬ハ非常ニ困ツテ居ル、ダカラ此ノ放牧關係ヲシツカリ區別シテ、牧野ト云フモノヲ定メナイト成績ガ舉ラヌ、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、只今畜産局長モ御見エニナツテ居リマスカラ、其ノ牛馬ノ放牧地ノ確立ト云フコトニ對シテ、何カ御研究ガアルカドウカ、其ノ點チ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

**○荷見政府委員** 御話ノヤウニ、牧野ノ整備ニ付キマシテハ、私共モ小笠原委員ト同ジヤウナ見解ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、徒ニ面積ヲ擴大スルコトノミガ適當ナモノデナク、面積ガアリマシテモソレガ非常ニ不良ナル牧野デアリマスレバ、何等ノ效果モナイノデアリマスカラ、必要ニ應ジテ面積ヲ擴大シナケレバナラヌコトハ當然デアリマスケレドモ、ソレト同時ニ内容ノ改善、整備ヲ圖ルコトモ極メテ必要アルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ私共ノ方針トシテハ、其ノ兩方面ニ向ツテ出來得ル限り牧野ノ整備ニ努メタイト考ヘテ居リマス、尙ホ是ガ使用方法ニ付キマシテモ、或ハ只今御話ノ牛馬ノ放牧ヲ如何様ニ取扱フベキカト云フヤウナコトニ付テモ馬政局ト致シマシテモ一層研究ヲ致シタイト思ヒマス、幸ヒ牧野ノ改善ニ關スル審議會モ設ケテ、畜産當局其ノ他各當局ノ方面ノ方々ト協議ヲ進メツツアルノデアリマスカラ、其ノ決案ヲ成ベク早く得ルヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

キマシテ、此ノ大改編ノ眼目ハ輕種ハ軍馬トシテ適當ナラズ、是ガ一番ノ問題デアリマス、ソコテ此ノ原因ヲ他ノ委員カラモ此ノ前御尋致シマシタル所、又他ノ機會ニ於テモ農林當局其ノ他陸軍當局カラ承ツテ居ル所ニ依リマス、日支事變ノ實績ニ鑑ミテ實施サレタト云フコトヲ屢々聞ク、デアリマス、併シ未ダニ此ノ改編ニ當リマシテ相當前途ニ疑チ有シテ居ルノデアリマス、言フマデモナク馬ノ改良ハ多大ナ苦心ト長年月ヲ經ルニアラザレバ其ノ目的ヲ達成シ得ザルコトハ、第一馬政計畫ニ三十年テ有シテ居リマス、而シテ更ニ第二馬政計畫ニ入ツタノデアリマスガ、此ノ經過ニ於キマシテモ極メテ明瞭ニ政府ノ方カラ承ツテ居ルノデアリマス、隨テ國防上且ツ兵器トシテ軍ノ作戰上遠イ前途ヲ見越シ、如何ナル敵國ヲ相手ニシテモ間違ヒナイ馬産計畫ヲ立テ置カナケレバナラナイト私ハ思フノデアリマス、然ルニ今回ノ日支事變ハ國民齊シク豫期シタヤウナ事變デアリマシテ、軍ニ於テモ之ニ對スル缺陷ガアツテハナラヌ答デアリマス、所ガ今回ノ事變ニ對スル實績ニ鑑ミテ、初メテ馬ノ大改編ヲ斷行スルト云フコトハ、前ニモ申上ゲマシタ通り馬ノ改良ハ長年月ヲ要スルコトデアリマシテ、斯様ナコトヲ百モ承知アル政府トシテハ、餘リニモ前途ニ暗カツタト思ハレルノデアリマスガ、此ノ點ハ國民モ迷ヒテ生ズル所デアリマス、何トカ國民ニ納得ノ行クヤウナ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、御答辯ガ明確デナイトスレバ——從來輕種方面ニ軍馬トシテ獎勵ヲシ、並ニ指導ノ爲ニ、直接之ニ當ラレタ所ノ軍馬補充ノアル所ハ、軍馬補充部ノ役人ノ方々、軍隊ノアツタ所ハ



軍隊ノ御役人ノ方々、其ノ他農林省ノ種馬所ノ役人ノ方々カラ  
縣廳、産馬組合共ニ農民ニ直接當ツテ今マテ輕種ト云フモノハ  
軍馬トシテ最モ乘馬ニ適當ダトシテ指導ヲシテ參ツタノデアリ  
マス、是ガ現在何故大變動ヲ來シタカト云フコトガ明確ナ  
爲ニ、此ノ第一線ニ立ツテ居ル方々が答辯ニ苦シンデ居ル、無  
理ニ訊クト勝手放題ナ法螺ヲ吹イテ、農民ニ押付ケテ居ルヤウ  
ナ感ガアルノデアリマス、農民ノ方デハ唯政府ノ方デ權力ヲ以  
テ分ツテモ分ラヌモ後ヘ付イテ來イト云フヤウニ聽エテ、眞  
カラ此ノ國策ニ協力スルト云フヤウナ、サウ云フ分ルヤウナ説  
明ヲシタ者ハ一人モナイ、ソレテ非常ニ迷ツテ居ルノデアリマ  
スカラ、何トカ大臣カラ斯ウ云フ必要ニ依ツテ斷行シタト云フ  
コトノ明確ナ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、モウ一ツ續イテ  
申上ゲマスガ、一番輕種産地並ニ其ノ他ノ國民ニ疑念ヲ生ゼシ  
メテ居ル所ハ、全國ノ總馬數ノ中テ輕種ト云フモノハタツタ二  
割シカナイ、二割シカナイカラ軍ニ徵發サレテモ購買サレテモ  
其ノ第一線ニ働イテ居ル馬ト云フモノハ二割シカナイ、ソレガ  
成績ガ惡イトシテモ二割以上ノ成績ノ惡イ管ハナイノニ、今度  
ハ輕種ガイカマトナツタノハ甚ダ不思議ニ思ツテ居ル、第一線  
ニ於テ輕種デアルトカ、重牛血種デアルトカ紙一枚ノヤウナ血  
種ノモノナ、仕譯ノ付クヤウナ制度ニナツテ居ルノカドウカ、  
是モ一ツノ疑念ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ近頃ハ中  
間種デアツテモ纖細菲薄ナル馬モ相當アルセウ、又輕種デア  
ツテモ低身廣軀實剛健ナル馬モ相當アルノデアリマスガ、ソレ  
トモ第一線ノ方デ何デモ彼テモ弱ツタ馬ハ、輕種ト決メテシ

マツタノデハナイカト云フ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレ  
カラモウ一ツハ應召サレタ兵隊サン方ハ馬ニ慣レナイ爲ニ、御  
承知ノ通り大臣モ馬産地ノ方デアラカラ能ク御分リデセウカ、  
馬ト云フモノハ本能トシテ逃ゲヨウトスルト、嚙付ク眞似チス  
ルモノデアリマス、手懐ケテ能ク懐クト初メテ側ニ寄ルト云フ  
ヤウニナツテ來マスカラ、ソレデ馬ニ接觸シタコトガナク、怖  
怖當ツテ嚙付カレル、又恐クナツタト云フコトデア取扱ニ缺陷ガ  
アツタノデハナイカ、輕種ハ縮ガ強イ爲ニヤハリ本能ヲ發揮シ  
易イ、隨テ輕種ノ方ニハ多ク手當ガ行届カナカツタ爲ニ輕種ハ  
斃レル、ソレテ輕種ハイカマト云フコトニナツタノデハナイカ  
ト云フコトヲ疑ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ近ク「ソビエ  
ト」アタリト戰爭スルコトニナツタトシテモ「ソビエト」方面  
ハ全部多クハ輕種ヲ持ツテ居ル、中デモ騎兵隊ト云フモノハ殆  
ド輕種ヲ以テ組織シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマ  
ス、若シサウ云フ場合ニナツテモ日本ハアノ輕種ニ對シテ中間  
種ヲ以テ對抗シテ、向フハ賢明デアツテ此方ハ愚デアルト云フ  
ヤウナ點ハ、御調査ガ行届イテ居ルカドウカ、秘密ノ點デア御答  
辯ガ出來ナイカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ點マデ吾々ハ  
疑ツテ居ルノデアリマス、而シテ輕種ハ勤モアリ、能ク命令ニ  
服從シ、中間種ハ鈍重デアツテ中々操縦ガ出來ナイ、隨テ人間  
ノ訓練ガ相當能ク出來テ居ルナラバ、多クハ輕種ノ方ヲ望ム、  
サウシテ鈍重ナ中間種ハ望ムマ、斯ウ云フコトヲ能ク聞イテ居  
リマスガ、軍ノ方デ特ニ輕種ノ方ハ軍馬トシテ適當ナラズトシ  
タコトハ、何處ニ原因ガアルノダラウト云フ迷ヒチ生ジテ居ル

ノデアリマス、尙ホモウ一ツ、第一馬政計畫ト云フモノト此ノ  
延長ノ第二馬政計畫ノ計畫樹立ノ場合ニハ、農林省ト陸軍省ハ  
能ク折衝シテ國策ヲ定メテ、之ニ依ツテ國民ニ馬政方針ノ向フ  
所ヲ示シ、成育、役種別ト云フモノノ規格ヲ定メ之ヲヤレト云  
フコトア今日マデヤラセテ來タノデアリマス、而シテ又近キ將來ニハ折角此ノ新馬政計畫ガ  
充實サレ、稍々之ニ向ツテ生産スル頃合ニナツテ、更ニ變動ヲ  
來スノデアリナイカト云フ虞ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云  
フコトハ絶對ナイノデアアルカドウカ、先刻軍ノ方々ノ他ノ委員  
ノ質問ニ對シテハドウモ第一馬政計畫、第二馬政計畫ト云フモ  
ノハ、マダ軍ノ方デシツカリ分ツタノデアリナイトカ――  
ソコハ明ニ分リマセヌガ、此ノ第二馬政計畫ト云フモノハ、  
軍ノ方トシツカリ協力ノ上テ出タモノカ、ドウカト云フコトガ  
一番問題デアリマスガ、ソコチ一ツ明確ニ御答辯願ヒタイ  
○極端國務大臣 色々御質問ガアリマシタガ、現在ノ計畫ハ農  
林省當局ト十分密接ナル連絡ヲ執ツテ出タ計畫デアリマス、近  
ク之ヲ變ヘルコトガ豫期サレナイカドウカ、斯ウ云フ問題デア  
リマシタガ、前回ノ馬政計畫ニ於キトシテハ何ト申シマシテモ  
實際現地ニ於ケル體験經驗ト云フモノハ、滿洲事變程度ノモノ  
シカナカツタノデアリマシテ、滿洲事變ニ於テハ民間カラ廣ク  
徵發馬ヲ徵集シタト云フ譯デアリ、軍隊ニ於ケル保管馬其ノ  
儘テ使ツタ、詰リ今回ノ日支事變ノ經過狀態ト比較シマスナラ  
バ、實ニ其ノ規模ニ於テモ、亦サウ云フ風ニ軍隊ノ保管馬ヲ使  
ツタト云フダケノ經驗ニ過ギナイ、斯ウ云フヤウナコトモアリ

マス、爾來研究ヲ重ネ、又今回ノ日支事變ハ御承知ノ通りニ其  
ノ規模ニ於テモ、實ニ日露戰爭以上ニ場所モ廣イト云フヤウナ  
コトデアリマスシ、既ニ一年餘ヲ經マシテ、實際ヲ得タ所ノ體  
験ト云フモノハ、實ニ貴重ナモノト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリ  
マス、又將來戰ニ相手國ヲ何處ニ考ヘルカ、戰場ヲ何處ニ考ヘ  
ルカ、斯ウ云フヤウナ御話ガアリマシタガ、之ヲハツキリ某國  
ト申ス譯ニモ參ラヌト思ヒマスガ、吾々陸軍ノ活動スベキ地域  
ハ自ラ明瞭デアアルト思ヒマスシ、將來ノ戰場ハ恐ラクハ支那滿  
洲等ノ、現在日支事變ニ於テ經驗シマシタ地方ト、大體土地  
柄カラ申シマシテ同様ナ所デアアルト考ヘテ居ル次第デアリマ  
ス、サウ云フヤウナ關係モアリマスシ、今回此ノ貴重ナル經驗ヲ  
本トシタル所チ、慎重ニ研究シマシテ得タル所ノ現在ノ馬政  
計畫ナルモノハ、近キ將來ニ於テ直グ又之ヲ變更シナケレバ  
ラヌト云フコトハ、全然豫期シテ居ラヌノデアリマス、輕種ノ  
問題デアリマスガ、是ハ血液ノ分量等色々問題ニナツテ居ルト  
思ヒマス、私ハ専門ノコトハ能ク知リマセヌガ、要スルニ此ノ  
輕種ト云フモノハ、戰場ニ於ケル粗笨ノ管理ニハ堪ヘナイ、又  
榮養不良トナリ易イ、隨テ過勞廢斃ニ陥ルト云フ缺陷モアリマ  
ス、シテ又強悍ノモノガ多イ爲ニ、兵ノ使役取扱ニモ不便ガ妙ク  
ナイ、先程モ使役兵ノコトニ付テ御質問ガアツタノデアリマス  
ガ、理想カラ申シマスナラバ馬ヲ取扱フ者ニハ全部民間ニ於テ  
豫メ馬ニ對スル教育ヲ施スト云フコトガ理想デアリマセウ、併  
シ實際カラ言ヒマシテモ、ソレハ言フベクシテ行ハレナイコト  
デアリマス、隨テ特務兵等ニ於テ全ク馬ノ取扱ニ慣レテ居ラナ

イ者ヲモ、召集セザルヲ得ナイト云フノガ今ノ實況デアリマス  
是ハ逐次馬事思想ノ普及トカ、サウ云フモノニ依ツテ幾分良ク  
ハナルト思ヒマスガ、近キ將來ニ於テ此ノ普及ト云フモノハ、  
相當困難デアルト思ヒマス、サウスレバ或ル一部ニ於テハ必ズ  
サウ云フ者ガ入ツテ來ル、サウスレバ其ノ取扱上ニ於テヤハリ  
痼ガ強過ギテ中々取扱ヒニクイ、而モソレガ爲ニ取扱ヲ誤ルト  
直グ榮養ガ不良ニナリ、過勞廢斃ニ陥リ易イカラ、サウ云フヤ  
ウナモノヲ避ケルト云フコトハ、是ハ軍馬ノ取扱上當然ナコト  
ト思フデアリマス、實際私共戰地ニ於テ部隊長トシテ、多數  
ノ軍馬ヲ取扱ヒマシテ苦イ經驗ヲ嘗メタノデアリマス、是ハ苟  
モ軍馬ヲ取扱フ所ノ各部隊長トシテハ異口同音ニ申ス所デアリ  
マス、隨テ此ノ大規模ナル、又將來ノ戰場ト同ジヤウナ地形ノ  
所ニ於ケル、現在ノヤウナ馬ヲ以テスル所ノ經驗ト云フモノハ  
是ハ實ニ貴重ナモノデアリマス、此ノ經驗ヲ基礎トシマシタ所  
ノ此ノ計畫——將來ハドウシテモ此ノ計畫ノヤウナコトヲ進マ  
ナケレバナラヌ、斯ウ確信シテ居ル次第デアリマス

召集シタ特務兵ノ取扱ニ對シテハ、不適當ダト云フ御話デアリ  
マス、ソレハ勿論其ノ通りデアリマス、然ラバ當ニ訓練ヲ要ス  
ル騎兵ニ對シテハドウデアリマスカ、之ヲ私ハ伺ヒタイノデア  
リマス、殊ニ從來軍馬ノ方デハ一體ニ輕種ニ仕向ケテ購買サレ  
テ居ツタ、今回ハ馬ガ不足ヲ來シタカラ、特務兵ノ使フ方マデ  
輕種ノ購買漏レノ馬ヲ徵發ニ依ツテ當ラシタ、即チ丁度良イ小  
格輓馬ガ無カツタ、不足ノ結果ガ其處ニ到ツタヤウニ思フノデ  
アリマスガ、常ニ訓練ヲ要シタ騎兵ノ方ハドウデアアルカト云フ  
コトチ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○板垣國務大臣 前回ノ馬政計畫モ農林當局ト十分御打合チシ  
テ決メタノデアアルコトハ勿論デアリマス、今ノ輕種ノ問題ヲ御  
質問デアリマスガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、何シロ戰地テ  
活動スル——支那、滿洲ノヤウナ所テ活動スルノデアルシ、馬  
糧モ軍隊テ平素給與シテ居ルモノヲ十分ニ給與ガ出來ナイ、ソ  
コテ現地ニアル馬糧デモ十分ニ活動出來ルヤウナ軍馬デナケレ  
バナラヌ、斯ウ云フ所謂戰地ニ於ケル所ノ、粗笨ノ間ニ慣レル  
デアリマス、乘馬隊、詰り騎兵隊等ニ於テモ、其ノ點カラ申シ  
マシテ今回ノ狙ヒドロコニ於テハ、ヤハリ同様デアリマス

○小野委員 ……只今陸軍大臣カラ事變關係テ今度ノ體驗  
ニ鑑ミマシテ、第二次馬政計畫變更ノ必要ヲ認メタ、斯様ニ御  
答ニナツタノデアリマスガ、私共ガ見マス所ニ依リマス、今  
次ノ經驗カラ申シマシテモ、出動馬ノ不成績ト云フモノハ先刻

來政府當局ノ御答辯ニ依リマシテモ、徵發馬ニ多カッタヤウニ  
思フノデアリマス、殊ニ其ノ期間ハ僅々一年カラ一年半ノ極ク  
短イ所ノ經驗ニ依ツテ、斯様ナル馬政計畫ノ國策ノ一大變革ヲ  
見ナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、少シク早計ニ失シハシ  
ナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、殊ニ輕種ハ二割カ三割ヨ  
リナイト云フ御答モアリ、又更ニ北支、中支ニ於キマシテハ、  
比較的徵發馬ノ成績、出動馬ノ成績ハ惡カッタノデアリマスガ  
南支作戰ニ於キマシテハ、南支作戰ニ於ケル所ノ馬ノ能力ハ  
「アラブ」ノ血量ノ多カッタ鹿兒島、宮崎方面ノ馬ガ、非常ニ  
能ク働イタト云フ報告チ伺ツテ居ルノデアリマス、サウシテ見  
マスト北支、中支ニ於テ不成績デアツタガ、南支作戰ニ於テハ  
成績ガ好カッタ、斯ウ云フコトヲ照シ合セテ見マス、今少シ  
ク戦局全體ヲ見マシテ、今度ノ事變ニ於ケル馬ノ成績ノ調査チ  
完了シテ、又生産地ノ實情ト將來ノ見透シチハツキリト付ケマ  
シテ、徐ロニ第二次計畫ヲ變更シテモ遅クハナイデハナイカ  
斯様ニ考ヘルノデアリマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、  
中支北支ノ作戰ニ於テ失敗シタガ、南支作戰ニ於テハ成功シ  
タノデアアルカラ、將來ノ馬政計畫ニ於テハ南支作戰ノ方チ考慮  
ニ入レナカツタ改革ノヤウニモ見ラレルノデアリマスガ、此ノ  
點チ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、先ヅ第一ニ御伺チシテ見  
タイト思フノデアリマス、第二ハ從來ノ馬政計畫ハ、主トシテ  
騎兵科出身ノ將校ガ立案計畫ノ衝ニ當ラレマシタ爲ニ、輕種系  
ヲ主トシタノデアリマスガ、今回ノ新計畫ノ樹立ニ當リマシテ  
ハ其ノ要衝ニ居ラレタ方ハ砲兵科ノ出身デアアル、隨テ此ノ計畫

ノ決定シマスマデハ部内ニモ相當ナ意見ノ對立ガ行ハレマシテ  
此ノ計畫ハ近キ將來ニ再ビ變ヘナケレバナラヌト云フヤウナ懸  
念ガ、今デモ一部ニ行ハレテ居ルヤウナ噂チ聞クノデアリマス  
此ノ點ニ對スル陸軍大臣ノ御答ヲ得タイト思ヒマス、第三點ハ  
今度ノ新計畫ニ依リマシテ輕種生産ノ縮小ハ、之ヲ急激ニ強行  
スル御考デアリマセウカ、或ハ又徐々ニ移行セシメヨウト云フ  
御考デゴザイマセウカ、又輕種産地ハ從來ノ儘ニ之ヲ存續セシ  
メマシテ、中間種ノ産地ヲ新ニ樺太トカ朝鮮トカ關東州トカ、  
其ノ他滿洲北支等ニ之ヲ求ムル所ノ馬政計畫ヲ妥當ナリト考ヘ  
ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御考ハ如何デアリマセウカ  
何故斯ウ云フコトヲ申スカト申シマスレバ、從來輕種系ガ非常  
ニ多イヤウニ考ヘテ居ツタノガ、是ハ間違テアリマシテ、寧ロ  
輕種ガ多カッタガ爲テハナクシテ、中間種ガ少カッタ爲ダト考  
ヘルノデアリマスカラ、輕種産地ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、新方  
針ニ於テハ中間種ノ増産ニ一層力ヲ盡スコトガ妥當デハナイカ  
斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、第四點ハ、先刻小笠原君カラ  
モ御尋ガアリマシタ假想敵國ノ問題デアリマスガ、是ハ或ハ此  
ノ席デ公然ト御話ガ出來ナイカトモ考ヘマスノデ、唯抽象的ニ  
伺ツテ置クノデアリマスガ、將來日本ハ大陸ニ於テ戰爭チシマ  
スル場合ニ、此ノ新計畫ニ依リマシテ馬政計畫ガ進行シマスル  
ト、如何ナル敵國ト戰ヒマシテモ馬ノ素質、馬ノ機能ガ假想敵  
國ノ持ツテ居ル所ノソレト比較シマシテ、少シモ遜色ノナイト  
云フ様ナ御調査ガ出來テ居ルノデアリマセウカ、若シ公開ノ席  
テ御答出來マセマデシタナラバ、秘密會デアモ假想敵國ノ馬ノ

内容ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス……

○板垣國務大臣 第一ノ御質問ハ南支那方面ニ於テ輕種ノ成績ハ好カッタト云フコトアル、隨テ北中ダケガ惡クテ、南ハ好イ、サウ云フ關係モアルノニ一率ニ惡イト言フコトハドウカ、斯ウ云フ御話モアリマシタガ、是ハ全般的ニ輕種ハ適當デナイ斯ウ云フ結論ニナツテ居ルノデアリマス、或ハ一部ニハサウ云フ意見ヲ持ツテ居ル者モアルカモ知レマセヌガ、全般トシテノ問題デアリマス、是ハ餘談デアリマスルケレドモ此ノ軍馬ヲ如何ニスベキカト云フ事ハ、歐洲戰爭當時ニ於テモ既ニ色々經驗ヲシタコトデアリマシテ、其ノ當時カラ輕種ガ軍馬トシテ適當デナイト云フコトハ、段々唱道サレマシテ、滿洲事變後ノ計畫ニ於テモ、サウ云フ點モアツタ次第デアリマスガ、何サマ日本ノ將來戰ニ於ケル經驗ガナカッタ爲ニ、其ノ當時ハ問題ニナラナカッタノデアリマス、今俄ニ此ノ問題ガ起ツタノデアリマシテハ、騎兵科出身ノ者ガ主トシテヤツタ、今回ハ砲兵、斯ウ云フ關係カラ輕種ヲ兼ヒ中間種ニ傾クト、斯ウ云フ風ニナルノデアリマシカト云フ御尋テゴザイマスガ、今回ノ主任モ騎兵デゴザイマス、ソレカラ外地ニ對スル計畫、内地ノ馬産計畫ヲ確立シマシタ以上、是ト連繫ヲシテ、ソレニ相應スル様ナ計畫ヲ外地ニ於テモ立テナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、隨テ當局者ト致シマシテハ外地ト連繫ヲ致シマシテ、實情ヲ調査シテ、將來戰ニ即應スルヤウナ計畫ヲ期待シテ居ルノデアリマス、ソレカラ其ノ計畫ヲ急行スル積リカ、漸進的ニスル積リカト云フ御質問

デアリマシタガ、是ハ漸進的ニ徐々ニ實行致シマシテ、生産者ニハ御迷惑ヲ掛ケナイヤウニ致スノデアリマス、最後ノ御質問デアリマスガ、本計畫ハ將來ノコトヲ十分見透シテツケテアル關係ハ、先程申上ゲタ通りデアリマス、隨テ何レノ國、何レノ敵ニ對シテモ此ノ計畫ヲ進メテ行クト致シマスレバ、是ガ遂行ニハ支障ハナイト斯ウ云フ確信ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

(中略)

○大石委員 先般本案上程ノ際ニ、陸軍大臣ニ兵器トシテノ軍馬資源保護、鍛鍊ヲ行フノデアルガ、此ノ鍛鍊ハ陸軍直接オヤリニナツテハ如何カト云フ御尋ヲ致シマシタ際ニ、ソレハ國ノ事デアルカラ、何處デヤツテモ構ハヌ、ソシテハ農林省ニヤラセルコトガ適當デアアル、併シ陸軍ハ此ノ經費ヲ軍事費ト同様ニ見テ居ルト云フ御話デアリマシタガ、鍛鍊法ノ實行ニ當リマシテ、一番問題トナルノハ所謂曳付料及ビ助成額、是ガ此ノ案ニ於テ一番直接關係ノアル問題デアリマス、其ノ金額ヲ承リマシタル所、回数ハ一箇月二回以上、一年二十四回、一回ノ曳付手當ハタツタ三十五錢、鍛鍊馬ノ指定ヲ受ケマシタル馬ニ對シテハ一年三十七圓ノ補助チスル、斯ウ云フ建前ニナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ餘リニ少額ニ失スルデアリカ、新様ナ考デアリテ色々説明ヲ伺ツタノデアリマスガ、併シ從來ハサウ云フ手當モナカッタ所ヘ左様ナ手當ト力補助ヲ出スノデアアルカラ、寧ろ喜ンデ居ルト云フ馬政當局ノ御答辯ガアリマシタ併シ馬ヲ兵器トシテ、其ノ保有ヲ民間依存トシ、又鍛鍊ヲ其ノ民間ノ馬ニ施サウトセラレマスルナラバ、ヤハリ軍ハ軍ノ兵器ト

看做シテ、モウ少シ此ノ助成金及曳付手當等ヲ增加セラレタラ如何デアラウカト思フノデアリマスガ、豫算ノ都合上中々サウハ行カナイ、併シマダ満足ハシテ居ラヌカラ將來之ヲ改メル事ガアルカモ知レヌト云フコトデアリマシタ、私ハ此ノ意味カラ致シマシテ、嘗テ陸軍ノ兵器トシテノ馬ニ對スル閉却振リヲ吾吾ハ痛感サセラレテ居ツタノデアリマス、數年前林陸軍大臣ニ對シテ、一般ノ軍事費、其ノ臨時費ガ非常ニ膨脹シタニ拘ラズ馬ニ對スル豫算ト云フモノハ少シモ増額サレテ居ラヌ、是ハ馬ノ兵器トシテノ機能及ビ重要性ヲ閉却シテ居ルデアリカ、機械力ニ依存シテ、馬ノ重要性ヲ減殺シテ居ルデアリカ、斯ウ云フ考ヲ持チマシテ、嘗テ御尋ヲシタコトガアリマシタガ、他ノ兵器ノ「レベル」ガ餘リ低イカラ、ソレ等ノ「レベル」ヲ上ゲル間暫ク辛抱ヲシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ御意見デアリマシタ、併シ馬ハ他ノ機械器材ト違ヒマシテ、材料ヲ與ヘレバ直グ必要ニ應ジテ製作シテ行ケルト云フヤウナ工合ニハ參ラヌ、軍馬ヲ供給シマスルニハ、馬ハ今年種付ヲシテ來年生レルノデアリマスガ、ソレガ五歳ニ達シナケレバ軍用ニ供サレナイ、先ヅ六年ヲ費サナケレバ軍馬ニナラヌノデアリマスカラ、今カラ之ニ重要性ガアルナラバ、モウ少シ力ヲ入レテ戴カナケレバナラヌ斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタガ、遺憾ナガラ支那事變勃發マデニハ其ノ機運ガ醸成セラレナカッタ、此ノ事變ガ突發致シマシテ、尊キ經驗ニ基イテ茲ニ新馬政計畫ガ定メラレタ、サウシテ軍馬ノ重要性、隨テ軍馬資源ノ保護涵養ヲセラレバナラナイト云フ見地ニ立ツテ提案ヲ見タノデアリマス、然ルニ此ノ法律

ニ伴フ所ノ今ノ豫算ノ運用振リヲ見マスト、一箇年三十七圓、一回ノ手當ガ三十五錢デアリマス、如何ニ農村ノ子弟デアリマシテモ一日若クハ半日費シテ、馬ト共ニ鍛鍊ニ出テ參リマス、其ノ手當ガ、三十五錢トハ餘リニモ憚メデハナカラウカト思フ又三十七圓ノ助成ヲスル、其ノ助成ヲ致シマスノモ一日僅二十錢ニシカ當ラヌデアリマス、如何ニ民間ノ馬デアリマシテモ一日ノ飼料ハ二十錢、三十錢デアリカヌデアリマス、此ノ委員會ニ於テ御尋ヲ致シマシタ所、軍馬ノ一日ノ飼料ハ八十錢ト云フ御答辯デアリマス、所謂軍用候補馬トシテノ鍛鍊ヲ要スル馬ヲ扱フノデアリマスカラ、軍馬其ノ儘ノ飼料デアハ出來ナイカモ知レマセヌガ、セメテ其ノ半分位ノ飼料ハ要ルモノト御覽ヲ願ハナケレバナラヌガ、僅力其ノ四分ノ一ニモ當ラヌヤウナ助成デアハ、本當ニ兵器トシテノ馬ヲ扱フ上ニ於テ遺憾ダト思フノデアリマス、併シ林陸相時代ニ於ケル豫算ハ、現陸相ニ於カレマシテ非常ナ懸違ツタ多額ノ豫算ヲ明年度ニ於テ御要求ニナリ、議會ニ提案セラレテ居リマスコトヲ吾々ハ認メナイ譯デアリマセヌガ、ソレニ致シマシテモ兵器トシテノ馬ニ對スル豫算ニ於テハ尙ホ不足ヲ感ズルノデアリマス、其ノ點チ一ツ伺ツテ置キタイ

ソレカラモウ一ツハ新馬政計畫ニ付キマシテ軍ノ要望セラレマス所ハ、此處ニモ書イデアリマスガ、其ノ中デモ最モ重點ヲ置キマスルノハ過悍ナル馬ヲ排除スル、乗御使役ニ便ニシテ、最モ飼育管理ノ容易ナルモノト云フ所ニ重點ガ置カレテ居ル、ソレテ飼育管理ハ從來ノ輕種ハ宜シクナイ、「アングロノルマ

「系」系アレバ宜シイ、斯ウ云フ御見解デアリマスガ、此ノ新馬政計畫ニ付テハ將來不動ノモノデアツテ、變更スルコトハナイト云フコトハ只今ノ御説明ニモアルデアリマスガ、私共ハ之ニ非常ニ疑問ヲ持ツテ先般來御尋シテ居リマス、若シ粗飼料ヲ以テ飼育管理ニ最モ有利ナ馬ヲ選バウトスルナラバ、日本ニ於テハ改良種ノ必要ガナカツタ、併シ體型其ノ他ノ關係モアツテ、改良モセラレタデアリマスガ、「アングロノルマン」ト「アラブ」系ノ馬トノ飼育管理ノ上ニ於テドレダケノ差等ガアルカト云フ點デアリマス、是ハ生産地方ニ於キマシテモ、育成家ニ於キマシテモ重大ナル關係ヲ持ツテ居ル、「アラブ」系ノ馬ハ本國ニ於キマシテハ最モ粗飼料ニ堪ヘ、飼育管理ガ最モ容易デアリマス、サウシテ耐久力ニ富ム、殊ニソレニ少シ改良ヲ加ヘマスト、中等體尺者ノ乗御使役ニ頗ル便利ナ體型ノ馬ガ生ルル理想ヲ以テ改良種トシテ日本ニ輸入セシテ、軍馬、殊ニ乘馬ノ中心トシテ「アラブ」系ヲ以テ今日マテ三十幾年改良ヲ施シタ、然ルニソレガ過悍デアツテ、飼育管理ガ容易ナクシテ、乗御使役亦宜シキヲ得ナイト云フヤウナ御議論ハ、モウ私ハソレストラモ不思議ニ思フデアリマス、然ルニ「アングロノルマン」種類ヲ中心トシテ改良致シテ、此ノ陸軍ノ要望スル所ノモノニビツタリ合ツテ行カウト云フコトハ是ハ容易デアナイト思フデアリマス、「アングロノルマン」ハ成程「サラブレッド」トカ「アングロアラブ」トカヨリハ粗飼料ニ堪ヘ、飼養管理ガ容易アルカモ知レマセヌケレドモ、日本ノ實情ニ於キマシテハ相當ニ改良シテ、ヤハリ相當生産ニモ、育成管理ニモ

ソレノノ手數ヲ要スルヤウニナツテ參ツタ、「アラブ」ノ本國ニ於ケルガ如キモノデアリマセン、日本ハ參リマシテ飼育管理ガ非常ニ變化シテ面倒ニナツタ、「アングロアラブ」ヲ中心トシテ將來乘馬モ輓馬モ是テ行カウトスルト必ズ此ノ馬ノ飼育管理ガ「アラブ」改良ト同様ナ結果ニ陥ルコトハ明瞭デアルサウ云フ場合ニ於テモ尙ホ此ノ馬政計畫ヲ再ビ變更スル必要ガナカラウカ、此ノ點ニ付キマシテモ一應御意見ヲ承ツテ置キマセヌト、生産者ハ安心シテ生産ニ從事スルコトガ出來ナイデアリマス、ソレカラモウ一ツ陸軍ノ飼養管理ニ容易ナル馬ヲ造ル、殊ニ低身廣軀、四肢強健ニシテ負擔力輓曳力並ニ持久力ニ富ム、斯様ナ馬ヲ造ルニハ單純ナ「アングロノルマン」系ヲ選ンダト云フダケハ満足ニ行カヌト思フデアリマス、「アラブ」系ニ致シマシテモ、「サラブレッド」系ニ致シマシテモ、左様ナ馬ガ全然ナイトハ限ラナイデアリマスガ、ソレ等ヲ總テ捨テテ此ノ「アングロノルマン」ノミニ求メラレマスコトハ「アングロノルマン」種ノ本國ニ於テハサウ云フ風ニ働キマセウケレドモ、日本ノ生産者ニ於テ生産シ、日本ノ育成者ニ於テ育成セラレテハ到底其處ニ至ラヌデアリマス、仍テ先般來斯様ナ馬ヲ育テマスニハ放牧地、牧野ノ開放ガナケレバナラヌト農林大臣及當局ニ屢々申上ゲテ居ルデアリマス、先般農林大臣ヨリ牧野ノ必要ヲ認メラレテ、早晚審議會ニ於テ開放ノ手續ヲ爲スト云フ稍々突込ンダ御答辯ヲ得タデアリマス、陸軍ニ於カレマシテハ豫算ニ對シテハ相當御盡力ヲ下サレマスケレドモ此ノ牧野ノコトニ付キマシテハドウ御考ニナツテ居ルデアリ

マスカ、馬ヲ造ルニハドウシテモ牧野ガ之ニ伴ハナケレバナラヌデアリマスガ、之ニ對スル陸軍ノ態度ヲ御伺シタイト思ヒマス

○板垣國務大臣 第一ノ御質問ハ此ノ補助金ヲ増額スル考ハナイカト云フコトデゴザイマシタガ、勿論之ヲ以テ満足シテ居ル譯デアリマセヌ、將來財政其ノ他ガ許スニ至リマスナラバ増額ヲスルト云フコトハ希望スベキコト考ヘテ居リマス、只今ノ所テハ農林省トモ十分ニ協議ヲ致シテ斯様ナコトニ定メテ次第デアリマス

次ニ輕種ノ問題デアリマスガ、先程カラ申上テ居リマス通りニ從來ノ經驗、殊ニ日支事變ノ貴重ナル經驗ニ鑑ミテ「アラブ」系輕種ハ軍馬トシテ適當デアナイト云フ結論ニ到達シテ居ルコトハ毎々申上ゲテ居ル通りデアリマス、此ノ中間種ハ負擔力、輓曳力、持久力、特ニ飼養管理ガ容易アル、尙又牧野ノ問題デアリマスガ、強健ニシテ持久力ニ富ム所ノ軍馬ヲ生産スルノニ牧野ヲ必要トスルノハ御意見ノ通りデアリマス、此ノ牧野ノ整備ノ爲ニハ只今農林當局トモ協議中デアリマス

○河野委員 ……私ノ御尋シマスノハ此ノ馬政計畫御實施ノ曉ニ於キマシテハ、果シテ所期ノ目的ヲ達スル事ガ出來ルカドウカト云フコトニ非常ニ疑義ヲ持ツテ居ルト云フ觀點カラ御尋テ致スデアリマス、其ノ第一ト致シマシテハ農林、陸軍兩當局トモ、農村ト馬トガ經濟的ニ結付キテ致シタ場合ニ吾々ノ認識ト違フ點ガアルト云フコトカラ、私ハ遺憾ナガラ政府ニ於テモウ少シ御考直シテ願ハナケレバ所期ノ目的ヲ達スルコトガ

困難ダラウト云フ推論ニ到達スルデアリマス、其ノ意味カラ御尋スルデアリマス、先ヅ第一ニ陸軍ニ於テハ國防資源トシテ馬ノ絶對的ニ必要アルコトハ申上ゲルマデデアリマセヌ、所ガ農林大臣ニ御尋スルデアリマスガ、今日我國ノ農村ノ事情カラ考ヘマシテ、若シモ馬ガ農村ニ居ナカツタナラバ、日本ノ農業經營ハ不可能カドウカ、非常ニソレニ依ツテ不利益ヲ蒙ルカドウカ、具體的ニ申シマスナラバ我國ノ農村ハ馬ニ代ルニ牛其ノ他ノ家畜ニ依ツテ之ヲ補フコトガ出來ルト御考ニナルカドウカ、吾々ノ認識ハ寧ろ他ノ動物ニ之ヲ代ヘルコトノ方ガ農家ノ經濟上ハ有利デアル、生産ノコトヲ私ハ申スデアリマセヌカラ誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、生産地ニ於テ馬ガ或ル程度農家經濟ニ云々ト云フコトヲ申シテ居ルデアリマセヌ利用ニ付テ申上ゲテ居ルデアリマスガ、馬ノ利用ノ立場カラ申シマシテ、我國ノ農村ト馬ト云フモノノ結付キニ付テノ御信念ヲ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 御承知ノ如ク農業地ニ於テ馬ガ必要アルコトハモウ申ス迄モデアリマセヌ、唯河野君ノ御質疑ニナツテ居ル點ハ馬ト牛ト其ノ利用價值ノ點ニ付テドウデアアルカ、斯ウ云フ風ナ御質疑デアルト思ヒマスガ、牛ノ方が能率ヲ舉ゲル點モ多分ニアリマス、又馬ノ方が能率ヲ舉ゲル點モ相當アルヤウニ考ヘマス、隨ヒマシテ是ハ農林當局トシマシテハ雙方トモ其ノ増殖ヲ圖ルト云フ方針ヲ立テナケレバ相成ラヌト、斯様ニ心得テ居リマス

○河野委員 遺憾ナガラ私ト非常ニ懸隔ノアルコトヲ甚ダ残念

ニ思フノデアリマスガ、而モ御答辯ガ少シ違フ點ガアリマスノ  
ア、モウ一度申上ケマス、農家ニ於テ馬ヲ飼フコトガ採算上引  
合フカト尋ネタ、今日ハ明ニモウ何レノ農家ニ參リマシテモ馬  
ハナケレバナラヌ、ナケレバナラヌガ、ソレノ仕事ハ牛テ間ニ  
合フモノガ一體ドレダケアルカ、馬テナケレバ絕對ニ出來ヌ、  
牛テハ間ニ合ハヌト云フ農家ノ經營上ノ分野ガ一體何處ニアル  
カ、極ク一部分アルデセウ、而モソレトテモ絕對ニ不可能デア  
アリマセヌ、又他ノ點カラ申シテ馬テアル場合ト、牛テアル場  
合トドツチガ農家經營上有利デアアルカ、私ハ遺憾ナガラ馬ニ依  
ツテ農家ヲ經營スルコトニ依ツテ採算ヲ致シタ場合ニ、特ニ農  
村ニ經濟上有利ナ點ヲ發見スルノニ苦シムノデアリマス、言葉  
ハ過ギルカモ知レマセヌガ、極ク精農ヲ馬ト人間ト、人馬一體  
ニナツテ居リマス農民ヲ一村ニ數名求メルナラバ、是ハ求メラ  
レヌコトハ私ハナイト思ヒマス、併シ大部分ノ場合ハ馬ニ依ツ  
テ經營シテ居ル農家ヲ非常ニソレガ有利ニ旨ク行ツテ居ル場合  
ヲ發見スルニ苦シムノデアリマス、大部分ハ馬ニ非常ナ趣味ヲ  
持チ、馬其ノモノニ對シテ愛好心ヲ持つトカ云フ農家ガ馬ニ依  
ツテ經營シテ居ル、其ノ他ハ他ノ觀念カラ、國防上ノ觀念カラ  
又ハ馬ト牛トノ間ニ於テ、馬テモ結構行ケル、又ハ補助獎勵ガ  
アルト云フ事テアル場合ガ多イノデアツテ、馬ニ依ツテ農家經  
營ヲスルコトガ相當經濟上旨ク行クト云フヤウナ算盤ト云フモ  
ノハ、恐ラク出テ來ナカラウト思フ、恐ラクハ農林大臣ノ只今ノ  
御答辯モ、先日農林當局ガ私ニ御答辯ナリマシタヤウニ、馬ヲ  
一年飼フノニ百圓テ飼ヘル、一箇月ノ飼代ガ八圓ダト云フヤウ

ナ馬鹿々々シイ算盤ヲ基準ニシテ御考ニナレバ、サウ云フ觀念  
ガ出テ來ルカモ知レマセヌ、併シ今日農村ノ何レノ部面ヲ搜シ  
マシテモ、非常ニ東北方面ノ草ノ多イ所、牧野ノアル所ト云フ  
所デアリマシタナラバ、吾々ハ其ノ方面ノ智識ガアリマセヌカ  
ラ申上ケル事ハ出來マセヌケレドモ、吾々ノ知ル範圍ニ於キマ  
シテ馬ノ利用地方面ニ於キマシテハ、馬一頭ノ食費ヲ一箇月十  
圓ヤ八圓テ足ルト云フ様ナ所ハ斷ジテナイ筈デアリマス、又ソ  
ンナ貧弱ナ食物テ瘦セタ馬ヲ飼ツテ置クノデアツテハ、國防上  
ニモ何等ノ益スル所モナケレバ、農家經營ノ上ニ於キマシテモ  
ソナ貧弱ナ馬ヲ飼ツテ農家ノ經濟ガ立ツ筈ハナイ、是等ハ全  
ク農林當局ノ調査ノ杜漏ト認識ノ不足カラ來テ居ルモノデア  
ルト思フ、吾々ノ茲ニ申上ゲタイノハ、同時ニ御認識ヲ願ヒタイノ  
ハ、今日我國ノ大部分ノ農村ニ於テハ、馬以外ノ有利適切ナル  
代家畜ニ依ツテ農家ノ有畜農業ノ經營ヲスル方ガ農村經濟ノ方  
カラ言ツテ有利適切デアアルト云フ、是ハ萬人異論ノナイ定見  
アルト思フ、併シナガラ此ノ意見ニ付テ若シ色々參考ニナリ、  
吾々ト違ツタ御認識ノ上ニ立ツテ御指導願ヘル點ガアレバ承  
レバ結構デアリマスガ、遺憾ナガラ吾々ガ何時承ツテモ吾々ノ  
承服スルヤウナ點ヲ見出スニ苦シムノデス、例ヘテ申シマスレ  
バ、此處ニオイデアニナラヌ方ノ名前ヲ出スノハ失禮デアリマス  
ガ、隨軍省ノ中山中將サンノ如キハ、私ノ同席シタ或ル場所  
申サレタ、牛ハ日本ノ國民性ニ合ハヌ、アア云フノロノシタ  
モノチ飼ツテモ仕方ガナイ、馬ノヤウナモツト國民性ニ合ツタ  
モノチ農家ハ飼ツテ云々ト云フヤウナ講演ヲサレテ居ル、今日

農村ヲ指導サレルノニ斯ウ云フ見地、斯ウ云フ認識ヲ指導サレ  
ルコトハ私ハ不適當ダト思フ、モウ少シ本當ニ農家經濟ノ實體  
ニ喰入ツタ御意見テ農村ヲ御指導ニナリ、馬ノ必要ナル所以ヲ  
説キ、我方農民トシテ此ノ馬政計畫ニ協力スル所以ヲ説イテ戴  
カナケレバナラヌト私ハ思フ、ソコテ陸軍大臣、農林大臣、兩當  
局ニ特ニ御考ヲ願ハナケレバナリマセヌ事ハ、農家ノ點カラ申  
シマシテ、只今私ガ申シマシタヤウニ、農林大臣ノ御答辯モア  
リマスケレドモ、馬ヲ飼フヨリモ其ノ他ノ代家畜ヲ經營スル方  
ガ得ダ、有利ダ、農家ノ經濟振興上、農村振興上、其ノ方ガ宜イ  
ノダ、是ハ私ハ定論デアルト思フ、併シナガラ一方ニ國防資源  
トシテ絕對ニ馬ガ必要ナラヌ、是モ亦動カスベカラザル既定ノ  
事實デアアル、サレバ茲ニ三十圓何ガシノ補助金ヲ以テ此ノ馬ノ  
増産計畫、第三次馬政計畫、百五十萬圓計畫ト云フモノノ實現  
ヲ期シテオイデアニナルコトト私ハ思フノデアリマス、所ガ此ノ  
三十七圓ノ金額ノ善シ惡シハ、只今大石君カラモ申サレタ様ニ  
私モ一昨日此處テ申上ゲタノデアリマスケレドモ、是ハ元々三  
十七圓ト云フ數字ハ、百圓テ一年馬ガ飼ヘルカラ三十七圓ト云  
フ様ナ事ニナルト思フ、是ハ一體幾テ本當ニ飼ヘルノカ、陸  
軍ハ月ニ二十七圓掛ル、一箇年間テ約三百萬圓方幾ラ掛ル、民  
間ハ百圓テ馬ヲ食ハシテ置クノダト云フ算盤ノ違ヒカラ、三十  
七圓ト云フ様ナ數字ガ出テ來ルト思フ、而モ其ノ三十七圓モ今  
陸軍大臣ニ此處テハツキリ申上ゲタイノハ、補助金ト云フ觀念  
ガ宜クナイト思フ、民間ニ補助スルノチヤナイ、國民ガ負擔シ  
テ居ル、其ノ負擔ノ一部分ヲ政府ガ辨償スルノダト云フ觀念ニ

變ヘテ戴キタイ、是ハ農林大臣ニ特ニ御考慮ヲ願ヒタイ、今ノ  
農林大臣ノ御話ノヤウナコトハ補助スルト云フコトニナツ  
テ來ルガ、サウチヤナイ、サウ云フ觀念テハ中々馬ト云フモノ  
ハ旨ク行カヌト思フ、サウテナシニ、馬ヲ飼フコトニ依ツテ生  
ズル所ノ農家ノ經濟ノ計算ヲヒシツト御出シニナルガ宜イ、他  
ノ代家畜ニナレバドウ云フ算盤ニナツテ來ル、馬ニナレバドウ  
云フ算盤ニナツテ來ル、是ハ計算シ得ル、例ヘバ米ノ生産費ヲ  
計算スル様ナ詳細ナル計算ヲシテ出シテ、ソレチシツカリ肚ニ  
入レテ農民ニ示スト同時ニ、政府當局ガ確固タル認識ヲ決メテ  
サウシテ政府ガ幾ラノ負擔ヲスレバ宜シト云フコトヲ決メル  
ガ當リ前ト思フ、サウスルノテナケレバ、ハツキリシタ我國ノ  
馬政計畫ハ立ツモノデアハナイ、唯百姓ヨ馬ヲ飼ヘ、國家ノ爲ニ  
必要ダカラ飼ヘト云フダケテハ中々行キニクイト云フコトニ依  
ツテ起ツタノガ今回ノ色々ノ政策、此ノ政策ノ根本ニ誤リガア  
リ、認識ニ誤リガアルト致シマスナラバ、是ハ中々行キニクイ  
ト思フ、之ヲ申上ゲルト同時ニ、時間ガアリマセヌカラ、續ケ  
テ申上ゲマスガ、第二ニ申上ゲナケレバナリマセヌ點ハ、例ヘ  
バ、地方競馬等ニ對スル認識デアリマス、馬ハ農家ノ必要ノ爲  
ニ飼フノデアハナイ、國防ノ必要上ノ見地カラ農家ニ飼ツテ貰フ  
ノデアルト云フコトヲ第一觀念ニ置イテ戴キタイ、又農民モ喜  
ンテ國家ノ御用ヲ務メタイト云フ觀念テ、喜ンテ協力スル、決  
シテ農民ハ算盤ヅクテ合ハナイカラ、飼フノ飼ハヌト申スノ  
テハナイ、是ハ其ノ通り、農民ノ方カラ申セバ算盤ヅクテ飼フ  
ト力飼ハヌト力申サナイガ、飼ハセル政府並ニ指導者ノ方面ニ

於テハ、又逆ニ農民ニ頼ンテヤラセルノデアルト云フ觀念ニナ  
 ヲテ戴キタイト思フ、茲ニ兩々相俟ツテ一體トナツテ本當ノ馬  
 政計畫ハ生レルト思フ、所ガ此ノ認識ト全ク無關係デアル所ノ  
 司法當局デアルトカ内務當局、司法省ノ刑事局長トカ内務省ノ  
 警保局長トカガ、ヤレ競馬ニ行ツタ爲ニ犯罪人ガ出來タ、ヤレ  
 競馬ヲヤル爲ニ思想上トウナツタトカ云フ細カナ面倒臭イコト  
 ナ言ツテ、此ノ馬政計畫ニ對シテ干與スルコトハ私ハ斷ジテ排  
 撃シナケレバナラヌト思フデアリマス、勿論國法ノ侵スベカ  
 ラザルコト、又國民精神ノ發揚ノ上ニ於テ支障ノアルコトノ遺  
 憾ナコトハ、吾々トシテモ認メル者デアリマス、併シナガラ物  
 ニハ凡ソ輕重ガアリマス、ドノ程度マデハ認メテ宜シイ、ドノ  
 程度以上ハヤツテハイカヌト云フ限界ガアル筈デアアル、其ノ限  
 界ヲ持タナケレバナラヌ、唯司法當局ノ見解デアルトカ、内務  
 省ノ警保局長ノ見解デアルト云フ様ナコトカラ、馬ニ對スル何  
 等ノ認識モナケレバ、何等ノ研究モナケレバ、對策モナケレバ  
 準備モナイ所ノ一屬僚ガ、是等ノ問題ニ干與シテ、ヤレ地方競馬  
 ノ取締ガドウダ、犯罪人ガ何人出タカラドウダト云フ様ナ、細  
 カナ點カラ論ジテ國防資源確保ノ問題ガ決定出來ル筈ハ私ハ斷  
 ジテナイト思フ、私ハ先日モ此處ニ御見エノ政府委員ノ方ニ申  
 上ゲタ、今日馬ノ問題ハ中々重大ナ問題デアアル、ケレドモ馬ハ  
 陸軍ガ必要デアアルノデアルカラ、モツト陸軍ガドンドン押スダ  
 ラウト云フノテ、實ハ民間ノ團體等モ、此處ニ東委員長初メ民  
 間團體ノ有力ナ方ガ御列席デアリマスケレドモ、寧ロ陸軍ノ推  
 進力ノ後ニ踵イテ行ケバ馬ノ問題ハ或ル程度進ムデアラウ、陸

軍ガ要ルノダカラト云フ考ガ全然ナイトハ申セヌト思フ、モツ  
 トシツカリヤツテ貫ヘルカト思ツテ居ル、所ガ左ニアラズ  
 シテ、陸軍カラ馬政ノ上ニ於テアノ點、此ノ點ト色々註文サレ  
 マス其ノ點ガ地方民間テ考ヘテ居ル點ト食違フ場合ガ多イ、國  
 防一本槍ト云フ所カラ出テ來ル場合ガ多イト思フ、勿論國防ノ  
 爲ノ馬デアリマスカラ、國防一本槍テ出テ來ルコトハ結構デア  
 リマスケレドモ、何ト申シマシテモ百五十萬頭ヲ確立シテ、之  
 ナ維持擴充シナケレバナラヌ點カラ申シマスレバ、民間ノ意見  
 モ大イニ參考トシテ聽クベキ點ハ聽ク、其處ニ陸軍ト、農村ト  
 農林省トガ一體ニナツテ、之ニ障礙ヲ與ヘル行政部門ニ對シテ  
 ハ完全ナル認識ヲ與ヘルト云フコトニ努力シナケレバナラヌ、  
 ト思フ、其ノ點ニ對シテハ私ハ缺ケテ居ル點ガアルト思フ、先  
 ズ第一ニ陸軍大臣ガ申サレタ様ニ、三十七圓ハ甚ダ遺憾デア  
 ルガ、財政上ノコトモ考ヘナケレバナラヌト仰シヤイマスケレド  
 モ、遺憾ト申スノニモ限度ガアリマス、此ノ位ナラバ我慢シテ  
 宜シイ、此ノ位ナラバ我慢ガ出來ナイト云フヤウニ限度ガアル  
 筈デアアル、所ガ今申上ゲルヤウニ三十七圓テ、一日ノ曳付料ガ  
 三十五圓ト云フヤウナ數字ハ何處カラ算盤ヲ彈イテモ出テ來ル  
 數字チヤアリマセヌ、陸軍ノドノ豫算ニ比ベマシテモ是程私ハ  
 抑ヘケラレタ豫算ハナカラウト思フ、此ノ點チハツキリト御  
 認識願ハナケレバナラヌト思フ、其ノ他ノ行政各般ノ方面カラ  
 壓迫ヲ受ケル馬政ノ點ニ於テモ十分ナル推進力ヲ以テ、例ヘバ  
 地方競馬ノ取締ガドウデアラウガ、斯ウデアラウガ、ソレチ一  
 警察部長ガ之ニ徹底ノ彈壓ヲ加ヘテ、サウシテ地方競馬ヲ潰

シテシマフ、ソレニ依ツテ地方民ノ馬ニ對スル愛好心ヲ全ク捨  
 テシメルト云フ様ナコトハ、嚴ニ監視スル必要ガアラウト思フ  
 唯法律ハ法律トシテ作ツテモ、其ノ法律ノ運用ノ妙ヲ得ル所ニ  
 國家存立ノ意義ガアル、ソレチ法律ガアルカラト云ツテ、無茶  
 苦茶ニ地方競馬ヲ取締ツテ見タリ、無茶苦茶ニ彈壓シテ見タリ  
 地方ニ於ケル馬政ヲ減茶々ニスルト云フコトハ、斷ジテ黙過  
 スルコトハ出來ナイ、實例ガ全國ニ多クアル、如何ニ當局ト吾  
 吾ガ「ベーパープラン」ヲ立テテ見タ所ガ、地方ノ馬政ノ第一  
 線ニ立ツテ働イテ居ル者ト、行政官トノ間ニ摩擦ガアリ、徒ラ  
 ナル干渉壓迫ガアツタラ、斷ジテ馬政計畫ノ實現ハ出來ヌト思  
 フノデアリマス、是等ニ付テ今後十分ナル御監督ト申シマスル  
 カ、御研究ト申シマスルカ、御用意ヲシテ裁クニアラザレバ、  
 今私ガ申上ゲマシタノモ多少獨善的ナ考ヘ方モアルト思ヒマス  
 ガ、併シ一面ノ眞理ト云フ點ガアルト云フコトヲ御諒解戴キマ  
 シテ、又農民ノ要求モ此ノ點ニアルト云フコトヲ十分御諒解戴  
 キマシテ、此ノ馬政計畫ノ萬全ヲ期スル上ニ於テハ、モウ一段  
 ノ御努力ト御認識ヲ高メテ戴カナケレバ中々困難デアアル、法ノ  
 内容其ノモノニ付テ私ハ議論スルノチヤアリマセヌ、兎ニ角一  
 般ニ出テ參リマシタ所ノ補助金等ニ付テハ此ノ邊デアラウト云  
 フ所ニ無茶ガアル、幾ラ河川ノ改修ノ工事チヤリマシテモ、僅  
 カノ金テ何處堤防ヲ造ツテモ同ジコトデス、三十圓ヤ四十圓ノ  
 金テ、三十錢、四十錢ノ曳付料チヤツテ見タ所ガ、陸軍ノ方ガ  
 來テコンナ瘦セコケタ馬ヲ何故曳付ケルカト言ツテ見タ所ガ、  
 サウ云フ小言チ言ヘバ言フ程馬ヲ飼フコト止メテ、皆牛ニ代

ツテシマフト思フ、斯ウ云フコトヲ根本カラ軍部ト農林省ノ役  
 人ノ、吾々トノ間ニ完全ナ結付キガアツテ、笑ツテ馬ヲ飼フト  
 云フ所ニ持ツテ行クノデナケレバ斷ジテ馬政計畫ハ實現スルモ  
 ノニアラズト云フコトヲ、私ハ少シ言葉ヲ強ク申上ゲマシテ、  
 兩當局ノ所見チ此ノ際何ツテ置ク必要ガアルト思フ  
**○櫻内國務大臣** 今河野君ノ御話ノ如ク、總親和即チ農業當事  
 者ト陸軍當局、農林當局、並ニ實際局ニ當ツテ居ル者ガ相互ニ  
 抱キ合ツテ、サウシテ此ノ事ヲ遂行スルニ非ザレバ目的ヲ達ス  
 ルコトハ出來ヌ、是ハ洵ニ御尤デアリマス、御趣旨ノ通りダト  
 吾々モ深く之ヲ考ヘマス、又現在ノ計畫ニ於テ農家ガ利益デア  
 ルト云フコトハ少シモ考ヘテ居リマセヌ、全ク陸軍大臣ガ言ハ  
 レタ如ク、之ニ於テ十分ナリト云フヤウナコトノ考ハ少シモ持  
 ツテ居ラナイノデアリマス、ケレドモ、財政ノ關係上今日ハ  
 此ノ程度テ我慢チシテ戴イテ國民ノ協力ヲ求メタイ、斯様ニ思  
 フノデアリマス、農家ノ經濟トシテ馬ヲ牛ニ代ヘテ働カシタ方  
 ガ利益デハナイカ、此ノ點ニ付キマシテハ、多分ニサウ云フ點  
 ガ思ハレルノデアリマスケレドモ、今御話ノ如ク國民ノ愛馬心  
 並ニ國民ガ國防ニ協力スルト云フ、其ノ觀念ノ下カラ此ノ案ガ  
 遂行サレ得ルト、斯様ニ吾々考ヘテ居ルノデアリマス、唯如何  
 ニモ物價ノ騰貴ニ連レマシテ飼料其ノ他ガ騰貴シツツアルコト  
 ニ付キマシテハ、深く吾々ハ考ヘナケレバナラヌ點デアルト、  
 斯様ニ考ヘテ居リマス  
**○河野委員** 簡單ニモウ一點伺ヒタイ、諄イヤウデアリマスケ  
 レドモ、今大臣カラモ結構ナ御答辯テ私モ満足スル者デアリマ

ス、併シナントシテモモウスコシ御調査ヲシテ戴カナケレバナ  
ラヌ點ガ多アルト思フ、例ヘバ此ノ間モ承ツタ百圓ノ調査ノ  
如キモ、昭和十二年度ノ調査ヲ以テ豫算ナシ此ノ際決メラレタト  
云フヤウナコトハ、私ハ適當ナイト思フ、何處ノ豫算ニシテ  
モ現在ノ物價ヲ基準ニシテ決メルモノダ、農家ノ馬ヲ飼フ經  
費等モ現在幾ラカカルカト云フコトヲ、全國ヲ調べナクテモ、  
大體常識ヲ考ヘテ、適當ナル點ガ出テ來ルト思フ、又同時ニ今  
日軍ト連絡ヲシテ馬政計畫遂行ノ上ニ、今日軍ノ適格馬ガ何ヲ  
食ツテ居ルカ位ノコトハワカリ切ツタ話アル、ソレナ麥糠  
位食ハシテ馬ノ曳付ケテヤルヤウナ百姓ハ一軒モナイ、ムシロ  
一朝有事ノ際ニ大事ナ馬ヲオ役ニ立ツヤウニスルト云フタメ  
ニハ、モット立派ナ物ヲ食ハシテ肥ラシテ置イテ曳付ケル、サ  
ウシテヒマガアレバ馬ヲ乗り廻シテ、鍛錬馬ノ會ヘテモ行ツタ  
トキニ、昔ノヤウニヒン／＼暴レルヤウナコトノナイヤウニシ  
ヨウト云フノデ、努力ヲ拂ツテ居ル、コレニ要スル手間ダケデ  
モ大抵ノモノデハナイ、ソレヲ親切ニ考ヘテヤツテ欲シ、自  
分ノ方ノ内輪ノ豫算ダケハ細カクオ取りニナルガ、補助金ノ豫  
算ニハ大マカナ點ガアル、斯ウ云フ點モ細カク計算シテ、基礎  
ハコレダケカカルガ、國ニ金ガナイカラ財政上是デ我慢シテ  
賈フト云フコトニナリマセヌト、言葉ハ過ギルカモ知レマセヌ  
ガ、私ノ言ハントスル本音ヲ吐ケバ斯ウ云フコトデス、軍需工  
業、軍需産業ノ方ハ非常ニ今日殷賑ヲ極メテ居ル、此ノ方面ニ  
從事スルモノハ非常ニ所得ガ多イ、所ガ同ジ軍ノ御用ヲ達ス馬  
ニ於テハ、如何ニモ少イデハナイカト云フ所ニ、農村ノ疑惑

ガアルノデアリマス、此ノ點ヲ一ツツツカリ陸軍大臣ハ御考ヲ  
顯ヒタイ、馬ノ方ニハ金ガナケレバナイデ宜シイ、ソレナラ飛  
行機モ安ク買ツタラ宜イデヤナイカ、他ノ軍需資材モ安ク買ツ  
タラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ農村モ、軍需工業モ平等ノ  
見地デ國民ガ共ニ行ケバ、ソレハ農村モ我慢スル、所ガ他ハド  
ウカ知レマセヌガ、我が神奈川縣下等ニ於テハ、一方ニ京濱間  
ニ於ケル軍需工業地帯ヲ眺メ、一方ニ農村ヲ眺メタ場合、農村  
ニ於ケル馬ニ對スル施設ト、是等軍需産業ニ對スル軍ノ御考ト  
ノ間ニ、大變開キガアルヤウニ私ニハ見エテナラナイ、其處ニ  
農民ノ疑惑ガアリ、此ノ時局ニ對スル色々ノ聲ノアルコトヲ吾  
吾聞キ逃ガスコトハ出來ナイ、此ノ點ハ今當局ノ御答辯デ財政  
ノ上カラドウモ出來ナイト云フ事デ、吾々一應ハ満足致シマス  
ケレドモ、次ノ機會マデニハ必ズ是等ニ對シテ十分ナル御認識  
ト、御調査トヲ以テ臨マレンコトヲ切望シテ止マナイノデアリ  
マス、此ノ點ニ關聯シテ尙ホ一言申上ゲマスナラバ、今日馬ノ  
飼料トシテ缺クベカラザル穀ノ配給ニ付テ、非常ニ遺憾ノ點ガ  
多イ、是ハ農林大臣特ニ御考慮ヒタイ、軍ニ於テモ御考慮ヒタ  
イ、而モ穀ノ相場ガ今日非常ニ高過ギル、是ハ馬ノ飼養管理ノ  
上ニ於テモ支障ヲ來シテ居ルト云フコトヲ、十分御調査願ヒタ  
イ、之ニ付テハ何レ他ノ機會ニ於テ御尋スルコトニ致シマスガ  
今日麥糠ヲ食ツテ居ルカラ穀ヲ食フコトハナカラウト云フヤウ  
ナ考テ居ラレルコトハ、洵ニ遺憾ノコトアル、穀ノ方ニ付テ  
モ十分ナル關心ヲ持ツテ戴キタイト云フコトヲ切望シテ、私ノ  
質問ハ之ヲ以テ止メマス

午後四時四十五分散會

昭和十四年二月二十一日  
午前十時二十分開議

○大石委員長代理 是ヨリ會議ヲ開キマス……………  
○小笠原委員 私ハ今日ハ種馬統制法案ノ細部ノ法ノ運用ノコ  
トニ付キマシテ、分ラナイコトヲ御尋シタイト思ヒマスガ、此  
ノ種付ハ各産馬聯合會トカ畜産組合ト云フモノニ、政府ノ許可  
ヲ受ケテ業務ヲ行ハシメルコトニナルノデアリマスガ、其ノ業  
務ヲ行フト云フ其ノ業務ハ、是ハ種牡馬、種牝馬ノ配合、其ノ  
配合ノ検査モ業務ノ中ニ入ルノデアリマスガ、此ノ配合ノ方ハ  
今度ノ改正ニ依ツテ、是ハ政府ノ方デ行ツテ、種付ダケテ行ハ  
シムルト云フコトニナルノデアリマセウカ、是ハハツキリスル  
必要ガアルト存ジマスカラ、先ヅ其ノ點ヲ御同致シマス  
○伊藤政府委員 第二條ノ畜産組合其ノ他ガ馬ノ種付事業ヲ行  
フト云フ中ニハ、配合ノコトモ含シテ居ルノデアリマス、唯統  
制ハ勿論國ニ於テ特定ノ條件トシテヤラセル譯デアリマス  
○小笠原委員 次ニ昨日私ガ申上ゲタヤウニ、生産地ト云フモ  
ノニハ愛馬思想、其ノ他馬ニ對スル色々特殊ノナ美風モアル  
ノデアリマシテ、隨テ此ノ種牡馬ナドハ今マテ自分テ所有シ、  
自分ガ配合シテ居ツタ場合ニハ、何年トナク成績ヲ舉ゲタ其ノ  
種牡馬ニ對シテハ、ソレヲ將來ニ於テ神ト祀ルト云フヤウナコ

トノ美風モアルノデアリマス、然ルニ今回ハ政府ノ外ニハ種牡  
馬ヲ所有スルコトナク、隨テ政府カラ貸下テ受ケルト云フコト  
ニナルノデアリマシテ、是等ノ馬ハ老齡ニナルト政府ノ方ニ返  
シテ、政府ガ二束三文デ馬車馬等ニ廢馬ヲスルト云フヤウナコ  
トガ、今マテモ例ニナツテ居リマスガ、相當ニ斯ウ云フモノハ  
經濟上ニモ何モ影響ノナイモノデアリマスガ、今度ハ政府ノ方  
デ種牝馬ノ貸下等ニ依ツテ、其ノ組合ニ對シテ其ノ成績ガ舉ツ  
タナラバ、老馬ハ其ノ組合ニ年限ヲ定メテ無償交付スルト云  
フ制度ヲ定メルト云フコトハ、是ハ非常ニ大キナ影響ガアルヤ  
ウニ思ハレマスガ、其ノ點ハ何カ御考ガアルカナイカチ聽イテ  
置キタイト思ヒマス  
○青見政府委員 御趣旨ノコトハ、マダ何トモ確定致シテ居リ  
マセヌガ、御尤ナコトモアルヤウデアリマスカラ能ク考究致シ  
マス  
○小笠原委員 是ハ陸軍ノ方ト馬政局ノ方ト兩方カラ伺ヒタイ  
ノデアリマス、今度ノ馬政計畫ニ依ツテ低身、廣軀四肢強健ト  
云フコトニ方針ヲ定メラレタガ、是ハ從來ヨリモ此ノ程度ニ餘  
リ變ツタ方針デハナイケレドモ、今度ハ輕種ハ軍馬トシテ適當  
ナラズト云フコトニナツタ關係上、茲ニ疑問ヲ懷クノデアリマ  
ス、低身廣軀ハ分リマスガ、四肢強健ト云フコトハ分ラナイ、  
四肢強健ト云フノハ中牛血種——或ハ「アングロノルマン」或  
ハ「ベルシユロン」ト云フヤウナモノニ分ケテ、此ノ四肢強健  
ト云フコトヲ定メルノデアルカ、即チ骨ガ比較的細クテモ種類  
別ニ依ツテ骨ノ内部ガ密ニ出來テ居ルナラバ、ソレデ宜イト云

フコトニナルノデアアルカ、是ハドウシテモ悍威ガ太クテ、骨ガ  
太イノチ尊ブ、ダカラ骨ノ太イ方ヲ望ムト云フコトア、四肢ノ  
強健ト云フコトニ定メタノデアアルカ、ソコハ今度ノ馬産ニ對シ  
テハ重大ナ影響ガアルノデアリマス、從來ノ例ヲ見マス、骨  
量ノ太イト云フコトハ強チ鞭曳力ガアル、負擔力ト云フモノニ  
ハ比例シテ居ラナイ、競馬ノ競走ノ例ヲ見マシテモ、又ハ鞭馬  
競走、鞭曳競走ヲ見マシテモ、負擔競走ヲ見マシテモ其ノ悍威  
ノ太イトカ、細イトカ云フコトニ比例シテ居ラナイト云フコト  
ハ明デアリマスガ、是ハドウ云フ方面カラ定メテ四肢強健ト云  
フコトニナツタノデアリマスカ、種類ハ何等關係ガナイト云フ  
コトニナリマスカ、ソコヲ明確ニシテ置イテ載キタイ

○荷見政府委員 如何ナル種類ニ於キマシテモ、四肢強健ナル  
コトヲ陸軍ハ要求致シテ居ルト思ヒマス

○栗林說明員 其ノ通りデアリマス

○小笠原委員 如何ナル種類テモ四肢強健ト云フコトハソレハ  
分リマスガ、ソレヲ私ハ伺ツテ居ルノデアリマセヌ、四肢強  
健ト云フコトハ「ベルシユロン」種ガ一番太イノデアリマス、  
太イノチ強健トスルカ、細クテモ骨ノ密ナルコトガ強健ト云フ  
意味ニナルカ、如何ナル種類ダツテソレハ斯ウナル、此處ヲ聽  
キタイ、太ケレバ強健デアルト云フコトニナルト「ベルシユロ  
ン」ガ一番宜イト云フコトニナツテ、アトハ輕種ニ必要トスル  
配合馬ハ細イノガ出ルカライケナイ、是ハ第二段ニ扱ハレルト  
云フコトニナルカ、ソコヲハツキリシテ載キタイ

○佐々田說明員 四肢強健ト申シマスノハ固ヨリ筋能ク發育

シテ、骨モ相當堅固デナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ骨ガ  
太イカラ宜イ、細クテハ駄目ダト云フヤウナ御話デアリマスガ  
太イト云ツテ必ズシモ良クハナイ、又細イカラト云ツテ必ズシ  
モ惡クハナイト思ヒマス、種類相當ノ骨量ト云フモノハ固ヨリ  
備ヘテ居ナケレバナラヌ、其ノ種類相當ノ骨量ヲ備ヘテ居ナイ  
モノハ、ヤハリ困ルノデアリマス、「ベルシユロン」ナラバ「ベ  
ルシユロン」トシテ相當ノ骨量ガアルベキモノデアリマスガ、  
「ベルシユロン」ノ如キモノデモ、「ベルシユロン」特有ノ骨  
量ヲ備ヘテ居ナケレバ、ヤハリ骨量トシテハ適當デナイ、ソレ  
カラ又輕種ニ就テ申シマシテモ、輕種ニハソレ相當ノ骨量ヲ種  
類トシテ備ヘルベキデアリマス、ソレヨリ細イモノハ困ルト  
思フ、ソコデ骨量ハソレ相當備ヘテ、サウシテ筋能ガ能ク發達  
シテ、關節等モ、丈夫デ、此處ニ掲ゲデアリマス負擔力、鞭  
曳力ニ富ミ、持久ニモ耐ヘ得ルヤウナ四肢チ、強健ナル四肢ト  
云フコトニ解釋シテ居リマス

○小笠原委員 今種類別ニ依ル四肢強健ト云フコトニ付テハ能  
ク分リマシタ、ソレハ其ノ通りデアナケレバナラヌ管デアリマス  
ガ、唯私ハ非常ニ疑念ヲ懷イテ居ルコトハ、今度改正ニナラン  
トスル此ノ空氣ノ下ニ、改正ヲ前提トシテ馬政局ア取扱ツテ居  
ル種牡馬ノ選定等ヲ見マスルト、ヤハリ骨量ト筋能ト太イノチ  
以テ四肢強健ト見ラレルヤウデスガ、此ノ輕種ニ近イ中間種ニ  
アツテハ太イ管ガナイ、隨テ其ノ方ハ今マテノ選定ヨリ省イテ  
居ルヤウナ嫌ヒガアルノデアリマシテ、ドウシテモ骨量ノ太イ  
ト云フコトニミ力ヲ入レラレルヤウニ思フノデアリマス、ソ

レテ疑念ガアル爲ニ私ハ伺ツタノデアリマス、モウ一ツハ是ハ  
軍ノ方カラモ伺ツテ置カナケレバナラヌノデアリマスガ、軍ノ  
要望スル馬モ決シテ「アングロノルマン」ノミデアハナイ、中間  
種モ要望スル、隨テ其ノ中ノ半血種モ要望シテ居ル一ツノ要  
件ダト云フコトモ、馬ノ會合ノ度毎ニ屢々吾々ハ説明ヲ聽イテ  
居ルノデアリマス、サウ致シマスルト、ヤハリ乘馬トスレバ必  
ズ輕種系、或ハ之ニ近イモノガ乘馬型ニナル譯デス、鞭馬ハ  
「ベルシユロン」ニ近イモノニナルデアリマセウ、サウ云フコ  
トニナレバ、骨量關係モ自ラ馬ノ種類ニ依ツテ、其ノ程度ガ分  
ルヤウニナルノデアリマスカラ、唯徒ニ骨量ノ太イモノヲ望マ  
ズシテ、其ノ種類別ニ依ル骨量、四肢強健ト云フコトニ對シマ  
シテハ、陸軍モ同ジ御考ヲ持ツテ居ラレルヤウデアリマスガ、  
昨日栗林サンノ私ノ質問ニ對スル御答辯ノ中ニ、輕種ニ近イモ  
ノハ陸軍アハ要望シナイヤウニナツタト云フコトガアツタ爲ニ  
ソコニ私ハ疑念ヲ懷イテ居ル、ドウ云フ懸念ヲ懷イタカト云  
ハ、先ヅ輕種、輕半血種ハ軍馬トシテ適當ナラズト決定シタト  
云フコトハ分リマス、此ノ半血種トシマシテモ是ハ輕半血種  
ニ紙一枚ノ隔リシカナイト云フコトニナレバ、サウ云フモノハ  
輕種ニ近イノダカラ仕方がナイガ、軍ノ要望スル所ハ是ハ第二  
段第三段ニ要望スルヤウニ聞エルト、中々此ノ輕種産地ノ馬ニ  
對シテ重大ナ關係ガアルト思ヒマスシ、是ハ馬ノ骨量問題ニ對  
シテ併セテ明確ニシナケレバナラヌ點デアリマスカラ、ドウカ  
其ノ點ノ御説明ヲ願ヒタイ

○栗林說明員 四肢強健ト云フ趣旨ニ付キマシテハ、只今馬産

課長ガ御説明ニナツタト同一デアリマシテ、此ノ軍馬ノ資格及  
ビ能力ニ關スル標準ト云フコトヲ發表致シテ居リマスガ、其處  
ニモ明確ニ四肢強健ト云フ字ニ代リマシテ、筋能良ク發育シ肢  
勢正良、關節堅牢蹄質堅韌ト云フヤウナ文字ヲ現ハシテ居ル  
デアリマシテ、肢ノ太イトカ細イトカ云フコトハ問題ニセズ、  
眞ニ肢ガ丈夫ト云フコトハ、今ノヤウナ條件ヲ備ヘルコトヲ以  
テ足ルノデアリマス

○小笠原委員 其ノ點ハ分リマシタ、次ニ輕種ノ方モ種馬トシ  
テ是カラ殘サレナケレバナラヌト云フコトニ、方針ヲ向ケラレ  
タノデアリマシテ、是ハ競馬ノ方ノ能力ノ關係ニ依ツテ、ソレ  
カラ種馬ヲ選定スル、斯ウ云フコトニナリマシタガ、ソレデ輕  
種ノ方モ競馬ヲ目標トシテ優良ナル種牡馬ニ對シテハ、其ノ儘  
存續スルト云フコトニナルノデアリマスカ、是ハ一體七千五百  
頭ノ國有種牡馬ヲ目標トシテ、其ノ中ニ輕種ノ種牡馬ヲ何頭所  
有スルト云フコトヲ目標ニ御進ミニナルカ、之ヲ先ヅ明確ニシ  
テ貰ヒタイ

○佐々田說明員 只今小笠原サンカラ御質問ノアリマシタ輕種  
ノ種牡馬ノ目標デアリマスガ、只今全國ニ居リマスモノハ約五  
百頭バカリ居ルノデアリマス、之ヲ少ク共半減以下ニスル必要  
ガアルダラウト思ヒマス

○小笠原委員 サウスルト今度ハ二百五十頭ヲ維持スル方策ヲ  
樹テラレルト云フコトニ伺ハレルノデアリマス、ソレヲ目標ニ  
輕種ノ方ノ生産ヲスルト云フ事ニナルト、國有ノ牧場ニ於テモ  
相當輕種モ種馬級ノモノハ生産ニナルヤウニ思ハレルノデアリ



マサガ、今度ノ馬政計畫ニ依ツテ國有トシテハ輕種ヲ廢止スルト云フコトニナリマスカ、或ハ又相當長イ期間之ヲ存續スルト云フコトニナリマスカ、或ハ民間ノ各地ノ輕種地ニ對シテ、優秀ナ馬ハ其ノ儘殘スト云フ方針ノヤウニモ見ラレルノデアリマス、又サウ云フコトノ御話ノヤウデアリマス、サウスルト是モヤハリ範圍ヲ定メテ、輕種ヲ何頭ト云フコトヲ決メテ殘サヌト、輕種ノ方テ種牡馬ヲ目標トスル者ハ、種牡馬ヲ外レタナラバ遺り場ニ困ツテ、非常ニ經濟上ニモ打撃ヲ受ケルコトニナリマスカラ、影響ガ大キイト思ヒマス、ソコテ二百五十頭維持セラレルナラバ、年々ドノ位ヲ競馬ニ出シテ購買セシムル積リデアルカ、其ノ購買ヲ目標トシテ何組合ハドレ程ノ輕種ヲ維持シナケレバナラヌト云フ方針ダケハ、ハツキリシナイト、非常ニ犧牲ガ多クナルト考ヘマサガ、政府ノ方テハ此ノ點ニ對シ、ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

○佐々田説明員 只今申シマシタ「サラブレッド」ノ種牡馬ハ將來少クトモ現在ノ半數以下ト申シタデアリマスカ、略々二百頭ニ近イモノト御心得ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ從來國ノ種馬牧場ニ於キマシテ、輕種ノ生産ヲヤツテ居ルノデアリマサガ、今回ノ馬政ノ改變ニ伴ヒマシテ、輕種ハ相當生産ヲ制限スル必要ガアリマスノデ、寧ろ民間ノ方ニ出走ノ機會ヲ與ヘルノガ、適當アハナイカト云フヤウナ考モアリマスノデ、種馬牧場ニ於キマシテ生産致シテ居リマス輕種ニ付テハ、出來ルダケ之ヲ減少スルト云フ方針ニ向ツテ、目下研究中デアゴザイマスカ、尙ホ地方ノ輕種産馬地ニ於ケル生産ニ付テデゴザイマスカ

リマスカラ、輕種産地ニ於ケル優良ナル輕種ノ種馬ヲ生産スル適當ナル牝馬ヲ制限シタトシマシテ、ソレガ年々種付シテ、生レテ來ル子供ガ牝同數デアルト云フコトニ想ヒ及ビマス時ニ是ハヤハリ牝兩方ニ出走ノ機會ヲ與ヘルコトガ、適當ト思フノデアリマス、デアリマスカラ、生レ出マシタ所ノ産駒ノ中ニ將來種馬ヲ生産シ得ル見込ノ牝馬ハ固ヨリ牝同數ニ、競馬ノ方ニ出走セシムルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス

○小笠原委員 一體國ノ種牡馬ニナラントスル目的ノ下ニ、競馬ア能力試驗ヲスル、此ノ種馬候補馬ニ對シテ何故ニ之ヲ競馬ノ方ニ取扱ハセテ購買セシムルコトニシタカ、是ハ政府ア購買シテ、サウシテ競馬ノ方テ能力試驗ヲセシムルト云フ方針ニ出ナカツタノカ、此處ハ私非常ナ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス何故ナラバ、從來競馬ア購買シタ購買資格、是ハヤハリ競馬トシテノ馬體ヲ備ヘタモノヲ購買シテ居ルノデアリマシテ、種馬ト云フ風ナ馬體ヲ備ヘタモノハ、競馬ア今マテ除イテアルノデアリマス、ソレテ今度急激ニ競馬ノ方テ種馬候補トシテ購入スルト云フコトニナルト、果シテ政府ノ希望通り圓滿ニ行クノデセウカ、其處ノ監督關係チ如何ニスルカ、斯ウ云フコトニ付テ一ツ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○佐々田説明員 輕種ハ種牡馬トナルベキモノヲ國ガ買上ゲルサウシテ競馬ニ出走セシメテハドウカト云フ御意見デアリマサガ、御存ジノヤウニ輕種モ「アラブ」系ノモノハ、サウ高クモゴザイマセヌガ「サラブレッド」ニナリマス、一頭テ數萬圓ト云フヤウナモノモ日本ノ現狀ニ於テアルノデアリマス、隨テ

生産ノ數ヲ相當制限シナケレバナラヌト云フコトニナリマスノデ、ドノ程度ニ之ヲ制限スルカト云フコトニ付テモ、目下研究中デアゴザイマスカ、將來ハ輕種ハ種馬ヲ造ルニ必要ナル優良ナルモノニ止メタイト云フヤウナ考カラ致シマシテ、優良ナル種馬ヲ生産スルニ近イモノ、或ハ種馬ヲ生産スルニ適當ナルモノト云フヤウナ優良ナモノハ、何處マデモ存續シテ、是ガ生産ヲ圖ツテ行クコトニ努メタイト思ヒマス、尙ホ競馬トノ關係デアリマサガ、輕種ノ競走馬ニ付キマシテハ、大體「サラブレッド」ニ付キマシテハ現在ノ程度ニ止メテ「アラブ」系統ノ馬ニ付キマシテハ、昨日長官モ仰セノヤウニ、速歩競馬ノ漸減ニ伴ヒマシテ、「アラブ」系ノ抽籤馬ノ數チ、現在ヨリモ相當數增加スルト云フ方針ヲ以テ、茲ニ必要ナル輕種ノ生産ヲ全國ノ輕種産地ニ御願スル、ソレガ相當等ニ付キマシテハ、現在輕種産地ノ各種牝馬ニ就テ實情ヲ調査シテ居リマス、此ノ實情調査ガ纏リマシタ後ニ於テ、慎重ニ考慮シタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス

○小笠原委員 輕種ノ方ノ、生産シタ種牡馬ハ、能力試驗ニ依ツテ種牡馬ノ二百頭カ二百五十頭ノ中ニ加ハルデセウガ、將來種牝馬ヲ生産スベキ牝馬ノ生産ニ對シテハ、ヤハリ從來ノヤウニ多クノ購買ヲ競馬ノ方ニ致サセルヤウナ方針ヲ執ラレル御積リデスカ、牝馬ノ方ハドウ云フ取扱ニナルカ、之ヲ御答辯ヲ願ヒタイ

○佐々田説明員 能ク御存ジデアリマスカヤウニ、馬ノ生産ニ當リマシテハ大體ニ於テ牝同數生産サレルノデアリマス、デア

是等ノ馬チ一旦政府ガ買上ゲテ、サウシテ競走ニ依ツテ能力チ檢定スルト云フコトニナリマスカ、多大ノ經費ヲ要スル、隨ヒマシテ政府ト致シマシテハ、先ヅ競馬ニ出ルマデハ一般ノ馬飼養者ノ方ニ委ネマシテ、競馬ア能力チ檢定シタモノノ中ヨリ優良ナルモノヲ相當ノ價格ヲ以テ政府ガ買上ゲルト云フ方法ガ最も適切チヤナイカト云フノデ、輕種ヲ買ツテ競走ニ出スト云フヤウナコトニ付キマシテハ、考慮ヲシテ居リマセヌ、ソレカラ從來日本競馬會等デ、出走馬ヲ買フト云フヤウナ機會ニ於キマシテモ、兎角競馬ニ速イト云フヤウナモノチ目標ニシテ買ツテ、種馬ヲ得ルヤウナモノチ度外視スルノデアハナイカト云フヤウナ御尋カト存ジマサガ、今回ノ種馬統制法ニ依リマシテ、牝馬ニ付キマシテハ大體明ケニ於キマシテ、總テノ馬ニ付テ檢定ヲ行ヒ、尙ホ牝馬ニ付キマシテハ種牡馬ヲ得ル資質ノモノチ任意檢定致シマシテ、大體ニ於テ二歳テ種牡馬ヲ得ル資質又種牡馬ヲ作り得ルヤウナ種牝馬ニ付テハ、標準ニ依リマシテ資格ヲ檢定シテ候補種牡馬、候補優良種牝馬ニ指定スルノデアリマス、其ノ指定サレタモノガ、競馬法ニ依ル競馬ニ出走スル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ從來ノヤウニ、漫然ト競馬ニ早イダラウカラ、アノ馬ヲ買ツテ競馬ニ出スト云フノデアハナクテ、先ヅ政府ニ於キマシテ種馬ヲ得ル資格ノモノチ指定シテ置ク譯デアリマス、其ノ馬チ馬主ナリ或ハ日本競馬會ナリガ御買ヒニナツテ、競馬ニ出走スル譯デアリマスカラ、從來ヨリハ餘程改善サレマシテ、種馬格ノモノガ相當多數出ルデアラウ又出ナクテハナラヌノデアリマス、併シ我國ノ馬ノ改良ノ行程

ノ現況ニ於キマシテハ、是ハ將來種牡馬トシテ十分テアル、或ハ種牡馬ヲ作ル種牝馬ニナリ得ルト云フモノバカリテ備ヘ得ナイカトモ思フノデアリマス、隨テ大體二歳ノ牝馬ヲ檢定シテ指定スル際ニハ「エー・ビー・シー・デー」ト分ケマシテ「エー」ハ是ハ立派ナ種牡馬タリ或ハ種牡馬ヲ作ルヤウナ種牝馬デアルト云フモノハ「エー」デアアル、「ビー」ト云フモノモ相當アルト思フ、是ハ「エー」ニ近い、暫クハ此ノ程度ノモノヲ以テ種馬ヲ生産シナケレバナラヌト云フヤウナモノモ、混ルカトモ存ジマス、サウ云フヤウナコトニ相成リマスノデ、「エー・ビー」位ハ入りマセウガ、「シー・デー」トカ云フヤウナ、ズツト悪イモノハ是ハ除外サレルコトニナリマスカラ、御心配ノ點ハ十分緩和シ得ルト存ジマス

**○小笠原委員** 只今ノ御答辯テ大體分リマシタガ、ソコテ今度ハ輕種ノ方テ價格ノ問題ノ心配ガアルノデアリマスガ、如何ニモ甲乙丙ト選定サレテ、ソレカラ生産シタ馬モ二歳ニ於テ檢定ナシテ、候補種馬トシテ資格ヲ具ヘラレル、ソレ等ガ今度ハ競馬ニ出テ購買サレルト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレガ競馬協會ノ方デハ、今マテノ關係カラスラナラバ、ヤハリ出走ニ依ツテ勝利ヲ得ルモノガ、高價テ買ハレルト云フコトニナルノデ、種馬ト云フモノノ馬體ハ、強チソレガ競走テ勝利ヲ得ルト云フコトニハ、今マテノ關係カラスルト、ナル譯ガナイ、サウスルト能率關係テ種馬ヲ選定スルト云フ意味ハ、ヤハリ早イ馬ヲ以テ種馬ト選定スルト云フコトニ、政府ノ方テ決定スルノデアリマスカラ、其ノ能率ト云フノハ、ヤハリ今マテノ

ヤウナ出走シタ型ガ、競馬型ハ競馬型テ一絡ニスル、種馬型ハ種馬型トシテ競走セシメテ能率ヲ檢定スル  
〔大石委員長代理退席、委員長著席〕  
斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、是ハ輕種デアルカラ一絡トシテ「アラブ」型ハ「アラブ」型デ、「サラブレッド」ハ「サラブレッド」デ一絡ニヤル、サウ云フコトテ其ノ中ノ最モ勝利ヲ得タモノ、能率ノ良イモノヲ種馬ト選定スルト云フコトニナルノデアリマス、其ノ選定方ハドウ云フコトニナルノカ、ソレヲ一ツ御答辯願ヒタイ

**○佐々田説明員** 固ヨリ競走テヤリマス目的ハ、能力ノ優秀ナルモノガ良クナクテハナラヌノデアリマスカラ、能力モ良ク、又馬格モ良イモノハ是ハ問題デナイノデアリマスガ、非常ニ能力ガ悪イケレドモ馬格ガ非常ニ良イト云フ場合ガアル、一著ノモノガ馬格ノ方モ必ズ良イト云フコトハ決ラナイト思ヒマス、ソコデ色々遺傳的缺陷等ヲ見マシテ、能力モ良シ、馬格モ良イト云フヤウナモノニ重點ヲ置イテ、選定シタイト思ヒマス  
**○小笠原委員** サウスルト、能力ハ良クテモ馬格ガ悪イトハ種馬ニナラヌト云フコトニナリマスガ、併シ一旦競馬協會デ、農林省ノ方テ檢定シタ候補馬ニ對シテ購買シタモノガ能率ガ良イ、ソレガ馬格ガ他ノモノヨリモ劣ツテ居ツテモ能率ノ良イモノハ、ヤハリ種馬トシテ選定スルトコトニナリマスカラ、ソコハ非常ニ大キイ問題デスカラ、ヤハリ一旦檢定シタモノデモ、能率ガ良クテモ馬格ガ劣レルモノハ種馬トシテ取ラヌト云フコトデアリマスカラ、ドウナリマスカ

**○佐々田説明員** 輕種自體ノ生産ニ使フモノハ、ヤハリ馬格モ能力モ相當並行シテ行カネバナラヌト思フ、所ガ中間種ノ改良ニ使ヒマスモノハ、能力ハ多少劣リマシテモ、馬格ノ優秀ナモノニ重點ヲ置ク必要ガアルト思フ、殊ニ中間種ノ方ニ用フル「サラブレッド」ノ如キハ體幅、骨量ニ富ンダシツカリシタモノニ、重點ヲ置カネバナラヌト思フノデアリマス

**○小笠原委員** 其ノ點ハ能ク分リマシタ、次ハ購買價格ニ付テモウ一ツ伺ツテ置カネバナラヌコトハ、昨日モ申上ゲタ通り、競馬購買ニ對シテハ價格ハ増額シナイ、斯ウ云フコトヲ私ガ申上ゲタ、所ガサウチヤナイ、相當増額シタノダト云フ話デアリマスガ、其ノ點ハ今マテノ輸送費等ヲ購買價格ニ繰入レタト云フコトニ對シテハ、其ノ價格ノ増額ダケハ私モ承知シテ居リマスガ、是ハ今マテ長イ間ズツト馬ノ方ニ携ツテ居ル方々ハ御分リダラウト思ヒマスガ、競馬ノ購買價格ハ、上ノ方ノ良ク出來タモノハ相當高イ所マテ上ツテ居リマス、隨テ馬ノ粒揃ヒニナツタ今日ニ於テハ、下ノ方ノ二三百或ハ五六百ト云フ馬ハ澤山出來テ、ズツト上ニ上ツタケレドモ、上ノ方ハ頭ヲ抑ヘラレタ、隨テ從來ヨリハ安ク購買サレルト云フ關係ガアリマスガ今度ハ軍ノ方テ輕種ガ必要ダ、斯ウ云フコトニナツタ關係上折角良イ馬ヲ政府ノ方カラ指定サレテ、指定ノ馬ニ良イ馬ヲ配合シテ、サウシテ生産シテモ、馬一代ト云フモノカラハ種馬候補馬ト云フモノハ、何頭モ生レナイ、二三頭シカ生レナイ、アトハ皆屑デ、其ノ屑ガ多大ノ損害ヲ被ルコトニナル、從來ノヤウナ輕種ノ購買價格デハ、到底輕種ヲヤルモノハナクナルダラ

ウト私ハ考ヘマスガ、其ノ點ガ何カ別ナ方法デ、特別ニ保護ヲ與ヘルトカ、或ハ一面ニハ購買價格ノ増額ヲ圖ルト云フヤウナコトノ方針ヲ立テテ居ラレルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

**○荷見政府委員** 今ノ價格ノ問題ニ付キマシテハ、一般ノ問題ニ付キマシテモ、又競馬會等テ購買致シマスモノニ付キマシテモ、十分攻究致シタイト思ツテ居リマスガ「アラブ」系ニ付キマシテハ、只今御話ノヤウナ點モアルノデアリマスカラ、將來ノ豫備馬制度ノ運用ヲドウスルカト云フ風ナコトモ、篤ト研究致シタイト考ヘテ居リマス

**○小笠原委員** 次ハ輕種ノ配合デアリマスガ、私ガ今輕種ト申上ゲルノハ「サラブレッド」ヲ除イタ外ノ事ヲ申上ゲルノデス「サラブレッド」ヲ直接配合スルノハ多クハ「サラブレッド」ノ輕馬ノ配合ニナルノデアリマスガ、其ノ他ニモ「サラブレッド」ノ一部ヲ加ヘテモ宜イノデスガ、今度ハ「アングロノルマン」ノ生産ノ爲ニ、ドウシテモ輕種ガ必要ダ、斯ウ云フコトノ御話デアリマスガ、ソレハ御尤ナコトデアリマス、併シ今ノ我國ノ馬政計畫トシテ、實施ニ當リマシテ今ノ所有馬ノ狀態デアリマスレバ、輕種ヲ純馬地或ハ小格純馬地テ配合ガ出來マス、一面ニハ輕種地ニイツテ配合ガ出來ルトスレバ、當分ノ間輕種地ニ恐ラクハ輕種ノ配合ガ不可能ダト思ヒマス、國テ今有シテ居ル所ノ五百頭ヲ減ジテ二百頭ニスル、是モ亦相當ニ長イ間掛ルノデアリマセウガ、其ノ二百頭テモ輕種ノ配合ニハ、少シ餘分チヤナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ一體輕種地ニ配合ニナリマスカ、純馬地ニ配合スルノカ、小格純馬地

ニ配合ニナルノデアリマスガ、實際問題トシテ今ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

○佐々田説明員 輕種ノ種馬ハ大體ニ於テ輕種産地ト、ソレカラ乘馬産地ニ配置シタイト思ヒマス、鞍馬トカ、小格鞍馬ニハ固ヨリ輕種ノ血ハ薄クハ要リマスケレドモ、直接ハ必要ナイト存ジマスノデ、輕種産地ト乘馬産地ニ致シタイト思ヒマス

○小笠原委員 輕種産地ト乘馬産地ノ方ニ配置スルト云フコトハ分リマシタ、サウシマスト是ハマダ十年位ノ所デハ、今マデ現在アル馬デモ、ヨリ以上ニ剩ツテ居ルノデアリマス、今度ハ殊ニ競馬協會テ國ノ一定ノ方針ニ從ツテ購買スル程度ノ輕種種牝馬ト云フモノヲ限定サレルノデアリマス、其ノ限定サレタ範圍内ニ於テ馬ノ配合ト云フモノガ、私ハ出來ルト思フノデアリマス、普通其ノ他ノ輕種ト云フモノハ、今度ノ馬政計畫ニ從ツテ中間種ノ配合ニナル、斯ウ思フノデアリマスガ、サウスルト輕種地ト云フモノハ至ツテ不足ナ種牝馬ニナルノデアリマス、ソレガ二百五十頭ヅツ、或ハ二百頭ヅツ維持シテ行ク、是ガ本當ニ圓滿ナ配給ガ出來マスカドウカ、或ハ是ハ本當ヲ言ヘバ輕種地ト云フモノニ大キナ打撃ガアルガ爲ニ幾ラカ軟ラゲル、斯ウ云フ爲ニ輕種ガ是ダケ要ルノダト考ヘラレルガ、實際ノ種馬ノ配給ト云フコトハ、ソレ程ニ大キナ必要ガナイト考ヘルノデアリマス、ソレガ若シ必要デナイトスルナラバ、ソレハ犠牲ニシテモ宜イノデスガ、競馬ノ方ハズツト長ク認メテ出走スルヤウナコトノ方針ガ、立ツテ行カレルノデアリマスガ、是ノ方モ亦必要ナラバ制限サレルト云フナラバ、又第二段ノ輕種ガヒド

畫テ立テテ居ラレル相當數、二百頭ナラ二百頭ノ種牝馬ヲ配置シテ、ソレテ生産シ得ル程度ノ種牝馬ハ、何カノ特別ナ方法ガナケレバ實際問題トシテ、到底出來ヌト思フノデアリマス、是ハ何カ具體案ヲ是カラデモ宜イデスカラ、シツカリ本當ニ心配シテ考ヘラレル御考デアリマスカ

○伊藤政府委員 只今ノ御質問ハ、種牝馬云フモノハ成程少ナイカモ知レマセヌ、ソレヲ補給致シマス爲ニハ、相當多數ノ後方種牝馬、又ソレヲ生産致シマス所ノ後方種牝馬ガ要ルノデアリマシテ、是ハ競馬ニ出走スルノデアリマスカラ、御心配ノヤウナコトハ大體ナイカト考ヘテ居リマス

○小笠原委員 其處ハ尙ホ安心ノ行ク程度ニ一ツ明確ニシテ戴キタイト思フノデアリマス、サウスルト二百頭ノ種牝馬ヲ配置スル、是ハ實際問題トシテ二百頭ハ到底配置ガ出來ナイト思ヒマスガ、政府ノ御方針アレバ、ソレヲ眞ニ吾々ガ御信賴申上ゲルコトニシテ、二百頭デアルガ、然ラバ二百頭ノ種牝馬ヲ獲得スル爲ニハ、ドレ程ノ後方種牝馬ト云フモノヲアナタ方ハ檢定ノ上、能率試験ヲナサルト云フ御考デアルカ、其ノ方針ガ確立シナイト云フト安心ガ出來ナイ、隨テソレハ又同様ニ種牝馬ノ方モ、購買スルト云フコトハ、今馬政課長サンノ御答ニナツタヤウナコトニナルノデアリマスガ、是ハドウ云フ率ニナリマスカ、尙ホ續ケテ伺ヒマスガ、斯ウ云フコトニナルデセウ、今マデハ政府ノ方テ檢定ナサルノデス、政府ガ十頭探ルモノナラバ三十頭モ檢定シマシテ、其ノ中テ十頭探ル、ソレハ何カ政府ノ方ノ檢定ニ對シテ、甚ダ權威ガナイヤウナ氣持ガスル、ヤ

イ目ニ遣フコトニナルト思フノデアリマスガ、是ノ見透シハドウナリマスカ

○佐々田説明員 輕種産地ニ對スル今回ノ輕種ノ種牝馬ノ配給之ニ付キマシテハ將來減少スルト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセヌ、今度割當テマシタナラバ、ソレハ永續シテ輕種ハドコマデモ配給サスト云フ考ヲ持ツテ居リマス

○小笠原委員 御方針ハ其ノ通りデアリマセウ、其ノ御方針ハ承知シテ居リマスガ、併シ實際問題トシテ、ソレガ行ハレマスカ、軍テ必要デナイト云フモノヲ拵ヘテモ、犠牲ノ馬ガ澤山出ル、特別ナ保護ガナケレバ輕種ノ方ガ其ノ方針ニ副ウテ行クト云フコトハ、農村ノ經濟ガ許サナイ状態ニナルノデアリマシテ、ソレハ特別ナ保護ノ方ハ、今長官カラ適當ニ考ヘヨウト云フ御話ガアツタ、又適當ニ考ヘナケレバナラヌデセウガ、是ハ何カ案ガ出來テ居ラナケレバ、輕種ノ方ハ出來テモ、ソレハ實際問題トシテ行ハレナイ、輕種ガ、「アングロアラブ」ガ出來レバ、五千圓カ六千圓テ買フト云フ譯ニハイカヌデセウ、ヤハリ二萬圓三萬圓程度ニナルノデアリマス、併シソレハ何十年間カニ一頭ニシカ當ラヌノデアリマス、サウ云フ經濟ニ大キナ影響ガアルモノヲヤツテ行クト云フコトハ——今マデト違ツテ、此ノ事變關係テ農家ノ方ノ負擔モ相當大キクナツテ、ドウニカ經濟的ニ引ツテ行カウト云フ考モ十分アルノデアリマスカラ、隨テヤハリドツチニ轉ガツテモ損ガナイ小格鞍馬、或ハ軍馬ニ直チニ購買サレルヤウナ馬ヲ、ヤハリ生産スルヤウナコトニ傾イテ居ルノデアリマス、其ノ輕種ト云フモノハ、今マデ計

ハリ十一二頭ヲ檢定シタ上テ十頭探ル、サウスルト役人トシテ權威ガアルヤウニ思フ、今マデノ方針テスト總テノ檢定ヲシテ探ラレテ行ツタ、今度ノ檢定ハ後方種牝馬トシテ檢定ナサレヌウ云フコトニナルカラ、少クトモ二百頭探ルナラバ二百二十頭トカ二百五十頭ノ檢定ナスル、ソレカラ二百頭探ルト云フナラバ、今迄ノ方針通り、斯ウナルト云フト非常ニ困ル、後方テ多ク取ルト云フ意味ガ、ヤハリ二歳ナラ二歳ノ種牝馬ト決定スル以上ハ、馬ト云フモノニ相當ニ大キナ變更ガアルカラ、ソレヲ見越シテ、吾々ノ方テ今マデ、ヤツタ方針ト變ツテ、サウシテ兎ニ角役人ノ權威トカ何トカ云フコトト關係ナク、二歳ノ馬ハ未熟デアリマスカラ、未熟ノ馬ヲ購買スルノデアルカラ相當ノアル所ノ豫備行爲ノ購買チスルト云フコトヲ見越ス、ソレハ大體ニ於テ二百頭探ルモノナラバ千頭購買スルトカ、或ハ五百頭購買スルト云フ、一定ノ方針ガ定ツテ居ラナケレバナラヌ、方針ガ定ツテ居ラナケレバ、其ノ點ハ是カラ相當ノ幅ノアル方針ヲ、御定メニナル御考デアリマスガ、ソコチ一ツ伺ヒタ

○伊藤政府委員 輕種ノ方ハ先程ノ馬政課長カラ御説明ガアリマシタヤウニ、競馬ニ出走シマスルノハ「サラブレッド」ノ方ハ、大體從來通りノ方針デアリマス、「サラブレッド」以外ノ「アラブ」ノ方ハ今申上ゲマシタヤウニ、中間種ノ競走ヲ廢止シタモノノアトハ「アラブ」テ埋メルト云フ方針ニシマシテ、大體ソレダケノ數ガ出走致シマスレバ、種馬トナルベキモノガ探レル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○小笠原委員 其ノ割合ハ分リマセヌカ  
 ○伊藤政府委員 「アラブ」ノ方ハ大體六割「サラブレッド」ノ方ハ四割デゴザイマス  
 ○小笠原委員 其ノ四割、六割ト云フノハ増加率デスカ  
 ○伊藤政府委員 競馬出走馬ノ中「サラブレッド」ハ四割、「アラブ」ハ六割ト云フコトデアリマス  
 ○小笠原委員 サウシマスルト今マテヨリ、ドレ程ノ頭數ガ増加ニナルト云フ御見込デゴザイマスカ  
 ○伊藤政府委員 「サラブレッド」ハ今申上ゲマシタヤウニ從來ノ程度デゴザイマス、「アラブ」ノ方ハ速歩競走ヲ廢シタ爲ニ殖エル譯デアリマス  
 ○小笠原委員 ソレデハ頭數割合ヲ後程御調ノ上、御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、今度ノ第二馬政計畫ニ依ツテ生産力擴充ヲ圖ルト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ御方針ニ依ツテ輕種ト云フモノト輕半血ト云フモノハ不用ニナルノデアリマス、之ニ對シテハ如何ニモ二十年マデハ猶豫期間ヲ與ヘテ購買スルノデアルカラ、大丈夫デハナイカト云フコトモ屢々御話ニナラレタノデアリマスガ、併シナガラ生産地ノ方デハ、一日モ早ク國策ニ副ヒタイト云フコトヲ急グノデアリマス、何故ソレヲ急ガカト言ヘバ、今回國策ノ配合ヲシテ居ルト、生産馬ガ假ニ軍馬ニ購買サレヌテモ、或ハ其ノ他ノ官廳ニ購買漏レニナツテモ、一般ガ將來ノ種牡馬購買或ハ將來ノ軍馬ノ牡馬購買ト云フノデ、育成地ガ望ンテ購買シマスカラ、値段ニ大キナ打擊ヲ受ケナイ、ソレデアルカラ急イテ之ヲ配合シヨウトスルノ

デアリマスケレドモ、實際ハ國テソレダケ配合セシムルダケノ種牡馬ヲ有シテ居ラヌ、勿論縣テモソレヲ有シナイ、一體是ハ國家ニナイノデアアル、ダカラ當分ハヤハリ國策ニ副ハザル馬ノ配合モシナケレバナラヌト云フコトニナル、隨テ生産力擴充ト云フコトモ、中々不徹底ニ終ルノデアリマス、ノミナラズ生産地ノ輕種地ガ種牡馬ノ配合ガナイ爲ニ非常ナ損害ヲ被ルコトニナルノデアリマスカラ、之ガ爲ニハヤハリ種牡馬ト云フモノヲ輕種地ニ對シテハ特ニ配合ヲ急グト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ今マデハ兎ニ角、明年度十五年カラハヤハリ現在ノ三歳馬ハ種牡馬トナルノデアリマスカラ、此ノ輕種ノ方ニ配合スルニハ、特ニ優秀ナル種牡馬デナケレバ、今マデノ生産技術カラシテモ、或ハ輕種ニ配合シテ乘馬トシテ立派ナモノガ出來ルト云フノニハ、餘リニ輕種ト血液ノ隔ツタ「ヘルシユロン」ノ血液ノ入ツタモノヲ配合シテ直チニ四肢強健ナルモノガ生産出來ルカト云ヘバ、今マデノ經驗上餘リ良イ結果ヲ見ナイ、隨テヤハリ幾ラカ輕種ノ血液ノ入ツタ「アングロノルマン」ノ、相當重量アルモノヲ配合シナケレバ、中々良イ乘馬ガ出來ナイサウ云フモノニ付テアナタ方ノ方ニ細心ノ御注意ガアルノデアリマセウカ、之ニ對シテハヤハリ輕種地ノ産馬組合其ノ他縣等ニ對シテハ、今度ハ非常ナ強イ希望ヲスルコトト思フノデアリマス、是ハ全ク國策ニ協力スルノ信念カラ申出テ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテヤハリ優先權ヲ持タシテ、適當ニ配合ヲサセルコトノ御準備ガ、アナタ方ノ方ニアルカドウカト云フコトヲ伺ツテ置キタイ

○佐々田説明員 只今仰セニナリマシタコトハ、御尤ナ御意見デアリマス、政府ニ於キマシテモ同様ノ考ヲ以テ、種馬ノ配置ニ付テハ進メタイト思ツテ居リマス、誰一言申上ゲタイノハ、輕種産地ニ於キマシテモ軍用乘馬ヲ生産スルニ適當ナル種牡馬ニハ、今申上ゲマシタモノヲ掛ケルノデアリマスケレドモ、中以下ノ軍用乘馬ヲ生産スルニ不適當ナモノニ付キマシテハ、ヤハリ小格種馬格ノ種馬ヲ以テ、農家ノ爲ニナルヤウナ方法ヲ執ルコトニナラウト思ヒマス  
 ○小笠原委員 今回ノ新馬政方針ニ依ツテ、今迄ノ輕種産地ハ多クデアリマスカ、全部デアリマスカ、今度ハ乘馬ト小格種馬ト云フヤウニ、役種別ノ指定ヲサレタノデアリマスガ、サウシマスルト今マテヨリモ乘馬型ハ、ソレハ簡單ニ配合ニ依ツテ出來ルノデアリマスガ、小格種馬ト云フノハ更ニ今度新シイ仕組テ以テ、是カラ生産ニ從事シナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、又中間種關係ニ輕種ト云フモノヲ改廢スル上ニ於テモ、相當是ハ經濟的ニモ亦其ノ他ノ方面ニモ、努力ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス、先刻馬政局長官ノ御話ニ依ルト、是等ノ改廢スルモノニ對シテハ、特ニ優先權ヲ以テ助成スルト云フコトノ御話ガアツタノデアリマスガ、ソレハヤハリ五千頭アル組合ニ對シテ五百頭ナリ、三百頭ナリツツ改廢シテ行カナケレバナラヌノデアリマスガ、ソレ等ノ購入馬ニ對シテドレ程ノ助成ヲナサル御考デセウカ、今マデノ團體購入トカ、アノ規定ヲ利用スルコトニナルト、甚ダ輕少ナモノデアリマシテ買フ馬ニ助成スルト云フコトニ考ヘレバソレモ宜イノデスカ

賣ル方ノ馬ガ二東三文ニ賣レル、此ノ方ノ損失補償ト云フ考カラ行キマスナラバ、是ハ重大ナル關係ヲ有スルノデアリマスガ此ノ賣ル方ノ損失ヲ如何ニスルカト云フコトノ、其處ニ條件ガ伴フ、其ノ損失ヲ補償シテ呉レナケレバ、今マデノ國策ニ副フコトハ出來ナイ、而モ陸軍デモ仰セラレル通り、是ハ徐々ニ行クノデアルカラ、輕種ノ方ニハ御迷惑ハ掛ケナイト云フ御答辯ト合致シナイヤウニ思フ、ダカラ賣捌ケ方ニモ損失ヲ補償スル程度ニ於テ、何トカ經濟的ノ調和ヲ圖ル御方針デアアルカドウカト云フコトヲ、伺ツテ置キタイノデアリマス  
 ○荷見政府委員 之ヲ買フ方ノ問題ニ付キマシテハ、一頭ニ平均六十圓ノ補助金ガ豫算トシテ上ゲテアルノデアリマス、賣ル方ノモノニ付キマシテハ豫算ニ計上シテゴザイマセヌ  
 ○小笠原委員 豫算ヲ計上シテ居ラナケレバナラヌト云フコトニ、結局ナルノデスカ、サウスルトヤハリ國策ニ殉ズル所以ト云フモノハ、ソコ一ツチ見マシテモ、輕種地ト云フモノハ、經濟的ニ非常ナ打擊ヲ被ツテ居ルト云フコトハ、御認メニナリマスカ  
 ○伊藤政府委員 大體ニ於テ賣リマス人ガ、新ニソレニ代ハルベキモノヲ購入スルノデハナイカト思フノデアリマス、デアリマスカラ、先程長官カラ申上ゲマシタヤウニ、救済サレルコトニナルト思ヒマス、併シ賣リ放シテモウ牝馬ハ使用シナイト云フ人ニハ、適當ニ施設ハ現在考ヘテ居ラヌノデアリマス  
 ○小笠原委員 サウ云フ意味テ私ハ伺ツテ居ルノデアリマセヌ、一頭ト一頭ト取換ヘタノダカラ損害ハナイデハナイカ、斯

ウ云フコトヲ言ヘバサウナルガ、サウチヤナイノデス、現在ノ組合ノ如キモノデモ、實際アナタ方ガ許可シテ買ハセタ馬ハ何アルカト云フト、輕牛血種テアル、ソレヲ二千圓テ買ツタガ配合スルコトガ出来ナクナツテ、今賣ラナケレバナラヌト云フコトニナルト、四百五十圓テアル、其ノ爲ニ他ノ種牡馬ハアナタ方カラ半分助成テ裁イテ居ルケレドモ、マダ四歳カ五歳ノ相當長イ間使ヘル良イ馬ヲ賣ツテシマツタラ、賣ル方ニ損ガアルコトハ決ツテ居ル、其ノ損失ヲ補償シナイデ、馬一頭ト一頭ト取換ヘタノダカラ損失ガナイチヤナイカト云フコトデハ、少シ無理ガ行ク、ヤハリ是ハアナタ方ガ豫算ニ計上シナカッタト云フコトハ一ツノ缺陷アル、私ハ其ノ缺陷ヲ云々スルノデハナイ、其ノ一方ニ輕種ト云フモノハ相當打撃ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ認メルカ、ドウカト云フコトアル、ソレヲ認メナイテ詭辯ヲ弄スルコトハイケマセヌ、ソレヲ認メルナラバ認メルト、綺麗サツパリト御話ニナツタ方ガ宜イト思フ

○佐々田説明員 今小笠原サンノ仰セニナリマスノハ、總テノ輕種ノ牝馬ヲ賣ツテシマフト云フ觀點カラノ御意見見ゴザイマスガ、私ノ方デハ成ベクサウ云フヤウナ牝馬ヲ持ツテ居ル人ニモ、出来ルダケ其ノ中間種ノ種馬ヲ掛ケテヤツテ、サウシテ陸軍テ軍馬購入ニ適スルヤウナモノヲ作ルヤウニ、配合シテヤルト云フ方針ヲ探ツテ居リマスノデ、總テノ牝馬ヲ賣ツテシマフト云フヤウナ觀點カラ御考ヘニナラナイヤウニ、一ツ御願シタイト思フノデアリマス

○小笠原委員 ドウモアナタ方ノ答辯ト私ノ御尋スルコトトハ

違フ、私ハ全部賣ルト云フノデアアリマセヌ、全部賣ルト云ツテモ、國ニドレ程馬ガアリマスカ、無イカラ取換ヘガ出来ナイ、隨テ今説明員サンノ言ハレル通り、今ノ輕種ニ中間種ヲ配合シテ乘馬ヲ作ル方法ヲ執ラナケレバナラヌコトハ勿論アル、併シナガラソレヲヤルニハ經濟上ノコトヲ考ヘナケレバナラヌ、一般馬産ト云フモノハ何ヨリ農家ノ經濟カラ割出サナケレバ駄目アル、而シテ今マテノ馬ニ對シテ全部中間種バカリノ種ヲ取ツテ、乘馬ヲ作ツテ居ツテ、ソレヲ經濟ガ持テマスカ、ソレデアナタノ方デ小格種馬ヲ指定シタ、無イ馬ヲ指定シテ、ソレヲ飼ハナケレバナラヌト云フ事ハドウ云フ事アルカ、而モ今マテアル輕種ノ中テ或ル部分ヲ、少クトモ半分位ハ中間種ト取換ヘルコトニ依ツテ、ソレ等ヲ生産シタモノハ一般向キニナルソレカラ小格種馬モ一般向キニナルデアリマシテ、残りノ輕種ニ配合シタ所ノ中間種ハ、之ヲ生産シテモソレトゴツチヤニナリマシテ、取引關係モ全國テ軍ノ必要ナル馬ガ半分以上具ハルカラ、ヤハリ購買上ソコニ相當ナル數ガ集合スル、ソレニ付テ經濟調和ヲ圖ルノダ、賣ル方ノ關係モサウ行カナケレバナラヌ、ソレガ爲ニハドウシテモ政府カラ幾分ハ出シテ、國ノ方針ニ副フ所ノ一般向ノ馬ヲ幾分入レナイデ、ドウシテ輕種地ガ立ツテ行キマスカ、ソコニ大キナ打撃ガアル、ソレヲチヤント認メテ、之ニ對シテ何トカ調和ヲ圖ル方針是カラ立テルト云フコトナラバ、今豫算ニ計上シナイデモ文句チ言ハヌケレドモソレテ損ガナイト云フコトデハ私ノ方テ黙ツテ聽イテ居ル課ニ行カヌ、ソコナハツキリシテ載キタイ

○荷見政府委員 小笠原サンノ御質問ハ、今度ノ馬政計畫ノ變更ニ伴ツテ、輕種産地ガ相當ノ困難ヲ感ズルノデアルガ、之ニ對シテハドウカ、此ノ事ニ付マシテハ先般來カラ色々緩和スル方策ヲ申上ゲテ居ル譯デアリマスガ、其ノ緩和スル方策ヲ致シマシテモ、ソレヲ全部ガ何等ノ影響ナシニ行クトハ申上ゲラレヌト思ヒマス、併シ只今各般ノ經濟政策等ノ實行ニ付キマシテ馬バカリデハゴザイマセズ、ドノ方面デモ幾分制度ノ變革或ハ統制ノ結果等ニ依リマシテ、不便ヲ感ジテ居ルモノハ各方面ニアリマスガ、ソレハ國ガ全部之ヲ補償スルカ云フヤウナコトハ出来ナイノデアリマス、吾々ト致シマシテハ馬政ノ關係ニ付テハ出来ル限り生産地ノ人ノ困難ヲ緩和スル方策ヲ講ジタイト思ツテ居ルノデアリマスガ、ソレデモ尙ホ足ラナイ點ハ是ハ已ムテ得ナイコトト考ヘマス

○小笠原委員 相當ニ輕種ノ方ノ改變ニ付テ、經濟的ノ調和ヲ圖ツテ居ルト云フコトハ屢々伺フノデアリマス、ソコハ不徹底デアリマスガ、是デ致シ方ガナイトカ或ハ是以上ハ致シ方ガナイトカ、或ハ生産地ノ方面ト云フコトヲ御話シニナリマスケレドモ、私ハ生産地ニ對シテノコトヲ言ウテ居ルノデアハナイ、國家ノ國策トシテ之ヲ實行スル上ニ於テ、政府ガ要望スル又ハ國防上必要ナ馬ヲ生産スルニ付テハ、今マテ輕種産地ノヤウニ長イ間生産技術ノ發達シタ所ハ、今政府ノ方針トセラレル生産力擴充ニ對シテ、相當ニ力ヲ入レテ居ルノデアリマス、サウスルト馬ガナケレバ生産力擴充ニナラヌカラ、馬ガアル所ニ對シテ經濟的ノ調和ヲ圖ツテ行カナケレバ、ヤハリアナタ方政府ノ方

テ目的ヲ達シ得ラレナイ、ソレヲ心配スルカラ私ガ申上ゲル、ソレヲ心配ナイヤウニスルコトダケニ付テハ、力ガ及バナイトハ言ハレマス、政府ノ必要條件ヲ力ガ及バナイト云フコトニナレバ、馬ノコトハドウデモ宜イト云フコトニナル、サウ云フモノデアハナイ、馬ハ生産力ヲ擴充スルノニ好イ條件ガ備ツタダケノモノニスル爲ニ、政府ノ方デハ負擔ヲシナケレバナラヌソコテ條件ガ缺ケテ居ルト思フカラ、伺ツテ居ルノデアリマス

○荷見政府委員 勿論小笠原サンノ仰シタル點ト同ジナデアリマス、私ハ只今小笠原サンノ御質問ガ、輕種産地テ賣ル者ノ損失ヲドウスルカ、値下リノ爲ニ賣ツテ損ニナルガドウカ、是ガ重大ニ響イタノデ、其ノ點ニ付テ申上ゲタデアリマス、其ノ他ニ付テハ出来ル限り今回ノ馬政計畫ニ副フヤウニ、經濟的ノ施設ニ付テモ、實際上ノ行政ノ運用ニ付テモ致シタイ、是ハ交々馬政當局カラ申上ゲテ居ルヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○小笠原委員 ドウモ甚ダ諄イヤウデスケレドモ、農家ノ經濟關係ト云フノハ實際サウアル、今マテ政府ノ方デ責任ヲ以テ良イ種馬ヲ指定シテ、ソレヲヤラセタ以上ハ、是カラ任ヲ取ラウトスルヤウナ四歳馬ヲ千圓テ買ツテ、三百圓テ賣ラシメテ居ツテ、サウシテ今度改メテ買フ馬ニ六十圓位補助シテモ、相當ニ是ハ馬ノ價格ハ高價ニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りアルカラ、何ンニモナラナイ、徒ニ千圓ノ馬ニ七百圓モ損チサシテ今度買フ馬ニ三百圓ノ支出チサセテ、其ノ方ニハ吾々ハ何トモ仕様ガナイト云フコトデハ、生産者ト云フモノハ圓滿ニ政府ノ方針通り馬ヲ生産サセルコトハ出来ナイ、ソレガ原因ニナツ

テ今度牛ニ轉向シタリナドスルコトが出来テ來ルト考ヘル、ソレニ對シテモ基礎的ニアナタ方ハ生産者ノ生産擴充ト云フ方針ニ出タ以上ハ、ソコニ基礎ヲ置イタ經濟關係ヲ、御考ヘニナラナクテハナラヌト思フ、ソレテ私ハ伺ツタノデアリマス、ソレハ只今豫算ニナイカラト言ハレルケレドモ、ソレナ窮屈ナ答辯ヲシナクテモ、是カラテモアナタ方ハソコニ重點ヲ置イテ、研究スルト云フコトニナラナクテハイカト私ハ思ヒマスガドウデスカ

○伊藤政府委員 御尋テ受ケテモ私ノ方デモ實ハ分ラヌテ、又御趣旨ニ副ハヌカモ知レナイト思ヒマスガ、輕種ノ種牝馬ニ適當ナ種牝馬ヲ配合致シマシテ、小格種馬ニモ活カシ得ルト思ヒマス、又値段ハ中間種等ニ比較シテ上リ方ニ付テ少イコトハアルト思ヒマスケレドモ、特ニ從來ヨリモ非常ニ値下リテシタト云フヤウナコトハ、大體ニ於テナイノデアリナイカトモ思ツテ居リマスノデ、成ルベク經濟上ノ緩和ヲ努メルヤウニ致シマスレバ、御趣旨ニ副フノデアリナイカト、實ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○小笠原委員 ドウモ今ノ御答辯デハ納得出來マセヌ、是ガ出來ナケレバ生産力擴充ト云フヤウナコトハ、大變ダト思ヒマス一體輕種モ値下リニナラナイト言ハレルガ、國デ此ノ馬ハ要ラナイト云ツテ、全國ニ鳴物入りヲ宣傳シテシマツタ結果、アナタ方ハ統計ヲ持ツテ居ルデセウガ、前年ハ輕種ノ方ハ三割モ純馬ヨリ高カツタモノガ、今度ハ逆ニ三割安クナツタ例ヲ見テモ分ル、青森ノ輕種市場ヲ見テモ非常ニ安クナツタ、ソレヲ安

ウデス、御分リニナリマセヌカ、馬産課長ハチャント分ツテ居ル管デスカラ、能ク御相談ナサイ

○荷見政府委員 私ヨリ同ジコトヲ何遍申上ゲテモ御満足ニナラヌダラウト思ヒマスガ、政策ノ變更ニ依ルモノニ付キマシテハ、方針ト致シマシテハ出來ル限リ缺陷ナカラシメルヤウニ致シタイト云フノデ、其ノ方策ハ申上ゲマシタガ、ソレデハ不十分ナリト小笠原サンハ仰シヤルノデアリマス、ソレデ其ノ政策ノ變更ニ依ル各般ノ經濟關係方面ノ困難ト云フコトニ付キマシテハ、私共ハ只今モ御話ノアツタヤウニ、方法ノ付クモノニ付テハ、補償スルナリ整理スルナリシテ參リタイト云フ考ハ、持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ馬政計畫ノ圓滿ナル遂行ニ便スル所以ダト云フコトハ、只今地方競馬ニ付テ例ヲ御引キニナツタ通りダト、私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今ノ種牝馬ノ入替ト云フヤウナコトニ付テハ、今マデ申上ゲタ通り平均額六十圓位ノ補助金ガアル、併シハ平均額ト云フノデアリマスカラ若干運用ノ方法ニ依ツテハ優先的ニ取扱フコトモ出來ルノデアリナイカト思ツテ居ルノデアリマス、其ノ他ノ問題ニ付キマシテハ、御話ノ點ハ只今申上ゲタヤウナ次第デアリマスケレドモ、更ニ十分研究ヲ致スト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○小笠原委員 ソレデハ兎ニ角今マデアナタ方ノ決定シタ新馬政計畫ニ基ク方針ハ絕對的ノモノデナク、此ノ方針ヲ進メル上ニ於テ具體的ナ問題ニ入ツテ缺陷ガアル場合ニハ、是カラテモヤハリ其ノ缺陷ニ對シテハ埋合セテ付ケルヤウニ、豫算ノ運用其ノ他ニ付、來年度ニモ更ニ豫算ヲ取ツテ埋合セテ付ケルト云

クナツタトハ思ハヌト云フノハチカシイ、ドウモサウ云フコトヲ仰シヤツテハ困ル、統計ノ示ス所ヲ見テモ安クナツテ居ルノダカラ、安クナツテ御氣ノ毒ダト云フコト位ハ、言ハレテモ宜イト思ヒマス、其ノ點ハ無理デハナイカ、サウ云フコトデアアルカラ、輕種地ハ馬ガ駄目ダト云フコトニナツテ、廢メヨウト云フコトヲ考ヘル様ニナル、アナタノ方デハ種牝馬ト仰シヤルガソレハ澤山アルカラダガ、二三頭ノ種牝馬ヲ御考ヘニナツテ戴キタイ、種牝馬モ輕種ニ對シテアナタ方ハ助成ヲシテ、半分負擔サセテ二千圓ノ馬ヲ買ハセタ、ソレガ今要ラナイト云フ事ニナル、配合ガ出來ナイ、ソレヲ無理ニ配合シテ輕半血種ヲ作ラウトシテモ、ソレハ本當ニ稀ダ、希望者ガナイ、ソレダカラ其ノ廢レ馬チ四百五十圓ニ賣ル、一昨年折角買ツタ馬チ今賣却シナケレバナラヌ、ソコニ千五百五十圓ノ損害ガアル、斯ウナルノデアリマス、其ノ損失ハ新タニ馬チ一頭買ツテヤツタラ宜イデハナイカト云フ理窟ハ立タヌ、ソレハ國家ガ必要ガアツテ買ツタ馬ダ、先ノ損害ノ爲ニ經濟的ニ此ノ組合ニ穴ガ明イテ居ルサウ云フ負擔ヲシナイト云フコトハ非常ニ困ル、競馬ノ方ハ一箇所競馬場ヲ廢シタ、是ハ鍛鍊馬中央會ニ依ツテ整理シテ、此ノ負擔ヲシヨウト云フ法律ヲ定メテアル、輕種ノ方ニ對シテ穴ノ明イタノニ、ソレヲ損ガナイデハナイカト言ハレル、ソレハ困ル、如何ニモ或ル部分ハ傷ガ付イタカラ、是カラソレニ對シテ負擔ノ方法ヲ考ヘヨウト言フナラ納得ガ出來ルガ、損ガナイデハナイカト云フノデアリ、私ハ納得ガ出來マセヌ、私ガ納得出來ナイバカリデナク、國家ノ馬政計畫ニ缺陷ガアル、ソレハド

フコトニ努力スル、斯様ニ承ツテ宜シイノデアリマスカ

○荷見政府委員 御話ノ通りデアリマス

○小笠原委員 ソレデハ次ニ移リマスガ、今度ハ飼養管理ノ改善ニ付テ伺ヒタイ、馬ノ健康増進ヲスルト云フコトハ、從來ノ馬政計畫デモヤカマシク言ハレテ居リマシタガ、今度ノ馬政計畫ニ於テ如何ナル改善ヲスベク茲ニ特ニ馬ノ健康増進ヲ圖ルト云フヤウナ意味ヲ含メタノデアリマスカ、是ハ從來ト違ヒマスカ

○荷見政府委員 ソレハ今回馬政計畫ヲ改變致シマシタ理由ガ事變ノ經驗ニ依ツテ馬ノ資質ニ十分ナラザルモノアリト云フコトヲ認メタカラデアリマスノデ、此ノ馬政計畫ノ第二ニ馬ノ健康ヲ増進スル施設ヲ講ズルト云フコトヲ書キマシタ、此ノ實施要領ハ、詰リ牧野ノ擴大整備ヲ圖ルコト、飼料ノ増産、並ニ配給ノ圓滑ヲ圖ルコト、馬寄生蟲ノ驅除、骨軟症豫防、並ニ護蹄ニ關スル施設ヲ講ズルコトト云フヤウナ方法ヲ執ラウト云フノデアリマス、之ニ付キマシテハ出來得ル限リノ經費モ、計上致シテ居ルデアリマス

○小笠原委員 サウ致シマスルト從來ノ第一第二馬政計畫ノ中ニ幾ラカ豫算ヲ増加致シタノハ、其ノ方針ニ副フベク擴大シタト云フ程度ニ伺ツテ宜シイノデアリマスカ

○荷見政府委員 其ノ通りデアリマス

○小笠原委員 次ニ蕃殖技術ヲ最モ有效ニ活用セシムルト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマスガ、是ハ具體的ニ言ヘバ、蕃殖技術ヲ有效ニ活用ト云フコトハ、ドウ云フコトニナルノデアゴザイ

マセウカ、是ハ増産技術員ト云フモノヲ各府縣ニ配置テシテ、ヤツテ居ルノデアリマスガ、此ノ増産技術員ノ配置ニ依ツテ、ドレ程ノ效果ヲ與ヘテ居ルカ、又ハドレ程是カラ増員モシ活躍セシメルト云フ意味ノコトヲ記載シタノデアリカ、又更ニ大切ナコトハ、是ハ何デアリマセウカ、無覺注射ト申シマセウカ是ノ有效、無効ト云フコトニ對シテハ、今問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ無覺注射ニ依ツテ生産サレタ馬ハ、競馬デモ軍部ノ方デモ實際ニ之ヲ普通種馬ノ配合ニ依ツテ生産シタモノト同様ニ取扱フコトニナツテ居リマスカドウカ、ソレカラ是ノ有效、無効、ソレカラ若シ有效デアツタナラバ、其ノ生産歩合ト云フヤウナモノノ調査ガアリマスカ、是ハ又如何ニ今後活用セシムル御考デアルカ、ソレチ一ツ明確ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○伊藤政府委員 只今御質問ガアリマシタノハ、現在ヤツテ居リマス馬ノ生産率増進施設ノコトニ關スル御質問デアリナイカト思フノデアリマスガ、明年度ニ於キマシテハ更ニ此ノ施設ヲ擴大スル計畫ニナツテ居ルノデアリマス、從來ヤツテ居リマシタ成績カラ見マシテモ、非常ニ良イノデアリマシテ、從來五五%或ハ六〇%位ノモノガ七〇%ニナツタ例モアルノデアリマス、ソレテ現在ノ取扱ハ、普通ノ自然交配ニ依リマシタノト同ジニ取扱ツテ居ルノデアリマシテ、別ニ差別的ナ待遇ハ致シテ居ラナイノデアリマス、人工蕃殖ニ依リマシタモノデモ、共進會等ニ一等ニナツテ居ル馬モアルヤウナ譯デアリマシテ、其ノ間大シタ選色——ト云フヨリモ何等差異ガナイヤウニ考ヘテ居リマ

是ハ恐ラクハアナタ方御承知テナイカモ知レマセヌガ、折角種牡馬ノ配合ヲ願ツテモ、是ハ役人ノ方ノ缺陷ニ依ツテ不可能ニ終ルコトガ、今マテ多カツタノデアリマス、隨テソレガ爲ニ年々種付ヲスルノモ隔年種付ヲスルヤウニナツテ、此ノ生産力ノ擴充ノ意味ニ相反スル行爲ガ澤山アツタ、ソレハドウ云フノカト云ヘバ、是ハ東北北海道ニ一番多イノデアリマス、種付ノ時期ハ御承知ノ通り四月カラ始マリマシテ、六月ニ終ルノデアリマス、隨テ検査ノ方ハ三月ノ半バト四月ノ初ニ二回行フノデアリマス、丁度東北北海道ノ如キハ、三月ノ半バ頃ハ雪ガ一尺モ二尺モアル、或ハ四月ノ初ハ雪解ケテ、連モ一里ノ間モ歩行困難ダト云フヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ三月ノ場合ニハ丁度馬ハ受胎シテ居ルノデアリマス、受胎馬ハ連モ歩行困難デアアル、ソレガ爲ニ検査ニ行ケナイ、ソレカラ今度ハ第二回ノ検査ノ時分ニハ仔付ニナル、或ハ又分娩間際ニナルト云フコトデ、是モ不可能デアアル、隨テ検査ガ無理デアアル、已ムヲ得ズ其ノ年ハ配合ヲ休マナケレバナラヌト云フコトハ、澤山今マテ例ガアル、ソレハ種馬所ノ役人ハ何處ソコニ曳張ツテ來イト言ツテ、自分ガ部落ニ出張シナイカラサウナル、ドウシテ出張シナイカト云フト、旅費ガナイ、ソレチヤ權ヲ引張ツテ來イ、然ラバ行ク、何時何分ニ必ズ來イト云フコトデ、依頼人同志今マテハ一二回ハ依頼シテ居ルノデアリマス、ドウ云フ譯デアアルカト尋ネタ所ガ、旅費ガナイ、道路ノ悪イ所モソナコトハ關係ナシニ皆一律ニ旅費ヲ支給スルノデ、東北北海道ノ役人ハ非常ニ不都合ヲ感ジテ居ルノダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ

ス

○小笠原委員 今ノ無覺ノ受胎歩合ヲ御説明ガナイヤウデアリマスガ、一體此ノ受胎率ハ御調査ニナツテ居リマスカ、是ガ非常ニ有效ダト云フコトニナルト、種牡馬ト云フモノハ相當減少シテモ、良イ種牡馬ガ二三頭アルト、ソレカラ種ヲ採ツテ直チニ牝馬ニ人工注射ヲシテ、生産増進ヲ圖ルト云フコトガ一番有效ナヤウニ思ハレルノデアリマスガ、種牡馬ノ方ニ多クノ力ヲ御入レニナツテ居ル所ヲ見ルト、人工注射ト云フモノノ效果ハドレダケノ率ニナツテ居ルカト云フコトハ、是ハ重大ナ問題デアリマス、ソレカラ生産ノ馬ニ對シテノ取扱ハ、ヤハリ人工デモ是ガ一等賞ヲ取ツタ馬ダト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ競馬ノ方デ入賞スルコトニナリマスガ、人工交配チヤハリ競馬ノ方デ交配シテ居ルノデアリマスガ、競馬ノ方デハ避ケテ居ルト云フコトモ聞イテ居リマスガ、是ハドウナツテ居リマスカ

○青見政府委員 其ノ數ハ餘リ今澤山ナイダラウト思ヒマス、ソレテ是ハ或ル程度將來モ研究シテ出來得ル限リ利用シナケレバナラヌト思ヒマスガ、今デハ是バカリニ頼ツテ種牡馬ヲ減ラスト云フコトニハ中々行カヌト思ヒマス

○小笠原委員 競馬ノ方ハドウデスカ  
○青見政府委員 競馬ニ出走致シテモ差支ナイコトニナツテ居リマス  
○小笠原委員 ソレカラ此ノ増産、生産力ノ擴充ト云フ意味カラ、今マテ馬政局ニ於テ各種馬所ニ對シテ種牡馬、種牡馬ノ配合検査デアリマスガ、之ニ大キナ缺陷ガアツタノデアリマス、

居ルノデアリマスガ、是ハ小サイコトデアリマスケレドモ、生産力擴充ノ上ニ於テハ重大ナ影響ガアルノデアリマス、今度ハ馬一頭ト雖モ馬産ニ努力シナケレバナラヌノデアリマス、之ニ對シテ今度ハ何カ新馬政計畫ノ下ニ、旅費トカ或ハサウ云フ役人ノ數トカ云フモノヲ増加シテ、小部落ニマテ出張シテ、配合検査ヲ行フヤウナ制度ニ改正シタト云フコトデアリマスガ、是ハ吾々ハ何時カモ申上ゲタコトデアアルノデアリマスガ、此ノ點ハドウナツテ居リマスカ  
○青見政府委員 關係ノ官吏モ若干ハ増員シテアルサウデアリマス、尙ホ出來ル限リ豫算ノ範圍内デ、不便ノナイヤウニ致シタイト考ヘマス  
○小笠原委員 今度ノ馬ノ大改變ヲ行フ原因ニ於キマシテモ、屢々軍部當局ヨリ御説明ノアリマシタル通り、中々人間ノ訓練ガ出來テ居ラヌノデ、過悍ナ馬ハ取扱ニクイ、隨テ悍ノ餘リナイ馬ヲ生産スル様ニト云フ要望デアアルノデアリマスガ、併シ乍ラ如何ニ悍ガナイト雖モ、馬ハ馬デ一ツノ本能ガアルノデアリマスカラ、是ハ如何ニ大人シイト云ツテモ、實際馬ニ携ハラザル者ノ取扱トシテハ困難ナ事情ニアルノデアリマス、隨テ人間ノ訓練ハ相當ニ是カラ必要ダト思ヒマスガ、之ニ付テ今迄ニ他ノ委員カラ御尋シタコトニ對シテ、地方ノ農村團體並ニ學校トカ青年團トカ云フモノニ對シテ、馬ノ訓練ヲ行ハシメルト云フコトノ御答辯ガアツタノデアリマスガ、ソレハ一體實際問題トシテドウ云フコトヲ行ハシメルトデアリマセウカ、馬ノ訓練ト云ツテモ飼養管理スルト云フコトハ相當ナ費用ハ掛ルシ、中々是

ハ容易アナイコトアス、而モ地方ニ於ケル農學校アタリテ、馬ノ生産ニ從事スル所モアリマスガ、其ノ飼養費ナドノ豫算ニ付テ非常ニ困難ヲ來シテ、ヤハリ途中中止シタリスル所ガ澤山アルノデアリマスガ、是ハ何カ豫算ノ上ニ於テ、其ノ他具體的ナ方法トシテハ、ドウ云フ團體ニ如何ナル方法ヲ訓練致シテヤラシメル積リデアリマスガ、其ノ内容ヲ一ツ御知ラセテ願ヒタイノデアリマス

○佐々木説明員 便宜上私カラ御答申上ゲマス、本年度ノ豫算ニ計上致シテ居リマスノハ、青年學校ニ目標ヲ置イテ居リマス其ノ青年學校モ都會地ノ青年學校ニ目標ヲ置クコトニ致シテ居ルノデアリマス、大體人口三十萬以上位ノ都市ヲ選定致シマシテ、其ノ青年學校ニ於テ一年ニ何回カ、ホソノ馬ノ取扱ノ實習ヲ致シマスモノニ對シマシテ、馬ヲ借上ゲル費用ヲ政府ニ於テ補助スル、是ハ極ク初步ノ積リテゴザイマス、只今小笠原サンノ御話ノ通りノ農學校ニ於テ、馬ヲ飼ハセルト云フヤウナ所マデ、參ツテ居ラナイノデアリマス

○小笠原委員 今度ノ馬政方針ニ依ツテ、輕種産地ノ多クハ乘馬ト小格乗馬ノ生産ヲ、指定サレタノデアリマスガ、御承知ノ通り乘馬型ト云フノハ、體高ガ高過ギル弊ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、小格乗馬ト云フノハ低過ギル弊ヲ持ツテ居ル、此ノ調和ヲ圖ル爲ニ今マテ持ツテ居ル乘馬型輕種ノ、餘リ體高ノ高イモノニ對シテ小格乗馬ヲ配合シ、體高ノ低過ギルモノニ對シテハ、乘馬型ノ中間種ヲ配合シ、其ノ中庸ヲ得ルモノヲ生産セシムルト云フ御考デアリマスガ、ソレヲ一ツ御同致シマス

ノ小格乗馬ヲ配置スルト云フコトハ、是ハ無理ノ考デアリマス隨テ大キナ馬ニ對シテハ小格乗馬ヲ配置シテ中庸ヲ得、小サイノニハ大キナ乘馬型ヲ配置シテ中庸ヲ得ルト云フコトハ、生産上良イト思ヒマスガ、今御話ノヤウニ大キイモノニ大キイモノヲ配置シテ、ソレヲ御方針ノ規格ニ當嵌ツタ馬ガ生産セラレルデアリマセウカ、私ハ大キイモノニ小サイモノヲ配合スル、小サイモノニ大キイモノヲ配合スルト云フト、途中ニ出來タモノハ乘馬ニモ附カズ、小格乗馬ニモ附カズ、乗馬ガ多ク生レル、乗馬ハ規定シタ方針ニ基イテ馬デハナイガ、之ニ對シテ助成モ與ヘナイ、之ニ對シテ農林省デ購買モシナイ、斯ウ云フコトニナツタナラバ、一番多ク國家ヲ要望スル馬ヲ除外除クト云フコトニナル、サウナルト乗馬ヲ捨ヘル人モ、小格乗馬ヲ捨ヘル人モ、迷フデアナイカト思ヒマス、ソコデ乗馬ヲ除イテ、中間種ヲ配合シテ小格乗馬ト乗馬ヲヤルト云フコトハ、無理ナ話ダト思ヒマス、ソコニ無理ガナイト考ヘラレルノデアリマセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒマス

○佐々木説明員 輕種産地ノ輕種カラ乗馬ヲ作ルト云フコトハ今度ノ方針ニ依ツテ非常ニ困難ガ伴フノデアナイカト思ヒマス今回ノ乗馬ノ體格骨量ニ當シテ相當ノ乗馬ヲ要求セラレテ居ルノデアリマスカラ、ドウシテモ乗馬格ヲ具ヘタ優良ナル種牝馬ヲ選ンデ、之ニ中間種ヲ主トシテ掛ケテ行クコトガ、最モ適當カト存ジマス、今ノ輕種産地ノ大キナ馬ニ小サイノヲ掛ケテ、中庸ノモノヲ出シタラドウカト云フ御考デアリマスガ、是ハ大キナ馬ガ乗馬ヲ作ルニ適當ナルモノデアリマシタナラバ、乘馬

○佐々木説明員 輕種産地ノ配合ノ御考デアリマスガ、輕種産地ノ種牝馬ニ付キマシテハ、中間種ノ種牝馬ヲ用ヒテヤルト云フコトニ相成ルノデアリマス、其ノ際ニ必ズシモ小サイモノノミヲ選ツテ掛ケルト云フコトデアハナク、所謂乘馬ヲ作ルニ適當ナル種牝馬ヲ先ヅ選定致シマシテ、サウ云フモノニ軍用乘馬ヲ作ルニ適當ナル種牝馬ヲ配合シテ行ク、ソレカラ小格乗馬ノ方ハ乘馬ヲ作ルニハ適當ナル輕種デアナイ、ダカラ何カ生産シナケレバナラヌケレドモ、乘馬以外ニ小格乗馬ニ指定スルノデアリマスカラ、小格乗馬ノ種牝馬ヲ配合シテ參リマシテ、サウシテ一般ノ用途ノ廣イ馬ヲ作ルヤウニ指導シテ行キタイ、斯様ナ譯デアリマス、必ズシモ背ガ低イトカ高イトカ云フコトニ因ハレズニ、生レテ來ルモノガ今度ノ方針ニ副ウタヤウナモノガ出來ル如ク、配合ニ付テハ注意ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマス

○小笠原委員 今ノ御答辯ニハ私モ賛成ダガ、然ラバ國ノ方ニ決定シテ居リマスカラ、體高ノ高過ギル馬ニ乘馬型ノ體高ノ高イモノヲ配合スルト云フコトハ一番危險率ガ多イ、隨テ中庸ノ低身廣軀、四肢強健ナル馬ヲ得ルニハ、體高ノ高イノニシツカリシタ小格乗馬ヲ配合スレバ、丁度良イノガ生レルノデアナイカト考ヘテ居リマス、適當ノ馬ノ乘馬型ヲ配合スルコトハ當然デアアル、背ノ低イ乘馬型デアラナラバ、背ノ高イ中間種ノ乘馬型ヲ配合シテ、適當ノ乘馬型ヲ生産セシムルト云フコトハ當然デアアル、之ニ背ガ低イト云ツテ、アングロノルマン型

型ノ種馬ノ小サイノヲ持ツテ來テ、乘馬ヲ作ルコトガ適當カト存ズルノデアリマス、ソレニ小格乗馬ヲ持ツテ行ツテ、小格乗馬ヲ作ラウト云フコトハ、不適當ト思ヒマス、寧ロサウ云フモノハヤハリ他ノ適當ナル中間種ニ置換ヘテ戴イテ、其ノ地方ノ方針ニ副フモノヲ作り出スコトニ誘導スル方ガ、適當ト思フノデアリマス

○小笠原委員 只今ノ御答辯ニハ私モ賛成ダガ、然ラバ國ノ方ハ小格ナル乘馬型ノ配置ガ、乘馬産地ニ巧ク出來マスガ、ソレハ今マデノ乘馬産地ト云フモノハ、體高ガ高過ギルヤウナ弊ガ種牝馬ニ多イノデアリマス、現在吾々民間側ノ方バカリデアハナイ、國テ持ツテ居ル牧場ノ「アングロノルマン」ハドウデスカ全部一定ノ規格ニ當嵌ツタ乗馬ト云フモノハ殆ドナイ、本當ニ體高ガ高過ギル優良ナル「アングロノルマン」ガアルノデアリマスガ、アレナドモ種牝馬ヲ配合スルニ對シテハ、ヤハリ小格ノ乘馬型ノ種牝馬ヲ配合スルト云フコトニナルノデアリマスサウ云フ種牝馬ヲ相當配置スル準備ガ出來テ居リマスカ

○佐々木説明員 出來ルダケサウ云フモノヲ作りタイト存ジマス、能ク小笠原サンモ御承知ノヤウニ、昔ノ「アングロノルマン」系統ニ比ベマスレバ、現在ハ餘程體高ハ低クナツテ居リマス、最近ニ出來マスモノモ五尺一二寸程度ノモノガ、非常ニ多クナツテ居リマスカラ、漸次御要望ニ副ヒ得ルモノト考ヘテ居リマス

○小笠原委員 ソレカラ生産技術ノ點テ、私ハ斯ウ云フコトヲ伺ヒタイノデアリマスガ、特ニ過悍ナル馬ノ生産ヲ嚴ニ戒メル



ト云フコトガアルガ、此ノ過悍ナル馬ヲ生産シナイヤウニ戒メ  
ルト云フコトハ、是ハドウ云フ配合ヲ爲サルノデアリマスガ、  
輕種ヲ配合スレバ必ズ過悍ナ馬ガ出來ル、又輕種ノ馬ニ中間種  
ヲ配合シテモ過悍ナ馬ガ出來ル、無論過悍ト云フコトニモ程度  
ガアリマセウガ、之ヲ嚴ニ戒メルト云フコトハ、ドンナ馬ヲ配  
合スレバアナタノ指導ノ方針ニ副フノアルカ、之ヲ一ツ伺ヒ  
マス

○佐々田説明員 ソレハ小笠原サン能ク御存ジノコトト思フノ  
デアリマスガ、大體ニ於テ輕種ハ中間種ヨリハ、ヤハリ悍威ニ  
富シク過悍ナモノガ多イト思フデアリマス、今度ノ方針ハサ  
ウ云フ風ナ配合ヲ避ケテ實ヒタイト云フ所ニアルノデアリマシ  
テ、過悍アナイモノヲ作ルニハ、出來ルダケ輕種ノ血ヲ薄クシ  
テ行クト云フコトガ、必要チヤナイカト思フデアリマス

○小笠原委員 其ノ方針ニ基キテ輕種ノ血液ヲ少クシタイガ、  
此ノ輕種ヲ改廢スルノ今非常ニ苦心ガアリ損害ガ伴フ、ソレ  
ハアナタノ御話ノ通り私モ賛成デアリマスケレドモ、ソレヲ改  
廢スルコトハ何モ全部チヤラナクモ宜イヂヤナイカ、アナタ  
ノ仰シヤルヤウニ國策ニ副ツテヤリタイノダガ、其ノ方ハヤレ  
ヌシ、サウスレバ過悍ナ馬ガ出來ルチヤナイカ、一體私等ハド  
ウスレバ宜イノカ、ソレガ困ル、誰モ斯ウ云フ國策ニ副ハナイ  
馬ハ作リタクナイ、賣レテモ行カナイ、併シ其ノ損害チドウス  
ルカ、直接アタクモ間接ニ茲ニ大キナ問題ガ起キルノデス、  
而モ今度競馬ノ方ノ馬ノ種ニスルノハ、是ハドウシテモ過悍ナ  
馬ヲナケレバナラナイガ、此ノ方針ニ依ツテ過悍ナ馬ヲ避ケル

ト云フコトニナリマスルト——競馬ノ方ハ却テ過悍ナ馬ヲ望ム  
ノデアリマスガ、是ハドウ御考ニナツテ居ルカ伺ヒタイノデア  
リマス

午後零時四分散會

昭和十四年二月二十二日  
午前十時四十五分開議

○佐藤委員長代理 ソレデハ是カラ軍馬資源保護法案外二件ノ  
委員會ヲ開會致シマス……

○小笠原委員 私ハ御尋シタイ細カイ事ハ澤山アリマスケレド  
モ、先ヅ最後ノ御尋トシテ、此ノ兩法案、殊ニ馬ノ生産育成其ノ  
他ニ對シテ、取引一切ニ重大ナ關係ヲ有シテ居ル所ノ牛馬商ノ  
問題ニ付キマシテ、三點ニ分ケテ一ツ政府ノ所信ヲ質シテ見  
イト思フデアリマス、從來第一馬政計畫三十箇年ニ於テモ、  
馬産ノ改良發達著シキモノガアツタト云フコトハ、既ニ一般ノ  
認ムル所デアリマス、又馬匹ハ各戰爭事變等ニ於テモ、無言ノ  
戰士トシテ偉大ナル功績ノアツタコトハ、御承知ノ通りデアリ  
マス、此ノ馬匹ノ改良發達ハ言フ迄モナク、政府ガ生産者、育  
成者ト協力シテ、一段ト奮闘努力シタル結果デアリマス、此ノ

外ニ中間ニ在ル牛馬商ノ存在ヲ見道ガシテハナラヌト思フノデア  
アリマス、牛馬取引ノ關係ヲ見ルニ、多クノ生産馬ノ中カラ、  
政府ハ一割乃至一割五分ヲ購買シ、後ノ大部分ハ牛馬商ノ手ニ  
依ツテ、政府ノ方針通り使役地其ノ他生産地へ交換賣買ノ配置  
宜シキヲ得ルノデアリマシテ、是等ノ功績ハ決シテ尠クナイノ  
デアリマス、今後新馬政計畫ニ基キ、國策ニ副フ爲ニ一段ト努  
力チシナケレバナラヌデアリマシテ、地域の役種別ノ方針ニ  
從ツテ、賣買交換ノ宜シキヲ得、出來ルダケ早く國策ニ順應セ  
シメルニハ、ヤハリ牛馬商ノ協助力ト云フコトモ考ヘナクテハナ  
ラナイ問題ダト思フデアリマス、即チ老馬ハ肉ノ方面トカ、  
滿洲馬ハ如何ナル馬格ヲ備フルモノトカ、或ハ新馬政計畫ニ依  
ル輕種、小格輕種ハ如何ナルモノアルカ、殊ニ輕種ニアツテ  
ハ、今後ドウ云フ改正ノ結果チ生ジタカ、更ニ軍用保護馬ニ付  
テハ、之ヲ賣買取引スルニハ如何ナル條件ガアルカ等、以上ノ  
事柄ハ一日モ早く牛馬商ニ認識セシメルト云フコトハ、今回ノ  
新馬政計畫ノ目的達成上、最モ必要ナル條件ダト思フデアリ  
マス、殊ニ日支事變ノ最中デアリ、今ヤ事變ハ新タナル段階  
ニ入ツタ今日、國防上ノ見地カラシテ、馬政ニ對シテモ一日ノ  
油斷モ許サナイ今日デアリマス、加フルニ、新馬政計畫ニ基ク  
馬匹ノ改廢ニ因ル大牛ノ馬匹ハ、牛馬商ノ手ニ依ラナケレバナ  
ラナイノデアリマスカラ、此ノ場合全國ノ牛馬商ヲ集メテ、新  
馬政計畫ノ方針ヲ指示シ、是等ノ協力を求メルコトハ、最モ急  
務デアルト信ズルノデアリマス、之ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒ  
タイ、第二點ハ、從來政府ヲ購買スル種牡馬モ、三歳以上ノモ

ノハ殆ド全部牛馬商ノ手ヲ通ジテ購買サレタノデアリマス、又  
軍部ニ於テモ、三歳以上ノ軍馬ハ同様デアリマス、民間側ニ於  
テモ、使役地ハ勿論、生産地ニ於テモ、ヤハリ是等ノ手ニ依ツ  
テ、要ニ要ニ應ジテ、ソレゾレ賣買交換ノ宜シキヲ得テ居ル  
デアリマス、何故ニ官民共ニ斯クモ牛馬商ニ信賴スルカト言ヘ  
バ、一口ニ言フナラバ、鑑識眼ガ確カダカラデアリマス、即チ  
馬ノ見方ト、馬ノ幼駒ヨリ育成ニ依ツテ其ノ移リ變リノ鑑定ト  
云フモノハ、是ハ一ツノ技術デアツテ、而モ他ノ何物ノ技術ヨ  
リモ面倒ナノデアリマス、政府並ニ生産者ニアツテハ、多クハ  
馬ノ見方ナドハ餘リ知ラヌデモ職務ニハ別段ノ缺陷ガナク、假  
ニ馬ノ見方ノ必要アルトシテモ、其ノ馬ヲ其ノ時ニ依ツテ鑑定  
スルノデアリマスガ、牛馬商ニハ飼育又ハ食料ニ因リ、其ノ他  
運動等ニ因リ、馬ノ移リ變リノ鑑定ガ出來ナイヤウデハ、直チ  
ニ己レノ商賣ガ出來ナイノデアリマス、隨テ此ノ點ノ智識ヲ獲  
得スル爲ニ、實物ニ當ツテ眞劍ニ研究スルノデアリマス、殆ド  
牛馬ト寝食ヲ共ニシテ研究シ、以テ民間ノ直接生産育成ノ兩方  
面ノ指導ノ任ニ當ツテ居ル所以デアリマス、一面、牛馬商ハ古  
來ノ美風ヲ備ヘテ居ルモノデアリマシテ、社會ノ進運ト共ニ、  
世上多クノ訴訟沙汰ヲ見ルノデアリマスガ、牛馬商ハ一旦手ヲ  
打ツタガ最後、絶對ニ約束ヲ反故ニシナイト云フ美風ヲ固有シ  
テ居ルノデアリマス、尙ホ牛馬商トシテノ條件タル一通リノ技  
術ト智識ヲ得ルニハ、餘程常識ガ發達シタ者デナケレバ出來ナ  
イノデアリマス、農林當局ハ以上ノ如キ點ヲ認メテ、牛馬商ヲ  
大イニ指導スベキ必要ガアルト思フデアリマス、是ガ第二點

第三點ハ、牛馬商ノ監督權並ニ許可權ハ、内務省ノ所管トナツテ居ル爲ニ、認可ノ場合ハ、牛馬ノ鑑定が出来ナイ者ヲモ往々認可シ、殊ニ浮浪人ハ博勞ニスルト云フ弊ノアツタ時代モアルノデアリマス、随テ何等牛馬ニ對スル眼識ノ無イ博勞が出来テ勝手ニ法螺ヲ吹イテ賣買取引ニ參加スルカラ、相當ニ弊害モ起リ、多クノ同業者ニ迷惑ヲ及ボシ、隨テ世間一般ハ、牛馬商ト言ヘバ最モ低級下劣ナル商賣ノ如ク考ヘテ居ル向モアリマス、是等ノ如キヲ放任シテ置クトキハ、馬政國策上ノ進展ニ重大ナル影響ガアリ、且ツ社會問題トシテモ放任スベキテハナイト思フノデアリマス、仍テ農林省當局ハ牛馬商ノ認可權並ニ取締權ヲ、内務省ヨリ農林省ニ移管スルノ意思ハナイカ、ドウカヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ取引改善ノ研究中トアラバ牛馬商關係ノ以上申上ケタ事ヲ併セ、篤ト研究スベキト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル當局ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○荷見政府委員 今回ノ此ノ馬政計畫ヲ實行致シマシテ、其ノ效果ヲ十分ニ舉ゲル爲ニ、取引配給等ノ關係ニアリマス牛馬商ニ對シテ、馬政計畫ノ趣旨ヲ十分徹底普及セシムルコトノ重要デアリマスコトハ、御話ノ通りデアリマス、之ニ關シマシテハ出來得ル限り、手段ヲ盡シタイト思ヒマスケレドモ、只今テハ馬ノ取引並ニ價格ノ安定等ノ諸問題ニ關シマシテ、再三申上ゲルヤウニ研究機關ヲ設ケテ、研究中デアリマスノテ、ソチヲノ方ト相俟ツテ、適當ノ處置ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、又牛馬商ノ技術ナリ知識ナリノ指導ニ付テモ、攻究スル必要ノデアリマスコトモ、御話ノ通りデアリマス、尙ホ馬ノ取引ニ關シマシ

テ、只今ニ於テハ最モ重要ナル役割ヲ致シテ居リマス牛馬商ノ取締關係ニ付テ、是ハ内務省ノ方テ警察取締ニ依ツテ指導シテ置クト云フヤウナコトハ、ト云フ趣旨ノヤウデアリマシタガ、此ノ牛馬商ノ取締關係ハ、ヤハリ農林省ノ主管事項テゴザイマシテ、只今アリマス牛馬商取締規則モ、農商務省令テ制定サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯此ノ許可等ガ地方長官ガ免許ヲ與ヘルコトニナツテ居リマスノテ、隨テ内務省ノ系統ノ方テ取扱ツテ居ルガ如ク、形式ト言ヒマスカ、サウ云フヤウニ思ハレルノデアリマスケレドモ、大本ハ農林省ノ關係ニナルノテゴザイマス、尙ホ只今ノ御話ノ三ツノ點ニ付キマシテハ、各々最モ重要ナル關係ニアリマスノテ、至急ニ出來ルダケ御趣旨ノヤウナ方針ニ依ツテ、研究ヲ進メテ參リタイト思ヒマス

○小笠原委員 只今ノコトハ御答辯ニ依ツテ能ク分リマシタ、ドウカ熱心ニ御研究ヲ願ヒタイノデアリマス、最後ニ一ツ陸軍ノ方ニ伺ヒタイノハ、今度ノ馬ノ取引改善ノ研究中ニハ、今マテハ軍馬ノ購買等ニ付キマシテ色々各委員ヨリ御意見モ出、又吾々モドウモ遺憾ヲ感ジテ居リマス點ガアリマスノテ、本當ニ陸軍ノ購買目標トシテ生産シテ居ル方面カラ見マス、陸軍ノ方トノ取引ヲ非常ニ圓滿ニシテ、欣ンデ生産ニ從事スルヤウナコトニ、今ノ内ニ之ヲ直スト云フコトガ、一番必要ナルデアリマス、ソレハ何ニ原因スルカト云フト、今ノ諸物價ノ暴騰ニ原因シテ、ソレガ生産ノ費用等ニ對シテ非常ニ大キナ影響ガアルノテ、市場ノ相場ニ狂ヒテ生ジタノガ、非常ナ原因ヲ爲シテ居リマス、是等ノコトハヤハリ馬政局ノ方テ取引改善ヲ研究

スルト同時ニ、陸軍ノ方テモ併セテ此ノ取引關係ノ御研究ヲ爲サルコトニナルノデアリマセウカ、此ノ點チ一ツ伺ツテ置キマス

○栗林説明員 只今ノ件ニ關シマシテハ、十分農林省ノ方ト密接ノ連絡ヲ取ツテ居ルノデアリマシテ、馬政局テ取引改善審議會ヲ開カレマシタノニ對シマシテハ、陸軍側カラモ委員ガ出テ居ルノデアリマス

（中略）

○陳委員 ……私ノ間ハ極メテ簡單デス、餘リ諄々シキコトハ申サヌ積リデアリマス、國有種馬ノ配給ガ餘リ公平デナイト云フコトヲ聞イテ居リマス、九州地方ニ在ル種馬所ニ配當スル所ノ馬ハ、良イノモ配當サレテ居リマスガ、主ニ第二流三流ノ種馬ガ配當サレテ居ルト云フコトヲ屢々聞クノテゴザイマス、斯ウ云フコトハ今後馬政計畫ヲ遂行セラルル上ニ付キマシテハ、ヤハリ九州地方ニ於テモ相當ノ種馬ヲ配給セラレルヤウニ、吾々ハ非常ニ熱望シテ居ルノテゴザイマス、無論不公平ト云フ譯テモアリマスマイケレドモ、私が屢々耳ニスル所ニ依リマス、此ノ配給サレタ種馬モ東北地方、北海道ニ比スレバ、極メテ劣等デアル、斯ウ云フコトモ屢々聞イテ居リマスガソレハ果シテ事實デアルカドウカ分リマセヌケレドモ、要スルニ斯ウ云フコトノナイヤウニ、今後ハ層一層御注意ヲ戴イテ、サウシテ公平ナル配給方法ヲ講ジテ戴キタイ、斯ウ云フコトガ一ツ、私ノ希望デアリマスシ、又政府當局ノ御意向モ承ツテ置キタイト思ヒマス、其ノ次ニ政府ノ馬産方針ニ依ル種馬並ニ

小格種馬ノ増産上ニ、種馬ガヤハリ不足シテ居ル、甚ダ遺憾デアルト云フコトヲ私共ノ方ノ地方ニ於テハ申シテ居リマス、ソレテ小格種馬ノ種馬ニアツテハ、今言フ如ク極メテ少イノテゴザイマスカラ、今後ハ餘程此ノ點ニ付テモ御注意下サイマシテ、適當ニ増加セラレントコトヲ私ハ切ニ希望シテ居ルノテゴザイマスガ、之ニ對シテドウ云フ處置ヲ執ツテ居ラレルカ、此ノ點モ御伺テ致シテ置キタイト思ヒマス、次ニ二歳ノ種馬候補ノ買上頭數ヲ、モウ少シ増加シテ貰ヒタイ、出來得レバ東西ノ種馬市場ニ於テ購買シテ戴クト云フコトガ出來レバ、尙ホ都合ガ好イ、私ノ地方ニ於キマシテモ、當歲ノ馬ヲ種畜場ニ預託シテ居リマスガ、ソレハ餘程成績ガ好クナツテ居ルノテゴザイマス、サウ云フ實情カラ見マシテモ、政府ニ於テ此ノ候補馬ヲ御買上ニナルニ付テハ、當歲ノモノモ加ヘテ戴キタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマスルガ、之ニ對シテモ御當局ノ御意見ヲ御伺致シテ置キマス、ソレカラモウ一ツ、次ニ種馬ノ飼養獎勵金、是ハ慥カドナタカラカ質問サレテ、増額サレテ居ルヤウナ話モアリマシタケレドモ、能ク記憶シテ居リマセヌガ、此ノ種馬ノ飼養獎勵金ハ、現在テハ種馬一頭ニ付テ四十四圓、小格種馬二十五圓トカ云フヤウナコトニナツテ居リマス今後最モ優良ノ種馬ヲ保有セシムル上ニ付キマシテハ、相當ノ増額ヲシテ戴カナケレバ、馬政計畫遂行上甚ダ支障ヲ來シハセヌカト、斯ウ心配ヲ致シテ居リマス、此ノ點ニ付テモ是非増額ヲシテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマスカラ、之ニ對シテ當局ノ御意向モ承ツテ置キタイト思ヒマス、先ヅ是ダケチ一

ツ御願シテ置キマス  
 ○荷見政府委員 國有種牝馬ノ配給ニ關シマシテハ、成ベク種牝馬ノ狀況ヲ見マシテ、ソレニ相當スルモノヲ配給スルコトニナツテ居ルノダサウデアリマシテ、是マデモ成ベク宜シイモノヲ選ンテ、配當致シテ居ツタデアリマス、今後トモ出來ル限リ優良ナモノヲ供給スルコトニ致シタイ、斯様ニ考ヘマス、又種牝馬ノ不足、小格種馬ノ種牝馬ノ不足ト云フヤウナ御話デアリマスガ、ソレ等ニ付キマシテモ十分注意致シマシテ、成ベク早ク充實致スヤウニ致シタイト考ヘマス、第三點ノ候補種牝馬ノ當歳ノモノノ交配ハ困難デアリマス、二歳ノモノニ付テハ若干致シテ居ルデアリマス、尙ホ種牝馬ノ飼養獎勵金ハ、現在ハ規則ニ依リマシテ御話ノ程度ノコトヲヤツテ居ルト思ヒマスガ、今回ハ種牝馬ノ獎勵金一頭當リ平均二十四圓ト云フコトニ致シタデアリマシテ、從來ハ一頭當リ平均十圓ノ平均ニナツテ居リマシタノチ、相當増額致シタデアリマスカラ、現在ヨリハ單價ハ上ゲル譯ニハ參リマセヌケレドモ、頭數ガ相當増加シテ參ルコトト思フデアリマス  
 ○陸委員 ソレハソレデア開イテ置キマス、ソレカラモウ一ツ次ニ、鍛鍊馬競走ヲ行フ場所チ一府縣一箇所ニ限定サレマシタガ、二箇所ヲ廢止サレルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ地方ニ於テモ隨分競争ナドガ起リハセヌカト思ヒマス、併シ是ハ政府ノ方カラドウ云フ風ニ決定サレカ、ドウ云フ標準ニ依ツテ決メラレルカト云フコトニ付テモ、非常ニ疑問ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、此ノ點ニ付テモ餘程考慮シテ裁カヌト、地方ノ

モ、宮崎縣ノ先ヅ私ノ郡ナドデハ、毎年々々流産ダケガ七箇町村デ六百頭位アリマシテ、五六百頭モ流産シマス、昨年ノ糶市ノ値段ニシマス、相當ノ額ハ年々損失ヲ致ス、斯ウ云フコトニナツテ居ルデアリマス、又本年ハドウナルカト云フト、隨分妊娠シテ居ル馬即チ種付チシテ居ル馬ガ、相當多數發見サレテ戰地ニ行ツテ居ルデアリマス、ソレデモモ吾ガ感ズル所デハ、少クトモ一郡デ之ガ爲ニ三四百頭モ馬チ生産チスルモノガ、生産シナイ様ニナツテ來ル、サウシマス流産ノ方ト併セテ相當ノモノニナツテ居ツテ、地方ノ農村ト致シマシテハ非常ナ損チ來ス、十萬圓モ二十萬圓モ損チスルト云フコトニナルデアリマス、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマスカラ、是非出張所チ設ケテ此ノ流産豫防ト云フコトニ付テ非常ニ御努力ヲ願ヒタイト、私ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレデ唯鹿兒島ノ獸疫調査支所一箇所デ九州全體ヲ廻ツテ、ソシテ此ノ豫防チ御研究ニナルト云フコトハ、少シ御困難デハナカラウカト私ハ心配スル、ソレデアリマスカラ、流産其ノ他ノ獸疫ノ澤山アル所ニ向ツテハ、出張所ミタヤウナモノヲ設ケテ貰ツテ、熱心ニ研究シテ、是ガ豫防策ヲ講ジテ戴キタイ、斯ウ云フ考チ持ツテ居ルデアリマス、ソレデ唯流産ガアツタカラト云ウテ、鹿兒島縣ノ南ノ隅ノ谷山カラ遠方マテ行カレルト云フヤウナコトハ、一寸是ハ困難デハナイカト思フ、ソレデ是非私ハ必要ナ場所ニ、二三箇所出張所チ設ケテ貰ヒタイ、相當ノ費用モ要リマセウケレドモ、先ヅ出張所ナドノ家屋トカ土地トカ云フヤウナモノハ其ノ地方ニ於テモ多少便宜チ計ツテ、ソシテ土地ナリ色々ナ所

今マデ三箇所アル所チ一箇所廢止シテ、二箇所廢止スルト云フコトニ付テハ、色々ナ運動ナドガ起リハセヌカト思ヒマス、サウシマスト色々方面ニ影響スルデアリマスカラ、ドウ云フ風ニサレルカ、此ノ點モウ一應御伺チ致シテ置キタイト思ヒマスモウ一ツハ此處デ質問チシテハドウカト思ヒマスガ、私ノ地方ニハ是マデ四箇所地方競馬ガアツタノデス、併シナガラ規則ガ三箇所トナリマシタカラ、一箇所ハ廢メテ置イテ、三箇所デアルト云フコトデ、順番ニヤツテ居ツタ、ソレデ二三年前ニ一箇所廢メマシタ、此ノ廢メタ所ハ隨分借金ガアツタノデス、ソレテ殘ツテ居ル所ノ三箇所カラ年ニ何百圓ヅツトカ之ヲ補給シテ而シテ借財チ拂ツテ呉レル、斯ウ云フコトニ實ハナツテ居リマス、今度二箇所廢シテ一箇所ニナルト、今マデ借金チ拂ツテ呉レテ居リマシタ其ノ箇所ガ廢止サレルデアリマスカラ、餘程此ノ負債整理ニ付テハ困ルダラウト思ヒマス、是モヤハリ今度廢止サレル二箇所チ中ニ入レテ、幾分カ助成チシテ戴クト云フコトニナレバ、非常ニ助カルト思フノデスガ、此ノ點ニ付テハ如何ノモノデスカ、私ノ希望通りニヤツテ戴クコトガ出來ルカドウカ、此ノ點モ御伺シテ置キタイト思ヒマス、其ノ次ニ獸疫調査支所ノ出張所ノ設置ヲ要望シタイト思ヒマス、九州地方ニハ本年十四年度カラ鹿兒島ニ一箇所設置サレタ、此ノ事ニ付テハ、私ハ先年ヨリ非常ニ流産トカ其ノ他ノ病氣ガ澤山宮崎縣ノ方ニモアルカラ、色々御願チ致シテ置キマシタガ、併シ是ハ政府ノ御都合ニ依ツテ、鹿兒島縣ノ谷山ノ方ニ設置サレルコトニナツタデアリマス、所ガ是ハ一地方ノ問題デアリマスケレド

ハ十分世話スレバ出來ルト思フ、サウ云フ風ニシマスルト、政府ノ豫算モ餘リ澤山ハ要ラナイト思フ、年々十何萬圓モ損チスルト云フ所ナラバ、寄附金デ大概ノ家屋ナドハ設置スルコトハ出來ハスマイカ、ソレマデ熱心ニ私共トシテハヤラセテ見タイ斯ウ云フ考チ持ツテ居リマス、是非此ノ獸疫調査支所ノ出張所チ設ケテ、徹底ノ流産豫防ト云フコトニ御研究チサレテ、之ヲ防止スルコトガ出來タナラバ、年々十數萬圓ハ一郡内ニ於テ利益チ得ル、斯ウ云フコトニナツテ農民ハ非常ニ助カレトナルノデゴザイマスカラ、ドウカ此ノ點ニ付テモ十分御考慮チ戴キタイト思ヒマスガ、政府當局ノ御意見モ承ツテ置キタイト思ヒマス  
 ○荷見政府委員 只今御尋ノ鍛鍊馬競走チ施行シマスモノチ、一府縣一箇所ニ致シタ場合、之チ如何ニシテ定メルカト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ鍛鍊馬競走ノ箇所チ決定スルニ付キマシテハ、地方ニ於ケル關係者ノ意見チ最モ大切ニ參酌致スコトハ勿論デアリマスケレドモ、風教、衛生、取締ノ點、實施上ノ點ト云フヤウナ諸點チ考ヘマシテ、最モ適切ニナルヤウニ許可チ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ負債ノ整理ノ問題デアリマスガ、廢止サルベキ地方ノ競馬場ノ負債ノ整理ニ付キマシテハ、前申上ゲマシタヤウニ、軍用保護馬鍛鍊中央會チシテ之ニ當ラシメ、又整理スベキ内容ニ付テハ、地方競馬整理委員會チ設ケテ、之チ審議セシメル積リデアリマスガ、御話ノ點ニ付キマシテハ、此ノ軍馬資源保護法ノ附則ノ第二項ニ依リマシテ、優等馬票チ發行シナイ、馬券チ賣ラナイト云フ競馬場ノ整理ハ

行ハナイコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三點ノ獸疫調査支所ノ出張所ヲ設ケテ、馬ノ生産力ヲ十分ニ保持増進致シマスヤウニシタナラバドウカト云フ御話ニ付キマシテハ、是ハ最モ適切ナル仕事デアルト考ヘルノデアリマスカラ、豫算ノ都合モアルコトトハ考ヘマスケレドモ、關係當局トモ十分協議致シマシテ、馬ノ資源ノ充實ノ目的ヲ達成スルニ遺憾ノナイヤウニ、御趣旨ノヤウナ點ガ出來マスレバ、實現スルヤウニ努力シタイト考ヘマス

〔中略〕

○服部(岩)委員 ……第九條ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ指定シタル軍用保護馬ニ非ザレバ出場セシムルコトヲ得ズ」其ノ勅令ノ内容デアリマスルガ、未ダ勅令其ノモノハ出來テ居リマセズトモ、少クとも此ノ法案ヲ御提出ニナリマシタ以上ハ、此ノ勅令ニ對スル政府ノ御考ハ當然アルベキモノダト思ヒマス、此ノ「勅令ニ定ムル」ト云フ此ノ骨ハ出來テ居リマスガ、ドウ云フコトヲ勅令ニ依ツテ定メルカ、其ノ點ヲ過日來委員各位カラ御尋ニナツテ居ルノデアリマスガ、未ダ之ヲ明瞭ニ御答辯ニナツテ居リマセヌノデ、其ノ點チ一ツ詳細ニ承ツテ見タイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 内容ト致シマシテハ、茲ニ書キマシタ第九條ノ命令事項ノ軍用保護馬ノ指定條件及ビ方法等ニ關スル事項デアリマスガ、大體ニ於キマシテ地方廳管内ノ同一市町村内ニ於テ、引續キ六回以上普通鍛鍊ヲ受ケ、其ノ成績ノ良好ナルコトヲ市町村ニ於テ證明シ、且ツ馬體検査ニ於テ鍛鍊競技出場ヲ適

ト云フヤウナ、意圖ノヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、併シ資質ノ向上デアルトカ、或ハ鍛鍊ノ成育ノ審査デアルトカ、或ハ其ノ他鍛鍊ニ因ル成績等チ、唯縣内馬ニノミ限ツテ之ヲ比較或ハ審査致シマシテモ、比較的效果ハ少イト思フノデアリマスソレト、各府縣ノ馬ヲ出來ルダケ、其ノ何レノ鍛鍊馬競走ニモ出場セシメレバ、却テ各府縣ガ馬ノ鍛鍊其ノモノニ相當力ヲ入レサシテ行クト云フコトモ、ソレニ依ツテ出來マス、又各府縣毎ニ斯ウシタ馬ノ比較審査モ出來マスシ、馬ノ資質ノ向上、或ハ又馬事ニ關スル知識ノ普及等ガ出來テ行クト思フノデアリマス、之ヲ其ノ府縣内ノ馬ト云フコトニ限ツテシマヘバ、極メテ效果ノ薄イモノニナツテシマツテ、折角ノ鍛鍊競技ノ目的トスル所ガ失ハレテ行クト考ヘラレルノデアリマス、故ニサウ云フコトヲ御考ニナラズニ、既ニ此ノ馬政ノ上ニ於テ斯ウシタ施設ガ必要デアルト云フコトヲ御認メニナル以上ハ、モウ少シ彈力性ノアル競技會ニシナケレバ、私ハ嘘ダト思ヒマス、唯之ヲ潰シテシマヒタイケレドモ、マア、喧シイカラ一時之ヲ殘シテ置ク、斯ウ云フヤウナ不徹底ナ考ナラバ、宜シク此ノ鍛鍊競技ト云フヤウナモノハ、無クシテシマツタ方ガ私ハ適當ダト思フ之ヲ設ケテ行ク以上ハ、ソレヲ有效適切ニセシメルト云フコトガ、必要デアラウト考ヘラレルノデアリマス、是ハ要スルニ運用ノ問題デアリマスカラ、サウ云フ狹義ニ考ヘナイデ、此ノ地方鍛鍊馬ノ競走ヲシテ有效適切ナラシメルヤウニ、十分ノ御考ヲ願ツテ置キタイ、他ノ管轄外ノ馬ヲ出場セシメマシタ所デ、ソレガ馬ニ多大ノ損傷ヲ與ヘルトカ、或ハ馬ノ資質ノ向上ヲ阻

當ト認メタモノヲ指定スル、北海道ニアリマシテハ北海道廳長官ニ於テ一鍛鍊馬場ニ付キ區域ヲ定メテ、其ノ區域内ノ軍用保護馬チ、只今申上ゲマシタヤウナ方針ニ準ジテ指定スル、斯ウ云フ風ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○服部(岩)委員 大體了解致シマシタガ、サウ致シマス、北海道ニ於キマシテハ區域ヲ定ムルコトハ、恐ラク北海道ハ大體鍛鍊馬場ト云フモノヲ三箇所ト云フコトニサレテ居ルノデ、三箇所ノ區域ヲ定メラレルモノダト存ズルノデアリマスルガ、此ノ問題ハ過日來モ色々質問ガアツタヤウデアリマスガ、政府ノ方ニ於テハ今回ノ鍛鍊馬ノ競走ニ付キマシテハ、其ノ出場スル馬チ府縣内ノ軍用保護馬ニ限ツテ、他府縣ノ軍用保護馬チ出場サセナイト云フ意味チ、此ノ中ニ含マセテ居ルノデアリマスガ、其ノ點チ御尋申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 是ハ軍用保護馬ノ鍛鍊ノ趣旨ニ基キマシテ、大體地方長官ガ軍馬トシテ必要ナル資格チ有スル馬チ作りマス爲、鍛鍊チスル其ノ一部門トシテ出スノデアリマスカラ、結局地方長官ノ管轄ノ下ニ寄ツテ行フ、サウ云フ結果地方長官管轄内ノモノヲ鍛鍊馬競走ニ出場セシムルコト云フコトニナリマスノデ、他府縣ノモノハ出場セシメナイト云フコトニナリマス

○服部(岩)委員 ソコデ此ノ鍛鍊競技ノ方ノ問題ニ移リマスガ當局ノ方ニ言ハセマス、斯様ナ競技ハ所謂今度ノ第二次馬政計畫ノ變革ニ伴ウテ、全然從來ノ地方競馬チ廢シテシマフト云フコトモ色々關係モアルノデ、斯ウ云フ特殊ノ關係チ之チ存置スル、斯ウ云フ意味合ニ於テ鍛鍊競技ヲ狹義ニシテ行カウ

碍スルトカ、色々弊害ガアリマスルナラバ別デアリマスガ、僅カ其ノ府縣ニ限ルトスレバ、鍛鍊競走ニ出マス場合ニハ、一年ニ二回其ノ競走ニ出マスル限リ、或ハ競馬毎ニ二回カ三回位ノ程度ニナル時ハ、一年ヲ通ジテモ僅ニ此ノ競走ニ出場場合ニ於テハ、五六回程度ノモノデアリマス、此ノ五六回ノ程度ノモノデアリテ、十二分ノ一箇年中ノ鍛鍊ノ實績ヲ調査研究シ、ソレヲ以テ知識ノ向上デアルトカ、或ハ鍛鍊馬競走其ノモノチシテ資質ノ向上チセシメル上ニ於キマシテハ、極メテ非效果ノモノデアルト考ヘラレルノデアリマス、サウ云フコトニモツト大キク考ヘラレマシテ、勅令ヲ定メラレル場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ區域外ノ馬ヲモ之ニ出場セシメ得ルヤウニ、考ヘラレンコトヲ切望シテ已マヌ者デアリマス、ソレカラ第十九條ノ「政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出シ又ハ移出スルコトヲ得ズ」トアリマスガ、此ノ許可權ハ地方長官ニ委任サレルノデアリマスガ、無論私ハ此ノ許可權ハ地方長官ニ委任サレルモノト考ヘルモノデアリマスガ、此ノ點チ伺ツテ置キタイト考ヘマス、同時ニ無論許可ヲ受クルニ非ザレバ輸出又ハ移出スルコトガ出來ナイガ、此ノ輸出ト云ヒマスノハ所謂外國ニ出スモノデアリ、移出ハ外地ニ移サレルモノチ意味シテ居ルモノデアルト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點チ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 移出ノ許可官廳ハ、農林省ニ致ス積リデアリマス、又移出ハ御話ノ通りニ朝鮮、臺灣、樺太等法域チ異ニ致シマスル部分ニ持出スコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、輸出

ハツレ以外ノ外國ニ致シマスル分テアリマス  
 ○服部(岩)委員 次ニ鍛鍊競走ニ於キマスル騎手ノ問題デアリ  
 マスガ、是ハ政府ノ方ニ於キマシテモ相當御考ニナツテ居ルヤ  
 ウデアリマスルガ、實際從來ノ地方競馬ノ實績カラ考ヘテ見マ  
 スト、騎手其ノモノニ依リマシテ、馬ノ性能ヲ十二分ニ發揮サ  
 セナイト云フ點ガ非常ニ多イノデアリマス、ソレテ從來ノ競馬  
 ト云フモノガ、一般カラ極メテ明朗テ缺イテ居ル、斯ウ云フ非  
 難ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ馬主ニシテ見マスレバ勝ッ  
 ト云フコトガ目的デアリマスケレドモ、其ノ勝ツト云フコトニ  
 付キマシテ色々ナ術策ヲ施ス、假ニ初日ニ出場致シマシテモ、  
 是ハ一ツ走ラナイテ明日一著ヲ取ル、或ハ第三日目ニハ全力ヲ  
 擧ゲテ優勝ヲスルトカ云フヤウナ、所謂賞ヲ目的ト致シマシテ  
 馬ノ性能其ノモノヲ發揮サスコトニ十分ノ意ヲ用ヒナイ、今日  
 マテノ地方競馬ニ於キマシテモ、此ノ弊害ガ多分ニアリマスル  
 ガ爲ニ、本當ノ競馬ノ目的トスル所ガ失ハレル、殊ニ今回ノヤ  
 ウナ軍用候補馬ノ競技ト云フコトニナリマス、一層私ハ此ノ  
 點ヲ痛切ニ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、サウシテ見マスレ  
 バ、騎手其ノモノヲナントカ教育的ニ善導シテ行ク、寧ろ私ハ  
 公認競馬ニ致シマシテモ、或ハ又斯ウ云フ鍛鍊競技ニ致シマシ  
 テモ、此ノ法律ニ附帶スルヤウナ一ツノ騎手ニ關スル法律デモ  
 附加ヘマシテ、サウシテ騎手ガ十二分ニ馬ノ性能ヲ發揮シナカ  
 ツタトカ、或ハ又馬主カラ強要サレテ色々ナ術策ヲ弄シタトカ  
 或ハ又第三者カラ脅迫サレテ色々ナ策動ヲ用ヒタトカ云フヤウ  
 ナコトヲ致シマス場合ニハ、或ハ騎手權ト云フモノヲ取ツテシ

マツテ、何レノ競馬ニモ其ノ騎手ハ馬ニ乗セナイトカ、或ハ一  
 面ニハ騎手ヲ十二分ニ保護ヲシテヤルト云フヤウナコトヲ致サ  
 ナイト、第一鍛鍊競走其ノモノノ效果ノ上ニモ、非常ニ其ノ效  
 果ヲ疑ハレル點ガ多イヤウニ、今日マテノ地方競馬或ハ公認競  
 馬ニ對シマシテモ、私共ハ痛切ニ考ヘサセラレテ來タ問題デア  
 リマス、今特別ニ一ツノサウシタ法規ヲ以テ保護スルコトガ出  
 來ナケレバ、或ハ他ノ適當ナル方法ヲ以テ特ニ此ノ騎手ノ養成  
 並ニ騎手ノ保護、騎手ノ人格陶冶ト云フヤウナ點ニ、最善ノ努  
 力ヲ致シテ戴キタイト、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマスガ、今一  
 應政府當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、或ハ今度出  
 來マス所ノ中央機關ニ於キマシテ、サウシタ騎手ニ對スル所ノ  
 待遇、或ハ又ソレノ保護、或ハ教育ト云ツタヤウナ事業モ、私  
 ハサウ云フ方面ノ一ツノ事業トシテ、ヤラレルコトガ當然ダト  
 思フノデアリマスガ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス  
 ○荷見政府委員 鍛鍊競技ニハ專門ノ騎乗者ヲ置ク豫定デア  
 ルト云フコトヲ、先般申上ゲタノデアリマス、只今之ニ關シマシ  
 テ種々御話ガゴザイマシタ、私共モ騎手ハ此ノ競走ニ付キマシ  
 テハ、最も重要ナル要素デアリマスカラ、御話ノヤウナ弊害ノ  
 ナイヤウニ致シ、公正ナル競走ノ執行ニ遺憾ナカラシメマス爲  
 ニ、其ノ取締並ニ保護施設等ニ付キマシテ、十分ナル施設ヲ講  
 ジタイト思フノデアリマス、只今御話ノアリマシタヤウニ、今  
 回設ケラレマス軍用保護馬鍛鍊中央會ニ於キマシテモ、十分熱  
 考スベキコトデアリマスケレドモ、政府ニ於テモ是等ノ指導或  
 ハ施設ノ實施ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、尙ホ協力シテ

遺憾ナキヤウニ致シタイト思ヒマス  
 ○服部(岩)委員 今度ノ鍛鍊法ノ實施ニ依リマシテ、  
 當然一府縣ニ二箇所以上ノ馬場ノアリマス所ハ、之ヲ一箇所ニ  
 整理サレマスノテ、後ハ是ガ處分ヲ致サナケレバナラヌコト  
 ハ當然デアリマス、此ノ立場カラ當局ニ於カレマシテハ、之ニ  
 對スル相當ノ御考ヲ御持チニナツテ、斯ウ云フ制度ノ改廢ニ依  
 ル迷惑、或ハ又損害等ヲ出來ルダケ少クシテヤルト云フ此ノ考  
 ア、既ニ相當ノ御考ヲ御持チニナツテ居ルヤウナコトハ、先般  
 來御説明ニナツテ居ルノデアリマスガ、併シ此ノ間モ御話ノア  
 リマシタヤウニ、表面ニ現ハレテ居リマスル金ハ、僅ニ二萬五  
 千圓程度ノモノデアリマシテ、今之ヲ各府縣一箇所ニ整理ヲ致  
 シテシマヒマス場合ニハ、政府ノ御調ニナツテ居リマスル點カ  
 ラ見マシテモ、三百萬圓以上ニモ達シテ居ル、サウ致シマス  
 一體是ハドウ云フ方面カラ財源ヲ求メラレテ、政府ニ於テ之ヲ  
 整理ガシテ貰ヘルノカ、斯ウ云フ點ヲ心配ヲ致スコトハ當然ダ  
 ト思フノデアリマス、ドウモ此ノ内容ガハツキリト、御當局ノ  
 方ニ於テハ發表ガサレナイヤウデアリマスルガ、併シ發表ノサ  
 レナイト云フ所ニ色々不安ヲ生ジマスノテ、何カ此ノ點ハモ  
 ウ少シクハツキリト、御話ガ願ヘナイモノダラウカ、別段私共  
 ハ其ノ財源ガ何レノ點カラ出テ參リマシテモ、公明ノモノデア  
 レバ、チツトモ發表サレテモ差支ナイモノデアラウト考ヘラレ  
 ル、サウスレバ地方ノ各府縣ノ團體ニ於キマシテモ安心テ致シ  
 マス、出來ルナラバ一ツ御話ヲ願ヒタイ、併シドウシテモ出來  
 ナイモノヲ無理ニ發表シテ呉レトハ、是ハドウモ申シ難イノテ

アリマスガ、發表サレテモ餘リ差障リガナイ問題ダト、斯様ニ  
 考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ點特ニ一ツ御話ヲ願ヘレバ洵  
 ニ仕合セダト思フノデアリマス、サウ致シマシテ各府縣ニ箇所  
 以上アルモノハ無論一箇所ニ整理致サナケレバナラヌデアリ  
 マスガ、今政府ノ御話ノヤウニ、其ノ縣内ダケテ實際鍛鍊競技  
 ヲヤレルト云フコトニナリマシテモ、事實ニ於テ其ノ縣ダケノ  
 馬デハ、ヤリ得ル府縣ト云フモノハ全國テ極メテ一部分ニナツ  
 テシマツテ、數府縣ノモノノミニ此ノ鍛鍊競走ト云フヤウナモ  
 ノヲ認メルヤウナ結果ニ、事實ニ於テナツテ參リマス、併シソ  
 レハ此ノ法律ヲ以テ斯ウ云フ施設ヲ認メラレル以上ハ、少ク  
 モ大體ニ全國各府縣ヲシテ其ノ地方ノ鍛鍊馬ノ所謂鍛鍊ノ振作  
 或ハ更ニ進ンテ馬事思想ノ普及、馬事知識ノ普及等ニ役立タセ  
 ルト云フ事デアラナラバ、私ハ他府縣ノ馬ヲモ入レナケレバナ  
 ラヌト考ヘマス、若シ一府縣デナケレバナラヌト云フコトニナ  
 ツテシマヘバ、是ハ全國テ恐ラク數府縣ダケニ止マツテシマフ  
 サウテナケレバ、假令僅ナ賞品デモ出シテ、現在ノ競馬場ト云  
 フモノヲ使用シテ競馬ヲ致シマスナラバ、私ハ分リマセヌケレ  
 ドモ、恐ラク相當ノ大キナ面積ヲ買取ル、或ハ又之ヲ借入レテ  
 料金ヲ支拂ツテ居ルノデアリマスカラ、馬場ノ手入、修繕或ハ  
 其ノ借地料、是等ヲ考ヘマスト云フト、一競馬ドウシテモ平均  
 シテ先ヅ三千圓乃至四千圓位ノ程度ニナリハシナイカ、又金ヲ  
 借りテ施設サレテ居リマスモノナラバ、是ハ年賦償還其ノ他ノ  
 關係カラ見マシテモ、ヤハリ大キナモノニナレバ、一回ノ競馬  
 場ダケノ費用デモ相當大キナモノガ掛ツテ行ク、サウ云フヤウ

ナ澤山ノ經費ノ掛ル競馬場テ、一般ノ興味ヲ起サヌヤウナ小サ  
イ競馬ヲヤリマシテモ、其ノ收入ト云フモノハ極メテ少クナツ  
テシマフ、サウスレバドウシテモ引合ハナイ、損害ガ行ク、聯  
合會ガ常ニ損ヲシテモ此ノ競馬ヲヤル必要ハナイト云フ結  
果ニナツテ、競馬ト云フモノヲヤメナケレバナラヌ、サウスレ  
バ此ノ施設ヲ以テ馬事思想ノ普及、或ハ鍛鍊馬ノ鍛鍊ノ振作、  
或ハ其ノ資質ノ普及等ト云フ此ノ大目的ヲ達スルコトガ出來ナ  
クナル、全國ニ於テ極メテ少イ數府縣ノミニナツテシマツテ、  
全國的ナクナル、此ノ間モ承リマスト云フト、馬ノ少イ地方  
程所謂馬事ノ思想、或ハ馬ニ對スル知識ト云フモノノ普及ガ必  
要ダト云フヤウナコトモ、當局ニ於テハ御考ヘニナツテ居ル、  
サウ云フ意味カラ致シマシテモ、相當此ノ鍛鍊競技ト云フモノ  
ヲ行ハシメルト云フコトハ、各方面カラ考ヘマシテモ私ハ必要  
ダト思ヒマス、若シソレガ絕對ニ必要ダト言フナラバ、是モ  
亦整理シテシマハナケレバナラナイ、サウ云フ工合ニ全國百幾  
ツカノ中ノ大部分ヲ一時ニ整理シナケレバナラヌト云フコトニ  
ナリマスレバ、相當整理ノ資金モ要シマスシ、左様ナクシテ  
各方面ノモノヲ盛立テテヤツテ行クト云フコトニナリマスレバ  
要スルニ六十幾ツカノモノヲ整理致シマスレバ、アトハ徐々ニ  
又資金ノ償還モ出來、或ハサウ云フ方面ノ整理モ成立ツテ行ク  
ト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ點チ有エル點カラ十分ニ事情  
ヲ斟酌シテヤツテ貫ヒタイ、先ツ此ノ當然整理シナケレバナラ  
ナイ箇所ニ對スル所ノ整理ノ方法ニ付テ、色々政府ノ方テハ御  
話ガアリマスルケレドモ、表ニ現レテ居リマスル金カラ見マス

御豫定ニナツテ居ルノデアリマスルカ、ソレカラモウ一ツハ、  
各府縣ノ競馬毎ニ發賣スル所謂優勝馬ノ賣得金ト云フモノガ、  
或ハ十萬圓ノ所モアリマスレバ、二十萬圓ノ所モアル、或ハ三  
十萬圓、五十萬圓ト云ツタ所モアリ、又二三萬圓程度ノ所モア  
リマスルガ、是等モ五萬圓或ハ十萬圓、二十萬圓、五十萬圓、  
百萬圓ト幾ラ賣ツテモ、同ジヤウニ此ノ納付金ヲ出サナケレバ  
ナラナイノデアリマスルカ、小サイ僅カ五萬圓以內ノ所テハ中  
央會ノ方ニ納付金ヲ餘リニ納メマス、ソレテナクトモ其ノ競  
馬ノ執行並ニ内容ハドウナリマスカ分リマセヌガ、或ハ其ノ一  
部ヲ以テ從來ノ馬事施設ニ充テルト云フヤウナコトニナリマス  
レバ、ソレガ非常ニ至難ナコトニナリ、或ハ三十萬圓、五十萬  
圓、百萬圓ト賣レル所ニ於キマシテハ、相當是ハ歩合チ高メマ  
シテモ、其ノ殘リニ依ツテ十分ニ施設ガ出來ルト云フヤウナコ  
トニナリマスノテ、當然私ハ納付金ニ付キマシテモ、其ノ賣得  
金ノ高ノ如何ニ依ツテ、歩合ヲ付ケテ納付セシメルコトガ適當  
テナイカト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ點チ御伺シテ置キタ  
イト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ入場料ノ問題デアリマスガ、  
本法ニ依リマス、入場料ヲ徵收スベシトアルノデアリマ  
スルガ、是ハ「入場料ヲ徵收スルコトヲ得」ト云フヤウニ改メ  
實際地方ノ實情ニ依ラシメマスコトガ、最モ適當テナイカ、斯  
様ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御意見チ承ツテ置  
キタイト思フノデアリマス、尙ホモウ一ツ序デアリマスルカラ  
是モ同時ニ承ツテ置キタイト思ヒマス、是モ過日來各委員ヨリ  
質問サレテ、御意見チ御聽キシテ居ラレル問題デアリマスガ、

レバ、私ハ極メテ不安ヲ感ジテ居ル譯デアリマスルカラ、出來  
ルナラバ其ノ内容ノ御話ヲ願ヘレバ洵ニ仕合セダト思フノデア  
リマス

○尙見政府委員 競馬場ノ整理ニ付キマシテハ、出來ルダケ整  
理サレル競馬場ニ對シテ、御迷惑ノ掛ラナイヤウニ致シタイト  
云フコトハ、申上ゲテ居ルノデアリマス、其ノ中申上ゲ得マス  
コトハ、現在法規テ以テ、軍馬資源保護法ノ附則ノ二項テ、軍  
用保護馬鍛鍊中央會ハ整理ニ必要ナ事業ヲ行フコトガ出來ル、  
斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ團體ガ出來ル  
ダケ整理ノ援助ヲシテ參リタイ、ソレニ對シテハ資金ハ何處カ  
ヲ持ツテ來ルノカト云フ御話デアリマスガ、一部分ハ鍛鍊馬競  
走ノ施行者ガ納付致シマス金ガ、之ニ充テラレル譯デアリマス  
其ノ他ニ付キマシテハ、私共ト致シマシテハ出來得ル限り、ソ  
レ不足ノヤウナ場合ニハ、困難チ生セシメナイヤウニ資金ノ  
供給方法ナリ、何ナリニ付テ努力致シタイト申上ゲル程度テ、  
御諒承置キヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ鍛鍊馬競走ノ  
施行者ノ收入ガ不足テ、出來ナイト云フヤウナモノニハ、開催  
費デアルトカ賞金等ニ關スル費用モ、中央會等ヲ通ジマシテ助  
成シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○服部(考)委員 ソレカラ第十一條ノ問題ト、中央會ニ納付ス  
ル納付金ノ問題デアリマスガ、是モ既ニ御尋ニナツタコトト思  
ヒマスルガ、此ノ中央會ニ納付致シマスル納付金ハ、優等馬票  
ノ發行ニ依ツテ得タ所ノ金額ノ百分ノ二十五ノ中カラ、納付ス  
ベキモノデアラウト考ヘルノデアリマスガ、其ノ歩合ハドレ位

優勝投票ノ金額ノ問題デアリマス、是モ現在法規テハ三圓ト云  
フコトニナツテ居リマス、是ハ今日ノ通貨ノ狀況、貨幣價值ノ  
關係等ニ依ツテ、之ヲ五圓以內ト云フコトニシテ、尙ホ開催日  
數ヲ六日以內ト云フコトニシテ、ソレテ地方ノ實際ニ即セシム  
ルコトガ宜イノデアナイカト云フ質問ガアツタノデアリマスガ  
之ニ對シテ、金額ニ付テハ政府ハ唯三圓程度ガ適當ダト思フト  
云フヤウナ御答辯デアリマスガ、從來之ヲ三圓ニ致シマシテモ  
又五圓ニシタト云ツタ所テ、別段弊害チ伴フモノデモナカラウ  
シ、寧ロ五圓以內ト云フ風ニシテ、僻陬ナ方面ノ都市ト違ツテ  
大阪又ハ東京、名古屋ト云フヤウナ大キナ都市ヲ中心トシタモ  
ノニ付テハ、或ハ之ヲ五圓程度ニシテモ、決シテ弊害ナドハ生  
ズルモノテナカラウト考ヘルノデアリマスガ、尙ホ一段此ノ點  
ニ付テ政府ノ御意見チ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○尙見政府委員 只今御尋ノ軍用保護馬鍛鍊中央會ノ納付金ニ  
關スルコトデアリマスガ、軍用保護馬鍛鍊中央會納付金ハ、優  
等馬票總發行高ニ依ツテ、御話ノヤウニ、差異チ設クル豫定テ  
ゴザイマス、既往ノ實績等カラ致シマシテモ、或ハ從來公認競  
馬ノ方テモ致シテ居リマシタノデスガ、發行高ノ多少ニ依リマ  
シテ相當納付金ノ歩合ニ、差異チ設ケテ參ルト云フコトニ致シ  
タイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、只今御話ノヤウニ五萬圓未  
滿ト云フヤウナモノハ、極ク僅カノ例ハバ百分ノ一半ナラ  
一半ト云フヤウナ程度ニテモ致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマ  
ス、其ノ他ノ場合ニ付キマシテハ只今申上ゲマシタヤウナ標準  
テ、決定致シタイト思フノデアリマスガ、是ガ又軍用保護馬鍛

鐘中央會ノ所屬會員ニナリマス、鍛鍊馬匹競走ノ施行者ノ數トカ整理シテ參ル地方競馬ノ債務ノ總額ト云フヤウナモノニ依リマシテモ、相當ニ異動ガアリ得ルヤウニ考ヘテ居リマスノデ、只今此處テ何割トハツキリ申上ゲテシマフコトガ、一寸困難ナ事情ニアリマス、勿論研究ハ致シテ居ルノデアリマスガ、ハツキリ申上ゲ兼テ居ル點ガゴザイマス、ソレカラ入場料ハ公認競馬トノ關係上、必ズ徵收スルト云フコトニ決メタノデゴザイマスガ、尤モ命令ノ規定ニ依リマシテ、入場料ヲ免除スルモノヲ定メル積リデアリマス、併シ金額ハ只今ノ豫定デハ大體五十錢以內ニ致シタイト云フ見込ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ優等馬票ノ金額ヲ三圓ト定メマシタノハ屢々申上ゲマシタヤウニ、只今ハ景品券ト云フヤウナコトテ一圓ニナツテ居リマスノデ、其ノ三倍ト云フコトデアレバ適當デアラウト考ヘマシタノデ、御説ノヤウナ點モ色々御意見ハアラウト思ヒマスガ、只今デハ三圓ト云フコトニ致シタイト考ヘテ居ル譯デゴザイマス

○服部(岩)委員 非常ニ結構ナ御答辯デアリマスガ、今御話ノヤウニ或ハ地方長官ノ命令ノ中ニサウ云フモノヲ局限シテモ宜イ、サウ云フコトモ爲シ得ラレルト云フ意味モ、此ノ法案ノ中ニハ合ンテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、如何ニモ此ノ徵收スベシト云フ法文ハ、餘リニ地方ノ實情ニ副ハナイヤウナ氣分ガシテ居リマス、ソレデ大體コホ徵收スルコトヲ得ト云フヤウナコトニシテ、サウシテ實際地方ノ實情ニ副ハシメテ行ク、公認競馬ノ方ハドウ云フヤウニナツテ居ルカ私ハ存ジマ

セヌガ、特ニ斯ウシタ地方的ナモノニ付テハ、サウ云フ風ニサレタ方ガ穩當デアアル、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、別段是ハ重ネテノ御答辯ハ求メマセヌガ、サウ云フ氣分ガシテナラナイノデアリマス、此ノ事ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、以上デ私ハ其ノ點ノ質問ヲ終ツタ譯デアリマスガ、要スルニ荷毛軍馬資源保護法案ト云フ一ツノ法律マテ拵ヘマシテ、サウシテ此ノ施設ニ依ツテ馬政上一ツノ大キナ效果ヲ齎サントサレテ居ルノデアリマスガ、是ガ極メテ一部ニ偏シテ實行出來ナイヤウナ破目ニ陥ラヌヤウニ、私ハ特ニ此ノ點ヲ當局ニ御願シテ、質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○坪山委員 一寸關聯事項デアリマスカラ一言御同致シマス、ソレハ皆非常ニ困ツテ居ル入場料ト、地方稅ノ關係ノコトデアリマスガ、是ガドウナルカ、實ハ現在競馬ヲ施行スル上ニ於テモ、或ル縣デハ地方稅ヲ課ケ、或ル地方デハ課ケナイト云フコトニナツテ居リマシテ、實ハアレ等モ地方稅ハ課ケナイト云フコトニ大體話ハ纏ツタノデアリマスガ、未ダニ徵收サレテ居ルノデアリマシテ、非常ニ迷惑シテ居ルノデアリマス、其ノ關係ハドウ云フコトニナリマスカ

○青見政府委員 只今ノ入場稅ニ付キマシテハ、現在ハ國稅ノ入場稅ダケデゴザイマス、ソレカラ優等馬票ニ付キマシテハ、地方稅ノミデアリマスガ、是ハ從來ノ程度ニ止メルヤウニスルト云フコトニナツテ居リマス

○坪山委員 尙ホ御尋ネシマスガ、サウスルト地方稅モ徵收スルト云フコトニナリマスカ、サウナリマスト非常ニ負擔ガ重ク

ナリマシテ、是ハ將來ノ鍛鍊技ヲヤル上ニ於テ、重大ナル關係ヲ持ツト思ヒマスカラ、ソコヲ能クハツキリト御伺ヒシタイ

○倉上說明員 便宜私カラ御答申上ゲマス、從來ノ地方競馬ニ於テハ景品券附ノ入場料ト云フコトニナツテ居リマシタノデ、支那事變特別稅ニ依リマスル國稅入場稅ト、ソレカラ地方稅タル馬券買得稅ト云フモノガ課カツテ居ルノデアリマス、今度ハ入場料ト優等馬票トガ切離サレマシタ爲ニ、入場料ニ付キマシテハ二十三錢以上ノ額デアレバ、國稅入場稅ダケガ課カル、併シ是ハ課稅サレルモノハ個々ノ入場者デアリマスルガ、實際納メマスノハ丁度現在モヤツテ居ラレマスヤウニ、競走ノ主催者ガ代ツテ納メルト云フコトニナルデアウト思ヒマス、其ノ點ヲ考慮致シマシテ、馬票ニ對シマスル控除金ヲ百分ノ二十五ト云フコトニ、吊上ゲテアル譯デアリマス、「フアン」ノ方ニハ別ニ改メテ課カルト云フコトハナク、百分ノ二十五ノ範圍内ニ於キマシテ、稅金ヲ主催者ガ納メルト云フコトニナルデアウト思ヒマス、ソレカラ馬票ニ付キマシテ——一口ニ言ヒマス馬券ニ付キマシテハ、地方稅タル馬券買得稅ヲ從來ノ程度ニ於テ課ケテ宜シイ、其ノ宜シイト云フコトハ法文ノ上ニハハツキリ致シマセヌガ、又法文ノ上テ禁止シテ居リマセヌ爲ニ、從來課カツテ居ル所デハ課ケルカモ知レヌ、ソレハ各府縣ト主催者トノ話合ヒニ依リマシテ、寄附金ノ形ニナツタリ色々致シマスガ、兎ニ角法文ノ上テハ禁止シテナイ、併シナガラ課ケル場合ニ於テモ、從來昭和十二年當時ニ於キマシテ觀覽稅ト云フ名義デ以テ地方稅ヲ課ケテ居リマシタ其ノ額、其ノ課率ノ範圍デシカ課ケ

ナイト云フコトニ、大體內務省ト話合ガ付イテ居リマス、以上御答へ申上ゲマス

○小串委員 公認競馬ニ於テノ馬券ト云フモノハ、全然課稅ヲ課サナイト云フコトニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレデ今ノ地方競馬ガ軍馬ノ鍛鍊ト云フコトニナツテ、特ニ優等馬票ヲ出スニ當ツテ、其ノ馬票ニ對シテ稅ヲ課スト云フコトハ、私ハ非常ニ不都合ナ考ヘ方ダト思フ、第一之ヲ稅ノ對象ト致スニ付キマシテモ、從來例ガアツタカラ、外務省アタリデハ其ノ財源培養ノ爲ニ、サウシロト云フノデアリマセウケレドモ、今度ハ全部其ノ舊地方競馬ヲ整理シテシマツテ無クナル所ガアル、少クトモ一縣一ツニナルト云フ所モアル、稅ノ對象トシテノ形ガマルテ變ツテ來ル、ダカラ此ノ問題ニ付テハ改メテ考ヘテ稅ヲ課スル方ガ宜イトナレバ宜イケレドモ、私ハ公認競馬ノ馬券ト云フモノガ、今回ノ法律改正ニ依ツテ特ニ百分ノ十八課ケル、然ルニ地方競馬ガ二十五課シテ、サウシテソレヲ地方ノ會ノ負擔ト爲ス、又一方入場料ニ對シテハ入場稅ヲ課ス御承知ノ如ク馬券ニ對シテモ更ニ馬券ニ稅ヲ課ス、斯様ニ殆ド手足ヲ縛ツテ、之ニ依ツテ地方ノ馬事振興ノ資金ヲ得ヨウト云フ考ヘ方ハ、非常ニ不合理ナ話ダト思フ、第一地方ノ財源ヲ保護スルト云フノナラ、前カラアツタモノヲ置イテヤラナケレバナラヌ、之ヲ全然廢止シテ別ノモノニスル以上ハ、稅ニ對シテハ全ク別ニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ點ハ私ノ私見デアリマスガ、斯ウ云フ疑點ガアリマス、是ハ關聯質問デアリマスガ、アナタ方ノ方デハソレガ正シイト御考ヘニナツテ居ル

カドウカ、其ノ點ヲハツキリ何ツテ置キタイト思ヒマス  
○荷見政府委員 ソレハ色々御考ノアル點ダト思ヒマス、唯從來只今御話ノ通り地方財源ノ關係ト云フコトガ、非常ニ重ク考ヘラレタ譯デアリマス

(中略)  
午後零時三十分休憩

午後一時四十八分開議

○東委員長 ソレハ午前ニ引續キ開會致シマス

○山崎委員 私ハ馬ノ問題ニ付キマシテハ殆ド素人デゴザイマスノテ馬政計畫ノ問題ニ付キマシテ——色々訓練上ノコトニ付キマシテハ先輩ノ方々カラ承リマシテ、色々教ヘテ戴ク所ガ多クアリマシテ、喜ンテ居ル次第デアリマス、就キマシテハ馬ハ國防上缺クベカラザル大切ナモノデアアルコトヲ知ルコトガ出來マス、更ニ日支事變下ニ入りマシテ、中支ノ方面テ軍馬ノ慘狀ヲ目ノ當リ視察シテ參リマシテ、同時ニ又小笠原代議士其ノ他ノ方々ト、滿洲國ノ馬ノ狀態、其ノ他國防軍備ノ狀態ヲ見テ來マシテ、馬ニ對シテ是ガ國防上缺クベカラザルモノデアリ、益益馬ノ必要性ヲ痛感シテ歸ツタ次第デゴザイマス、私御尋シテ見タイト思ヒマスノハ、實ハ馬政計畫ニ對シマシテ、只今申上ゲマシタ如ク、國防上益々擴充大シナケレバイケナイト云フ見地ニ立到リマスルナラバ、馬ニ對スル計畫ヲ根本カラ改メル必要ガアリハセヌカト考ヘル、其ノ點ヲ二三御尋シテ見タイト考ヘマス、問題ハ豫算ニナリマスガ、ソレニ要スル豫算ハドレ

ガシ、其ノ外ノ豫算トシテハドレダケデアリマスカ  
○荷見政府委員 十四年度ノ新規ノ分ハ只今申上ゲタ通りデアリマシテ、ソレト元ノ分ヲ合計致シマスト、二千七百十八萬圓バカリニナリマス

○山崎委員 斯ク御同致シマスルナレバ、馬政計畫ニ對シマシテ要セラレル費用ノ其ノ三分ノ二ト云フモノガ、殆ド競馬會カラノ納付金ニナルコトニナリマス、私ハ劈頭ニ申上ゲマシタ如クニ、素人デゴザイマスノテ、細部ニ互ツテ色々技術上ノコトハ分リマセヌケレドモ、唯國民ノ一人トシテ考ヘマスル場合ニ競馬ニ對スル所ノ國民ノ考ヘ方ハ如何デアアルカト云フコトガ、一應考ヘラレト思ヒマス、私ハ競馬ガ惡イトハ申シマセヌ、競馬ヨリ惡イモノガマダ世ノ中ニハ澤山ゴザイマス、併シナガラ競馬ニ對スル所ノ觀念ヲ國民ガドウ思ツテ居ルカ、是ハ何時カノ委員會デゴザイマシタガ競馬ノ入場料ノ問題デアリマシタカ、馬券ノ問題デアリマシタカニ付テ、ドナタカノ議員ガ司法部ノ方ニ御尋ノ時ニ、之ヲドウ斯ウ變化スルト云フコトハ、結局射倖心ヲ唆ル所以ニモナルカラ、此ノ程度ガ適當デナイカト云フヤウナ工合ニ考ヘテ云々ト云フヤウナ御言葉ガゴザイマシタ、勿論競馬ニ趣味ヲ持ツ者ハ別ノコト、其ノ外ノ大部分ノ國民テ競馬ニ對シテドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云フコトガ、社會問題トシテ取入レラレルノデゴザイマス、併シナガラ政府財源乏シクテ競馬ヲ許シ、ソレカラ收入ヲ得ナケレバナラナイト云フ様ナ國ノ經濟狀態デアラナラバ、是亦已ムヲ得マセヌ、許サナケレバナリマスマイケレドモ、ドウシテモソレカラ收入ヲ

ダケ計上セラレテ、ドレダケ支出セラレルカ、是ハ豫算説明書ヲ戴イテ居リマスノテ、見レバ直チニ分ルコトデゴザイマスケレドモ、色々ノ費目ニ分ケラレテ居リマスノテ、私ノヤウナ素人ニハ一寸成程ト云フヤウナ工合ニ昔ケナイノテス、書物ニ目ヲ通シマスヨリハ、簡單ニ當局カラ御説明ガ戴キタイト考ヘマス、即チ馬政計畫ニ對スル總豫算ハ、一箇年ニドレダケ御使ヒニナル計畫ガ立ツテ居ラレルカト云フコトト、其ノ財源ハ或ハ競馬會ノ納付金ト云フモノガアリマス、此ノ外ニ政府カラドレダケノ金ヲ出シテ居ラレルカ、此ノ二點ヲ最初ニ御尋シタイト考ヘマス、御答ヲ願ヒマス

○荷見政府委員 今回ノ馬政計畫ニ關聯致シマシテ、昭和十四年度ニ新規ニ要求致シマシタ豫算額ガ約二千一百萬圓デアリマス、此ノ外ニ從來ノモノテ豫算カラ十四年度ニ持テ或ハ加ハルモノガアリマスノテ、ソレ等ノモノヲ寄セルト、ソレヨリ増加致ス譯デアリマス、尙ホ是ノ財源ト致シマシテ、競馬會カラ政府ニ對スル納付金ニナツテ居リマスモノガ、十三年度ハ約一千萬圓位ノ豫算ニナツテ居リマスガ、今回此處テ御審議ヲ願ツテ居リマスル競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ニ依リマシテ、從來ノ政府納付金ノ率ヲ、百分ノ八カラ百分ノ一一・五ニ増加致スコトニ依リマシテ計算致シマスルト、増加ノ分ガ約七百六十萬圓バカリニナリマスノテ、總額ニ於テ一千七百六十萬圓内外ノ財源ヲ得ル譯ニナリマス、其ノ餘分ハ國庫カラ支出致シテ居リマス

○山崎委員 今昭和十四年度ニ使ハレマス額ガ二千一百萬圓何

得ナケレバナラナイトスルナラバ、根本的ニ別ノヤリ方ガアルノデハナイカ、私ハ直チニ競馬會ノ納付金ト云フモノヲ、馬政計畫ニ直チニ以テ取入レルノテナクシテ、競馬會ノ納付金ト云フモノハ、今各都市デヤツテ居リマス如クニ、東京ニ於キマシテモ、大阪、名古屋其ノ他各縣デヤツテ居リマス如クニ、劇ニ對スル觀覽稅或ハ入場稅トカ云フヤウナモノガアリマス、斯ウ云フヤウナモノガアリマス、斯ウ云フヤウナ方法テ一旦其ノ金ヲ國庫ノ財源ニ取上ゲテ、然ル後ニ馬政局ガ農林省ノ會計トシテ取上ゲテ使フト、斯ウ云フヤウナ方法ニナリマスナラバ、國防上ノ馬政計畫トシテ、權威アル仕事ニナルト思ヒマス、恰モ一方テ博奕ヲサセテ、サウシテ國防上ノ馬ノ計畫ヲ行フト云フコトハ、一等國トシテ日本ノ建前トシテ、將來東亞ノ大建設ニ進ンテ行クト云フ日本ノ建前カラ致シマスナラバ、大キナ間違ツタヤリ方デアアルト私ハ考ヘマス、之ニ對シマシテ當局ハドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルカト云フコトヲ、明確ニ御聽シテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 只今山崎氏ハ實ハ御分リト思ヒマシテ、説明ヲ省略致シタノデゴザイマス、御話ノ通りニ競馬會カラノ納付金ハ、馬政局ニ受入レルノテハゴザイマセヌノテ、是ハ一般會計ニ入レマシテ大藏省ノ總收入ノ一部分ニナル譯デアリマス、馬政局テ執行致シマスル支出ノ豫算ノ方ハ、ソレトハ別途ニ一般會計カラヤハリ支出サレル豫算ニナルデアリマス、唯法律テ金額ノコトヲ書イテ居リマスノテ、競馬法ノ第八條ノ中ニ「馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ノ爲必要ナル經費ニ充ツル金額ハ



納付金ノ額ニ相當スル金額ノ四分ノ三ヲ下ルコトヲ得ズ」斯ウ云フ制限ガ一ツアルダケゴザイマス、是ハ金額ノ關係ガ謳ツテアル譯デアリマス、而シテ只今申上ゲマシタヤウニ、昭和十四年度ノ豫算ノ如キニ於キマシテハ、勿論此ノ四分ノ三アモ金額アモ足りマセヌデ、御説ノ如クニ相當多額ノ金額ヲ、ソレ以上ニ政府カラ支出スルコトニナル譯デアリマス

(中略)

○**錫山委員** 少シ簡單ニ事務上ノ實際問題ニ付テ伺ヒタイ、地方ニ依ツテ馬ノ状態ハ色々ニ違ヒマセウガ、大體地方デドレ位ナ割合ニ、鍛鍊馬ノ御指定ヲ爲サル御豫定ニナツテ居リマスカ大體ノコトヲ承リタイ

○**佐々木説明員** 便宜私カラ御答致シマス、現在縣内ニ居リマス馬ノ中デ、軍用保護馬ニ指定ノ出來マスモノハ、大體數位デハナイカト見當テ付ケテ居ルノデゴザイマス、軍用保護馬ニ指定ヲシナケレバナラヌモノハ、總馬數ノ半數位ト見當テ付ケテ居リマス

○**小串委員** 私モ此ノ法案ノ内容ニ付テ、二三御伺致シマス、第八條第二項ニ「鍛鍊競技ニシテ優等馬ノ投票ニ關スル施設ヲ件フモノヲ行フコトヲ得ル者ハ命令ヲ以テ定ムル畜産組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル畜産組合其ノ他政府ノ指定スル法人」ト斯ウアリマスガ、是ハ何レ細則テハツキリスルデセウガ「命令ヲ以テ定ムル畜産組合聯合會」ト云フノハドウ云フ風ナモノデアルカ、ソレカラ「政府ノ指定スル法人ニシテ鍛鍊馬場ニ付政府ノ許可ヲ受ケタルモノ」ト云フ、此ノ法人ト云フノハ畜

産組合以外ノモノカドウカ、其ノ内容ヲ一寸承ツテ置キタイト思ヒマス

○**伊藤説明員** 政府ノ指定スル法人ト云ヒマスノハ、現在ノ所鍛鍊馬競走ノ施行者トシテ、馬ニ關スル畜産組合聯合會、又ハ之ニ準ズル畜産組合ヲシテ之ニ當ラシムルヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、將來適當ナル法人ガ出來タヤウナ場合ニハ、之ヲ指定致シマシテ、鍛鍊馬競走ヲ施行シ得ルヤウナ資格ヲ與ヘル途ヲ開イテ置キタイト思ヒマシテ、揭示シテアルヤウナ次第デアリマス

○**小串委員** ソレデ大體分リマシタガ、サウスルト政府ノ指定スル方針ト云フノハ、將來サウ云フ場合ヲ豫想シテ範圍ヲ決メラレタモノト認メテ居リマスガ、「命令ヲ以テ定ムル畜産組合聯合會」ト云フノハ、是ハ詰リ畜産組合聯合會モ、府縣ニ依リマスト其ノ府縣全體テナイノガアリ、色々アルノデアリマスガ將來ソレヲ指定サレルノハ、府縣ノ全區域ノ聯合會ニ限ルコトニナリマスカ、或ハ現在ノヤウニ二郡三郡ノ聯合會モアルシ、色々ナノガアリマスガ、政府ノ大體ノ方針ハ此ノ「命令ヲ以テ定ムル畜産組合聯合會」ト云フノハ、縣全體ヲ含マレルヤウナモノヲ認メラレルノカドウカチ、ハツキリ伺ツテ置キタイ

○**伊藤説明員** 只今御質問ノアリマシタ通りニ、大體ハ府縣ヲ區域ト致シマス畜産組合、ソレカラ聯合會デアリマスカラ、大體ハ縣ガ區域ニナツテ居リマスガ、サウ云フモノヲ第一次ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○**小串委員** ソレカラ先刻中央會ニ關スル納付金ノ率ニ付テ、

大體御答辯ガゴザイマシタガ、此ノ中央會ノ形ハ、競馬法ニ於ケル日本競馬會トモ事情ガ違フヤウニモ考ヘラレマスガ、併シナガラ其ノ内容ヲ法テ規定シタ所ニ依ツテ見ルト、頗ル日本競馬會ニ似テ居ル所ガアル、例ヘバ第十三條ノ中ニ、中央會ノ資云フヤウナコトニナリマスガ、ドウ位ノモノガ集リマスカ、私共ノ何時カ例示シタノニ依ルト、今度ノ中央會ハ貧弱ナモノデサウ澤山ナ金ガ集マルトモ想像致シマセヌガ、併シナガラ政府ノ豫定シタ額ヲ超過スルヤウナ場合ガアツタ時ニ——日本競馬會ノ規定モ其ノ通り可ナリ大キナ見込ヲ立テテ居ラレルノデハナイカト思ヒマスガ、中央會ノサウ云ツタ資金ノ見込ハ、凡ソドウ位ヲ要ルト云フコトヲ御考ニナツタカ、ドウカト云フコトヲ伺ツテ置キタイ

○**青見政府委員** 只今私共モ軍用保護馬鍛鍊中央會ニ、ソレ程資金ガ集マルモノカ集マラヌモノカ、中々見透シテ付ケルコトハ困難デアリマスガ、豫想ノ如何ニ拘ラズ、若シモ相當多額ノ金ガ軍用保護馬鍛鍊中央會ニ保有サレルヤウニナリマシタ場合ニハ、其ノ金額ヲ政府ニ納付セシムルヤウニ致シタ方ガ宜イト思ヒマシテ、日本競馬會ニ於ケルト同様ニ建前デ、此ノ規定ヲ置イタ譯デアリマス、又日本競馬會ニ付キマシテモ、アノ勅令ハ出來テ居リマセヌ、是ハ將來サウ云フコトヲ豫想サレル場合ノ準備デアリマス

○**小串委員** 「勅令ヲ以テ定ムル額」トアリマスカラ、私一寸疑問ニ思ツタノデアリマス、ソレカラ第十五條ノ命令事項即チ

軍用保護馬鍛鍊中央會ニ對スル命令事項ノ四ニ「役員ノ任免、職務權限及會議等ニ關スル事項」ト云フノガアリマスガ、此ノ役員ト云フノハ日本競馬會ノヤウナ風ニヤルノデスカ、ソレトモ優等馬票ヲ發行スル所ノ畜産組合聯合會ノ役員ノ中カラ選舉シテ、役員ニスルト云フノデスカ、或ハ農林大臣ノ方デ必要ナル役員ヲ任命シテ、會員ハ唯會員トナツテ居ルダケデアツテ、針デアル、例ヘバ何等其ノ會員テナイ人デモ、相當ノ學術經驗ガアルトカ何トカ云フ人チ、幹部ニ於テ適當ニ任命スルト云フ意味デアリマスカ、或ハ免職ヲスルコトガ出來ルト云フノデアリマスカ、ドウ云フ風ニオヤリニナルノカ、其ノ事ヲ一寸伺ツテ置キタイト思ヒマス

○**青見政府委員** 農林大臣ガ之ヲ任命スルヤウニ致シタイト思ツテ居リマスガ、尤モ其ノ任命ノ形ニ付キマシテハ、中央會ニ於テ選舉シタモノヲ認可スルトカ、或ハ其ノ中ノ一部分ハ全然選舉ニ任スト云フ風ナコトニシヨウカト思ツテ居リマスガ、大體ノ經過ハ農林大臣ノ任命ノ形ニナツテ居ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○**小串委員** ソレカラ附則デゴザイマスガ、是モ非常ニ重大ナ關係ガアルト思ヒマス、「軍用保護馬鍛鍊中央會ハ本法公布ノ日ニ於テ現ニ優勝馬投票ニ依リ景品券ヲ發行スル競馬施行ノ許可ヲ受ケ居ル畜産組合聯合會又ハ畜産組合ガ第三十三條ノ規定ノ施行ニ關聯シ當該競馬場ニ付爲ス設備ノ處分其ノ他ノ整理ニ關シ勅令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル事業ヲ行フ事ヲ得」トナツ

テ居リマスガ、是ハ詰リ此ノ法律ガ假ニ可決シテ四月一日ニ公布サレルト、此ノ法律ノ規定サレタ以外ノ所謂今ノ地方競馬ハ全部廢メテシマハナケレバナラヌ、併シナガラマダ競馬規則ニ依ツテ許サレテ居ルカラ、此ノ法律ガ實際ニ行ハレルマデノ間ハ今ノモノヲヤラセル、斯ウ云フコトノヤウニ思ヒマスガ、是ハドウ云フ意味デアリマスカ

○荷見政府委員 是ハ附則ノ第一項ノ規定ト關聯シテ居リマスガ第一項ノ規定ハ「本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト致シテアリマスノデ、ソレデ第三十三條ノ一般ノ優等馬票、勝馬投票券若クハ之ニ類似ノモノノ禁止ノ條項、是ハ昭和十五年ノ一月一日以後ニ施行スルヤウニ定メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ施行ノ見込ガ十五年ニナルノデアリマス、サウナリマスソレニ關聯致シマシテ整理ヲシナケレバナラヌ地方競馬ガ、出來テ來ルノデアリマス、是ハドウ云フモノヲ中央會ガ整理スル對象ト致スカト申シマス、此ノ法律ヲ公布致シマシタ時ニ、現ニ優勝馬投票ニ依ツテ最品券ヲ發行スル競馬施行ノ許可ヲ受ケテ居ル畜産組合會又ハ畜産組合ト云フ、モノノ競馬場ノ整理ニ付テハ、軍用保護馬鍛錬中央會ガ之ヲ致スト云フコトニナル趣旨ヲ書イテアル次第デゴザイマス

○小野委員 ソレハ分リマシタガ、日本競馬會ノ法律ガ改正ニナツタ時ニハ、一箇年間各地ノ競馬ニ對スル猶豫ヲ見ラレタノデアリマスガ、今回ノ是ハ八箇月、即チ今ノ御答辯ニ依ルト四月カラ十二月マテヲ見ラレタヤウデアリマスガ、果シテ此ノ短期間ニ此ノ複雜シテ整理ガ付クカドウカ、私ハ疑問ダト思ツテ

タイト考ヘテ居リマス、ソレカラ整理ヲスベキ設備、負債等ノ範圍ニ關スル問題デゴザイマスガ、大體競馬用地ノ取得ニ關スル負債、或ハ貸借契約等ニ基ク負擔、ソレカラ競馬場ノ建設物ノ買入、新設ニ依ル負債、又ハ貸借契約ニ基ク負擔、競馬場用地及ビ建設物ノ取得ニ基ク附隨ノ負擔、斯ウ云フ風ナモノヲ豫想シテ居リマス、ソレカラ整理方法ト致シマシテハ、第一ニ畜産組合聯合會又ハ畜産組合ノ申込ニ依ツテ之ヲ致スコト尙ホ整理資金等ハ特別會計シテ經理セシメテ參リタイト云フヤウナコト、ソレカラ負債整理ノ方法ト致シマシテ、又償還ノ幹旋、債務ノ保證、負債償還ノ爲ノ資金ノ融通、競馬場設備ノ處分ニ關スル幹旋等ヲ豫想致シテ居リマス

（中略）

○小野委員 私ハ極ノテ簡單ニ御尋テシテ見タイト思フノデアリマス、軍馬資源保護法外一件ニ對シテ極メテ簡單ニ御尋致シタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ今度ノ新馬政計畫ヲ御實施ニナリマス、此ノ新計畫ノ方針ニ基キマシテ生産方針ヲ御立テニナル場合ニハ、輕種系ノ頭數ハ幾頭トナル御見込デアリマスカチ先ヅ第一點トシテ伺ツテ置キタイト思ヒマス、漸進的ニ今度ノ新計畫ヲ實施ナサルト云フノデスカ、例ヘバ壯馬ノ買上時期ハ何時マデ、幼駒ノ買上ハ何時マデ、斯ウ云フコトヲハツキリ決メテ、此ノ新方針ニ依ツテ馬政計畫ガ實施サレル時ノ輕種系ノ馬ハ、大體全國ニドレダケ保有サレルカト云フヤウナ意味ノ質問デアリマス

○伊藤政府委員 御質問ノコトハ昨日モ申上ゲタノデアリマス

居ルノガ一ツ、次ニ地方競馬場ノ整理委員會ノ組織、權限ト云フコトガ、命令ヲ以テ定ムベキ事項ノ中ニ入ツテ居リマスガ、此ノ地方競馬場整理委員會ハ、ドウ云フモノヲ以テドウ云フ風ニ組織スルカ、此ノ内容ハ是ダケテハ分リマセヌカラ、今御考ニナツテオイデニナリマス内容ヲ承リタイト思フ、整理ノ對象トナルベキ競馬場ノ設備、負債等ノ範圍ニ關スル事項、是ダケノモノハ認メテヤルガ、是カラ以上ハ認メナイトカ云フコトガアリマセウガ、其ノ整理ニ關スル方法、此ノ三點ニ付テモウ少シ伺ヒタイ、詰リ此ノ參考資料ニ記載シマシタ解釋ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第一ノ期限ハ、八箇月デハ斯ウ云フ風ナ事項ヲ整理スルニ非常ニ困リハシナイカ、法人ノアソナ簡單ナ十一箇所ノモノデアツテ、アレヲ廢メルニ付テモ一箇年ノ猶豫期間ヲ置イタノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ御考ヘノ方ガ餘リ急激ニ過ギテ居ルヤウニモ思ヒマスケレドモ、是等ニ對シテ斯ウスレバ、ソレハ大丈夫ダト云フ考ヘ方ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 第一ノ御尋ノ八箇月間ニ各地方競馬ノ整理ヲシテシマフノハ、困難デハナイカ、是ハ整理ハ相當期間延長シテモ宜イダラウト思ツテ居リマス、唯昭和十五年カラ地方競馬ヲ實施致シマスコトヲ廢メタイ、斯ウ云フ考デゴザイマス、ソレカラ只今御尋ノ第二ノ地方競馬場ノ整理委員會ハ、ドウ云フ風ナ組織テスルカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ農林大臣ノ監督ノ下ニ委員會ヲ置キマシテ、整理スル重要事項ヲ審議セシメルコトニ致シタイト思ヒマス、委員ノ數ハ大體十八人程度ト致シマシテ、官廳關係ガ民間ノ人ヨリハ若干少イ數ヲ組織致シ

ガ、輕種ハ種馬トシテ必要ナモノニ止メル譯デアリマス、隨テ其ノ種馬選定上必要ナ馬ハ、競馬ニ走ラセルコトニナルノデアリマス、ソレデ競馬ニ出走シマス馬ハ、大體現狀ノ通りデアリマス、競馬ニ出走致シマス馬ノ數ハ、大體現狀ノ通りデアリマシテ、「サラブレッド」ハ現在ノ競馬ニ走ツテ居リマス「サラブレッド」、「アラブ」ニ付キマシテハ、今度中間種ノ速歩競走ヲ廢止致シマスノデ、其ノ廢止致シマシタ頭數ダケハ「アラブ」ヲ増加スルト云フ方針デアアルノデアリマス

○小野委員 サウスルト此ノ新計畫ガ完全ニ實施サレマシタ時ニハ、輕種ハ軍馬トシテハ一切使用シナイ、斯ウ云フ意味ニナリマスカ

○荷見政府委員 是ハ輕種ノ種牡馬ノ整備ト云フモノハ、出來ルダケ早ク致スノデアリマスガ、此ノ前申上ゲマシタノハ、戦列部隊所要馬ノ種牡馬ノ生産整備ハ、昭和十八年迄ト云フコトソレカラ輕種産地ニ對シテハ特ニ之ヲ早メル、ソレカラ輕種ノ牡馬ヲ中間種ノモノニ置替ヘル場合ノ設置獎勵ニ關スル事項、ソレカラ輕種産地ノ軍馬購買ニ付テ、例ヘバ明ケ二歳ノ馬ハ昭和二十年マデ、牡馬ハ昭和二十五年マデト云フヤウナ、陸軍省トノ協定ニナツタト云フコトヲ、前ニ申上ゲタノデアリマス

○小野委員 次ニ今度ノ新計畫ニ依ツテ、中間種ヲ作ルト云フ御方針デアリマスガ、其ノ中間種ハドウ云フモノト、ドウ云フモノトヲ掛合シタ中間種ヲ御作りニナル御見込デアリマセウカ是モ小笠原君アタリカラ御尋ニナツタノデアリマセウカ

○佐々田説明員 大體陸軍ノ方ノ御要望ハ乘馬、鞍馬、戦列隊

馬ヲ通ジテ中間種トナツテ居リマス、中間種ノ種類ハ既ニ御存  
 ジテアリマセウガ、「アングロノルマン」「アングロノルマン」  
 系統、中牛血種、重牛血種、此ノ四ツニナツテ居リマス、乘馬  
 ト純馬ヲハ勿論少シ違ヒマスガ、乘馬ト純馬共ニ大體ニ於テハ  
 中間種同志ノ配合ニ依ツタモノガ、一番宜シイノデアリマス、  
 乘馬ニ付キマシテハ改良ノ必要上輕種モ一部混セテ使ツテ、乘  
 馬ノ性能ヲ備ヘタモノヲ造リ出ス、純馬ニ付キマシテハ、體幅  
 骨量ヲ備ヘル必要ガアルノテ、重種ノ優良ナルモノヲ交配致シ  
 マシテ、體幅骨量ヲ出スト云フ方面ニ向ツテ、配合ヲ進メタイ  
 ノデアリマス、何處マアモ中間種ヲ作ルノガ目標デアリマス

○小野委員 ソレテハ其ノ中間種ヲ生産スル種馬ヲ求メ得ル確  
 信ガ付イテ居ルノデスカ、其ノ計畫ハ立ツテ居ルノデアリマセ  
 ウカ、何カ頂戴シタ資料ノ中ニデアリマス

○佐々田説明員 計畫ハ立ツテ居リマス、大體乘馬ト純馬ノ方  
 ノ種馬ニ付キマシテハ、支障ガナカラウカト思ヒマスガ、小格  
 純馬ノ中テ戰列駄馬ヲ造ル種馬ニ付キマシテハ、暫クノ間斯  
 ウ云フモノヲ整備スル爲ニハ、多少ノ支障モアルカモ知レマセ  
 ヌガ、大體頭數ハ充實シ得ル見込デアリマス

○小野委員 外國カラ御買ヒニナラナイデモ、間ニ合フト云フ  
 御見込デゴザイマスカ

○佐々田説明員 非常ニ多數ノ種馬ガ要リマスノテ、是等ヲ  
 全部外國ノ種畜ニ仰グ考ハゴザイマセヌガ、種馬ヲ造ル種馬  
 馬トシテ原々種ヲ少數、外國カラ入レルコトハ計畫シテ居リマ  
 ス

シテ、主トシテ佛蘭西ヨリ購買スルノデアリマス  
 ○小野委員 「サラブレット」ハ先刻御話モアリマシタヤウニ  
 公認競馬ニ依ツテ改良セラレルコトト思ヒマスガ、「アラブ」ニ  
 付テハ政府ハ將來ドウ云フ風ニ生産シ、又獎勵シテ行ク御積リ  
 デアルカ

○佐々田説明員 「サラブレット」ハ最前モ御説明ノアリマシ  
 タヤウニ、大體現狀維持ニ止メ、「アラブ」ハ現在ノ「アラブ」  
 系統馬ノ外ニ、速歩競馬ヲ漸次中止スルニ伴ヒ、相當競馬ニ出  
 走スルモノモ増加スルコトニ相成リマス、此ノ種馬テゴザイ  
 マスガ、「サラブレット」同業ニ、サウ多數ハ要ラナイノデア  
 リマス、殊ニ「アラブ」系統馬ハ「アングロアラブ」ガ主體ト  
 ナツテ居リマシテ、其ノ「アングロアラブ」ヲ造ル爲メノ「ア  
 ラブ」デアリマスカラ、大體今ノ所アハ外國カラ入レナクテモ  
 自給シ得ル見込デアリマス、併シ血液更新ノ必要モアリマスノ  
 デ、若シ入レルト致シマスレバ、佛蘭西或ハ「シリヤ」、サウ  
 云フ地方カラ出來ルダケ體格ノシツカリシタモノヲ、將來ハ入  
 レテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス

○小野委員 鍛鍊競技ニ付テ一寸伺ツテ見タイト思ヒマス、此  
 ノ間モ此ノ問題ハ皆サンカラ御尋モアリマシタガ、ドウ云フ競  
 技ヲ施行セラレルカト云フ事ニ關シマシテハ、組合セガマダ決  
 ヲテ居ナイト云フヤウナ御答ガアツタヤウニ記憶シテ居リマス  
 ガ、優勝投票ノ賣得金ヲ以テ、産馬改良ノ一助トスルト云フヤ  
 ウナ政府ノ案カラ見マスレバ、此ノ競技ハ相當「ファン」ノ興  
 味ヲ惹カナケレバ駄目ダト存ジマス、新計畫ハ中間種ノミノ軍

○小野委員 ソコテ若干問題ガ起ルノデハナイカト思フノデア  
 リマスガ、大體馬ノ改良ハ「サラブレット」「アラブ」ノ血液ヲ  
 注入シナケレバナラヌコトハ、世界的ノ常識ニナツテ居ルト考  
 ヘルノデアリマス、ドウシテモ今若干ハ外國カラ御買ヒニナル  
 ト云フ御話デゴザイマシタガ、外國カラ買フトスレバ、自然英  
 國ノ勢力範圍内カラ御求メニナラナケレバイカヌヤウニ考ヘル  
 ノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ何カ支障ヲ來スヤウナコトニナ  
 リハシナイカ、又外國ニ依存セズシテ、大體日本内地ノモノデ  
 間ニ合ハセルト云フコトデアレバ、資質ノ低下ヲ見ヤシナイカ  
 斯ウ云フコトノ心配ガアルガ其ノ點ハドウ考ヘマスカ

○佐々田説明員 馬政計畫ノ方ニ載ツテ居ル外國カラ輸入スベ  
 キ種類ト致シマシテハ、輕種ハ「アラブ」「アングロアラブ」「サ  
 ラブレット」、中間種ハ「アングロノルマン」、重種ハ「ベルシ  
 ユロン」ト云フコトニ限定サレテ居リマスガ、其ノ中テ英國カ  
 ラ買ハナケレバナラヌコトハ、大體ニ於テ「サラブレット」ニ限  
 定シテ居ルノデアリマス、「サラブレット」ハ今同ノ方針ニ依  
 リマシテモ、サウ多數ヲ要シナイノデアリマスカラ、從來ノ補  
 充ニ止マル程度デ、數箇年毎ニ極メテ少數ノモノヲ入レテヤレ  
 バ宜イノデアリマシテ、サウ英國ニ依存シナケレバナラヌコト  
 ハナカラウト思ヒマス、唯今同ノ方針ニ副フ「アングロノルマ  
 ン」ニ付キマシテハ、相當多數原々種トシテ必要デアリマスノ  
 デ、是ハ佛蘭西カラ買ツテ來ルコトニ相成ル譯デアリマス、重  
 種ノ「ベルシユロン」ノ如キモ同様デ、是モ佛蘭西デアリマス  
 最モ多數要ルノハ原々種トシテ「アングロノルマン」デアリマ

用保護馬テ此ノ競技ガ實施セラレルト云フ意味デアリマセウカ  
 ドウモ私共考ヘルニ、競馬ノ興味ハヤハリ非常ニ速ク走ルト云  
 フ所ニ、大體其ノ中心點ガアルヤウニ思ヒマスガ、車ヲ曳カセ  
 タリ、ノロノロトシタ驅ケ方ヲシテ居ルノデハ、一向人ガ集ツ  
 テ來ナイヤウニ思ヒマス、サウスルト政府ノ折角計畫ニナツ  
 テ居ル賣得金ニ依ル産馬獎勵、又之ヲ通シテ馬事思想ノ普及ト  
 云フヤウナ目的ニ副ハナイヤウニ考ヘマス、ソレデアハリ競技  
 ノ中ニ輕種ノ出走ノ機會ヲ與ヘテ組合セテヤルノガ、私ノ意見  
 トシテハ一番良イヤウニ考ヘマスガ、サウ云フ具體的ノコトハ  
 マダハツキリ御決マリニナツテ居ラヌノデアリマスカ、組合セ  
 ハ決マツテ居ラヌガ、輕種ノモノハ一切出走サセナイト云フ御  
 方針デアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○佐々田説明員 便宜カラ御答申上ゲマス、鍛鍊馬競走ハ軍  
 用保護馬ノ競走デゴザイマスカラ、軍用保護馬ト云フモノノ中  
 ニ、現狀ト致シマシテハ、輕種ノ血液ノ多分ニ入りマシタモノ  
 デモ、採ラナケレバナラヌ實情ニアリマス、隨ヒマシテ假令輕  
 種ト雖モ軍用保護馬ニナリマス限リハ、走ルコトガ出來ル譯デ  
 ゴザイマス、併シ輕種ノモノヲ軍用保護馬ニナラヌデモ好シ  
 走ラセルト云フヤウナコトハ、考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ興  
 味ト云フ方面チ中心ニ、競馬ノ競走ノ種類ヲ考ヘルト云フコト  
 ニナリマシタナラバ、御説ノ如ク成ベク速ク走ルモノヲ持ツテ  
 來テ、非常ニ愉快ニヤルヤウナコトニナル譯デゴザイマスガ、  
 元々軍馬資源ノ保護ヲ目的ト致シマスル此ノ法ノ中ノ、鍛鍊ノ  
 一部分トシテ考ヘル競走デアリマスカラ、餘リ輕種ノ輕イモノ

バカリテ集メテ來テ、非常ニ面白イ競走ヲ仕組ムト云フヤウナ  
コトヲ考ヘテ居リマセヌ

○小野委員 ソレハ御趣旨ハ能ク分ルノデスガ、併シ一方ニ於  
テ人ヲ澤山集メテ、其ノ金ヲ獎勵ナリ普及ナリテヤラウ、又中  
央ニ中央會ナシカ拵ヘテ、ドウノ斯ウノト仰シヤル、其ノ方針  
カラ言フト、ドウモ理論トシテハ私非常ニ能ク分ルノデスガ、  
實際問題トシテハ非常ニソコニ缺陷ガ出來テ來ハシナイカ、是  
ハ老婆心ト云フカ知レマセヌガ、サウ考ヘルノデスガ、其ノ點  
ノ御考慮ヲ、サウ云フ心配ハナイト仰シヤルナラバ仕合セテア  
リマスガ、私ハドウモ非常ニ心配スルノデスガ、ウマク此ノ計  
畫ノ運用實施ガ出來ルト云フコトニ、當局ハ御考ヲ持ツテイラ  
ツシヤイマスカ

○荷見政府委員 運用實施ハ、成ベク差支ナイヤウニ實行致シ  
タイト思ヒマス、アトハ是ハ御見込ノ問題ダト思ヒマス

○小野委員 ソレカラ私前ノ速記録ヲ見マシタガ、一寸アリマ  
セヌヤウナ氣ガ致シマシタガ、軍用保護馬ニ指定スル馬ハ、驕  
馬ニ限ラレテ居リマスカ

○佐々木説明員 驕馬ニ限リマスト申上ゲ兼ネルノデ、一部ノ  
牝馬ガ入りマス、驕馬ト蕃殖ニ使ヒマセヌ牝馬トガ入りマス

○小野委員 私ハソレヲ同ヒタカツタノデゴザイマス、吾々ノ  
地方、是ハ縣會ミタイニナツテ甚ダ相濟ミマセヌガ、青森縣ノ  
津輕地方ニ於キマシテハ、驕馬ダケニ限リマスト、豫定ノ頭數  
ヲ集メルト云フコトハ實際困難カト思ヒマス、蕃殖用ニ使ツテ  
居リマセヌ、此ノ農務馬ニ使ツテ居リマス所ノ牝馬モ、規格ニ

イ所デアラウト思ヒマス、其ノ點ヲ特ニ御考慮ヲ願ヒマシテ、  
將來ニソレヲ増額スルコトニ兩省當局ノ御努力ヲ御願シタイト  
云フコトヲ申上ゲマシテ、其ノ點ニ關シテ更ニ今一應御意向ヲ  
伺ツテ置キタイ

○荷見政府委員 此ノ軍馬資源保護法ニハ、何圓ト云フ規定ハ  
ナイノデアリマシテ、所要經費ハ出セルコトニナツテ居リマス  
豫算ノ方ガ許シマスレバ金額ハ増加出來マス、豫算ノ金額ナド  
ニ付キマシテハ、再々申上ゲタ通りデアリマス

○小野委員 モウ一點伺ツテ置キタイ、輕種産地救済ト云ツテ  
ハ何デアリマスガ、輕種産地ニ於テハ斯ウ云フ不滿ガアルノデ  
アリマス、政府ハ今度ノ計畫ヲ實施スルニ當リマシテ、餘リニ  
早ク發表シタ爲ニ、昨年ノ驕ニモ非常ナ影響ヲ及ボシ、損害ヲ  
掛ケタト云フヤウニ、産地デハ考ヘテ居リマス、議會間際ニ發  
表シテ呉レタ方ガ、寧ロサウ云フ迷惑ヲ被ラナカッタト思ヒマ  
スガ、ソレニ對シテドウ云フ風ニ賠償スルトカ云フヤウナ要求  
デハ無論アリマセヌケレドモ、將來輕種ヲ或ハ滿洲トカ、北支  
トカ、中支トカ、競馬ノ盛ンナ地方ガ多イノデアリマスカラ、  
サウ云フ方面ニ仕向ケテヤルヤウナ御方針ヲ立テラレマシテ、  
輕種産地救済ノ一端ニシテ戴キタイト、吾々考ヘテ居ルノデア  
リマスガ、ソレニ對スル政府ノ御意向ヲ伺ヒタイ

○荷見政府委員 御話ノ趣旨ハ能ク御同致シテ置キマスガ、中  
滿洲等ニサウ思フヤウニ輕種ヲ出スコトハ、困難ダト思ヒマ  
ス

○小野委員 私ハ大體是デ止メテ置キマス

合格スルモノガアレバ、此ノ中ニ加ヘテ戴キタイト云フ希望ヲ  
持ツテ居ツタモノデスカラ、今ノヤウナコトヲ御尋シタノデア  
リマスガ、其ノ御答辯ヲ伺ツテ満足ヲ致シマス、ソレカラ是ハ  
モウ此ノ席デ、非常ニ繰返シテ質疑應答ヲ重ネマシタ問題ノヤ  
ウデアリマスガ、補助費ハイカヌトカ獎勵費ガイカヌトカ云フ  
ヤウナ言葉ノ上ニ、私ハコダハリマセヌガ、軍用保護馬ニ對ス  
ル三十七圓、助成金ト申シマセウカ、現在ノ法律デハ、補助金  
デアリマスガ、是ハ誰ガ見テモ少イコトハ、此ノ委員會ニ於ケ  
ル一致シタ考ノヤウデアリマスガ、金額ヲ申上ゲマシテハ甚ダ  
何デアリマスガ、最低百圓位ハドウシテモヤラナケレバ、完全  
ナ軍用保護馬ノ確保ガ出來ナイヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデアリ  
マス、是ハ私カラ申上ゲルノハ變デアリマスガ、最初當局ニ於  
キマシテハ、六十圓位ノ見込ヲ持タレテ、大藏省ニ交渉シタヤ  
ウデアリマス、結局現在ノ所ニ落付イタ、モウ少シ之ヲ議會ノ  
空氣ガ大藏當局アタリニ反映致シマスレバ、又農林當局ナリ陸  
軍當局ナリガ強イ——是ハ此ノ間陸軍大臣カラモ、他ノ政府委  
員カラモ御説明ノアリマシタヤウニ、大砲ヲ飛行機ト同様ナ軍  
器ダト云フ考カラ致シマスレバ、當然百圓以上ヲ政府ニ出シテ  
戴イテモ、或ハ足ラヌカモ知レマセヌガ、三十七圓アハドウ云  
フ方面カラ見テモ、満足スルコトガ出來ナイダラウト思フノデ  
アリマス、ソレデ年ニ一回位出マスナラバ、三十七圓ノ旅費デ  
モ、或ハ只デモ宜イノデアリマセウカ、兎ニ角二十四圓ト云フ  
義務ヲ負ヒマス以上ハ、ソレハ百姓ノ方カラ申シマスレバ非常  
ニ苦痛ダト云フコトハ、是ハ全國的ニ見マシテ議論ノ餘地ノナ

○東委員長 是テ全部質問ハ終了致シマシタ、補足的ノ質問ガ  
アリマシタナラバ、今後テモ幾多ノ機會ガアラウト思ヒマス、  
決シテ無理ニ發言ヲ中止スルコトハ致シマセヌガ、適當ノ機會  
ニ……

○小笠原委員 一寸一言……、此ノ間農林サンノ御答辯ノ  
中ニ軍馬ノ購買總頭數ハ七千五百頭、其ノ中輕種ガ約四割内外  
シカナイ、隨テ今マテ購買シタモノハ全部輕種ノヤウニ言ハレ  
タガ決シテ全部デハナイ、購買頭數ノホンノ四割或ハ三割五分  
位ニシカナラナイノダ、斯ウ云フ數字の御説明ガアツタノデ  
アリマスガ、軍馬購買總頭數七千五百頭ト云フノハ、軍馬ノ一  
箇年ニ御購買ニナツタ總頭數ノコトヲ仰セニナラレルノカ、或  
ハ又其ノ中ノ乘馬ヲ仕譯シテ御話ニナツタノカ、ソレヲ承リタ  
イト思ヒマス、若シソレガ總頭數デアツタトシタナラバ、其ノ  
總頭數七千五百頭ノ中、乘馬ガ幾頭アツテ、ソレカラ輕馬、小  
格輕馬ハ幾頭アツタカ、其ノ仕譯ガ出來テ居ルナラバ、此ノ際  
御示テ願ヒタイト思ヒマス

○粟林説明員 此ノ前ニ申上ゲマシタノハ、昭和十二年マデニ  
軍馬補充部ニ於キマシテ、乘馬ヲ買上ゲマシタ七千二百四十一  
頭、此ノ中ノ仕譯ガ輕種ガ四二%ト申上ゲタノデアリマス、輕  
馬等ニ付テハ申上ゲナカッタノデアリマス

○大石委員 簡單ニ二三ノ補足質問ヲ御許願ヒタイ——鍛鍊法  
ノ第四條ニハ、軍用保護馬ヲ飼養スル者ニ對スル補助金ノ交付  
ノ規定ガ茲ニアリマスガ、是ハ御話ヲ承ルト一年ノ飼養補助ガ  
三十七圓デアアルヤウデアリマス、鍛鍊ノ度毎ニ馬ヲ曳付ケル者

ニ對スル手當ハ、三十五錢ト云フコトヲ承ツテ居リマスガ、其ノ三十五錢ヲ支給スル規定ハ何處ニモ見エナイノデアリマス、何處ニモナイ、唯飼養補助ハアリマスガ、手當、旅費等ニ關スルモノハアリマセヌ、第三條ハ指定セラレルマテノ旅費、手當ダト思ヒマス、之ヲ一點何ツテ置キマス

○伊藤政府委員 本鍛鍊ノ手當ニ付キマシテハ、此處ニ書キマセヌアモ交付シ得ルノデアリマシテ、施行規則ヲ作りマス時ニハ、其ノ中ニ入レタイト思ツテ居リマス

○大石委員 此ノ規定スベキ主ナル事項ノ中ノ第四條ノ命令事項ニ「補助金ノ額、交付時期及交付方法等ニ關スル事項」トダケアリマシテ、手當ニ關シテハナイノデアリマス、是ハ明ニ規定セラレベキデアルト思ヒマスガ……

○伊藤政府委員 只今ノ手當ノ關係ハ第四條ノ命令ニハアリマセヌケレドモ、是ハ補助金ノ方ノ關係デアリマシテ、手當ノ方ハ第七條ノ關係ニナル譯デアリマシテ、是ハ施行規則ニ規定スル積リデアリマス

○小野委員 馬ノ生産費ト放牧地ノ問題ハ、是ハ委員諸君カラ大變議論サレタ問題デアリマスガ、牧野發達ノ促進、又國有林野ノ開放ハ洵ニ結構ナ事デアリマシテ、吾々モ無論希望スル所デアリ、ソレニ依ツテ馬ノ生産費ヲ低下スルコトハ、固ヨリ喜ブベキコトデアリマス、併シナガラ無制限ニ此ノ牧野、放牧ノ採草地ヲ得ルト云フコトハ、是非至難ナコトデアリマス或ル程度ノ舍飼モ亦已ムヲ得ナイコトデアラウト考ヘルノデア

昭和十四年三月一日  
午後三時開議

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス……

○三木委員 私人地方競馬ノ負債整理問題ニ付テ、政府ノ意圖ヲ質シテ置キタイト存ジマス、其ノ必要ヲ感ジマス所以ハ、今日マテノ委員會ノ席上ニ於キマシテ馬政局長官ハ、例ヘバ「地方競馬ノ負債整理問題ニ付テハ、軍用保護馬鍛鍊中央會ヲ設ケテ負債整理ハ出來得ル限リ支障ナキ時期シタイ」或ハ又「負債整理ヲ容易ナラシムル爲ニ有効適切ナル措置ヲ執リタイ」斯ウ云フ抽象的ナ御説明シカ相成ツテ居ラヌデアリマス、隨テ此ノ負債整理ノ責任ヲ、中央會ガ設立サレタ場合ニハソレニ轉嫁シテ、政府ハ負債整理ノ補償カラ逃レントスルニアラズヤト云フ疑問ヲ、動モスト生ズルノデアリマス、併シ申スマデモナク、今回ノ新馬政計畫ハ、現在及ビ將來ノ國際的推移ニ鑑ミマシテ、國防的見地カラ已ムヲ得ザル必要ニ基イテ計畫サレタモノデ、其ノ爲ニ從來ノ地方競馬ト云フモノヲ、政府ノ強制的意圖ニ依ツテ廢サレマシテ、全然面目チ一新シタ鍛鍊馬競走ト云フモノヲオヤリニナルノデアリマスカラ、永久ニ地方競馬ノ開催者ニ、從來ノ競馬ニ依ツテ生ジタ負債ヲ整理スルノ機會ヲ失ハス結果ニナツタノデアリマス、隨テ此ノ負債整理ノ問題ニ付テハ、政府ガ責任ヲ以テ補償スルト云フコトガ私ハ必要ダト信ジマス、就テハ此ノ機會ニ、負債整理ニ對シテハ、政府ガ責任ヲ以テ整理ノ圓滿ナル遂行ヲ保障スルト云フ御言明ヲ戴イテ置

リマス、隨テ政府ハ現在ノ物價ヲ考慮シテ、馬ノ最低標準價格ヲ御決メニナル御意思アリヤ否ヤト云フコトヲ、一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 非常ニ重大ナ問題デアリマス、研究中デアリマシテ、マダ何トモ御返事ハ出來マセヌ

○大石委員 先達御何致シマシタ騎乗者ニ對スル不正競走ノ事項、或ハ暴行脅迫等ニ因ツテ馬ノ能力ノ發揮ヲ妨ゲルト云フ騎手ニ對スル妨害ニ對シテハ、本鍛鍊法中ニ規定セズ、一般刑法ニ俟ツト云フ御話デアリマシタガ、一般刑法ノ方ヲ見マス、二百二十二條ニ「生命、身體、自由、名譽又ハ財產ニ對シテ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫シタル者ハ」云々トアリ、又第二百二十三條ニ「生命、身體、自由、名譽若クハ財產ニ對シテ害ヲ加フ可キコトヲ以テ脅迫シ又ハ暴行ヲ用ヒ」云々トアリマスガ、是ハ騎手ノ自由ヲ拘束シ、騎手ノ意思ヲ曲ゲテ、サウシテ八百長ナドヲヤラシメルヤウナ場合ニ於ケルモノニ適用スルニハ、甚ダ不當デアルト思フノデアリマス、ヤハリ是ハ本規定中ニ明記シテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、尙ホソレニ付テノ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 先般御答ヲ申上ゲタ通り、私共ト致シマシテハ一般刑法ノ規定ヲ宜シイト考ヘテ居リマス

午後三時四分散會

キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 今回整理サルベキ地方競馬ノ跡始末ノ問題、只今御質問ニナリマシタ從來ノ負債ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、私共ノ考ヲ以テ致シマスレバ、軍用保護馬鍛鍊中央會ニ於テ、其ノ組織員タル鍛鍊馬競走ノ施行者ヨリノ納付金等ニ依リマシテ、整理ニ充テル豫定デアリマスケレドモ、前回モ申上ゲマシタヤウニ、ソレノミニテハ十分ナラザル場合モ、事業ノ成績ニ依ツテハアルト思フノデアリマシテ、ソレ等ノ場合ニ於キマシテハ尙ホ其ノ他ニモ適當ナ方策ヲ講ジマシテ、從來ノ地方競馬ヲ施行シテ居リマシタ關係者ニ對シテ、迷惑ヲ掛ケルヤウナコトハ出來得ルダケ少クスルヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○三木委員 只今納付金ニ依ツテ地方競馬ノ負債整理ヲ、出來ルダケヤリタイト云フヤウナ御意向ガゴザイマシタケレドモ、是ハサウ云フ御希望ヲ持チマシテモ、三百二十萬圓ニ互ル負債ヲ、納付金ダケテ整理ガ出來ナイト云フ事實ハ、今日既ニ分リキツテ居ルノデアリマス、隨テ馬政局長官モ「ソレハ難シイデアラウ、隨テ他ノ方法ヲ講ジタイト思ヒ、内部ニ於テ色々話合アテ居ル」斯ウ云フ御答辯ヲ、二月十七日デアリマシタカ此ノ席上テ爲サレテ居ルノデアリマス、内部ニ於テ御話合ヲ爲サレテ居ルト云フノハ、大體ドウ云フ風ナ御話合ヲシテ居ルノカ大體ノ輪廓アモ御説明ガ願ヘナイモノデアリマセウカ

○荷見政府委員 只今ノ御質問ノコトデアリマスガ、ソレハ今御話致シマシタ程度ノ事ヲ申上ゲルヨリ外、ソレヨリ立入ツテ

此ノ席カラ申上ゲルコトハ困難デゴザイマスガ、兎ニ角此ノ爲ニハ、地方競馬整理ニ關スル委員會モ設ケル積リデアリマス、其ノ整理ノ委員會ヲ設ケマシテ、債務等ニ付テモ十分慎重ニ審議ヲ致シマシテ、其ノ結果ニ對スル處置ト致シマシテハ、迷惑ノ掛ラヌヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ルデアリマスカラ、此ノ程度テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三木委員 承ル所ニ依リマス、大體地方競馬ノ納付金ハ、一年ニ五十萬圓位ノ程度デアラウ、之ヲ出來ルダケ負債整理ノ方ヘ充テルト共ニ、出來得レバ日本競馬協會アタリカラ一時的ニ借入金ヲシテ、一時ニ地方競馬ノ負債ヲ整理シタイト云フヤウナ御希望チ、或ハ案ヲ御持チニナツテ居ルヤウニ聞クノデアリマスガ、果シテ其ノ點ハドウデアリマスカ

○荷見政府委員 サウ云フ風ナ方法モ一ツノ方法カト考ヘマスガ、私共ハ先刻御話ノ程度ダケ申上ゲテ置キマシテ、其ノ他ニ付キマシテハ出來ルダケ御迷惑ノ掛ラヌヤウニ善處致シタイ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○三木委員 ソレニ付テ一言申上ゲテ置キタイコトハ、若シ借入金ヲ以テマシテ負債整理シタ時ニハ、ヤハリ其ノ償還ノ義務ガ殘ルデアリマスカラ、此ノ負債整理ノ原則トシテハ、政府ガ相當ナ金額ヲ支出サレマシテ、單ナル借入金デナクシテ、負債整理ニ當ラレト云フコトガ、私ハ至當ダト思ヒマスガ、此ノ問題ハ政府モ責任ヲ以テ其ノ負債整理ノ術ニ當ルト云フコトヲ確信致シマシテ、此ノ程度テ打切り、次ニ負債整理ノ對象ニ付テ御尋致シテ置キタイデアリマスガ、ソレハ二月十五日

リマスガ、地方團體ニ債務ヲ殘シマシテ、是ガ保證ヲ致シテマシマスカ、或ハ中央會ニ於テ全部肩替リヲシテシマツタ方ガ宜シイカト云フコトニ付テハ、現在研究中デゴザイマスガ、或ル範圍ニ於テハ中央會ニ於テ肩替リヲ致シマツタ方ガ、適當デアナイカト只今ハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○三木委員 最後ニモウ少シ政府ノ御意思ヲ確メテ置キタイコトハ、今モ一寸御話ガアツタデアリマスガ、中央會ノ負債整理ニ關スル事業トシテ、馬政局長官ノ御答辯ノ中ニ、償還ノ幹旋保證、或ハ資金ノ融通ト云フコトヲ舉ゲラレテ居リマスガ、此ノ中ニハ單ニ幹旋シタリ、或ハ又融通スルダケニシカ受取レナイデアリマスガ、私ガ先般申上ゲタヤウニ、今回ノハ新シイ馬政計畫ニ依ツテ、政府ガ強制的ニ面目ヲ一新シテ、鍛鍊馬競走ヲ致サレルデアリマスカラ、地方ノ負債ニ對シテハ、單ニ幹旋バカリテナクシテ、補償ト云フ事實モ、此ノ中ニ入ツテ居ルモノト解釋シテ宜シイカドウカ承リタイ

○荷見政府委員 補償ト云フノハ私一寸解釋シ兼ネタデアリマスガ、或ハ中央會ニ於キマシテ今回ノ整理ニ依リ、地方ノ聯合會ガ負擔シテ居リマス債務デ、尙モ今回ノ制度ノ改正ニ依リマシテ、ソレテ處分シナケレバナラヌト云フ風ナ部分ノ負債ニ付キマシテハ、地方ニ於テ力ガアツテ簡單ニ償還ガ出來ルモノデアリマスレバ、其ノ幹旋チスルトカ、或ハ資金ノ融通ヲスルトカ云フ程度テ止ルモノモアルカト思ヒマス、又ドウシテモソレガ困難ナル場合ニ於キマシテハ、其ノ債務ヲ中央會ニ於テ辨償シテヤルモノモアルト思フデアリマシテ、各種ノ團體ノ狀

ノ本委員會ニ於テ、馬政局長官ハ「負債整理ノ對象トシテハ、競馬場ノ土地又ハ建築物ノ買收、若クハ設置ナドニ基ク負債、又地方競馬整理委員會ニ於テ適當ト認メタルモノニ限リ」ト云フヤウナ御答辯ヲシテ居ルデアリマスガ、地方ノ競馬ノ開催團體ニ於テ、土地建物バカリテナクシテ、色々ナ種類ノ負債ヲ持ツテ居ルデアリマス、例ヘバ競馬場ノ「グラウンド」ヲ地方公共團體トカ或ハ又他ノ團體カラ「リース」シテ居ルヤウナ場合モ、各地ニ其ノ例ガ多イデアリマスガ、其ノ賃借料ニ對シテモ、支拂ガ延滞シテ居ツテ、往々地方ニ依リマシテハ、一萬圓又ソレ以上ノ延滞地代ト云フモノヲ持ツテ居ルモノガアルデアリマス、或ハ又畜産組合ガ或ル特別ナ契約ニ依ツテ、實際ノ競馬ノ事務ヲ或ル團體ニ代行セシメテ居ルヤウナ場合ニ生ジタ色々ナ負債モアルデア、此ノ場合地方競馬ノ負債ノ對象ナルモノハ、單ニ建築物トカ、或ハ設備ナドノ競馬場建設ニ基イタ負債ノミナラズ、競馬開催ニ關スル一切ノ負債整理ノ對象ニスベキコトガ至當ダト私ハ思フデアリマスガ、左様ニ解釋シテ宜シイカドウカ承リタイ

○荷見政府委員 只今ノ御質問ノ整理ヲ要スベキ負債ノ範圍ニ付テデアリマスガ、是ハ競馬場用地ノ改善ニ依ル負債、又ハ賃借契約ニ基ク負債、競馬場建設物ノ買入、新設ニ依ル負債、又ハ賃借契約ニ基ク負債ト云フヤウナモノヲ、只今ト致シマシテハ其ノ範圍ニ考ヘテ居ルデアリマス、是等ニ付キマシテモ勿論地方競馬場整理委員會ニ於テ、十分審議決定致シタモノニ付テ整理致ス見テデアリマス、尙ホ只今御話ノ前段ノ方デア

況ニ依リマシテ、異ナルコトト考ヘテ居リマス

(中略)

○小笠原委員 私ハ種馬統制法案ノ第二十條ノ關係ノコトニ付テ、御尋致シマス、種牡馬並ニ候補種牡馬ノ飼養管理費ハ、豫算ノ範圍内ニ於テ助成スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、又優良種牡馬、候補優良種牡馬ニ對シテモ、同様ニナツテ居リマス、是ハ本年ノ豫算ニ於テデアリマスガ、大體一頭平均種牡馬ノ方ハ幾ラ、種牡馬ノ方ハ幾ラト云フコトヲ、御説明願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 豫算ニ計上致シマシタノハ、種牡馬飼養補助金ハ平均一頭當リ百八十圓、優良種牡馬飼養獎勵金ハ平均一頭當リ二十四圓、優良種牡馬設置獎勵金ハ平均一頭當リ六十圓デアリマス

○小笠原委員 今回ノ法案ニ依ツテ、種牡馬ハ全部國有トナルデアリマシテ、其ノ國有ノ中ノ大半ハ民間ニ貸付スルコトニナルデアリマスガ、其ノ飼養補助金百八十圓ト云フノデアハ、從來ノ民有馬ニ對シテモ百圓以上ノ助成ヲサレテ居ツタデアリマスガ、昨今ノヤウニ物價ガ昂騰ヲ見ルニ至リマシテ、縱シ百八十圓ニハナリマシテモ、尙ホ二三年前ノ百二十圓當時以上ノ負擔チシナケレバナラヌヤウナ状態デアリマス、前會ニ於テモ申上ゲマシタ通り、種牡馬ハ本法ノ目的達成ノ上ニ重要ナ役割ヲ持ツテ居ルデアリマシテ、是ガ百八十圓ソコラテハ到底飼養管理費ノ半分ニモ達シナイヤウナ状態デアリマス隨テ優良ナ馬産ニ對スル種ノ保存ト云フコトニ付テモ、相當ニ

考へサセラレルノデアリマスガ、將來此ノ種牡馬ノ飼養管理ノ補助金ヲ、増額スル御考デアルカ——是ヲ満足ダトハ勿論御考ニナラヌデアリマセウガ、此ノ程度ハ速モ種牡馬ノ満足ナ飼養管理ハ出來ヌト、吾々ハ考へテ居ルノデアリマシテ、ソレニ付テノ御考ヲ承リタイノト、尙ホ優良種牡馬ニ對スル飼養獎勵金ガ二十圓ヤ三十圓デ、良イ種ヲ取ルト云フコトハ、ドウモ覺束ナイ問題デアリマス、ドウシテモ相當ニ保護ヲ加へテ優良種牡馬ノ基礎ヲ作ラナケレバナラヌデアリマスガ故ニ、此ノ法案ノ出發ニ當ツテハ、相當ニ増額シテ、優良ナル種牡馬ヲ國內ニ多ク保有スルコトニナラナケレバ、本法ハ目的達成出來ナイト考へテ居リマスガ、是ハ將來相當増額スル御考デアリマスカ其ノ點チ一ツ伺ツテ置キタイ

○荷見政府委員 種牡馬飼養補助金ハ、從來一頭當リ平均百圓デアリマシタノチ、今回八十圓増額致シマシタ、優良種牡馬ノ飼養獎勵金ハ從來平均一頭當リ十圓ノモノチ二十四圓ニ増額シテ居リマス、勿論御話ノヤウニ之ヲ以テ十分ナリトハ考へテ居リマセヌ、財政ガモツト増加致シマス餘裕ガ出來マズレバ、吾トシテハ増額シテ行クノガ至當ダト考へテ居リマス

○小笠原委員 財政ノ方面カラバカリテナク、優良ナ種牡馬、種牡馬ヲ保有スルト云フ意味ニ於キマシテ、此ノ法案ノ生産力擴充ノ目的達成ノ上ニ於テモ缺陷ノナイヤウニスル爲ニハ、相當増額ノ必要ガアルト思フデアリマス、此ノ點ニ對シテ今後一段ノ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、最後ニ私ハ先達御尋申上ゲタ新馬政方針ノ改廢ニ對シテ、重要ナ役割ヲ持ツテ居ル所

スカラツレ等ノ點ハ十分參酌致シテ決定致シタイ、斯様ニ考へニ居リマス

○松尾委員 從來特別ナ契約ヲ致シテ、色々ナ事情ノアルモノガアルト思ヒマスガ、サウ云フモノモ、ヤハリソレト同時ニ御片付ケテシテ戴クヤウナコトニナルノデゴザイマセウカ

○荷見政府委員 只今御尋ノ問題ハ、大體契約ノ内容等チ十分審査致シマシテ、決定スルノガ適當アルト考へテ居リマス

○東委員長 …… 質問ハ全部終了致シマシタ、本日ハ是ニテ散會致シマス

昭和十四年三月三日 午後二時二十分開議

○東委員長 是ヨリ開會致シマス、軍馬資源保護法案、種馬統制法案、競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案、此ノ三案チ一括致シマシテ討論ニ付シマス

○佐藤委員 私ハ民政黨チ代表シテ本委員會ニ付託セラレマシタ軍馬資源保護法案、種馬統制法案、並ニ競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ三案ニ付キマシテ、我々同志ノ意見ヲ開陳致シタイト思ヒマス、是等ノ法案ハ殆ド本邦馬政ノ根本的立直シトモ稱スベキ、本期議會ニ提案セラレマシタル法案中ノ最重要ナルモノデアリマシテ、隨テ委員會チ開會スルコト十二回ノ多キニ及ビマシタ、其ノ間委員各位モ、政府當局モ、熱心眞率ニ

ノ牛馬商ノ關係デアリマスガ、此ノ牛馬商ト云フ名稱ハ、餘リ古臭クテ今日デハ非常ニ低劣扱ヒテサレテ居ルノデアリマスガ今日ノ時勢ニ副フヤウナ良イ名稱ニ改メテ御考ハナイカドウカト云フコトチ、伺ツテ置キタイノデアリマス

○荷見政府委員 名稱バカリテナク、本質ノ方ニ付キマシテモ色々改善ヲ要スベキ點ガアルダラウト思ツテ、只今種牡馬改善協議會ニ於テ、議題ノ範圍ニ加ヘタイト思ツテ居ルノデアリマスガ、御話ノ點ハ能ク承ツテ置キマシテ、十分研究致シマス

(中略)

○松尾委員 整理ノ範圍ニ付キマシテ、今一度御伺シテ見タイト思ヒマス、結局三箇所ニナツテ居リマスノチ二箇所廢止セラレマスノデ、サウ云フモノニ對シマス整理ノ範圍デゴザイマスドウ云フ風ナ御考ヲ御持チニナツテ居リマスカ、一應御伺シタイト思ヒマス

○荷見政府委員 只今御質問ニナリマシタコトハ、此ノ席デ今一寸前ニ申上ゲタ通りナノデアリマスガ、大體ニ於テ整理ノ對象トナルベキ競馬場ノ設備トカ、負債ト云フモノノ範圍ニ付キマシテハ、土地又ハ建設物ノ買收若クハ設置等ノ負債デ、整理委員會ノ適當ト認メマシタモノト云フ風ナモノニ付テ、地方競馬整理委員會チ決定シテ致ス積リデアリマス、ソレカラ三箇所アル中デ何處ヲ選アカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ鍛鍊馬競走チヤルニ最モ適當ト認メラレル地點ニ付キマシテ、十分考究チ致シテ、農林省ノ方チ認可チ致ス積リデアリマスガ、地方等ニ於キマシテモ色々ノ御事情モアリ、御意見モアルト思ヒマ

質疑應答チ重ネラレマシテ、是等法案ノ企圖スル所、民間ノ希望スル所等ガ略々闡明セラレマシタコトハ、洵ニ欣幸トスル所デアリマス、委員各位ヨリノ政府ニ對スル希望等ニ付キマシテ或ハ豫算等ノ關係モアツタデアリマセウガ、尙ホ十分満足チ得ナカツタ點モ妙クナカツタヤウデアリマス、是等ハ漸次改善セラレテ民間當業者ノ苦痛ヲ除去シ、以テ本邦馬政ノ鞏固ナル基礎ヲ樹立セラレンコトチ希望シテ已マナイ次第デアリマス

倍テ是等三案中、種馬統制法案並ニ競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ二案ニ付キマシテハ、種馬統制法ハ年來民間ノ希望致シテ居リマシタル種馬チ國有ニ統一シ、産馬ノ根本計畫チ樹立セントスルモノデアリ、競馬法ノ此ノ改正モ時局柄已ムテ得ザルコトト存ジマシテ全然政府ノ提案ニ同意チ致ス次第デアリマス

唯軍馬資源保護法ニ於キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ最モ議論ノ焦點ト相成リマシタルモノデ、本法ノ運用如何ニ依リマシテハ、馬政ノ根本ニモ影響ヲ及ボスモノデアリマシテ、熱心ニ質疑應答ガ重ネラレタノデアリマス、細目ニ互リ詳細ニ檢討セラレタノデアリマスガ、大部分ノ點ニ於キマシテハ幸ニ意見ノ一致ヲ見ルコトガ出來マシタコトハ、洵ニ幸ト存ズル次第デアリマス、然ルニ唯一ツ鍛鍊馬競走ニ於テ優等馬票等ニ地方稅ヲ課スルヤ否ヤト云フ點ニ付テ、之ニ地方稅ヲ賦課スベキモノニアラズト爲ス殆ド委員全體ノ意向ニ對シテ、政府ノ同意ヲ得ルコトガ出來ナカツタコトハ洵ニ遺憾トスル所デアリマス、是ニ於テ吾々ハ已ムテ得ズ競馬法ニ於テ是等ノ規定ヲ成文トシ

テ其ノ趣旨ヲ明ニシテ居リマスモノニ做ヒ、軍馬資源保護法第一條第四項トシテ左ノ一項ヲ加ヘマシテ、之ヲ修正可決セント致ス次第アリマス、即チ

鍛鍊馬場ノ開設又ハ維持、競走ノ觀覽、優等馬票ノ發行又ハ購買、拂戻金又ハ賞金ノ交付又ハ受領、其ノ他鍛鍊馬競走ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス  
簡單ニ其ノ修正ノ理由ヲ申上ゲマス、元來鍛鍊馬競走ニ於キマシテ地方稅ヲ課シテハイケナイト私共ハ考ヘテ居リマス、申上ゲルマデモナク是ハ國防上ノ必要カラ從來ノ勅令ニ依リマス所ノ地方競馬ハ廢止セラレマシテ、茲ニ新ナル鍛鍊馬競走ト云フモノガ施行セラレルコトニナリマシタノデ、其ノ目的ハ專ラ軍用馬ノ鍛鍊ヲ目的トスルモノデアリマシテ、性質ニ於キマシテモ現在ノ地方競馬トハ其ノ根本ニ於テ違ツテ居ル譯デアリマス、又公認競馬ハ其ノ賣得金ガ合計二億圓ニモ近クナツテ居リマスノニ、鍛鍊馬競走ニ於キマシテハ吾々ノ計算スル所ニ依リマスト、一千萬圓乃至千五百萬圓ニハ達シナイダラウト思フノデアリマス、其ノ公認競馬デアリマシテサヘモ地方稅ハ現在ニ於テハ賦課セラレテ居リマセヌノニ、軍馬資源ノ目的デアリマス鍛鍊馬競走ニ地方稅ヲ賦課スルト云フコトハ不當デアアルバカリテナク、之ニ依リマシテ鍛鍊馬競走ノ施行ヲ不可能ナラシメマシテ、強ヒテ之ヲ施行セシメヨウト致シマスレバ、主催團體ノ經濟ヲモ破壞スル虞ガ種々アルコトト存ズルノデアリマス、又公認競馬ハ政府ニ一定額ノ納付金ヲシテ居ルノデアアルカラ、地方稅ハ取ツテモ宜イデハナイカト云フガ如キ説モ聞クノ

デアリマスケレドモ、是ハ私共ハ全ク違ツテ居ルト思フノデアリマス、此ノ法ノ目的トシマス所ハ鍛鍊馬競走カラ中央會ニ一定ノ金額ヲ納付セシメマシテ、之ニ依リマシテ政府ノ所期スル所ノ目的ニ之ヲ使用セシメヨウト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ中央會ニ納メマス納付金ト云フモノハ、恰モ公認競馬ニ於キマスル所ノ政府納付金ト、其ノ性質ニ於キマシテハ殆ド違ヒノナイモノデアアルト私共ハ存ジテ居ルノデアリマス、ソレニ地方稅ガ尙ホ賦課セラレルト云フコトニナルト、所謂是ハ二重負擔ト云フコトニナリマシテ、競馬ノ開催ヲモ危カラシムルト云フコトニ相成ルト存ズルノデアリマス、斯様ニ致シマシテ此ノ法案ノ議論中ニモ種々出タノデアリマスガ、馬ニ關スル費用ハ決シテ十分デハナイノデアリマス、隨テ民間ニ於キマシテハ馬ニ關スル費用ノ一錢一厘デモ多カラントラ希望シテ居リマス際ニ、斯ノ如キ方面ニ資金ヲ流出セシメ、サウシテ所謂地方稅ヲ課スルト云フコトハ、馬事振興ノ上ニ取ツテ重大ナルコトト考ヘマス、彼此相考ヘマシテ、地方稅ヲ賦課スルコトハ不當ト存ズルノデアリマシテ、此ノ修正ヲ致サントスル次第デアリマス  
○坪山委員 私ハ只今議題トナツテ居リマス此ノ軍馬資源保護法案、種馬統制法案、競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ三案ニ對シマシテ、立憲政友會ヲ代表シマシテ意見ヲ開陳致シタイト思ヒマス、即チ軍馬資源保護法案ノ中第十一條ノ第四項トシテ左ノ一項ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、只今民政黨ノ佐藤君ノ意見ノ御開陳ガアリマシタガ、ソレト同様デアリマスガ

鍛鍊馬場ノ開設又ハ維持、競走ノ觀覽、優等馬票ノ發行又ハ購買、拂戻金又ハ賞金ノ交付又ハ受領、其ノ他鍛鍊馬競走ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

ト云フ、之ヲ加ヘテ修正ヲ致シタイト思フノデアリマス、其ノ他ノ部分ニ對シマシテハ原案ニ贊成デアリマス、此ノ際茲ニ其ノ修正ノ理由ヲ開陳スルト共ニ、二三ノ希望意見ヲ申述ベマシテ、其ノ贊成ノ意ヲ明ニ致シタイト思フノデアリマス

第二次馬政計畫ガ實施セラレテ幾許モアラザルニ、假令今次事變ノ實績トハ申シナガラ、其ノ計畫變更ノ餘儀ナクセラレタコトニ對シテハ洵ニ遺憾トスル所デアリマス、屢々其ノ計畫ヲ變革シ、之ニ依ツテ生ズル犧牲ヲ關係地方民ニノミ強フルガ如キ事ガアツテハ斷ジテ相成リマセヌ、常ニ有ユル角度ヨリ研究調査ヲ遂ゲ、一度方針確定、實施ノ曉ニハ、萬難ヲ排シテ之ヲ斷行シ、蓋ニ變革ヲ行フガ如キハ嚴ニ戒ムベキコトデアルト思ヒマス、本法案實施ニ當リマシテハ、常ニ國民ノ協力特ニ馬事團體、馬ノ生産並ニ育成地方ノ理解アル協力ヲ得ルニアラザレバ、到底所期ノ目的ヲ達成シ得ザルコトヲ覺悟シナケレバナリマセヌ

時局愈々重大ナルノ秋、一切ノ行掛リヲ捨テ、官民一體、本法案ノ眞ノ目的達成ニ邁進致サナケレバナラナイト確信ヲ致シテ居リマス、馬ガ我國國防上、産業上極メテ重要ナル役割ヲ持ツテ居リマスコトハ、今更多言ヲ要シナイノデアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シタナラバ、軍馬ナクシテ國防ノ完壁ヲ期シ難ク馬ナクシテ我國産業、殊ニ農業ハ成立ツモノデアリマセヌ、常

ニ其ノ生産ヲ確保シ、内地保有馬ノ維持ニハ一段ノ努力ガ必要デアリマシテ、ソレガ爲ニハ優良種馬ノ選定ヲ課ラズ、特ニ種牡馬ニ付テハ相當ノ犧牲ヲ忍ンデモ、優良種馬ノ獲得ニ意ヲ用ヒ、目的達成ニ邁進セラレタイノデアリマス、換言スルナラバ種馬政策ノ確立ヲ希ウテ止マナイノデアリマス、又政府ノ貸付シタル種牡馬若クハ候補種牡馬ヲ飼養スル者、或ハ優良種牡馬若クハ候補優良種牡馬ヲ飼養スル者ニ對シ補助金ヲ相當ニ増額シ、經濟的打撃ヲ與ヘザルヤウ努ムベキデアルト思ヒマス、從來種付セザル牝馬ニ對シテモ、更ニ進ンデ其ノ種付ヲ指導シ、積極的助成ノ途ヲ講ジ、大ニ生産擴充ヲ圖ルト共ニ、本法案施行ノ結果當然大ナル影響ヲ蒙ル輕種生産地方ニ對シテハ、特ニ經濟的損失ヲ蒙ラザルヤウ特別ナル考慮ヲ拂フ必要アリト考ヘラレマス

外地並ニ日滿ニ互ル馬政國策遂行ノ結果、將來苟モ内地馬政ニ大ナル影響壓迫ガアツテハナリマセヌ、馬政ノ衝ニ當ル者深ク留意スベキ事柄デアアルト信ジマス、本法案目的達成ノ爲ニハ馬産試驗局ノ設置ハ急務中ノ急務デアルト確信ヲ致シテ居リマス  
馬ガ一ノ活兵器デアリマスコトハ今更論ヲ俟タヌノデアリマス、然ルニ他ノ兵器製造工業ニ比ベテ經濟上甚ダ惠マレザル狀態ニ置カレテアリマスコトハ、洵ニ其ノ當ヲ得ザルモノト言ハザルヲ得マセヌ、物價指數ヨリ之ヲ見マシテモ、他ノ諸物價ニ比較シテ餘リニモ適正ヲ缺クヤノ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、馬ノ生産並ニ育成地方ノ實情ニ照シ、特ニ軍馬ノ購買等ニ



當ツテハ、價格ノ引上ニ向ツテ考慮ヲ煩ハス必要アリト考ヘラ  
レマス、常ニ適正妥當ナル馬ノ價格ノ維持、取引上ノ改善、牛  
馬商ノ指導、監督等ハ我國産業ノ振興、軍馬資源ノ確保、生産  
並ニ育成者ニトツテ極メテ重大ナル問題ナルコトハ多言ヲ要  
サナイノデ、速ニ適正ナル對策ヲ講ズル必要アリト認ムル次第  
デアリマス

又生産費ノ低減、即チ經濟界ノ變動ハ諸物價ノ急激ナル暴騰  
ヲ招來シ、爲ニ馬ノ生産育成上甚ダシキ困難ニ直面致シツツア  
ルノデアリマシテ、馬ノ飼料ノ如キハ極端ナル品不足ノ爲、當  
業者ノ窮況察スルニ餘リアルモノガアリマス、是ガ圓滿ナル配  
給價格ノ引下ヲ斷行スルト共ニ、他面ニ於テハ採草地ノ整備改  
善、放牧地ノ擴大、充實、思ヒ切ツタル國有地ノ開放等ハ特ニ  
喫緊事デアルト考ヘラレマス

保有馬維持ノ爲ニハ馬ノ保健衛生施設ニ大イニ意ヲ用フベキ  
デ、殊ニ事變勃發以來、獸醫師ノ激減ハ保健衛生上洵ニ憂慮ス  
ベキ現狀デアリマス、是等ノ補充對策ニ對シテモ速ニ適當ナル  
方策ヲ執ラレ、馬政ノ上ニ萬違算ナキチ期スベキデアルト思ヒ  
マス

今次事變ノ結果ハ馬ノ飼養管理ノ上ニ於テモ大ナル改善ヲ要  
スル點決シテ少クハナイト確信ヲ致シテ居リマス、特ニ國民馬  
事知識ノ向上普及ニ關シテハ、今回ノ得難キ尊キ經驗ニ鑑ミ、  
一大決心ノ下ニ是ガ徹底ヲ期スベキデ、其ノ取扱ニ付テハ學校  
其ノ他青少年教育機關、農事關係團體等ニ馬事教育ヲ施スコト  
ハ勿論、進ンテ軍事教練、青年訓練等ノ必須課程ト爲スニアラ

トスルガ如キハ、其ノ矛盾モ甚シト言ハザルヲ得マセヌ、公認  
競馬ニ於ケル馬券ト何等異ナル點ナキ優等馬票ニ對シ、強ヒテ  
課稅ヲ爲シ、經濟上、軍用鍛鍊馬競走ヲ根本的ニ施行不能ニ陷  
レントスルガ如キニ至ツテハ、本法施行ノ大目的、國防ノ完備  
ヲ期スル上ニ於テ洵ニ遺憾トスルモノデアリマス、殊ニ一方ニ  
於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ中央會ニ納付金ヲ納付セシメ、公  
認競馬ニ地方稅課稅ノ途ナキニ拘ラズ、國軍ガ特ニ要求シツツ  
アル軍用鍛鍊馬競走ノ課稅セントスルガ如キハ、其ノ眞意  
那邊ニアルヤヲ疑ハザルヲ得ンデアリマス、其ノ名義ノ何々  
ルチ間ハズ、施行者ニ更ニ負擔ヲ加重セシムルガ如キコトアツ  
テハ、全國大半ノ鍛鍊馬競走ハ決シテ成立ツモノデアリマセ  
ヌ、現在ニ於テスラ巨額ノ負債ニ悩ミ、如何ニシテ是ガ整理ヲ  
行ハンヤト日夜呻吟致シツツアル實情デアアル點ニ鑑ミ、國防產  
業上ヨリ寧ロ進ンテ保護助成ヲ加ヘ、本法施行ノ目的ヲ一日モ  
速ニ達成セシムルコトコソ、現下ノ國際情勢ニ照シ執ルベキ最  
善ノ途デアルト深ク信ジマス、是レ修正ヲ加ヘタル根本ノ理由  
デアリマス、新ニ成立セントスル軍用保護馬中央會ト帝國馬匹  
協會トノ提携協調ニ關シテハ將來一段ノ注意ヲ喚起シテ止マナ  
イモノガアリマス、本法施行ノ結果ハ市町村ノ蒙ル負擔モ決シ  
テ尠クハナイト確信ヲ致シテ居リマス、今ヤ事變發生以來市町  
村事務ハ急激ナル増加ヲ辿リ、加フルニ負擔ニ於テモ驚クベキ  
増額ヲ餘儀ナクセラレツツアルノ現況デアリマシテ、是ガ助成  
ニ付テハ特ニ深甚ナル考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマス、之ヲ要ス  
ルニ本法案ハ我國、國防上、産業上、極メテ重大ナル案件デア

ザレバ、其ノ實績ヲ擧ゲ得ナイト確信致シテ居リマス  
軍用保護馬ニ對スル一箇年三十七圓ノ助成金、一日三十五錢  
ノ日當ノ如キハ、現在ノ實情ニ即セザルモ甚シト言ハザルヲ得  
マセヌ、是ガ増額ヲ要望シテ止マナイ次第デアリマス、鍛鍊ノ  
時期、其ノ日數ノ如キモ特ニ地方ノ實情ヲ參酌シテ、農閑期ヲ  
利用シ、出來得ル限り農民ノ負擔ヲ輕減スルコトヲ忘レテハナ  
リマセヌ、サナキダニ、今ヤ軍事工業發展ノ結果ハ、勞働力ノ  
都會集中ヲ見マシテ、地方農村ハ動トモスレバ是ガ爲ニ極端ナ  
ル勞力不足ヲ告ゲンツル現況デアリマス、是ガ實施ニ當リテ  
ハ十分ナル注意ガ肝要デアリマス、多年我國馬事ノ上ニ貢獻シ  
來マシタ地方競馬廢止ノ結果ハ、直チニ地方馬事團體、並ニ馬  
事施設費ノ上ニ影響スルコト甚大ナルモノガアリマス、宜シク  
是ガ助成ノ途ヲ立テ、違算ナキチ期スベキデアリマス

從來ノ地方競馬出走馬ノ取扱ニ對シテハ出來得ル限り之ヲ軍  
用保護馬ニ指定シ、狀況ニ依リ當分少クトモ其ノ三分ノ一程  
度ノ他管區出走ヲ認メ、飼育者ノ蒙ル損害ヲ最小限度ニ止ム  
ベキデ、又競馬場廢止ノ結果ハ、當然巨額ナル負債ノ整理、補  
償ヲ必要トスルノデアリマシテ、是ガ整理、補償ニ當ツテハ急  
速ニ之ヲ實行シ、地方馬事團體ヲシテ喜ンテ本法案遂行ニ一致  
協力シ得ル機會ヲ與ヘラレンコトヲ切望シテ止マナイ者デアリ  
マス、開催日數ノ四日、又優等馬票ノ金額三圓ハ地方ノ實情ニ  
依リ其ノ日數ヲ六日マデ、金額ハ一圓乃至五圓ト爲スベキガ當  
ヲ得タモノト思ハレマス

リマス、是ガ施行ニ際シテハ官民一致協力、其ノ目的達成ノ爲  
最善ノ努力ヲ致スベキデアルト信ジマス

終リニ私ハ今次ノ聖戰ニ從軍シ、忠勇ナル將兵ノ下ニ黙々ト  
シテ日夜劇務ニ服シ、皇軍ノ光輝アル戰果ヲ扶助シツツアル軍  
馬ノ勞苦ヲ思ヒ、併セテ戰病歿軍馬ニ對シ感謝ノ意ヲ表スルト  
共ニ、銃後ノ産業ニ從事シツツアル馬ニ對シ同情ノ誠ヲ捧ゲタ  
イト思ヒマス、以上ヲ以チマシテ軍馬資源保護法案ニ對シテ一  
部修正ヲ加ヘルト共ニ、其ノ他ノ部分ニ對シテ贊成ノ理由ヲ明  
ニ致シタ次第デアリマス(拍手)

○中野委員 私人軍馬資源保護法案、種馬統制法案、競馬法ノ  
臨時條例ニ關スル法律案、此ノ政府ガ提出サレタ法案ニ對シテ  
ハ、今佐藤謙之輔君、坪山德彌君ヨリ意見ヲ述ベラレマシタノ  
デ、大體ノ理窟ハ盡キテ居ルト思ヒマス、又只今軍馬資源保護  
法案第十一條第四項トシテ、佐藤、坪山兩君ノ述ベラレマシタ  
修正ノ意見ニ對シテハ、第一議員俱樂部ヲ代表シテ贊成スルモ  
デアリマス、此ノ修正ハ洵ニ穩當ナ修正デアリマス、而シテ  
此ノ三法案ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、官民協力シテ當ラナケレ  
バナラナイノデアリマス、農林省モ、陸軍省モ、內務省モ、大  
藏省モ、皆之ニ快ヨク御同意アルコトト堅ク信ジマス、若シソ  
レニ不平ヲ唱ヘルヤウナ者ガアツタトスルナラバ、是ハ現内閣  
ノ一枚看板デアアル總親和ヲ破リ、又國民總意ノ要求ヲ蹂躪スル  
ヤウナ結果ニナラヌトモ限リマセヌ(拍手) 其ノ意味ヲ私ハ今  
ノ坪山君佐藤君ノ意見ト同様ノ意見ヲ贊成ヲスル者デアリマス  
是ダケ申上ゲテ置キマス(拍手)

**○野澤委員** 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ賛成意見ヲ申上  
 ゲタイト思ヒマス、今度政府カラ提案サレマシタ軍馬資源保護  
 法案、種馬統制法案、競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案、以上  
 ノ三法律案ニ對シマシテ大體賛成ナスル者デアリマスガ、唯一  
 點、軍馬資源保護法案中ノ第十一條ニ第四項ヲ追加スルト云フ  
 佐藤サンノ修正動議ニ對シマシテハ、私モ亦同感デアリマシテ  
 之ニ賛成ナスルモノデアリマス、只今ノ修正動議ヲ政府ガ採用  
 サレルナラバ、以上三法律案ニ對シマシテハ、滿腔ノ敬意ヲ以  
 テ賛意ヲ表スルモノデアリマス、最後ニ社會大衆黨ヨリノ希望  
 意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、即チ希望條項ト致シマシテ左ノ  
 五點ヲ擧ゲテ置キマス

希望條項

- 一、畜産經濟確立ノ爲ニ飼料ノ廉價配給制ヲ速ニ樹立セラレタ  
 シ
  - 二、馬政計畫ノ圓滑ナル發達ヲ期スル爲ニ速ニ國有林及ビ林牧  
 混淆地ヲ開放セラレタシ
  - 三、有畜農業ヲ擴充強化スル爲メ馬小作制度ノ改廢ニ資スベク  
 馬購入資金簡易融通ノ途ヲ講セラレタシ
  - 四、馬飼育者直接指導機關タル畜産組合ノ刷新ト擴充ノ途ヲ速  
 ニ講セラレタシ
  - 五、馬事育成並ニ衛生ニ對スル指導者タル獸醫師ノ養成並ニ地  
 位ノ向上ニ格段ノ注意ヲ拂ハレタシ
- 以上五點ノ希望ヲ申上ゲマシテ、社會大衆黨ヲ代表シテ、政  
 府提出ノ法律案ニ對スル修正動議ニ付キマシテ賛意ヲ表スル者

修正ノ動議ニ對シテ賛成スルト同時ニ、三案ニ對シテ政府原案  
 ニ賛成ノ意ヲ表シマス

**○小野委員** 私ハ東方會ヲ代表シマシテ、只今議題ト相成ツテ  
 居リマス軍馬資源保護法案ニ對シマシテハ、佐藤、坪山兩君ノ  
 修正意見ニ賛成ノ意ヲ表スルノデアリマス、更ニ種馬統制法案  
 外一件ニ對シマシテモ、事議下ニ於ケル必要ナル立法トシテ是  
 亦賛成ノ意ヲ表スルノデアリマスガ、此ノ際極メテ簡短ニ私ノ  
 意見ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス

日露戰爭ノ貴重ナル經驗ニ依リマシテ確立サレマシタ第一次  
 馬政計畫、即チ明治三十九年カラ昭和十一年迄三十箇年間實施  
 ヲシタ其ノ馬政計畫ハ、國家馬政ニ、産業國防ノ上ニ、相當ナル  
 貢獻ヲシ、成績ヲ擧ゲ得タコトハ、政府ト雖モ勿論之ヲ否定シ得  
 ナイデアラウト考ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ今回突如ト  
 シテ第二次馬政計畫ノ實施半バニシテ、之ヲ變更セラレマシタ  
 コトハ、少クトモ政府ガ第一次馬政計畫ノ國防ニ關スル限り失  
 敗ナルコトヲ自ラ御承認ニナラレタコトヲ、私ハ非常ニ遺憾ト  
 スル者デアリマス、今次事變ノ體驗ニ依ル計畫ノ變更ト申シマ  
 シテモ、私ハ先般ノ質疑ノ際ニ申上ゲマシタヤウニ、僅ニ一年  
 カ一年半ノ短イ經驗ナル、且又微發馬ノ成績ガ不良デアツタ  
 ト申シマシテモ、ソレハ其ノ動因タルヤ單ナル馬ノ素質機能バ  
 カリニ非難ノ焦點ヲ集中スベキデハナイト思ヒマス、殊ニ御承  
 知ノ通り、馬ニハ強イ馴化性ノアルモノデアリマシテ、相當ノ  
 方法ニ依リ、相當ノ期間ヲ經過シマスレバ、大抵ノ處ニハ馴レ  
 得ルノデアリマス、隨テ私ハ先般モ申上ゲマシタヤウニ、モウ

デアリマス(拍手)

**○三木委員** 私ハ第二控室ヲ代表致シマシテ、佐藤氏ノ修正動  
 議ノ、軍馬資源保護法案中第十一條第四項ノ地方稅賦課ニ關ス  
 ル附加修正ニ賛意ヲ表スル以外ハ、三案トモ原案ニ對シテ賛成  
 ノ意ヲ表スル者デアリマス、唯今回ノ三法案ヲ通觀シテ、國防  
 上已ムヲ得ザルモノデアルト云フコトニ對シテハ、十分ナル認  
 識ヲ持ツノデアリマスガ、此ノ新馬政計畫ガ單ナル臨時立法テ  
 ナイコト、永久的ナ馬政計畫デアルト云フコトヲ御發表ニナツ  
 テ居ル以上ハ、産業政策的ニモ馬政計畫ノ遂行ヲ御考ニナラナ  
 ケレバ、一旦必要ノ場合ニ於キマシテハ國防的ナ使命ヲ果スノ  
 デアルケレドモ、其ノ常ニ培養スル母體ハ地方産業の母體ノ上  
 ニ、此ノ馬政計畫ノ成否ガ決セラレルデアルト云フコトヲ考  
 ヘタ時ニ、將來此ノ馬政計畫ヲ遂行シテ行ク上ニハ、或ハ地方  
 ノ農業ニ對スル資金融通ノ途ヲ考ヘル、又家畜保險ヲ單ナル損  
 害保險ト云フ見地デナクシテ、一ツノ社會保險ト云フ見地ニ於  
 テ御考慮ニ相成リ、或ハ又飼料トカ牧野ノ點ニ付キマシテ、是  
 ガ低廉ニ且又理想的ニ利用ノ出來ル途ヲ講セラレテ、農家ニ他  
 ノ家畜ヲ飼養スルヨリモ、或ハ又スルト同様ニ、何等ノ經濟的  
 ナ負擔或ハ損害ヲ與ヘズシテ、喜ンデ此ノ新馬政計畫ニ協力出  
 來ルヤウナ方法ヲ御執リニナラナケレバ、馬政計畫ノ成功ハ私  
 ハ出來ナイト思ヒマス、國防的必要カラ急速ニ此ノ案ヲ御立テ  
 ニナツタ結果、産業的ニ新馬政計畫ヲ御覽ニナツテ、或ハ又ッ  
 レニ關スル施設或ハ政府ノ考慮ノ方法ガ私ハ足りナイト思フ、  
 冀クハ此ノ點ニ付テ十分ナル御研究ト、萬遺憾ナキテ希望シテ

少シ長イ經驗ニ依ツテ、戦局ガ北支カラ中支、更ニ南支方面ニ  
 擴大シテ居ル現状デアリマスカラ、戰爭ノ大局ノ上カラ是等ノ  
 戰績ヲ綜合大觀シテ、馬ノ調査成績ガ完了シタ上デ、徐ニ第二  
 次馬政計畫ヲ變更シテモ遅クハナイノデアリマス、今度ノ新計  
 畫ノ發表ハ餘リニ早計デハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデア  
 リマスガ、今日尙ホ其ノ感ヲ深ウスルノデアリマス、併シナガ  
 ラ先般陸軍大臣ガ自ラ部隊長トシテ、大變馬ニ對シテハ苦イ御  
 經驗ヲ嘗メラレタト云フ御言明モアリ、且又今度ノ計畫ハ恒久  
 性ヲ持ツ、不動ノモノデアルト云フ御言明モアリマシタノデ、  
 大臣ノ言明ニ敬意ヲ表シ、之ニ信頼ヲ致シマシテ、私ハ修正ノ  
 點ヲ認メマシテ、軍馬資源保護法案ニ賛成ヲスル次第デアリマ  
 ス、他ノ二案ニ對シマシテハ先刻申述ベマシタヤウニ、事變下  
 必要ナル立法トシテ、無條件テ賛意ヲ表スル者デアリマス

**○東委員** 是ニテ討論ハ終リマシタ、採決ニ入ルニ先ダツテ  
 其ノ順序ヲ申上ゲテ置キマス、先ヅ軍馬資源保護法案ノ修正案  
 ノ採決、次ニ修正案ノ殘ノ原案ノ採決、次ニ種馬統制法案、競  
 馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ヲ一括シテ採決致シマス、先ヅ  
 修正案ニ付テノ賛否ヲ探リマス、軍馬資源保護法案第十一條ニ  
 一項ヲ加フル修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

【總員起立】

**○東委員長** 滿場一致可決致シマシタ(拍手) 次ニ修正案ヲ除  
 キタル原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

**○東委員長** 全會一致可決致シマシタ(拍手) 次ニ種馬統制法

案竝ニ競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ヲ一括シテ採決致シマス、贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○東委員長 滿場一致可決致シマシタ(拍手)……………  
午後三時一分散會

### 宗教團體法案委員會 議事要領

#### 一、委員會成立

本委員ハ昭和十四年二月二十三日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレ次イテ二月二十五日委員長理事ノ互選ヲ爲シタリ

|     |        |        |
|-----|--------|--------|
| 委員長 | 安藤正純君  | 松岡俊三君  |
| 理事  | 北 吟吉君  | 加藤知正君  |
| 理事  | 長 井源君  | 高見之通君  |
| 理事  | 世 耕弘一君 | 曾和義弍君  |
| 理事  | 立 川平君  | 松山常次郎君 |
| 理事  | 鶴見祐輔君  | 河上哲太君  |
| 理事  | 大 島寅吉君 | 高岡大輔君  |
| 理事  | 林 平馬君  | 赤松克麿君  |
| 理事  | 紫安新九郎君 | 中野寅吉君  |
| 理事  | 藤田若水君  | 杉山元治郎君 |
| 理事  | 作田高太郎君 | 鈴木文治君  |
| 理事  | 末松借一郎君 | 椎尾辨匡君  |
| 理事  | 西田郁平君  | 三田村武夫君 |
| 理事  | 石坂養平君  |        |

#### 委員異動

三月十六日委員末松借一郎君辭任補缺村瀬武男君

#### 一、出席國務大臣及政府委員

|           |           |
|-----------|-----------|
| 內閣總理大臣    | 男爵 平沼騏一郎君 |
| 外務大臣      | 侯爵 有田八郎君  |
| 陸軍大臣      | 侯爵 木戶幸一君  |
| 文部大臣      | 男爵 板垣征四郎君 |
| 外務政務次官    | 男爵 荒木貞夫君  |
| 內務省警保局長   | 清水留三郎君    |
| 大藏政務次官    | 安藤狂四郎君    |
| 警備管財局理事   | 松村光三君     |
| 海軍政務次官    | 江口順一君     |
| 文部政務次官    | 松田竹千代君    |
| 文部省宗教局長   | 小柳牧衛君     |
| 厚生省社會局長   | 松尾長造君     |
| 傷兵保護院計畫局長 | 新居善太郎君    |
|           | 藤原孝夫君     |

#### 一、付託議案

宗教團體法案  
寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法律案

昭和十四年二月二十七日  
午前十時二十七分開議

○安藤委員長 ソレテハ開會致シマス……………初メニ文部大臣

ノ御説明ヲ願フコトニ致シマス

○荒木國務大臣 宗教團體法案提出ノ理由並ニ其ノ内容ノ概略ニ付キマシテハ、曩ニ本會議ノ席上テ申述ベタノデアリマスガ、更ニ之ヲ補足致シマシテ御説明致シタイト存ジマス

宗教團體ニ關スル現行ノ法規ハ、概ネ明治初年ノ、法制ガ未ダ整ハザル間ニ定メラレマシタ太政官ノ布告、布達、或ハ省令訓令等、種々雜多ナルモノヨリ成ツテ居ルデアリマシテ、何レモ斷片的デアツテ、其ノ數ハ三百餘ニ及ンテ居リマス、其ノ適用上往々ニシテ疑義ヲ生ジ易ク、行政上ノ不便ハ申スニ及バズ、延イテハ宗教團體ノ發達ト其ノ教化活動ヲ阻礙スルコト少カラザルモノガアルデアリマス、隨テ茲ニ宗教行政ノ根本法規ヲ制定シテ煩雜ナル在來ノ規定ヲ整ヘ、宗教團體ニ對スル國家ノ保護監督其ノ適正ヲ得ルト共ニ、他面宗教教化活動ニ便益多カラシムルハ最モ必要ナルコトト思考致スデアリマス

今本案内容ノ主ナルモノヲ申上ケレバ、現ニ神佛敎宗派ニ關スル根本法規トシテハ、僅ニ明治十七年ノ太政官布達ノ存スルノミデアリマシテ、隨テ其ノ法上ノ地位ハ甚ダ不明確ヲ免レナイデアリマス、又基督教其ノ他ノ敎團ニ於キマシテハ、法規ノ上ニ何等ノ根據ヲ有セザル現狀デアリマスノデ、本法ヲ以テ是等ニ對シテ法上ニ其ノ基礎ヲ明ニ致スコトト致シタノデアリマス、更ニ是等ノ中法人ヲラントスルモノニ對シテハ、新ニ其ノ途ヲ開クコトト致シマシテ、日常ニ於テ各種ノ法律行為ヲ營ム上ニ於テノ從來ノ甚シキ不便ヲ除去シ、以テ其ノ旺盛ナル教化活動ヲ促スノ一助ヲラシメント致シタノデアリマス、本法

至第十九條ニ互ツテ規定致シテ居ルデアリマス

新興宗教團體、即チ所謂類似宗教團體ニ關スル規定ト致シマシテハ、法案ノ第二十三條乃至第二十五條ガアリマスガ、此ノ新興宗教團體ニ對シテハ、從來專ラ警察取締ニノミ任セテ參ツタノデアリマスガ、現下ノ思想界ノ實情ニ鑑ミマシテ、是ガ設立ニ當ツテハ届出ヲ爲サシメテ、是ガ監督ニ遺憾ナキヲ期シ、一方其ノ善良ナルモノノ發達ヲ指導致シ得ルヤウニ致シタノデアリマス、併シナガラ申スマデモナク憲法ニ定メテアリマス信敎ノ自由ニ付キマシテハ、毫末モ之ヲ冒スコトナキヤウ留意致シテ居ルデアリマス

尙ホ本法案ハ、本會議ニ於テモ申述ベマシタ如ク、其ノ立案ニ當リマシテハ、從來開示セラレアリタル各般ノ意見ヲ參照シ慎重考究ノ上、其ノ要綱ヲ宗教制度調査會ニ諮リマシテ、全會一致其ノ可決ヲ見、之ニ基キマシテ加除訂正致シ、以テ本法案ヲ得タノデアリマス、幸ニ本法案ガ成立致シマスナラバ、宗教行政ハ圓滑ニ運轉セラレ、又宗教團體ノ刷新振興ニ寄與シ、特ニ斯ノ如キ時局ニ於テ生ジ易キ淫祠邪教ヲ事前ニ防止スルト共ニ、健全ナル宗教ノ發達ヲ助長スルコトガ出來ルト信ズルデアリマス、斯クテ現下ノ時局ニ處シマシテ、前途ニ横ハル幾多ノ試鍊ニ遭遇シテモ、人心ノ動ヲ防ギ、又志氣ヲ振起シ、愈々國ノ總力ヲ擧ゲテ帝國所期ノ目的達成ノ任ヲ盡スニ役立ツコトト存ジマス、此ノ見地ニ立チマシテ、本法案ノ整備ガ一日モ速カナランコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

尙ホ細目ニ互リマシテハ御質問ニ對シ、私或ハ政府委員ヨリ

二

案ノ第三條乃至第五條ハ即チ此ノ神道敎派、佛敎宗派、基督教其ノ他ノ宗教ノ敎團ニ關スル規定デアリマシテ、敎規、宗制或ハ敎團規則、管長及ビ敎團統理者等ニ關スル規定ヲ茲ニ包含致シテ居ルデアリマス、尙ホ申スマデモナク各敎宗派敎團ニ對シテハ、ソレレノ歴史、沿革、傳統ニ依ル特殊性ヲ尊重致スコトニ付テ十分ニ留意シテ居リマス、又其ノ内部ノ事ニ關シテハ、ソレレノ自治ニ委ヌルコトヲ以テ原則ト致シタノデアリマス

更ニ寺院及ビ敎會ニ關シマシテモ、寺院規則、敎會規則、或ハ住職、敎會主管者等ニ關スル基礎的法規ヲ制定スルト共ニ、寺院財產又ハ敎會財產ノ管理ノ公正ト堅實ナル運用ヲ期センガ爲ニ、財產管理及ビ處分ニ關スル規定ヲ整ヘタノデアリマシテ法案ノ第六條乃至第十二條ノ規定ガ此ノ部分ニ當ツテ居リマス又宗教團體ニ對スル保護監督ニ遺憾ナキヲ期シマシテ、一方所得稅、地租、登録稅等ニ關スル免稅ノ範圍ヲ擴張シ、或ハ土地建物及ビ重要動産ニ對スル差押禁止ノ規定ヲ設ケ、又行政上萬一ノ不當處分アル場合ニ於テハ訴願、行政訴訟ノ途ヲ開イテ其ノ救済ヲ講ジ、又他方宗教ノ敎義ノ宣布、儀式ノ執行ガ安寧秩序ヲ妨ゲ、臣民タルノ義務ニ背ク場合ニ於ケル監督規定、及ビ敎義ノ宣布、儀式ノ執行以外ノ行為ガ法令又ハ宗教團體ノ成規ニ違反シ、或ハ公益ヲ害セル場合ニ於ケル取締規定等ヲ設ケマシテ、以テ宗教團體ノ健全ナル發達ニ寄與セシメント致シタノデアリマス、本法案ニ於テハ右申述ベマシタ宗教團體保護ノ規定ハ第二十條乃至第二十二條ニ、又監督ノ規定ハ第十六條乃至

御答辯申上ゲタイト存ジマス、以上ヲ以テ説明ヲ終リマス

午前十一時五分散會

昭和十四年三月一日  
午後二時二十分開議

○安藤委員長 ソレテハ開會致シマス

○鶴見委員 私人本案ニ關シマシテ先ヅ文部大臣ニ御尋致シタインデアリマスガ、此ノ宗教團體法案ガ初メ明治三十二年議會ニ提出致サレマシテヨリ四十年ノ長キニ互ツテ、屢々困難ナ經過ヲ履マレタニ拘ラズ、遂ニ今回ハ貴族院ヲ通過致シ、本院ニ送付ニ相成リマシタコトハ、文部大臣初メ文部當局各位ノ非常ニ御努力ノ結果ト私ハ考ヘルデアリマシテ、殊ニ本案ガ此ノ際通過致シマシテ成文ト相成リマスコトヲ衷心ヨリ希望致ス一人デアリマス、斯ノ如キ重大ナル法案デアリマスルガ故ニ私ハ此ノ法案ニ關シテ先ヅ文部大臣ニ御尋致シタイノデアリマシガ、ソレレハ此ノ法案ヲ今期議會ニ御提出ニナツタ理由デアリマス、即チ只今支那ノ地ニ於テ皇軍ガ海陸空ト力ヲ協セテ奮闘シテ居リ、國內ニ於テ洵ニ緊張シタ國民意識ヲ以テ開ツテ居ル際、此ノ重要ナル宗教團體法案ガ提出致サレマシタニ付キマシテハ、是ガ單ニ從來四十年間屢々提出サレテ不成立ニ終ツテ居ツタカラ本年モ御提出ニナツタノカ、或ハ今日ノ如キ重大ナル時局テアルガ故ニ、特ニ本案ノ通過ヲ必要ト痛感致サレテ御提

三

出ニ相成ツタカラ御何致シタイノデアリマス

○荒木國務大臣 本案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テ並ニ此ノ席ニ於テ御說明申上ゲマシタ様ナ理由デアリマシテ、ソレニ依ツテ御諒承テ顯ヒタイト思ヒマスルガ、尙ホ今御尋ノ二ツノ點ニ付テハ、第一ニ今マテノ我國ニ於ケル宗教行政ハ其ノ基礎ガ甚ダ薄弱デアツテ、其ノ爲ニ或ハ淫祠邪教ノ取締ガ困難デアリ、或ハ我國ニ於ケル活動宗教ガ未ダ以テ其ノ代表的ノ地位ヲ認メラレナイ、幾多宗教行政上ニ不便ガアルコトガ一ツデアリマス故ニ之ヲ整備スル必要ガアル、第二ハ御承知ノ如ク未曾有ノ重大時局ニ遭遇致シマシテ、斯様ナ時期ニ兎角起リ易キ人心ノ動搖、又之ニ伴フ幾多如何ハシキ淫祠邪教ノ出現、又斯様ナ際ニハ時ニ歴史ノ示スガ如ク一大宗教家ノ現出ガアツテ、混亂セル宗教ノ上ニ新生面ヲ與ヘルト云フヤウナコトモ考慮セラレル等是等ヲ考慮致シマシテ、茲ニ第一ハ我國ニ於ケル人心ノ安定、宗教ヲ基礎トシテノ教化、淫祠邪教ノ取締等ヲ第一トシタノデアリマス、第二ハ時局ニ際シテ大陸方面ニ對スル我が宗教界ノ活躍ガ、過去ノ大陸ニ於ケル歐米ノ宗教ノ活躍ニ比シテ甚ダ遺憾ナ點ガ多イデアリマスノデ、今ヤ東亞ノ新秩序建設ニ際シテ宗教家ノ大ナル活躍ヲモ必要トスル斯様ナ次第デ、一方ニ於テ保護ヲシ、一方ニ於テ監督ヲシ、更ニ進ンテ是等ヲ助長スルト云フヤウナコトノ爲ニ本案ヲ提出致シタノデアリマス、詳細ハ提案ノ理由ニ依ツテ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○鶴見委員 只今文部大臣ノ詳細懇切ナル御說明ニ依リマシテ本案ガ特ニ此ノ際提出セラレタル理由ガ明ニナツテ參ツタノデア

ス、斯様ナ御話ガアルノデアリマス、然ラハ斯ノ如キ觀點カラ本案ヲ眺メマス時ニ、私共ガ大キナ疑問トシテ御伺テ致シタイト思ヒマスコトハ、此ノ第一條ノ中ニ三大宗教ヲ御舉ゲニナリマシテ、世界ノ三大宗教デアル回教ヲ御舉ゲニナラナカッタ理由ヲ伺ヒタイノデアリマス、勿論之ニ關シマシテハ、既ニ貴族院ニ於テ屢々御答辯ニナツテ居リマスルケレドモ、尙ホ本委員會ニ於テ大臣カラ直接御說明ヲ戴キタイト思フノデアリマス

○荒木國務大臣 本案ノ目的トスル所ガ、單ニ大陸經營ノ爲バカリデハナクシテ、我國ノ人心ノ安定ニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマス、宗教ハ御承知ノ如ク極メテ人心ノ機微ニ反映スルモノデアツテ、一タビ宗教行政ヲ誤リマスル時ニ、幾多ノ不幸ナルコトガ、或ハ集團トシテ起リ、個人的ニ起ツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、最近ニ於テモ斯様ナ例ハ幾多アルノデアリマス、過去ノ歴史ヲ眺メマシテモ、斯様ナ例ハ非常ニ多イノデアリマス、就中我國ノ宗教行政ト致シマシテハ、又信仰ノ中心ト致シマシテハ、大イニ考慮ヲ拂フベキ特殊ナル國體ニ吾々ガ生テ享ケテ居ル事ヲ考ヘネバナラヌデアリマス、我國ノ宗教ハ、憲法第二十八條ニ依ツテ其ノ自由ヲ御許シニナツテハ居リマスルケレドモ、特ニ二ツノ制限ヲ御加ヘニナツテ居リマス、更ニ國ノ宗祠トシテノ神社ニ對シマスル國民ノ履ムベキ道モ、嚴トシテ存シテ居ルノデアリマス、斯様ナ國柄ハ恐ラクハ世界ニ殆ド其ノ比ヲ見ナイノデアリマスカラ、我國ノ宗教行政ハ最モ重要ナ問題デアリ、最モ慎重ニ致サナケレバナラヌコ

アリマス、即チ一ツハ宗教行政上ノ色々ノ缺陷ヲ補充セラレテ國內ニ於ケル人心ノ安定ヲ圖リタイト云フ御考デアリ、第二ハ此ノ際東亞新秩序ノ建設ニ邁進シテ居ル我が日本民族ノ大陸方面ニ於ケル活動ニ便宜ナラシメル爲ニ、殊ニ宗教家ノ活躍ガ歐米各國ノ宗教家ノ活躍ニ比シテ遺憾ノ點ガアルカラ、此ノ活躍ヲ必要トスルト云フ立場カラ御提案ニナツタト云フコトヲ伺ヒマシテ、本案ガ此ノ際提出サレタ理由ガ洵ニ明瞭ニナツタコトヲ欣快ト致スノデアリマス、斯ノ如キ事情カラ本案ガ提出サレマシタモノデアルト致シマスナラバ、本案ハ名ハ宗教團體法案デアリマシテ、一見シテ國內ノ宗教行政上ノ法案デアアルガ如ク見エマスケレドモ、其ノ含蓄スル所ノ意義ニ於キマシテハ、時恰モ歴史有ツテ以來初メテト云フ如キ此ノ際デアリマスカラ、此ノ聖戰貫徹ノ目的ノ爲ニ國民ノ總力ヲ動員致サナケレバナラヌト云フ必要カラ起ツテ居ルモノト致シマスレバ、隨テ本宗教團體法案ハ、國內ノ事情ノミカラデナク、更ニ東亞新秩序建設ニ貢獻シナケレバナラヌト云フ大局的ノ觀點カラ之ヲ眺メナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ觀點カラ吾々ガ本案ヲ眺メマス場合ニ、第一ニ私共ノ疑問トナツテ居リマスルノハ、本案ノ第一條ニ於キマシテ、「本法ニ於テ宗教團體トハ神道教派、佛教宗派及基督教其ノ他ノ宗教ノ教團」云々トアル點デアリマス、即チ只今文部大臣ノ御話ニナリマシタヤウニ、我が日本ノ宗教家ノ大陸ノ活躍ヲ期待スル、又貴族院ニ於ケル宗教團體法ノ特別委員會ノ御說明ノ中ニ於キマシテモ、「愈々國ノ總力ヲ舉ゲテ帝國所期ノ目的達成ノ任ヲ盡スニ役立ツコトト存ジマ

トデアアルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ人心ノ機微ヲ動かス所ノ、而シテ其ノ運用ニ依ツテハ效果ガ非常ニ多イガ、一步誤レバ非常ニ害ノアル此ノ重要ナ宗教ヲ取扱フ上ニ於テハ、總テノ雜念ヲ排シテ、極メテ純眞ナ意味ニ於テ立法ヲスル必要ガアルノデアリマス、之ヲ一步誤リマスル時ニハ、我國ノ宗教行政ハ外國ノソレト違ツテ、非常ニ大キナ困難ニ遭遇スルノデアリマス、故ニ本法立案ニ當リマシテハ、過去ニ於ケル我國ノ宗教ヲ悉ク日本化シテ、神社ニ對シマシテモ日本人トシテノ道ヲ履ムノニ何等躊躇シナイ、躊躇シナイデハナイ、履マネバナラヌト云フ十分ナル心得ヲ以テ、而シテ信教ノ自由ノ上ニ、自己ノ安心立命ヲ得、又自己ノ内的活動、外的活動ニ於テ十分ナル所ノ安心ヲ得ル、斯ウ云フ點ヲ考ヘマスルト、我國ニ於ケル過去ノ宗教ノ活動狀態ヲ趣旨トシテ立ツテ居ルノデアリマス、斯様ニ考ヘマスルト、我國ニ於テ明治以來、殊ニ基督教ノ禁ヲ解カレマシテ、信教ノ自由ヲ御許シニナツテ以來、先般差上ゲマシタヤウナ表デ御覽ニナルヤウニ、神道——所謂宗教神道、佛教、是ガ明治以來其ノ點ニ於テ一番活躍ヲシ、基督教ハ解禁以來未ダ其ノ活動ガ十分デナイ爲ニ、此ノ立法マテニハ代表的ノ名稱ヲ用ヒテ居ナイノデアリマス、神道ト佛教ノミデアリマス、併シナガラ基督教ノ今日ノ形勢ハ、立派ニ我國ノ基督教トシテ、過般英吉利ノ聖公會ノ「ビシヨツプ」ノ決議ニ對シテ反對ヲシタ如キ、立派ナ態度ヲ執ツテ、我國ノ宗教トシテノ地位ヲ明ニシテ居リマス、故ニ此ノ基督教ヲ、既ニ四十萬カラノ信徒モアリマスシ此ノ點ニ對スル教義モ明ニナツテ居ルト云フノデ、茲

ニ今回掲ゲタ次第アリマス、其ノ他ノ宗教ハ、宗教ソレ自體トシテハ亞細亞ノ同胞ノ中ニハ幾多ノ信者モアルト思ヒマス、或ハ滿洲ニ於ケル紅卍字教、或ハ蒙古ニ於ケル喇嘛教、或ハ支那ニ於ケル所ノ道教、密教、而シテ中央亞細亞へ掛ケテ亞細亞民族ノ間ニ非常ナ信仰ヲ得テ居リマス所ノ回教、色々アリマスルガ、遺憾ナガラ我國ニ於ケル宗教活動ノ過去ニ於テハ見ルベキモノナク、又是ガ我國ニ傳來致シマシテ活動ヲ始メテ、果シテドウ云フ位地ニアルカト云フコトハ、全ク未知ナ問題デアリマス、故ニ十分ナル活動ノ範圍ガ許サレ、善意ニ活動サレテ差支ナイノデアリマス、之ニ對シテ何等ノ差別モ設ケテ居ラヌノデアリマス、ガ此ノ立法ニ當ツテハ、只今申述ベタヤウニ我が國內ニ於ケル活動狀態ヲ主トシテ立案ヲサレテ居リマスルガ爲ニ、回教其ノ他ノ世界ニアリマス所ノ宗教ニ對シテハ、茲ニ名稱等モ掲ゲテ居ラナイノデアリマス、其ノ他ノ宗教團體ノ中ニ含有セラレテ居リマス、其ノ活動ニ對シ、又是等ニ對スル我が國民ノ諸般ノ方面カラ、角度カラ見マシタ活動ニ付テハ、何等障礙ハナイ、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、以上立法ノ精神ヲ能ク御諒承下サイマスナラバ、今ノ點ハ十分御諒承願ヘルト思ヒマス

ケル聖職貫徹ノ爲ニ、回教徒ノ同情ト尊敬トヲ集メルト云フコトハ、支那ニ於ケル國軍ノ作戰上有利ナルカトウカ、又占領地域内ニ於テ、多數ノ回教徒ヲ包容シテ居ル支那大陸ノ治安維持方面カラ云ツテモ、是ガ必要ナルヤ否ヤ、殊ニ回教徒ハ、御承知ノヤウニ、共產黨ニ熾烈ニ反對ヲシテ居ル信徒デアリマスルガ故ニ、謂ハバ防共戦線ノ先頭ニ立ツテ居ル人々デアリマスルカラ、日本ノ國策アル防共ト云フ精神カラ申シマシテモ又當面直接ノ軍事ノ必要カラ申シマシテモ、回教徒ノ同情ヲ得ル得ナイガ、軍事上ノ立場カラ言ツテ大キナ關係ガアルノデアハナイカト存ジマスルノデア、其ノ點ニ付キマシテ陸軍大臣ニ、又其ノ次ニ——マダ御出席ガナイヤウデアリマスガ、海軍當局モ御イデノヤウデアリマスカラ、海軍大臣ノ御意見ヲ御同致シタイト思フノデアリマス、實ハ文部大臣以外ノ各省ノ大臣及ビ關係者ニ御出ヲ戴イテ居リマスルノデア、時間ノ都合上、或ハ他ニ御用ガアルカト心配致シマスルカラ、先ヅ軍部大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

〔中略〕

○板垣國務大臣 只今御尋デアリマスガ、回々教ガ色々ナ意味ヲ以テマシテ重大ナル關係ヲ持ツト云フコトニ付テハ御同感デアリマス

○松田政府委員 只今陸軍大臣ヨリ御答辯ニナリマシタ通り、海軍ト致シマシテモ、世界ノ大宗教ノ一デアアル回教ヲ重視シナケレバナラヌト云フコトニ付キマシテハ全然同感デアリマス

○鶴見委員

……此ノ「回教」ト云フ文字ヲ入レルカ入レ

ナイカト云フコトガ、直接外交上ニ支障ヲ生ジテ居ルト云フ事實ガアツタカニ私共ハ承知致シテ居ルノデアリマスルガ、ソレガ果シテ事實デアアルヤ否ヤト云フコトヲ只今御尋スルノデアハナイノデアリマス、私共ノ承知シテ居ル所ニ依リマスレバ、「エーメン」王國ノ王子ガ日本ニ參リマシテ交渉致シマシタコトハ此ノ通商條約ニ先ダチ、其ノ前提條件ト致シテ回教ト云フモノヲ承認シテ貰ヒタイ、公ニ認メテ貰ヒタイト云フコトヲ希望サレタカニ同ツテ居ルノデアリマス、然レニ日本ト致シマシテハマダ正式ニ回教ヲ認メルコトガ出來ナカツタモノデアリマスルカラ、隨テ其ノ第一ノ要求モ容レラレナカツタ、「エーメン」王國ノ王子ハ、通商條約ヲモ作ルコトナシニ歸國セラレタト云フコトデアリマス、更ニ「サウデイ・アラビヤ」トノ關係ニ於キマシテモ、同ジ理由カラ只今尙ホ無條約狀態デアルト云フコトデアリマス、隨テ歐米各國ノ使臣ガ悉ク參ツテ居ル「チツダ」ニモ、日本人ハ一人モ入ルコトガ出來ナイト云フコトデアリマスルガ、若シ然リト致シマスルナラバ、私ガ外務當局ニ御同致シタイコトハ、假ニ本法律案ニ於キマシテ回教ト云フ文字ガ挿入セラレタ場合ニ、私共ハ世界ニ於ケル回教徒ノ日本ニ對スル同情ガ湧キ起ツテ參リマスル結果、或ハ日本人ノ居住、營業、旅行ニ便利ダトカ、或ハ日本トノ通商狀態ニ非常ナ便利ヲ與ヘルヤウナコトニナルノデアハナイカト思フノデアリマス、私ガ外務大臣ニ御同致シタイコトハ、回教ト云フモノニ對シテ日本ガ斯ノ如キ取扱チスルト云フコトガ、日本ノ外交上ニ關係ガナイモノデアアラウカト云フ一點デアリマス、重大ナル關係ガアルノ

デハナイカト云フコトヲ御同致シタイ次第デアリマス

○清水政府委員 只今鶴見君ノ御質疑ニ御答致シマス、「エーメン」王國ガ條約ヲ締結スル前提ト致シマシテ、回教ヲ公認スル問題ガアツタト云フ風ノ御話ゴザイマシタガ、アノ條約ノ締結ニ付キマシテハ、「アラビヤ」語ヲ以テヤリタイ、所謂「エーメン」王國ガ、隣接國トノ條約ニ於テハ悉ク「アラビヤ」語一箇國語ヲ以テヤツテ居ルノデア、是非日本ニ於テモ、サウ云フ風ニシテ貰ヒタイト云フコトゴザイマシタ、日本ト致シマシテハ「アラビヤ」語ノ外ニドウシテモ日本語ヲ使用シナイ譯ニ行カナイ、是ガ結局不調ニ終ツタ所以ナノデアリマス、別ニ回教公認云々ト云フコトハ、正式ニ何等ノ話ハナカツタノデアリマス、又回教ニ對シマシテ、外務當局トシテ之ヲ重視シナケレバナラヌト云フコトニ付テハ同感デアリマス、少クトモ通商上ニ於テ、或ハ防共ノ關係ニ於キマシテ、總テニ於テ之ヲ重視スベシト云フコトハ先程陸軍大臣其ノ他ノ仰セラレタコトト同感デアリマス、唯此ノ法案ノ中ニ入レルカ入レナイカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ文部省ニ關係ガアリマスノデア、私トシテハ此ノ場合答辯ヲ差控ヘタイト思ツテ居リマス

〔中略〕

○藤田委員 關聯シテ御尋スルノデスガ、回教ノ教義ト云フモノハドウ云フモノデアリマセウカ、ソレヲ知リタイト思フ、實ハ此ノ宗教團體法案ノ第一條ニ回教ヲ入レテ吳レト云フ猛烈ナ運動ガ院外ニアルノデアリマス、私ハ其ノ希望者ニ會ウテ見テ回教ト云フモノハドウ云フ教義デアルノカト聽イテ見ルト、其

ノ人ハ、外交上三億以上ノ信徒ヲ持ツテ居ルモノトノ連繫ヲ保  
ツト云フ意味ニ於テ非常ニ必要ダト云フ、手段ノミノ説明デア  
リマシテ、教義ニ何等ノ理解ヲ持ツテ居ラヌ、申上ゲルマデモ  
ナク我國ニハ儼乎トシテ國體ガ存シテ居ルノデアリマス、サウ  
シテ佛敎ニ致シマシテモ、基督敎ニ致シマシテモ、日本ニ參リ  
マシテ相當日本化シテシマツテ、我が國體トモ抵觸セズ、思想  
上ノ危險ト云フヤウナモノハ大體解消サレテシマツテ居ルモノ  
ト私ハ信ジマス、回敎ノ教義ガ如何ナルモノデアルカサヘモ明  
確ナル檢討ヲ與ヘズシテ、當局ハ之ヲ入レルガ宜イカ、入レナ  
イガ宜イカト云フコトヲ仰シヤレル管ガナイ、回敎ノ教義ハド  
ウ云フヤウナ教義、眞理ノ下ニ成立ツテ居ルカ、ソレハ我が國  
體トシテ全然差支ナイ所ノ御確信ガアルノデアルカ、此ノ點ニ  
對シテノ明確ナル御説明ヲ私ハ此ノ機會ニ承リタイノデアリマ  
ス、時局ニ對シテ、此ノ聖戰ノ目的ヲ達スル爲ニ、有ユルモノ  
ヲ此ノ方面ニ集中シナケレバナラヌコトハ、本員モ無論異議ハ  
アリマセヌ、此ノ目的ヲ達スルニ便宜ナ方法ガアレバ、有ユル  
コトヲ忍ンテ其ノ方法ヲシナケレバナリマセヌガ、事苟モ信仰  
ニ關スル以上ハ、回敎ヲ公認シテ、基督敎ヤ佛敎ノ如ク、多年  
我國ニ宣傳サレテ信者ガアリ、日本化シテ何等國體ニ抵觸シ  
イ程度ニナツテ來タモノト同等ニ扱フコトニ付テハ、餘程慎重  
ナ態度ヲ取ラナケレバイカヌト深く思ヒマス、陸軍大臣、海軍  
當局ハ、鶴見君ノ意見ニ對シテ同感デアルト云フ御意見ガアリ  
マシタガ、ソレハ既ニ回敎ニ對シテ相當ノ御理解、御研究ガ積  
ンダ上テ、國體ニ何等心配ガナイト云フ御確信ノ下ニ御發言サ

トハ、之ニ對スル説明ノ足りナイコトト、十分ニ團體法案ガ御  
分リニナラズニ、「エーメン」トノ關係ヲ御考ニナツテ居ル所カ  
ラ來ルノデアナイカト思フノデアリマス、決シテ差別ヲシテ居  
ルノデアナケレバ、制限ヲシテ居ルノデアモナイ、此ノ點ハ誤解  
ノナイヤウニ茲ニ明瞭ニ申上ゲテ置キマス、我國ニ於テハ、憲  
法第二十八條ノ條項ヲ能ク御心得ニナツテ、回敎ヲ御布教ニナ  
ツテモ少シモ差支ナイノデアアル、本法案ガ出來マスレバ益々其  
ノ點ガ自由ニナリ、場合ニ依ツテハ免稅ナドノ特別ノ取扱マデ  
モ出來ルヤウニ擴大セラレルノデアリマス、又回敎ニ付キマシ  
テハ、私共モ及バズナガラ過去多年ニ互リ努力シ、只今ノ禮拜  
堂ガ出來ルコトニ付テモ薩ナガラ努力シタ一人デアリマス、回  
敎ソレ自體ガ我國ニ於テ多クノ關係ヲ持ツノテ、此ノ回敎ノ教  
義ヲ奉ジテ居ル各方面ノ民族、又吾々ノ知ツテ居ル同胞アタリ  
ガ之ヲ信奉スルコトハ、一方ニハ政策モアリマセウガ、他方亞  
細亞民族ノ共同ノ將來ノ平和幸福ヲ圖ル上カラモ必要デアリマ  
セウ、之ニ及バズナガラ私ハ努力シテ來タ一人デアリマス、回  
敎ニ對シテ茲ニ差別ヲスルヤウナ感シハ全然私モ持チマセズ、  
當事者モソコトヲ考ヘテ居ラヌ、又左様ナコトヲ爲スベキ  
デアナイト考ヘテ居リマス、併シナガラ茲デ一ツ考ヘナケレバナ  
リマセヌノハ、宗教團體法ハ非常ニ微妙ナ宗教行政ナルガ故ニ  
自主的ニ其ノ行政ヲドコモテモ運督シテ行ク、寧ろ宗教各團體  
ガ我が國民トシテノ道ヲ誤ナク進ンテ行ク上ニ付テ寄與スル所  
ガアルヤウニシテ行ク、自主的ノ觀點ニ立ツタモノデアリマス、  
先程モ申シマシタヤウニ我國ノ宗教行政ハ、列國ニ比ノナイ非

レタト深く信ジマスカラ、私ニ對シテ蒙リ啓イテ裁キタイ、切  
ニ御願致シマス

(中略)

○板垣國務大臣 只今ノ御質問ニ對スル御答ハ、文部大臣カラ  
致ス方ガ適當デアルト思ヒマス

○荒木國務大臣 先程ノ鶴見委員ノ御質問ニ關聯ハ致シマスガ  
回敎ノ問題ノミニ重點ガ移リマシタノデアリマス、團體法案ノ基礎ニ付  
テモ少シ申上ゲタイト思ヒマス、暫ク御許シテ願ヒタイト思ヒ  
マス、回敎ノ教義ノ如何ハ別ト致シマシテ、我國ノ憲法ニハ明  
瞭ニ信敎ノ自由ヲ御許シニナツテ居ルノデアリマス、ソレニ付  
テハ安寧秩序ヲ害シ、若クハ國民タルノ義務ニ背カナイ範圍内  
ニ於テ、如何ナルコトデアモ御許シニナツテ居ル、是ガ日本ノ非  
常ニ尊イ所デアアル、隨テ回敎ハ如何ナル教義ヲ持ツテ居テモ宜  
イ、若シソレガ我國ノ臣民タルノ義務ニ背キ、若クハ安寧秩序  
ヲ妨ゲルコトガアレバ、直チニ禁止ヲ命ジ、若クハ其ノ教義ノ  
一部ニ訂正ヲ命ジナケレバナラヌ、是ハ基督敎ニ於テモ、他ノ  
宗教ニ於テモ同ジデアリマス、斯様ナ譯デアリマスノデアリ、今質  
疑應答ノ中ニゴザイマシタヤウニ、回敎ガ不安デアアルカラ認メ  
ナイト云フコトハ、非常ナ誤リデアリマス、是ハ信敎ノ自由ノ  
上カラ全部御認メニナツテ居ルノデアアル、今御質問ガアリマシ  
タヤウニ、若シ其ノ教義ガ我國ノ憲法第二十八條ノ制限ニ抵觸  
シマスルナラバ、其ノ時之ニ停止ヲ命セラレルナリ或ハ修正ヲ  
セラレテ日本化スルコトニナツテ居ル、斯様ナコトデア、第一ノ  
御心配ノ點ノ、回敎ガ不安タカラ認メルカ認メナイカト云フコ

常ナ廣大無邊ノ團體ノ内ニ活動スルモノデアリマスノデア、ドコ  
マテモ自主的ニ考ヘテ行キタイ、隨テ此ノ宗教團體法案ハ、宗  
教團體ヲ眺メテ茲ニ立案サレテ居ルノデアリマシテ、時局ガ色  
色要望致シマスコトハ、其ノ中カラ溢レ出テ來タモノニ依ツテ  
初メテ具現サレマス、茲ニ一時ノ政策ナリ、又其ノ時ニ於ケル  
國策ナリニ依ツテ、此ノ基礎ノ團體法案ガ左右セラレルコトハ  
甚ダ以テ人心ノ安定ヲ期スル上ニ付テ遺憾ナコトニナルノデア  
ナイカ、斯様ナ點テ此ノ回敎ヲ中心トシテノ我が國民ノ心構ト  
宗教團體法案ヲ基礎トシテノ回敎ノ問題ハ別個ニ考ヘテ行キタ  
イト考ヘテ居リマス、此ノ點ヲ十分御諒承願ヒマシタナラバ、  
先程カラノ御質問モ御諒解出來ルノデアナイカト思フノデアリ  
マス、又回敎ノ教義其ノ他ニ付キマシテハ、何レ宗教局長カラ  
分ツテ居ルダケノコトヲ申上ゲマスガ、先程ノ御質問ハ、只今  
申上ゲタコトニ依ツテ概要結論ニ到達シタト存ジマスノデア、御  
諒承ヲ願ヒマス

○藤田委員 只今ノコトヲ一寸補充シテ置キタイト思ヒマス、  
私ノ疑義ハ、今文部大臣ヨリ御説明戴キマシタト一寸趣旨ガ  
違フノデアゴザイマス、鶴見君ノ希望ノ質問ハ、本法ノ第一條ニ  
回敎ト云フ二字ヲ加ヘタイト云フ希望ヲ以テ質問セラレ、政府  
ノ御意見ヲ徵シタ、ソコデア私ハ疑義ガ起ツタノデアリマス、只  
今文部大臣ノ仰シヤルノハ、憲法ニ依ツテ信敎ノ自由ヲ與ヘテ  
居ルカラ何デアモ宜イノダ、併シソレガ憲法ニ規定シテアル如キ  
安寧秩序ヲ妨ゲ、國民ノ義務ニ反スルヤウナコトヲスレバドン  
ドン禁止シテ行クノダカラ、何モ心配ハナイト斯ウ仰シヤル、

是ハ回教ト云フ二字ヲ加ヘナクテモ、或ハ本法ノ第三條ニ依ツテ認可ヲ求メテ來ル時ニハ、宜シクソレヲ御調ニナツテ然ルベキデアアル、所ガ之ヲ條文中ニ入レルト云フト、回教ナルモノノ性質ハ如何、教義ハ如何、是ガ我ガ民族ノ風習ニ抵觸シハシナイカ、秩序安寧ニ背キハシナイカ、國民ノ義務ニ背キハシナイカト云フコトヲ調ベナケレバドウシテモ是ハ加ヘラレナイ、今調ベズシテ加ヘテ置イテ、出テ來タ時分ニ詮議スルト云フヤウナコトハ私ハ出來ヌト思フ、ソコガ私ノ疑義ニナツテ居ルノデアアリマス、唯大臣ノ仰シヤルノハ、信教ノ自由ヲ與ヘテ居ルカラ、出テ來タ時ニ調ベテ見テ、ソレガ國民ノ義務ニ背ケバチヤント取締ルカラ心配無イト云フガ、此ノ回教ト云フモノチ此ノ中ニ入レルコトニ於テ、鶴見君ノ御意見ハ、三億ノ回教徒ニ對シテ好感ヲ與ヘテ、サウシテ亞細亞大陸政策ノ上ニ非常ニ便宜ヲ得テ、此ノ聖戰目的達成ニ大變ナル利益ヲ得ルデハナイカト云フ御意見ガ基礎ニナツテ居リマス、私ハ此ノ聖戰目的ノ達成ソコニ集中シテ行ク有ユル便宜ナル手段ヲ探ルト云フコトハ反對シマセヌガ、回教ト云フモノノ性質モ分ラズニ之ヲ入レテモ差支ナイカラ、佛敎ヤ基督敎ノ如ク多年我國ニ於テ行ハレテ居リ、サウシテ檢討濟ノ思想デハナイ、私ハ寡聞ニシテ分リマセヌケレドモ、回教ニハ一夫多妻ト云フコトモアル、一夫多妻ノ思想ガ我が帝國ニ流レ込メテ來タ時分ニハドウナルノデアアルカスウ云フコトハ第一番ニ疑義ヲ生ズル、其ノ他ノ教理ハドウ云フコトカ、本當ノ眞理トシテ信仰サレルノデアアルカ、回教ヲ茲ニ加ヘマス以上ハ、日本ノ國民ヲ支配スル所ノ宗教團體法デア

リマスルカラ、回教ト云フ信仰ガ日本國民ヲ風靡シテ來ルニ違ヒナイ、即チ日本國民ガ其ノ信仰ノ對象トナルニ違ヒナイ、對象ニナラヌノダツタラ加ヘル理由モ必要モナイト私ハ信ズル、果シテ日本國民、吾々同胞ガ澤山回教徒ニナツテ、ソレデ何モ差支ナイカドウデアアルカト云フ檢討ガ濟マズシテ、唯外交上便宜ダト云フヤウナ考テ之ヲ加ヘルト云フコトハ、私ハ輕率ト思フノデアリマス、私ハ左様ナ趣旨ヲ御尋シタ譯デアリマスカラ回教ト云フモノノ教義トカ何トカ云フモノチ、宗教局長テ十分デゴザイマスカラ私ニ御教示ヲ願ヒタイ、ソレニ依ツテ私ハ卑見ヲ述ベタイト思ヒマス

(中略)

○鶴見委員 取締ニ付テハ差別待遇ガナイト斯ウ云フ御話デアツタノデアリマスガ、現ニ斯ウ云フ二ツノ事實ガアルノデス、ソレハ昭和十一年ニ日本ニ參ツテ居リマシタ「シディッキ」ト申シマス相當名前ノ開エマシタ回教徒ガ、輕井澤ノ中村嘉壽君ノヤツテ居ラレマシタ夏期大學講演ヲサレマシタ、其ノ歸リ途ニ神戸ニ立寄ツテ、アノ禮拜堂ヲ回教ニ關スル説教ヲ致サウト致シマシタ時ニ、ソレハ認メテ居ナイ宗教デアアルカラ許サナイト云フコトデ、是ガ禁止サレタ事實ガアルノデアリマス、今一ツハ本年ノ一月一人ノ回教徒ガ死ニマシタノデ、代々木ノ禮拜堂ニ於テ之ヲ埋葬致サウト致シタ時ニ、是ハ認メラレテ居ラナイ宗教デアアルカラト云フコトデ、埋葬ノ式ヲシテハイケナイノデアアルガ、是ハ禮拜堂ノ内テナク外デシタコトニシヨウト云フ便宜ノ取計ヒテ、棺ヲ半分ダケ外ヘ出シテ禮拜ヲシタト云

フ事實ガアルノデアリマス、斯ノ如キコトハ、貴族院ニ於キマシテ是ハ差別的待遇デナイト云フ御話デアリ、又主管大臣ノ御考トシテハ斯ウ云フコトハ無イトシテモ、ソレガ地方ニ徹底ヲ致サナイ爲ニ、取締ニ種々手違ヒチ生ズル、斯様ナコトガゴザイマスノデ、明文ニ依ツテ公認セラレテ居ナイ宗教ノ取締ニ關スル御意見ヲ伺ヒタイ、更ニ只今ノ二ツノ事實ニ付テ御聞及ビデアアルカドウカ、御聽シテ置キタイノデアリマス

○本戶國務大臣 只今御尋ノ二ツノ點ニ付キマシテハ私マダ十分聞イテ居リマセヌ、唯回教ニ付キマシテハ別段今日差別待遇ハ致シテ居ラナイ、偶々サウ云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、具體的ノ問題デアリマスカラ私今御答出來マセヌガ、方針ト致シマシテハ、回教デアアルカラト云フヤウナコトテ之ヲ特別扱スルト云フ考ハアリマセヌ、是等ノ點ハ尙ホ一ツ十分研究致シマシテ、出來ルダケ回教徒ニ面白クナイ感シチ起サセナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○鶴見委員 ……ソレカラ丁度外務政務次官ガオイテデアリマスカラ、先程ノ點ニ付テモ一度伺ツテ置キマスガ、先程回教ヲ重要視スルコトハ同感デアルト云フ御話ガアリマシタガ回教ト云フ文字ヲ此ノ法文ニ明記シタ場合ニ、外交上便宜デアアルカドウカト云フ御尋ヲシタノデアリマスガ、ソレニ付テノ御返事ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○清水政府委員 此ノ問題ハ種々ナル關係ガアリマスルノデ、適當ノ機會ニ大臣カラ御答辯スルコトニ致シマス

○加藤委員 先刻鶴見君ト陸軍大臣トノ質問應答ヲ伺ツテ居リ

マスト、回教ヲ宗教團體法案ニ認ムルト認メザルトハ、日支事變ノ收拾策ニ付テ重大ナル關係ヲ持ツモノデアアル、斯ウ云フ風ニ私ハ承ツタノデアリマス、若シ是ガ私ノ聽キ誤リデアルトスレバ是ハ格別デアリマスガ、斯様ニ承ツタノガ間違ナイトスレバ更ニ私ハ伺ヒタイ、支那ニ於ケル道敎、喇嘛敎、是ハ御承知ノヤウニ中々勢力侮ルベカラザルモノガアルノデアリマスガ、斯ウ云フモノモヤハリ我が宗教團體法案ニ認ムルト認メザルトニ依ツテ、日支事變ノ收拾策ニ重大ナル關係ヲ持ツト御考デアアルカ、持タヌト御考デアアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○板垣國務大臣 先程御質問ニ對シテ御答致シタノハ、占領地内、又占領地ノ隣接地帯等ニ於テハ多數ノ回教徒モアルコトデアアルカラ、治安其ノ他ニ關係ガアルト云フ方面カラノ御尋デアリマシテ、如何ニモサウ云フ事實ガアリマスノデ、回教ハ重視スベキモノデアアルト云フコトニ付テ御同意ヲ表シタ次第デアリマス、喇嘛敎トカ其ノ他ノ宗教ヲ此ノ宗教法案ニ書クトカ書カナイトカ云フコトハ、私ノ御答スル範圍外デアリマス

(中略)

○鶴見委員 ……私ハ進ンテ文部大臣ニ伺ヒマス、只今藤田君カラモ根本ノ問題ニ付テノ御質疑アリマシタ譯デスガ、回教ガ日本ニ渡來シテカラ日ガ淺イト云フコトト、隨テ活動ガ十分デアナイト云フコトカラ、果シテ佛敎ノ如ク、基督敎ノ如ク本當ニ日本化シテ居ルカドウカ、其ノ日マテ待チタイト云フコトチ大臣カラ御答辯ヲ承リマシタガ、ソレハ私ガ先程申上ゲマシタヤウニ程度ノ問題デアルト思ヒマス、ソコデ回教ト云フ二字



ヲ入レテ、本法案ニ於テ回教ヲ公認スルト云フコトヲ帝國ノ方針トシテ確立致スコトニ對シ、本質的ノ何カ故障ガアルカト云フコトヲ御伺致シタイト思フノデアリマス、例ヘバ只今藤田君ヨリ、回教ノ本質ニ關シテ政府ヨリノ御説明ヲ求メラレタノデアリマスガ、其ノ中ニ、例ヘバ回教ガ一夫多妻ノ宗教ナルカラ、日本ノ良俗ニ反スルデアラウト云フコトニ言及サレテ居リマスガ、此ノ點ニ關シマシテハ、勿論「コーラン」ノ中ニハ一夫多妻ト云フコトガ書イテアリマスガ、ソレハ信仰箇條デアツテ、回教國ノ法律ヲ見マス、現ニ回教國ノ中心トモ云フベキ「トルコ」ノ立法例ヲ見マシテモ、一夫多妻ヲ嚴禁シテ居ル、「イラン」ノ國ニ於キマシテモ原則トシテハ一夫一婦デアツテ唯暫定的ニ過渡的規定ガアルダケデアアル、或ハ「エジプト」ニ於テモ事實上一夫一婦デアアル、或ハ又先般日本ニ來テ居ラレタ「エーメン」王國ノ王子ノ如キハ、其ノ素行ニ於テ嚴重ナル人デアリ、「サウデアアラビヤ」ノ國王モ亦嚴格ナ私生活ヲ送ツテ居ラレルト云フコトデアリマス、即チ回教ノ特色ト致シマシテ非常ニ嚴格ナ禁慾主義ヲ實行シテ居ル、サウシテ非常ニ清潔デアリ、又信義ヲ重ンズルト云フ様ナ點ガアリマスノデ、經典ノ中ニ書カレテ居ルコトガ實際上ハ實行サレテ居ナイ、居リマシテ場合ニ於テモソレハ暫定的ノ過渡規定デアリマス、サウシテ結婚ノ問題ノ如キハ明瞭ニ國內ノ法律上ノ問題デアリマシテ、是ハ如何ナル宗教ガ何處ノ國ニ參リマシテモ、其ノ國法ヲ遵奉スベキ事ハ當然デアリマスカラ、若シ斯ノ如キ誤解ガ回教ト云フ文字ヲ挿入スルコトニ對スル難關トナツテ居リマスナラバ、

案ニ於テハ、微妙ナル宗教ノ基礎ヲ考ヘマシテ、信仰ヲ主トシタ點カラ出發シタ人心ノ動キヲ考ヘバナラヌノデアリマス、隨ヒマシテ回教ガ如何ナル教義デアアルカナイカ、ソレヲ實行シテ居ル、實行シテ居ラヌノ問題ハ、本法案ニ依リマスレバ宗教結社トシテ第二十三條ノ規定ガアルノデアリマシテ、之ニ依ツテ届出ヲ爲シマスレバ、ソレニ障礙ガナケレバ結社トシテ許サレルノデアリマス、更ニ進ンテ單立教會トシテノ特典ヲ得ヨウト思ヘバ、第六條ニ規定シテアル手續ヲ執レバ認メラレルノデアリマス、更ニ進ンテ或ハ宗教團體トシテノ法人格ヲ得タイトカ、色々ナ點テハ第三條ノ所ニマテ進ミ得ルノデアリマス、其ノ點ニ付テハ届出デマシタ時ニ、其ノ教義ガ憲法上若クハ本法上違反セザル限リニ於テハ、布教モ儀式モ自由ニ爲シ得ルノデアリマス、ソレハ届出ノ時ニ檢討ヲ致シマシテ、差支ナケレバ其ノ儘認可スル、或ハ第六條ノ單立教會トシテ届出レバ、認可制度ニ依ツテ認可スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ少シモ心配ハナイノデアリマス、唯本法ハ何處マデモ信仰ヲ基礎トシタ宗教ノ基礎ニ立ツテ居ルノデアリマシテ、我國ノ憲法第二十八條ニ抵觸セザル範圍内ニ於テ信教ノ自由ヲ認メ、十分ニ活躍セセタイト云フコトニモ基礎ガアルノデアリマス、同時ニ神社ニ對スル國民ノ信仰ヲ培ヒ、帝國ノ臣民デアアルト云フコトヲ何處マデモ考ヘナケレバナラヌト云フコトガ一ツアルノデアリマシテ、我國ニ於テ保護ヲ受ケテ居ル間ハ、今ノ點ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトガアルノデアリマス、ソレヲ基礎トシテ立案ヲ致シテ居リマスルガ故ニ、今日マデノ國內ニ於ケ

ソレハ今日ノ世界ノ回教教徒ノ實際上ノ事實ト違ツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、回教ノ本質ニ付キマシテハ、既ニ世界ノ三大宗教トシテ認メラレテ居リ、獨逸ニ於テハ「ケルン」大學以外總テノ大學ニ於テ是ノ講座ヲ持ツテ居ル程研究サレテ居ルニ拘ラズ、東洋ノ一番有力ナル國家デアアル日本ニ於テ從來回教ニ對スル研究ガ乏シカツタト云フコトダケデモ私ハ洵ニ遺憾ト致スノデアリマス、今日吾々ガ回教ノ本質ヲ此處テ論ジナケレバナラヌト云フコトヲ私ハ寧ろ遺憾トスル程ナノデアリマシテ、回教ノ本質ニ付テハ、既ニ基督教、佛教ト同ジヤウニ世界ニ於テ研究シ盡サレテ居ルコトデアツテ、回教自身ヨリ日本ニ於テ公認致シマシテモ、只今文部大臣ノ仰セラレタル如ク日本ニ於テハ信教ノ自由ヲ一タビ許シテ居ラレル以上ハ、如何ナル宗教ニ對シテ門戸ヲ開クトモ、此ノ健全ナル日本ノ國民精神ヲ信用スル私共ハ、毫末モ不安ノ念ヲ持タナイノデアリマス若シ其ノ日常ノ行動ニ於テ國法ニ悖リ、或ハ國ノ方針ニ悖ルモノガアリマスナラバ、是ハ或ハ法律ノ力ニ依リ、警察取締ノ力ニ依ツテ處斷スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、其ノ問題ヲ又此處テ議論スル必要ハ餘リナイノデアハナイカト私ハ思フノデアリマス、私ガ文部大臣ニ御伺シタイコトハ、此ノ回教ノ本質ハ既ニ世界ニ明瞭ニナツテ居ルコトデアリマスカラ、此ノ回教ニ關シテ長イ話ヲ何ヨリハ、回教自身ヲ公認スルコトニ付テ先程御話ヲ戴キマシタ程度ノコト以外ニ、本質的ナ故障ガアルカドウカト云フコトヲ御伺致シタイノデアリマス

○荒木國務大臣 既ニ御答ヲシタト思フノデアリマスガ、本法

ル宗教活動ヲ見マシテ、其ノ宗教活動ニ依ツテ逐次代表的ノ名稱ヲ被處ニ掲ゲタノデアリマシテ、「其ノ他ノ宗教團體」ト云フ中ニ一切ノ宗教ノ名稱ガ入ツテ居リマスノデ、此處ニ敢テ回教ト云フ文字ヲ掲ゲマセヌデモ、明ニ「其ノ他ノ宗教團體」ト云フ中テ活動ガ出來ルノデアリマス、唯代表的ニ書カナイト云フコトハ、我國ニ於ケル宗教活動ヲ何處マデモ本旨トシタノデアリマス、之ニ對スル歸依心ガ旺盛デアツテ、十萬モ二十萬モ三十萬モノ人ガ眞ニ此ノ宗教ヲ信ズル、本當ニ宗教トシテノ活動ガ起ツタト云フ時ニ、茲ニ初メテ代表的ニ掲ゲルコトニナルノデアリマス、此ノ點ヲ御諒解願ヒタイノデアリマス、回教ノ問題ニ付テ此處テ深ク私ガ申述ベナイノハ、我國ノ將來ノ大陸ニ對スル宗教的活動ニ付テ深ク期スル所ガアリマスカラ、敢テ此ノ回教ナリ其ノ他ノ宗教ノ本質ニ向ツテ兎角ノ批評ヲ致シタクナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、冒頭カラ申述ベマシタヤウニ、回教ソレ自體ガ善イ惡イト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラヌノデアリマシテ、他ノ宗教ト同ジヤウニ世界ノ宗教トシテ十分ニ認メテ居ルコト云フコトヲ御諒承下サツタナラバ能ク私共ノ申述ベルコトガ御分リ下サルデアアラウト思ツテ居リマス、ソレ以上此處テ申上ゲルコトハ——今内務大臣初メ皆御歸リニナツタヤウデアリマスケレドモ、私ハ此處ニ才出デニナル時ニ十分申上ゲタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是ハ別ノ機會ニ於キマシテ十分ニ申述ベタイト思ヒマス

○作田委員 ……本會議カラ續ケテ言ハレテ居ル所ノ回教

ノ問題ハ、第一條ノ「其ノ他」ニ入ルト云フ意味ハ、是ハ現在ニ於テハ入ツテ居ナイト云フコトニナルノデスカ、現在入ツテ居ルト云フノデスカ、換言スレバ結社ト云フモノニナルノデスカ、結社ト云フモノハ言フマデモナク第一條デハナイ、第一條ニ包含シテ居ラヌノガ結社デアル、第二十三條ノ結社ニ入ルト云フコトニナルト、第一條ニハ入ラナイ、ダカラ第一條ニ入レルノダト云フコトハ將來ノ問題デアツテ、只今ハ入ラヌ、斯ウ云フコトニナルノデハナイカ、詰リ只今ノ御答辯ニ依リマスト第一條ノ「其ノ他」ニ入ル、ト言ハレル、サウスルト詰リ回教ハ只今入ツテ居ルヤウニ聞エル、ソレハドウ云フ風ニ扱フカト云フコトハ別デアリマスケレドモ、其ノ點ヲハツキリサセテ戴キタイ

○松尾政府委員 本法ノ第一條ハ謂ハバ御約束デゴザイマシテ本法ニ於テハ宗教團體ト云フ名前ガアツコトヲ使用サレテ居リマスガ、宗教團體ト云フノハ、神道ノ教派、佛教ノ宗派、基督教其ノ他ノ宗教ノ教團、並ニソレ等ニ所屬スル寺院教會ヲ謂フノダト云フ約束デゴザイマス、隨テ御承諾ノ通り神道ニ付キマシテハ既ニ現ニ三派ゴザイマス、隨テ教派ハ本法施行ノ際ノ利那ヲ考ヘマスト、十三ノ教派ガアル譯デアリマス、佛教ニ付キマシテモ亦御承諾ノ通り、本法施行ノ其ノ利那ニ於テハ五十六ノ宗派ガアル譯デゴザイマス、所ガ今日ノ宗教法規カラ申シマスト、教團ト云フモノハ認メテ居リマセヌ、隨テ本法ガ實施ニ相成リマシテ施行ニ相成リマスケレバ、其ノ利那ニ於テハ教團ト云フモノハ無イ譯デアリマス、ダカラ只今御話ノ回教デ

○立川委員 一寸關聯シテ極ク簡單ニ御質問致シマス、先刻鶴見君ノ御質問中ニ公認ト云フヤウナ御言葉ガアリマシタ、實ハ私ノ宅ヘモ、院外ノ團體ノ諸君ガ見エタノデアリマスガ、其ノ諸君モ公認トカ非公認トカ云フ言葉ヲ使ツテ居ルノデアリマスカ、此ノ宗教ノ公認、非公認ト云フモノガ是マデアツタノデスカ、又此ノ法律ガ出來テ公認、非公認ト云フ區別ガ出來ルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○松尾政府委員 段々文部大臣カラモ御話ニナリマシタヤウニ我國ニ於キマシテ公認、非公認ノ區別ハ、宗教行政ニ於テハ取ツテ居ナイノデアリマス、即チ憲法第二十八條ニ依リマシテ、有ユル宗教ニ其ノ處ヲ得セシメテ居ルノデアリマス、其ノ中若モ安寧秩序ヲ妨ゲ、臣民タルノ義務ニ背イタナラバ是ハ排撃致シマスガ、然ラザル場合ニ於キマシテハ、先程大臣モ仰セラレタ通りニ、ソレノ其ノ處ヲ得セシメテヤツテ居ル次第デアリマス、隨テ其ノ中カラ特ニ優遇スベキ歴史沿革ヲ持ツテ居ル團體ハ、或ハ教派ト稱シ、或ハ宗派ト稱シ、或ハ寺院ト稱シ、教會ト稱シテ特殊ノ地位ヲ與ヘ、之ニ優遇シテ居ル、斯ウ云ツタヤウナ事實ニ相成ツテ居リマス

○立川委員 私モサウ思ヒマス、所ガ世間ノ一部ニハ確カニ其ノ誤解ガアツテ、是ガ院外ノ運動ノ主タル問題ニナツテ居ルヤウデアリマス、甚ダ此ノ點ハ遺憾デアリマス、其ノ點ハ何カノ方法ヲ明瞭ニサレル必要ガアルト思フノデアリマス、尙ホ餘事カモ知レマセヌガ、大臣ノ貴族院ニ於ケル最後ノ日ノ御答辯ハ一寸不明瞭デ、サウ云フ風ナ誤解ヲ招キハシナイカト思ハレル

申シマスナラバ、其ノ利那ニ於テハ一應ハ結社ト云フモノニ相成ラウト思フノデアリマスガ、段々文部大臣モ仰セラレタ通りニ、其ノ實力ヲ吟味スルコトニ依ツテ、第六條第二項第五號ノ教會ニモナリ得ルヤウナ次第デアリマス、又第三條ニハ教團ノ途モ開イテ居ル、斯ウ云フヤウニ仰セニナツタ譯デアリマス、本法施行ノ利那ニ於テハ教團ト云フモノハ一ツモ無イ譯デアリマス

○作田委員 能ク分リマシタ、詰リ回々教ノ教團ト云フモノデナクテ、荷モ文部省ノ稱スル結社ト云フモノハ、第一條ニ入ラナイモノハ、モウ全部、淫祠邪教ミタイモノモ皆結社ニ入ルノデアル、其ノ中ノ一ツトシテ回教モ入ルト云フコトデ、回教ヲ取上ゲテ「其ノ他」ノ中ニ入レルト云フ事ハ、結局御説明ニナラヌト云フ事ニナリマス、本法施行ノ利那ニ於テハ……

○松尾政府委員 神道ガ全國的ノ團體ヲ組織スル場合ニハ教派デアリマス、佛教ガ全國的ノ包括團體ヲ組織スル場合ニハソレヲ宗派ト謂ヒマス、神佛以外ノ基督教ヲ初メトシテ諸々ノ宗教ガ我國ニ全國的ノ團體ヲ作ル、例ヲ申シマスナラバ大社教トカ金光教ト云ツタヤウナ全國的團體、或ハ天台宗トカ曹洞宗ト云ツタヤウナ綜合的團體ノ如ク、基督教其ノ他ノ宗派ガ團體ヲ作ルト云フナラバ、其ノ全國的ノ團體ヲ名ヅケテ教團ト云フノデアリマシテ、將來ニ於テ回教ガ天台宗、日蓮宗、曹洞宗、或ハ金光教、天理教ト云ツタヤウナ工合ノ全國的團體ヲ組織スルコトニ至リマシタ場合ハ、「其ノ他」ノ宗教ト云フ觀念ニ依ツテ解釋サレマシテ教團ト成リ得ル、斯ウ云フ譯デアリマス

ヤウナ節ガアルヤウニ感セラレマス、先刻鶴見君モ其ノ點ニ觸レラレマシタガ、衆議院ニ於テ何カノ機會ニ明瞭ニサレマシタナラバ、此ノ問題ハ案外容易ニ解決ガ出來ルノデハナイカト考ヘマス

○荒本國務大臣 段々問題ガ廣汎ナ爲ニ色々ニナルノデアリマスカ、回教ソレ自體ニ對シテノ問題ト、我國ニ於ケル回教ノ例ヘバ教會トカ、或ハ回教ノ其ノ他ノモノノ各種ノ組織トカ云フヤウナモノトハ、是ハ別個ニナルノデアリマシテ、宗教上ノ回教トシテハ、ソレハ當然是ガイケナイトカ宜イト云フコトハ言フベキ限リデハナイノデアリマス、我が國內ニ於ケル活動ニ於テ、其ノ回教ノ教義ノ中ニ若シ憲法第二十八條ニ牴觸スルヤウナコトガアリ、或ハ公益ヲ害スルヤウナコトガアレバ、始メテ茲ニ制限ガ加ハルノデアリマシテ、其ノ寺院、今ノ教會其ノ他ガマダ其ノ體ヲ具ヘテ居ラナイ間ニ、之ヲ我國ニ於ケル回教ノ教團ナリトシテ認メテ行クコトハ難カシイ、ソレガ今ノ公認、非公認ノ話ニナツタノデアラウト思ヒマス、此ノ點モ誤解ノナイヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、隨テ今ノ回教ノ連中ガ頻リト心配サレマスケレドモ、回教ハソレ自體ヲ我國ガ否認シテ居ル譯デモナケレバ、又之ニ對シテ妨害ヲシテ居ル譯デモナイ、回教ソレ自體憲法第二十八條ニ依ツテ、我國ニ布教シ、我國ニ弘メタイト云フナラバ、進ンテ布教シテ宜シイノデ、是ガ憲法第二十八條ニ牴觸シナイ範圍内ニ於テハ、國內ノ悉クノ人心ヲ捉ヘテオヤリニナツテモ差支ナイノデアリマス、其ノ程度如何ニ依ツテ茲ニ神道、佛教、基督教ト掲ゲタノデアツテ、決シテ

他意ハナイノデアリマス、其ノ點ハ貴族院ノ説明ニ於テモ、代表的ニ掲ゲタ以外ノモノハ第一條ノ「其ノ他ノ宗教」ノ中ニ入ツテ居ルト、斯ウ明瞭ニ御答シタヤウニ思ウテ居ルノデアリマスガ、若シ誤ツテ居レバ其ノ點ハ十分明ニシタイト思ウテ居リマス

午後三時五十一分散會

昭和十四年三月二日  
午前十時五十四分開議

○安藤委員長 ソレテハ總理大臣ガ御出席ニナリマシタカラ開會ヲ致シマス……

○會和委員 應々總理大臣ノ御出席ヲ願ヒマシテ洵ニ恐縮ニ存ジマス、先般本會議ニ於キマシテ致シタル私ノ質疑ニ對シテ、其ノ當時總理大臣カラ御答辯ヲ得タノデアリマス、其ノ御答辯ノ中ニ私ノ御伺シテ置キタイ點ガ二三ゴザイマス、其ノ中ニ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス、其ノ中ニ斯ウ云フ御言葉ガアルノデアリマス、「是ハ要スルニ宗教ニ對スル觀念ノ相違デアリマス、曾和君ノ宗教ニ對スル御考ト、宗教團體法ニ於テ探ツテ居リマス所ノ宗教ノ觀念トノ相違デアリマス」斯ウ云フ御言葉ガアルノデアリマスガ、此ノ宗教ト云フ一ツノ言葉ニ付キマシテ、單ニ觀念ノ相違デアルト仰セラレタル其ノ御本意ガ私諒解ニ苦シムノデアリマスガ、之ニ付キマシテノ御考ヘ方

フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○平沼國務大臣 宗教ノ上ニ超越スルト申シマシタノハ、現行ハレテ居リマスル宗教、即チ宗教團體法ニ於キマシテ宗教ト認メテ居リマスルモノハ、總テ法規ノ上ニ於キマシテ宗教團體法ノ支配ヲ受ケルガ、神社ハ法規ノ上テハ其ノ支配ヲ受ケマセヌ、他日之ニ關スル法規ガ制定サレマスレバ、宗教團體法ト全ク別ナ法規ニナリマス、現今宗教ヲ支配スル法規ハ神社ニハ及ビマセヌ、ソレテ超越スルト申シタノデアリマス

○會和委員 サウ致シマスルト、宗教ノ上ニ超越スルト云フ御言葉ハ、此ノ度御提案ニナツタ宗教團體法案ニ依ツテ我國ノ神社ガ取締ヲ受ケナイ、詰リ根據ハ、或一ツノ法規ガ取締ルカ取締ラナイカト云フコトニ標準ヲ置カレテ居ルヤウニ承ルノデアリマスガ、私ハ斯様ニ存ジテ居ルノデス、我國ニ於テハ法ト云フモノハ末テアル、我が國家ニ即應シタル所ノ各般ノ制度ノ根本ハ、既ニ肇國ノ精神ニ則ツテ儼存スベキモノデアアル、其ノ精神ヲ國民ニ知ラシメ、或ハ之ヲ執行フ必要カラ法規ガ制定サレルモノデアツテ、法規ト云フモノハ末ノモノデアアル、隨テ現在宗教ガ此ノ法規ニ依ツテ取締ヲ受ケル爲ニハ、其ノ根據トナル神社ト宗教トノ差別ガナケレバナラヌト思ヒマス、本質的ニ考ヘ方ノ異ツタモノガナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、其ノ根本ヲ御伺シタイノデアリマス

○平沼國務大臣 只今ノ御尋ハ或ハ私ガ意味ヲ誤解シテ居ルカモ知レマセヌガ、若シ誤解致シテ居リマシタナラバ御訂正ヲ願

ヲ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 本會議テ私ノ御答致シマシタ言葉ニ付テノ御尋デアリマスガ、其ノ意味ハ、曾和君ノ御述ニナリマシタコトハ私ハ斯ウ解シテ居ル、我國ニ於キマシテハ惟神ノ道即チ神道以外ノモノハ宗教トシテ認ムベキモノデアナイ、我國ノ宗教ハ神道デアアル、斯ウ云フ意味ニ私ハ解シタノデアリマス、ソレデアリマスルト、此ノ宗教團體法ニ於キマシテハ、現今我國ニ宗教トシテ行ハレ、活動シテ居リマスルモノハ總テ之ヲ宗教ト認メテ居ル、即チ憲法ニ依リマシテ信教ノ自由ヲ認メテアリマスルカラ、此ノ範圍内ニ屬シテ居ルモノハ總テ宗教ト認メテ居ル、却テ我國ニ於キマシテハ、神社ノ如キモノハ宗教ノ上ニ超越シテ居ルモノト認メル、是ハ宗教團體法テハ支配シナイ部類ニ屬シテ居ルノデアリマス、隨テ曾和君ノ宗教ニ付テノ御考ト、宗教團體法ヲ探ツテ居リマスル所ノ宗教ノ觀念ト云フモノトハ違フト、斯様ニ申上ゲタノデアリマス

○會和委員 現今行ハレテ居リマスル所謂宗教ナルモノハ、我國ノ惟神ノ道ヲ奉ズル神社、殊ニ其ノ根本テ在スル神宮及ビ畏クモ皇室ニ於テ御行ハセラレマスル祭祀ハ截然區別スベキコトハ、私モハツキリ認メテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ只今總理大臣ノ御言葉ニ全ク私ハ同感ナノデアリマス、ソコデアリ御伺ヒ致シタイノハ、其ノ次ニ宗教ノ上ニ超越シテ居ルト云フコトヲ仰シヤツテ居ル、是ハ只今モ仰シヤツタノデアリマスガ、其ノ超越スルト云フ意味ハ、即チ日本ノ神社、惟神ノ道ハ宗教ノ上ニ超越スルト云フノデアリマスガ、其ノ意味ハドウ云

ヒマス、我國ノ惟神ノ道ハ、皇國ニ於キマシテハ總テノ國民ガ遵奉致サナケレバナラヌ、又遵奉致シテ居ルモノテゴザイマシテ、其ノ間ニ何等ノ差別ハゴザイマセヌ、併シ宗教團體法ニ於テ宗教ト稱シテ居リマスモノハ、國民ノ間ニ於テ、甲ノ宗教ヲ奉ズル者モゴザイマセウシ、乙ノ宗教ヲ奉ズル者モゴザイマセウ、即チソレレノ「教義ガゴザイマス、其ノ教義ニ依ツテ國民ノ中ニ或ハ甲テ信ジ、或ハ乙テ信ズル者ガゴザイマス、是ハ憲法ニ依リマシテ、其ノ自由ヲ認メテ居ルノデアリマス、是ハ何レモ宗教トシテ宗教團體法ノ支配ヲ受クベキモノデアリマス、併シ惟神ノ道ハ今申上ゲマスル通り、總テ國民全體ガ遵奉シナケレバナラヌ、各種ノ宗教ノ教義ニ於キマシテモ是ト抵觸スルコトヲ許サヌノデアリマス、各宗教ニ於ケル教義ハ、根本デアリマス神道ニ違ヒ、之ヲ扶植培養シテ行クコトニ努メナケレバナラヌ、併シ教義其ノモノハ色々違ツテ居ル、國內ニ於キマシテモ、國民ノ間ニ、其ノ意味ニ於テ信仰ヲ異ニスル者ハ當然存在スル、併シ惟神ノ道ニ至リマシテハ、國內ニ於キマシテ之ニ違フコトヲ許サヌ、其ノ點ニ於テ根本的ノ差異ガ存スルノデアリマス、隨テ之ニ對スル法規ヲ制定スルニ當リマシテモ、此ノ根本ノ區別ハ能ク肚ニ入レテ之ヲ制定シ、之ヲ行ハナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス

○會和委員 只今ノ總理大臣ノ御言葉ハ、私ガ本會議テ質問シマシタ本旨ト全ク同ジデアルト思ヒマス、私ハ本會議ニ於テモ申シマシタノデアリマス、他ノ教ハ以テ我國ノ惟神ノ道ヲ説明スル所ノ部分々々ノ教ニ過ギナイト云フコトヲ、私ハ強ク信念

トシテ持ツテ居リマス、只今ノ總理大臣ノ御答辯モ、大體是ト  
同趣旨テアルヤウニ私ハ拜承スルノデアリマス、即チ各宗教ハ  
教義ハ異ルケレドモ、ソレハ總テ惟神ノ道ニ統率サルベキモ  
デアアル、河川數多ケレドモ總テノ大海ニ朝宗スルガ如ク、總テ  
ノ宗教ノ教義ハ惟神ノ道ニ悖ルベキモノデハナイ、ソレゾレ  
異ツテ居ル所ノ各宗教ノ教義ナルモノハ要スルニ絕對的ノモノ  
デハナイ、是ガ私ガ先般御伺シマシタ本旨デアリマシテ、只今  
ノ總理大臣ノ御言葉ヲ聽イテ、非常ニ心強ク存ズルノデアリマ  
ス

ソコテ私ノ特ニ伺ヒタイノハ本尊ニ付テデアリマス、各宗教  
ハソレトモ教義ヲ具ヘテ居リマス、サウシテソレニ基ク所ノ信  
仰又ソレヲ宣布スル方法儀式ヲ具ヘテ居リマス、其ノ教ヲ宗教  
ト稱ヘルト云フ事ヲ、總理大臣ハ本會議ノ御答辯ノ中ニ述ベテ  
居ラレルノデアリマス、其ノ教義ガ信仰ニナツタ時ニ、ソコニ  
本尊ノ認識ガ必ズアルノデアリマス、即チ其ノ教義ノ指示ス  
所ノ有ユル要件ヲ具ヘテ居ル當體ト認メルモノチ、各宗教デア  
ル、唯教義トシテ教ヲ説クダケナラバ、先程仰セラレタ考デモ  
宜イノデアリマスガ、ソレニ基イテ茲ニ本尊ト云フモノヲ作ル  
或ハ奉齋主神ト申シマスカ、其ノ認識ヲ作りマシテ之ニ禮拜セ  
シメル、私ハ禮拜ト云フコトチ、一般ノ人々ガ甚ダ輕シセラレ  
テ居ルコトチ遺憾ニ存ズルノデアリマス、私ノ信ズル所ニ依リ  
マス、禮拜ナルモノハ絕對ノモノデアアル、吾々人間社會ニ於  
テハ互同志ノ間ニ禮拜ハナイ、會釋ト云フモノハアツテモ禮

拜ハナイ、併シナガラ一旦吾々ガ絕對ノ歸依ヲシタ其ノ當體ニ  
對シテハ禮拜シナケレバナラヌ、甚ダ畏多イコトデアゴザイマ  
スガ、日本國ノ現實ニ於テ禮拜致シマスルノハ天皇陛下御一  
人デアラセラレルト思フノデアリマス、神明ニ於キマシテハ天  
照皇大神デアリマス、是ハ決シテ單一神トシテノ天照皇大神チ  
申スノデアリマセヌ、勿論相體の立場ニ居ラレル所ノ天照皇  
大神様、即チ他ノ八百萬ノ神々ト共ニ事業ヲナスツタ場合ノ天  
照皇大神様ト、所謂絕對的ニ崇メマスル、即チ八百萬ノ神々様  
ノ總テノ御徳ト云フモノヲ全部總括ナサルト云フ、絕對ノ立場  
ニ於カセラルル天照皇大神様ノ場合トアリマスルガ、私ハ今申  
シマスル後ノ方ノ意味ノ天照皇大神様、八百萬ノ神々ヲ初メ、  
其ノ後時代ガズツト經ツテ來マシテ、國民ノ中ニモ國家ニ功勞  
アル者ハ神トシテ祀ラレル、ソレ等ノ神々モ總テハ天照皇大神  
ノ御神徳ノ廣大ナル御光ヲ受ケテ、部分々々ノ神トシテ立チ得  
ル、大體私ハ天照皇大神ハ八百萬ノ神々ノ總括神デアラセラレ  
ルト云フ建前ノ禮拜スル、是ハ絕對的ノモノデアルト私ハ信ジ  
テ居リマス、然ルニ所謂宗教ニハソレトモ本尊或ハ奉齋主神ヲ  
立テテ居リ、之ニ絕對ノ禮拜ヲ教ヘル、宗教ニ依リマスレバ、  
其ノ爲ニ畏多クモ神宮ニ禮拜スルコトヲ、公然トハヨウ致シマ  
セヌデアウガ止メテ居ルヤウナ宗派モアル、事實ニアルノデア  
リマス、最近幸ニ國體問題ガ世上一般ニ論セラレマシテ、次第  
ニサウ云フ弊風ハナクナリマシタガ、サウ云フ風ナ實例ガアル  
ノデアリマス、殊ニ伊勢神宮ノ大廟ヲ國民ニ戴カセルト云フコ  
トガ、二十年前カラ段々ト考ヘラレルヤウニナリマシテ、各町

村役場ガ神社ヲ通ジテ、氏神ヲ通ジテ、氏子ニ之ヲ頒布シ  
ヨウトシタ時ニ、問題ヲ起シタ地方ガアルノデアリマス、ソレ  
ハナセカト云フト、彼等ノ奉ズル本尊チ絕對ナリト信ズルカラ  
デアリマス、我國ニ於テハ斯様ナ絕對ノ存在ヲ許シマセヌ、天  
照大神様ニ御詣リスルコトチ止メルガ如キハ、私ハ思想的國賊  
デアルト思フ、信仰ニハ當然本尊、奉齋主神ガ伴フノデアリマ  
スガ、果シテ之ニ禮拜スルコトガ我國ノ國體精神ニ悖ラナイモ  
ノデアアルカト云フコトニ付テ御伺シタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 只今禮拜ノコトニ付テノ御尋デアゴザイマスガ  
固ヨリ我國ニ於キマシテ皇祖ノ神靈ヲ崇メ奉リ、之ニ禮拜ヲ致  
シマスコトハ、是ハ國民全體一人モ例外ハゴザイマセヌ、各宗  
教ニ屬スル者ト雖モ此ノ範圍外ニ出ヅルモノデハナイ、併シナ  
ガラ是ト同時ニ、各宗教ノ教義チ弘メラレタ宗祖ヲ信徒ガ尊崇  
スルト云フコトモ亦當然ノコトデアゴザイマス、カルガ故ニ宗祖  
チ崇メ、其ノ教義チ尊ミ、之ニ依ツテ日本國民ノ義務チ盡スト  
云フコトモ亦當然ノコトデアリマス、デアリマスカラ、各宗教  
宗派ニ於キマシテ其ノ宗祖ヲ尊ビ、其ノ教義チ重ンズルコトハ  
是ハ當然デアリマシテ、是ガ我が國民全體ノ信仰ノ中心トナル  
ベキ皇祖ニ對スル禮拜ト決シテ抵觸スルモノデハナイ、斯様ニ  
考ヘテ居リマス

○會和委員 只今ノ御答辯ハ、各自ガ奉ズル宗教ノ宗祖ニ對ス  
ル尊敬ト申シマスルカ、サウ云フ意味テ禮拜スルノダト云フ風  
ニ承リマシタガ、今日我國ニ行ハレテ居リマスル所ノ宗教デア  
サウ云フ意味テ本尊チ立テテ居ルノデアリマセヌ、勿論中ニ

ハ左様ナノモアリマス、甚ダ宗派ノ名チ擧ゲテ如何カト思ヒマ  
スガ、話ガ具體的ニナリマスカラ、ドウシテモ擧ゲザル得マ  
セヌ、例ヘバ眞言宗ニ於キマシテハ、大體ハ大日如來ヲ本尊ト  
立テルベキモノデアアルガ、其ノ後段々教ガ變ツテ來テ、或ル  
部ニハ弘法大師ヲ本尊ノ如ク信ジ、之ヲ禮拜シテ居ル人モ多々  
アリマスルガ、是モ誤リ信ジテ居ル、或ハ又日蓮宗ニ於キマシ  
テハ、南無妙法蓮華經ノ七字ノ題目ヲ法本尊トシ、人本尊トシ  
テハ釋迦デアルト云フコトチ日蓮ガ立テテ居ルノデアリマスケ  
レドモ、而モ日蓮ハ佛ハ釋迦ノ弟子ダ、上行菩薩ノ再誕ダト云  
フコトチ教ヘテ、茲ニ三位一體ト言ヒマスカ、サウ云フ教義ニ  
ナツテ居ル、ソレモ或ル一部ノ檀徒、信徒ノ間ニハ、日蓮ヲ以  
テ本尊ノ如ク信ジテ居ルモノモアリマスケレドモ、元來宗教ノ  
立テ方ハ、總テサウ云フ宗祖ト云フモノチ勿論尊敬致シテ禮拜  
致シマスガ、其ノ根本ニ本尊ガアル、阿彌陀如來デアルトカ、  
釋迦如來デアルトカ、或ハ南無妙法蓮華經デアルトカ、或ハ又  
「エホバ」ノ神デアルトカ、ソレトモ本尊ガアルノデアリマス  
サウシテソレ等ノモノニ絕對歸依テ教ヘル、左様ナ狀態ニアリ  
マス、私ハ是以上ハ申シマセヌガ、唯イマ一ツ總理大臣ニ御伺  
シタイノハ、總理大臣ハ先程モ憲法ノ條章ノ事チ仰セニナツタ  
ノデアリマスガ、我國ニ於テ宗教ノ問題チ彼此レ言ヒマスル  
人ハ直ニ帝國憲法第二十八條ニ信教ノ自由ガ許サレテ居ルデハ  
ナイカ、斯ウ云フ言葉チ以テ、深クモ考ヘズシテ一切宗教ニ對ス  
ル論議チ中止セシメントスル形勢ガアル、此ノ點ニ付キマシテ  
ハ私ハ本會議デモ申シタノデアリマスガ、帝國憲法第二十八條

ニハ宗教ノ自由ヲ許スト云フコトハ御示ニナツテ居ラナイ、是ハ私ハ畏クモ 明治天皇ノ高遠ナル大御心ガ茲ニ發露サレテ御示ニナツタモノダト思フノデアリマスガ、併シ憲法義解ヲ讀ンデ見マス、私ハ其ノ點ニ付キマシテモ 甚ダ烏滸ガマシイ次第デアリマスガ、伊藤公ノ此ノ條章ニ對スル御解釋ニ對シテモ私ハ疑問ヲ持ツテ居ル、斯様ナ問題ハ、或ハ今日ニハ分ラヌカモ知レマセヌ、永遠ヲ論ズル宗教カラ見マスナラバ、百年五百年ハ利那デアリマス、隨テ此ノ問題ニ付キマシテハ、將來ノ事實ニ依ツテ私ハ立證サレルモノデアルト深ク信ズル者デアリマスガ、此ノ帝國憲法ノ第二章、臣民權利義務ト云フ所ヲ拜見致シマスルト、他ノ法條ハ總テ準據スベキ法律ト云フモノガ根據ニサレテ居ル、第十八條ニハ「日本臣民タルノ要件ハ法律ノ定ムル所ニ依ル」第十九條ニハ「日本臣民ハ法律命令ノ定ムル所ノ資格ニ應ジ均ク文武官ニ任セラレ及シ其ノ他ノ公務ニ就クコトヲ得」總テ法律ニ依ツテ決メラレルコトニナツテ居リマスガ、勿論中ニハ第三十條ノ如キ、法律アナクシテ「日本臣民ハ相當ノ敬禮ヲ守リ別ニ定ムル所ノ規定ニ從ヒ請願ヲ爲スコトヲ得」是ハ規程トナツテ居リマスガ、他ハ法律ヲ以テ定メラレルコトニナツテ居ル、所ガ此ノ第二十八條ニ於テハソレガナイノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ宗教團體法案ニ依ツテ企圖セラルル所ガ、今日マデノ所謂宗教ダケヲ其ノ儘宗教ト認メテ取締ツテ行カウト云フ思召アルナラバ、稍々私モ同意シ得ルノデアリマスガ、併シナガラ新ニ尙ホ宗教ガ起リ得ルト云フ建前ヲ政府ガ執ツテ居ラレルラシイ、サウシマスルナラバ、殊ニ其ノ宗教

ノ教團ト申シマスカ、ソレヲ認可サレル場合ニハ教義ノ大要ヲ記シテ顯出ルコトニナツテ居ル、ソコガ問題デアリマス、果シテ如何ナル教義ヲ以テ妥當ナリトスルカ、其ノ點ニ於テ若シ政府ニ於テ適切ナ、明確ナル御標準ガナイト云フコトニナルナラバ、將來ノ我國ノ宗教界ニ於テ非常ナル思想ノ混亂ヲ來シ、將來永遠ニ禍根ヲ貽スノデアアルマイカト云フコトヲ私ハ懼レルノデアリマス、更ニ微ニ入り細ニ互ツテ御伺シタイノデアリマスケレドモ、ソレハ主務大臣ニ御伺スルコトニ致シマスガ、今申シマシタヤウニ、憲法第二十八條ニハ、宗教ト云フ文字ヲ御用ヒニナラズ、更ニ一步進メテ信仰ト云フ文字モ御使ヒニナツテ居ラナイ、信仰ノ自由ヲ有スト云フ言葉ヲ御用ヒニナツテ居ラナイ、「信教」ト書イテアル、ナセ信仰ト云フ文字ヲ御用ヒニナラナカツタノデアラウカ、是ハ拜察申上ゲルモ甚ダ恐懼ダト存ジマスルガ、私トシテ其ノ點々考ヘラレルコトモアリマスルノデ、特ニ總理大臣ガ何カ御考ニナツテ居ルト云フコトデアラナラバ、御示シ願ヒタイト思フノデアリマス

○平沼國務大臣 是マデ信教ノ自由ト云フコトニ付キマシテハ解釋ニ左程異論モナイヤウニ考ヘマス、信教ノ自由ヲ憲法ニ於テ認メラレテ居リマスルノハ、要スルニ安寧秩序ヲ妨ゲズ、若クハ臣民ノ義務ニ背カナイ範圍内ニ於テ之ヲ認メルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ現今宗教ト稱ヘラレルモノノ教義ヲ奉ズルヤ否ヤト云フコトモ、亦各自ノ自由ニ屬スルコトデアリマス、之ヲ憲法ニ於キマシテ認メタモノト自分ハ解釋シテ居リマス

（中略）

○高見委員 過日私本會議ヲ質疑テ致シマシタ時ニ、總理大臣モ御聽キ下スツタコトデアリマセウガ、今日ノ此ノ大時局ハ「ソビエト」ノ共產思想ニ對スル所ノ大時局デアル、要スルニ一大思想戰デアル、又斯様ニ見エル、茲ニ於テ宗教家タル者ハ非常ニ活躍シナケレバナラナイ、眠ツテ居ル時デアハナイ、ソレデアリマスカラシテ今日ガ其ノ時機デアル、是ハ獨リ佛教、基督教ノミナラズ、有ユル宗教家ガ此ノ際決然トシテ起ツテ、サウシテ、或ハ支那ニ或ハ印度ニ、殊ニ亞米利加ニ宗教家ガ活躍シテ、サウシテ共產思想撲滅ノ爲ニ働ク時機デアルガ、宗教家ハ何チシテ居ルカト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置イタノデアリマス、政府ハ之ニ對シテドウ御考ニナツテ居ルカ、宗教家ハ何チシナクテモ宜シイ、大局ハ政府ガ握ツテヤルカラ宜シイト御考ヘニナルカ、今日ノヤウナ時局ニ於テ、殊ニ支那ノ後ロニハ「ソビエト」ガアリ、「ソビエト」ガ共產思想ト云フモノヲ蔓延サセル爲ノ唯一ノ手段トシテヤツテ居ルノデアアツテ、之ニ對シテ宗教家ハ決然トシテ起ツベキモノデアハナイカ、之ニ對シテ政府ハドウ御考ニナツテ居ルカ、伺ツテ置キタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 政府ニ於キマシテモ只今述ベマシタ點ニ付キマシテ、將來宗教家ノ十分ナル活躍ヲ希望致シテ居ル次第デアリマス、隨テ今回ノ國民精神總動員ノ組織ニ於キマシテ、宗教團體ノ此ノ方面ニ活躍スルコトヲ希望致シテ居リマス

○西田委員

（中略）

只今曾和君ノ御質問ニ對シテ、總理大臣ノ御答辯

ハ、此ノ宗教團體法ニ認メテ居ル所ノ宗教ヲ超越シテ惟神ノ道ガアルノダ、斯ウ云フ御話デアツタヤウニ承ツタノデアリマスガ、此ノ宗教團體法ヲ離レテ、惟神ノ道ト云フモノガ宗教デアルカドウデアアルカト云フコトニ付テ、總理大臣ハドウ云フ御考ヲ御持チニナツテ居ルカ、承リタイノデアリマス、昔換ヘマスレバ、第一次宗教、第二次宗教ト云フコトガ許サレルナラバ、私共ノ考ヘ方ニシマスルト、惟神ノ道ハ第一次宗教デアハナイカ、サウシテ今宗教團體法ヲ決メラレテ居ル宗教ハ第二次の宗教デアハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘタイト思ツテ居ルノデアリマス、サウスルコトニ依ツテ、日本ノ國民ガ全體惟神ノ道ニ歸依スル信仰スルト云フコトニナツテ來ルノデアハナイカ、是ハ大キナ問題デアリマスノデ、此ノ際政府ノ御考ニナツテ居ル所チ何ツテ見タイト思ヒマス

○平沼國務大臣 言葉ノ使ヒ方ハ是ハ色々アラウト思ヒマス、私ノ述ベマシタノハ要スルニ根本ノ考デアリマス、宗教ト云フ文字ヲ學者ニ依リマシテハ色々ナ意義ニ使ツテ居リマス、其ノ定義ヲ下シタ數モ非常ニ多イノデアリマス、併シ是ハ唯言葉ノ使ヒ方デアリマシテ、私ノ申上ゲマシタ意味ハ、現今宗教團體法、即チ法制ノ上テ宗教ト認メテ居リマスルモノト、惟神ノ道ト云フモノハ、是ハ法制ノ上テ全ク取扱ガ違ヒマス、惟神ノ道ハ仰シヤル通り我ガ國民總テ之ニ從ハナケレバナラヌモノデアリマスガ、是ハ現今ノ法制ハ宗教ノ中ニ入レテ居リマセヌ、ソレテ之ヲ超越スル、斯様ニ申シタノデアリマス

○加藤委員 私モ總理大臣ニ一ツ御尋申上ゲタイト思ヒマス、

只今高見之通君ノ質問ニ對シマシテ、總理大臣ハ宗教家ノ活躍ヲ希望スル、斯ウ云フ御答辯デアツタノデアリマス、私ハ昨年七十三議會ニ於キマシテ、此ノ日支事變ニ際シテハ大ニ宗教家ガ働カナケレバイケナイ、殊ニ支那ハ佛教國デアアル、日本モ佛教國デアアル、此ノ支那ノ佛教徒ト日本ノ佛教徒トガ相提携致シマシテ宜撫工作ニ當リマスルナラバ、必ズ大ニ見ルベキ事績ガ舉ルニ違ヒナイ、斯様ナ考カラ致シマシテ、其ノ當時ノ内務大臣、文部大臣等ニ御所見ノ存スル所ヲ御尋申上ゲ、尙ホ此ノ際何トカ我國ノ宗教家ヲシテ向フテ活躍セシムルダケノ方法ヲ講ジテ戴キタイト云フ希望ヲモ述ベタノデアリマスガ、其ノ際内務大臣、文部大臣等カラ、如何ニモ同感デアアル、大イニヤラネバナラヌ、斯ウ云フ意味ノ御答辯ガアツタノデアリマス、爾來既ニ一年有餘ヲ經過シテ居ルノデアリマスガ、宗教家ノ活躍ニ付テ政府ハ之ニ對シ何カ具體的ニ其ノ方法ヲ講セラレマシタカ、ソレヲ御伺スルト同時ニ、今總理大臣ハ大イニ希望スルト仰シヤイマシタガ、其ノ希望ハドウ云フ風ニ之ヲ具體化シテ實現サセル御考デアルカ、唯御希望ダケノコトナラバ萬人ノ希望ト同ジデ、實現セナケレバ同ツテモ同ハナイデモ宜シイコトニナリマス、是ガ實現ニ付テ御考ガオアリデアリマシタラ、ソレヲ私ハ承リタイト思ヒマス

**○平沼國務大臣** 御答ヲ致シマス、固ヨリ希望ヲ持ツテ居リマス以上ハ、之ヲ實現スベキ方策モ無論考ヘナケレバナリマセヌ今回國民精神總動員ノ組織ヲ改メマシテ、政府並ニ民間ノ有力者ト協力致シマシテ此ノ實現ニ邁ミタイト考ヘテ居リマス、此

ヲ下シ、打破シナケレバナラヌモノガ澤山アル、此ノ國家總動員法ノ出來ル戰時態勢カラ、又革新氣分カラ考ヘマスナラバ、此ノ宗教團體法案ナルモノハ現狀維持ノ非常ナ保守的ノモノデアルト云フコトハ、是ハ疑フベカラザルモノデアリマス、宗教團體法案ノ内容ニ付テ細カイトハ主管大臣ニ御同致シマスガ此ノ法案デハ、宗教ヲ道具ニ使ツテ營利ニ汲々タル輩ヲ取締ルコトガ出來ナイ、而モ保護シナケレバナラヌト云フ一大矛盾ニ付テハ、總理大臣ハドウ御考ニナリマスカ、御同致シマス

**○平沼國務大臣** 宗教團體法ニ於キマシテ、只今御述ノヤウナ趣旨ハ決シテ含シテ居リマセヌ、宗教ノ教義ヲ忘レテ營利ニ汲汲タル者ヲ保護スルト云フヤウナ趣旨ハ、決シテ宗教團體法ニハゴザイマセヌ

**○北委員** 此ノ免稅ナドノ特典ハドウ云フコトニナルノデゴザイマセウカ、ヤハリ一種ノ法人ナラバ免稅其ノ他ノ特典ガアツテ、保護ヲ受ケテ居ルト思ヒマスガ……

**○平沼國務大臣** ソレハ免稅其ノ他ノ保護ヲ與ヘマスノハ、現今正シイ宗教ト認メマスカラ、之ニ保護ヲ與ヘル、今仰シヤルヤウナ營利事業ヲ營ンテ居ルト云フコトヲ認メマスレバ、サウ云フモノハ保護ヲ受ケナイ、例ヘバ宗教結社ナドハ將來段々出來マセウケレドモ、斯ウ云フモノニハ現今ノ宗教團體法ニ於テハ保護ハシテ居ラヌノデアリマス

**○鶴見委員** ……御同致シマス要點ハ、本宗教團體法案ノ第一條ニ「回教」ト云フ文字ヲ入レルコトガ良クハナイカト云

ノ場合ニ於キマシテ、固ヨリ現今存在シテ居リマス所ノ各宗教團體ニモ、協力ヲ是非頼マナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、之ニ付キマシテハ、種々政府部内ニ於キマシテモ協議ヲシ、又民間ノ有力者ト話シ合モ將來致サナケレバナラヌノデアリマシテ、之ニ依ツテ具體的ノ方法モ定マルコトト考ヘマス

**○北委員** 總理大臣ニ唯一言簡單ニ御質問申上ゲマスガ、先程來總理大臣モ幾々御説明ニナリマシタ通り、日本國民ハ憲法ニ依ツテ、日本國民タル義務ニ背カズ、安寧秩序ヲ害セザル限リ信教ノ自由ヲ持ツテ居ルノデアリマス、所ガ此ノ宗教團體法ナルモノハ其ノ一般的规定トハ異ツテ、殊ニ既成ノ宗教團體ヲ一定ノ法規ニ依ツテ一面保護シ、一面取締ラウト云フノデアリマス、立法ノ精神ハ能ク分リマスガ、私ハ所謂宗教團體ナルモノノ中ニ、營利ニ傾キ、公益法人タル性質トハ大分異ツタモノガ非常ニ多イト思ヒマス、所ガ金儲ケニ宗教家若クハ宗教團體ガ汲々タルコトハ、必ズシモ臣民タル義務ニ背カズ、又安寧秩序ヲ害シナイ、併シ宗教家トシテ金儲ケヲ第一主義ニシテ營利ニ汲々タルト云フ者ニ對シテハ、法律ヲ以テ免稅マデシテ保護シテヤル必要ハナイ、元來真正ノ宗教ト類似宗教トノ差別ハ、色色ノ觀點カラ爲サレ得ルノデアリマスガ、第一ハ類似宗教ハ現世利益ト云フコトヲ目的トシテ營利ニ汲々タル者、サウシテ其ノ中心人物其ノ他高級ノ役員ガ普通ノ人々ヨリモ贅澤チシテ暮スト云フコトデアリマス、ソレガ私ハ類似宗教ト真正宗教ト別ツ最大ナル標準ノ一ツデアハナカラウカト思フ、其ノ觀點カラ見ルト、今日既成宗教トシテ保護スルコトガ出來ナイ、寧ろ鐵鎚

フコトニ關スル質問デアリマスガ、此ノ回教ト云フ文字ヲ入レルカドウカト云フコト自身ハ、主管大臣タル文部大臣ニ御尋チ致シテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ外務大臣ニ御尋チ致スノデアリナイデアリマス、外務大臣ニ御尋致シマス點ハ、若シ本委員會ニ於テ、又衆議院ノ本會議ニ於テ、本案ガ修正サレマシテ「回教」ト云フ文字ガ入ツタ場合ニ於テ、其ノ影響ヲ外務主管大臣タル立場カラドウ御考ニナルカト云フコトニ付テ御同致スノデアリマス、即チ世界ノ三大宗教タル回教、而モ回教徒ヲ殆ド有セザル基督教各國ニ於テ、既ニ平等ノ待遇ヲ受ケテ、他ノ宗教ト同等ニ取扱ハレテ居リマスル回教ガ、此ノ重大ナル本法案ノ中ニ於キマシテ文字トシテ現ハサレテ居ラナイト云フコトガ世界ニ與ヘマス影響ハ、挿入サレナカッタ、即チ削除サレタ、斯様ナ影響ヲ與ヘマス爲ニ全世界ニアル三億七八千萬ノ回教徒而モ其ノ壓倒的多數ガ東洋民族デアアル回教徒ニ非常ナ失望ノ感ジテ與ヘルデアラウト思フノデアリマス、之ニ反シ此ノ「回教」ト云フ文字ガ入リマシタ場合ニ於テハ、其ノ結果トシテ、日本ト只今修交關係ヲ結ンテ居ル回教國家ニ對シ、外交上良好ナル影響ヲ及ボスコトハ勿論デアリマセウガ、更ニ進ンデ、未ダ修交關係ヲ結ンテ居ラナイ所ノ回教、例ヘバ「エーメン」王國ノ如キ、或ハ「サウデイ・アラビヤ」王國ノ如キ、其ノ他ノ王國ニ良キ影響ヲ與ヘ、例ヘバ成ラントシテ成ラナカッタ「エーメン」王國トノ通商條約ノ締結トナリ、或ハ將來締結セラルベキ「サウデイ・アラビヤ」國トノ條約ノ成立トモナルヤウナ好キ結果ヲ外交上及ボスノデアアルマイカ

新様ニ考ヘルノデアリマスガ、外務大臣ト致サレテハ、此ノ「回教」ト云フ文字ヲ入レテ、正式ニ日本政府ガ「回教」ニ對シテ是ダケノ考ヲ持ツテ居ルト云フコトガ現ハレタ場合ニハ、世界ノ回教國竝ニ回教國民ニ好キ影響ヲ與ヘテ、外交上有利デアルト御考ニナリマスカ如何デアリマスカ、御伺致シタイノデアリマス

○有田國務大臣 只今鶴見君カラノ御質問ノ、宗教團體法案ニ「回教」ト云フ文字ヲ入レルコトガ外交上便利デアルカドウカト云フ點ニ付キマシテ、是ハ鶴見君カラモ申述ベラレタヤウニ此ノ文字ヲ挿入スルカドウカト云フ點ハ、單ニ外交上ノ見地カラバカリハ斷定出來ナイコトデアルト思ヒマスガ、他ノ點ハ別ニシテ、外交上ノ見地ダケカラドウカト云フコトデアリマスレバ、外務大臣トシテハ、此ノ回教國トノ間ニ親善關係ガ樹立サレテ、サウシテ通商貿易其ノ他ガ益々發展スルニ至ルト云フコトハ、是ハ極メテ強ク希望シテ居ル所デアリマスカラ、若シ「回教」ト云フ文字ガ入ルコトガ回教國家ニ好感ヲ與ヘルト云フコトデアレバ、外務大臣トシテハ勿論ソレヲ希望スルノデアリマス、尙ホ附加シテ申上ゲテ置キタイ事ハ、只今鶴見君カラノ御話ノ中ニハ「エーメン」國トノ條約等モ、回教ト云フ文字ヲ入レタラバ或ハ出來ル様ナコトニナリハシナイカト云フコトデアリマスガ、此ノ「エーメン」トノ間ニ修好條約ハ、「エーメン」ノ王子ガコチラヘ來テ居ラレマス時ニ話ガアツタノデアリマス、此ノ出來ナカッタノハ回教問題ナクシテ、條約ノ言葉ノ問題ダケデアツタノデアリマス、是ハ直接此ノ問題トハ關

係ガアリマセヌケレドモ、或ハ誤解ガアツテモ宜クナイト思ヒマスカラ、一言附加シテ申上ゲテ置キマス

(中略)

○加藤委員 唯一點御尋申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ外デアリアリマセヌガ、只今鶴見君ノ御質問ニ對シテ、外務省トシテハ、何等回教ニ對シテ、ドウ斯ウト云フ話ヲ「エーメン」王子ニセナカッタヤウニ伺ヒマシタガ、實ハ私此ノ回教問題ニ付テ運動シテ居ル人達カラ聴イタノデアリマス、外務省ハ既ニ宗教團體法ノ中ニ回教ヲ認メルヤウニスル、斯ウ云フ口約ヲ與ヘラレタト云フ話ヲ聞イタノデアリマス、其ノ際私ハ、ソレハ外務大臣ガサウ云フコトヲ口約シタノカドウカ、斯ウ言ツテ念ヲ押シテ聴イタ所ガ、イヤソレハ外務大臣デアツタカ、或ハ東亞局長デアツタカ分ラナイ、兎ニ角外務省ハ「エーメン」國ニ對シテ承諾ヲ與ヘタコトハ事實デアルト云フ話ヲ聞イタノデアリマス、ソレデアリハ外務大臣ニ特ニ御尋申上ゲマスガ、只今鶴見君ニ御答ニナリマシタ通り、全ク左様ナ事實ハナイノデアリマスカト云フコトヲ、今一應茲テ念ヲ押シテ置キタイ、アナタハサウ云フコトヲ御口約ナサラヌニシタ所ガ、或ハ東亞局長カ其ノ他ノ人デアリカ、私ハ其ノ點ハ確メズシテ置キマシタカラハツキリ申上ゲ兼ネマスガ、何人カ左様ナ口約ヲ與ヘタ事實ガ外務省内ニアリハ致シマセヌカ、此ノ場合ハツキリ致シテ置キタイト存ジマス

○有田國務大臣 修好條約ノコトニ付テハ、回教云々ノ問題ハナカッタト云フコトハ事實デアリマス、併シナガラ修好條約ノ

問題バカリテナク、「エーメン」ノ王子ノ外務省ニ來テノ話ハヤハリ回教問題テ、私ニ對シテノ話ハ、回教ガ日本ニ於テ差別的ノ待遇ヲ受ケテ居ル、此ノ差別的ノ待遇ハナイ様ニシテ貫ヒタイト云フ事デアツタ、例ヘバ教會ノ——是ハ事實デアルカドウカ知リマセヌガ、「エーメン」王子ノ言フ所ニ依ルト、教會ニ對スル課稅ハ、佛敎ノ寺院其ノ他ニ對シテハ免稅等ガアルガ、回教ノ寺院ニ對シテハサウ云フ事ガナイ、即チサウ云フ點ニ於ケル差別待遇シテハ困ル、公認トカ云フ言葉ヲ實ハ用ヒテ居ツタ場合モアルヤウデアリマス、併シ公認ト云フコトガ實ハ私ニハ能ク分ラナイノデアツテ、他ノ宗教ガ公認サレテ居ツテ回教ガ今日マテ公認サレナイノカ、或ハ宗教團體ト云フ法律ノ團體ト云フモノガ出來テ、其ノ場合其ノ他ノ團體ノ中ニ含マレバヤハリ他ト同ジヤウニ回教ト云フモノハ公認サレルノカドウカソレ等ノ法律ノコトハ私ニハ分ラナイノデアリマス、兎ニ角「エーメン」ノ王子ノ氣持ハ、他ノ宗教團體ト差別的ノ待遇ヲ課稅其ノ他ニ於テスル、斯ウ云フコトハ困ルカラ改メテ貫ヒタイ、斯ウ云フ希望デアツタト思フノデアリマス、ソレニ對シテ私バカリテナク、係ノ者モ恐ラクサウデアツタト思フノデアリマスガ、最近ニ宗教團體法案ト云フヤウナモノガ出來テ、其ノ他ノ團體ト云フ所ニ回教モ恐ラク入ルコトト存ジマス、入レバ差別待遇ハナクナルノデアアルカラ………斯ウ云フ説明ヲ與ヘテ居ル管デアリマス

○高見委員 一寸外務大臣ニ伺ツテ置キタイ、先程總理大臣ニモ質疑致シマシテ、ソレハ外務大臣モ御聽キ下サツタコトト思

ヒマスガ、要スルニ今日ノ此ノ重大ナル時局ニ付テハ、共產主義ヲ打倒シナクテハイケンナイ、所謂防共デアナイ、滅共ノ一大聖戰デアルト云フコトニ付テハ、無論外務大臣ニ於テモ其ノ通りニ御考デアリマセウ、共產主義ハ宗教ト云フモノヲ認メナイ、ソシテ各地ニ革命ヲ起サセルト云フコトヲ指導方針トシテ居ルノデアリマスガ、此ノ機會ニ於テ宗教家ハ決然トシテ起ツテ、サウシテ支那ト連絡ヲ圖リ、南方亞細亞方面ト連絡ヲ圖リ、又印度トモ連絡ヲ圖ル、又亞米利加ノ如キハ物質本位ノヤウニ見エルケレドモ、建國以來今日マテ一貫シテ居ル所ノ「デモクラシー」ノ肉トナル所ノモノハ宗教デアアル、「ビユーリタン」ノ「アラハム・リンコロン」以來、今日ノ「ルーズベルト」ノ正月四日ノ敎書ニ依ツテモ明白デアツテ、亞米利加ニ宗教ガナクナレバ亞米利加ノ「デモクラシー」ガナクナルトモ言ハレテ居ル、ソコヘ日本ノ宗教ガ大ニ活躍シナケレバナラナイノデアナイカ、晏然トシテ居ル時デアナイ、私ハ今日ノ外務省ノ一般對外政策ニ對スル非難ヲ今日致スノデアリアリマセヌ、ソレハモツト強クヤレトカ云フコトハ別ノ機會ニ申シマス、ソレヲ言フノデアリアリマセヌガ、少クトモ茲ニ宗教家ノ一大使命ガアルト云フコトヲ御認メニナルカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、又ソレニ依ツテ今後十分ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ御考ヲ御持チニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ、外務大臣カラ承ツテ置キタイ

○有田國務大臣 日本ノ宗教團體ノ活動、殊ニ支那方面ニ於ケル活動ハ、佛敎團體等デアハ相當舊イ時カラ或ル程度致シテ居ル

ノデアリマス、是等ノ活動ガ益々盛ニナルコトハ極メテ必要ナ  
コトデアアルデアリマス、是ハ宗教家ト申シマスカ、宗教團體  
ト申シマスカ、是ガ其ノ點ヲ認識シテ自發的ニ動クベキモノデ  
ハナカラウカト思ツテ居ルデアリマシテ、吾々トシテハ其ノ  
點ハ從來カラ非常ニ希望致シテ居ルデアリマス

○末松委員 昨日來此ノ宗教團體法案ニ回教ノ二字ヲ加ヘルト  
云フ議論ニ關シマシテ、鶴見君カラ色々御意見モ出タデアリ  
マス、又今日ノ外務大臣ノ御答辯ニ依リマシテモ、國際關係上  
相當望マシイコトノヤウナ御答辯デ、吾々モサウデアハナイカト  
實ハ考ヘルデアリマス、此ノ問題ハ此ノ法案ノ審議ノ上ニ於  
テ、是カラ相當重要性ヲ持ツモノト思ヒマス、從來ノ御意見デ  
ハ、回教ノ二字ヲ加ヘルコトガ回教國及ビ回教信者ニ對シテ、  
相當效果ガアルト云フ點ニ對シテ、色々御論ジニナリマシタガ  
是ハ逆ニ考ヘルト、此ノ際回教ト云フコトヲ入レルコトガ、他  
ノ宗教ニ對シテ非常ニ妨ゲニナルヤウナコトハナイカ、隨テソ  
レガ國際關係上幾ラカ悪イ影響ヲ及ボスコトハナイカト云フ點  
ニ付テノ御尋ネモ致シタイノデス、御承知ノ如ク、回教ト云フ  
宗教ハ、非常ニ開平心ノ強イ宗教デアリマス、又各地ニ於テ隨  
分色々ト問題ヲ起シテ居リマス、印度ヲ旅行シテ非常ニ奇異ニ  
感ズルノハ、回教徒ハ「ヒンズー」教徒トノ争デアツテ、回教  
徒ノ作ツタ食事ハ、「ヒンズー」教其ノ他ノ宗教ノ人ハ食ベナ  
イト云フ位ニ、お互ニ軋軋シテ居ルノハ事實デアリマス、ソレ  
ハ殆ド常識デ考ヘ得ナイヤウナ軋軋ガ、回教ハ他ノ宗教トノ間  
ニアルノデス、是ハ支那ニ於テ行ハレテ居ル道教其ノ他ノ宗教

略々斯ウ云フモノガ其ノ他ノ宗教トスベキモノデアルト云フヤ  
ウナ何カ調ガアリマセヌカ

○松尾政府委員 マダ調ハゴザイマセヌ

午後零時十二分散會

(下略)

昭和十四年三月四日  
午前十一時三十六分開議

○安藤委員長 ソレデハ大變遷レマシタガ開會ヲ致シマス……

○藤田委員 ……丁度此ノ機會ニ宗教局長ヨリ、回教ニ關  
スル教義ト申シマスカ、教理ト申シマスカ、ソレガドウ云フ風  
ナモノカ、サウ云フコトノ説明ヲシテ戴キマスレバ大變參考ニ  
ナルト思ヒマス

○小柳政府委員 回教ガドンナ宗教デアアルカト云フコトハ、要  
スルニ「コーラン」ニ書イデアリマス、御承知ノヤウニ「コー  
ラン」ハ「アラビヤ」語以外ニハ正式ノ翻譯ガ許サレテ居リマ  
セヌ、唯色々ノ翻譯ヲ通シテ通俗的ニ色々ナコトヲ調ベテアリ  
マス、實ハ其ノ點ハ書面テ御答スル積リテ其ノ用意ヲシテ居リ  
マス

○藤田委員 要スルニ私ハ議論スルノデハナク、分レバ結構ナ  
ノデアリマスガ、兎ニ角「回教」ノ二字ヲ本案ニ挿入スルカ否  
カハ、本委員會テ重要ト問題ノ一ツニナツテ居ルヤウデアリマ

ト、今日マデドウ云フ關係ニナツテ居ルカハ隨テ回教ノ二字ヲ  
入レルコトハ、回教徒ニ對シテハ相當有效デアアルガ、他ノ方面  
カラ悪イ影響ヲ及ボスヤウナコトガアルノデハナイカト云フ點  
モ心配スルデアリマス、此ノ點ニ付テ外務大臣カラ宗教的ナ  
リ、或ハ其ノ他ノ國際關係ニ於テ、悪イ影響ガアルカドウカト  
云フ御見込ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○有田國務大臣 日本ハ御承知ノ通り信教ノ自由ガ認メラレテ  
居ルデアリマスカラ、特ニ法案ノ上ニ回教ト云フ文字ガ現ハ  
レマシタカラト云ツテ——多少ノ影響、論議ガアルカドウカ  
ハ、是ハ世界ニ色々ノ考ヲ持ツテ居ル人ガ多分ニアルデアリ  
マスカラ申上ゲ兼ネルト思ヒマスガ、サシテ強イ反對ガアルト  
モ一寸考ヘラレナイノデアリマス、此ノ「回教」ト云フ文字ヲ  
特ニ加ヘナクテモ、「其ノ他ノ宗教ノ教團」ト云フ中ニ回教ガ  
合マレルト云フコトハ、文部大臣カラモ屢々説明サレテ居ル通  
リデアリマス、ソレ等ノ點ヲ合セ考ヘマスレバ、サシタル悪イ  
影響ガアルトモ考ヘラレナイト思フデアリマス

(中略)

○高見委員 文部省ノ御方ニ一寸伺ヒタイノデスガ、類似宗教  
團體ト云フ調ガ來テ居リマスガ、其ノ他ノ宗教ト云フモノハド  
ウ云フモノデアリマスカ、ソレハ「マホメット」教其ノ他ノ關  
係上聽イテ置キタイノデス

○松尾政府委員 其ノ他ト云フノハ、神道、佛教、基督教以外  
ノモノヲ申シマス

○高見委員 其ノ三教以外ノモノニ對シテ、類似宗教ノ外ニ、

スカラ、回教ノ得體モ何モ知ラズ、分ラズニ入レルト云フ説ニ  
モ賛成ハ出來ナイノデアリマスシ、若シ立派ナモノデアレバ反  
對スル理由モナイ、非常ニ迷フデアリマス、過日當局ニ御尋  
致シマシタ所ガ、甚ダ失禮ナ申分デアアルカモ知レマセヌ、直チ  
ニ御答下サル程ノ御研究モ用意モナイ、サウシテ宗教局長ト云  
フ専門ニ研究テナサツテ居リマスル局長ニ答辯ヲ御譲リニナツ  
タガ、實ハ政務次官カラ左様ナ説明ヲ承ツタノデハ、甚ダ禮チ  
缺キマスケレドモ、私ハ満足シ難イ、宗教局長ニ於キマシテモ  
是ハ左様ニスラ、説明サレル程ノ資料モナイト言ツテ戴ケバ  
ソレデモ構ハナイノデアリマス、若シアリマスレバ、隨分問題  
ニナツテ居ルデアリマスカラ、斯ウ云フ風ナ教義ノモノダト  
云フ位ナコトハ、御承知ノ程度テ宜シウゴザイマスカラ、聽カ  
シテ戴キタイ、ソレカラ又サウ云フヤウナ翻譯モナク、一ツノ  
秘密教デ、國語以外ニハ譯サナイモノナラバ、ソレナラソレデ  
宜シウゴザイマス

○松尾政府委員 只今政務次官カラ御答申上ゲマシタヤウニ、  
實ハ段々研究致シテ居リマスケレドモ、「アラビヤ」語デ「コ  
ーラン」ト書イテアルヤウナ所カラ、非常ニ隔靴搔痒ノ感ヲ致  
シテ居リマスケレドモ、只今仰セノヤウナ關係デ、大雜把ナ點  
テ宜シケレバ申上ゲテ見タイト思ヒマス、回教ハ「アラハ」ト  
云フ神様ヲ信仰ノ對象ト致シテ居ル「神教デアリマス、教祖ハ  
申上ゲルマデモナク「マホメット」デアリマスガ、其ノ説キマ  
ス所ハ、其ノ教祖ガ死ンダ後ニ編纂致シマシタ「コーラン」チ  
唯一ノ教典ト致シテ居ルデアリマス、「コーラン」ノ内容ハ



一貫シタ條理ニ乏シト云フ非難ハ受ケテ居リマスケレドモ、約百十數箇條ノモノデアリマシテ之ヲ抽象的ニ纏メテ見マシレバ數箇條ニ纏マルヤウニ思フノデアリマス、主ナル點ヲ申シマス、**「コーラン」**ノ説ク所第一ハ唯一至上ノ「アラハ」ノ神ヲ信ズベキデアアル、ソレカラ人間ハ互ニ親シテ和シテ仲好クシテ行クベキデアアル、罪ヲ犯シテハイケナイ、運命、來世ト云フモノヲ十分信ズベキデアアル、恩ヲ忘レ德義ヲ忘レルヤウナコトハ斷ジテシテハイケナイ、斯ウ云ツタヤウナコトヲ主張致シテ居ルノガ根本ノ思想アハナイカト考ヘルノデアリマス、甚ダ抽象的ノモノデアリマスケレドモ、是ガ回教ノ教義デアナイカト思ヒマス、我國ニ於キマシテハ、申上ケルマデモナク二ツノ教會ラシイモノ——**神佛等ノ例ヲ引ケバ教會ラシイモノガアルノデアリマス**、一ツハ四五年前ニ神戸ノ中山手ニ出來マシタ、一ツハ昨年ノ夏東京市ノ代々木ニ設ケラレマシタ、現ニ二箇ノ教會ラシイモノガアリマス、信者ハ日本人ハ極ク僅カデアリマシテ、二十名乃至三十名、其ノ他ノ信者ハ土耳其、「**ターター**」人、印度人ト云フノデアリマシテ、總計致シマシテ六百人乃至七百人ト推定サレテ居ルヤウナ現狀デアリマス、マダ是等ノ二ツノ教會ニ於ケル行事等ニ付キマシテ、研究ハ十二分ニハ盡サレテ居リマセヌケレドモ、只今ノ所ニ於キマシテ別ニ我が國情ト不一致ノ點ガアルヤウニモ認メラレマセヌノデ、安心シテ居ル狀態デアリマス

○案安委員 (中略) 私ハ相當長イ間本院ニ議席ヲ持ツテ居ル

ノ啓蒙ニ重大ナル關係ヲ有スル旨ヲ御達ニナツテ居リマス、如何ニモ御尤ナ御觀察デアツテ、吾々モ亦左様ニ信ズル者デアリマス、ソコテ本案ヲ檢討致シマスルト、宗教行政ノ根本法規ヲ完備セラレタコトヤ、法規上別段根據ヲ持ツテ居ナイ基督教其ノ他ノ教團ノ基礎ヲ規定セラレタコトヤ、更ニ寺院及ビ教會ニ關シテ免稅或ハ差押禁止ノ範圍ヲ擴張セラレテ居ルコトハ確ニ認ムル所デアリマス、ソレテ本案ノ適用ニ依ツテ、間接ニハ宗教ニ裨益スル所少クナイデアラウト思ヒマス、併シナガラ直接ニ依ツテ、宗教ヲシテ國民精神ノ振作、國民思想ノ啓蒙ニ大イナル働キヲ爲サシムルコトガ出來ルデアラウカドウカト云フ點ニナルト、私共ハ御力感ヒテ懷ク者デアリマス、今や我國ハ未曾有ノ大事變ニ遭遇致シテ居リマス、此ノ際大ニ宗教ヲ活動セシメテ、之ヲ大國策ノ線ニ沿ハシムコトハ、重大ナル意義ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、宗教ニ付テハ色々議論ガアリマス、又宗教ニモ各種各様アリマス、併シテ日本國內ニ存在スル宗教ハ、如何ナル宗教デアリマシテモ、唯其ノ宗教ノ教義ニ依ツテ我が國民ヲ感化スレバソレテ宜シイ、又個人ニ安心立命ヲ與ヘレバソレテ宜シイトハ私共ハ思ハナイ、我が民族性ニ同化シテ、我が國體ヲ擁護シ、宣揚シ、國運ノ伸張ニ寄與スルト云フコトヲ本旨トシナケレバイケナイト思ヒマス、又ソレテナケレバ其ノ宗教ハ國民ノ血トナリ肉トナツテ發展シ向上スルコトハ出來ナイト思フ、其ノ中ニ於テ、佛教ハ千數百年前ノ聖德太子ノ時代ニ、既ニ我が國民性ニ同化シ、我が國體ヲ擁護スル建前ヲ採ツテ居ル、ソレハ太子制定ノ十七條憲法ヲ見ルト明カ

者デアリマス、此ノ間ニ宗教法案ハ幾たびカ議會ニ提出セラレタノデアリマスルガ、何時モ最初ニ提出セラレマス貴族院ニ於テ、法案ノ不備ノ爲デアルカ、又所謂物質偏重ノ爲デアルカ、何時モ審議未了ニ終リマシテ、此ノ度初メテ本院ニ送付セラレ茲ニ此ノ法案ニ對シテ吾々ガ審議スルコトヲ得マスルコトハ洵ニ欣快トスル所デアリマス、又之ニ對シテ當局ノ容易ナラヌ御辛苦ニ對シテハ、私共深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、我が憲法ガ實施サレマシテ既ニ五十年ヲ超エテ居ルノデアリマスガ其ノ第二十八條ノ宣言ニ信教ノ自由ガ認メラレ、又憲法第二章ニ於テ臣民ノ權利義務ガ規定セラレテ居リマス、ソレニ基キマシテ各般ニ互ル所ノ法律ガ出來マシテ、憲法ノ宣言ガ執行セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ精神會ニ於テ最モ大切デアアル所ノ信教ノ自由ニ付キマシテハ、憲法ニ其ノ宣言ガアルバカリテ未ダ憲法執行ノ法律ガ出來テ居ナイ、憲法ニ於テハ信教ノ自由ヲ有ストデアリマス、吾々ハ是マデノ政府ニ於テモ餘リ亂暴ナコトヲシタトモ認メマセヌ、又今ノ政府ノヤウデアレバ、別段心配スルコトハナイト思ヒマスガ、將來如何ナル政府ガ出マシテ如何ナル手段ニ依ツテ信教ノ自由ヲ妨ケラレルヤウナコトガアルカモ分ラヌト思フ、其ノ時ニハ唯憲法ニ宣言サレテアルカラト云フダケアハ議論ニナツテシマフ虞モアルト思フノデアアル、此ノ點カラ觀察スルト、本案ガ今日如何様ニ結著スルカハ存ジマセヌガ、本案ガ極メテ重大ナル性質ヲ有スルト云フ事ヲ認識スルニ躊躇セザル者デアリマス、併テ文部大臣ガ御提案理由ヲ御達ニナリマシタ其ノ中ニ、宗教ガ國民精神ノ振作、國民思想

デアリマス、太子ノ憲法ハ君臣ノ大義ヲ強調セラレ、特ニ國體ノ本義ヲ明ニセラレテ居リマス、ソコテ國體ヲ擁護シ、國民精神ノ融和ト作興ニ資スルガ爲ニ佛教ガ採用セラレタノデアアル、佛教ハ爾來皇室ノ御信仰ヲ蒙リ、皇室ノ特別ナル御庇護ヲ仰イテ瞬ク間ニ全國ニ傳播シ、我が文化ヲ啓蒙シ發揚シ、國民教化上ニ大イナル貢獻ヲ爲シ、日本の特殊性ヲ懷イテ居ル、現在ノ日本佛教ハ、佛教ノ根本使命タル所ノ現實ノ人間、現實ノ社會國家ト云フモノノ働キノ上ニ敬虔ナル信念ヲ置イテ活動シテ居ルノデアアルカ、ドウカ又思想教化ノ上ニ貢獻シテ居ルカドウカト云フコトニナルト、私共ハ甚ダ感心セザル所ガ少クナイ、併シナガラ兎ニ角佛教ハ如何ナル山村、漁村ニ至ルマデ寺院ヲ有シ信徒ヲ持ツテ居ル、別ノ言葉テ申スナラバ、到ル處ニ地方民衆ト親善ナル關係ヲ有スル細胞ヲ持ツテ居ル、政府ハ佛教其ノ他適當ト御考ニナル宗教ヲ指導シ、激勵シテ、日本精神ヲ高調セシメ、皇道ヲ宣揚セシムルコトヲ必要ナリト御考ニナラナイカ

次ニ日本ハ、支那大陸經營ト同時ニ豫メ考慮スベキコトハ、國內ニ於ケル戦後ノ善後策デアルト思フ、而モ總テノ問題ハ結局思想問題ニ歸著スルト思ハレルノデアアル、サレバ私共ハ何ヨリモ先ニ、此ノ思想問題ニ向ツテ豫防ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト思フ、然ラバ何ヲ以テ豫防スルノデアアルカ、ソレハ日本精神ノ扶植デアリマス、更ニ詳カニ申シマスレバ、皇室中心主義ヲ高調スルノデアリマス、皇德ヲ全國津々浦々ニ至ルマデ殘ル限ナク一様平等ニ、光被セシメ、國民ヲシテ皆各々其ノ處ヲ得セ

シムルコトデアリマス、斯ウ致シマシテ正シク明ルイ國家社會ノ實現ニ努メルノデアリマス、併シ此ノ事ハ口テハ言ヒ易クシテ中々容易ナラヌ事ト思ヒマス、又支那ノ宣撫工作ヤ新秩序ノ建設ニ對シテモ、佛教其ノ他ノ適當ト御考ニナル宗教ヲ動員セラレル御考ハナイカ、申スマデモナク、日本ト支那トハ建國ノ基調ヲ異ニ致シテ居ル、即チ日本ハ、皇室中心主義ニ依リ、支那ハ家族中心主義ニ立ツテ居リマス、ソコテ先方ノ民族、風習ヲ能ク考察致シマシテ、兩國共通ノ精神ヲ以テ之ヲ誘披シ、之ヲ啓發シ、是ト提携致シマシテ、最後ニ我が正シキ方針ニ一致セシムベキデアリマセウ、之ヲ爲スニハ、政治上ヨリモ、經濟上ヨリモ、將タ文化ノ關係上ヨリモ色々アルト思ヒマスガ、宗教ヲ動員スルト云フコトモ亦最モ有力ナル方法アルト思フノデアリマス、我が宗教家ヲシテ、何トカシテ獻身ノ信念ト情熱トヲ以テ支那大陸ニ進出スルコト歐米ノ宣教師ノ如クナラシムル事ガ出來マスレバ、大ニ國家ニ貢獻スルコトガ出來ルト思ヒマス、曾テハ我國ト幾百千年ノ昔カラ深キ宗教關係ノアル土地デアルカラ、歐米ノ宣教師ヨリモ、寧ロ勞少クシテ得ル所ノ成績ハ大ニ見ルベキデアラウト思ヒマス、一昨日ハ文相ガ御出席アリマセヌデシタガ、當委員會ニ於テ高見加藤兩委員ノ質問ニ對シテ、平沼首相ハ斯様ニ申サレマシタ、國民精神總動員ニ於テ宗教家ノ活躍ヲ希望スル、又各宗教團體ニモ協力ヲ頼マナケレバナラヌト思フト、又有田外相ハ、宗教家ハ從來支那ニ活動シテ居ル、今後モ自發的ニ活動ヲ希望シテ居ル旨ヲ申サレマシタ、併シ乍ラ唯口ノ先ヤ紙ノ上ノ指導激勵ダケテハ、到底眼

ニ見エルヤウナ效果ヲ舉ゲシメルコトハ出來ナイト思ヒマス、ソコテ眠ニ見エルヤウナ效果ヲ舉ゲシメルニハ、政府カラ相當ノ費用ヲ與ヘ、各宗教派ノ管長ナリ、教團ノ代表者ヲシテ其ノ責任ヲ負ハシメナケレバナラヌト思フ、今日ハ申スマデモナク國費洵ニ多端ノ折柄デアリマス、併シナガラ私ガ前ニ申シマシタ目的ノ爲ニ相當ノ費用ヲ政府ガ支出致シマシテモ、敢テ吝ムニ足ラナイノデアリマス、又一面ニハ今日ノ宗教團體ハ、種々ナル方面カラ其ノ革新ヲ要求セラレテ居リマス、行詰ツテ居リマスル教會ノ現狀ヲ打開シ、新時代ニ順應シタ新シイ機構ヲ打ち樹テシメルコトハ、教團當事者ニ課セラレタ當面ノ問題デアリマスルガ、此ノ際宗教家ニ日本精神ヲ高調セシムルコトハ樹テソレガ宗教ヲシテ今日ノ時代ニ順應シ、新シイ機構ヲ打ち樹テシメル導火線ニモナルコトト信ズルデアリマス、荒木文相ハ平素盛ニ日本精神ヲ鼓吹シ激勵シテ居ラレルコトハ、私共國家ノ爲ニ尙ニ感謝シテ居ル所デアリマス、我が歴史ヲ貫イテ居ル祖先以來ノ民族精神ヲ從來日本魂ト云フ、近頃迄ハ國民精神ト稱シテ居タモノガ、最近ニ於テハ特ニ日本精神トシテ國民的自覺ヲ喚起致シテ居リマス、此ノ日本精神ト云フ名稱ハ現文相ガ御付ケニナツタモノデアハナイカト思ウテ居ル、或ハ間違ツテ居ルカモ存ジマセヌ、今日ハ亞細亞ノ地圖ガ改メラレントスル大轉換期デアリマス、此ノ際政府ハ所謂舊イ鼓カラ脱ケ出サレ、積極的ニ乗出シテ、佛教其ノ他ノ宗教ヲ活動セシムルガ爲ニ相當ノ費用ヲ御出シニナル御意思ガアリマスカドウカヲ御尋致シマス、更ニ又假令今日其ノ御意志ガナイト致シマシテモ、

私共ノ見ル所ニ依リマス、此ノ事ハ極メテ重大ナル問題ト考ヘマス、仍テ十分ニ御考慮セラレントト併セテ希望スル者デアリマス

○荒木國務大臣 只今御尋ノ宗教ヲ通ジテノ國民思想ノ涵養ニ關スル問題ハ、御説ノ通りニ最モ其ノ切要ヲ感じテ居ルノデアリマス、過去ノ宗教行政ニ關スル狀態ヲ顧ミマスルト、明治維新以來甚ダ此ノ點ニ付テハ放漫ニ放置セラレテアツタ觀ガアツタノデアリマス、今日マテ法規ノ整備スラ出來ズ、各教派、宗派、教團等ノ法規上ノ地位スラ甚ダ明確ニ缺クテ居ツタト云フヤウナコトデ、御承知ノ通り歐米ノ文物ヲ入レテ急速ノ進展ヲ致ス其ノ間ニ於テ、重要ナ精神、思想、人心ノ機微ヲ擱ンテ居リマスル所ノ宗教ニ對シテハ、甚ダ遺憾ノ點ガ多クツタノデアリマス、併シナガラソレハ少シク心アル人、少シク内ニ人ノ心ヲ省ミル人デアリマスルナラバ、宗教ノ切要ナコトハ誰人モ感ズル所デアリマシテ、此ノ行政ヲ誤ルコトニ依ツテ、或ハ最モ尊イ信仰心ヲ喪失セシメテ、遂ニ唯物的ニ趨ツテ、其ノ結果恐ルベキモノガアリ、又其ノ人心ノ機微ヲ惡用致シマシテ、淫祀邪教ノ瀰漫ニ依ツテ思ハザル災害ヲ受ケルト云フヤウナ點ガアリマスノデ、今回此ノ法案ヲ制定致シマスルト共ニ、是等ノ點ニ付テ此ノ方面ヲ通ジテ人心ノ浮動ヲ防ギ、更ニ信仰ニ基ク最モ光明アル方面ヘノ涵養ヲ致シタイ、隨テ此ノ法案ガ出來マズレバ之ニ伴ウテ一時的テナク、各宗教家ノ眞劍ナ研究ヲ煩ハシマシテ、例ヘバ只今アリマスル、宗教調査會ノヤウナモノヲ常置ト致シマシテ、更ニ斯様ナ研究ノ機關ヲ或ハ本省内ニ設ケ

マス等、眞ニ宗教方面ニ理解ガアリ、學識ノ有ル方ヲ常置シテ茲ニ宗教ニ關スル誤リナイ所ノ指導ト申シマスルカ、研究ト申シマスルカ、サウ云フ方面ヲシテ誤リナカラシメント考ヘテ居ルノデアリマス、又同時ニ一方ニ於テ十分ノ保護モ出來マセヌガ、位地ノ安定ト申シマスカ、正シキ信仰ト云フコトノ氣分ト併セマシテ、宗教家ノ活動ニ後顧ノ憂ナカラシメテ、宗教家若クハ之ニ携ハル各種ノ關係方面ノ人ノ自覺ヲ促シマシテ、ソレニ依ツテ此ノ時局ヲ認識シテ我國ノ立場ヲハツキリ致サセテ、之ニ基イテ宗教ノ活動ヲ致スト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、而シテ是等ヲ併セテ、非常ニ多忙ニシテ他ノコトヲ顧ミル暇ノナイ津々浦々ノ我が國民ニ、宗教ヲ通ジテ總テノ指導ヲスルト云フコトガ最モ切要デアハナイカト考ヘマシテ、左様ナ風ニシテ宗教家ノ責務ノ認識ト奮起トヲ促シテ、第一ノ目的ヲ達成シタイト實ハ用意ヲ始メテ居ルヤウナ次第デアリマス

第二ノ大陸ニ關スル問題デアリマスルガ、御承知ノ如クニ、又今御示ノ如クニ、甚ダ此ノ點ニ付テハ、遺憾ナ點ガ多クアツテ、歐米、殊ニ米國方面ノ宗教家ノ活動ニ一籌ヲ輸スト云フヤウナ傾キガアルノデアリマスルガ、是モ只今ノ計畫ト致シマシテ、大陸方面ノ活躍ニ對シテ宗教家ノ奮起ヲ促スコトガ必要デアリ、出來得ルナラバ、是等ニ對シテ、政府ト致シマシテ相當ノ後援ヲ致シテ各種ノ施設モ試ミタイ、又今日多少其ノ方面ニ對シテ講習會ヲ開キ、或ハ現地ノ人ト互ニ往來ヲ致シマシテ、此ノ活動ヲ授ケテ居ル次第デアリマスガ、將來ハ斯様ナコトデアハ到底宗教活動ニ關スル各國トノ競争ハ不可能ト思ヒマスノデア

會或ハ其ノ他ノ研究会ニ於テ十分研究ヲ致シテ、活動ノ資ニ致シタイ、物心兩方面カラス様ナコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

午後四時四十一分散會

昭和十四年三月七日  
午前十時五十五分開議

○安藤委員長 開會致シマス……

○松尾政府委員 本案ニ付キマシテ一通リノ御説明ヲ申上ケルヤウニト云フ只今ノ御話デゴザイマスカラ、一通リ簡單ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、此ノ宗教團體法案ヲ立案致シマス時ニハ本法ニ依リマシテ大凡我ガ國內ニアル一切ノ宗教的ノ團體ハ悉ク之ヲ網羅シヨウト云フ仕組ニ致シタノデゴザイマス、隨テ我ガ國內ニアリマスル所ノ一切ノ宗教的ノ團體ト云フモノヲ觀察致シマシテ、之ヲ二類ニ分ケタノデアリマス、第一類ハ既ニ歴史モハツキリ長クアリ、沿革モアリ、シツカリシテ居ル、組織モ立派ニ確立シテ居ル、マア卑俗ナ言葉デゴザイマスルケレドモ素性ノハツキリシタ、人間ヲ申シマスレバ成人ノ域ニ達シタ一人前ノ團體、之ヲ宗教團體ト名ヅケタノデアリマス、第二類ハソレ以外ノ宗教團體、即チ先程ノ言葉カラ申シマスレバ歴史モハツキリシナイ、沿革モソレ程確カテナイ、場合ニ依ツテハ今日出來テ明日亡ビルカモ知レナイト云ツタヤウナ、比較的

國家社會ニ對スル關係ガ脆弱ナル團體、之ヲ宗教結社ト名ヅケタノデアリマス、大體此ノ二ツニ分ケタト最初ニ御諒解ヲ戴イテ置キタイト思ヒマス、而シテ其ノ前者、即チ宗教團體ト稱セラレモノヲ又更ニ二ツニ分ケタノデアリマス、第一ハ全國的ノ團體ト申シマスカ、或ハ内ニ多數ノ寺院教會等ヲ包括スルト云フ意味ニ於キマシテ、包括的團體ト申シマスカ、サウ云ツタヤウナ團體ヲ一通リ考ヘマシタ、教派、宗派、教團ト稱スルノハソレナノデアリマス、ソレニ對シテ其ノ全國的團體、包括的團體ニ包括サレル所ノ團體、之ヲ寺院教會ト考ヘタノデアリマス、ソコテ最初ニ分ケマシタル第一類第二類ト云フ、其ノ第一類ノ宗教團體ガ更ニ二通りニ分レマスノデ、是等ノ宗教團體ヲ打ツテ一丸トシテ第一條ニ規定致シタノデアリマス、御覽ノ通り「本法ニ於テ宗教團體トハ神道教派、佛教宗派及基督教其ノ他ノ宗教ノ教團(以下單ニ教派、宗派、教團ト稱ス)、並ニ寺院及教會ヲ謂フ」ト致シマシテ、「並ニ」以下ガ、寺院及教會ガ包括セラレル團體、「並ニ」ノ上ニアリマスル教派、宗派、教團ト云フノガ、是ガ包括團體、全國的團體ナノデアリマス、全國的團體ト云フ意味ニ於キマシテハ、教派タルト、宗派タルト、教團タルト、法上其ノ本質ヲ何等異ニ致サナイノデアリマス、ソレナラバ教派ト一口テ宜イチヤナイカ、宗教ト一口テ宜イチヤナイカ、教團ト云フ言葉ダケテ宜イタラ宜イチヤナイカト云フ議論モ随分ヨク聽カサレタノデアリマスケレドモ、ソコガ宗教立法デアリマスノデ、宗教ト云フモノハ、今更皆様方ニ申上ケルマデモナク、非常ニ歴史ヲ尊重致シマス、傳統沿革ヲ重シ

ズルノデアリマス、隨テ宗教立法ニ於キマシテハ、特ニ歴史、沿革、傳統ト云フモノヲ尊重シナクテハナラマスト云フ觀點カラ致シマシテ、神道ニ於キマシテハ、御承知ノ通り昔カラ其ノ教團ヲ教派ト特ニ稱シテ居ルノデアリマス、ソレカラ佛教ニ於キマシテハ宗派ト申シテ居リマスルノデ、特ニ其ノ包括的團體ヲ佛教ノ場合ニ於テハ宗派ト稱シ、神道ノ場合ニ於テハ教派ト稱スル、所ガ基督教ニ於キマシテハ、其ノ教派宗派ト云ツタヤウナ古來慣熟セル所ノ名稱ガアリマセヌノデ、特ニ本法立案ノ際ニ教團ト云フ名稱ヲ付ケタノデアリマス、今後我國ニ斯ノ如キ團體ガ現ハレ出デマスルナラバ、總テ如何ナル宗教デアラウトモ、神佛以外デアリマスルナラバ、教團ト云フ名稱ヲ以テ呼ビタイ、斯ウ云フ趣意ガソコニ現ハレテ居ル譯デゴザイマス、第一條ハサウ云フ意味ニ於キマシテ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス  
第二條ニ於キマシテ、斯ノ如キ宗教團體ト法人トノ關係ヲ規定致シタノデアリマシテ、寺院ハ古來悉ク法人格ヲ有スル團體デアリマスルガ故ニ、本法ニ於キマシテモ、是ハ當然法人デアルト云フコトヲ第二條第二項ニ於テ規定致シタノデアリマスルガ、其ノ他ノ宗教團體即チ包括的團體ト致シマシテハ、教派、宗派、教團、ソレカラ非包括的團體ト致シマシテハ教會、是ハ任意法人ノ途ヲ茲ニ開イタノデゴザイマス、只今現行法規ニ於キマシテハ、寺院ハ當然法人デアリマスルケレドモ、其ノ他ノ宗教團體ハ法人トナル途ガ塞ガレテ居ルノデアリマス、本法ニ依リマシテ、ソレガ法人トナル意思ガアルナラバ法人トシテヤルト云フ途ヲ茲ニ開イタノデゴザイマス

右申上ゲマシタ、宗教團體中、包括的團體、全國的團體、即チ教派、宗派、教團ニ關スル規定ガ、其次ノ第三條乃至第五條ニ規定サレテ居ルノテゴザイマス、即チ第三條カラ第五條ヲ御覽ニナリマスルトキニ、是ハ包括的團體ト御諒解ガ願ヒタイノデアリマス、第三條ニ於キマシテハ、斯ノ如キ教派、宗派、教團ヲ設立セントスルトキノ手續規定ガ茲ニ記載セラレテゴザイマス、又其ノ際ニ具シテ提出スベキ所ノ教派デアリマスルト規程、宗派デアリマスレバ宗制、教團デアリマスルト教團規則是等モ本質ニ於テハ變リハシマセヌケレドモ、特ニ宗教團體ナルガ故ニ、歴史沿革ヲ重シマシテ、古來神道ニ於キマシテハ教規ト稱シ、佛敎ニ於キマシテハ宗制ト申シテ居リマスルノテデアリマス、ソレ等ノ教規、宗制、教團規則ノ要記載事項、特ニ是ダケハ書カナクテハナラヌト云ツタヤウナ事項ヲ、茲ニ列記致シマシテ、末項ニ於キマシテハ、ソレ等ノ變更ニ關スル規定等ヲ掲ゲタノデアリマス

第四條ハソレ等ノ教派、宗派、教團等ノ管理代表者ニ關スル規定デアリマス、是亦冷ヤカナ法理カラ申シマスルナラバ、唯一ツノ名前ヲ結構カト存ジマスルケレドモ、宗教團體ノ歴史性ヲ尊重致シマシテ、神道佛敎ニ於テハ古來管長ト稱シテ居リマスノテ、管長ト云フ名目ヲ付ケマシタノデアリマス、教團ノ方ニ於キマシテハ、別段ノ名前ハゴザイマセヌノテ、特ニ教團統理者ト云フ名前ヲ付ケタノデアリマス、教團ヲ管理スルカラ教團管理者デモ宜イノテハナイカト云フ説モアリマシタケレドモ

ソコガ甚ダ子供ラシイ考カモ知レマセヌケレドモ、宗教團體ノコトダカラ、少シ重味ヲ付ケテ教團統理者ト致シタノデアリマス、ソレ等ニ關スル規定ガ第四條ニ列記セラレテゴザイマス、是等ノ教派、宗派、教團ノ合併解散ニ關スル規定ガ第五條ニ定メラレテ居ル次第デアリマス

斯ノ如キ教派、宗派、教團ニ對シマシテ、ソレニ所屬致シマスル所ノ寺院教會ニ關スル規定ガ、第六條乃至第十二條ニ規定サレテ居ルノデアリマス、第六條乃至第十二條ノ規定ハ、即チ寺院教會ニ關スル一切ノ規定デアゴザイマシテ、其ノ中ノ第六條ハ、寺院教會ガ設立セラルル際ノ手續規定及ビ其ノ際ニ具シテ提出スベキ所ノ寺院規則、教會規則ニ關スル規定デアゴザイマス此處デ一寸申上ゲテ置カナクテハナラヌノハ、右申上ゲマス通り、寺院教會ハ原則ト致シマシテハ全國的團體、包括的團體タル所ノ教派、宗派、教團ニ所屬スベキヲ以テ原則ト致シテ居リマス、併シナガラ宗教界ノ發展ヲ考ヘマスル場合ニ、又自然ノ情勢ヲ見マスル場合ニ、場合ニ依ツテハ教派、宗派、教團ニ所屬セザル教會ト云フモノヲ認メルコトモ亦已ムヲ得ザル次第デアリマスノテ、第六條第二項第五號ヲ御覽キマス、ソコニ教派、宗派、教團ニ所屬セザル教會ノ規定ヲ設ケタノデアゴザイマス、昔ノ案ヲ見マスルト、此ノ點ニ付キマシテハ或ハ一條ヲ設ケ、或ハ一項ヲ特ニ設ケタヤウナ場合モアツタノデアゴザイマス、教會ハ場合ニ依ツテハ教派、宗派、教團ニ所屬セザルコトヲ得、之ヲ單立教會ト稱スナドト云フヤウナ規定ガ昔ノ法案ヲ見マスアツタヤウデアゴザイマスケレドモ、斯ウ云ツタヤウナ

工合ニ特ニ一條ヲ設ケ、特ニ一項ヲ設ケルト致シマス、如何ニモ單立教會ヲ法律ガ獎勵シタカノヤウナ感ヲ懷ク者モナキニシモアラズト考ヘマシテ、宗教界ノ進展上此ノ途ヲ開クコトハ餘儀ナイコトデアアルケレドモ、又ソレガ藥ガ效キ過ギルト、或ハ教團或ハ場合ニ依ツテハ教派、宗派ノ存立ヲ脅カスト云ツタヤウナ弊害モ亦考ヘラルルノデアリマスノテ、特ニ第六條第二項第五號ノ途ヲ開イテ居ルヤウナ次第デアゴザイマス、繰返シテ申上ゲマスルガ、寺院、教會ハ原則ト致シマシテハ、是ハ教派宗派教團ニ所屬スベキモノデアリマス、殊ニ寺院ハ古來ノ歴史沿革ヲ尊重致シマシテ、必ズ宗派ニ所屬スベキモノデアルト云フ立法ノ精神デアゴザイマスルガ、教會ハ場合ニ依ツテハ是ハ教派、宗派、教團ニ所屬セザルコトモ得ト云フヤウナ意味テ、第六條第二項第五號ノ規定ガ設ケラレタコトヲ御諒解願ヒタイト存ジマス、第七條ハ斯ノ如キ寺院教會ノ管理代表者ノ規定デアリマス、第八條ノ其ノ寺院、教會ニ總代ヲ置ク、御承知ノ通り或ハ檀徒總代ト稱シ信徒總代ト稱シ、現行規定ニ於テモゴザイマス、是ハ昔カラアル制度デアリマシテ、詰リオ寺ノ住職トカ云フ方ハ入山ヒラレタ方デ、山ノ中ノ人ダ、浮世ノ沙汰ハ開カナイ人ダ、斯ウ云ツタヤウナ考ヘ方カラデモアリマセウ、自然オ寺トシテモ色々ナ世ノ經濟關係ヲ持ツテ居リ、法律行爲モ同ジデアアル、世間ノ事ニ疎クテハ困ル、場合ニ依ツテハ酷イ目ニ遭フカモ知レナイ、サウ云フ場合ニ相當ニ俗人ガ之ヲ助ケル意味ニ於テ關與スルト云フコトハ最モ宜イコトデアアル、斯ウ云ツタヤウナ觀念カラ、昔カラ總代ノ制度ガ設ケラレテ居リマス

或ハ皆様方ノ御耳ニハ、場合ニ依ツテハ惡イ總代ノコトガ頗々ト入ツテオイデニナルコトガアルカモ知レマセヌ、成程惡イ總代ガ場合ニ依ツテハオ寺ヲ振廻スコトガナキニシモアラズデアリマスケレドモ、之ヲ大局カラ見マス、總代ガ寺院ヲ助ケテ居ル功績ハ認メナケレバナリマセヌノテ、本法ノ第八條ニ於テ總代ノ規定ヲ設ケタヤウナ次第デアリマス、第九條、第十條ハ寺院、教會等ノ財産ニ關スル規定デアリマシテ、本法設立ノ際ニ特ニ考慮シナケレバナリナイノハ、寺院、教會ト云ツタヤウナ宗教團體ハ、是ハ申上ゲルマデモナク營利團體デアアリマセヌ、換言スレバ其ノ收入ト云フモノハ悉ク寄附、或ハ善男善女ノ淨財デアルト云フ點カラ考ヘテ、是非其ノ收支ハ明確ニシテ置カナケレバナリマセヌ、其ノ財産ハ確保シテ置カナケレバナリマセヌ、就テハ財産管理ニ關スル規定ガ特ニ注意ヲ要スベキモノデアルト云ツタヤウナ朝野ノ御意見モアリマスノテ、第九條、第十條等ニ於テハ特ニ其ノ點ニ注意ヲ拂ツタ積リデアリマス、即チ第九條ニ於テハ、寺院又ハ法人タル教會ノ財産臺帳ノ規定ヲ置イタノデアリマス、即チ寶物或ハ重要ナル財産ハ、縣廳ニ備付ケテアル財産臺帳ニ登錄スル、尤モ不動産ノコトハ書イテアリマセヌガ、是ハ不動産登記法ニ於テ登記ヲサセタイト考ヘタノテ、財産臺帳カラハ外シタノデアリマス、斯ノ如ク不動産登記法、若シクハ本法第九條ノ財産臺帳ニ依リマシテ之ヲ登記サセテ置ク、サウシテ第九條ノソレヲ伏線ニ致シマシテ第十條ニ於テ、是等ノ登記若クハ登記サレタ所ノ財産ヲ處分シヨウトカ、或ハ擔保ニ供シヨウト云ツタヤウナ場合ニハ、總代

ノ同意ヲ得テ地方長官ノ認可ヲ受ケナケレバナラナイ、斯ウ云フ手續ヲシナケレバ處分等ガ出來ナイノダト云フ規定ヲ設ケタノテゴザイマス、第十一條ハ合併又ハ解散ニ關スル規定デアリマス、寺院ニシテモ教會ニ致シマシテモ、場合ニ依ツテハ合併ヲシ解散ヲ致シマスノテ、ソレ等ニ關スル手續ヲ第十一條ニ於テ規定致シタノデアリマス、第十二條ハ寺院、教會等ノ境内地若クハ境内地ノ寺院ノ方ハ昔カラ境内地、教會ノ方ハ境内地ト言ヒ慣サレテ居リマスノテ、境内地、境内地ト特ニ區別シタノデアリマスガ、本質ニ於テハ變ラナイノデアリマス、ソレ等ノ境内地及ヒ境内地ノ管理ニ付テハ、是ハ十分大事ニシナケレバナリマセヌノテ、命令ヲ以テ之ヲ規定シタイト思ヒマシテ、第十二條ノ規定ヲ置イタ譯デアリマス

第十三條乃至第十五條ハ、別々ノ斷片的ノ規定ガ三ツ並ンデ居ルヤウデアリマスガ、第十三條ハ宗教團體ニ對スル登記ノ規定ヲ置イタノデアリマス、是ハ民法ヲ準用シテモ結構カトモ思ヒマシタケレドモ、一ツニハ宗教團體ト民法上ノ法人トハドウモ性質ガ違フノテ、登記事項モ多少違フトモ考ヘマシタシ、ソレカラ宗教團體ノ登記ハ民法ノ登記ヨリモ大事ニシテヤツタラドウダラウト云フヤウナ關係カラ、特ニ第十三條ヲ設ケマシテ登記ノ規定ヲ別ニ設ケヨウト考ヘテ居ル次第デアリマス、第十四條ハ、合併、解散ニ關スル規定ガ本法中ニモ出テ居リマスルケレドモ、其ノ他ニモ細々シタコトヲ勅令ヲ規定シナケレバナリマセヌノテ、第十四條ニ勅令ニ委任スル規定ヲ置イタ譯デアリマス、第十五條ハ民法ノ準用ノ規定デアリマス

次ノ第十六條乃至第十九條デアリマスガ、是ハ宗教團體ニ對スル監督規定ヲ茲ニ集メタノテゴザイマス、第十六條ハ宗教團體又ハ教師ノ行フ宗教ノ教義ノ宣布若クハ儀式ノ執行、又ハ宗教上ノ行事ガ、安寧秩序ヲ妨ゲ、或ハ臣民タルノ義務ニ背イタ場合ノ制限禁止ニ關スル規定デアリマス、是ハ憲法ノ條章ト能ク照シ合シマシテ、毫モ違憲ノ沙汰ヲ惹起サナイヤウニ、慎重ナル研究ヲ致シテ是等ノ字句ガ定メラレタ次第デアリマス、第十七條ハ教義ノ宣布、儀式ノ執行以外ノ場合ア、宗教團體トカ或ハ機關ノ職ニ在ル者、或ハ教師ノ業ニ服シテ居ル者ガ、法令ニ違反スル、或ハ正義ニ反スル、公益ノ侵害ヲ致スト云フヤウナ場合ノ規定デアリマス、ソレカラ第十八條ハ、第十六條、第十七條等ガ適切ニ行ハレル爲ニハ、能ク實際ノ狀況ヲ知ツテ居ラナケレバ相成リマセヌノテ、其ノ事態ニ付キマシテ精細ナル報告ヲ徵スル、場合ニ依ツテハヤハリ實際ノ狀況ヲ調査モ致サナケレバナリマセヌノテ、其ノ報告ヲ徵スルトカ、實況ヲ調査スルコトノ權限ヲ規定致シタノデアリマス、所ガ場合ニ依リマスルト、主務大臣ニ權限ヲ取ツテ置キマシテモ、隔靴搔痒ノ感ヲ免レナイト云ツタヤウナ場合ガナキニシモアラズ、例ヘバ沖繩縣ノ何處カノ教會ア第十六條違反ノ行爲ガアツタ、ソレヲ文部大臣ガ調ベヨウト云フ場合ニハ、一々沖繩縣知事ヲ通シテ書面ヲ出サス、又分ラナイ所ハ照會シ、更ニ回答ヲ求メル、花蔞日ヲ送ツテ居ツテ問ニ合ハナイト云ツタヤウナコトガ起ラナイトハ限ラナイ、サウ云フ場合ニハ一番能ク分ルノハ、沖繩縣ノ那覇ナラ那覇デアツタラ、沖繩縣知事ガ一番能ク分ル、直グニ

實況調査モ出來ヤシナイカ、本人ヲ呼出シテ聴クト云フコトモ出來ヤシナイカ、斯ウ云フヤウナ場合ニハ寧ろ地方長官ニ或ハ其ノ權限ヲ委任シタ方ガ適當デアラウ、斯ウ云フ觀點カラ致シマシテ、第十九條ニ於キマシテハ、輕微ナル事項ニ付テハ權限ヲ地方長官ニ委任シヨウト云フ考カラ規定サレタ譯デアリマス、次ノ第二十條乃至第二十二條ハ、宗教團體ニ關スル保護ニ關スル規定ガ掲ゲラレテ居ルノデアリマス、第二十條ハ御覽ノ通り、行政處分ニ對シテ不服アル場合ノ訴願、或ハ違法解散等ノ場合ニ於ケル行政裁判所ニ對スル出訴ノ途ガ開カレテ居ルノデアリマス、現行法規ニ於キマシテハ、此ノ保護規定ガ皆目ナイノデアリマス、總ニ請願令ニ依リマシテ、所謂陳情書ト云フモノガ提出サレマスルケレドモ、御承知ノ通り請願ニ對シテハ別ニ指令ヲ與ヘル必要ガアリマセヌノテ、唯ソレヲ見テ置クト云フ工合ニ、宗教團體ニ取ツテハ隨分商榷イヤウナ狀態ニナツテ居リマスノテ、本法ニ於キマシテハ訴願出訴ノ途ヲ開クノガ適當デアラウト存ジマシテ、第二十條ヲ定メタノデアリマス、第二十一條ハ御覽ノ通り差押禁止ノ規定デアリマス、只今ニ於キマシテモ民法、國稅徵收法等ニ一ニ差押禁止ノ規定ガゴザイマスルケレドモ、ソレヲ擴張致シマシテ、第二十一條ニ差押ノ範圍ヲ定メタノデアリマス、第二十二條ハ租稅ノ免稅ノ規定デアリマス、尤モ茲ニ書イテアリマスノハ第一項ニ所得稅、第二項ニ地租、第三項ニ於キマシテ地方ニ於ケル千圓未満ノ少額ノ所得ニ關スル免稅ノ規定デアリマスガ、此ノ免稅ハ此ノ外ニ一番最後ノ第三十七條ニ又一ツゴザイマスルノテ、併セテ御覽

テ願ヒタイト思ヒマス、第二十二條ニ於テハ所得稅ト地租ダケノ規定ヲ置イテゴザイマスルガ、最後ノ第三十七條ニ登錄稅法改正ノ規定ガ置イテゴザイマス、此ノ規定ニ依リマシテ登錄稅ノ減免ガ行ハレル譯デアリマス

以上第二十二條マデハ概略申上ゲマスルト、最初ニ申上ゲマシタ第一類ノ宗教團體、更ニ詳細ニ申シマスルト教派、宗派、教會、寺院、教會ニ關スル規定デアリマス、ソレニ對シテ第二類ト私ガ假ニ申上ゲマシタ宗教結社ニ關スル規定ガ次ノ第二十三條、第二十四條、第二十五條ニ規定シテアルノデアリマス、即チ「宗教團體ニ非ズシテ宗教ノ教義ノ宣布及儀式ノ執行ヲ爲ス結社(以下宗教結社ト稱ス)」「ガソレニ關スル規定デアリマス、第二十三條ハ宗教結社ヲ組織シタル場合ノ事務規定デアリマス、即チ十四日以内ニ地方長官ニ届出テナケレバナラヌ、其ノ届出ラヌベキ者ハ斯ウ云フ事ヲ記載シナケレバナラヌト云フ規定デアリマス、ソレカラ第二十四條ハ、宗教結社ニ所屬シマシテ宗教結社ノ働キトシテ、實際ニ或ハ民家ニ就キ、或ハ路傍ニ立ツテ布教致ス所ノ布教者、是ガ得テシテ問題ヲ起シマスノテ、少クトモ住所氏名ノ如キハ地方長官ハ承知シテ居ラナケレバナラヌト云フノテ、届出ヲサセル規定ニ相成ツテ居ルノデアリマス、第二十五條ハ、本法中第十六條、第十七條、第十八條ト云ツタヤウナ條文ヲヤハリ宗教結社ニモ當然適用セネバナリマセヌノテ、其ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、第二十六條第二十七條、第二十八條ハ罰則規定デアリマス、本法ニ於キマシテハ、今後宗教團體ハ出來ル限リ積極的ニ働カセヨウ、良イ

宗教團體トシテ善良ナル、有效ナル素質ヲ認メテ、其ノ健全ナル機能ノ發揮ヲ期待シタイ、就テハ出來ル限リ罰則ハ少クシテ善イ事ヲスルノダカラ善イ事ヲシロト云フ風ニ向ケタイト云フ希望ヲ參リマシタノテ、極力罰則ハ少クスル方針デアツタノデアリマスケレドモ、第二十六條、第二十七條、第二十八條ヲ御覽下サイマシテモオ分リノヤウニ、是ダテハドウモ餘儀ナイト思ツタノデアリマス、第二十六條ニ於テハ、第十六條等ニ於テ安寧秩序ヲ妨ゲ又ハ臣民タルノ義務ニ背イタ時ハ主務大臣ハ之ヲ制限禁止ヲ命ズル、更ニソレニ背イタト云フヤウナ場合ノ罰則デアリマス、第二十七條ハ特ニ屢々世上テ問題ニ相成リマスガ、宗教結社ニ關スル罰則デアリマス、第二十八條ハ一般法人ニ關スル罰則ヲ主トシテ借用シテ參ツタヤウナ關係ニ相成ツテ居リマス

本法案三十七條中主タルモノハ以上ノ二十八條及ビ最後ノ第三十七條デアリマシテ、次ノ第二十九條カラ第三十條マデハ、御覽ノ通り經過ノ規定ニ相成ツテ居リマス、第二十九條ハ施行期日ニ關スル規定デ、第三十條ハ現行ノ法規中、法律ノ力ヲ以テスルニアラザレバ廢止ガ出來ナイト認メラレマスモノヲ之ニ依ツテ廢止スルノテゴザイマス、第三十一條ハ現ニアル教派宗派、即チ神道ニ十三派アリ、佛教ニ五十六派ゴザイマスガ、ソレ等ノ教派、宗派ヲ本法ニ於テモ效力ヲ繼續シテ認メテヤル又其ノ管理代表者、即チ管長ノ效力ヲヤハリ本法ヲ認メテヤラウ、第三十二條ハ現ニアル寺院、現ニアル祠宇ノ規定、第三十三條ハ教會所——私ハ一口ニ教會所ト申上ゲマスガ、或ハ教會

所ト稱シ、堂宇ト稱シ、會堂ト稱シ、説教所、講義所ト云フヤウナ文字ガズツト並ンテ居リマスガ、現行法規ニサウ書イテアリマスノデ、サウ書カナケレバシツクリ行キマセヌノデスガ、神佛道教會所規則ニ於キマシテハ、教會所ハ教會所ト申シテ居リマス、所ガ基督教ニ關スル規則ニ於テハ、明治三十二年ノ内務省令ニ依リマス、堂宇、會堂、説教所、講義所ノ類ト云フヤウナ文字ヲ使ツテ居リマスガ、本質ハ教會所ニ違ヒナイノデアリマスカラ、此處ニ斯ウ云フ言葉ヲ並ベタノデアリマス、第三十四條ハソレ等ノ寺院教會ノ住職トカ教會主管者、或ハ檀徒總代等ノ效力ヲヤハリ本法ヲ認メタ規定デアリマス、第三十五條ハ佛堂デアリマスガ、是ハ又一寸説明ヲ致サナケレバナラナイカト存ジマスガ、佛堂ト云フノハ、只今佛堂明細帳ト云フノガ本省及ビ地方廳ニゴザイマシテ、謂ハバ戶籍デゴザイマスガ佛堂明細帳ニ登錄セラレテ居リマス佛堂ノ數ガ約三萬五千ゴザイマス、而シテソレハ禮拜ノ施設デアリマス、固ヨリ佛教ニハ所屬致シマスケレドモ、宗教ニ所屬シナイコトニナツテ居リマス、佛教ハ佛教デアリマスガ、日蓮宗トカ天台宗ト云フ宗派ニ所屬シナイト云フ建前ニナツテ居リマス、ソレガ悉ク法人格ヲ與ヘラレテ居ルト云ツタヤウナモノデアリマス、ソレ故ニ宗教宗派ノ立場カラ考ヘマシテ、何分三萬五千モアル、而モ悉ク法人格ヲ持ツテ居ル、而シテ中ニハピンカラキリマデ、色々種類ガ違フヤウデアリマスケレドモ、兎ニ角全國的ニ存在シテ居ル以上、之ヲ有效ニ國家社會ノ爲ニ使フト云フコトハ必要デアナイカ、而シテドウシタナラバ有效ニ活動スルカ、單ナル拜ムト

云フ禮拜施設ニアラズ、教義ノ宣布、儀式ノ執行、人心ノ指導教化ニ當ラシメタナラバ本當ノ活動ガ出來ルデハナイカ、而モヤラセヨウ、ヤラセヨウトシタナラバドウナルカト云フト、オ寺ガソレデアリマス、詰リ寺院ト云フモノニ變ツテシマフ譯デアリマス、故ニ全國三萬五千ノ佛堂ニ對シマシテ、此ノ際オ寺ニナリタケレバオ寺ニナリナサイ、若シ法人教會ガ都合ガ好イト云フナラバ非法人教會ニオナリナサイ、若シモ非法人教會ガ都合ガ好イナラバ非法人教會ニオナリナサイ、勝手ニ意思ノ儘ニシテヤルト云フノガ第三十五條ノ規定デゴザイマス、第三十六條ハ簡單ナ規定デアリマス、第二十三條ニ於キマシテハ、本法施行後宗教結社ヲ設ケタ時ハ届出ロト云フノデアリマス、所ガ只今テモ本法施行前カラチヤント結社ト云フモノガゴザイマスカラ、ソレニ關スル規定ガ此ノ際必要ト認メマシテ、第三十六條ヲ置イタヤウナ次第デアリマス、甚ダ簡單デアリマスケレドモ以上説明ヲ申上ゲマシタ

（中略）

○松尾政府委員 貴族院ニ於キマシテ修正ニナリマシタ點ニ付キマシテ、私ノ承知スル限リヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、貴族院ア修正ニナリマシタ點ヲ私ノ頭テ申上ゲマスト大體三箇所ニナルト存ジマス、第一ハ第四條ト第七條デアリマス、第四條ト第七條ニ於キマシテ「未成人ナルトキ」ト云フ文字ガ挿入サレタ點デアリマス、第二ノ修正ハ第五條ニ於キマシ

テ破産ニ關スル解散規定ガ修正ニナリ、第十一條ニ於キマシテハヤハリ同様ノ修正ガ行ハレテ居リマス、ソレニ牽聯致シマシテ、第二十條ニ於キマシテ字句ガ修正ニナツテ居リマス、第三ハ第十六條ニ於キマシテ業務停止ノ期間ヲ削除致シテ居リマス、同條第十七條ニ於キマシテモ其ノ點ガ訂正ニ相成ツテ居リマス、ソレニ牽聯致シマシテ第二十六條ノ罰則中ニ第十七條ニ關スル業務停止ニ關係シタ罰則ガ設ケラレタ譯デアリマス

右ニ關シマシテノ貴族院ノ意見ヲ、私ノ承知スル限リニ於テ申シマス、第四條、第七條ノ修正デゴザイマスガ、是ハ元々政府ノ考ト致シマシテモ、管長ガ世襲デアルトカ——管長ハ選舉テ決ルト云フモノモアリマスケレドモ、世襲ア管長ガ決定サレルト云フ所モ可ナリアルノデアリマス、サウ云フ場合ニヤハリ宗教團體デアリマスカラ、歴史ヲ重ンズルト云フ點カラ致シマシテ、未成年者ヲ認メナクテハナラヌ、是ハ世襲ノ場合ハ餘儀ナイカラ認メナクテハナラヌ、斯ウ云フ趣意デアリマスノデ、貴族院ニ於キマシテモ其ノ趣意ハ諒トスル、併シ此ノ原案ヲ見ルト、ドウモソレガ條文デアツキリシテ居ラヌデアハナイカト云フ考デアアルノデアリマス、ダカラ茲ニ未成年ノ者モ世襲等ノ場合ニ入レルナラバ、ヤハリ未成年ト云フコトヲ明記シタラ宜イデアハナイカ、斯ウ云フコトカラ「未成年ナルトキ」ト入レラレタ譯デアリマス、初メ原案ニ於キマシテハ、未成年ナル時ハドウ云フ風ニ處理スル積リデアツタカト申シマス、其ノ次ニアル「久シキニ互リ職務ヲ行フコト能ハザルトキ」斯ウ云フ文句ガアリマスルノデ「久シキニ互リ職務ヲ行フコト能ハザ

ルトキト云フ言葉ノ解釋ニ依ツテ、未成年モ包括シヨウト思  
 ヲタノアリマスケレドモ、不明瞭ト云フ意味ニ於キマシテ斯  
 ウ挿入ニナリマシタノテ、同意ガ表セラレタ譯デアリマス  
 ソレカラ第二ハ破産解散ノ規定デアリマシテ、第五條、第十  
 一條ソレカラ第二十條デアリマスガ、宗教團體ト云フモノガ破  
 産ニ依ツテ當然解散セラルト云フヤウナコトハ、是ハ信仰ニ  
 立脚シタ宗教法人ノ立場カラ言フト甚ダ面白クナイ、ダカラ破  
 産宣告ニ依ツテ當然宗教法人ガ解散セラレト云フコトハ面白  
 クナイカラ、此ノ第五條ノ第三項ノ規定、ソレカラ第十一條ノ  
 末項ノ規定ハ、寧ろ宗教團體法トシテハ削除スルガ宜イ、又ソ  
 レニ關聯シタ第五條ノ第四項及ビ第五項ガ削除ニナツタ關係カ  
 ラ、第二十條ノ方ハ自然修正ニナツテ居リマス、第二十條ノ第  
 一項、第二項ニ「第五條第五項」ト云フ字句ガアリマスソデ  
 レモ修正ニナツタデアリマス、詰リ宗教團體トシテハ、破産  
 ト云フ原因ニ依ツテ直チニソレガ悉ク解散シテシマフト云フ規  
 定ハ、ドウモ宗教團體ノ本質上カラ言ツテ面白クナイカラ修正  
 スル、斯ウ云フ御趣意ナデアリマス、政府モソレニ對シテ同  
 感ノ意ヲ表シテ同意ニ相成ツタ譯デアリマス  
 ソレカラ第三ニ申上ゲマスノハ第十六條、第十七條ノ修正ア  
 アリマス、第十六條ノ方ハ、荷モ安寧秩序ヲ妨ケ或ハ臣民タル  
 ノ義務ニ背クヤウナ教師ノ行爲ガアツタ場合ニハ、二年以内業  
 務ヲ停止スルト限ラナイデ、更ニソレ以上ノ禁止ノヤウナ場合  
 モアリ得ルデハナイカ、ソレガ認メラルルカラ斯ウ云フ風ニ修  
 正シタ方ガ宜イ、ソレカラ第十七條ノ方モ、教師ガ法令ニ違反

シ或ハ其ノ他ノ公益ヲ害スルヤウナ行爲ヲ爲シタ時ニ、一年內  
 ト云フヤウナ業務停止ニ限ラナイデ、ソレ以上ノ場合ヲモ考慮  
 スベキデアルト云フヤウナ意味カラ修正ニ相成ツタデアリマ  
 ス、成程教師ガ安寧秩序ヲ妨ケ、或ハ臣民タルノ義務ニ背イタ  
 場合ニ、場合ニ依ツテハ其ノ罪狀ガ非常ニ重イモノガアラウト  
 思ヒマス、故ニ二年以上相當長期ノ業務ノ停止ヲ爲ス必要モ場  
 合ニ依ツテハアルダラウ、殊ニ先程申上ゲマシタ通りニ、第十  
 六條、第十七條等ハヤハリ宗教結社ノ布教者ニモ之ヲ準用致シ  
 テ居リマスノデ、マア普通ノ宗教團體ノ方ハサウ云フコトハナ  
 イカモ知レマセヌケレドモ、宗教結社ノ方ヲ考ヘマスト一層其  
 ノ必要ガアラウ、斯ウ思ヒマシタノデ、政府ニ於キマシテモ其  
 ノ意味カラ同意ガ表セラレタヤウナ次第デアリマス、甚ダ御説明  
 ノ仕方ガ悪カツタカト存ジマスケレドモ、大體以上三通リニ分  
 類サレテ修正ガ行ハレタ、斯ウ私共ハ思ツテ居ル次第デアリマ  
 ス  
**○立川委員** 第一條ノ規定ト第三十一條ト照シ合シテ見マス時  
 ニ、現ニ存スル教派又ハ宗派ハ、當然本法ノ教派又ハ宗派トナ  
 ル譯デアリマスガ、基督教ガ脱ケテ居ルノデス、サウスルト基  
 督教ハ、本法ガ法規サレタ時ニ教團ニナルモノトナラザルモノ  
 トガ出來ル譯ニナルノデスナ  
**○松尾政府委員** 第三十一條デ仰セノ通り神道教派ト佛教宗派  
 ハ經過的ニ認メラレマスルケレドモ、基督教ノ教團ハ經過的ニ  
 ハ認メナイノデゴザイマス、何故カト申シマス、教派、宗派  
 ハ主務大臣ノ設立ノ許可ヲ受ケマシテ現ニ存スルノデアリマス

ケレドモ、基督教ニナリマス、現在ハ個々ノ教會ハ地方長官  
 ノ設立許可ヲ受ケテ設立致シテ居リマスルガ、ソレ等ノ同ジ宗  
 教ヲ奉ズル教會ガ、本法ノ所謂教團ニ該當スルヤウナ團體ヲ作  
 ツテ居リマシテモ——現ニ作ツテ居リマスガ、作ツテ居リマシ  
 テモ、ソレハ法規上何等ノ手續ヲ經テ居ラナイノデアリマス、  
 言換レバ個々ノ日本「メソヂスト」教會ガ、日本「メソヂスト」  
 教會神樂坂教會、日本「メソヂスト」教會飯倉教會、日本「メ  
 ソヂスト」教會横濱教會ト云フヤウナモノガ全國ニハ三千バカ  
 リアリマシテ、是等ガ日本「メソヂスト」教會ト云フ大キナ會  
 社作ツテ居リマスガ、此ノ大キナ教團ノ方ハ法規ニ根據ヲ置イ  
 タ許可ヲ受ケテ居リマセヌノデ、隨テ本法ニ於テハ經過的ニ認  
 メル譯ニ參リマセヌ、併シ本法施行後ニ於キマシテハソレノ  
 手續ヲサセタイ、斯ウ考ヘテ居リマス  
**○推尾委員** 今御説明ニナツタ中ノ第一條ノ神道ノ教派、佛教  
 ノ宗派、是ハ歴史ノ舊クカラノ形ニ依ツテト云フコトデスガ、  
 之ヲ見ルト歴史ノ順序ト云フコトデハナイヤウデスガ、特別ナ  
 意味ガアリマスカ、元ト神社ガ一緒ニ入ツテ居ツタ時分カラ神  
 佛ト云フコトデ來タノハ能ク分ツテ居リマスガ、神道ノ教派ト  
 云フノハ、主ニ明治以後ニ出來タ新シイ事實ノヤウニ思フノデ  
 スガ、一寸其ノ點カラ伺ヒマス  
**○松尾政府委員** 出來テカラノ年數ニ付キマシテハ、今仰セニ  
 ナリマシタ通り洵ニ御尤ダト思ヒマスルガ、本法ノ立案ノ際ニ  
 神道教派、佛教宗派ト致シマシタノハ、明治初年以來宗教法規  
 ノ書キ方ニ於キマシテ教派、宗派ノ順ニ致シテ居リマスノデ、

單ニソレヲ踏襲シタニ過ギナイノデアリマス、隨テ其ノ前後ノ  
 關係ニ於テ輕重ヲ付ケタ意味デハ斷ジテナイノデアリマス  
**○推尾委員** 次ニ少シ經メテ伺ヒマス、今回ノ法案ハ大體ハ條  
 文ヲ少クナサツテ簡明ニナツタノデスカラ、成立スルニモ便利  
 デアルト思ヒマスガ、隨テ又條文ガ少イノデ、施行上ドウ云フ  
 風ニヤツテ行カレルカト云フコトガハツキリシナイ點ガ深山ア  
 リマス、ソレデ數點ヲ御伺ヒシタイノデス、ソレハ只今説明ノ  
 中ニモ段々アリマシタ、是カラ宗教ヲ大イニ良イ方面ニ向ツテ  
 活躍サセルト云フコトデアリマスガ、サウシマスト其ノ思想上  
 ノ標準ガハツキリシテ居ラヌト、活躍サセルニ於テ矛盾衝突  
 ガ起ル場合ガアルト思ヒマス、ソレデ第一ニハ憲法ノ條章ニ從  
 ツテ、安寧秩序ヲ害セズ臣民ノ義務ニ背カナイト云フ、其ノ安  
 寧秩序ヲ妨ゲナイ、臣民ノ義務ニ背カナイト云フコトノ範圍ハ  
 ドウ云フ風ニ決メルカト云フ其ノ限度デス、ソレヲ特ニ伺ヒマ  
 スノハ、別ノ法規テ一般人ガ安寧秩序ニ害アルモノトシテ定メ  
 ラレテ居ル所ニ限り、又ハ臣民ノ義務トシテハ憲法ノ第二章ニ  
 アリマスコトヲ基礎トシテ定マツテ居ルコトニ限ルト云フ意味  
 デアリマスカ、或ハ屢々今議會ニ於テハ出マスル教育勅語ニ依  
 ルコトデアツテ、教育勅語ノ徳目ガ臣民ノ義務デアル、是ハ教  
 化的ニハサウ云フコトガ無論考ヘラレテ居ルノデアリマスガ、  
 教育勅語ノ徳目ノ何處カニ矛盾シタ點ガアル場合ニハ、ソレヲ  
 皆臣民ノ義務ニ背イタモノトシテ處分シテ行クト云フヤウナ意  
 味ニ擴ガツテ行クノデアリマスカ、萬民輔翼ノ道トシテ特ニ現  
 内閣ハ其ノコトヲ主張サレテ居リマスノデ、其ノ點ヲ明ニ承リ

タイノデアリマス、併シソレハ此ノ立案ノ時ニハハツキリセヌト云フコトデアリマシテ、首相ガ萬民輔翼ト云フコトヲ言ツテ居ラルト云フ問題デアレバ、他日首相カラ伺ヘバ宜イノデアリマスガ、其ノ點ヲ決ツテ居ル所ダケ承リタイ

○松尾政府委員 本法ノ第十六條ニ今御尋ノ點ガ牽聯致スノデアリマスガ、第十六條ニ於キマシテハ、教義ノ宣布ヲスル様ナ場合ニ、安寧秩序ヲ紊シ或ハ國民ノ本分ニ背クヤウナコトヲ宣傳スル、サウ云ツタヤウナ場合ニハ斷ジテ制限シヨウ、斷ジテ禁止シヨウ、斯ウ云フデアリマシテ、例ヘバ日本ノ法令ノ定ムルコト、之ヲ遵守スベキハ臣民ノ務デアリマスガ、ソレヲソノ事ハ從ハナクテモ宜イノダ、自分ノ教義カラ言ヘバ兵役法ナカ無視シタツテ構ハナイ、未成年禁酒法ナント云フモノハ下ラナイモノダカラ蹂躪シテ差支ナイノダト云ツタヤウナ教義ノ宣布ヲスルナラバ、ソレハ臣民トシテノ義務ニ背クモノトシテ制限シ若クハ禁止スル、サウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○榎尾委員 ソレカラ同ジク布教ノ問題テ、迷信ヲ防イテ行クコトハ勿論必要ナコトハ分ツテ居リマスガ、迷信デアルカナイカト云フコトヲ定メルコトハ、非常ニ困難ナコトハ分リマスガ併シ法ニ依ツテ今度行ツテ行キマス以上ハ、何處カニ其ノ迷信ト云フコトノ標準ニナルモノガナケレバナラヌデアリマス、今マデノヤウニ單ニ行政處分デアリマス間ハ宜シイケレドモ法ニ依ツテ處置サレテ行キマス以上ハ、何處カラヲ迷信トスルト云フ何カ根據ガハツキリシナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソ

トヲ言フモノヲ悉ク迷信トスルコトハ頗ル困難デアルト思ハレルデアリマス、社會ノ實害トシテハ頗ル大ナル害ガアルカラ禁壓シテモ宜イモノダト私共ハ思ヒマスケレドモ、サウ云フ點ニ付テ、實害ト云フコトデモ中々實際問題ノ取扱ハ出來ナイノデハナイカト思フデアリマス、隨テハ思想的ニ、社會的ニ何カ決メルモウツノ問題ガナイト、解決ガ付カヌダラウト思フデアリマス、其ノ點ヲドウ云フ風ニカ尙ホ御考ニナツテ居ルデアハナイカト思フデアス、ソレハ關聯シテノコトニナル譯デアスガ、サウ云フ譯デ一ツハ日本ニ於キマシテハ、日本ノ歴史ガ此ノ信仰ノ批判ノ正シイ標準ヲ與ヘテ來タモノト思フデアリマス、隨分各種ノ文化、宗教ガ海外カラ入ツタノデアリマシテ、殆ド何レモ相當ノ害ヲ伴ハナカッタモノハナイデアリマスガ、段々歴史ヲ重ネマシテ、是ガ迷信ヲ除イテ純眞ナモノガ生キテ來タノデアリマス、迷信ガ盛ニナレバ其ノ國ガ亡ビルノデアリマスガ、日本ガ亡ビナイト云フコトハ、總テ迷信ヲ淘汰スルコトガ出來タト云フコトデアリマシテ、歴史ノ批判教材ト云フモノヲハツキリト使フコトガ、一ツノ道デアルト考ヘラレルデアリマス、サウ云フ點ハドウナツテ居ルカト云フコトデアリマス、モウ一ツハサウ云フヤウナ思想ナリ信仰ノ迷邪ヲ裁キマスルニハ、ドウシテモ學的研究ノ基礎ガナケレバナラヌト思フデアリマス、然ルニ此ノ全體ガ、教育ノコトハ宗派内部、教派内部ニ御委セニナツテ決メナイト云フコトニナルト、結局ソレチ國家的ニ決メテ行ク標準ガナクナリハシナイカト思フデアリマス、其ノ二點ガ關聯スルト思フデアリマシテ

レニ對シテ立案ノ時ニドウ云フ御考ニナツテ居ルカ伺ヒタイ  
○松尾政府委員 普通ノ正シイ信教ト迷信トノ區別ニ付キマシテ、勝手ニ私共ニ理窟ヲ言ヘト仰セニナレバ言ヘナイモノデモゴザイマセヌケレドモ、倍テ之ヲ公ニ考ヘテ行カウト云フ時ニハ、中々其ノケジメハ微妙ナ點ガアラウカト考ヘタノデゴザイマス、隨テ廣ク迷信ト言ハレルモノヲ考ヘテ見マシテモ、人ニ依ツテハソレヲ迷信ト言ハナイヤウナ人モアラウシ、イヤ迷信ダト云フ議論モ生ジマセウガ、倍テ立法ノ際ノ問題ニナル場合ハドウ云フ點ニ著眼シタラ宜イカト云フト、其ノ迷信ナルモノガ社會ニ害毒ヲ流サシメル——害毒ヲ流サナイヤウナモノハ、別段放ツテ置イテモ構ハナイノデハナイカト考ヘマシテ、若シサウ云ツタヤウナ事柄ガ、詰リ社會ニ害毒ヲ流シ、公益ヲ害スルト云フヤウナコトデアレバ、ソレハイケンイノダ、サモナイ限リハ別ニ宗教團體法ノ關與スル所デアハナイ、斯ウ云ツタヤウナ氣持テ立案致シタノデアリマス

○榎尾委員 社會ニ實害ヲ流スト云フコトハ私モ一箇條ダト思フデアスガ、輕イ意味デモ迷信ト言ハレルモノヲ押シテ行キマスト殆ド皆實害ヲ流スト云フコトニナル、而モソレハ平生ハ社會ニ於テ許サレテ居ル事項ガ多クアル、一例ヲ申シマス、時トカ日ニ關スル信念ノアルノガ多分ニアリマス、是ガ總テ日柄年廻リト云フヤウナコトヲ言ツテ、サウシテ丙午ノ問題ナドニナリマス、現ニ其ノ年齡ニ當ツテ居リマス者ガ全國ニ多數アリ、結婚ガ出來ズ、又自殺スル者相踵イテ居ルト云フヤウナ害ヲ爲シテ居ルデアリマス、併シソレヲ避ツテ、時トカ日ノコ

アリマス  
○小柳政府委員 迷信ノ法上ニ於ケル取扱ニ付キマシテハ、頗ル重要ナル關係ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、先刻御答ヲ致シマシタヤウニ、法ノ取扱ト致シマシテハ、公益ヲ害スルト云フ點ニ重點ヲ置クベキモノト思フデアリマス、而シテ其ノ迷信デアルカナイカト云フコトハ、是ハ一ツハ社會ノ風俗習慣ト云フコトニ稽ヘナケレバナリマセヌシ、一ツハ又一般學問ト申シマセウカ、サウ云フヤウナ眞理ノ研究ガドノ程度マデ國民ニ及ンデアルカト云フコトニ依ツテ考ヘナケレバナラヌト思フデアリマシテ、要スルニ迷信デアルカナイカト云フコトハ、社會ノ風俗習慣並ニ時代ノ推移ト云フ點モ考慮シナケレバナラナイト存ジマス、併シナガラ法ノ適用ト致シマシテハ、先刻申シマシタヤウニ、公益ト云フ點ヲ重點ニ置キマシテ考ヘナケレバナリマセヌガ、其ノ公ナルモノモ、今御話ノヤウニ、例ヘバ迷信ガ極ク小サナコトデアツテ、大シタ弊害ガナイト云フヤウナコトモ段々ソレガ普及スルトカ、或ハ深ク入ルト云フコトニナリマスレバ、些々タルコトモ亦公益ヲ害スルト云フコトニ相成ルダラウト思ヒマス、要スルニサウ云フヤウナコトニ付キマシテハ、其ノ時ト場合ニ依ツテ、實際ノ狀況ニ照シテ之ヲ決定スル外ナイノデアハナイカト思ヒマス、但シ一面ニ於キマシテ、ソレ等ノ迷信ヲ成ベク少クスルヤウニ人心ヲ指導シテ行クト云フ教育、或ハ又一般の宗教ノ力ヲ藉ルト云フヤウナコトハ、此ノ法ノ適用以外ニ考ヘナケレバナラヌコトデアハナイカト存ジテ居リマス  
○榎尾委員 其ノ問題ニ關聯シテ一ツ伺ツテ置キマス、前ニモ



質疑ガアリマシタ様ニ、淫祠邪教モ迷信ト同ジヤウナ關係ヲ持ツモノデアリマスガ、其ノ淫祠邪教ニナリマス根本ハ、性ト財トニ關シマスルコトガ一番主ニナルデアリマス、財ニ關シマシテハ本法ニ規定ガ少シアリマスケレドモ、主ニ動産物、不動産物ノ財産ノ取扱アリマシテ、ソレヲ安定ニスル方法ガ本法ニハ決マツテ居リマスガ、寺院、教會等ガ收入致シマスル一切ノ財物ニ付テ合法的ノ取扱ヲサセルコトハ、別ニ細則ヲ決メルト云フ御考テスカ、本法ダケテハソレ等ノ財ノ收入ガハツキリシナイト思フデアリマス、極ク簡單ニ言ヒマス、社寺ニハ賽銭ト稱シテ居ルヤウナ不定ナ收入ガ澤山アルデアリマスガ是ハ社寺ノ神祿ヤ佛樣ガ賞ハナイテ、皆支配者ガ取ツテシマフデアリマスガ、上ゲル者ハ決シテサウ云フ者ニ上ゲルノデアハナイデアリマシテ、アレハ公益財トシテ全部撥ハルベキ性質ノモノダト私共ハ思フデアリマスガ、本法ハドウ云フ風ニ之ヲ扱フコトニナツテ居ルデアリマスガ、ソレカラモウ一ツハ性ノ問題デアリマスガ、ヒトノミチ等ノ問題ハ直接サウ云フ問題ニナリマスガ、元來宗教ハ感傷性ヲ持テ得ル場合ガアリマスカラ、其ノ感傷性ノ結果、最モ正シイモノデアルト云フコトデ本人竝ニ其ノ關係者ガ之ヲ強要スル場合アルデアリマスソレガ實際ニハ非常ニ害ヲ爲ス因ダト私共ハ考ヘテ居ルデアスガ、サウ云フ點ニ付テハドウ云フ取扱ヲ爲スモデアリマセウカ

イコトカト存ジマス、隨テ其ノ點ニ付キマシテハ、只今ノ法規デハドウモ不十分デアリマスノデ、本法ノ第六條ノ寺院規則及ビ教會規則ノ第十號ノ「財産管理其ノ他ノ財務ニ關スル事項」ヲ詳細ニ規定ヲ致ス積リデアリマス、隨テ只今オ賽銭ノコトヲ御引例ニナリマシタガ、オ賽銭ハ斯ウノ風ニシテ總代ト立會ノ上ニ開イテ、斯ウ云フ風ニ預金サセルト云フヤウナ工合ニシテ取締ニ遺漏ナキヲ期シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ第二ノ宗教教師等ガ性ニ關スル問題ヲ惹起シテ兎角非難ヲ蒙ルヤウナコトガアルガ、ソレニ對スル取締ノ法規等ハナイカト云フ御考ニ伺ヒマシタガ、性ニ關スル問題ハ中々微妙ナモノデアリマシテ、ドウ云フコトニナツテ居ルノカ一寸分ラナイ場合ガヨクアリマスルケレドモ、ソレガ新聞ニ書カレルトカ、事情默シ難イヤウナ場合ニナリマス、自然宗教團體ト致シマシテモ規制違反ト云フ事惹起シマセウシ、モウ少シソレガ大キク相成リマスレバ、或ハ公益ヲ害スベキ行爲トモ、風俗壞亂トモナルベキヤウナコトニ相成リマセウシ、更ニ大キク相成リマスレバ刑法其ノ他ノ處罰ヲ受ケルコト云フコトニナリマセウト思ヒマスノデ、本法ニ於キマシテハ、専ラ公益ヲ害スベキ行爲ト云フヤウナ所アモ取締ツテ行キタイシ、或ハ制規違反ト云フ所アモ取締ツテ行キタイ、或ハ管長、教團當事者ヲ督勵致シマシテ、派内、部内ニ於キマシテモ取締ツテ行キマシタラバ相當取締ガ期セラレルアハナイカト考ヘテ居リマス

○松尾政府委員 仰セノ通りオ寺トカ教會ナドノ收入ガ非常ニ大事ナモノデ、教師ノ私スベキモノテナイコトハ申スマデモナ

イ條項ノ下ニ作ラセルト云フ趣意テスカ、或ハ從來出來テ居ルモノヲ唯屈出アルト云フ形式ノモノテスカ、此ノ一定メト云フノハドウ云フ意味ヲ持ツテ居リマスガ

○松尾政府委員 現在御承知ノ通り各教派、宗派ニ於テハ綿密ナル規定ガ出來テ居リマス、併シナガラ本法第三條ノヤウナ仕組ニナツテ居リマセヌノデ、大概ノモノハ、思想内容ハ假ニ同ジデアリマシテモ、其ノ形式ニ於テ變ツテ來ラウト思ヒマス、又宗派ニ依リマシテハ、本法ニ適應シタ規定ヲ缺イテ居ル所モアリハシナイカ、或ハ管理代務者ノ選任ノ如キモ本法規定シテゴザイマスガ、アア云フヤウナ規定ノナイモノモ隨分アリハシナイカ、サウ云フ點モ考ヘマシテ、改メテ認可ヲサセル積リデアリマス、併シ認可ヲ受ケルモノハ、從前ノ教規又ハ宗制ガアルモノニ付テハ、之ヲ再檢討——ト云フ言葉ガ當ルカドウカ存ジマセヌガ、マア再檢討ヲ致シマシテ、サウシテ新シイ形態ニ整ヘテ認可ヲ受ケサセタイト考ヘテ居リマス

○松尾政府委員 新シイ形態ニ整ヘルコトハ能ク分リマスガ、既ニ教義ガ歴史的ニ成立ツテ居ルモノヲ、再檢討スルト云フ意味ニナルノカドウカ承リタイノデアリマス

○松尾政府委員 教義ノ點ニ付キマシテハ、從來詳シク現行ノ教規宗制ニ書イテ居リマスノデ、別ニソレハ問題ニシナクテモ宜カラウト思ヒマス

○西田委員 直接條章ニ關スル質疑ハ私ハ是ダケデアリマス

○西田委員 一寸關聯シテ伺ヒマスガ、宗教ト云フコトハ一般ノ通念ニ依ルト云フコトデアリマシタガ、第一條ニ列舉主義ヲ

採ツタノハドウ云フ譯アルカ、私ノ分ラナイノハ、其ノ他ノ宗教ノ教團ト云フモノト、第二十三條ノ宗教團體ニ非ザル結社ト云フモノトノ關係デアリマスガ、是ハ大臣ノ認可ヲ受ケタルモノガ教團デ、地方長官ノ認可ヲ受ケタルモノガ結社アルト云フ單ニ形式上ノ區別アルカ、或ハ何カ其ノ他ノ宗教ノ教團ト云フモノト結社ト云フモノトノ間ニ實質上ノ區別ガアリマスカ例ヲ擧ゲテ言ツテ戴キマシタラ大變能ク分ルト思フデアリマスガ……

○松尾政府委員 宗教團體ト結社トノ區別ヲ御尋ニナツタカト思フデアリマスガ、宗教ニ關シテ人間ガ集ツタ團體デアルト云フ點ニ於キマシテハ、宗教結社タルト宗教團體タルト本質ニ於テハ變リハナイト思ヒマス、併シナガラ宗教團體即チ教派、宗派、教團ト云ツタヤウナ全國的團體、或ハ寺院、教會ト云ツタヤウナ團體ハ宗教團體デアリマスガ、是等ハ本法ニ於キマシテハ、宗教結社ニ比較致シマシテモ監督モ嚴重デアリ、保護モ厚イ、斯ウ云ツタヤウナ法上ノ地位ヲ異ニ致スノデアリマス、例ヘバ第二十三條ノ宗教結社ハ、ソレガ組織セラレマシタナラバ、行政上最モ安易ナ手續ト致シマシテ、届出ノ義務ヲ課シテ居ルデアリマス、届出サヘスレバ宜イ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、隨テ免租免稅其ノ他ノ恩典ガゴザイマセヌ、所ガ宗教團體ニナリマス、教派、宗派、教團ハ主務大臣、寺院、教會ハ地方長官ノ認可ヲ受ケテ、初メテ其ノ地位ニ就キ得ル譯デアリマス、隨テ認可ヲ受ケタラ教派、宗派、教團、或ハ寺院教會ト相成ル譯デアリマスカラ、ソレ等ニ付キマシテハ御覽ノ

通り結社ヨリモ餘計ニ監督ヲ受ケマス、同時ニ免租、免税、差押禁止、或ハ行政裁判所ニ對スル出訴ノ權限ト云ツタヤウナ利益ヲ獲得致ス次第アリマス、人間ノ唯集リト云フ意味ニ於テハ本則トシテ變リアリマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ地位ノ違ヒト申シマセウカ、法上ノ扱ヒノ違ヒガツコニアル譯デアリマス

〔中略〕

○清水政府委員 過日ノ當委員會ヲ鶴見君ヨリノ御質問ニ對シ大臣ヨリ答辯ヲ保留シテ居ツタ點ガ一點アリマス、本日大臣ハ貴族院ノ本會議ニ出席中デアリマスカラ、私代ツテ御答辯申上ゲマス、鶴見君ノ御質問ノ要旨ハ「サウデイ・アラビヤ」ノ「ジツダ」ノ如キ重要ナ町ニ、列強使臣ガ皆入ツテ居リマスノニ、日本ハ修好關係ナキ爲メ、日本人ハ入國居住出來ズ、通商貿易ノ伸張ガ出來ザル狀態ニアルト云フコトヲ承知シテ居ルガ、其ノ事實ハドウカト云フ御質問ノ要旨ニ承ツテ居リマス、「サウデイ・アラビヤ」ハ現在英吉利、「ソ」聯、伊太利、佛蘭西、「アフガニスタン」、「イラン」、「イラク」、「トルコ」、和蘭等ト修好關係ヲ有シテ居リマス、是等ノ諸國ハ「ジツダ」ニ專任公使又ハ代理公使ヲ駐在セシメテ居ルデアリマス、是等ノ使臣ハ總テ領事ヲ兼務シテ居ルデアリマス、日本ハ同國トノ間ニマダ修好關係ヲ有シテ居リマセヌノテ、使臣ヲ駐在セシメテ居ラナイデアリマス、且ツ日本人ハ、回教徒ヲ除ク特別ノ場合ノ外ハ原則トシテ「ジツダ」ニ入ルコトガ出來ナイデアリマス、隨テ直接ノ通商貿易ノ伸張ニ障礙ヲ受ケテ居ルコトハ御説ノ

通りデアリマス、政府ハ此ノ狀態改善ニ付キマシテ、目下適當ナル方策ヲ考究中デアリマス

〔中略〕

午後零時十分休憩

午後一時二十分開議

○安藤委員長

休憩前ニ引續イテ開會ヲ致シマス……………  
○會和委員 ……………此ノ宗教團體法案ガ議題ニ供セラレマシタ最初ニ、文部大臣ガ、提案ノ理由ヲ御述ニナツテ居ルデアリマスルガ、其ノ初ニ、「現下非常時局ニ際シマシテハ、人心ノ感化、社會風教ノ上ニ甚大ナル影響ヲ齎ス宗教ノ健全ナル發達コソ肝要ナル」斯ウ云フ風ニ述ベテ居ラレマス、ソコテ此ノ宗教ノ健全ナル發達ト云フコトハドウ云フコトデアルカ、宗教ノ發達ト云フコトト、各教派、宗派或ハ教團ノ發達ト云フコトトノ關係ヲドウヤウニ御覽ニナツテ居ルデアアルカト云フコトヲ、先ツ御伺シタイデアリマス  
○荒木國務大臣 宗教ハソレ自體信仰ヲ中心トシテノ活用デアリマシテ、宗教團體ハ其ノ宗教ノ組織ノ、殊ニ本法ニ掲ゲマシタノハ、我が國內ニ於ケル宗教活動ヲ目標トシ、標準トシテ茲ニ定義ヅケラレタノガ宗教團體デアリマス、隨テ一ツノ組織ヲ宗教團體ノ方ハ述ベテ居ルニ過ギナイデアリマス  
○會和委員 私人考ヘル所テ申シマス、宗教全般ノ發達ト云フコトヲ言ヒマス、疑問ガ起ラナイヤウデアリマスケレドモ、之ヲ各個々ノ教派、宗派或ハ教團ニ付テ考ヘマス、一ツノ宗

派ガ膨脹シマス、他ノ教派、宗派ガ衰退セザルヲ得ナイ、例ヘバ天理教ト云フ神道ガ非常ニ勢力ヲ得テ來マス、他ノ從來佛教デアツタ人達ガ、ドン／＼其ノ方ニ變ツテ行ク、中ニハ勿論佛教ノ方ヲ捨テテテハアリマセヌケレドモ内心之ヲ信仰シテ神樂歌ヲ歌ヒ、御手振ヲシテ踊ツテ居ル、サウシマスト果シテドノ教派ヲ發達セシメルノガ宜イノカ、ドノ宗派ヲ助ケルノガ宜イノカ、サウ云フ點ニ付テ何カ御考ニナツテ居リマスカ、或ハ御考ニナツテ居ラナイデアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ宗教局長ニ御伺シマス

○松尾政府委員

仰セニナリマスヤウニ、或ハ一面ニ於テ甲ノ宗教團體ガ發達スレバ乙ノ方ガ衰ヘルト云フコトモ、場合ニ依ツテハアルカモ知レマセヌケレドモ、我國ノ現下ノ宗教界ノ情勢ヲ見マス、サウモ行ツテ居ラナイヤウデアリマシテ實ニ立派ナ宗教團體ハ、マダ／＼此ノ上トモ國家社會ノ爲ニ働ク餘地ガ十分ニアルト思ヒマス、文部省ト致シマシテハ其ノ本來ノ使命ニ顧ミテ、十二分ニ宗教團體ガ健全ナル活動ヲ致スヤウニ助長致シタイト絶エズ考ヘテ居ル次第デアリマス  
○會和委員 大變抽象的ナ御答辯デアリマスルガ、私ハモット具體的ニ伺ヒタイ、凡ソ現在我國ノ家庭ニ於テ、恐ラク無宗教デアアルト云フ者ハ殆ド少カラウト思ヒマス、佛教ニ屬スルカ、神道ニ屬スルカ、基督教ニ屬スルカ、殊ニ我國ハ數百年來ノ佛教ノ發達ニ依リマシテ、殊ニ徳川時代ニ於キマシテ、佛教ヲ國教ト看做サレタル態度ニ於テ扱ハレテ、人別帳ヲ各寺院ニ任サレテ、サウシテ人別改メテナサレタト云フヤウナ狀態テ、徳川

時代ニ於テハ殆ド佛教ノ各宗派ニ屬シテ居ラナイ者ハナイデアリマス、ソレモ明治維新以後基督教ノ禁ガ解カレ、或ハ神道ノ各教派ガ出來マシタノテ、段々ト改宗スル者ガ出テ來マシタガ、恐ラク各宗教ヲ奉ジテ居ナイ者ハナイト思フデアリマス、隨テ只今局長ノ言ハレタ健全ナル宗教ガモツト發達スル餘地ガアルト云フコトヲ具體的ニ御示シガ願ヒタイ、例ヘバ眞宗ダト云ツテ居ル人ガ、一方阿彌陀様ヲ拜ム程度ガ薄イ、或ハ經文ヲ佛前テ誦誦スルノガ少イ、ソレサモツト盛ニヤラセルト云フ意味デスカ、或ハモツト坊サン達ニ説教ヲ餘計サセテ、鬼ニ角多クノ人ニサウ云フ教派宗派ニ關心ヲ持タセルト云フ意味カ、其ノ意味ヲ御伺シタイデアリマス

○松尾政府委員

私ガ宗教團體ノ此ノ上トモ活動ヲ期待シテ居ルト申上ゲマシタノハ、只今仰セニナリマシタヤウニ、有ユル方面カラ考ヘラレヨウト思ヒマス、例ヘバ一面ニ於キマシテ、成程善男善女テ篤信家モ隨分アリマスケレドモ、ドウモ教育ノ進歩ト共ニ宗教的方面ノ情勢ガ非常ニ缺ケテ居ルト云フ識者ノ指彈モ受ケテ居ルヤウナ實情デアリマス、是モ或ル程度本當ニ違ヒナイト私ハ思ツテ居リマス、隨テ宗教的情操ノ涵養スラ出來テ居ラナイ人ガ多數居ルデアリマス、併シナガラサウ云フ人ガ或ハ佛縁ヲ持チ、或ハ宗教的ノ因縁ヲ持ツト云フコトハ出ルコトデアリマス、サウ云フ人ガ得テシテ何カ人生ノ危機ニ觸レルト、ツイ自分ガ健全ナル宗教心ヲ持ツテ居ラナイ爲ニ、フラ／＼トシテ道ヲ誤ルト云ツタヤウナコトニモナリ勝デアリマス、サウ云フ宗教的の信念ニ乏シキ者ガ相當居リマセウカラ、

是等ノ人達ニハ宗教的ノ素養ヲ出來ルダケ與ヘルヤウニ宗教家ハ活動シナケレバイケナイ、ソレカラ相當信仰ヲ得テ居ル人モ隨分居ラレヨウト思ヒマスノデ、サウ云フ條ノ付イタ人ニ對シテハ、宗教家ハ此ノ上トモ更ニ健全ナル信仰ガ深マルヤウニ絶エズ指導シ、絶エズ教化スベキモノデアラウ、サウ云フ方面ニ於テ宗教家ガ此ノ上トモ活動スベキ分野ガ多分ニ殘サレテ居ル故ニ、宗教家ト致シマシテハ教化チ一層深メルヤウニ活動シテ貫ヒタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第アリマス

○會和委員 私ハ宗教論ヲスル積リデアアリマセヌガ、此ノ法案ニ依リマシテモ、現在宗教ト稱セラレテ居ルモノヲ先ヅ其ノ儘テ今後モ宗教トシテ行カウ、現在ノ宗教其ノ儘是テ監督シ保護シテ行カウト云フ建前デアラナラバ、私ハ餘リ大シタ問題ハ起ルマイト思フ、所ガ政府ニ於カレテハ、今後モ新興宗教ガ起ルト云フ建前ヲ取ツテ居ラレル、隨テ此ノ法案ノ第三條乃至第五條ニハ、教派、宗派又ハ教團ノ新シク起ルコトヲ豫想サレテ是ノ認可ヲサレル、條件ニ依ツテ之ヲ認可サレルト云フ態度ニ出ラレルコトガ明カデアリマスルガ、其ノ中ニ第三條ノ第二項ノ第三號ニハ、教義ノ大要ト云フコトガアル、是ガ私ハ大問題ダト思フ、即チ此ノ教義ニ依ツテ先ヅ第二ニ宗教ノ正邪善惡ガ岐レルノデアアル、所ガ教義ト云フモノハ、今日ノ程度ニ人文ガ發達シテ來マスルト、可ナリナモノハ作レルノデアリマス、既ニ今日宗教ト稱シテ廣ク流布サレ、非常ニ旺盛ナル勢力ヲドンドン發達致シテ居リマスル或ル宗教ナドハ、實ニ無智文盲ナル精神病者ト云ヒマスカ、人格ノ分離者ト申シマスカ、サウ云フ

教ナルモノハ、人ニ依ツテハ客觀的ニ本尊ガ實在スルト見テ居ル人モアル、例ヘバ阿彌陀ニシロ、觀音ニシロ、實在スルト考ヘル人モアリマスルシ、ソレハ實在シナイ、釋迦ノ主觀ノ中ニ組成サレタ一ツノ徳目ニ名ヅケタル名デアアル、斯ウ觀テ居ル人モアリマス、併シナガラ信仰ト云フコトニナリマス、總テ主觀的現象ト云フノガ根本ヲ成シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ宗教現象ハ他ノ「サイエンス」ア扱フ所ノ自然現象ナドノヤウニ、客觀的ノ實在デナイ、之ヲ證明シ或ハ之ヲ蒐集シ、之ヲ綜合シ、分解シ、客觀的ニ扱フコトガ出來ナイモノデアアル、隨テ宗教ナリト考ヘテ居ル所ノモノデ、本當ニ宗教デアナイト云フモノガアル、サウ申シマス、ソレハサウチヤナイ、或ル教義ヲ持ツテ居リ、信仰シテ居レバ宗教ダト言フカモ知レマセヌケレドモ、嚴密ニ言フナラバ宗教チヤナイモノガアル、而モサウ云フ宗教ニアラザルモノモ宗教ナリトシテ集メテ來テ、學的ニ宗教界ヲ作ラウト言ツテモ出來ルモノデアナイ、宗教ト云フモノハ決シテ多數決デアアリマセヌ、隨テ此ノ冊子ニ書カレテ居リマスル所ノ各有名ナ學者達ノ説ト云フモノハ、私自身ノ考ハ別トシマシテモ、是ダケ宗教ニ對スル定義ガ下サレテ居ル中ニハ間違ツタ定義モアル、或ハ比較的眞ニ近イモノモアルダラウト思フノデアリマス、果シテ政府ハ、茲ニ四十二項列記シテアリマスルガ、此ノ定義ノ中デトノ定義ガ比較的眞ニ近イモノデアルト御考ニナツテ居ルカ、ソレチ御伺チシタイ

ト思フノデアリマスルガ、宗教ノ定義ハ其ノ冊子ニ掲ゲテアリマスルヤウニ、古今東西ニ色々ナ考ヘ方ガアルノデアリマシテ何レガ眞、何レガ偽デアルト云フコトハ、會和君ガ自分ニオヤリニナツテ居ル宗教ト云フ方面カラ御考ニナルトサウナルカモ知レマセヌガ、其ノ宗教ノ定義ヲ全部御通覽ニナレバ、其ノ國其ノ民族、其ノ人ノ學的ノ基礎ニ依ツテ各様ニ考ヘラレテ居ルノデアリマスルガ、併シ其ノ根本トスル所ハ、人格以外ノ一ツノ自然力ニ依ラントシ、其ノ力ヲ崇敬ラシテ、ソレニ依ツテ或ハ自分ノ人格ヲ倫理的ニ高メヨウトシ、或ハ自分ノ煩悶ヲソコニ安心セシメントスル、ソコガ或ハ英國、獨逸或ハ「ラテン」民族等ニ依ツテソレト觀方ガ變ツテ居ルノデアリマス、故ニ之ヲ社會通念ニ依ツテ理解スルコトガ一番宗教的デアルノデアアルマイカ、斯ウ云フ譯テ社會的通念ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、今會和君ノ御描キニナツテ居ル定義ガ實ハ分ラナイモノデゴザイマスカラ、ドレガ眞デアリ、ドレガ偽デアルト御決メニナラレマシテモ、會和君ガ主觀的ニ見ラレタノデアラカラ、其ノ中ニハ甚ダ宗教ニ近クナイモノガアルト御考ニナルカモ知レマセヌケレドモ、併シ書カレタ人ハソレガ自ラ宗教ナリト信ジテ御書キニナツタ、相當其ノ方面ニ對スル學識ノアル人ガ書カレタモノデアリマス、吾々ハ之ヲ一ツノ參考トシテ茲ニ蒐メテ御覽ニ入レタノデアリマスカラ、ソレニ依ツテ御考下サレタナラバ、其ノ點ハ御理解下サルノデアナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマス

○會和委員 只今大臣カラ、私ガ主觀ニ依ツテ何カ此ノ中デト

女ノ述ベマシタ所ノ神憑リ狀態ト申シマスカ、其ノ狀態ニ於ケルオ筆先ト云フヤウナモノヲ根本トシテ居リマスルガ、今日教義ヲ立テテ居ル基本ハ、其ノ後一二ノ學者ガ捏ツチ上ゲタモノデアアル、此ノ點ニ付テ私ハ後刻詳シク御伺シタイト思フノデアリマスルガ、ソコデ教義ト云フモノハ如何様ニテモ出來ル、併シナガラ其ノ根本ハ、本尊ノ問題デアリマス、政府ハ今後尤モラシイ教義ヲ書イテ、サウシテ或ル程度ノ信徒ト申シマスカソレチ連名テ署名サセテ顯出タ場合ニハ——是ハ少シ、話ガ飛ビマシタガ、第六條ノ寺院、教會トシテ顯出ル場合ニハ、果シテドウ云フ標準ヲ許可ニナルノカ不安ニ堪ヘナイ、其ノ點ニ付テ何カ標準ガオアリニナルナラバ御示願ヒタイ

○松尾政府委員 第六條ヲ認可スル場合ニ、教義及ビ本尊等ニ付テ何カ標準ガナイカト云フ仰セデアリマスケレドモ、ソレハ教義ノ點、或ハ奉齋スル本尊トカ主神ノ點ニ於キマシテ、安寧秩序ヲ妨ゲ、臣民タルノ本分ニ背クヤウナ場合ハ斷乎トシテ許スベカラザルモノト思ヒマス、然ラザル限リニ於テハ、是ハ容認シテ差支ナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○會和委員 此ノ宗教ト云フ文字ニ付キマシテ、文部大臣ハ社會通念ニ依ルト云フコトヲ言ウテ居ラレルノデアスガ、サウ云フ御考ヘ方ニ付テハ如何カト思フノデアリマス、更ニ宗教局カラ吾々資料トシテ「宗教ノ定義」ト云フ冊子ヲ下サイマシタ、私ハ西洋ノ學問ナド殆ドナイノデアリマスルガ、私ハ宗教ト云フ現象ハ、泰西諸國ニ於テ所謂「サイエンス」ト云フモノヲ扱フ態度デア扱フベキモノデアナイト思フ、何故カト申シマス、宗

レガ宜イトカ惡イトカ云ツタ風ナ御解釋ヲシテノ御答デアリマシタガ、先程斷ツタヤウニ私ハ意見ヲ述ベタノデアリマセヌ、併シ四十幾ツアル中ニハ、宗教ノ定義ト云フモノニ本當ニ近イモノモアルダラウシ、又遠イモノモアルカモ知レナイ、隨テ政府ニ於テハ此ノ中デドノ定義ガ比較的ノ近イモノデアルト御認メニナツテ居ルカト云フコトヲ御伺シタイ、斯ウ思ツタノデアス

**○荒木國務大臣** 曾和君ノ今ノ御話デアリマスガ、過般本會議ニ於テモ一寸申上ゲタヤウニ、一ニ信仰ヲ中心トシ、之ニ依ツテ一ツノ教義ヲ立テ、之ニ依ツテ儀式ヲ行ヒ、更ニ之ヲ布教シマシテ教化ニ資スルト云フコトニ至ツテ、初メテ宗教タルノ價值、形式、組織ヲ具ヘタモノデアアル、斯ウ解釋スルコトガ一番我國ト致シテハ必要テハアルマイカ、又サウアルベキデアアルマイカ、此ノ中ニモ左様ナ意見ヲ述ベラレテ居ル所モアルヤウニ考ヘラレルノデアリマスカラ、斯様ニ先ゾ考ヘテ置クベキデアラウ、斯ウ考ヘルノデアリマス

**○曾和委員** サウシマス、私共ノ憂ヘマスコトハ、今日ニ於テモ神道十三派、佛教五十六派、基督教二十幾ツカニ分レテ居ルト云フコトデアリマス、サウ致シマシテ私ノ信ズル所デアハ宗教ガ盛ンニナルト云フコトハ、ソレトモ其ノ宗教ヲ奉ジテ居ル人々ガ、其ノ奉ジテ居ル神ナリ佛ナリニ對スル信仰ノ念ガ愈愈強クナツテ、サウシテ從來殆ド顧ミラレナカツタ所ノ祈禱或ハ行、ソレヲ尙ホ一層切實ニ熱心ニ行フ、サウシテ以テ結局何ト申シマスカ、安心ヲシ或ハ煩悶ヲ解決スル、斯ウ云フ風ニナルコトヲ期圖サレルモノダト思ヒマス、併シナガラ私ハ、今日

マテノ我國ノ宗教ハ主トシテ佛教デアリマスガ、佛教ハ我國ノ文化ニ非常ニ貢獻致シテ居リマス、併シナガラ一面日本精神ノ發揚チ或ル一部分ニ於テ阻礙シテ居ヤシナイカ、斯ウ考ヘルモノデアリマス、即チ佛教ガ日本精神ノ一部ニ役立ツタト云フノハ、因縁デアルトカ、或ハ前生ト云フ考ノ下ニ、死ヲ見ルコト歸スルガ如ク、即チ國家ニ奉公スル爲ニハ一命ヲ捨テテモ進ムト云フヤウナ精神ヲ涵養シマシタコトハ、餘程佛教ノ感化ト云フモノガ與ツテ力ガアル、或ハ上機上根ノ人ガ禪宗ヲ奉ジテ、サウシテ坐禪觀法ノ間ニ人格ヲ練ル、左様ナコトモ私ハ認メテ居ルノデアリマス、併シナガラ私ノ考ヘテ居リマス佛教ノ弊害ト申シマスモノハ、天台眞言ガ入ツテカラ後デアリマシテ、其ノ後ハ祈禱ト云フコトヲヤリ出シタ、私ノ信ズル所デアハ、宗教ト云フモノハ其ノ奉ズル神或ハ佛トソレヲ信ズル個人トノ直接ノ交渉デアアル、斯様ニ私共ハ考ヘテ居リマス、隨テ此ノ祈禱ト云フモノハ非常ニ弊害ヲ起スモノデアアル、或ル祈禱師ガ居ツテソレガ祈禱ヲスルト云フコトガ、甚ダ弊害ヲ起スモノデアアル、是ハ平安朝時代デアアルガ、祈禱師ガ顯門有力ノ家ニ入り込ンテソコニ色々我ガ國家上、國體上好マシカラザル狀態ガ起ツテ來タ、ソレカラ遂ニハ霸道政治ト云フモノガ起ツテ來タ、私ハ源氏ガ幕府ヲ開イテ霸道政治ヲ創メタト云フコトニ付テハ、佛教ノ思想ト餘程關係ガアルト思ツテ居リマス、隨テ其ノ後霸道政治ガ權キマシテ、サウシテ武門權ヲ專シ、一方農工商ノ平民ハ固ヨリ有ルカ無キカノ待遇ニ置カレ、甚ダ畏多イコトデアリマスケレドモ、雲ノ上ニ在ラセラレル方々マテモ甚ダ不平ヲ感

セラレテ居ツタ、サウ云フ狀態ノ時ニ、色々日本ノ國ノ佛教ガ發達シタノデアリマシテ、一言ニシテ盡シマス、今日ノ我國ノ佛教ハ、根本ハ釋迦ノ所説ニ出テ居リマスガ、現在ノ如キ宗派ニナツタト云フコトハ餘程我ガ國振リニナツタヤウデアリマス、隨テ本來ノ教義ト云フモノガ非常ニ歪メラレテ居ル、ノミナラズ詰リ霸道時代ニ適シタ宗教デアルト私ハ思フノデアリマス、隨テ先般モ申シマシタ通り、私共ハ今日我ガ日本精神ヲ作興スル爲ニハ、勿論是ハ政府モ御贊成デアリマスガ、詰リ我ガ精神ノ道、日本ノ皇祖神ヲ禮拜スルト云フコトヲ教ヘテ、サウシテ禮拜ガ二ツ或ハ三ツニナルト云フコトハ、是ハ國民精神日本精神ト云フモノヲ弱メル所以デアナイカト私ハ信ズルノデアリマス、或ハ此ノ點ニ付テ私ガ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、政府ノ御考ハドウデアアルカ、御伺シタイト思ヒマス

**○荒木國務大臣** 大分宗教ノ或ル角度カラ見ラレマシテ御心配ニナツテ居ル點ノミヲ御舉ゲニナツタノデアリマスガ、御承知ノ如ク宗教ソレ自體ト云フモノハ、先程來曾和君御自身御述ベニナリマスヤウニ、人心ノ機微ノ動キチ、茲ニ宗教ニ依ツテ自ラチ安心ノ内ニ置イテ、其ノ本分ヲ盡シ得ルヤウニシ、又煩悶ヲ致シテ居ル場合ニ、自ラノ心ヲ宗教心ニ依ツテ激勵シテ奮起スル、其ノ方面ニ於ケル信仰ノ力、即チ宗教ニ歸依致シマシタ信仰ノ力ト云フモノガ、個人ノミナラズ社會、國家、民族ノ上ニ及ボスコトガ認メテ偉大ナルモノガアルト信ズルノデアリマス、此ノ點ハ十分御認メ下サツテ居ルコトト存ジマス、茲ニ宗教ト云フモノガ如何ニ人生ニ於テ重要ナモノデアアルカト云フコ

トハ、誰人モ考ヘ得ラレル所デアツテ、宗教ヲ信ジナイ、自ラ獨リ唯物的ニ考ヘテ高シトシテ行クコトガ如何ニ寂シイコトデアアルカ、如何ニ社會ガ混亂ニ陥ルカト云フコトハ、現在ノ「ソビエト」聯邦ノ實情ヲ見マシテモ明カデアリマス、唯御心配ニナルヤウナ我ガ國民ノ精神、即チ日本ノ古カラノ精神ヲ消磨スルヤウナコトガナイカ、斯ウ云フ御心配ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ憲法ニ於テ信教ノ自由ヲ御許シニナツテ居ル、ソレダケニ此ノ宗教ニ關スル、所謂信仰ニ關シマスル方面ノ取扱ト云フモノハ大切テナケレバナラナイ、又人々ノ自分ノ環境、又自分ノ閱歷、境遇等カラ起リマス信仰ニ對シテハ、聊カモ之ヲ強制スルヤウナコトガアツテハナラナイノデアルト云フコトハ洵ニ尊イ憲法ノ御示シト思フノデアリマス、隨ヒマシテ、先程カラ御話ノ健全ナル宗教ノ發達ト云フコトガ、憲法ノ第二十八條ヲ能ク玩味致シマス、我國ノ安寧秩序ヲ害セズ、臣民タル義務本分ノ實踐ニ效果ガアルヤウナ宗教ヲ發達セシメテ行ク、又健全ナル宗教ガ即チ自ラ我ガ帝國臣民ノ本分ヲ實踐スルヤウニ爲シ得ルコトデアアル、宗教家ガ茲ニ能ク認識ヲ致サレテ、眞ニ宗教家トシテノ活動ヲナサレルナラバ、單ニソレダケニ於テモ如何ニ效果ガアルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、即チ更ニ進ンテ學問、大乘的ニ考ヘマスナラバ、茲ニ言ヒ知レザル所ノソレ自體ノ尊サヲ持ツコトデアリマスノデ、健全ナル宗教ノ發達ナクシテ、社會ガ唯理窟デ、或ハ唯自覺デ、總テノコトガ處理シ得ルト云フヤウナコトニナリ得ルコトハ、恐ラク一ツノ理想デアツテ今日ニ於テハ實現ハ困難デアアル、即チ茲ニ宗

教ト云フモノヲ尊重致シマシテ、其ノ健全ナル發達ト、其ノ活  
動ニ依ツテ人心ノ感化、社會一般ノ安寧幸福ト云フコトヲ助長  
シテ、更ニ進ンテ國家ノ興隆ニ向ツテ進ムコトガ必要ナル、  
唯淫祠邪教等ガアリマス爲ニ、茲ニ宗教行政ト云フコトヲ確立  
致シマシテ、兩者相俟ツテ、即チ我國ニ於ケル健全ナル宗教ノ  
發達ヲ希フ所以デアリマス、是等ヲ御考ヘ下サツタナ  
ラバ、宗教ニ對スル我國ノ行政方針ト云フヤウナコトモ、又過  
去カラ現在ニ至ル其ノ效果ト云フモノモ十分御承認下サルコト  
ト存ジマス、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○會和委員

……次ニ私ガ前年ノ宗教ニ關スル質問主意書  
ニ對シテ得タ答辯ニ付テ御伺致シマス、此ノ間ノ當委員會ニ於  
キマシテモ、文部當局ハ、此ノ宗教法ガ通過シタナラバ、ヤハ  
リ宗教調査會ノヤウナモノヲ作ツテ、何等カ審議ヲシテ行キタ  
イト云フ御方針ノヤウデアリマシタ、私ハ昨年ノ質問主意書ノ  
第七項目ニ、ソレニ能ク似タコトヲ書イテ置イタデアリマス  
ガ、其ノ當時ノ答辯ハ、宗教ニ關スル審査會ノヤウナモノヲ設  
置スル意思ハナイト云フ答辯デアリマシタガ、此ノ答辯ニ對シ  
テ最近ノ御考ハドウデスカ

○荒木國務大臣

私ハ未ダ其ノ質問書ヲ拜見シテ居リマセヌガ  
サウ云フ回答ガアツタトスレバ、ソレハ當時ノ考デアリマシテ  
宗教團體法ヲ議スルニ當リマシテ、先般御答致シマシタヤウニ  
此ノ宗教ノ本質ヲ顧ミマス、單ニ行政廳ダケテ勝手ニ考ヘル  
バカリテハ非常ニ弊害ノ伴フコトデアリマスカラ、ソレゾレノ

マスガ、私ハ茲ニ一ツノ疑問ヲ持ツテ居リマス、或ハ又宗教ノ  
本質ニ互ルテハナイカト御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、是  
丈ハ一ツ聽イテ戴キタイ、大陸ノ日本ガ今占據シテ居リマス土  
地ノ良民ニ安業樂土ノ安心ヲ與ヘテ居ルト云フノハ、私共考ヘ  
マスルト是ハ我が 天皇ノ御稜威ニ依ルデアアル、隨ツテ彼等  
ヲシテ安心立命サセル其ノ根本ハ、畏多クモ我が 天皇ニ出テ  
サセラレルモノデアアル、此ノ我が 皇室ニ頼ラシムル切實ナル  
思想ヲ養成スルト云フコトハ、今後最も必要デアナカラウカト  
思フデアリマス、ソコヘ若シ宗教家ガ參リマシテ宜撫致シマ  
ス時ニ、色々御説キニナルデアアルガ、或人ハ釋迦ノ功德デア  
ルソトト言ハレル人モアリマセウシ、或ハオ前達ノ總テハ阿彌  
陀様ガ救ウテ下サルノダト説ク人モアリマセウ、是ハ今後八紘  
一字ノ精神ヨリ日本ノ皇威ヲ發揮スル上ニ於テ、却ツテ妨ゲニ  
ナルデアハナカラウカ、私心配ニ堪ヘナイカラ御伺スルデア  
リマスガ、ソレニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○荒木國務大臣

屢々繰返シテ申上ゲマスルヤウニ、憲法第二  
十八條ニ依リマシテ御許ニナツテ居ル宗教ハ、只今御述ニナリ  
マシタ 御稜威ヲ仰イテ此ノ宗教行爲ヲ爲サレテ居ルデアリ  
マス、隨テ其ノ説キ方ハ右カラ參リマスト左カラ參リマスト、  
ソレゾレノ宗教ノ本義ニ依ツテノ説キ方アラウト存ジマス、  
何レモ之ニ依ツテ、支那デアリマスラバ、ソレノ地方  
ニ於ケル國民ノ宗教心ヲ捉ヘテ、之ニ適應スル如クシテ、各々  
其ノ處ヲ得セシムルコトガ八紘一字ノ大精神デアリマスカラ、  
佛教ヲ信ズル者ニハ佛教ニ依ツテ其ノ處ヲ得セシメ、基督教ヲ

サウ云フ機關ヲ設ケタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス  
○會和委員 只今ノ文部大臣ノ御答辯ハ、宗教ノ本質ニ關スル  
審査會ヲ設ケテ、慎重ニ之ニ當ルノダト云フ風ニ諒承シテ宜シ  
ウゴザイマスカ

○荒木國務大臣

宗教團體法ノ運用ニ關シテ誤リナカラシメン  
ガ爲ニ、ソレノサウ云フヤウナ機關ヲ考ヘテ居ル次第デアリ  
マス

○會和委員

……其ノ次ニ、是ハ度々問題ニナツテ居リマ  
スルガ、淫祠邪教ノ取締ニ付テハ、私ハ神社ニ關スル行政モ、  
宗教ト同ジク一ツノ省ニ經メテオヤリニナル方ガ宜イノチヤナ  
イカト思フデアリマスガ、ソレニ付キマシテノ御意見ヲ伺ヒ  
タイト思ヒマス

○荒木國務大臣

今ノ御尋ハ、具體的ニ言フト、神社局ヲ文部  
省ニ移スト云フコトニナル譯デアリマスカ、只今ハ内務省ノ神  
社局ガ神社行政ヲヤツテ居ルデアリマスガ、ソレチ一ツノ手  
デ、即チ文部省ニ神社局ヲ持ツテ來テ、兩方ヤツタラ宜カラウ  
斯ウ云フ御尋ト思ヒマス、是ハ今直チニ御答出來兼ネマス、今  
マデ神社ヲ宗教ノ限界カラ卓越シテ御取扱ニナツテ居リマスカ  
ラ、自ラ祭祀ニ關スル點ヲ内務省テ取扱ツテ居ルデアリマシ  
テ、直チニソレヲ文部省テ共ニ致スト云フコトニ付テハマダ考  
ヘテ居リマセヌ

○會和委員

尙ホ之ニ關聯シマシテ、大陸ノ宗教政策ニ付キマ  
シテハ此ノ間御答辯ガアリマシタガ、餘程慎重ニヤラネバナラ  
ヌト云フ御意見モアリマスシ、私ソレヲ拜承シテ居ルデアリ

○加藤委員

……私ガ第一ニ御伺申上ゲタイト思フコトハ  
神社ト宗教、宗教ト祭政一致、此ノ關係ニ付キマシテ御伺致シ  
タイト思フデアリマス、北島親房卿ガ、大日本ハ神國デアアル  
斯様ニ申サレマシタガ、是ハ洵ニ千古ノ至言デアリマシテ、如  
何ニモ我が大日本帝國ハ神國デアアル、カルガ故ニ神代カラ今日  
ニ至ルマデ惟神ノ大道ガ儼然トシテ存在致シテ居ル、其ノ惟神  
ノ大道其ノ儘ガ畏クモ我が 皇室デアラセラレル、我が 大君  
デアラセラレル、我が 天皇デアラセ給フト、斯様ニ私ハ信ジ  
テ居ルデアリマス、「何事ノオハシマスカハ知ラネドモ忝サ  
ニ涙コボル」道理ヤ理窟ハ如何様デアリマシテモ、ソレハ吾  
吾ノ間ヲ所デアアリマセヌ、唯忝サニ涙コボル、即チ伏シテ  
ハ廣大無邊ノ神德ニ感激シ、仰イテハ天壤無窮ノ皇恩ニ感泣シ  
奉ル、斯様ニ私ハ思ウテ居ルデアリマス、更ニ一面此ノ惟神  
ノ大道ニ依ツテ八百萬ノ神々ガ現レ給ウテ、サウシテ村社、郷  
社、府縣社、國幣社、全國十一萬餘ノ神社ニソレノ銀座マシ  
マシテ、吾々日本國民ヲ護ラセ給フ、斯様ニ考ヘマスルガ故ニ  
神々ヲ尊ビ、神社ヲ崇メ、吾々國民トシテハ毫末モ非禮ニ互ル  
ヤウナ言動ガアツテハナラナイ、斯様ニ吾々ハ考ヘテ居ルデア  
アリマス、併シナガラ斯様ニ考ヘマシテモ、私ハ八百萬ノ神々

ハ決シテ宗教的ノ神々ヲハナイ、又神社ハ決シテ宗教的ノ神社  
ヲハナイ、斯様ニ實ハ考ヘルノデアリマス、カルガ故ニ古來佛  
教ノ家ニモ神欄ヲ祀リ、又神主ノ家ニモ佛壇ヲ安置スル、寺院  
ノ檀信徒ハ即チ神社ノ氏子トナリ、神社ノ氏子ガ即チ佛教ノ信  
者トナル、斯ノ如クニシテ進ンデハ忠君愛國ノ至誠ヲ效シ、退  
イテハ敬神愛郷ノ美風ヲ顯致シテ國家ノ爲、地方ノ爲、又我が  
一家ノ爲ニ能ク働キ、能ク盡シ、能ク努メテ行ク、是ガ即チ所  
謂忠良ナル所ノ臣民トシテ、永イ間我が國家ノ爲ニ貢獻シ來ツ  
タノデアリマス、是ガ即チ萬國無比、世界唯一無二ノ美シイ國  
體ヲ形成シタ所以アルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、然ル  
ニ若シ八百萬ノ神々ヲ宗教的ノ神々ト爲シ、又神社ヲ宗教的ノ  
表徴デアル、斯様ニ考ヘマシテ、之ヲ即チ純然タル所ノ宗教ト  
致シテ、其ノ信仰ヲ人ニ強ヒルト云フコトニ相成リマシタナラ  
バ、其ノ結果ハドウナルノデゴザイマセウカ、茲ニ宗教的ノ關  
ノ端緒ヲ開キ、思想上ノ相剋摩擦トナリ、怖ルベキ禍根ヲ國家  
ノ將來ニ貽スデアラウ、若シ左様ナコトニ相成リマシタナラバ  
金庫無缺ノ我が國體ニ非常ナル影響ヲ與ヘル、斯ウ云フ考テ實  
ハ持ツテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ私共ハ斷ジテ八  
百萬ノ神々、日本ノ津々浦々ニ在シマス神社、之ヲ普通ノ宗教的  
ニ考ヘテハナラナイ、即チ此ノ宗教團體法案ガ本會議ニ上程セ  
ラレマシタ際、或人ノ質問ニ對シテ平沼總理大臣ガ、此ノ神々  
神社、是ハ一段高イ所ニ崇メ奉ラナケレバナラヌデアアル、斯  
様ニ仰セラレタ、是ハ如何ニモ御尤至極デアルト私ハ伺ツタノ  
デアリマシテ、先日來文部大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシテモ、其ノ

御趣旨ノヤウニ私ハ拜聽致シタノデアリマス、一段高イ所ニ神  
社ヲ置カネバナラヌ、神々ヲ崇メナケレバナラヌ、恰モ雲外ニ  
聳ユル富士山ノ如クニシテ置カケレバナラヌ、斯様ニ私ハ信  
ズルノデアリマス、所ガ近來國體明徴ト云フヤウナコトニ名ヲ  
藉リマシテ、佛教ヲ排撃シ、併セテ他ノ宗教ヲ排斥シ去ラウ  
トスル傾向ガ漸次盛ニナルヤウナ有様デアアル、ソレモ一ツノ見  
方トスレバ、之ヲ敢テ咎ムルモノデアリマセヌ、併シナガラ  
一段高イ所ノ神々ヲ一段低イ所ヘ下ゲテ、高イ所ヘ崇メ奉ラネ  
バナラヌ神社ヲ一段ト低イ所ヘ下ゲテ、一般ノ宗教ト「レヘル」  
チ同ジウシテ、此ノ思想、此ノ考ニ依ツテ國體明徴ヲ振翳シテ  
他ノ宗教ヲ排斥スルヤウナコトハ吾々ノ贊成スルコトノ出來ナ  
イ所デアリマシテ、而モ吾々ノ憂慮ニ堪ヘザル所デアリマス、  
若シモ此ノ思想ガ段々增長シテ行ツタナラバ、其ノ結果ハ國家  
ノ將來ヲシテ宗教的ノ關争ノ渦中ニ投ズルコトニ相成ルデアラウ  
斯様ナコトニ相成ツテハ國家ノ將來實ニ憂慮ニ堪ヘザル次第  
アルノデアリマス、又甚ダシキニ至リマシテハ、歴代ノ内閣ガ  
祭政一致ト云フコトヲ言ツテ居ル、祭政一致ノ祭ノ字ハ「マツ  
リ」デアアル、是ハ八百萬ノ神々ヲ祭リ之ヲ信ズレバ、他ノ宗教  
ヲ信ズルニ及バナナイ、御寺ヘ詣ルニ及バズ、佛壇ハ壞シテシマ  
ヘ、先祖ノ位牌ハ流シテシマヘ、斯様ナ過激ナコトヲ説イテ廻  
ツテ居ル者ガアルト云フコトヲ聞クノデアリマス、果シテ祭政  
一致ト云フコトガ斯様ナコトデアリマセウカ、平沼總理大臣ガ  
祭政一致ト云フコトヲ強調セラレタ趣旨モ之ニ外ナラヌデア  
ルナドト説イテ、八百萬ノ神々ヲ神社ヲ一般宗教ト同ジヤウニ

取扱ウテ、多クノ人ニ其ノ信仰ヲ強ヒントスル者ガ段々多クナ  
ルヤウニ聞クノデアリマスガ、果シテ平沼首相ノ唱ヘラルル祭  
政一致ト云フモノハ斯様ナモノデアリマセウカ、又荒木文部大  
臣モ平沼内閣ニ列セラレ、祭政一致ト云フコトニ付テ左様ナ考  
ヲ持ツテ居ラルルノデアリマセウカ、此ノ場合之チハツキリト  
致シテ置キタイ、即チ神社ト宗教トノ關係、宗教ト祭政一致ト  
ノ關係、之ヲ明ニシテ置キタイノデアリマス、尤モ神社ト宗教  
トノ關係ハ最早幾度カ是マテ御説明ヲ伺ツタノデアリマスガ、  
併シ宗教ト祭政一致ノ關係ハ未ダ伺ツテナイノデアアルカラ、平  
沼首相ニ伺フノハ後日ノコトニシテ、今ハ私文部大臣ニ此ノ關  
係ヲ御尋申上ゲタイト思フノデアリマス

**○荒木國務大臣** 此ノ點ニ付キマシテハ、過般本會議デモ御答  
致シタヤウニ存ジテ居ルノデアリマスガ、我國ニ於テ神社ガ宗  
教ノ圈内ニナイト云フコトハ、總テノ點ニ付テ明瞭デアリマス  
而シテ宗教ハ憲法ニ依ツテ信教ノ自由ヲ許サレテ居ル範圍内ニ  
於テ、何等茲ニ制限ヲ受ケテ居ラヌノデアリマス、故ニ神社ヲ  
直チニ宗教ノ一ツトシテ考ヘルコトハ非常ナ誤リデアリマス、  
又神社ニ奉仕サレル者、又神社ノ祭祀ニ當リマシテモ、此ノ點  
ニ付テハ特ニ宗教ト神社トノ區別ヲ明瞭ニスベキ儀式、其ノ他  
ガ自ラ行ハレテ居ル譯デアリマス、此ノ點テ神社ト宗教トノ關  
係ハ最早申上ゲナクテモ御諒解ヲ下サルコトト存ジマス、祭政  
一致ノ問題、是ハ今此處テ繰返シテ申上ゲルマデモナク、我國  
ノ國體ノ本義ニ基キマシテ、茲ニ祭祀ヲ主ト致シマシテ、其ノ  
本カラ流レテ參リマスル精神ヲ以テ總テノ政治ガ行ハレネバナ

ラヌ、今日其ノ實質モ行事ノ中ニ既ニ明ニナツテ居ラルルコト  
デ、十分ニ御諒解出來ルコトト存ジマス、祭政一致ハ一ニソレ  
ニ外ナラナイノデアリマス、此ノ點テ十分御諒解ケルコトト  
存ジマス、簡單デアリマスケレドモ、屢々此ノ點ハ既ニ申上ゲ  
マシタノデアリ、茲ニ時間ヲ省略致シマスル爲ニ、以上ヲ以テ御答  
ト致シタイト思ヒマス

**○加藤委員** ……次ニ御尋致シタイコトハ、皇室ト佛教ト  
ノ關係デアリマス、佛教ガ我國ニ渡來致シマシタノハ、御案内  
ノ如ク欽明天皇ノ御宇第八年デアリマシテ、茲ニ千三百九十年  
デアリマス、尤モ最近ノ新聞ニハ、ズツト其ノ前ニ我國ニ渡來  
シテ居ツテ、少クトモ千五六百年ヲ經テ居ルト云フ記事ガ現ハ  
レテ居リマシタガ、兎ニ角歴史ノ示ス所ニ依ルト今申上ゲタヤ  
ウナ次第デアリマス、而シテ人皇百二十四代中、畏クモ 聖上ノ  
落飾アラセ給ヒテ法皇トナラセ給ヒシモノガ三十六帝アラセ給  
フ、又皇后中宮ノ尊キヲ以テマシテ受戒アラセ給ウタ御方ガ實  
ニ三十七方デアアル、皇子皇女ハ二百五十方ノ多キニ及バセ給ウ  
テ居ルノデアリマス、遠クハ聖德太子十七條ノ憲法ヲ御制定ア  
ラセラレ、其ノ第三條ニハ「篤ク三寶ヲ敬ヘ、三寶トハ佛法僧  
ナリ、即チ四生ノ終歸、萬國ノ極宗ナリ、何ノ世、何ノ人カ是  
ノ法ヲ貴バザル者アラン、人尤惡ナル者鮮シ、能ク教フレバ之  
ニ從ハン、其レ三寶ニ歸セズンバ、何ヲ以テカ枉レルチ直サ  
ン」ト宣ハセ給ヒ、太子御一代ノ御行績ハ、其ノ儘大乘佛教ノ  
活現デアルト申上ゲテモ決シテ過言デハナカラウカト思フノデア  
アリマス、又近クハ 明治大帝ノ皇后深ク佛教ニ歸依アラセラ

レ、大帝崩御ノ後ハ其ノ御冥福ヲ祈ラセ給フ御心ヨリ、法華  
經普門品ヲ御淨寫遊バサレ、之ヲ瑞龍寺村雲尼公ニ御下賜アラ  
セ給ヒシコトハ、餘リニモ著明ナ事實トシテ吾々感激ニ堪ヘナ  
イノデアリマス、其ノ他皇室ト佛教トノ關係ヲ申上ゲマスナラ  
バ、千萬言ヲ費シテモ尙ホ及バザルモノガアルト思フノデアリ  
マスルガ、斯ル關係ニアル佛教ヲ政府ハ如何様ニ之ヲ取扱ハン  
トセラルルノデアアルカ、宗教團體法案ノ上カラ之ヲ見マスルト  
神道、佛教、基督教及ビ其ノ他ノ宗教ハ皆一律平等ニ取扱フヤ  
ウニナツテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ我が皇室ト深キ關  
係ニアル佛教ヤ寺院堂宇ニ對シテハ、特殊ノ取扱ヲセラレテモ  
宜イノデアハナイカ、又ソレガ當然デアハナイカ、斯様ニ思ハレル  
勿論信教自由ノ建前カラ、佛教ダケヲ特殊ノ取扱ヲスルト云フ  
コトハ不公平デアルト考ヘテ居ラルルカモ知レマセヌ、併シナ  
ガラ皇室中心主義ノ我が國體ノ上カラ見マスナラバ、皇室ニ深  
キ關係ノアル佛教寺院ニ對シ、特別ニ是ガ保護、擁護ノ方法ヲ  
講ゼラレテモ何等ノ不公平ガアルトモ思ハレナイ、殊ニ之ヲ外  
國ノ例ニ徴シマス、英國ヲ初メ其ノ他ノ諸國ハ信教ノ自由ヲ  
認メマシテモ、或ル特定ノ宗教ニ對シマシテハ色々ノ特權ヲ與  
ヘ、特別ノ保護ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ波蘭ノ如キハ  
信教ノ自由ヲ認メナガラ、羅馬舊教ニ對シテハ國民ノ多數ガ其  
ノ宗教信者デアルト云フ故ヲ以テ、同一ノ取扱ヲ受クル宗教中  
ニアリマシテモ、國內ニ於キマシテハ優勝ノ地位ヲ占メシメ、  
種々ナル特權ヲ與ヘ、是ガ保護方法ヲ講ジテ居ルヤウニ聞イテ  
居リマス、サレバ我國ニ於キマシテモ、最大多數ノ信者ヲ有ス

ル佛教、殊ニ畏多クモ我が皇室ト我が國體ニ密接ナ關係ヲ有ス  
ル所ノ佛教及ビ其ノ寺院ニ對シテ、特別ノ保護ヲ與ヘ、待遇ヲ  
與ヘラレマシテモ、決シテ是ガ不公平ノ處置デアルトハ思ハレ  
ナイノデアリマス、畏多クモ 上御一人ヨリ御覽ニナリマスレ  
バ、七千萬同胞ハ是レ一視同仁デアラセラレマス、併シナガラ  
國家トシテハ功アル者ハ之ヲ賞シ、罪アル者ハ之ヲ罰スル、是  
ガ即チ不公平ノヤウデアリマシテモ最モ至公平ノ處置デア  
ト思フノデアリマス、是デコソ國家ノ組織モ、社會ノ秩序モ保  
テルコトニナルト思フノデアリマスガ、之ニ付キマシテ文部大  
臣ハ如何様ニ御考デアリマセウカ、此ノ點ヲ一ツ御申上ゲタ  
イト思フノデアリマス

○荒本國務大臣 佛教が我國ニ渡來以來、皇室トノ御關係ノ非  
常ニ深クアラセラレタ過去ノ歴史ハ、只今御述ニナツタヤウナ  
コトデアリマス、又我國ニ於ケル思想文化ノ上ニ貢獻シタ點モ  
亦多イコトハ萬人ノ認ムル所デアリマス、併シナガラ此ノ法案  
ヲ主トシテ申述ベマスレバ、我國ニ於ケル宗教的活動ノ顯著ナ  
ル宗教ニ對シテ、ソレノ保護ヲ加ヘルコトニナツテ居リマ  
ス、唯佛教トノミ申述ベマセヌデ、一切ヲ左様ナ風ニ取扱フコ  
トニナツテ居ルノデアリマス、隨テ佛教モソレダケノ深イ皇室  
トノ御關係モアリマシタシ、又貢獻モ致シテ居リマスノデア、自  
ラ本法案ニ於テハ其ノ保護ガ出來テ居ルヤウニナツテ居ルノデ  
アリマス、從來ノ其ノ狀態ヲ、此ノ法案ガ成立スルト共ニ、直  
チニ斯ウ云フ保護ノ狀態ガ現ハレルコトニナツテ居ルコトハ御  
承知ノ通りト存ジマス、又皇室ニ御關係ノアル例ハ由緒アル

寺院、門跡寺院ト云フヤウナ殊ニ御關係ノ深イ所ノ寺院等ニ對  
シマシテハ、格別今後ニ於キマシテモソレ等ノ點ヲ十分ニ考慮  
致シマシテ、其ノ保護保存ニ對シテハ遺憾ナキ時期スルヤウニ  
致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 次ニ御尋申上ゲタイト思フノハ、宗教家ニ衣食住  
ノ安定ヲ與ヘ、専心人心教化ノ業ニ從事セシメヨウト云フ御考  
ハナイカドウカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス、如何ナ  
ル宗教家デアリマシテモ、神ノ子デモナケレバ佛ノ子デモナイ  
ヤハリ同ジ人間ノ子デアリマス以上ハ、衣食住ノ惱ミガアリマ  
シテハ、如何ニ國家ノ爲デアリ、人ノ爲デアリマシテモ、人心  
教化、精神作興ニ専心從事スルコトハ實際中々困難ノ事デアリ  
マス、之ヲ佛教ノ上ニ付テ見マスルト、昔ハ御朱印地ト云フモ  
ノヲ與ヘ、又其ノ他ノ特權ヲ附與致シマシテ、其ノ生活上ニ安  
定ヲ與ヘテアリマシタカラ、名僧知識モ簇出シ、人心感化ノ業  
モ爲シ得タノデアリマス、所ガ明治維新以來排佛毀釋ノ大嵐ニ  
遭ヒマシテ、長イ間附與セラレテアツタ御朱印地モ寺領地モ其  
ノ他ノ特權モ悉ク取上ゲラレ、其ノ上時代ノ變遷、人心ノ推移  
等ニ依リマシテ、著シク經濟的ノ壓迫ヲ餘儀ナクサレタ其ノ結  
果ガ寺院、僧侶ノ收入ハ著シク減少シマシテ、中ニハ寺院ノ維  
持ストラ困難ニシテ其ノ日ノ生活ニスラ困ルト云フヤウナ者ガ少  
クナイノデアリマス、世間テハ宗教家ト云フモノハ國ノ爲、人  
ノ爲ニ働クベキモノデアルト云フ考ヲ持ツテ居ルケレドモ、其  
ノ反面ニ經濟上ノ惱ミノアルコトニ何等ノ同情ヲ拂ハナイ、サ  
ウシテ徒ニ腐敗墮落呼ハリチシテ居ル者ガ頗ル多イノデアリマ

ス、斯ノ如キハ難キヲ責メルモノデアリマス、苟モ國  
ノ爲、人ノ爲ニ人心教化ノ大任ニ當ル宗教家ニ對シマシテハ、  
國家トシテモ之ニ相當ノ保護ヲ與ヘ、待遇ヲ與ヘテモ宜イノデ  
ハナイカト私斯様ニ考ヘルノデアリマス、試ニ世間ノ有ユル階  
級ヲ眺メマシテモ、國家ノ爲、人ノ爲ナリトテ、無報酬ヲ働イ  
テ居ル階級ガアルデゴザイマセウカ、先ヅ官吏ニ付テ其ノ一例  
ヲ見マスルト、午前九時カラ午後四時マテ働ケバ、其ノ他  
ハ自由自在、遊バウト何ヲシヨウトモ勝手次第デアリマス、  
サウシテ毎月高イ俸給ヲクフコトガ出來ル、其ノ上階級等マ  
デ賞ヘル、サウシテ一定ノ年限ヲ勤メマスレバ恩給ガ賞ヘル、  
其ノ上ニ身分保障令マテ布イテアツテ、官吏ノ一身上ニ對スル  
保護ト云フモノハ全ク至レリ盡セリデアリマス、斯ウ云フヤウ  
ナ厚イ待遇ヲ受ケテ居ル官吏ニ對シマシテ、時局重大ノ折柄デ  
アルカラ、先ヅ一年テモ二年テモ前方無月給ヲ働ケ、無報酬  
ヲ働イタラドウデアアルカ、斯ウ云フコトヲ言ツテ其ノ人達ニ之  
ヲ假ニ強ヒルト致シマスナラバ、其ノ人達ガ之ヲ甘ンジテ受ケ  
ルデゴザイマセウカ、喜ンデ之ニ應ズルデゴザイマセウカ、先  
年緊縮時代ニ於ケル官吏減俸問題ノ起キマシタ其ノ當時、官吏  
ノ人達ガ如何ナル態度ヲ執ツタデアリマセウカ、大騒ギチヤツ  
テ反抗ノ態度ニ出マシタコトハ、餘リニモ著明ナル事實デアリ  
マス、此ノ一例ニ徴シマシテモ大抵御想像ガ付クト思ハレルノ  
デアリマス、官吏モ實業家モ、教育家モ、宗教家モ等シク人間  
デアル以上ハ、只テ働クコトノ出來ルモノデアハナイ、ナニ、宗  
教家デアル以上ハ無月給デモ國ノ爲人ノ爲ニ一生懸命ヲ働ケバ

必ズヤ其ノ報ハ得ラルルカラ衣食ノ心配ハ要ラヌト言ハレルカ  
モ知レヌガ、昔ナライザ知ラズ、今日テハ中々サウ云フ譯ニハ  
參リマセヌ、デアリマスカラ如何ニ宗教家デアラウガ、僧侶テ  
アラウガ、唯國ノ爲ダ、人ノ爲ダト言ツテ只テ働ケルモノテハ  
アリマセヌ、先刻モ申上ゲマシタヤウナ狀況、實情ニ在ルノテ  
アリマスカラ、其ノ日々ノ生活ニ安定ヲ與ヘナイ以上、如何  
ニ宗教家デアリマシテモ、僧侶デアリマシテモ、國ノ爲、人ノ  
爲ニ少シノ間ナライザ知ラズ、長イ間ハヤレルモノテハア  
リマセヌ、斯様ナ次第デアリマスカラ、先ヅ國家ガ一般ノ宗教  
家ニ對シテ、衣食住ニ心配ノナイヤウニ、其ノ生活ニ安定ヲ與  
ヘ、所謂後顧ノ憂ノナイヤウニシテ、專心國家ノ爲、世道人心  
ノ爲ニ働キ得ル途ヲ開イテヤルト云フコトガ、當然爲スベキ政  
策ノ一ツデアリマスマイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス  
斯様ニ申シマシタナラバ、政府當局ハ、宗教團體法ノ制定ガ即  
チ其ノ保護デアツテ、寺院境内地無償讓與ハ、即チ其ノ生活ニ  
安定ヲ與フル所以デアルト仰シヤルカモ知レマセヌ、併シナガ  
ラ斯ノ如キハ極メテ消極的ノヤリ方デアリマシテ、之ニ依ツテ  
生活ノ安定ナドハ到底得ラレナイ、中ニハ之ニ依ツテ生活ノ安  
定ヲ得ラルルモノモアリマセウガ、ソレハ極メテ少イモノデア  
ル、ソレデアリマスカラ、今一步進メテ積極的ニ、其ノ生活ニ  
安定ヲ與ヘル必要が大イニアルト思フノデアリマスガ、之ニ對  
スル文部大臣ノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ

○荒木國務大臣 宗教家ノ活動ヲシテ後顧ノ憂ナカラシメ、眞  
ニ其ノ使命ヲ達成セシメレ爲ニ、其ノ活動上ノ安定ヲ得セシメ

付キマシテハ、色々ナ方法ヲ考フヘキ要ガアルノテハアルマイ  
カ、即チ宗教ソレ自體トシテモ最モ神聖デアリ、最モ信仰ノ中  
心トナリ得ルヤウナ要素ヲ考ヘツツ之ヲ行フコトガ必要デア  
ルマイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯様  
ニシテ十分ナ活動ヲシテ戴クヤウニシタイ、斯ウ思ウテ居リマ  
ス

○加藤委員 次ニ御尋申上ゲタイト思フノハ宗教團體法ノ運用  
ニ付テデアリマス、此ノ法案ハ我國初メテノコトデアリマシテ  
殊ニ此ノ法律ガ精神的ノ法律デアルト云フコトハ今更申上ゲル  
マデモナイコトデアリマス、總テノ法律ガ其ノ運用宜シキヲ得  
ナケレバイカヌト云フコトハ皆言ツテ居ルコトデアリマスルガ  
特ニ宗教團體法、此ノ精神的ノ法律ニ於キマシテハ、其ノ運用  
宜シキヲ得ナカツタナラバ恐ルベキ結果ヲ生ズルデアラウト云  
フコトハ火ヲ暗ルヨリモ明カナルコトデアルト思フノデアリマ  
ス、ソコテ此ノ法律案ハ、貴族院ニ於テ第五條、第十一條ガ修  
正ヲセラレマシテ、破産即チ解散ト云フ條項ヲ削除セラレマシ  
タ點ハ、洵ニ私ハ宜カツタコトデアルト思フノデアリマスガ、  
併シナガラマダ宗教教師ノ資格問題、或ハ寺院又ハ教會ノ財産  
ノ問題、宗教上ノ安寧秩序ノ問題、宗教教師ノ公益ノ問題、宗  
教結社ノ問題等ガ、本法案ノ條項通リニ若シ通過スルコトニナ  
リマシタナラバ、其ノ運用如何ニ依リマシテハ、角ヲ矯メテ牛  
ヲ殺スヤウナ結果ニナラヌトモ限ラヌト云フコトヲ考ヘマシテ  
深ク其ノ點ニ付テ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、故ニ其ノ運  
用ニ於キマシテハ、勅令、命令、施行細則等萬般ニ互リマシテ

ルコトニ關シテノ御意見ハ、サウ云フ必要ヲ無論認メ得ラレル  
ノデアリマスガ、唯私ハ茲ニ其ノ實際ノ運用ニ付テ次ノヤウニ  
考ヘテ居ルコトヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、宗教  
ノ本質ガ何デアアルカト云フコトヲ考ヘ來リマス、信仰ニ依リ  
殊ニ宗教教師トカ、或ハ僧侶ト云フ風ナ位地ヲ持タレマシテ、  
布教ヲシテ人心ノ感化ニ資スル所ノ多イ者ハ、他ノ者ト違ヒマ  
シテ、一ノ信仰ガ中心ニナツテ居リマス、一切ノ世ヲ救ヒ、一  
切ノ人ヲ救フト云フ氣魄ヲ持ツテ、宗教家トシテ起タレマシタ  
所ニ、歸依ガ自ラ集マルノデアリマスノデ、他ノ者ト——只今  
官吏ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、餘談デアリマスガ、官吏タ  
ル者ガ俸給ノ問題ニ付テ騒イダト云フガ如キコトハ、吏道ニ反  
スルモノデアツテ、當時左様ナ事ノアツタト云フコトハ、如何  
ニ其ノ時代ガ頹廢シ、人心ガ衰ヘテ居ツタカト云フコトヲ悲シ  
ム者デアリマス、同ジク宗教家トシテ立タレ、世間殊ニ信者ノ  
崇敬ノ中心トナルベキ方ノ活動ヲシテ遺憾ナカラシメル爲ニハ  
自ラ其ノ途ニ深く考慮ヲ拂フ必要ガアルノデアアルマイカ、或  
ハ物質的ニサウ云フヤウナ點ガ露骨ニ現ハレマスルコトハ多ク  
財ト云フモノニ依ツテ自ラソコニ活動ガ出來ルコトガ最モ望マ  
シイノデアリマスガ、是ハ理想デアリマシテ、現在ノ時代ニ於  
テ左様ナコトヲ申スコトハ出來ナイノデアリマス、サウ云フ點  
ニ對シマシテハ十分ノ考慮ヲ拂ヒタイト思ウテ居リマスルシ、  
又宗教團體法ニアリマス保護ノミテハ十分デアナイ場合ニアツ  
テハ、又考テソコニ救シタイト思ヒマスルガ、其ノ手段方法ニ

是ガ完壁ヲ期サネバナラヌト思フノデアリマスルガ、特ニ私ノ  
懸念スル所ハ、各府縣ニ於ケル本法實施ニ關スル機關ノ設備ト  
之ヲ取扱フ官吏ノ人選デアアルノデアリマス、從來各府縣ニ於キ  
マシテハ、兵事ト社寺トチ一緒ニ置イテ一課ガ出來テ居リマシ  
テ、僅ニ少數ノ官吏ガ社寺ノ事務ヲ取扱フコトニナツテ居リマ  
スルガ、今度此ノ法律案ガ通過シマシタ以上ハ、各府縣ニ特ニ  
宗教課ヲ設置セシメテ、本法ヲ取扱フ官吏ニ、宗教トカ、思想  
トカニ理解ヲ有スル至公至平ノ人ヲ人選スルヤウニシナケレバ  
ナラヌト思フノデアリマス、私ノ聞イタ話デアリマスケレド  
モ、山梨縣廳ニ居ル某官吏ハ或ル宗教ノ信者デアアル所カラ、寺  
院ニ對シテハ何等ノ同情心モ持タズ、片端カラ廢寺ノ手續ヲ執  
ツテ山梨縣佛敎家ノ怨府ニナツテ居ルト云フ話ヲ聞クノデアリ  
マス、此ノ宗教團體法ヲ實施セラレルニ當リ、若シ之ヲ取扱フ  
官吏ニ不公平ナ處置ヲスル者ガアルトシマスルト、非常ナ弊害  
ヲ貽スコトニナルト考ヘルノデアリマス、故ニ中央テモ地方テ  
モ本法運用ノ官公署ニ在リテハ其ノ運用上ニ專心公平ニ宗教事  
務ヲ取扱フヤウニセナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此  
ノ點ニ付キマシテ文部當局ノ御考ヲ伺ヒタイト思フノデアリマ  
ス

○荒木國務大臣 御尤ナ御心配ト存ジマス、殊ニ人ノ問題ハ又  
必要デアリマスルガ、人ハ永遠性ヲ持チマセヌノデ、組織ノ上  
ニ於テ一ツ永遠性ヲ持タシタイトモ考ヘテ居ルノデアリマス、  
先程モ一寸御答致シマシタ如ク、或ハ現在アリマスル調査會ノ  
ヤウナモノモ永續テスル、或ハ特ニサウ云フ機關ヲ設ケマシテ



其ノ運用ニ誤ナカラシムルコトヲ期シ、尙ホ地方廳ニハ之ニ專任スベキ官吏ヲ置キ、其ノ官吏ノ下ニ或ハ御話ノヤウナ地方的ノ組織ヲ作ツテ、此ノ運用ヲシテ御心配ニナルヤウナコトガナイヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、今日マデハ宗教行政ガ放置セラレテ居リマス爲ニ、只今御述ニナリマシタヤウナ弊害モ十分考慮セラレズ、知ラズ識ラズニ行ハレテ居ルト存ジマスガ、此ノ法案ノ成立ニ依リマシテ、宗教行政ガ茲ニ本當ニ運用セラレルヤウニナリマスレバ、自ラ總テノ人々ガ宗教及ビ宗教行政ノ我國ニ於ケル地位、又神社ト宗教トノ關係、先程來ノ御質問ノ祭政一致ト云フヤウナコトモ自ラ意識ヲスルコトニナリマシテ、最モ能クサウ云フコトニ對シテ理解シ易イ我が國民ハ、自ラ宗教ノ我國ニ於キマスル活動ニ付テ適正ヲ得ルコトニナルノデハナイカ、斯様ニ信ジテ、本法案ノ運用ニ付キマシテハ、ソレハ、考究ヲ續ケテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 色々御伺シタイトコトモアリマスケレドモ、私ハ今一點ダケ御尋テ申上ゲマシテ、餘ハ後日ノ機會ニ譲リタイト思ヒマス、我が皇軍ガ占領致シマシタ支那ニ於ケル宣撫班ニ關スルコトデアリマスガ、皇軍ノ威力ノ及ブ間ハ何モ心配ハナイノデアリマスケレドモ、一たび皇軍ノ警備ガ手薄ニナルカ、若クハ全然皇軍ガ其處カラ撤退シマスルト、直チニ敗殘兵ヤ土匪ガ襲來シテ、危險此ノ上モナイ状態ニアリマスルコトハ能ク御承知ノ通りデアリマス、ソレガ爲ニ絶エズ是等ノ敗殘兵ヤ土匪ノ掃蕩ガ行ハレテ居ルノデアリマスガ、何ト云ヒマシテモ、戦後ノ後始末ハ宣撫工作ニ依ラナケレバナナイコトハ言フマデモ

從ニ下ツテ申上ゲマスルト、大陸方面ニ對スル諸般ノコトガ作戦行動中デアリマスノデ、宣撫工作ノ總テノ問題ガ、文部省ノ直チニ手ノ延ビナイ點モアリマス、例ヘバ今日テ考ヘマスレバ興亞院ノ仕事デアルトカ、或ハ地方ニ依リマシテハ、陸海軍ノ軍部ノ仕事デアルトカ云フヤウナ點ガアリマスレドモ、文部省ト致シマシテ是ト相呼應致シマシテ、出來ルダケ第一線ニ宗教家ノ派遣ヲサル場合ニ於ケル用意ヲシテ、或ハ講習會ヲ開クトカ、或ハ現地ニ於ケル情勢ニ付テ知識普及ニ努メル、左様ナ風ニシマシテ、又出掛ケテ參ルル人ニ十分ナ便宜ヲ圖ル爲ニ或ハ證明書トカ色々ナ方法ヲ講ジテ、間接的ニ、一日ニ申シマス、此ノ事變ノ推移ニ伴フテ徐々ニヤツテ居ルト云フヤウナコトデ、隨テ此ノ活動ガ甚ダ思ハシクナイト云フヤウナ感ジモ實ハ與ヘタノデアリマス、最近ニハ段々ニ其ノ點モ進ミマシテ或ハ現地ノ人ト宗教家ノ間ニ懇談會ヲ開ク、或ハ合同致シマシテ、各宗教家ノ日支合同ノ組織ヲ作ツテ共ニ布教スルト云フヤウナコトモ、今日段々行ハレテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯過去永イ間宗教ニ依ツテ支那内地ニ於テ民心ヲ把握致シテ居ツテ、ソレガ或ハ此ノ事變ノ一ツノ大キナ原因トナツタ過去ヲ顧ミマシテ、我國ノ大陸ニ於ケル宗教活動ハ甚ダ遺憾ナ點ガ多カッタノデアリマスガ、是モ只今申シマシタヤウニ、國內ニ於テスラ宗教活動ニ對シテハ甚ダ放置サレテ居ル、斯ウ云フヤウナ状態デアリマシタノデ、今後ニ於テハ此ノ法案ノ運用ト共ニ、寧ろ積極的ニサウ云フヤウナ方面ニ對シテ活動ヲスル處置ヲ執ルコトガ必要デアルト考ヘテ居ル次第デアリマスガ、今日マデ

ナイコトデアリマス、ソコデ其ノ宣撫工作デアリマスガ、經濟工作、文化工作、醫療工作等色々方法ハアルデアリマセウ、併シナガラ宗教工作ニ依ツテ日支兩國國民ノ心カラナル親善ヲ圖ルコトガ最善、最良ノ方法デアルト思フノデアリマス、此ノ事ハ私昨年第七十三議會ノ席上ニ於テモ申シマシタコトデアリマシテ、其ノ當時文部大臣ヲ初メ各大臣ガ、ソレハ大イニ贊成ノコトデアル、斯様ニ仰シヤツタ、所ガ其ノ後今日ニ至ルマデ殆ド一年有餘ヲ經過致シマシテ、サウシテ而モ後ヲ振り返リマスレバ我が政府當局ガドウ云フ方法ヲ講ジテ宗教工作ニ於テ其ノ效果ヲ收メテ居ラルルカト云フ事ニ付テハ、殆ド吾々之ヲ知ルニ由ナイ状態ニアルヤウニ思ハレルノデアリマス、之ニ付テドウ云フヤウナ方法ヲ講ジテ居ラレマスカ、此ノ精神文化、宗教工作等ニ付キマシテハ、是マデ色々質問應答ヲ重ネラレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、尙ホ此ノ場合ニ於キマシテ私一應文部大臣ニ此ノ點ヲ御伺申上ゲタイ、先刻會和委員ノ御質問ニ對シマシテ御答辯モアツタヤウデアリマスケレドモ、特ニ私ハ昨年ノ議會ノ關係モアリマシテ、茲ニ改メテドウ云フヤウナヤリ方ヲシテ居ラレマシタカ、又若シソレガナカクツタナラバ、將來ドウ云フ風ニシテ之ヲヤラウトセラレル御考デアルカ、是ハ重ネテ同ジヤウナコトヲ御尋申上ゲルコトニ相成リマシテ甚ダ恐縮ニ存ズルヤウナ心持モ致シマスケレドモ、此ノ點ヲ一應御伺申上ゲタイト思フノデアリマス

○荒木國務大臣 支那大陸ニ於ケル宗教活動ニ依ル地方宣撫班ノ云フ問題ノ御尋ノヤウデアリマシタガ、此ノ問題ヲ少シク基

午後二時五十五分散會

昭和十四年三月八日 午前十時四十六分開議

ノ状態ハ、今ノヤウナ點テ御不満足ノ點モ可ナリアツタラウト思ヒマス、私共モ亦甚ダ遺憾デアツタト存ジテ居ルヤウナ次第デアリマス、以上ヲ以テ御諒承ヲ御願致シマス

○立川委員長代理 開會致シマス………

○藤田委員 此ノ宗教團體法テ律シテ行カウト云フ目的物ハ、無論憲法ノ第二十八條ニ抵觸シナイ範圍ノモノヲ全部意味シテ居ルヤウニ心得テ居ルノデアリマスガ、左様デゴザイマスカ

○荒木國務大臣 仰セノ通りデアリマシテ、信教ノ自由ハ憲法第二十八條ニ依ツテ保障セラレテ居リマスノデ、飽クマデ之ヲ基準トシテ本案ヲ立案致シタノデアリマス

○藤田委員 ソコデ私ハ疑義ガ生ジテ參ルノデアリマスガ、憲法ノ第二十八條ニハ、安寧秩序ヲ妨ゲズ、國民ノ義務ニ背カナイ範圍内ニ於テ、信教ノ自由ヲ附與サレテ居リマス、ソコデ私共ノ常識カラ考ヘテ、安寧秩序ヲ妨ゲヌト云フコトダケハハツキリト分リマスガ、國民ノ義務ニ背カザルト云フ其ノ國民ノ義務ト云フコトガ、ドノ程度ノモノヲ指スモノデアラウカ、國民トシテノ義務、或ハ憲法ニ示シテ居リマスル納税ノ義務トカ、兵役ノ義務トカ云フヤウナコトヲ意味シテ居ルト、諒承シテ宜

イノテゴザイマセウカ、又ハ臣民ト云フ文字ヲ使ハレテ居リマスル以上ハ、上御一人ニ對スル所ノ關係ニ考ヘナケレバナラナイ、サウシテ見ルト、上御一人ニ對スル臣民トシテノ心構ヘニ非難スベキコトガアツタナラバ、臣民ノ義務ニ背クコトニ相成ルノデアラウカ、斯ウ云フ疑義ガ私ニハ生ジテ參ルノデアリマス、ト云フノハ、過日總理大臣ガ此處テ誰カノ質問ニ對シテ御答辯ニナツタ中ニ我國ノ國民ハ全テ惟神ノ道ニ違フテ行クノデアアル、是ハ一人ノ取除ケモノナイ、宗教ハソレト全ク違フノデアルト云フ御説明テゴザイマシタガ、此ノ惟神ノ道ノ信念ニ違フヤウナ考ガ、宗教ノ教理ノ中ニアリマシタナラバ、憲法第二十八條ノ臣民ノ義務ニ背クコト云フコトニ抵觸シテ參ルノデアラウカ、ドウデアラウカト云フコトガ、非常ニ大キナ問題ニナツテ來ルノデアリマス、過日モ私ハ一寸申上ゲマシタガ、私ハ基督教ト云フモノハ、其ノ端クレチチヨツト聞イタ位デ能ク分ツテ居リマセヌガ、佛教ノ方面ニ付テハ幾分カ私趣味ヲ感ジマシテ、少シハ本モ見テ居リマスルガ、前ジ詰メテ參リマスルト、ヤハリ宗教ノ思想ガ日本化シテシマハナケレバ、私ハイカヌノデアナイカト思フ、而シテ佛教ノ如キモノハ純然タル日本化シテシマツテ、日本精神テ唱嚆シテシマツテ居ルカラ、少シモ弊害ハナク少シモ心配ハナイヤウニ思ヒマスガ、他ノ宗教ハ、推進シテ參リマス、信仰ノ態度ガ全ク別ノモノガアリ惟神ノ道ノ絕對者トシテ吾々ガ信ジ尊崇ノ念ヲ持ツテ參リマスモノト、違フタ所ノ絕對者ガアルヤウニ思フ、サウスルト臣民ノ義務ト云フ心構ヘマテテ含ムコトニナリマス、茲ニ非常ニ

妙ナコトニナツテ來ルノデアナイカト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ對シテドウ云フヤウナ御所見テゴザイマスカ、承ルコトヲ得レバ幸デアリマス  
 ○荒木國務大臣 今回ノ宗教團體法ヲ制定致シマス必要モ、今御述ニナリマシタ體テ明ニシテ行ク必要ヲ感ジテ居ルコトモ一ツナノデアリマシテ、御承知ノヤウニ我國ニ於テノ神社ト宗教ノ關係ガ最モ宗教トシテノ重要ナ問題ニナルノデアリマス、神社崇敬ノ問題ハ過般來申上ゲマシタヤウニ、神社ガ國ノ宗祀トシテ、國民ガ之ヲ報本反始ノ誠ヲ致シテ崇敬チシ、赤誠ヲ捧ゲテ、所謂國民タルノ純正ナル心情ノ發露ニ依ツテ、茲ニ神社ニ對スル吾々ノ道ヲ履ンテ行クコトニナツテ居リマス、宗教ガ神社ト別ニアリマスコトハ、詰リ神社ガ宗教ノ中ニナイコトガ、日本ノ宗教ニ關スル最モ廣大無邊ナル一ツノ作用デアリマシテ茲ニ今ノ憲法ノ二ツノ條項、殊ニ今御示シナリマシタ臣民タルノ義務ニ背カナイト云フ點ハ、斯様ナ點モ一ツ大イニ考ヘテ行クベキ重要ナ問題デアリマシテ、即チ道德的ニ、宗教的ニ——信仰的ト申シマスカ、宗教的ニモ、政治的ニモ一切ガ含マレタ臣民タルノ義務、履マナケレバナラヌ道、本分デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、宗教行政ヲ我國ニ於テハヤツテ行カナケレバナラヌ、隨テ神社ト宗教トノ關係ガ、茲ニ初メテ截然トシテ明ニナリマシテ、我國ノ宗教行政ガ圓滑ニ行クコトニナルノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス  
 ○藤田委員 是ハ私モウ少シ碎イテ申シマスレバ、安寧秩序ヲ害スルト云フノハ、單ニ宗教バカリデアナイ、何事ニ於テモ安

寧秩序ヲ害スルモノハ許スヘキデアナイシ、臣民タルノ義務ニ背カナイト云フコトハ、單ニ宗教ノミナラズ、ドシナコトデモ臣民タルノ義務ニ背クコトガアルトスレバ、是ハ許スベカラザルコトデアアルカラ、書カレル必要ハナイ、憲法ニハソレダケノ制限ハ置イテアルケレドモ、是ダケヲ特ニ置カレテ、信教ノ自由ヲ國民ニ附與サレタル大御心ノ本當ノ所ハ那邊ニ存スルカト申シマス、私ハヤハリ此ノ心構ヘマテテ仰セラレタノデアナイカト思フノデアリマス、唯納稅ノ義務ニ背ク、兵役ノ義務ニ背ク——先般宗教局長ノ御説明ノ例ノ中ニアツタヤウデスガ、宗教ノ教義ヲ宣布スル内ニ、サウ云フヤウナ不謹慎ナコトヲ言フモノガアルトスレバ、ソレハ直グニ止メル、斯ウ云フヤウナコトハ言ハナクテモ分ツテ居ルコトデアルト思フ、何モ宗教法テ取締ラナクテモ、刑法デモナンデモ取締ルコトガ出來ル、サウ云フコトハ洵ニ明カナコトデアアル、私ハ憲法ニ書イテアル臣民タルノ義務ニ背カザルト云フノハ、其ノ心構ヘマテ含ンテ居ルノデアナイカト考ヘルノデアリマス、私ハ是ハ結局其ノ程度ヲドウ云フ程度ニ考ヘ、又憲法ノ趣旨ヲ諒解シテ、サウシテ之ヲ實際ニ行フコトハ、其ノ時々ノ責任ノ局ニ當ツタ人ノ考テ決ルコトニナルノデアナイカト思フ、此ノ宗教法ニモ方々ニ認可ト云フ文字ガアルガ、其ノ中ニ設立ヲ認可スト云フヤウナ風ニシテ、認可不認可ト云フモノハ、此ノ法律ガ權力ヲ與ヘタ文部大臣ナリ、或ハ地方長官ニアルヤウデアリマスガ、其ノ局ニ立チ要路ニ居リマス人ノ其ノ思想ガ全般ニ及ンテ來テ、時ニハ非常ニ寬大ニ直グ許可スルコトモアリ、時ニハ非常ニ窮屈デ、

許シテ差支ナイヤウナモノモ申々許可セヌト云フ風ニナツテ來ル嫌ヒガアリハシナイカ、此ノ頃ヨク言ハレテ、政府ノ方デハ御耳障リニナツテ居リマス官僚獨善、即チ文部省獨善ニ落込シテシマフ場合ガ生ジテ來ナイカ、私ハ長ラク辯護士ノ仕事ニ從事シテ居リマシタカラヨク感ズルノデアリマスガ、尊屬親ニ對スル不都合ナ事件ガ起リマス、サウ云フ事件ノ辯護ヲ擔當致シテ居ル時ニ屢々感ズルノデアリマスガ、非常ニ孝行心ノ強イテスガ、親不孝モスルシ、行ヒモ左程立派デモナイガ、學業ガ出來テ裁判官ニナツテ居ルト云フヤウナ人ニアツカリマス、刑ノ量定ニ於テ非常ニ寬大デアアル、即チ裁判ヲスル人ノ信念カラ刑ノ分量ガ割出サレテ來ルノデアリマス、同様ニ此ノ國民ニ與ヘラレタル信教ノ自由ノ範圍ガ、文部當局者ノ考カラ狭マツタリ廣マツタリスルコトニナリマス、其ノ結果ハ洵ニ寒心スベキコトニナリハセヌカ、斯ウ思フノデアリマス、ツコテ他ノ事ナラ一時的デアリマスガ、國民ノ信仰ヲ支配スル重大ナル問題テゴザイマスカラ、文部省ノ獨善ヲ避ケル爲ニ、今宗教調査會ガアルサウデアリマスガ、ソレニ似寄ツタ、學者其ノ他其ノ方面ノ權威者ヲ集メテ常設ノ機關デモ設ケテ、認可チスル、或ハ取消スト云フヤウナ時分ニハ其ノ議ヲ經テヤルコトニスレバ幾分か獨善ノ弊ヲ避ケテ、甲ノ人ガ文部大臣ノ時分ニハ非常ニ信教ノ自由ガ許サレタケレドモ、乙ノ人ガ文部大臣ニナツテ居ル時分ニハ極端ニ制限サレテ、信教ノ自由ハ見ル影モナイ程制限サレタト云フコトニナルノ弊ハ免レルコトガ出來ルノデアナ

イカト思ヒマス、斯ウ云フコトヲ私感ジマシタノハ、先般大日本運動ト云フ會カラ案内ヲ受ケテ色々話シマシタ所ガ、斯ウ云フ問題ガ起ツテ參ツタノデアリマス、北海道テ、今回ノ事變テ戰死サレタ遺骨ガ還ツテ來テ村葬ニスル時分ニ、皆神道テヤル、其ノ親ハ熱心ナ眞宗ノ信者ダ、ソコテ、子供ハ國家ノ爲ニ命ヲ捧ゲテシマツタ、セメテ遺骨ガ還ツテ來タ時分ニハ眞宗テヤツテヤラヌト、本人モ迷フヤウニ思フシ、自分モ得心ガ行カヌト言ツテモドウニモ聽イテ吳レヌト云フコトガアル、ソレハ酷イデハナイカト云フ話ガ出タノデアリマス、スルト、名前ハ申上ゲマセヌガ其處ニ居ラレタ陸軍大將デシタカ、海軍大將デシタカ、ソレデ宜イ、神道デスベキモノデ、ソレニ統制シテシマフノダ、斯ウ云フコトヲ言ハレタ、私ハ甚ダ失禮ダケレドモ頑冥不戻ダト思ヒマシテ批評シナイテ黙ツテ居リマシタガ、サウ云フ人ガ誤ツテ文部大臣ニナツテ御覽ナサイ、ドウナリマスカ、日本ノ信教ノ自由ハ滅茶々々ニナツテシマフト私ハ思フ、サウ云フヤウナ個人ノ考ア此ノ範圍テ廣メタリ狭メタリスルコトハ非常ニ宜クナイコトデアルト思フデアリマス、其ノ點ニ付テ安全ナ方法ヲ御考ヘ下サルト云フコトハ願ヘマスマイカ、之ニ對スル大臣ノ御所見ヲ承リマスレバ幸デアリマス

**○荒木國務大臣** 前段ノ御尋ノ第二十八條ニ於ケル問題ハ、御承知ノヤウニ宗教信仰カラナツテ居リマス過去ノ歴史ニ、可ナリ此ノ問題ニ依リ熾烈ナル運動ガ國家ノ總テト相反スルヤウナコトガ東西共ニ事例ガアツタノデアリマス、故ニ我國ニ於テ信仰ハ何處マデモ其人ノ自由デアアル、即チ心ノ働キテ何處マ

デモ伸バス、此ノ點ハ私ハ非常ニ尊イコトト思ヒマスガ、ソレヲ活カシツツ而モ我國ノ國體ニ反スルコトガナイヤウナ程度ニ於テ、自ラ此ノ宗教ニ關スル自分ノ心ノ用ヒ方ヲ決メテ行クト云フコトニ依ツテ、第二十八條ニアノ制限ガ御示シニナツテ居ル、他ノコトト違ヒマシテ、一ツノ信仰ニ熱狂致シマスルト、是ハ總テノ場合ニアリマスルヤウニ、偶々ソレガ國體ニ反スル場合モ起リマセウシ、帝國臣民タル所ノ本分ヲ失フコトモアルト云フコトヲ考慮セラレテ御示シニナツタ制限デアアル、故ニ宗教ニ限ツテ斯ウ云フコトガアリマス、苟モ信仰ニ入り、宗教ヲ奉ジテソレゾレ練磨シテ參リマスル間ニ於テモ、此ノ點ダケハ強ク考フベキデアルト思フ、隨テ我國ニ於ケル宗教活動ト云フモノガ基準トナツテ、總テ吾々ハ見テ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ歸著スルノデアリマシテ、今御話ノ點ハ其ノ中ニ含まレテ居ルコトト思ヒマス

第二段ノコトハ御尤ノコトデ、豫テ此ノ法案ヲ立案スル時モ絶エズ私共心配シタ問題デアリマシテ、仰セノ如クニ只今マデノ調査會ト云フモノヲ其ノ儘存續致シマスカ、或ハ別ニ宗教方面ニ對スル體験ノアラレル方、又其ノ方面ニ對シテ理解アリ、經驗アリ、學識ノアラレル方ニ依ツテ、今御話ノヤウナコトニ付テ誤リナイヤウナ機關ヲ設ケルコトガ最モ切要ト考ヘマシテサウ云フ方面ニ向ツテ御意見ノ如クニ運ブコトニ今考ヘテ居ル次第デアリマス

**○藤田委員** 是ハ事務的ナコトデアリマスガ、第三十一條ニ致シマシテモ、第三十二條ニ致シマシテモ一年內ニ教規又ハ宗

制ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受ケルコトヲ要ス、斯ウ書イテアリマスガ、「一年內ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス」ト直サナケレバ都合ガ惡イノデアナイカト思フノデアリマス、例ヘバ一件ノ猶豫期間ヲ置イテモ、認可申請ヲシテモ當局ニ於テ疑義ガアツタリ色々ノ事ガアツテ、調査研究ヲシテ認可ナスル、其ノ取調ニ相當不定期ノ時間ガ要ルノデアナイカ、所ガ之ニ依ツテ見ルト一年內ニ認可ヲ受ケテシマハナケレバナラヌ事ニナツテ居ル

斯ウ云フコトハ寧ロ一年內ニ認可申請スル期間ニシテ置イテハドウカ、政府ガ一年內ニ總テノコトヲシナケレバナラヌト云フコトニナルト、何ダカ譯ノ分ラヌコトニナル、コンナコトチ一寸氣付イタノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマス

ガ、是等ハ結構二年內ニ處理ガ付クモノト考ヘテ居リマス

**○高見委員** ……第一ハ宗教ノ定義ノコトニ付テデアリマスガ、此ノ問本會議ニ於キマシテ、宗教ノ定義ニ關シテ私少シ意見ノアル所ヲ申上ゲマシタ所、文部大臣ニハ非常ニ御共鳴下サイマシテ、大體サウ云フモノデアラウト云フ御言葉ヲ得タノデアリマシテ、私モ喜ンデ居ル譯デアリマスガ、委員會ニ於キマシテ「宗教ノ定義」ト云フ「パンフレット」、文部省ノ宗教局カラ出テ居ルモノヲ拜見致シマシタ、之ヲ段々讀ンデ見マスモウ少シ之ヲ明ニシテ置ク必要ガアルダラウ、殊ニ宗教ノ本質トナルベキ信仰ノ定義ト宗教ノ定義トヲ混同シテ居ルヤウナ傾ガアルノデアナイカト云フ所ガアルノデアリマス、今日法律ガナイナラバ兎モ角、法律ヲ作ルト云フヤウナ場合ニ於テ、宗教團體法案ト云フ法律ガ今後行ハレルト云フ時ニ於テ、其ノ法律ノ目カラ見タ宗教ト云フモノハ、一體如何ナルモノデアアルカト云フコトニ付テ、モウ少シ之ヲ明ニシテ置キタイ、斯様ニ考ヘマス、私ガ此ノ前申上ゲタ如ク、宗教ノ要素ハ教義ト信仰ト儀式ガアルト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、此ノ文部省ノ「宗教ノ定義」ト名ヲ付ケラレテ御配付ニナツタモノハ宗教ノ定義ト云フコトヨリモ、宗教ノ要素ノ中ノ或ル部分ノ定義デアアル、斯様ニ私ハ解釋シテ居ルノデアリマスガ、ドウ考ヘラレマスカト云フコトヲ先ヅ聽イテ見タイ、其ノコトヲモツト明ニスル爲ニ、私ハハッキリシタ具體的ノ文句ヲ一ツ言ウテ見タイ、宗教トハ過去、現在、未來ニ通ズル教義ヲ基トシ、信仰者

**○松尾政府委員** 御尤ナ御注意デアリマスガ、何分只今ノ教規宗制ハソツクリ其ノ儘本法ノ教規、宗制ニ必ズシモ當ルトハ言ヒ得ナイノデアリマスガ、根本精神ニ於キマシテハ、現在ノ教規宗制ノ建前テ宜イノデアリマス、隨テソレニ不備ナル箇條ヲ追加シマシテ、新シキ形態ニ於テ認可申請ガアル譯ナノデアリマス、隨テソレハ宗當局ニ取リマシテモ、文部當局ニ取リマシテモ、思想内容ニ於キマシテ御互ニ諒解致シテ居リマスカラ、別ニ大シタ困難ハ感ジナイノデアリマス、ノミナラズ本法ガ公平ニナリマスト、凡ソ一年間ノ猶豫ガ施行マデゴザイマス、更ニ施行ノ日カラ一年內ノ期間ガゴザイマスノデ、公布ノ日カラ計算致シマスト二年間ト云フ餘裕ガゴザイマスカラ、只今ゴザイマスル教派、宗派及ビ教團ニ該當スルモノハ約九十位アリマス

六五

ヲ有シ、且ツ儀式ヲ備フルモノヲ謂フ、斯ウ云フヤウナコトニシタナラバ、私ハ法律カラ見テ宗教ト云フ定義ガ出來ルヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレテ宗教ノ特長ニドウシテモ三世ヲ意味シタモノデナケレバ、私ハ宗教ノ定義ニナラヌト思フ、ソレナラバ道德ト異ナル所ハ何處ニアルカト云フト、道德ハ現世ノ社會生活ノ基準ヲ説クコトガ道德デアアル、デアアルカラ孔子ハ曰ク「未ダ生ヲ知ラズ、焉ゾ死ヲ知ランヤ」ト答ヘテ居ル、私ハ茲ニ孔子ノ道德ヲ躡如トシテ語ツテ居ルト思フ、基督教デアリマシテモ、佛教デアリマシテモ來世ト云フコト、即チ靈魂ガトウナツテ行クカ、來世ト云フコトヲ非常ニ説キ、其ノ來世ハ過去世ノ因果カラ起ツタモノデアルト云フヤウナ工合ニ説カレテ生レヌ以前、此ノ世ニ於ケル行ヒト來世ノ祝福ト云フ、此ノ三ツノ教義ガナケレバ、宗教トシテノ定義ハ成立タヌト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ言葉尻ヲ取ツテ申上ゲル譯デアリシ物ハ言ヒ方ニ依ツテドウデアリマスガ、文部大臣ハ過般私ノ質疑ニ對シテノ御答ノ中ニ、信仰ト云フモノヲ基トシテ、ソコニ教義ガ出テ來テ、宣布儀式、斯ウ云フヤウニ御答ニナツタデアリマス、成程信仰カラ教義ガ出テ、教義カラ儀式ガ出ルトモ言ヘルノデアリマスケレドモ、之ヲ嚴正ナル法律的解釋ヲシタナラバ、寧ロ教義カラ信仰ガ出テ、信仰カラ儀式ガ出テ來ル、斯ウ云フ工合ニ私ハ見ルベキモノデアリナキト思フデアリマス例ヘバ釋尊ノ説カレタ所ノモノ、基督ノ説カレタ所ノモノハ即チ教義デアアル、ソコニ數名ノ弟子ガ居ツテ、基督ガ天ニ昇ツテ行ツタ所ヲ見テ、吾々ハ生キタ證人デアアルト言ツテ、彼等ハ全

世界ヲ廻ツテ途ニ羅馬マテ行ツタト云フ風ニシテ、ヤハリ根本ハ教義ニ始マルノデアリマシテ、ソレヲ信ズル弟子ガ居ナケレバナラヌ、釋尊ノ如キハ非常ニ澤山ノ弟子ガ居ツタデアリマス、而モ其ノ中ニハ偉イ弟子ガ澤山居ツタデアリマス、デアリマスカラ私ハ過去、現在、未來ヲ通ズル教義ヲ本トシ、ドウシテモ信仰者ガナクテハナラナイト思フデアリマス、如何ナル教義ト雖モ、信仰者ガナクテハ宗教ニハ斷ジテナラヌ、少クトモ法律カラ眺メテ、其ノ信仰者ガ何人デアアルト云フコトハ説カナクテモ、ドウシテモ信仰者ト云フモノガナクテハイケマセヌ、サウシテ其ノ信仰者ノ儀式——儀式ハ今日結婚ノ儀式ヲ取扱ツテ居ル所モアリマスケレドモ、大體死ンダ者ノ靈葬儀ヲ取扱フト云フコトニ重點ガアル、ソコニ私ハ宗教法トシテ之ヲ取締モシ、監督モシ、又之ヲ善イ方ニ助長シテ行クト云フ所モアルト思フ、ヨク生活ノ安定ト云フコトヲ申シマスケレドモ、精神ノ安定ガ得ラレナカッタナラバ、生活ノ安定ヲ得ラレナイヨリモ、ヨリ強イ煩悶ヲ受ケル、又時ニ依ルト生活ガ非常ニ窮迫シテ居ツテモ、精神ノ安定ガアリマシタナラバ、ドンナ所ニアツテモ、自由自在ノ境涯ニ居ルコトガ出來ルノデアリマス、デスカラ精神ノ安定ハ生活ノ安定ヨリモモット大イナルモノガアル、其ノ見地カラ見マシタナラバ、爲政者トシテハ葬儀ト云フコトニ關シテ、ソレヲ宗教一ツニ取扱ハレルト云フコトガ、大切中ノ大切ナコトデアアルト考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ付テドウ御考ニナリマスカ、先ヅ當局ノ御意見ヲ伺ヒタ

○荒木國務大臣 宗教ニ關スル定義ハ、是ハ盡キナイコトダラウト思ヒマス、此ノ法案ヲ議スルニ當ツテ、宗教ノ根本ニ週ツテ參リマスルト、ソレニ依ツテ殆ド法案ト違ツタ方向ニ行カウト存ジマスルガ、是ハ又後刻申上ゲマス、今御尋ノ點ニ付テ此ノ法ヲ運用スル上ニ付キマシテ宗教ヲ如何ニ見ルカ、之ニ付キマシテハ過般モ申上ゲタカト思ヒマスルガ、信仰ナクシテ宗教ハナイノデアリマス、只今教義ヨリ信仰ガ出發スルノデアリナキカト云フ仰セデアリマスガ、其ノ教義其ノモノハ、信仰ヲ主トシテ作ラレタモノデナケレバ信仰ニハ移ラヌデアリナキカ、即チ過般モ申上ゲマシタヤウニ、又只今御述ノ通り道德ハ主トシテ現世ヲ説イテ居ル、宗教ハ過去ニ週リ現世、更ニ未來ニ及ンデ、人ノ意識ノ及バザル所ノ靈界ニ立入ツテ、初メテ信仰ガ生ジ、其ノ信仰ニ依ル教義、或ハ教義ニ依ル信仰、ドチラデモ同ジヤウナコトニナリマセウト存ジマスケレドモ、左様ニシテ宗教ノ出發ガアルノデアリマイカト思フデアリマス、ソコデア此ノ法ニ依ツテ宗教行政ヲヤリマス時ニハ、一方ニ一ツノ教義ヲ持チ、ソコニ信仰ノ對象ガアツテ、ソレニ基ク儀式、而シテ之ヲ宣布シ教化スル所ニ至ツテ、其ノ方法ヲ捉ヘテ、茲ニ適當ニ法ノ運用ヲシテ誤リナカラシムルヤウニスルト云フノガ、本法ノ精神デアリマス、隨テ本法ヲ運用スルニ於テハ、斯ノ如クニ考ヘテ宗教ト云フモノヲ見テ行キタイ、又見テ行カナケレバナラヌデアアル、茲ニ神社ト宗教ノ關係ガハツキリ致スノデアアルマイカ、御手許ニ差上ゲマシタ「宗教ノ定義」ト云フコトノ中ニ——甚ダ私寡聞デアリマスケレドモ、洵ニ面白イ現象ガアル

ヤウニ思ヒマス、例ヘバ列國ノ間ニアツテモ、宗教ニ關シテ、其ノ根柢ハ殆ド同ジデアリマスガ、英吉利デア説イテ居リマスノハ、倫理道德ノ實現ト云フコトニ宗教ヲ持ツテ行ツテ居ルヤウデアリマス、先ヅ英國ノ説イテ居ルモノハ、絶對ノ力、ト云フモノニ憧レツツ、ソレヲ倫理的ニ或ハ道德的ニ顯現スル所ノ一ツノモノデアルト云フ風ニ、皆倫理道德ニ持ツテ行ツテ居ル、獨逸ニ參リマストソコ少シ哲理的ニ説イテ、現世ト云フモノカラ少シ離レタ點ガアルデアリマス、米國ニ行キマスト全ク國家主義ニナツテ、米國ソレ自體ニ御奉公スルコトガ宗教デアアル、米國ソレ自體ノ力ヲ見ズシテ宗教ト云フモノハナイト云フ氣分ガ、總テ米國ニハ現ハレテ居ル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ行キマスト、宗教ノ根本ハ何デアアルカト云フコトハ隨分廣汎ニ互ルデアラウト思ヒマスカラ、法ヲ運用スル上ニ付キマシテハサウ云フ風ニ見テ參リマシテ、現在日本デア活動シテ居ル所ノ宗教ヲ對象トシ、ソレヲ目標トシテ、是ガ適當ニ活用サレ、適當ニ宗教ノ使命ヲ果シ、而シテ我國ノ憲法第二十八條ヲ其ノ儘善イ意味ニ於テ現ハスヤウニシテ行クコトニ於テ、法ノ運用ヲ致スコトガ立法ノ精神ニナツテ居リマス、隨テ今ノヤウニ信仰、教義、儀式、宣布、而シテ是ガ國內ニ於テ活動スルト云フモノヲ捉ヘテ、之ヲ如何ニスベキカト云フコトデア法ガ出來テ居ル、斯ウ云フ風ニ御考ヲ願ヒタイト思フデアリマス

○高見委員 大體此ノ宗教ノ定義ヲ付ケルニ付テノ三ツノ要素ニ關シテ、文部大臣モ同ジ御意見ノヤウニ拜聽致シマシテ満足致シマスカ、私ハ宗教ト道德トハ全然離レタ意味デア申上ゲタノ